

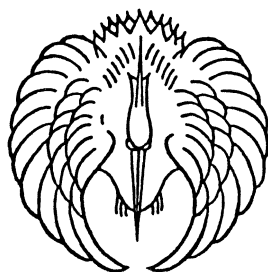
富山大学ヘルン文庫所蔵

ラフカディオ・ハーン

小泉八雲関係文献目録

Catalogue of the Hearniana in the Hearn Library
of the Toyama University

改訂版



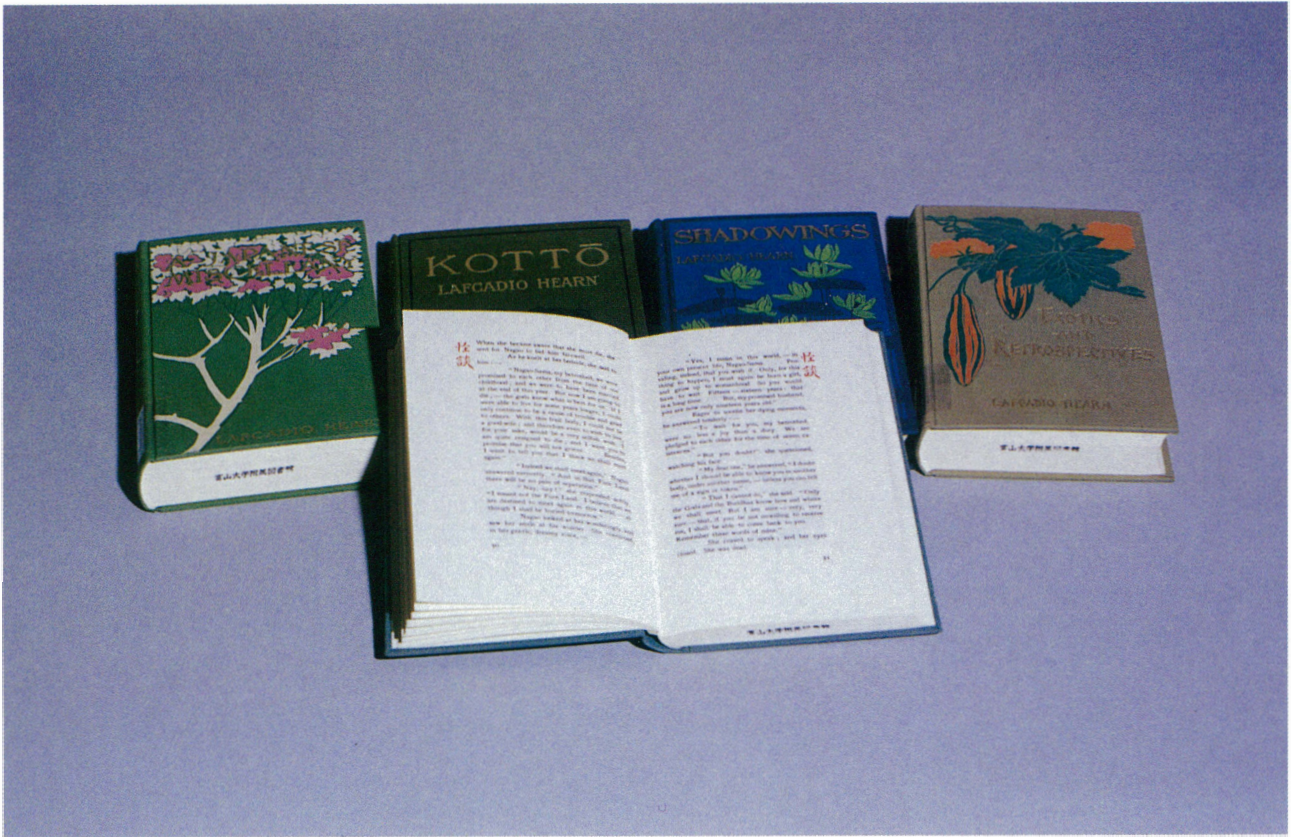
富山大学附属図書館

Toyama University Library

Toyama, Japan

1998

該当ページ	誤	正
ixページ 上から8行目	threaties	treaties
x ページ 上から2行目 上から3行目	lin Storeis	in Stories
1 ページ 上から25行目 下から5行目 下から4行目	accoord- chronologicaltable storic	accord- chronological table historic
2 ページ 上から15行目 上から22行目	Memorila Memorila	Memorial Memorial
3 ページ 上から32行目	complited	compiled
5 ページ 上から3行目	aplogizes	apologizes
6 ページ 上から21行目	letterYoung	letter Young
44 ページ 上から3行目 上から6行目 下から2行目	atuhors T Crown Sikworms	authors The Crown Silkworms
45 ページ 下から15行目 下から2行目	Pheasant Graatitude	Peasant Gratitude
109 ページ 下から3行目	五狐の塚	五狐の塚
111 ページ 上から11行目	ハーン文学と夢	ハーンと文学と夢
123 ページ 上から13行目	p. 28-29 第103 巻第11号	p. 29-30 第103 巻第12号
A76 ページ 下から4行目 下から3行目	ヲカヂイ・ハーンの・・・182 1992)182	ヲカヂイ・ハーンの・・・152 1992)152
A85 ページ 上から1行目	英国人に	英国人の
A89 ページ 下から12行目128128



八雲の初版本類 (H091 ヘルンの著作 の項を参照)



縮緬本の日本おとぎ話集 (「若返りの泉」「ちんちん小袴」「団子をなくしたおばあさん」「絵の上手な少年」「化け蜘蛛」)

は し が き

平成9年3月、長年の懸案であった附属図書館の増築が完成し、「ヘルン文庫」も増築された5階へ移転した。昭和10年、旧制富山高等学校図書館（富山市蓮町）に初代の文庫が設けられて以来四度目の移転である。炭酸ガス消火設備を持った「ヘルン文庫」のほかに、八雲の著書や伝記書、研究文献、大学の研究紀要の抜き刷り、新聞記事などの関係文献を収蔵する「ヘルン閲覧室」、八雲及び文庫を紹介する「展示コーナ」などを備え、八雲研究者に開放された、グレードアップした「ヘルン文庫」となった。これで八雲もようやく安住の地を得たことであろう。

さて、大正13年に「ヘルン文庫」が設けられて以来、ハーンの著書や研究書、伝記、雑誌、新聞の抜き刷り・切り抜きなどの八雲に関する文献を収集してきたが、昭和34年にそれらをまとめた「ヘルン関係文献解説付目録」が当時の平岡館長により編纂された。爾来約40年の間に収集された文献は3倍に達し、八雲研究者からは目録の改訂を求められて来た。

平成7年に目録の改訂が計画され、それと同時に「文献」を本学目録データベースに入力し、また図書館ホームページWebでインターネットにより公開する、の三本だでの計画であった。

現在は図書館ホームページより「OPAC」検索が出来るほか、八雲の縮刷本の画像を見ることが出来る。Webによる検索もできるようになった。しかし、直接ページをめくって調べる事の出来る冊子体目録も、この種の文庫にとって必要不可欠である。

なお、この目録は旧目録の単なる改訂版でない。旧目録の不備を補った他、八雲の著書・全集には内容細目が付けられ、『書名・文献索引』『著者・執筆者索引』等でも多くの関連資料の検索が出来るように、また、その他さまざまな面で格段に研究者への便が工夫されている。編纂作業の労は、当館の秋元國男図書館専門員によるものであり、記して厚く感謝申し上げる次第である。

今、全国のあちこちで八雲の記念館や資料館が建ち、イベントが行われていることは大変喜ばしいことである。八雲研究者のすそ野が広がれば、わが図書館の「ヘルン文庫」「ヘルン関係文献」は益々重要となって来る。かつて「ヘルン文庫」の生みの親の旧制富山高等学校の南日恒太郎初代校長の目指された、「ヘルン研究者を全国から集める」願いは、今や世界から「ヘルン文庫」にアクセスされ、八雲研究の情報発進基地となって実現している。

(ii)

しかし、関係文献の多くは八雲研究者からのご恵贈によって成っている。この目録に欠けている文献や新しく発表された文献があれば是非ご恵贈をたまわり、八雲研究のデータベースとして育ててほしいものである。

終わりに八雲関係の文献は年々増加しており、この目録がつねにup-to-dateなものであるように、次に続く館員が引き継いでくれれば幸いである。

1998 (平成10年) 年 2月 1日

富山大学附属図書館長 瀧 澤 弘

初版のはしがき

大正13年(1924)富山大学の前身富山高等学校にラフカディオ・ヘルン(ハーン)小泉八雲の蔵書2,435冊が馬場はる子夫人によって寄贈されてから、早くも満35年の年月がたった。このヘルンの蔵書がヘルン文庫と呼ばれるもので、その目録は昭和2年(1927)にできている。この35年の長い間、このヘルン文庫には内外多数の訪問客を迎え、その中にはアメリカのマクレランド夫人のように、3日間もここに通って研究された方もある。一方に、本学の学生諸君にとっても、ここにヘルン文庫がありという自覚は、その研学にとっても大きな刺激となったことと信じる。

このヘルン文庫を活用する方法はいろいろに考えられることであろうが、その一つはヘルン関係文献をできるだけ集めて学徒の参考に供することであろう。しかし、これを徹底的とは行かなくても、ある程度まで集めるとしても、それは専門の係員を常置しなければできないことで、なかなかむずかしい。一方に、いくら関係文献が集まっても、その整理に工夫がこらされていなかったならば、十分な効果をあげることはできないと考える。

そこで、集まっている関係文献の数は少ないけれども、これを十分に利用できるように整理してみたら、整理されない多数の文献よりもかえって効果をあげることができるであろう。また、これによってどういう、あるべき文献がないかということも明らかになるであろう。

このような趣旨で本学の図書館にあるヘルン関係文献を整理し、多少の新文献を加えて、それをできるだけ利用できるように解説をつけたのがこの目録である。

これによって、本学内のヘルン研究または広く文学語学その他の研究の参考になることができれば幸いである。また、一つの新しい試みとしてのこの目録について大方の御叱正をおおぐことができれば大きな喜びである。

1959年(昭和34年)8月15日

富山大学附属図書館長 平岡伴一

総目次

(Contents of the whole book)

はしがき (附属図書館長 瀧澤 弘)	i
初版のはしがき (元附属図書館長 平岡伴一)	iii
総目次	v
編集にあたって	vi
小泉八雲関係 (ラフカディオ・ハーン) 分類表及び索引	vii
ヘルン関係文献 総記～新聞に含まれた論文、記事	1
著者・编者・訳者索引及びその文献	A-01
書名・文献名索引 (ハーンの著書含む)	T-01
問題索引	M-01
小泉八雲年表	N-01

◎編集に当たって

この目録は、昭和34年に刊行された「富山大学ヘルン文庫所蔵ヘルン関係文献解説付目録（平岡伴一館長編）」を継承しているが、当時より資料数が3倍となり、また研究者により詳しい情報を提供するため、新たな方法で編集を行った。

八雲の著書や全集は書名ばかりでなく内容細目も記述し、また八雲の伝記書や作品研究書、雑誌、機関誌、研究紀要、新聞記事の内容も詳細に記述することに努めた。

それら文献検索の手掛かりとして、「著者、執筆者索引」「書名・文献名索引」「問題索引」を巻末につけた。

「書名・文献名索引」では、八雲の著書文献名およびその作品研究、伝記などの文献名から検索できるようにした。

「著者、執筆者索引」では、従来のページからの索引ではなく論文名も一緒に列記して、どの著者がどんな論文を執筆しているか検索出来るようにした。

「問題索引」では、八雲研究の手掛かりとなるテーマ毎に文献をあげたが、全文献を通読した訳でないので、文献名から判断できるものにとどめた。

平岡館長の解説をはじめ、文献に関するものをなるべく残すようにしたが、資料の量からみて必要と思われないものは割愛した。また、単に八雲の名前が出てくるだけの論文・随筆などは、雑誌記事については、「ニュース・記事・コラムより」にまとめた。

そのほか、次のような内容で編集した。

1. 「ヘルン」「ハーン」「八雲」の統一について

ヘルン文庫の蔵書には「へるん」の刻印があり、また自身および家族が「ヘルン」を使っていたから「ヘルン」と称すべきであるが、最近の文献や研究者には「ハーン」「八雲」を使う人が多くなった。本学の学生でも「ヘルン」と言っても知らない人が多い。「ラフカディオ・ハーン」「小泉八雲」と言うと理解してもらえる。

この本編では、「ヘルン文庫」を指す以外は「ハーン」「八雲」を使用した。ご了解願いたい。

2. 文献は、「ヘルン関係文献分類表」によって整理した。各項目中の配列はABC順であるが、「H096 新聞に含まれた論文、記事」については年月順とした。

3. 文献の記述はISBD（国際標準書誌記述法）によったが、紙面の都合上ピリオドの後の一字空けは省略したところもある。内容細目については見やすいように記述した。

4. 雑誌の「八雲特集号」は、1冊全部が八雲特集である場合は単行書〔H094〕へ部分だけで他の論文もある場合は、雑誌の部〔H095〕に収めた。

(viii)

5. 文献の解説については、初版の平岡館長の解説は出来るだけそのまま載せるようにしたが、編集の過程で修正、割愛したものもある。その後の増加した文献については出来るだけ、注釈を加えた。
6. ワープロの制約上、ウムラウト、アクセントなどは表すことができなかった。
7. 文献の所在は、殆どが「ヘルン閲覧室」に備付けだが、書庫にあるものは「書庫」と注記した。
8. 単に「ハーン」の名前が出ているだけの文献は、初版では末尾に□が設けてあったが、本編では「H 0 9 5 雑誌に含まれた論文、随筆」の項で「ニュース、記事、コラム欄」に収めた。
9. 地名や固有名詞などの読みは出来るだけ調べたつもりであるが、地元独特の読み方があるので不明なものもあった。ご教示願いたい。
9. 寄贈いただいた方の名前は掲載させて頂いたが、スペースの関係上省略した方もある。

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）関係 分類目録及び索引

(Classical catalogue of Hearniana, and Contents of the catalogue proper)

H 0 9 0	ヘルン関係文献総記 (Hearniana: general)	1
H 0 9 0. 1	文献目録(Bibliographies)	1
H 0 9 0. 1 1	単行本(Bibliographies in book form)	1
H 0 9 0. 1 2	雑誌に含まれた論文、記事(Bibliographical essays, threatises, articles in periodicals)	2
H 0 9 0. 2	原稿と自筆の手紙(MMS and autograph letters)	4
H 0 9 0. 3	いろいろ(Miscellanea)	6
H 0 9 1	ヘルンの著作(Works of Hearn)	9
H 0 9 1. 1	創作(Original works)	9
H 0 9 1. 1 1	アメリカ時代(Works in America)	9
H 0 9 1. 1 2	日本時代(Works in Japan)	14
H 0 9 1. 2	講義集、論文集(Collections of lectures and collections of essays)	24
H 0 9 1. 2 1	アメリカ時代(Essays in America)	24
H 0 9 1. 2 2	日本時代(Lectures in Japan)	31
H 0 9 1. 3	ハーンによる翻訳(Translations of Hearn's works)	38
H 0 9 1. 4	教科用テキスト(Textbooks)	41
H 0 9 2	ヘルン著作の翻訳、対訳(Translations of Hearn's works)	47
H 0 9 2. 1	翻訳(Translations)	47
H 0 9 2. 2	対訳(Translations with the original)	68
H 0 9 2. 3	ドイツ語訳(German translations)	71
H 0 9 2. 4	フランス語訳(French translations)	
H 0 9 2. 5	ロシア語訳(Russian translations)	
H 0 9 2. 6	中国語訳(Chinese translations)	
H 0 9 2. 7	Basic English 訳(Translations in Basic English)	
H 0 9 2. 9	その他(Ohters)	71
H 0 9 3	ハーンの評伝(Biographies and criticisms of Hearn)	72
H 0 9 3. 1	評伝(Biographies and criticisms)	72
H 0 9 3. 2	手紙集(Collections of letters)	92
H 0 9 3. 3	写真(Photographs)	94

(x)		
H 0 9 4	単行本に含まれた論文、随筆(Essays and articles contained in books)	96
H 0 9 4. 1	創作、翻訳(Storeis and translations)	96
H 0 9 4. 2	評伝(Biographies and criticisms)	97
H 0 9 5	雑誌に含まれた論文、随筆(Essays and articles contained in periodicals)	105
H 0 9 5. 1	創作、翻訳(Original works and translations)	105
H 0 9 5. 2	評伝(Biographies and criticisms)	106
H 0 9 6	新聞に含まれた論文、記事(Essays and articles contained in newspapers)	153
H 0 9 6. 1	創作、翻訳(Original works and translations)	153
H 0 9 6. 2	評伝(Biographies and Criticisms)	153
その他	(ハーンに関連する著書)	178
参考資料	ビデオテープ CD資料	179
追補	(H 0 9 0 - H 0 9 6)	180

H 0 9 0 ヘルン関係文献総記

(Hearniana : general)

H 0 9 0 . 1 文献目録 (Bibliographies)

H 0 9 0 . 1 1 単行本 (Book of form)

Addenda to Lafcadio Hearn : a catalogue of the collection at the Howard-Tilton Memorial Library. - New Orleans : Tulane University Library, 1990.
- 96 p. ; 29 cm. 電子複写版 寄贈 : Sylvia Verdun Metzinger

Bibliotheca Hearniana : a catalogue of the first editions, collected and other editions of the works of Lafcadio Hearn, together with a selection of studies and bibliographical materials, all forming part of the collection of English books in the Library of Kyoto University of Foreign Studies.
[ラフカディオ・ハーン : 作品と参考文献] - Kyoto : The University Library of Kyoto University of Foreign Studies, 1986. - xlv, 71 p. ; 26 cm.
寄贈 : 京都外国語大学附属図書館殿

Books by and about Lafcadio Hearn, 1850-1904 / Lafcadio Hearn Library at the Embassy of Ireland, Tokyo. - Tokyo : Embassy of Ireland, 1988. - 14 p. ; 30cm. 寄贈 : アイルランド大使館殿 ショーン G. ローナン氏の署名あり

Catalogue of the Lafcadio Hearn Library at the Embassy of Ireland Tokyo / Embassy of Ireland. - Tokyo : Embassy of Ireland, 1989. - 32 p. ; 21cm.
寄贈 : アイルランド大使館殿

Catalogue of the Lafcadio Hearn Library in the Toyama High School / Toyama High School. - Toyama : Toyama High School, 1927. - 2,133 p. ; 23 cm.
[The Catalogue of the 2,435 books, formerly possessed by Hearn, but bought and donated by Mrs. Haruko Baba to the Toyama High School in 1924. The high school became the Faculty of Liberal Arts of the Toyama University according to the total change of the educational system of Japan after the war]

「ヘルン文庫」民俗関係蔵書一覧 / 小泉凡編. - 7枚 ; 37cm.
[昭和61年12月小泉凡氏が修論作成のため来館し、ヘルン文庫で調査した内容をまとめたもの]

近代文学研究叢書 第7巻 / 昭和女子大学近代文学研究室編. - 東京 : 昭和女子大学光葉会, 1957. - 514p (口絵写真8pを含めた通しページ) ; 19cm.
[この第7巻には尾崎紅葉ほか4人を取り扱っているが、最後の「小泉八雲」の部分は283ページに始まり、232pにわたり、全巻のなかば近くを占めている。I. 生涯 II. 著作年表 III. 業績 IV. 資料年表 V. 遺族、教え子、遺跡及び文庫、に分かれ、詳細を極めている著作年表と資料年表とは年代順の文献目録として最新最良のもの。金子健二氏の指導・島田勤二氏の校閲]
[The series of the study of modern literature, Vol.VII, compiled and published by the seminar of modern literature, the Shouwa Women's University, Tokyo. An up-to-date reference book for the study of Hearn, with 5 sections: I. Life, II. Chronological table of his works, III. achievements, IV. chronological table of data, V. bereaved family, disciples, scenes of storic events.]

小泉八雲コレクション国際総合目録 / 銭本健二編集. 松江 : 八雲会, 1991.
- iii, 474p ; 30cm. 小泉八雲来日百年記念 限定320部
A general catalogue of Hearn collections in Japan and overseas

- (2) [H 0 9 0. 1 1]
 小泉八雲コレクション国際総合目録 補巻 / 錢本健二編集。 - 松江 : 八雲会
 1991.3-1992.9. - 2冊 ; 30cm. - 小泉八雲来日百年記念 補巻の編者: 横山
 純子
- 小泉八雲集 / 天理図書館編。 - 天理 : 天理大学出版部, 1956. - 13枚 ; 21cm
 - (善本写真集 8) 寄贈: 天理大学図書館殿
- Lafcadio Hearn : a bibliography / compiled by Martha Howard Sisson. - Boston :
 F. W. Faxon, 1933. - 30 p. ; 21 cm. - (Bulletin of bibliography pamphlets
 ; no. 29)
- Lafcadio Hearn : a bibliography of his writings / by P. D. and Ione Perkins ;
 with an introduction by Sanki Ichikawa. - Tokyo : Published for the
 Lafcadio Hearn Memorial Committee by the Hokuseido Press, 1934.
 - xviii, 444 p. ; 26 cm. [No. 11 of the limited edition of the 200 copies,
 issued in Japan. With the autograph signature of Mr. Perkins. 200 部限定の
 うちの11番 パーキンズ氏の自署つき]
- Lafcadio Hearn : a catalogue of the collection at the how ARD-Tilton Memorila
 Library Tulane University / compiled by Ann S. Gwyn. - New Orleans : Tulane
 University Library, 1977. - vi, 60 p. ; 23 cm.
 [人文学部平田教授(元館長)がアメリカ合衆国のTulane大学へ出張の際、Tulane
 大学から寄贈されたもの]
- Lafcadio Hearn : an exhibit commemorating the centennial of his arrival in
 Japan, 1900-1991 / exhibit and catalog planned and designed by Silvia Verdun
 Metzinger. - Tulane : Special Collections Division Howard-Tilton Memorila
 Library Tulane, 1990. - [20] p. ; 22 cm. [前記に同じ]
- Lafcadio Hearn : first editions and values / checklist for collectors by
 William Targ. - Chicago : Black Archer Press, 1955. - 52 p. ; 21 cm.
- Lafcadio Hearn
 小泉八雲とその周辺 : 小泉家所蔵未公開資料展 主催: 松江市立図書館 自昭和
 62年6月20日(土)至昭和62年6月29日(月) 67枚 ; 26×37cm.
 展示資料を電子複写したもの。
 内容: 原稿類 書簡類 写真類 記録物など
- 富山大学ヘルン文庫所蔵ヘルン関係文献解説付目録=Descriptive Catalogue of the
 Hearniana in the Hearn Library of Toyama University / [平岡伴一編著].
 - 富山 : 富山大学附属図書館, 1959. - x, 92p ; 21cm.

H 0 9 0. 1 2 雑誌に含まれた論文・記事

(Bibliographical essays, treatises, articles in periodicals)

- A bibliography of Lafcadio Hearn / Martha Howard Sisson (Conclusion). - Boston
 : F. W. Faxon, 1934. - (Bulletin of bibliography and dramatic index,
 XV-4, p. 73-75) 寄贈: Perkins 氏
- Catalogue of the Lafcadio Hearn Collection in the Tenri Central Library 2-5 /
 comp. by Tadanobu Kawai. - 天理 : 天理大学図書館, 1955-1957. - 天理
 図書館報 ビブリア 第5号 [昭和30年10月] p.69-74 第6号 [昭和31年
 7月] p.57-62 第7号 [昭和31年10月] p.47-52 第8号 [昭和32年4月]
 p.53-57 [ハーン文庫の目録。1を欠く] 寄贈: 天理図書館殿
- A chronological bibliography of studies and book reviews on Lafcadio Hearn
 written in English 1930-1982 : chiefly based on "Annual bibliography of
 English language and literature" (Modern Humanities Research Association)

and "Lafcadio Hearn --a supplement to Perkins and a checklist of his writings" (U. C. L. A., 1972) / Kenji Zenimoto. - 松江 : 島根大学教育学部英語教育研究室, 1985.3. - p.53-64 ; 21 cm. (cover : 27cm). - 島根英語教育第2号 別刷

Hearn Bibliography その他 / 市河三喜. - 東京 : 開隆堂, 1933. - p. 2 ; 26cm. - 海竜 第3号〔昭和8年(1933)10月〕より [「英語研究」の「八雲書誌」やパーキンスの書誌に関係していた筆者の苦心談] 新聞切抜帳1 p.35

ヘルン文献誌成る!. - 東京 : 北星堂, 1934. - p.8 ; 21cm. - The Pole Star Monthly. Vol. V, No. 4〔昭和9年(1934)5月〕より 新聞切抜帳1 p.38

ヘルン文庫について / 大西忠雄著. - 天理 : 天理大学図書館, 1956. - p.29-30. ; 21cm. - 天理図書館報ビブリア 第7号(昭和31年)より [同館寄贈。同館所蔵のハーン文庫の特徴を説明したもの]

ヘルン文庫所蔵ハーン著作一覧=A list of Lafcadio Hearn's works, with detailed descriptions of the contents of the work / 平田純著. - 富山 : 富山大学人文学部, 1986. - p.73-126 ; 26cm. - 富山大学人文学部紀要 第11号〔1986年3月〕抜刷

ヘルン文庫所蔵ヘルン関連文献目録 / 平田純著. - 富山 : 富山大学人文学部, 1989. - p.201-283 ; 26cm. - 富山大学人文学部紀要 第15号(平成元年(1989)3月)より

ヘルン書誌学者の講演. - 東京 : 研究社, 1936. - 英語青年 第75巻第6号〔昭和11年(1936)4月〕より 新聞切抜帳1 p.55 [Harper's Magazineの主筆が Some Chinese ghostsを一部 Chamberlainに送った。彼はこの書をDixon に、Dixon は Perkinsにゆづった]

イギリスの総合誌・書評誌1880-1910にみられる日本関係記事 / 錢本健二著. - 東京 : 研究社, 1986. - p.49-65 ; 27 cm. - 英語教育と英語研究 第3号1986年3月のより 電子複写

小泉八雲誌 : A Lafcadio Hearn bibliography. 1-17 / 市河三喜・北村常夫編 - 東京 : 研究社, 1933-35. - 英語研究 第26巻1号~第27巻第11号〔昭和8年(1933)4月~昭和10年(1935)2月〕より [内容は年代順で、明治23年(1890)発表のものから昭和8年(1933)発表のものまでを収めている。項目数68] [A bibliography of the books and articles about Hearn, compiled by Dr. S. Ichikawa and Mr. T. Kitamura, published in installments in the magazine "The Study English" Eigo Kenkyuu, Tokyo]

ラフカディオ・ハーン文庫の分類法について / 河合忠信著. - 天理 : 天理大学図書館, 1955. - p. 45-48 ; 21 cm. - 天理図書館報ビブリア 第3号〔昭和30年3月〕より 寄贈 : 天理図書館殿

Lafcadio Hearn as seen by an American bibliographer / P. D. Perkins. - 東京 : 英語青年社, 1933. - p.2 ; 26cm. - 英語青年 第69巻第11号(昭和8年9月)より [ハーンが最初に出した本は「クレオパトラの一夜」の翻訳であると言われているが、その3年前に彼の友人ルケットがハーンの一文を自署 La Nouvelle Atalaの中に入れて出したので、これがハーンの手書き物が本の形で世に出た最初のものとなる] [Published in the magazine "The rising generation" (Eigo seinen), Tokyo]

日本におけるラフカディオ・ハーン資料年表 : 主として昭和23年から昭和48年7月まで / 速川和男著. - 大阪 : 日本比較文学会, 1973.10. - p.78-102 ; 27cm. - 比較文学 第16巻(1973)別刷

西田千太郎蔵書について : ヘルン寄贈書のことにもふれて / 池橋達雄著. - 松江 : 島根県立松江北高等学校図書館, 1982.3. - p.37-52 ; 26cm.

- (4) [H090.12]
 ー 研究紀要：島根県立松江北高等学校 第13・14合併号より
- ペアキンズのヘルン講演. ー 東京 : 研究社, 1935. ー 英語青年 第74巻第1号
 [昭和10年(1935)12月]より [神戸におけるハーン講演] 新聞切抜帳 1, p. 55
- 島根大学附属図書館蔵小泉八雲書翰 (原文) [目録]. ー 8p ; 26cm. 電子複写
 [島根大学附属図書館よりリストのコピーをもらったもの]
- 新宿歴史博物館 (東京都新宿区立) 常設展示図録. ー 東京 : 新宿歴史博物館,
 1989. ー 127p ; 26cm. [87 ページに「小泉八雲」の紹介がある]
- 新宿ゆかりの明治の文豪三人展「漱石・八雲・逍遙」開館記念特別展. ー 東京 :
 新宿歴史博物館, 1989. ー 95p ; 26cm.
 内容: p. 31-50 にかけて「小泉八雲」が紹介されている。八雲新宿マップ、小泉八雲と新宿、生活と創造、創作者八雲、教育者八雲の足跡、小泉八雲のもとからはばたいた人々、など
- ・小泉八雲と新宿 (速川和男) 早稲田時代の小泉八雲：八雲と逍遙との交流をめぐって (関田かおる)
- 天理図書館蔵ハーン文庫目録 / 天理図書館編. ー 天理 : 天理大学出版部,
 1978-1982. ー 1冊 : 23cm. ー 編者: 1 林正一 2-3 村本正人 天理図書館報ビブリア第 69, 72, 76 号抜刷

H090.2 原稿と自筆の手紙

(MSS and autograph letters)

- チェーンバレンからハーンへの手紙1通 1894年(明27)9月18日 宮ノ下発信。4p.
 [ハーンの手紙に答えて、「神戸クロニクス」入社に賛成したもの。More letters from B. H. Chamberlain to Hearn, p. 151に再録。] [A letter from B. H. Chamberlain to Hearn, dated Sept. 18th, 1894. 4pages. In this letter Chamberlain answers to Hearn's letter and approves of his idea of entering "The Kobe Chronicle."]
- ハーンからチェーンバレンへの手紙1通 1894年(明27)9月22日 熊本発信。8ページ。
 [The Japanese letters of Lafcadio Hearn, 1910に再録されている。なお、本大学ヘルン文庫のヘルン蔵書の中に入れられてある the writings of Lafcadio Hearn, large-paper edition, in 16 volsの第16巻(Japanese letters)(1922)の p. 262 - p. 265 にも再録。ただ原文の中の個人についての批評やはげしい表現はカットされている。内容は御下賜の杯のことから始まって、神戸転住がきまったとを知らせて、向こうにも好いことはないであろうが、土地が変わるだけでも気分がホットするという。次に「東の国から」(Of of the East)の原稿発送を知らせ、雨森の助力とその英語の力とをほめたたえている。次にアトランティック(Atlantic)誌の近状を批評して、俗物どもの手中にはいつてしまったのではないかといひ、合衆国全体の一流誌をこきおろしている。なお、これら手紙は、小泉セツ子夫人の用いていた「ろざし」の着物地で表現されている。]
 [A letter from Hearn to B. H. Chamberlain, dated Sept. 22, 1894, 8pages. In this long letter Hearn speaks about various topics. First Hearn talks about the Imperial cup, recently given him, then lets Chamberlain know that his moving to Kobe is decided, saying that only the change of the place is relieving to him. He then criticizes the recent condition of the magazine "Atlantic" and other leading ones of U. S.]
- ハーンからチェーンバレンへの手紙1通 日付なし。3p.
 [The Japanese letters of Lafcadio Hearn, 1910年再録されている。The writings of Lafcadio Hearn, large-paper edition, in 16 volsの第16巻(Japanese letters)(1922)のNo. 258-259 にも再録されている。内容は、前の手紙の中の誤りをわびていると同時に、Kipling のballadをほとんどみな暗誦したとい

い、その詩の中における人物がみな違った性格を持っているという。]

[A letter from Hearn to B. H. Chamberlain. Has no date. 3 pages. In this letter Hearn apologizes for his mistake in his preceding letter and then says, that he learned heart almost all the ballads of Kipling.]

ハーンから茨木清次郎氏への手紙1通 1902(明35)7月8日東京西大久保発信。2ページ。[当時ロンドンで留学中の茨木氏へあてた手紙。「あなたの手紙で私はロンドンで送った私の少年時代を思い出した。そこでは私は金持ちであった—また貧乏であった。14から15の時私はウェストランドに住んでいた。そしていい少年たちと遊んだ。17才の時私はロンドンでほんとうに貧乏になり、繁栄をとり逃がしていた。当時私は古いブラックフライア—橋の近くに住んでいた。そしてテムズ川の堤防のそばを長いあいだ歩きながらさびしい日いく夜をすごした。]

[A letter from Hearn to S(eijiro) Ibaraki. (cf. the frontispiece of this catalogue.) Unpublished. With the date stamp of July 8th, 1902, sent from Nishiokubo, Tokyo to London. 2 pages. In this letter Hearn recollects his boyhood, spent in London. At that time he was rich—he was also poor. This is a letter full of his affection for his former pupil Ibaraki.]

小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第1巻 / 八雲会編集。— 東京 : 雄松堂出版, 1990.8. p ; 27cm.
内容: 第1巻 草稿 解説 梶谷泰之、染村絢子

小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第2巻 / 八雲会編集。— 東京 : 雄松堂出版, 1991.3. - 336p ; 27cm.
内容: 未刊行書簡 編集: 銭本健二ほか

小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第3巻 / 八雲会編集。— 東京 : 雄松堂出版, 1992. — p ; 27cm.
内容: ノート類 解説: 梶谷泰之、染村絢子、銭本健二

(S e m i .) Illustrations. I-Haru-Zemi II—"Shinne-Shinne." III-Aburazemi IV-Higurashi. V-Minminzemi. VI-Tsuku-tsuku-boshi. VII-Mugikari-zemi. VIII-Tsurigane-Semi. IX-The Phantom. [上のよう書いた封筒の中に入れた原稿10枚。とりのこ紙に書いてある。封筒と中味とは別。次にその中味を記述する。]

1. 第1枚にThe Story of Kwairyoと書いてある3枚の原稿は1組をなしている。第1枚にLafcadio Hearn Tokyo, Japan. Dec. 20. 1902.とある。2枚目にKwairyo was edified by this announcement of good resolve ; and he said to the aruji:-----とあり、kwaidan 中のRokuro-Kubi の一部分(Large-Paper Edition のXI巻 p.212) であるが、印刷されたものとは字句が違う。3枚目にはheadless necks did not appear to have been cut ---とあり、同じくRokurokubiの一部分(L. -P. E. のXI巻p.234-214)であり、印刷されたものとは違うので、これらは草稿と思われる。この3枚とも紙がしわだらけであって、一度捨てられたものかと思われる。

2. 10, 11, 12 とページづけのある3枚はthe dream-eater Bakuのことを書いたものの断片であるが、Kotto 中のThe eater of dreams とは違っている。

—"From the dream of an immortal personality, an indissoluble Self, an eternally unchanging Soul, deliver us, blessed Goblin! — devour the hollow dream! 以上の文句に始まって、「進行をことにする我々の同胞をきらい、さげすみ、苦しめ、または裏切ることを教えるあらゆる教養の夢から我々を救え、ばく(獺)よ! 黒い迷想をくえ! というような「ばく」に対する祈りにつづいて、「もし『ばく』に会えるなら、そう願いをしたいけれども、今では「ばく」の画すら見出すことがむづかしい。今神々の姿を消す時である。」と結んでいる。Tokyo, Japan. Sept. 2, 1901. Lafcadio Hearn と署名してある。

3. 「21」とページづけのある1枚の始めは、What kind of comb would have been results? And their hairpins — their ornaments? — their sandals, or whatever else they had on?-----という文句に始まって、「それともTs'ingは彼女の着物からただ抜け出て、せみの抜けがらのように着物を地上に残したのであろうか? そのテキストのどれも着物のことは何も書いてないから、御返事できない。しかしその題目は仏教の立場から見ると全くの筋違いだ。教義的にみて問題となりうることは、あなたがTs'ingの人物をこんな風にいわれるだろうと私が思う、そのこと

(6) [H 0 9 0. 2]

が問題だ。」で終わっている。"A question in the Zen texts"の中の美少女TS'ing に関係があるのだろう。「23」とページづけのある1枚には「あなたに何の罪もないのにあなたに離縁状をつけて返すのは恥ずかしいことだ。あなたの希望についてあなたが何か立派な理由を話してくれるなら離縁状も書こう。さもないかぎりあなたを離縁できない、我が家の名誉にかかわるから。」という意味の英文が書いてある。なお、「12」とページづけのある1枚には大小二つの鐘のことが4行書いてある。そのほか、「御束帯」「冠」「下重ね」などの日本語に英語で説明した鉛筆書きが見られる。最後に残った1枚には Thy trembling arum I pressed に始まる2節の詩が書いてある。

[Some fragments of Hearn's MSS. 10 sheets in an envelope, on which are written the words above mentioned:(Semi) Illustrations. etc. The contents are different from the words, written on the envelope. 3 sheets out of the 10 are entitled as "The Story of Kwairyo" and are a fragment of "Rokuro-kubi" in "Kwaidan." Other 3 sheets are a fragment concerning the dream-eater Baku. The remaining 4 sheets are respectively a fragment of some story or other.]

ヤングからハーンへの手紙1通 1894年(明27)9月11日 神戸発信。4p.

[ハーンの手紙に答えて、「神戸クロニクル」入社条件と将来の見込みとを述べたもの More letters from Chamberlain to Hearn, p.152に再録。]

[A letter from Robert Young to Hearn, dated Koube, Sept. 11th, 1894. 4 pages. In this letter Young answers to Hearn's letter, speaking about the terms for Hearn's possible entrance in to the paper "Koube Chronicle" and the prospects of his future in the same.]

H 0 9 0. 3 いろいろ (Miscellanea)

馬場はる刀自・胸像建立記念。 - 富山 : 馬場はるさんの胸像をつくる会, 1995.
- [14p]; 25cm. - 「富山写真館・万華鏡」第47号を1部改訂し、除幕式に配布された資料。
内容: ヘルン文庫 ヘルン文庫: 南日恒太郎と馬場はる(文・平田純) 馬場はる(文・浅生幸子) 旧制富山高等学校(文・高瀬重雄) 岩瀬・北前船資本の変遷(文・高瀬保) 聞き書き万華鏡: ヘルン文庫-おばあちゃま追想(語り・西永弘)

馬場はる刀自を讃えて。 - 富山 : 馬場はるさんの胸像をつくる会, 1995.

- [6p]; 25cm.

内容: 高田秀穂氏、米田寿吉氏、犬島肇氏、横田力氏、本田弘氏らの解説文を掲載

B. H. Chamberlain 文庫目録 / 愛知教育大学附属図書館編。 - 岡崎 : 愛知教育大学附属図書館, 1990. - 174p; 21cm. 寄贈: 愛知教育大学附属図書館殿
[56ページにハーン関係の著書目録, 143, 173ページにハーンの本簡目録あり]

The complete Lafcadio Hearn lectures. [Specimen pages] / Hokuseido Press.

- Tokyo: Hokuseido, 1934. - 12 p.; 23 cm.

母セツ死去による弔意ハガキ 昭和7年2月20日付け 西大久保265の住所で小泉一雄、稲垣巖 小泉清の連名 富山高等学校宛 新聞切抜帳2 p.54

ヘルン文庫移譲反対のはがき文〔投書〕昭和25年2月5日(1950)

[ヘルン文庫の事ですが、これは是非とも富山に存置する様御尽力下され度、これは富山の唯一の而も最後の記念品ですから・・・富山否北陸としては重要な文献ですから是非とも適当な措置を願います・・・] 新聞切抜帳2 p.3

ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト 第22回 とき 1988.9.25 ところ 松江市総合文化センター 主催: 松江市等. 8p; 26cm.

Hokuseido publications of the works of Lafcadio Hearn and Glenn W. Shaw. [Spe-

[H090.3]

(7)

cimen pages] / Hokuseido Press. - Tokyo : Hokuseido, 1929. - 30 p. ; 19 cm
寄贈：西崎一郎氏

小泉一雄氏から中土義敬氏への手紙（?年10月12日）[「十四日当方差支無之是非御光
来被下度」]

小泉八雲 : Lafcadio Hearn. - 焼津 : 焼津市教育委員会, 1987.
- 10p ; 21cm.

[焼津市教育委員会発行のハーンのパンフレット] 寄贈：染村絢子氏

小泉八雲五十年祭記念はがき 昭和29年(1954)

小泉八雲五十年祭ポスター 松江市 昭和29年(1954)

小泉八雲五十年祭記念させる展示品目録 1954 昭和29年9月25-27日
松江市公会堂。主催：同祭記念委員会

小泉八雲グラビュア印刷 / 鈴木朱雀作. - [昭和9年(1934)帝展出品]

小泉八雲記念会[松江ヘルン記念館建設寄附金募集状] - 昭和8年(1933)1月
新聞切抜帳1 p.12-15

小泉八雲記念会実行委員[小泉八雲記念館落成の報告状と寄付者芳名] 昭和9年(1934)
2月 新聞切抜帳1、36-37ページ

小泉八雲記念会から蜷川富山高等学校長への手紙 昭和7年12月(1932) 資金募集状
(昭和8年1月(1933)と小泉八雲先生遺品目録とを添えて。[内容は印刷したもの])

小泉八雲記念碑(写真)[上野帝国図書館前の記念碑]. - 東京 : 書物展望社,
1935.9 - 書物展望 第5巻9号 口絵より

小泉八雲父子英語練習帳 : 幼児の英語教育のために / 錢本健二編. - 改訂版
- 松江 : 八雲会, 1991. - iv, 132p ; 26cm. - 初版1990

小泉八雲来日百年記念特別展 平成2年8月1日(水) - 9月16日(日) 主催/小泉
八雲来日百年記念事業実行委員会 後援/八雲会、島根大学、島根県立図書館
内容：へるんを偲ぶ遺愛の品々(小泉八雲記念館) へるんが讀えた明治の松江(松
江郷土館) へるん文学のルーツ(松江市立図書館)等 10p ; 26cm.

小泉八雲先生(逝去満二十五年を記念す) - [東京] : [第一書房], 1929.
48p. ; 23cm. - 小泉八雲全集第二版内容見本 寄贈：西崎一郎氏

小泉八雲先生旧居の記(附伝記) / 根岸啓二著. - 1枚刷。折りたたみ。第22版
年月不詳 昭和29年ころ

「小泉八雲先生未亡人節子様ご逝去」のお知らせはがき 北星堂主 中土義敬氏よりの
葉書 富山高等学校小泉八雲文庫宛 昭和7年2月19日付け 告別式は20日午
後1時より2時まで(仏式)で西大久保の小泉家にてとある。
新聞切抜帳2、54ページ

小泉八雲展〔パンフレット〕 会期 昭和49年5月10日～5月26日 場所 明治
村内 三重県庁舎二階 主催 財団法人博物館明治村. - 2p ; 30cm.
[小泉八雲の家紋・青鷲 出展目録]

ワガタイ・ハーン

小泉八雲展 : 日本を描いた異色のボヘミアン 会期 1965年9月18日-29日
会場 西武百貨店7階SSSホール / 主催・日本経済新聞社. - 19p ; 26cm.
内容：小泉八雲について(矢野峰人) ハーンの足跡：さすらいの人-小泉八雲
ハーン年譜 ハーンの著作 出品目録

- (8) [H 0 9 0 . 3]
ラフカディオ・ハーン小泉八雲展 : 開館一周年記念特別展. - 焼津 : 焼津市・焼津市教育委員会・小泉八雲顕彰会, 1986. - 34p ; 26cm. 寄贈: 染村絢子氏
- 小泉八雲「東京からの手紙」の校正刷 / 大谷正信稿. - 3つづり 袋入り
大正9年1920年頃. - 寄贈; 小松原隆二氏
- 小泉八雲と焼津 : Lafcadio Hearn at Yaizu / 文・斯波敦、北山宏明. - 焼津 : 焼津市教育委員会・焼津八雲顕彰会, 1987復刻改訂. - 見開き帯パンフレット
寄贈: 染村絢子氏
- 小泉八雲全集家庭版内容見本. - 東京 : 第一書房, 1936. - 28p ; 19cm.
- 郷土の先賢「南日恒太郎先生をしのぶ集い」 : 独学の英文学者・旧制富山高校の初代校長 平成5年11月8日(月) 富山市民プラザ / 主催: 富山市民大学学友会・富山市教育委員会. - 6p ; 21 × 30cm 寄贈: 能見一氏
[「南日恒太郎の偉業をたたえて」の記事中に「富山大学に至宝・ヘルン文庫」がある]
- Lafcadio Hearn. [写真] (英語青年 第96巻第9号、p.1, 1950 [昭和25.6]
[「この写真は1889年、即ちHearn 来朝の前年に写されたもので、横顔の多い彼の肖像としては珍らしく左半面に見えるものである。Gould の著書からとったもの]
- Lafcadio Hearn Contes[ハーンがノート類に書き留めたクレオール語] - 72枚 ; 26cm
[ハーンの手紙を電子複写したもの] 寄贈: 平川祐弘氏
- lafcadio Hearn Memorial Museum. Matsue, Japan. - 4 p. ; 26 cm.
- ラフカディオ・ハーンの手紙目録原稿 / 南日恒太郎筆 3つづり。洋書の分と和書の分とフランス書の分。フランス書の分(Frenche Books)には「小松原隆二氏寄贈 富山高等学校図書・13565 [番号]・昭和15.6.14日」の印がある。袋入り
- ラフカディオ・ハーン来日100年記念 ラフカディオ・ハーン・ライブラリー・アイルランド開設, 1890-1990. - 東京 : 日本・アイルランド ラフカディオ・ハーン交流協会, 1990. 42p ; 26cm. 寄贈: 小泉時氏
- [Letter to a pagan by Lafcadio Hearn] 26 × 22 cm. [A hand-bill of the book, which contained 28 letters to Countess Annetta Halliday Antona.]
[1933 given by Mr. Perkins.] [「異端者への手紙」] 原本がアメリカで出たとこの宣伝ビラにある。寄贈: パーキンス氏。
- [少年期を過ごしたアイルランド、ダブリン市の住居に掲げられた標識の複製]
円盤に書かれた内容: Dublin and East Tourism L A F C A D I O H E A R N
小泉八雲, 1850-1904 Famous for his writings on Japan, Lived here for most of his boyhood. 寄贈: アイルランド大使館殿
- 落合貞三郎氏から西崎一郎氏へあてた葉書 昭和9年10月19日(1934)づけ
[小泉先生の完全版の終了、実に御骨折に預かりまして、感謝致して居ります。
・・・今日は午後、定展を見物しました。日本画に小泉八雲先生像があります。しかし先生を知っていた眼から見ると、頗る似てないものです] 新聞切抜帳1 p.46
- 田部隆次氏告別式のお礼ハガキ 昭和32年12月23日付け 住所東京西大久保 喪主田部三郎氏より 富山大学ヘルン文庫宛 新聞切抜帳2 p.55
- 八雲図書館設計図 / 山口蚊象設計 袋入り。内容: 小泉八雲図書館新築工事仕様書 1冊。設計図13枚 1934(昭和9年)

H091 ヘルンの著作 (Works of Hearn)

Appendices for the writings of Lafcadio Hearn / edited by Kenji Zenimoto.

Kyoto : Rinsen Book , 1991. 32 p. ; 21 cm.

[英文小泉八雲全集補遺「書簡集正誤及び補訂」]

Contents:- Appendix I: Table of corrected datings of Hearn's letters (in the volumes, XIV, XV and XVI) Table of errata/corrigenda. Appendix II:

Abridged parts in letters. Appendix III: Checklist of autograph letters.

The selected writings of Lafcadio Hearn / edited by Henry Goodman ; with an introductory by Malcolm Cowley. [New York] : Carol Publishing , 1991.

- 566 p. ; 21 cm.

- Contents: Lafcadio Hearn by Malcolm Cowley. Editor's introduction.
- Kwaidan < The story of Mimi-Nashi-Hoichi. Oshidori. The story of O-Tei. Ubazakura. Diplomacy. Of a mirror and a bell. Jikininki. Mujina. Rokuro-Kubi. A dead secret. Yuki-Onna. The story of Aoyagi. Jiu-Roku-Zakura. The dream of Akinosuke. Riki-Baka. Hi-Mawari. Horai. >
- Some Chinese ghosts <The soul of the Great bell. The story of Mining-Y. The legend of Tchi-Niu. The return of Yen-Tchin-King. The tradition of Tea-Plant. The tale of the Porcelain-God. >
- Chita: a memory of last island.
- American sketches < Cincinnati--Gibbeted. Levee life. Violent Cremation. Dolly. Some pictures of poverty. > New Orleans <A creole type. The dawn of the Carnival. Creole servant girls. Why crabs are boiled alive. Voices of dawn. The last of the Vopudoos. New Orleans superstitions. > Caribbean sketches. <'Ti canotie. La grande anse. Les porteuses. Les blanchesseuses. >
- Japan: Stories of Japanese life. <At a railway station. The Nun of the temple of Amida. Haru. Kimiko. The red bridal. The case of O-dai. The story of O-Kame. Common sense. > Travel. <May first day in the Orient. The dream of a Summer day. Fuji-no-Yama. > Folk culture. <A woman's diary. >
- Out of the street. The romance of the Milky Way. >
- Essays. <Of the eternal feminine. A glimpse of Tendencies. Industrial denger. Weird tales. <The mirror Maiden. The reconciliation. Story of a Tengu. Of a promise kept. Sources. Bibliography. >
- 注 22 ページをも見よ

H091.11 アメリカ時代 (works of America)

An American miscellany. Vol. 1 / by Lafcadio Hearn ; articles and stories now first collected by Albert Mordell. - New York : Dodd, 1924. - lxxix, 227 p. ; 23 cm.

An American miscellany. Vol. 2 / by Lafcadio Hearn ; articles and stories now first collected by Albert Mordell. - New York : Dodd, 1924. - vii, 265 p. ; 23 cm.

Barbarous barbers and other stories / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1939. - viii, 319 p. ; 20 cm.
寄贈：中土義敬氏

Buying Christmas toys and other essays / Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1939. - 166 p. ; 20 cm. 0

Chita : a memory of last island / Lafcadio Hearn. - New York : Harper & Brothers, 1917. - 203 p. ; 2 cm. [copyright 1889]
Contents:- Pt. 1. The legend of L'île Derniere. Pt. 2. Out of the sea's

strenght. Pt. 3. The shadow of the tide.

Chita : a memory of last island / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - 204 p. ; 20. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) - Original imprint. New York : Harper & Brothers, 1889. - Reprint of the Tenri Central Library, book copy no. 72.

- Contents. : Pt. I. The legend of L'Île dernière. Pt. II. Out of the sea's strenght. Pt. III. The shadow of the tide.

Facts and fancies / Lafcadio Hearn ; compiled with notes by R. Tanabe. - Tokyo : Hokuseido, 1929. - 206 p. ; 20 cm.

- Contents:- Humble fare and high living in Ancient Rome. The Piper of Hamelin. Women of the Sword. Fair women and dark women. Giants and Dwarfs--Pigmies and monsters. Notes on the utilization of human remains. The burning of the Tombstones. The little Red Kitten. The devil's Carbuncle. The garden of paradise. St. Brandan's Christmas. A lily in the mouth of hell. The poisoners.
- Appendix. --The Nun Ryonen. Notes.
[An article written in Japan is added to the 14, written in American days]

Fantastics and other fancies / by Lafcadio Hearn ; edited by Charles Woodward Hutson. - Boston and New York : Houghton, 1914. - ix, 241 p. ; 19 cm.

- Contents:- Introduction.
- In the "item" --- All in White, Sept. 14, 1879. The Little red kitten, Sept. 24, 1879. The night of all Saints, Nov. 1, 1879. The Devil's Carbuncle, Nov. 2, 1879. Les Coulisses, Dec. 6, 1879. The stranger, April 17, 1880. Y Porque? April 17, 1880. A dream of Kites, June 18, 1880. Hereditary memories, July 22, 1880. The ghostly kiss, July 24, 1880. The black cupid, July 29, 1880. When I was a flower, Aug. 13, 1880. Metempsychosis, Sept. 7, 1880. The undying one, Sept. 18, 1880. The Vision of the dead Cleole, Sept. 25, 1880. The name on the stone, Oct. 9, 1880. Aphrodite and the King's prisoner, Oct. 12, 1880. The fountain of Gold, Oct. 15, 1880. A dead love, Oct. 21, 1880. At the Cemetery, Nov. 1, 1880. "Aida" Jan. 17, 1881. El Vomito, March 21, 1881. The Idyl of a French Snuff-box, April 5, 1881. Spring phantoms, April 21, 1881. A Kiss fantastical, June 8, 1881. The bird and the girl, June 14, 1881. The tale of a fan, July 1, 1881. The legend, July 21, 1881. The gipsy's story, Aug. 18, 1881. The One Pill-box, Oct. 12, 1881. ---
- In the "Times-Democrat" --- A river reverie, May 2, 1882. "His heart is old" May 7, 1882. MDCCCLIII, May 21, 1882. Hiouen-thsang, June 25, 1882. L'amour apres la mort, April 6, 1884. The post-office, Oct. 19, 1884.

Gibbeted : execution of a youthful murderer / Lafcadio Hearn ; with a foreword by P. D. Perkins. Los Angeles : John Murray, 1933. 32 p. ; 21 cm.
[No. 50 of the 200 copies of the limited edition. With the autograph signature of Mr. Perkins.] [200 部限定の50番。パーキンズ氏の自署つき。]

"Gombo Zhebes" : little dictionary of Creole proverbs, selected from six Creole dialects : translated into French and into English, with notes, complete index to subjects and some brief remarks upon the Creole idioms of Louisiana / by Lafcadio Hearn. - New York : Will H. Coleman, 1885. - 42 p. ; 22 cm.

- Contents:- Introduction. Creole bibliography. Little dictionary of Creole proverbs. Index to various dialects. Index to subjects of proverbs.

"Gombo Zhebes" : little dictionary of Creole proverbs, selected from six Creole dialects : translated into French and into English, with notes, complete index to subjects and some brief remarks upon the Creole idioms of Louisiana / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - 42 p. ; 22cm. - (Selected work of Lafcadio Hearn's first edition) Original imprint: New York : Will H. Coleman, 1885.

- Contents.: Introduction. Creole bibliography. Little dictionary of Creole proverbs. Index to various dialects. Index to subjects of proverbs.

Lafcadio Hearn : selected writings, 1872-1877 / edited and compiled by Wm. S. Johnson. - Indianapolis : Woodruff, 1979. - x, 226 p. ; 24 cm.

限定出版 : 7 0 0 部中の 1 2 8 番と 1 6 0 番目

- Contents.: Introduction. The last of the horse. Sleeping on the Bricks. Origin of words. The poetical and philosophical suicide. Russian Imperial marriages. The book of Enoch. Spanish brutality. The last of the Arabs. The Spanish race--their Cruelty. Ultima thule. Animal worship. Harem life. Wicked French Marshals. Medical science. Spiritualism. Rat row ranches. Skulls and skeletons. Tantalus in a street car. Terrible winter. Sculpture in the exposition beautiful busts. The recent zoological romance. Curious cognomens. Cunning confectioners. Trumps. Have we a genuine Murillo among us? Cigars. Mardigras, shrove Tuesday--customs and history. The astrologer's books. Sunday enjoyments. The Queen City club-house. The Queen City club-house: opening today. A slaughter-house story. Horror on Allison street. Grand Opera-House. Centennial suicides. Coins and coin gatherers. An hour with a naturalist. Shakespeare. Early Likenesses. Climatic curiosities. Signs of the Times. Carving in the convents. Beluga catodon. Souvenirs of the author of "Endymion" Embalming a corpse. Edgar Allan Poe. A glimpse of the impressionists. The manufacture of yellow and rockingham ware in Cincinnati. Shakespeare. Early edition. The Music of the masses. Our Artists. Woman's eyes. The missing link. The early writings of Lafcadio Hearn: a bibliography.

Lafcadio Hearn's Creole cook book : with the addition of a collection of drawing and writings by Lafcadio Hearn during his sojourn in New Orleans from 1877 to 1887 : a literary and culinary adventure. - Gretna : Pelican Publishing, 1990. - 268 p. ; 20 cm. - First printing, 1967 ISBN:0882897888

Leaves from the diary of an impressionist ; Creole sketches, and Some Chinese ghosts / by Lafcadio Hearn. - Boston : Houghton, 1923. - xxix, 298 p. ; 21 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen vol. ; v. 1)

口絵 : "The Ocklawaha River."あり。

- Contents:- Leaves from the diary of an impressionist < Introduction. Floridian reveries -- To the fountain of Youth. A tropical intermezzo. A Name in the Plaza. Vultur Aura.--
- Creole papers < Quaint New Orleans and its habitants. Creole women in the French West Indies. >
- Arabesques < Arabian women. Rabyah's ride>
- Creole sketches < Introduction. The Glamour of New Orleans. La Douane. The city of dreams. A Creole type. A Visit to New Orleans. Complaint of Creole boarding-house-keeper. The boarder's reply. Why crabs are boiled alive. A Creole journal. The restless boarder. Furnished rooms. Mexican coins. Louisiana people not gay. A Creole courtyard. The Creole character. A Kentucky colonel renting rooms. The dawn of the carnival. A Mexican's gratitude Attention! Azim! An ultra-canal talk. A Creole song. The Grandissimes. A visitor. A Creole mystery. Eleusis. Latin and Anglo-Saxon. A Visitor. Creole servant girls. Home. Old-fashioned houses. Some positive opinions. Voices of dawn. >
- Some chinese ghosts. < Preface. The soul of the great bell. The Story of ming-Y. The legend of Tchi-Niu. The return of Yen-Tchin-King. The tradition of the tea-plant. The tale of the Porcelain-God. Glosary.>

Leaves from the diary of an impressionist ; Creole sketches, and Some Chinese ghosts / by Lafcadio Hearn. - Kyoto : Rinsen Book, 1988. - xxix, 298 p. ; 23cm. - (The writings of Lafcadio Hearn : large paper edition, in seven vol. ; v. 1) - Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. ISBN:4653016933 見返し紙に青鷺の家紋と「小泉節」の筆による署名と印刻

(12)

[H 0 9 1. 1 1]

の印刷があり。またタイトルページには切り貼りの絵(The Ocklawaha river) あり
Contents:-内容は上記の図書と同じ

Leaves from the diary of an impressionist : early writings / by Lafcadio Hearn
; with an introduction by Ferris Greenslet. - Boston and New York :
Houghton, 1911. - 179 p. ; 19 cm.

- Contents:- Introduction.
- Floridian reveries < To the fountain of youth. A tropical intermezzo.
A name in the plaza. Vultur aura. >
- Creole papers < Quaint New Orleans and its habitants. Creole women in
the French West Indies. >
- Araesques < Arabian women. Rabyah's last ride >

Literary essays / Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. Tokyo :
Hokuseido, 1939. - 209 p. ; 20 cm.

The new radiance and other scientific sketches / Lafcadio Hearn ; edited by
Ichiro Nishizaki. Tokyo : Hokuseido, 1939 238 p. ; 20 cm.

Occidental gleanings. Vol. 1-2 / Lafcadio Hearn ; sketches and essays now
first collected by Albert Mordell. - London : Heinemann, 1925 275 p. ;
23 cm.

Oriental articles / Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. Tokyo :
Hokuseido, 1939. - 260 p. ; 20 cm.

Some Chinese ghosts / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1982.
- iv, 185 p. ; 19 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition)
Original imprint: Boston : Roberts Brothers, 1887 Title page: 「龍公図案」
の印刷あり。
Contents. : Preface. I. The soul of the Great Bell. II. The Story of Ming-Y.
III. The legend of Tchi-Niu. IV. The return of Yen-Tchin-King. V. The tradi-
tion of the tea-plant. VI. The tale of the Porcelain-God. Appendix. Notes.
Glossary.

Stray leaves from strange literature / by Lafcadio Hearn. Boston and New York
: Houghton, c1884. 225 p. ; 18 cm.

Contents:- Explanatory. Bibliography.

- Stray leaves < The Book of Thoth : from an Egyptian papyrus. >

Stray leaves from strange literature and fantastics and other fancies / by
Lafcadio Hearn. - Boston : Houghton, 1923. - xix, 385 p. ; 21 cm. - (The
writings of Lafcadio Hearn, in sixteen vol. ; v. 2) - 口絵 : A dock scene
in New Orleans.

- Contents:- Stray leaves from strange literature < Explanatory. Stray
leaves--The book of thoth(From an Egyptian papyrus) The fountain maiden
(a legend of the South Pacific) The bird wife(An esquimau tradition) >
- Tales from Indian and Buddhist literature < The making of Tilottama. The
Brahman and his Brahmani. Bakawali. Natalika. The Corpse-Demon. The Lion.
The legend of the monster misfortune. A parable Buddhistic. Pundari.
Yamaraja. The Lotus of faith. >
- Runes from the Kalewala < The magical words. The first Musician. The
Healing of Wainamoinen. >
- Stories of Moslem lands < Boutimar, the dove. The son of a Robber.
A legend of love. The King's justice. >
- Traditions retold from the Talmud. < A legend of Rabba. The Mockers.
Esther's choice. The dispute in the Halacha. Rabbi Yochanan ben Zachai.
A tradition of titu. Bibliography. >
- Fantasics and other fancies. Introduction, by Charles Woodward Hutson.
In the "Item" < All in white, Sept. 14, 1879. The little red kitten, Sept.

- 24, 1879. The devil's carbuncle, Nov. 2, 1879. Les Coulisses, Dec. at, 1879. The Stranger, April 17, 1880. A Dream of Kites, June 18, 1880. Y Porque? April 17, 1880. Hereditary memories, July 22, 1880. The ghostly kiss, July 24, 1880. The black cupid, July 29, 1880. When I was a flower 1880. Metempsychosis, September 7, 1880. The undying one, Sept. 18, 1880. The vision of the dead Creole, September 25, 1880. The name on the stone, Oct. 9, 1880. Aphrodite and the King's prisoner, Oct. 12, 1880. The fountain of gold, Oct. 15, 1880. A dead love, Oct. 21, 1880. At the cemetery, Nov. 1, 1880. "Aida" January 17, 1881. El Vomito, March 21, 1881. The Idyl of a French Snuff-box, April 5, 1881. Spring Phantoms, April 21 1881. The bird and the girl, June 14, 1881. The tale of a fan, July 1, 1881. A legend, July 21, 1881. The Gypsy's story, August 18, 1881. The one pill-box, Oct. 12, 1881. >
- In the "Times-Democrat" <A river Reverrie, May 2, 1818. "His heart is old" May 7, 1882. MDCCCLIII, May 21, 1882. Hiouken-thsang, June 25, 1881. L'amour apres la mort, April 6, 1884. The post-office, October 19, 1884. >

Stray leaves from strange literature and fantastics and other fancies / by Lafcadio Hearn. - Kyoto : Rinsen Book, 1988. - xix, 385 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn : large-paper edition, in sixteen vol. ; v. 12)
Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. ISBN:465301694
タイトルページに切り貼り絵(A dock scene in New Orleans)あり。
Contents:- 内容は上記の図書に同じ

Stray leaves from strange literature : stories ; reconstructed from the anvarisoheili, baital, pachisi, mahabhartata, pantchatantra, culistan, talmud, kalewela, etc. / Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1982. - 225 p. ; 18 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition)
Original imprint: Boston : Josgood, 1884.

- Contents: Stray leaves. < The book of Thoth. The fountain Maiden. The bird wife. > Tales retold from Indian and Buddhist literature. < The making of Tilottama. The Brahman and his Brahmani. Bakawali. Natalika. The corpse-Demon. The Lion. The legend of the monster misfortune. A parable buddhist. Pundari. Yamaraja. The Lotos of faith. > Runes from the Kalewala. < The magical words. The first musician. The healing of wainamoinen. > Stories of Moslem lands. < Boutimar, the Dove. The son of a Robber. A Legend of Love. The King's fustice. > Traditions retold from the talmud. < A legend of rabba. The Mockers. Father's choice. The dispute in the Halacha. Rabbi Yochanan ben Zachai. A Tradition of Titus. >

Stray leaves from strange literature / Lafcadio Hearn. Boston : Houghton, Mifflin 1884. - 226 p. ; 18 cm.

Tales out of the East / by Lafcadio Hearn ; pictures by Jeanyee Wong. - Emmaus Penn. : Story Classics, c1952. - 253 p. ; 14×20 cm.
タイトルページに「遠東故事」とあり。限定出版3,000部中の1,045と1,609の2冊
Contents:-

- Some Chinese ghosts < The soul of the Great Bell. The story of Ming-Y. The legend of Tchi-Niu. The return of Yen-Tchin-King. The tradition of the tea-plant. The tale of the Porcelain-God. Glossary. >
- Some Japanese glimpses < A dead secret. The nun of the temple of Amida. Haru. The red bridal. Of a dancing girl. >
- About the book.

Two years in the French West Indies. 1 / by Lafcadio Hearn. - Boston and New York : Houghton, 1923. - vii, 389 p. ; 21 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; 3) 口絵 : The Avenue of Roral Palms, Bridgetown, Barbados.
Contents:- Preface. A Midsummer trip to the tropics. Martinique sketches < les Porteuses. La Grande Anse. Un Revenant. La Guiablesse. La Verette.

(14)

[H 0 9 1. 1 1]

Les Blanchisseu ses. La Pelee. 'Ti Canotie. > Appendix.

Two years in the French West Indies. 1 / by Lafcadio Hearn. - Kyoto : Rinsen Book, 1988. - vii, 389 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, large-paper edition in sixteen vol. ; v. 3) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. - タイトルページに切り貼り絵 (The avenue of Royal Palms, Bridgetwon, Barbados) あり。 ISBN:465301695
Contents:- 内容は上記図書に同じ

Two years in the French West Indies. II ; Chita and Youma / Lafcadio Hearn. - Boston : Houghton, 1923. - 370 p. ; 21 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volume ; v. 4). - 口絵: A woman of Martinique
• Contents:- Martinique sketches(continued) La fille de Couleur. Bete-ni-Pie. Ma Bonne. "Pa combine, che!" Ye. Lys.
• Chita: a memory of last island < Pt. 1. The legend of L'Ile Derniere. Pt. 2 Out of the sea's strenght. Pt. 3. The shadow of the tide. >
• Youma < The story of a West-Indian slave >

Two years in the French West Indies. II Chita and Youma / Lafcadio Hearn. - Kyoto : Rinsen Book, 1988. - 370 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, large-paper edition in sixteen vol. ; v. 4) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. タイトルページに切り貼り絵 (A woman of Martinique) あり。 ISBN:465301696
Contents:- 内容は上記図書に同じ

Two years in the French West Indies / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - 431 p. ; 20 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) Original imprint: New York : Houghton, 1922.
Contents.: Preface. A midsummer trip to the tropics.
Martinique sketches:- I. Les porteuses. II. La grande Anse. III. Un revenant. IV. La Guiablesse. V. La verette. VI. Les Blanchisseuses. VII. La Pelee. VIII. Ti Canotie. IX. La fille de Couleur. X. Bete-ni-Pie. XI. Ma Bonne. XII. "Pa combine, che!" XIII. Ye. XIV. Lys. XV. Appendix:-Some Creole melodies.

The voice of the great bell / by Lafcadio Hearn ; retold by Margaret Hodges ; illustrated by Ed Young. - Boston : Little, c1963. - 1 v. ; 29 cm.
寄贈: Margaret Hodge氏

Youma : the story of a West-Indian slave / by Lafcadio Hearn. New York : Harper, 1890. - 193 p. ; 19 cm.

Youma : the story of a West-Indian slave / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - 193 p. ; 20 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition). - Reprint of the Tenri Central Library book; copy no. 72. Original Imprint: New York : Harper, 1890.

H 0 9 1. 1 2 日本時代 (Works of Hearn)

The Buddhist writings of Lafcadio Hearn / with an introduction by Kenneth Rexroth. - Santa Barbara : Ross-Erikson, c1977. - xxvi, 303 p. ; 22 cm. - ISBN:915520052.
Contents:- Introduction by Kenneth Rexroth. The stone Buddha. Dust. Buddhist allusions in Japanese folksong. Nirvana. Within the circle. A question in the Zen texts. The literature of the dead. Of moon desire. Footprints of the Buddha. Japanese Buddhisto proverbs. A legend of Fugen-Bosatsu. The sympathy of Benten. Buddhist names of plants and animals. Beside the sea. Otokichi's Daruma. A drop of Dew. Gaki. The Introduction to Buddhism. The

higher Buddhism. Bibliography.

A drop of dew / Lafcadio Hearn ; compiled by Kazuo Koizumi. - Tokyo : Hokuseido Press, 1950. - [20 p.] ; 28 cm.

[ヘルン生誕百年記念として刊行。350部限定の中の57番で編者小泉一雄氏の自署あり。Compiled by Mr. Kazuo Koizumi in commemoration of the 100th anniversary of the birth of Yakumo Koizumi] 寄贈：北星堂殿

Earless Ho-ichi : a classic Japanese tale of mystery / by Lafcadio Hearn ; with an introduction by Donald Keene ; illustrations by Masakazu Kuwata. - Tokyo : Kodansha International, 1966. - [45 p.] ; 21×22 cm. タイトルページに「耳無し芳一」とあり。

Exotics and retrospective / by Lafcadio Hearn. - Boston : Little, c1898, 1917. - 300 p. ; 19 cm. - 寄贈：尾島庄太郎氏 同氏のサイン及び印刻あり。

- Contents:-
- Exotics. I. Fuji-no-yama. II. Insect-Musicians. III. A question in the Zen texts. IV. The literature of the dead. V. Frogs. VI. Of moon-desire.
- Retrospectives. I. First impressions. II. Beauty is memory. III. Sadness in beauty. IV. Parfum de Jeunesse. V. Azure psychology. VI. A serenade. VII. A red sunset. VIII. Frisson. IX. Vespertina cognitio. X. The eternal hunter

Exotics and retrospective / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1982. - 229 p. ; 20 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) - Original imprint: Boston : Little, 1898.

Contents:-内容は上記に同じ

Exotics and retrospectives and In Ghostly Japan / by Lafcadio Hearn. - Boston : Houghton, 1923. - viii, 370 p. ; 23 cm. (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; v. 9). - 口絵：Fuji Yama.

- Contents:-
- Exotics < Fuji-no-Yama. Insect-musicians. A question in the Zen texts. The literature of the dead. Frogs. Of moon-desire. >
- Retrospectives < First impressions. Beauty is memory. Sandess in beauty. Parfum de Jeunesse. Azure psychology. A serenade. A red sunset. Frisson. Vespertina gognitio. The eternal haunter. >
- In ghostly Japan < Fragment. Furisode. Incense. A story of divination. Silkworms. A Passional Karma. Footprints of the Buddha. Ululation. Bits of poetry. Japanese Buddhist proverbs. Suggestion. Ingwa-Banashi. Story of a Tengu. At Yaidzu. >

Exotics and retrospectives and In Ghostly Japan / by Lafcadio Hearn. - Kyoto : Rinsen Books , 1988. viii, 370 p. ; 23 cm. (The writings of Lafcadio Hearn : large=paper edition in sixteen volumes ; v. 9) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. 標題紙に切り貼り挿絵「Fuji Yama」あり。

ISBN:4653017018

Contents:-内容は上記の図書と同じ

Gleanings in Buddha-fields : studies of hand and soul in the Far East / by Lafcadio Hearn. - Boston and New York : Houghton, c1897. 296 p. ; 19 cm. [Reprint of the 1st edition][初版の増刷]

- Contents:- I. A living God. II. Out of the street. III. Notes of a Trip to Kyoto. IV. Dust. V. About faces in Japanese art. VI. Ningyo-no-haka. VII. In Osaka. VIII. Buddhist allusions in Japanese folksong. IX. Nirvana. X. The rebirth of Katsugoro. XI. Within the circle.

Gleanings in Buddha-fields : studies of hand and soul in the Far East / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - 296 p. ; 19 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) Original imprint:

(16) [H 0 9 1. 1 2]

Boston and New York : Houghton, 1897.

Contents:- 内容は上記に同じ

Gleanings in Buddha-fields and The Romance of Milky Way / by Lafcadio Hearn.
- Boston : Houghton, 1923. - 417 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; v. 8). - 口絵 : O-Some, Hisamatsu, and Kyusaku (illustrating "Faces in Japanese arts")

Contents:-

- Gleanings in Buddha-fields < 1. A living God. 2. Out of the street. 3. Notes of a trip to Kyoto. 4. Dust. 5. About faces in Japanese art. 6. Ningyo -no -Haka. 7. In Osaka. 8. Buddhist allusions in Japanese folksong. 9. Nirvana. 10. The Rebirth of Katsugoro. 11. Within the circle.
- The romance of the Milky way, and other studies and stories < 1. The romance of Milky Way. 2. Goblin poetry. 3. "Ultimate questions" 4. The mirror maiden. 5. The story of Ito Norisuke. 6. Stranger than fiction. 7. A letter from Japan. 8. Three popular ballads. >

Gleanings in Buddha-fields and The Romance of Milky Way / by Lafcadio Hearn.
- Kyoto : Rinsen Book, 1988. - 417 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn : large=paper edition, in sixteen volumes ; v. 8) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. 標題紙に切り貼り挿絵「O-some, Hisamatu, and Kyusaku (illustrating "faces in Japanese arts." あり。ISBN: 465301700X Contents:- 内容は上記の図書と同じ

Glimpses of unfamiliar Japan : in two volumes. Vol. 1 / Lafcadio Hearn.

- London and New York : Harper, 1898. - x, 342 p. ; 22 cm.

- Contents:- Preface. I. My first day in the Orient. II. The writing of Kobodaishi. III. Jizo. IV. A Pilgrimage to Enoshima. V. At the market of the dead. VI. Bon-odori. VII. The chief city of the province of the Gods. VIII. Kitzuki: The most ancient Shrine in Japan. IX. In the cave of the children's ghosts. X. At Mionoseki. XI. Notes on Kitzuki. XII. At Hinomisaki. XIII. Shinju. XIV. Yaegaki-Jinja. XV. Kitsune.

Glimpses of unfamiliar Japan : in two volumes. Vol. 1 / Lafcadio Hearn.

- Boston : Houghton, 1923. - xi, 393 p. ; 21 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; v. 5). - 口絵 : The street of the Buddhist Temples, or Teramachi, Matue.

Contents:- Preface. 内容は上記の図書と同じ

Glimpses of unfamiliar Japan : in two volumes. Vol. 2 / Lafcadio Hearn.

- London and New York : Harper, 1898. - p. 344-699 ; 22 cm.

- Contents:- XVI. In a Japanese garden. XVII. The household shrine. XVIII. Of women's hair. XIX. From the diary of an English teacher. XX. Two strange festivals. XXI. By the Japanese sea. XXII. Of a dancing-girl. XXIII. From Hoki to Oki. XXIV. Of souls. XXV. Of ghosts and goblins. XXVI. The Japanese smile. XXVII. Sayonara!. Indext.

Glimpses of unfamiliar Japan : in two volumes. Vol. 2 / Lafcadio Hearn.

- Boston : Houghton, 1923. - p. viii, 411 p. ; 21cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; v. 6). - 口絵 : A shirabyoshi.

Contents:-内容は上記の図書に同じ

Glimpses of unfamiliar Japan. First series / Lafcadio Hearn. - Leipzig :

Tauchnitz, 1907. - 320 p. ; 16 cm. - (Collection of British authors Tauchnitz edition ; v. 3994 — pyright edition. 寄贈 : 西崎一郎氏

- Contents:- I. My first day in the Oriento. II. The writing of Kobodaishi. III. Kitzuki: the most ancient shrine of Japan. IV. In the cave of the children's ghosts. V. The household shrine. VI. Of women's hair. VII. From the diary of an English teacher. VIII. Of a dancing-girl. IX. Of souls. X. Of ghosts and goblins. XI. The Japanese smile. XII. Sayonara!.

- Glimpses of unfamiliar Japan. Second series / Lafcadio Hearn. - Leipzig : Tauchnitz, 1910. - 320 p. ; 16 cm. - (Collection of British authors Tauchnitz edition ; v. 3994) Copyright edition. 寄贈：西崎一郎氏
Contents:- I. Jizo. II. A pilgrimage of Enoshima. III. At the market of the dead. IV. Bon-odori. V. The chief city of the province of the Gods. VI. Mionoseki VII. Notes on Kitzuki. VIII. At Hinomisaki. IX. Shinju. X. Yaegaki-jinja. XI. Kitsune. XII. In a Japanese garden. XIII. Two strange festivals. XIV. By the Japanese sea.
- Glimpses of unfamiliar Japan : in two volumes. Vol. 1 / by Lafcadio Hearn.
- Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - x, 342 p. ; 22 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition). - Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1894.
• Contents.: Preface. I. My first day in the Orient. II. The writing of Kobodaishi. III. Jizo. IV. A Pilgrimage to Enoshima. V. At the market of the dead. VI. Bon-Odori. VII. The chief city of the province of the Gods. VIII. Kitzuki: the most ancient Shrine in Japan. IX. In the cave of the children's ghosts. X. At Mionoseki. XI. Notes on Kitzuki. XII. At Hinomisaki. XIII. Shinju. XIV. Yaegaki-Jinja. XV. Kitsune.
- Glimpses of unfamiliar Japan : in two volumes. Vol. 2 / by Lafcadio Hearn.
- Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - p. 344-699 ; 22 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1894.
• Contents.: XVI. In a Japanese garden. XVII. The household shrine. XVIII. Of women's hair. XIX. From the diary of an English teacher. XX. Two strange festivals. XXI. By the Japanese sea. XXII. Of a dancing-girl. XXIII. From Hoki to Oki. XXIV. Of souls. XXV. Of ghosts and goblins. XXVI. The Japanese smile. XXVII. Sayonara! Index.
- Glimpses of unfamiliar Japan : two volumes in one / by Lafcadio Hearn.
- Rutland, Vt. & Tokyo : Tuttle, c1976, 1933(8th printing) - xvi, 699 p. ; 19 cm. - (TUT books) paperback. タイトルページに「知られぬ日本の面影」とあり。ペーパーバック版 2巻1冊 内容は上記に同じ
- Glimpses of unfamiliar Japan : in two volumes. Vol. 1 / by Lafcadio Hearn.
- Kyoto : Rinsen Book, 1988. - xvi, 393 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn : large=paper edition in sixteen volumes ; v. 5) Original imprint: Boston : Houghton, 1922. 表題誌に切り貼り挿絵あり。「The street of the Buddhist temples, or, Teramachi, Matsue」ISBN:4653016976
• Contents:- Preface. I. My first day in the Orient. II. The writing of Kobodaishi. III. Jizo. IV. A pilgrimage to Enoshima. V. At the market of the dead. VI. Bon-odori. VII. The chief city of the province of the Gods. VIII. Kitzuki: the most ancient Shrine of Japan. IX. In the cave of the children's ghosts. X. At Mionoseki. XI. Notes on Kitzuki. XII. At Hinomisaki. XIII. Shinju. XIV. Yaegaki-Jinja. XV. Kitsune.
- Glimpses of unfamiliar Japan : in two volumes. Vol. 2 / by Lafcadio Hearn.
- Kyoto : Rinsen, 1988. - viii, 411 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn : large=paper edition, in sixteen volumes ; v. 6) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. - 標題紙に切り貼り挿絵「A woman of Martinique」あり。ISBN:4653016968
• Contents:- XVI. In a Japanese garden. XVII. The household Shrine. XVIII. Of women's hair. XIX. Two strange festivals. XXI. By the Japanese sea. XXII. Of a dancing-girl. XXIII. From Hoki to Oki. XXIV. Of Souls. XXV. Of ghosts and goblins. XXVI. The Japanese smile. XXVII. Sayonara!. Index.
- ΙΑΠΩΝΙΚΟΙ ΘΡΗΣΚΑΣΜΟΙ / ΛΕΚΑΔΙΟΥ ΞΕΡΝ. - [n. p.] : ΣΙΔΕΡΗΣ, [n. d.] - 150 p. ; 21 cm. 本文はギリシャ語 書名：日本伝説 寄贈：西村六郎氏

- (18) (H 0 9 1. 1 2)
- In ghostly Japan / Lafcadio Hearn. - London : Sampson Low , 1899. - 241 p. ; 19 cm.
- Contents:- Fragment. Furisode. Incense. A story of divination. Silkworms. A passionnal Karma. Footprints of the Buddha. Ululation. Bits of poetry. Japanese Buddhist. Proverbs. Suggestion. Ingwa-Banashi. Story of a Tengu. At Yaidzu.
- In ghostly Japan / Lafcadio Hearn. - Boston : Little, 1899. - 241 p. ; 19 cm.
寄贈：アメリカ議会図書館
Contents:-内容は上記に同じ
- In ghostly Japan / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - 241 p. ; 20 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition)
Original imprint: Boston : Little, 1899.
- Contents.:- Fragment. Furisode. Incense. A story of divination. Silkworms. A Passional Karma. Footprints of the Buddha. Ululation. Bits of poetry. Japanese Buddhist Proverbs. SuggeStion. Ingwa-Banashi. Story of a Tengu. At Yaidzu.
- Japan : an attempt at interpretation / by Lafcadio Hearn. - New York : Macmillan, c1904. - 549 p. ; 21 cm. 書名の上に「神國」とあり。
口絵にも「神國」とあり。1907 reprint edition, 1924 reprint edition所蔵
- Contents:- Chap. 1: Difficulties. Chap. 2: Strangeness and charm. Chap. 3: The Ancient cult. Chap. 4: The religion of the home. Chap. 5: The Japanese family. Chap. 6: The communal cult. Chap. 7: Developments of Shinto. Chap. 8: Worship and Purification. Chap. 9: The rule of the dead. Chap. 10: The Introduction of Buddhism. Chap. 11: The higher Buddhism. Chap. 12: The Social organization. Chap. 13: The rise of the military power. Chap. 14: The religion of loyalty. Chap. 15: The Jesuit Peril. Chap. 16: Feudal integration. Chap. 17: The Shinto revival. Chap. 18: Survivals. Chap. 19: Modern restraints. Chap. 20: Official education. Chap. 21: Industrial denger. Chap. 22: Reflections. Bibliographical notes. Index.
- Japan : an attempt at interpretation / by Lafcadio Hearn. - Boston : Houghton, 1923. - 476 p. ; 21cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; v. 12) 口絵：The Yume-dono, or Hall of Dreams.
Contents:-内容は初版に同じ
- Japan : an attempt at interpretation / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1982. - 541 p. ; 21 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) 書名の上に「神國」とあり。口絵にも「神國」とあり。Original imprint: New York : Macmillan, 1904.
Contents:-内容は初版に同じ
- Japan : an attempt at interpretation / by Lafcadio Hearn. - Kyoto : Rinsen Book, 1988. - 476 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn : large= paper edition, in sixteen volumes ; v.12) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. 標題紙に切り貼り挿絵「The Yume-dono, or Hall of Dreams」あり。ISBN:4653017042
- Content:- Difficulties. Strangeness and charm. The religion of the home. The Japanese family. The communal cult. Developments of shinto. Worship and purification. The rule of the dead. The introduction of Buddhism. The higher Buddhism. The social organization. The rise of military power. The religion of loyalty. The jesuit peril. Feudal integration. The Shinto revival. Survivals. Modern restraints. Officila education. Industrial danger. Reflections.
- Appendix: Herbert Spencer's advice to Japan. Bibiographical notes. Index.
- Japan and Japanese / Lafcadio Hearn ; compiled with notes by T. Ochiai.
- Tokyo : Hokuseido, 1930. - 305 p. ; 19 cm. 4版 初版は1928年発行

Contents:- The genius of Japanese civilization. Jiujutsu. The future of the Far East. A conservative. Difficulties. Strangeness and charm. The religion of loyalty. Of the eternal feminine. Some thoughts about ancestor-worship. The idea of preexistence. Notes.

Japan's religions : Shinto and Buddhism / by Lafcadio Hearn ; edited by Kazumitsu kato. - New Hyde Park, N. Y. : University Books, c1966.
- xiv, 356 p. ; 22 cm.

Japanese lyrics / translated by Lafcadio Hearn. - Boston : Houghton , 1915. - x. 86 p. ; 20 cm. 初版. 寄贈 : 尾島庄太郎氏。同氏の自署あり。
Contents:- Insect poems. Lullabies and children's verse. Love songs and lyrics. Goblin poetry. The river of heaven. Notes.

A Japanese miscellany / by Lafcadio Hearn. - Boston : Little, c1901, 1919.
- 305 p. ; 19 cm.

- Contents:-
- Strange stories. I. Of a promise kept. II. Of a promise broken. III. Before the supreme court. IV. The story of Kwashin Koji. V. The story of Umetsu Chubei. VI. The story of Kogi the Priest.
- Folklore gleanings. I. Dragon-flies(illustrated) II. Buddhist names of plants and animals. III. Songs of Japanese children(illustrated)
- Studies here and there. I. On a bridge. II. The case of O-dai. III. Beside the sea(illustrated) IV. Drifting. V. Otokichi's daruma(illustrated) VI. In a Japanese hospital.

A Japanese miscellany / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1982
- 305 p. ; 20 cm. (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition)
Original imprint: Boston : Little, 1901.
Contents:-内容は上記の図書に同じ

Karma / by Lafcadio Hearn. - New York : Boni and Liveright, 1918. - 163 p. ; 19 cm. - 2nd printing. (c1918) 寄贈 : 尾島庄太郎氏。同氏の自署あり。
Contents:- Karma. A ghost. The first Muezzin, Bilal. China and the Western world.

Karma and other stories & essays / Lafcadio Hearn. - London : Harrap, 1921. - 204 p. ; 18 cm. (Harrap library ; 21)
• Contents:- Editor notes. Karma. A ghost. The first Muezzin. China and the Western world. Chin-chin Kobakama. The Boblin-spier. The old woman who lost her dumpling. The boy who drew cats.

Kimiko and other Japanese sketches / by Lafcadio Hearn. - Boston and New York : Houghton, c1896, 1923. 58 p. ; 18 cm. (Evergreen series)
• Contents:- Kimiko. The nun of the temple of Amida. Haru.

Kokoro : hints and echoes of Japanese inner life / by Lafcadio Hearn. - London : Gay & Boyd, [1902] - 388 p. ; 19 cm. 書名の上に「心」とあり。
• Content. : I. At a railway station. II. The genius of Japanese civilization III. A street singer. IV. From a traveling diary. V. The nun of the temple Amida. VI. After the war. VII. Haru. VIII. A glimpse of tendencies. IX. By force of Karma. X. A conservative. XI. In the twilight of the Gods. XII. The idea of Preexistence. XIII. In Cholera-time. XIV. Some thoughts about ancestor-worship. XV. Kimiko. Appendix. Three popular ballads.

Kokoro : hints and echoes of Japanese inner life / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - 388 p. ; 19 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1896. 書名の上に「心」とあり。
内容は上記に同じ

(20)

[H O 9 1. 1 2]

Kokoro : hints and echoes of Japanese inner life / Lafcadio Hearn. Leipzig : Tauchnitz, 1907. - 280 p. ; 16 cm. (Collection of British authors. Tauchnitz Tauchnitz edition ; v.3957) タイトルの上に「心」とあり。

寄贈：西崎一郎氏

- Contents:- At a railway ion. The genius of Japanese civilisation. A street singer. From a travelling diary. The nun of the temple of Amida. After the war. Haru. A glimpse of tendencies. By force of Karma. A conservative. In the twilight of the Gods. The idea of pre-existence. In cholera-time. Some thoughts about ancestor-worship. Kimiko. Appendix--Three popular ballads.

Kotto=骨董 : being Japanese curios, with sundry cobwebs / collected by Lafcadio Hearn ; with illustrations by Genjiro Yeto. - New York : Macmillan, 1903. - vii, 251 p. : illus. ; 21 cm.

- Contents:- Old stories < I. The legend of Yurei-daki. II. In a cup of tea. III. Common sense. IV. Ikiyo. V. Shiryo. VI. The story of O-Kame. VII. Story of a fly. VIII. Story of a pheasant. IX. The story of Chugoro. >
- A woman's diary. Heike-gani. Fireflies. A drop of dew. Gaki. A matter of custom. Revery. Pathological. In the dead of the night. Kusa-hibari. The eater of dreams.

Kotto=骨董 : being Japanese curios, with sundry cobwebs / collected by Lafcadio Hearn ; with illustrations by Genjiro Yeto. - Tokyo : Yushodo BookSELLERS, 1982. - vii, 251 p. : illus. 21 cm. (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) - Reprint of the Tenri Central Libray book ; copy no. 72. 口絵に「骨董」とあり。Original imprint: New York : Macmillan, 1902
Contents:-内容は上記の図書と同じ

Kotto and Kwaidan / by Lafcadio Hearn. - Boston : Houghton, 1923. - 312 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes, v. 9)
口絵: Blowing her breath upon him

- Contents:-
- Kotto < Old stories: The legend of yurei-daki. In a cup of tea. Common sense. Ikiyo. Shiryo. The story of O-kame. Story of a fly. Story of a pheasant. The story of Chugoro. -- A woman's diary. Heike-gani. Fireflies. A drop of dew. Gaki. A matter of custom. Revery. Pathological. In the dead of the night. Kusa-hibari. The eater of dreams. -- >
- Kwaidan < Stories and studies of strange things -- The story of mimi-nashi-Hoichi. Oshidori. The story of O-tei. Ubazakura. Diplomacy. Of a mirror and a bell. Jikininki. Mujina. Rokuro-kubi. A dead secret. Yuki-onna. The story of Aoyagi. Jiu-roku-zakura. The dream of Akinosuke. Riki-baka. Hi-mawari. Horai. >
- Insect-studies < Butterflies. Mosquitoes. Ants. >

Kotto and Kwaidan / by Lafcadio Hearn. - Kyoto : Rinsen Book, 1988. - 312 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn : large=paper edition, in sixteen volume s, v. 9) Original imprint: Boston and New York, 1922.
標題紙に挿絵「Blowing her breath upon him」あり。ISBN:4653017034
Contents:-内容は上記の図書と同じ

Kwaidan / Lafcadio Hearn ; illustrations by Setsuko Mashima. - Tokyo : Kodansha, 1994. - 122 p. ; 15 cm. (Kodansha English library) ISBN:4061861077
• Contents: The story of Mimi-nashi Hoichi. Yuki-onna. Ubazakura. Oshidori. Jikininki. Jiu-roku-zakura. Diplomacy. Riki-baka. Rokuro-kubi.

Kwaidan : stories & studies of strange things / by Lafcadio Hearn. - Leipzig : Taunitz, 1907. - 255 p. ; 16 cm. - (Collection of British authors. Tauchnitz edition ; v.3987) Copyright edition. 寄贈：西崎一郎氏 同氏の自署あり。
• Contents:- Introduction.- Kwaidan < The storay of Mini-nashi-Hoichi. Oshidori. The story of O-Tei.

Ubazakura. Diplomacy. Of a mirror and a bell. Jikininki. Mujina. Rokuro-kubi. A dead secret. Yuki-Onna. The story of Aoyagi. The dream of Akinosuke. Riki-Baka. Hi-mawari. Horai. >

- Insect-studies < Butterflies. Mosquitoes. Ants. >

Kwaidan : stories and studies of strange things / Lafcadio Hearn. - Boston and New York : Houghton, c1904. - iii, 240 p. ; 21 cm.

- Contents:- Introduction.
- Kwaidan < The story of Mimi-nashi-Hoichi. Oshidori. The story of O-Teil. Ubazakura. Diplomacy. Of a mirror and a bell. Jikininki. Mujina. Rokuro-kubi. A dead secret. Yuki-onna. The story of Aoyagi. Jiu-roku-zakura. The dream of Akinosuke. Riki-baka. Hi-mawari. Horai. >
- Insect-studies < Butterflies. Mosquitoes. Ants.

Kwaidan : stories and studies of strange things / by Lafcadio Hearn.

- Rutland, Vt. & Tokyo : Tuttle, c1971, 1994(22nd printing) - xv, 240 p. ; 19 cm. paperback. ISBN:0804809542

- Contents: The story of MiMi-Nashi-Hoichi. Oshidori. The story of O-tei. Ubazakura. Diplomacy. Of a mirror and a bell. Jikininki. Mujina. Rokuro-kubi. A dead secret. Yuki-onna. The story of Aoyagi. Jiu-roku-zakura. Dream of Akinosuke. Riki-baka. Hi-mawari. Horai. Butterflies. Mosquitoes. Ants.

Kwaidan : stories and studies of strange things / by Lafcadio Hearn. - Tokyo :

Yushodo Booksellers, 1981. - iii, 240 p. ; 20 cm. (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) タイトルページに「怪談」の赤字の印刷あり。

Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1904.

内容は上記に同じ

Lands and seas by Lafcadio Hearn / compiled with notes by T. Ochiai. - Tokyo :

Hokuseido, 1930. 9版. - With a facsimile reproduction of Hearn's letter.

- Contents:- Preface / T. Ochiai. My first day in the Orient. A pilgrimage to Enoshima. Fujinoyama. Notes of a traip to Kyoto. In Osaka. Matsue. By the Japanese sea. From Hoki to Oki. In a Japanese garden. A Midsummer trip to the tropics. A winter journey to Japan. Notes.

Ο λ ε θ ρ ο τ κ α ι Α λ λ α δ ι η γ γ η μ α ι α / Lafcadio Hearn ;

Α πο δ ο ο η, Π Ε Τ Ρ Ο Σ Π. Κ Α Λ Ο Ν Α Ρ Ο Σ. - [n. p.]

: Gutenberg, c1991. - 70 p. ; ; 21 cm. -本文はギリシャ語

内容: 破滅及びその他の物語 寄贈: 西村六郎氏

"Out of East" : reveries and studies in new Japan / Lafcadio Hearn. - Boston and New York : Houghton, 1898. - 342 p. ; 19 cm.

- Contents:- I. The dream of a summer day. II. With Kyushu students. III. At Hakata. IV. Of the eternal feminine. V. Bits of life and death. VI. The stone Buddha. VII. Jiujutsu. VIII. The red bridal. IX. A wish fulfilled X. In Yokohama. XI. Yuko: a reminiscence.

[To Nishida Sentaro in dear remembrance of Izumo days の献辞がある。]

"Out of the East" : reveries and studies in new Japan / by Lafcadio Hearn.

- Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - 341 p. ; 19 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1895.

- Contents.: I. The dream of a sommer day. II. With Kyushu students. III. At Hakata. IV. Of the eternal feminine. V. Bits of life and death. VI. The stone Buddha. VII. Jiujutsu. VIII. The red bridal. IX. A wish fulfilled. X. Is Yokohama. XI. Yuko: A reminiscence.

Out of the East : reveries and studies in new Japan / Lafcadio Hearn.

- Leipzig : Taunitz, 1910. - 286 p. ; 16 cm. - (Collection of British authors. Tauchnitz editions ; v. 4205) 寄贈: 西崎一郎氏 同氏の自署あり。

(22)

[H 0 9 1. 1 2]

Contents:- I. The dream of a summer day. II. With Kyushu students. III. At Hakata. IV. Of the eternal feminine. V. Bits of life and death. VI. The stone Buddha. VII. Jiujutsu. VIII. The red Bridal. IX. A wish fulfilled. X. In Yokohama. XI. Yuko: a reminiscence.

Out of the East and Kokoro / by Lafcadio Hearn. - Boston : Houghton, 1923.
v, 511 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ;
v. 7) 口絵 : Oiran, or Geisha

• Contents:- Out of the East < I. The dream of a summer day. II. With Kyushu students. III. At Hakata. IV. Of the Eternal feminine. V. Bits of life and death. VI. The stone Buddha. VII. Jiujitsu. VIII. The red bridal. IX. A wish fulfilled. X. In Yokohama. XI. Yuko: a reminiscence. >

Kokoro < I. At a railway station. II. The genius of Japanese civilization. III. A street singer. IV. From a traveling diary. V. The nun of the temple of Amida. VI. After the war. VII. Haru. VIII. A glimpse of tendencies. IX. By force of Karma. X. A conservative. XI. In the twilight of the Gods.

Out of the East and Kokoro / by Lafcadio Hearn. - Kyoto : Rinsen, 1988.
- v, 511 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn : large=paper edition in sixteen volumes ; v. 7) - Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. 標題紙に切り貼り挿絵「Oiran, or Geisha」あり ISBN:4653016992
Contents:-内容は前記の図書に同じ

Pre-Raphaelite and other poets : lectures by Lafcadio Hearn / selected and ed. with an introduction / by John Erskine. - Freeport, N. Y. : Books for Libraries Press, 1968. - ix, 432 p. ; 22 cm. - (Essay index reprint series) first edition, 1922. Originally published by Dodd, Mead and Co., 1922

• Contents:- Introduction. Chap. 1: Studies in Rossetti. Chap. II. Note upon Rossetti's prose. Chap. III. Studies in Swinburne. Chap. IV. Studies in Browning. Chap. V. William Morris. Chap. VI. The poetry of George Meredith. Chap. VII. "The shaving of Shagpat" Chap. VIII. A note on Robert Buchanan. Chap. IX. Robert Bridges. Index.

The romance of the Milky Way and other studies and stories / by Lafcadio Hearn. - Boston and New York : Houghton, 1905. - xiii, 209 p. ; 20 cm. 各ページに「小泉八雲」の刻印(印刷)あり。

• Contents:- The romance of the Milky Way. Goblin poetry. "Ultimate questions" The mirror maiden. The story of Ito Norisuke. Stranger than fiction. A letter from Japan.

The selected writings of Lafcadio Hearn / edited by Henry Goodman ; with an introduction by Malcolm Cowley. - New York : Citadel Press, 1949.
- viii, 566 p. ; 22 cm.

• Contents:- Lafcadio Hearn / by Malcolm Cowley. Editor's introduction.
• Kwaidan < The story of Mimi-Nashi-Hoichi. Oshidori. The story of O-Tei. Ubazakura. Diplomacy. Of a mirror and a bell. Jikininki. Mujina. Rokuro-kubi. A dead secret. Yuki-onna. The story of Aoyagi. Jiu-Roku-Zakura. The dream of Akinosuke. Riki-Baka. Hi-mawari. Horai. >
• Some Chinese ghosts < The soul of the Great Bell. The story of Ming-Y. The legend of Tchi-Niu. The return of Yen-Tchin-King. The tradition of the tea-plant. The tale of the Porcelain-God. >
• Chita : Memory of last island < Pt. 1. The legend of L' Ile Derniere. Pt. 2 Out of the sea's strength. Pt. 3. The shadow of the tide. >
• American sketches < Cincinnati-- Gibbeted. Leveelife. Violent Cremation. Dolly: an Idyl of the Levee. Some pictures of poverty. ---
New Orleans -- A Creole type. The dawn of the Carnival. Creole servant girls. Why crabs are boiled alive. Voices of dawn. The last of the Voudoos New Orleans superstition. >
• Caribbean sketches. < 'Ti Canotie. La Grande Anse. Les porteuses. Les Blanchisseuses. >

- Japan < Stories of Japanese life-- At a railway station. The Nun of the Temple of Amida. Haru. Kimiko. The red Bridal. The case of O-Dai. The story of Okame. Common sense. Travel-- My first day in the Orient. The dream of a summer day. Fuji-no-Yama. Folk culture-- A woman's diary. Out of the street. The Romance of the Milky Way. Essays--Of the eternal feminine. A glimpse of tendencies. Industrial danger. Weird tales-- The mirror maiden. The reconciliation. Story of a Tengu. Of a promise kept. Sources. Bibliography.
- 注：9ページにもあり。

Selected writings of Lafcadio Hearn / collected and edited by the Hearn Centennial Committee. - Tokyo : published for the English Literary Society of Japan by Kenkyusha, 1953. - lxii, 440 p. ; 20 cm.

Contents:- Introduction.

- Glimpses of unfamiliar Japan < My first day in the Orient. In a Japanese garden. The Japanese smile. >
- "Out of the East" < The dream of a summer day. Bits of life and death. >
- Kokoro < A street singer. In cholera-time. Some thoughts about ancestor-worship. Kimiko >
- Gleanings in Buddha-fields < A living God. Ningyo-no-Haka. Insect-musicians. >
- Exotics < Fuji-no-Yama. Insect-musicians. >
- In ghostly Japan <At Yaidzu. >
- Shadowings < Stories from strange books --The reconciliation. The screen-maiden-->
- A Japanese miscellany < Strange stories -- Of a promise kept. Of a promise broken. The story of Kwashinkoji. The story of Umetsu Chubei. -->
- Kotto < Old stories-- In a cup of tea. Common sense-- Pathological. Kusa-hibari. >
- Kwaidan <The story of Mimi-nasi-Hoichi. Yuki-Onna. The dream of Akinosuke> [54ページにわたるIntroductionは主としてMarcel Robert 氏のヘルン評伝第2巻の序論と第1章によったものである]

Shadowings / by Lafcadio Hearn. Boston : Little, c1900, 1901. 268 p. ; 20 cm
Contents:-

- Stories from strange books. I. The reconciliation. II. A legend of Fugen-Bosatsu. III. The screen-maiden. IV. The corpse-rider. V. The sympathy of Benten. VI. The gratitude of the Samebito.
- Japanese studies. I. Semi. II. Japanese female names. III. Old Japanese songs.
- Fantasies. I. Noctilucae. II. A mystery of crowds. III. Gothic horror. IV. Levitation. V. Nightmare-touch. VI. Readings from a dream-book. VII. In a pair of eyes.

Shadowings / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Yushodo Booksellers, 1981. - 268 p. ; 20 cm. - (Selected works of Lafcadio Hearn's first edition) Original imprint: Boston : Little, 1901.

- Contents. : Stories from strange books: I. The reconciliation. II. A legend of Fugen-Bosatu. III. The screen-maiden. IV. The corpse-rider. V. The sympathy of benten. VI. The gratitude of the samebito. Japanese studies: I. Semi. II. Japanese female names. III. Old Japanese songs.
- Fantasies: I. Noctilucae. II. A mystery of crowds. III. Gothic horror. IV. Levitation. V. Nightmare-touch. VI. Readings from a dream-book. VII. In a pair of eyes.

Shadowings and A Japanese miscellany / by Lafcadio Hearn. Boston : Houghton, 1923. - vi, 396 p. ; 21 cm. (The writings of Lafcadio Hearn, in sixteen vol. ; v. 10) 口絵: A player on the Tsuzumi- The Yujo Somenosuke of the Matsubaya.
Contents:-

- Shadowings < Stories from strange books: The reconciliation. A legend of

(24)

[H 0 9 1. 2 2]

Fugen-Bosatsu. The screen-maiden. The Corpse-rider. The sympathy of Benten
The gratitude of the Samebito. --- Japanese studies: Semi. Japanese female
names. Old Japanese songs. --- Fantasies: Nctilucae. A mystery of crowds.
Gothic horror. Levitation. Nightmare-touch. Readings from a dream-book.
In a pair of eyes. >

- A Japanese miscellany < Strange stories: Of a promise kept. Of a promise
broken. Before the supreme court. The story of Kwashin Koji. The story of
Umetsu Chubei. The story of Kogi the priest. --- Folk-lore gleanings: ---
Dragon-flies. Buddhist names of plants and animals. Songs of Japanese
children. --- Studies here and there: -- On a bridge. The case of O-dai.
Beside the sea. Drifting. Otokichi's Daruma. In a Japanese hospital. --->

Shadowings and A Japanese miscellany / by Lafcadio Hearn. Kyoto : Rinsen Book
1988. - vi, 396 p. ; 23 cm. (The writings of Lafcadio Hearn : large-paper
edition, in sixteen volumes ; v. 10) - Original imprint: Boston and New
York : Houghton, 1923. 標題紙に切り貼り挿絵「A player on the Tsuzumi
- The Yujo Somenosuke the Matsubaya」あり。ISBN:4653017026
Contents:- 内容は上記図書に同じ

Stories and sketches / by Lafcadio Hearn ; compiled with notes by R. Tanabe.
- Tokyo : Hokuseido, 1925. - iii, 276 p. ; 19 cm. 寄贈: 西崎一郎氏
Contents:- Preface.

- Stories < The tale a picture tells. The legend of the monster misfortune.
Ningyo-no-haka. A question in the zen texts. A story of divination. The
story of Kwashin Koji. >
- Sketches < From the diary of an English teacher. The dream of a summer day
Bits of the life and death. On a bridge. At Yaidzu. Otokichi's daruma.
Pathological. Kusa-Hibari. >
- Studies < The Japanese smile. "Unselfish self-control" "The Japanese
silence" Some thoughts about ancestor worship. "Whatever the living
possess is from the dead" >
- Retrospectives < Vespertina cognitio. Gothic horror. Hi-mawari. Stranger
than fiction. My guardian angel. Idolatry. Obahsan-nohanashi. > Writings
from Japan / Lafcadio Hearn ; an anthology edited with an introductio by
Francis King. Harmondsworth, Middlesex : Penguin Books, c1984. 364 p.
; 20 cm. (Penguin travel library) 標題紙に「日本随想」とあり。

妖魔詩話=Japanese goblin poetry : 小泉八雲秘稿画本 / 小泉一雄解説及び編輯
-東京 : 小山書店, 1934. - 56 p. ; 44 cm. 寄贈: 馬場正治氏

[The romance of the Milky Wayの中のGoblin poetry から狂歌をとって、八雲が
古手帳にかいた54首の筆跡とスケッチに解説をつけたもの。ヘルン没後30年記
念出版で、限定500部の内の203番。]

[This picture-book of goblin poetry is composed of 54 comic poems and
sketches illustrating them, all from Hearn's own pen and contained in his
old note-book and originally taken from the goblin poetry in the Romance
of the Millky Way. All the poems are explained by his son Kazuo Koizumi.
Published in memory of the 30th anniversary of the death of Hearn. No. 203
of the limited edition of 500 copies.]

H 0 9 1. 2 講義集・論文集

(Collections of lectures and collections of essays)

H 0 9 1. 2 1 アメリカ時代

(Essays in America)

An American miscellany. Vol. 1 / articles and stories now first collected by
Albert Mordell. - New York : Dodd, 1924. - lxxxiv, 228 p. ; 23 cm.

Contents:- Introduction.

- Ghost story < The cedar closet(The Enquirer, March 1, 1874) >
- Mock-heroic novelette < Giglampz(The Enquirer, Oct. 4, 1874) >
- Tan-Yard murader story: Violent cremation(The Enquirer, November 9, 1874)
- Fantasy < Valentine varies(The Enquirer, Feb. 14, 1875) >
- Tales of the haunted: The restless dead(The Commercial, August 29, 1875)
Some strange experience (The Commercial, Sept. 26, 1875).
- Essays in Curious research < A bird store Reverie(The Commercial, Oct. 24, 1875) Notes on the utilization of human remains(The Commercial, Nov. 7, 1875) The Demi-Monde fo the qntique world(The Commercial, Nov. 28, 1875) The Poisoners(The Commercial, Dec. 12, 1875)
- Songs of the Roustabouts < Levee life(The Commerical, March 17, 19876)
- Negro stories < Dolly--an Idyl of the levee(The Commercial, August 27, 1876) Banjo Jim's story(The Commercial, Oct. 1, 1876)
- Prose poems < Butterfly fantasies(The Commercial, May 9, 1876) Frost fancies(The Commerical, Dec. 10, 1876) >
- Autobiographical narratives < Steeple climbers(The Commercial, May 26, 1876) A romantic incident at the musical club(The Commercial, Oct. 1, 1877)
- Life among the lowly. Some pictures of poverty(The Commerical, Jan. 7, 1877)

An American miscellany. Vol. 2 / articles and stories now first collected by Albert Mordell. - New York : Dodd, 1924. - x, 266 p. ; 23 cm.

Contents:-

- Studies in human nature < Face studies(The Item, Jan. 26, 1879) Progressive lying(The Item, March 6, 1880) Frankness(The Item, Jan. 11, 1881) Frauds (The Item, Jan. 23, 1881) A Mephistophelian(The Item, April 24, 1881)>
- Essay on the unconscious mind < Nightmare and Nightmare legends(The Item, August 4, 1878)>
- Essay on the religious conditions of art <Philosophy of imaginaative art (The Item, Nov. 12, 1878)>
- Tales in poetical prose < Subhadra(The Times-Democrat, Oct. 8, 1882) The dead wife(The Times-Democrat, Nov. 19, 1882) St. Brandan's Christmas(The Times-Democrat, Dec. 24, 1882) Bidasari(The Times-Democrat, April 8, 1883) Torn letters(The Times-Democrata, Sept. 14, 1884) Three dreams (The Times-Democrat, April 11, 1885)
- Historical tales < A Lily in the mouth of hell(The Times-Democrat, Feb. 4, 1883) The Piper of Hamelin(The Times-Democrat, July 8, 1883)>
- Southern sketches <Saint Malo(Harper's Weekly, March 3, 1883) The garden of paradise(The Times-Democrat, March 27, 1883) >
- Art studies of Dore < Gustave Dore(The Times-Democrat, Jan. 28, 1883) Dore's Raven(The Times-Democrat, July 22, 1883) >
- Cosmological speculation < The life of stars(The Times-Democrat, Feb. 18, 1883) The Destiny of solar systems(The Times-Democrat, July 22, 1883)
- Speculations on life and death < The Great "I am"(The Times-Democrat, Nov. 15, 1885) A Concord compromise(The Times-Democrat, Jan. 3, 1886) >
- Studies in Creole < The Creole patois(Harper's Weekly, Jan. 10 and 17, 1885) Some notes on Creole literature(The Times-Democrat, June 13, 1886) The Scientific value of Creole(The Times-Democrat, June 14, 1886) A Sketch of the Creole patois(The Times-Democrat, Oct. 17, 1886) >
- Pictures of New Orleans < The Scenes of Cable's Romances(Century Magazine, Nov. 1883) The Last of the New Orleans Fencing Masters(Southern Bivouac, Nov. 1886) >
- Studies of Negro life < The last of the Voudoos(Harper's Weekly, Nov. 7, 1885) New Orleans Superstitions(Harper's Weekly, Dec. 25, 1886)
- Race studies in the West Indies < A study of half-braeed race in the West Indies(Cosmoplitan, June 1890) West Indian Society of Many Colorings (Cosmopolitan, July 1890)>
- American Envoy <A Winter journey to Japan(Harper's Magazine, Nov. 1890)>

(26)

[H 0 9 1. 2 1]

Barbarous Barbers and other stories ; edited by Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1939. - viii, 319 p. ; 20 cm. (Lafcadio Hearn's American articles) 寄贈：中土義敬氏

- Contents: Barbarous Barbers. Slow starvation. Almost a riot. John Alge-
rnon Owen. Grave-Digger Baldwin. Mr. Hand's life. Oleman pickett. Les
Chiffonniers. "Rags, Iron stoves!" The city "Dumps" A Sicilian Vendetta.
In Spain. Ballet dancing and Sundry observations. A prize for beauty.
Scenes de ee la vie des Hoodlums. The Accursed fig tree. A Southern
Prophet. The Hebrews of Cincinnati. The Hebrew College. Persecuting the
Jews in Russia. Government policy and the Jews. Jewish emigrants for
Louisiana. Friends of the Prisoners. The Golden balls. Story of a slave
The midnight mission. "Hempstead" Porcelain painting. Struggles and
triumps. Gibbeted. Wonders Assassination. Blue blood. Cincinnati
saints. Cincinnati salamanders. Blue and Brass. The sub Worthington suit
Worships and the world.

Barbarous Barbers and other stories / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro
Nishizaki. - 東京 : 雄松堂出版, 1992. - viii, 319 p. ; 20 cm.
- (Lafcadio Hearn's American araticles). - Original publisher: Tokyo
: Hokuseido Press, 1939.
Contents:-内容は上記に同じ

Buying Christmas toys and other essays / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro
Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1939. - ix, 166 p. ; 20 cm.
寄贈：中土義敬氏

- Contents: Buying Christmas toys. Halloween. Cheek. One type of bore.
Bradlaugh. "Love in a tub, and the bottom feel out" How illustrious men
marry Travel an educating influence. Does charity pay? "The world owes
me a living" Curiosities of charity. Taxing cats. Ancient and modern
British amusement. One practical joker less. Athletics. Big men and
little men. Physical education. Treatment of children. Our modern juggle-
r. False free thought. Republicanism in France. The people we send
missionaries to Laws against seduction. French and American co-operative
societies. World's journalism. The conquest of the United States. Some
theories of colonization. Colonization. A phenomenon of civilized pro-
gress. Phenomenon of civilized progress. Phases of civilization. The
cultivation of national greatness. Republican France. Influence of woman
in politics. Communism. Pessimism in socialism. Theories and facts about
population. Will the time come when all men will be wise? Trades and
professions. There are no more giants. American aristocracy. Prejudice
of prudes. Alead pencil and cigar holder from Russia. S.P.C.A. notes.
"Doesnt want any progress"

Buying Christmas toys and other essays / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro
Nishizaki. - 東京 : 雄松堂書店, 1992. - ix, 166 p. ; 20 cm.
- (Lafcadio Hearn's American articles). - Original publisher: Tokyo :
Hokuseido Press, 1939.
Contents:-内容は上記に同じ

Editorials / by Lafcadio Hearn ; edited by Charles Woodward Hutson. - Boston :
Houghton, 1926. - xx, 356 p. ; 22 cm.
Contents:-Introduction.

- From the 'ITEM'
Pompeii. Fantastic possibilities of invention. Migrations of the human
race. The question in Germany. The Asiatic Horizon. Insect politics. Is
the sea serpent an Eel? Poor mummies! Romanticism in music. Were there
communists in antiquity? Fair women and dark women. Crimson madness.
Spring fever fancies. Desert or sea. The secrets of the infinite. The One-
sider Community's announcement. The devil's Cathedral. A French translation
of Edgar Poe. American magazines. Self-supporting wives. Penitentiaries

and punishments. The French in Louisiana. Prevention of Cruelty to women. Huble fare and high living in ancient Rome. The electric light. Manufacturing interests and rowdyism. French journalism. Dead for a ducat--and less than a ducat. Prolific crime. A dream of futurity. Woman's influence. What is light? Canada v. Bernhardt. The Ferocity of the Shoemaker. As if painted by lightning. Some fancies about fancy. Rainbow birds. The sexual idea in French literature. Recent American novels. A glance at Gypsy literature. A novel literary enterprise. A journalistic outlook. American art tastes. English the universal tongue of the future.

• From the 'Times-Democrat'

Some grotesque theorizing. The Alexandrian library. Present status of the Germ theory. For the sum of \$25. The fate of the comet. Submarine gossip. Sun-spams. The destiny of solar systems. Cheap French literature. The two Arnolds. Forgery in art. A Mad romantic. The Burning of dead. Tinted art. Hot baths in the middle ages. Study and play. The hypocrisy of the face. The punishment of silence. The legend of skobelegg. The roar of great city. Death and resurrection in the Soudan. The story of an Orientalist. A memory of two fannies. Norodom the Last. Some fossil anthropology. Shapira. The rise of the Mahdi. L'Arlesienne. A new Pompeii. Archaeology in Cambodia. 'Solitude' Over-Education in Germany. Chinese belief in God. Aristic value of Myopia. Colors and emotions. The fascination of crime.

Literary essays / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1939. - x, 210 p. ; 20 cm. 寄贈：中土義敬氏

- Contents: Mortuary literature. Immoral literature. A dime novel crop. Tropical literature. Naturalism. Enchanted swords. Northern myths. The Niebelungenlied Wagnerian. Schwab's talmud. Translating and multilating. Some American translations. How stirling translates zola. Helene--a love episod "The Abbe's temptation" Curious matters in daudet's last novel. "Captain Fracasse. "Madame Bovary" A review of Renan. Victor Hugo. Victor Hugo's birthday. Death of Victor Hugo. Renan on Victor Hugo. Academical triumphs "La France juive" Zola vs. the censorship. Memoirs of Michelet. "Manon Lescaut" Courbet. The apostle of aestheticism. Oscar Wilde as a fashion designer. Dore and Poe. Charles reade. "Majorie daw and other people" Discussions on "Theophrastus such" Henri Greville. Miss Duer's love story. The Greek poets. The first of may--a fairy masque. The Scottish Isaiah. "Of all places on this earth" What is in name? Fanny lear--romance of an American woman in Russia. Bismarck's literary philosophy. Concerning the Barrel-organ. Carmen. Gttschalk. Singing societies in America. Some musical literature. That old picture.

Literary essays / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. - 東京 : 雄松堂出版、1992. - x, 210 p. ; 20 cm. - (Lafcadio Hearn's⁹American articles) Original publisher: Tokyo : Hokuseido Press, 193 .
Contents:-上記に同じ

The new radiance and other scientific sketches / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1939. - viii, 238 p. ; 20 cm. 寄贈：中土義敬氏

- Contents:- Preface. The new radiance. The mystery of a voice. Superstitions. Unfolded mysteries. A school of beauty. The sun's end. Krewe of proteus. Cat and dog stories. Insect civilization. A possibility! Laughter physically injurious & morally degrading. No laughing matter. The physiology of smells. A fishy story. Dr. Hava's tarantula. Opium and morphia. The Opium habit. Opium eating. The Opium dens. A havanese romance. A murder theoretically considered. Invisible poisons. Two curious cases of suicide. Morbid suicide. The dance of death. Mad-house horrors. Mad-house scenes. Myopia. Eye-trans-plantation. Modern spiritualism. Occult science. Spirit photogaraphy. A scientific novelty. A great English physician. Shall We burn or bury? Gologotha. Bones.

(28)

[H 0 9 1. 2 1]

The new radiance and other scientific sketches / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. - 東京 : 雄松堂出版, 1992. - viii, 238 p. ; 20 cm. - (Lafcadio Hearn's American articles). - Original published: Tokyo Hokuseido Press, 1939.

- Contents: Preface. The mystery of a voice. Superstitions. Unfolded mysteries. A school of beauty. The sun's end. Krewe of Proteus. Cat and dog stories. Insect civilization. A possibility! Laughter physically injurious & morally degrading. No laughing matter. The physiology of smells. A fishy story. Dr. Hava's tarantula. Opium and morphia. The opium habit. Opium eating. The opium dens. A havanese romance. A murder theoretically considered. Invisible poisons. Two curious cases of suicide Morbid suicide. The dance of death. Mad-house horrors. Mad-house scenes. Myopia. Eye-transplantation. Modern spiritualism. Occult science. Spirit photography. A scientific novelty. A great English physician. Shall we burn or bury? Golgotha. Bones.

Occidental gleanings. Vol. 1 / sketches and essays now first collected by Albert Mordell. - London : Heinemann, 1925. - xlv, 276 p. ; 23 cm.

Occidental gleanings. Vol. 2 / sketches and essays now first collected by Albert Mordell. - London : Heinemann, 1925. - xii, 290 p. ; 23 cm.

Oriental articles / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido, 1939. - viii, 260 p. ; 20 cm. 寄贈: 中土義敬氏

- Contents:- Preface. Sanscrit epics--Ramayana. The Ramayana. The glorious papeant of momus< The streets last night. At the French Opera-House> Some supposed sanscrit translations. "The light of Asia" The Buddhistic Bugaboo! Some theosophical iconoclasm. A religious nightmare. Caste. The present and future of India. Confused Orientalism. The world's worships. Myths and worships of China. Oriental literature at the Exposition. English policy in China. Archaeological news from China. The Chinese future. A curious judgment of the Japanese. The horses of Arabia. Note on Abd-El-Kader. A legion of mahdis. "A mahdi in the eighteenth century" Armed Arab women. Slavery & mohammedanism in the soudan. Slavery and Islam. Curiosities of the pilgrimage to Mecca. Moslem observances. "Successor of Tamerlane." A curious discovery at Pompei--A birdshop. Fraudulent Egyptain "Discoveries" Maspero's find. Resurrected estheticism. A story forty Centuries old The ruins of carthage. Dr. Holland's defenders. Archaelolgoical art and its critics.

Oriental articles / by Lafcadio Hearn ; edited by Ichiro Nishizaki. - 東京 : 雄松堂出版, 1992. - viii, 260 p. ; 20 cm. - (Lafcadio Hearn's American articles) Original Publisher: Tokyo : Hokuseido Press, 1939.
Contents: 内容は上記に同じ

Period of the gruesome : selected Cincinnati Journalims of Lafcadio Hearn / ed. by John Christopher Hughes. - Lanham, M. D. : University Press of America, c1990. - xiv, 322 p. ; 24 cm. - ISBN:0819177830.

- Contents:- "The blues(The Cincinnati Enquirer, Nov. 15, 1872) The last of the horse.
- The last of the Horse. How he is turned into soap-fat, fertilizer, and sian blue. A flying visit to the horse-frying works at Delhi (The Cincinnati Enquirer Nov. 27, 1872)
- A wolf's vengeance, a Butcher's "Clean" work upon a human heart. The story a slaughter-house tragedy. (The Cincinnati Enquirer, Dec. 10, 1872)
- The Elixir of love. The tomahawker tries suicide. He searches for the jugular, but, Failing in that, tries an artery. He would die "all for live" (The Cincinnati Enquirer, Dec. 20, 1872)
- Dug-up. Doctors at work on the body of Belleville. Post-mortem examination at Spring grove cemetery. (The Cincinnati Enquirer, April 16, 1873)

- MME, Sidney Augustine. An abortion for twentyfive dollar, and the price "Worked out." Bargaining for the dead--A house with an infamous history--fortune-telling and dead babies. (The Cincinnati Enquirer, May 22, 1872)
- The Clairvoyant Abortionist. Search of the premises and the results. The story of black silk dress. (The Cincinnati Enquirer, May 23, 1873)
- Among the spirits. Remarkable manifestations on Barr street. An enquirer reporter communicates with his father. (The Cincinnati Enquirer, Jan. 25, 1874)
- The Haunted and Hunters. Ghostly minstrelsy in the City Stables. A Goblin in a Gas-Pipe. (The Cincinnati Enquirer, Jan. 26, 1874)
- The Century's crime. A bloody operation at the Heyl House. A country doctor tries his hand at abortion in Cincinnati. The Victim a beautiful young lady of Indiana. He carries in his pocket damning evidence of his guilt. (The Cincinnati Enquirer, Feb 14, 1874)
- Slow starvation. Beauty, beggary, pants and pistol-pockets. The women who sew, and the men who pay them. The story of "a dime a pair" told by an enquirer reporter. (The Cincinnati Enquirer, 15, 1874)
- Parthenia Sullivan. The hideous revelations of the Carrie Davis inquest. Five abortions in progress at one time in the she-devil's den. (The Cincinnati Enquirer, Feb. 26, 1874)
- The dance of death. Enquirer reporter in a dissecting room. The Skeleton of cunny--odors of the Charnel House--student buzzards and stinking stiffs (The Cincinnati Enquirer, May 3, 1874)
- William M' Dole. An interview with the Alleged Lawrenceburg murderer.
- The Lynching talk and the chances. (The Cincinnati Enquirer, June 26, 1874)
- Rat row ranches. Some specimen houses and pious owners. Interviews along the landing. (The Cincinnati Enquirer, June 29, 1874)
- The Colored ghoul. A human bone-biler come to grief. (The Cincinnati Enquirer July 18, 1874)
- Les Chiffonniers. Rags, Wretchedness and rascality. The Gnomes of the dumps. How they live, work and have their being. (The Cincinnati Enquirer July 26, 1874)
- The Charnel-House. Ghastly groping in the decay of graves. (The Cincinnati Enquirer, Aug. 26, 1874)
- A Motherly murder. Little Clara Perkins' throat cut with a piece of glass. Her mother follows the deed by an attempt on her own life. A touching and ghastly story. Jealousy, live and death in a brown street front. (The Cincinnati Enquirer, Oct. 1, 1874)
- The Perking Tragedy. The Scarlet woman appears on the scene. What the Horror-Stricken community has to say. The funeral of the child and the condition of the mother. (The Cincinnati Enquirer, Oct 2, 1874)
- Wife and mistress. The whole story of the late child murder. A marriage "On Honor" and liaison on love. Mrs. Perkins asserts her equal right to violate the nuptial vow. She is caught in dalliance, and ordered from her home. Then follows the tragedy. Second attempt at self-destruction. The wild words of "The other women" (The Cincinnati Enquirer, Oct. 3, 1874)
- The Perkins horror. Another history of the family trouble. Mrs. Perkins the victim of a designing woman's wiles. Mr. Perkins makes a statement. (The Cincinnati Enquirer, Oct. 6, 1874)
- Violent cremation. Saturday night's Horrible crime. A man murdered and burned in furnace. The terrible vengeance of a father. Arrest of the supposed murderers. Links of circumstantial evidence. The pitiful testimony of a trembling horse. Shocking details of the diabolism. Statements and carte de visite of the accused. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 9, 1874)
- Killed and cremated. Further of the Eggerschilling tragedy. Testimony at coroner's inquest. Talks with the prisoners in Jail. Latest. Frederick Egner Confesses to Dr. Maley. Refers the alleged murderer of Schilling. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 10, 1874)
- It is out ! The terrible tannery tragedy. Confessions of Fred Egner. How the Horrible deed was done. Lying in wait for the victim. Beaten with

- a club by George Rufer. Stabbed with a Pitchfork by Andreas Egner. Rammed into the Furnace by the three bloody brutes. Shocking details of the diabolism. Hideous possibility that schilling was burned alive. Father and son face to face. Rufer and old egner denounce the boy's confession as false. Continuance of the inquest--re-arrest of the witness John Hollebrach The pitiful history of poor Julia Egner. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 11 1874)
- The Tannery Horror. Fred Egner's frightful testimony. He reiterates that terrible confession before the jury. The murderers confronted by Schilling's brother. Rufer's reputed record--bigamist, house-thief, Jail-Bird and assassin. Conclusion of coroner's inquest--Verdict of Willful murder. Later. Rufer weakens and confesses. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 12, 1874)
 - The furnace fiends. Their case continued until to-day. Fresh details regarding Fred Egner's record. A slave son and a satanic father. Rufer recognized as a Jail-bird by witnesses from Batavia. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 13, 1874)
 - The furnace fiends. Remanded to await the action of the grand jury--rufer betrays some good human feeling--He is identified by the Ex-sheriff of Clermont Co. Another act in the tragedy-- rufer's insane wife attempts to murder her child. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 14, 1874)
 - The quarter of Shambles. Its atmosphere, aspects and atrocious stenches. Blood, butchers and divers abominations. The neighborhood of the furnace horror by night. Why do those tannery dogs Howl in the hours of darkness. More about the furnace fiends--major blackburn's \$600 mortgage on egner's property. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 15, 1874)
 - The Furnace Horror. Rufer's description in the penitentiary register. Sheriff register. Sheriff Ziegler's conversation with the prisoner yesterday--He makes fresh statements regarding the tragedy--Schilling was not burned alive--A brief dissertation on recent rumors. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 16, 1874)
 - Golgotha. A Pilgrimage to Potter's field. The Sexton--guardian of nameless graves. His secret alliance with the ghouls. Extraordinary facilities afforded to resurrectionists--grave-robbing gravely winked at--The sixteen-chambered rifle which was never fired off. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 29, 1874)
 - Assassination. A Woman's throat cut near her own door in a dark alley. She rushes speechless and bleeding into her house and dies. The murderer the only living witness of the crime. The officers groping after the bloody-handed fiend. Singular circumstances connected with the mystery. Arrest of six suspected persons. (The Cincinnati Enquirer, Dec. 29, 1874)
 - The Monday night murder. A bloody razor, a bloody garment and tell-tale tracks. Joe brooks the suspected man--suspicious circumstances--finding the razor and fitting the boot to the tracks. (The Cincinnati Enquirer, Dec. 30 1874)
 - Opium and Morphia. Their consumption on the increase. Their demand in Cincinnati and vicinity--The quantities consumed, and their terrible consequences. (The Cincinnati Enquirer, March 14, 1875)
 - A goblin tale. The scene of the Tan-yard Horror Haunted. (The Cincinnati Enquirer, April 10, 1875)
 - Pariah people. Outcast life by night in the East end. The underground dens of bucktown and the people who live in them. (The Cincinnati Commercial, Aug. 22, 1875)
 - Haceldama. Humanity and inhumanity in the Shambles. Hebrew slaughterers, Gentile butchers, and consumptive blood-drinkers. (The Cincinnati Commercial, Sept. 5, 1875)
 - Some strange experience. The reminiscences of a ghost-seer, being the result of a chat on the kitchen-stairs. (The Cincinnati Commercial, Sept. 26, 1875)
 - Balm of Gilead. An Afternoon at the stik factory. What becomes of our dead

- animals. (The Cincinnati Commercial, Oct. 3, 1875)
- The Opium habit. Chinese opium-smokers in Cincinnati. The morphine eaters--What druggists and doctors say about them. (The Cincinnati Commercial, Jan. 2, 1876)
 - Story of a slave. Kidnaped in Covington twenty years ago, and illegally sold in the cotton states. Horrible experiences in Mississippi--recent suit against the kidnapers. (The Cincinnati Commercial, April 2, 1876)
 - Black varieties. The minstrels of the row. Picturesque scenes without scenery--Physiognomical studies at Pickett's. (The Cincinnati Commercial, April 9, 1876) • Roustabout rowdies. An interesting episode of domestic difficulties in Buck-town--shooting affray yesterday. (The Cincinnati Commercial, April 17, 1876)
 - A Slaughter-House story. About one who drank three glasses of blood, and went blind. (The Cincinnati Commercial, July 26, 1876)
 - Gibbeted. Execution of a youthful murderer. Shocking tragedy at Dayton. A broken rope and a double hanging. Sickening scenes behind the scaffold-screen. (The Cincinnati Commercial, Aug. 26, 1876)
 - Dolly. An Idyl of the levee. (The Cincinnati Commercial, Aug. 27, 1876)
 - Centennial suicides. (The Cincinnati Commercial, Jan. 3, 1877)
 - Some pictures of poverty. Impressions of a round with an overseer of the poor. (The Cincinnati Commercial, Jan. 7, 1877)
 - A Horror from Shaker life. Double suicide yesterday at the farmer's hotel. Mother and daughter fly from despondency to death. Interesting history of a sad episode. (The Cincinnati Commercial, April 26, 1877)
 - A morning in the police court. (The Cincinnati Commercial, July 8, 1877)
 - Embalming a corpse. The process to which the body of Mr. Labrot has been subjected. (The Cincinnati Commercial, July 11, 1877)
 - Lafcadio Hearn's Cincinnati writings: a bibliography.

Ye Giglampz : a weekly illustrated Journal devoted to art, literature and satire / edited by Lafcadio Hearn & Henry Farny ; introduction, history, bibliography and notes by Jon Christopher Hughes. - Cincinnati : Crossroads Books, 1983. - 1 v. ; 41 cm. ISBN:0961138009

H 0 9 1. 2 2 日本時代 (Lectures in Japan)

Appreciations of poetry / by Lafcadio Hearn ; selected and edited with an introduction by John Erskine. - New York : Dodd, 1916. - xiv, 408 p. ; 24 cm.

- Contents:- Chap. I. On love in English poetry. Chap. II. Studies in Tennyson (a fragment) Chap. III. Studies in Rossetti. Chap. IV. Studies in Swinburne. Chap. V. Studies in Browning. Chap. VI. William Morris. Chap. VII. Charles Kingsley as poet. Chap. VIII. Matthew Arnold as poet. Chap. IX. A note on Jean Ingelow. Chap. X. "Three silences" Chap. XI. A note on Watson's poems. Chap. XII. A note on Robert Buchanan. Chap. XIII. A Note on Munby's "Dorothy" Chap. XIV. Robert Bridges. Index.

Editorials from the Kobe Chronicle / Lafcadio Hearn ; edited with notes by Makoto Sangu. - Tokyo : Hokuseido Press, 1960. - ix, 202 p. ; 19 cm.

- Contents:- Preface. The Kurumaya question • The policy of interference. • The sale of the "Golden fleece" Some possible results of the war • A sad change. • Japanese educational policy • The need of generosity • Japanese physique • The race-problem in America • Religious intolerance • A problem of treaty revision. • One result of the new passport system • Dr. Tylor on Japanese influence in ancient America. • Patriotism and education • Earthquakes and national character • Some Japanese ideas of American policy • National individuality • The labour problem in America. • Sympathy with China. • Japanese emigration to the West Indies. • Cheap labour in Japan. • The European future • Growth of population in America. • The

curse of money. • Prize-fighting in the United States. • Mediaeval superstitions in journalism. • The future of China • The value of Shinto. • The republican victory in the United States. • The decline of foreign influence • Ethics and the survival of the fittest • The military state of Europe. • The materialism of spiritualism. • The question of male and female equality. • The crusade agst the nude. • A new "Index Expurgatorius" Dr. Pearson's real views about China. • A new chance for Buddhism Courage in modern warfare. A Japanese on the art of Japan and the West. • Are English Angels? • Japanese women and education. A democratic enigma. • The need of generosity. • Barbarism and civilization. • A triple alliance in the farther east. • The Korean riddle • As to the "Golden rule" Notes.

Essays on American literature / by Lafcadio Hearn ; with an introduction by Albert Mordell ; edited by Sanki Ichikawa. - Tokyo : Hokuseido Press, 1929 - xxxviii, 250 p. ; 26 cm. 市川博士の自署あり July 26, 1936 at Toyama.

- Contents:- Editor's preface. Introduction / by Albert Mordell.
- From the Item < Bret Harte and the critics (July 26, 1878) Decline of the Atlantic (Nov. 4, 1878) The vision of Echard and other poems (Dec. 4, 1878) The author of "Lars" (Dec. 21, 1878) Newspaper book critics (Jan. 12, 1879) The New Departure in Periodical Literature (Jan. 17, 1879) The value of novels (Jan. 23, 1879) The best reading (April 14, 1879) The journalism of the future (June 24, 1879) Motley's history of the United Netherlands (July 16, 1879) Poets (Aug. 6, 1879) Motley's life of John Bareveld (Aug. 21, 1879) Southern novels (Nov. 26, 1879) A New Orleans poet (Dec. 3, 1879) More biography--about Grant (March 4, 1880) Gayarre's history of Louisiana (April 22, 1880) The original Bras-Coupe (Oct. 27, 1880) Death of American literature (Dec. 31, 1880) A Southern Magazine (March 24, 1881) Reading (April 22, 1881) Successful literature (May 26, 1881) The New Louisiana novel (Oct. 17, 1881)>
- From the Times-Democrat • Vivit Post Funera Virtus (March 26, 1882) • Ralph Waldo Emerson (April 30, 1882) • A Romantic Conundrum (May 28, 1882) • Leaves of Grass (July 30, 1882) • Judge McGloin's New Book (Aug. 13, 1882) • Realistic fiction (Sept. 10, 1882) • Novelists and novels (Dec. 31, 1882) • "Home, Sweet Home" (March 4, 1883) • Southern literature (April 15, 1883) • Southern literature and 'Observer' (May 6, 1883) • A novel novel (May 20, 1883) Magazine mysries (July 24, 1883) Latterday Reviews (Nov. 13, 1883) • Cheap Books (Dec. 20, 1883) • Dime-Novel Wickendness (April 12, 1884) • "The valley of unrest" (May 4, 1884) • Authors and success (May 18, 1884) • Verse and prose trslations (June 16, 1884) • Reading (July 13, 1884) • Mr. Cable's "Dr. Seviert. 5, 1884) • Literary Hard work (Jan. 31, 1886) • Talent and genius (March 21, 1886) • "Hamlet's notes book" (April 25, 1886) • Nihilistic literature in the United States (May 9, 1886) • Sins of Genius (June 6, 1886) • Books and reviews (Aug. 1, 1886) • The Omnivorous Newspaper (Aug. 29, 86) • Joaquin miller (Sept. 12, 1886) • Pictures vs. texts (Sept. 19, 1886) • "A giant's work" (Nov. 7, 1886) • Eternal Literature (Nov. 14, 1886) • Propriety vs. morality (Nov. 21, 1886) • Towards the gulf (Jan. 2, 1887) • Journalism and magazine work (Feb. 6, 1887) • One of Mr. Howells' realisms (April 12, 1887) • The questioning of genius (April 24, 1887) • The spiritual sense in literataure (May 1, 1887) • Howells on critics (May 29, 1887)

A history of English literature in a series of lectures. Vol. 1 / Lafcadio Hearn. - Tokyo : Hokuseido Press, 1927. - iii, 478, xiip. ; 26 cm.

寄贈：中土義敬氏

- Content:- First period--Introductory remarks. • The old heathen poetry.
- Old English poetry in England < Christian and profane literature > • Old English religious poetry < The two Great Christian singers > • Old English prose. • The Norman conquest < The transformation of English. Death of the older literature. The period of silence > • The first period of Middle English < The new tongue > • The second period of Middle English. • The last

period of Middle English < The fixation of standard English, Commonly called the King's English. The fifteenth Century > • The literature of the period immediately before Elizabeth < English drama. Introduction of new forms of poetry > • Elizabethan literature < Elizabethan drama. Elizabethan prose: Euphuism. The lyric poetry. Edmund Spenser. Translators. Shakespeare > • Other dramas of the latter part of the 17th century < The heroic plays. Ofter tragedys > • Resoration prose and that of the close of the 17th Century < The great diaries > • Eighteenth century literature < General remarks. The ssicage > • Eighteenth Century poets of the classic age < Alexander Pope > • The prose of the classic age < Defoe. Jonathan Swift Addison and Steele. Bishop Berkeley. > • Drama. The age of Kr. Johnson. < Preliminary surve Dr. Johnson > • The poetry of Johnson's age < General survey. I. the romtic flow. II. Classical poetry from Johnson to Darwin > • The historians. • The prose of the age of Johnson. < Development of the English novel > • Tast essayists of the eighteenth century. Eighteenth Century drama < The last drama and the century > • The Romance of mystery and horror. • A group of revolutionaries. • Summary of the Eighteenth century literature.

A history of English literature in a series of lectures. Vol. 2 / Lafcadio Hearn. - Tokyo : Hokuseido Press, 1927. iv, 480-914, xii p. ; 26 cm.

寄贈：中土義敬氏

Contents:-

- Pre-Victorian poets < The first romantic school. Sir Walter Scott. The lake poets, Waordsworth, Coleridge, Robert Southey. The second romantic school, Byron, Shelly, Keats. Minor poets of the first romantic period >
- Pre-Victorian prose--fiction < The great novelists, Scott, Lytton, Dickens, Thackeray. Minor novelists. The female novelists. The graver prose and its great masters, Macaulay, Carlyle, De Quincey >
- The Victorian Era < Intraoductory remarks. Tennyson and Great poetry, Tennyson, Browning. Two new Schools: spasmodic & pre Raphaelite, Rosetti, Swinburne, summary. The Minor Singers, Introductory observations, Miss Rossetti, George Meredith, Robert Bridges, William Morris, Matthew Arnold, Charles Kingsley, Edward Fitzgerald. Mrs. Browning. William Johnson, Lord de Tabley, O'Shaughnessy. Light verse, Frederick Locker, Austin Dobson, Andrew Lang. Charles Calverley. Thomas Barham. William Aytoun. The last group: the spasmodics, Philip Bailey, Sidney Dobell. Alexander Smith, James Thomson, Owen Meredith, Coventry Patmore. Summary. Victorian fiction, Miss Bronte, George Eliot, Charles Kingsley, Henry Kingsley, Anthony Trollope, Charles Reade, Wilkie Collins, R. L. Stevenson, George Du Maurier, Rudyard Kipling. Great Victorian prose outside of fiction, Froude, John Ruskin, Matthew Arnold, Addington Symonds, Water Pater, Tyndall and Huxley. Criticism:- Saintsbury, Gosse, Dowden, Summary.
- Notes on American literature. Index.

A history of English literatur / by Lafcadio Hearn ; edited by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai. - 3rd edition / revised by Ichiro Nishizai and A. Stanton Whitfileld. - Tokyo : Hokuseido Press, 1934. - xvii, 974, xlviip. ; 23 cm. - one-volume edition.

Contents:-内容は上記に同じ

A history of English literature in a series of lectures / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Hokuseido Press, 1930. - xvii, 974, xlviip. ; 23cm. - entirely revised one-volume edition. 縮刷版 奥付けに校訂者 田部隆次、落合貞三郎とあり。

Contents:-内容は前記に同じ

A history of English literature / by Lafcadio Hearn ; edited by R. Tanabe, T. Ochiai & I. Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1970. - x, 815 p. ; 19 cm

Contents:-内容は上記に同じ

(34)

[H 0 9 1. 2 2]

Japan's religions : Shinto and Buddhism / by Lafcadio Hearn ; edited by
Kazumitsu Kato. - New Hyde Park, N. Y. : University Books, c1966.
- xiv, 356 p. ; 22 cm.

Contents: - Introduction / by Kazumitsu Kato. I. A question in the Zen
texts. II. Introduction to Buddhism. IV. Nirvana. V. Dust. VI. Whiin the
circle. VII. By force of Karma. VIII. The idea of preexistence. IX. A Pil-
grimage to Enoshima. X. The ancient cult. XI. The religion of the home.
XII. Development of Shinto. XIII. Worship and Purification. XIV. Some
thoughts about ancestor-whrship. XV. Kitsuki: the most ancient Shrine of
Japan. Index.

神戸クロニクル論説集 : 「パレット文庫」版収録四十一編の全訳・注解と英文原文
／ ラフカディオ・ハーン；真貝義五郎訳。 - 神戸 : 松蔭女子学院大学・
短期大学学術研究会, 1992. - 171, 114p ; 26cm. - (松蔭学術研究叢書).
- 英文書名=Lafcadio Hearn editorials for the Kobe Chronicle.

Contents:- 前文 1. ジェームズ・アンソニー・フルード=James Anthony Froude
2. オリバー・ウェンデル・ホームズ=Oliver Wendell Holmes 3. アレクサン
ドル三世の死=The death of Alexander III. 4. ジャーナリズムの” 妥当な領域”
=The "Proper sphere" of journalism. 5. スペインとの条約改正提案=The pro-
posed treaty with Spain. 6. 「シドニー号」紛争=The Sydney, Complication
7. フランス政府と「シドニー号」事件=The French Government and the "Sydney"
case. 8. 休戦仲裁=Mediation. 9. 投稿・心霊論の唯物主義—「神戸クロニク
ル」の編集者へ=Correspondence--The materialism of spiritualism. 10.
迅速の重要性=The imporatance of expedition. 11. ある帝国の軍事的復活=The
military revival of an Empire. 12. 偏見対団結=Prejudice versus unity.
13. 「サタデー・レビュー」誌の懸念=anxiety of the "Saturday review"
14. 「日本と日本人」="Japan and the Japanese" 15. 日本の柔術=Japan's
jiujutsu. 16. 合衆国と仲裁=The United States and mediation. 17. 最近の
和平交渉=The recent negotiations for peace. 18. 現代日本史へのある貢献=
A contribution to modern Japanese history. 19. 分別の欠如=Want to
discretion. 20. 清国と日本に於ける理想像=Ideal in Chia and Japan. 21.
故ハクスリー博士=The late Dr. Huxley. 22. 詩人と大衆=The poet and the
public. 23. ハワイとその捕虜宣誓書=Howie and his Parole. 24. 東西間の
産業競争=Industrial competition between East and West I. 25. 東西間の産
業競争II. =Industrial competition between East and West II. 26. ロシア・
清国借款協定=The Russo-Chinese loan. 27. 日本の軍事的能力=Japanese mil-
itary ability. 28. 台湾における日本軍兵士=The Japanese soldiers in for-
mula 29. 清国に於ける反宣教師暴動=The anti-missionary riots in China.
30. 反外国か反宣教師か?=Anti-foreign or anti-missionary? 31. 死者の
威光を借りる=Claiming the dead. 32. 小学校に於ける宗教教育=Religious
instruction in elementary schools. 33. 東洋における西洋の脅威=The menace
of the West by the East. 34. 議論と冒瀆=Discussion and outrage. 35.
友情 (フレンドシップ) と軍艦 (バトルシップ) =Friendship and Battleship.
36. 新聞、その過去と現在=Newspapers. Ancient and Modern. 37. 清国の騒
乱=The troubles in China. 38. 地理学と日々のパン=Geography and our daily
bread. 39. 国際道徳について最新の言=The latest word on interanational
morality. 40. 英国法と中国の刑罰=British law and Chinese punishments.
41. 京都遷都千年祭=The Kyoto memorial festival. 後書。

ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集 : 「パレット文庫」版 / 真貝義
五郎訳 - 東京 : 恒文社, 1996. - 287p ; 21cm. - 口絵: ハーン関連写
真4ページ

内容: はじめに (真貝義五郎) 前文 ジェームズ・アンソニー・フィールド
(1894年10月26日金曜日神戸)・オリバー・ウェンデル・ホームズ(1894年11月1
日水曜日神戸)・アレクサンドル三世の死(1894年11月5日水曜日神戸)・ジャー
ナリズムの” 妥当な領域”(1894年11月5日水曜日神戸)・スペインとの条約
改正提案(1894年11月8日木曜日神戸)・「シドニー号」紛争(1894年11月10日
土曜日神戸)・フランス政府と「シドニー号」事件(1894年11月19日月曜日神戸)
・休戦仲裁(1894年11月20日火曜日神戸)・投稿・心霊論の唯物主義「
神戸クロニクル」の編集者へ(1894年11月24日土曜日神戸)・迅速の重要性

(1984年12月1日土曜 神戸) ・ある帝国の軍事的復活(1894年12月4日火曜日 神戸) ・「偏見」対「団結」(1894年12月6日木曜日 神戸) ・「サタデー・レビュー」誌の懸念(14年12月7日金曜日 神戸) ・日本の柔術(1894年12月18日火曜日 神戸) 合国と仲裁(1894年12月20日木曜日 神戸) ・最近の和平交渉(1894年12月21日) ・現代日本史へのある貢献(1895年7月1日月曜日 神戸) ・分別の欠如(1895年7月2日火曜日 神戸) ・清国と日本における理想像(1895年7月5日) 金曜日 神戸) ・故ハクスリー博士(1895年7月9日火曜日 神戸) ・詩人と大衆(1895年7月10日水曜日 神戸) ・ハワイとその捕虜宣誓書(1895年7月12日金曜日 神戸) ・東西間の産業競争(1) (1895年7月24日水曜日 神戸) ・東西間の産業競争(2) (1895年7月25日木曜日 神戸) ・ロシア・清国借款協定(1895年7月27日土曜日 神戸) ・日本の軍事的能力(1895年8月1日木曜日 神戸) ・台湾における日本軍兵士(1895年8月12日月曜日 神戸) ・清国における反宣教師暴動(1895年8月13日火曜日 神戸) ・反外国か、反宣教師か?(1895年8月16日金曜日 神戸) ・死者の威光を借りる(1895年8月17日土曜日 神戸) ・小学校における宗教教育(1895年8月23日金曜日 神戸) ・東洋の驚異(1895年8月26日月曜日 神戸) ・議論と冒瀆(1895年8月28日水曜日 神戸) ・友情(フレンドシップ)と軍艦(バトルシップ) (1895年8月30日金曜日 神戸) ・新聞、その過去と現在(1895年9月12日水曜日 神戸) 清国の騒乱(1895年9月24日火曜日 神戸) ・地理学と日々のパン(1895年10月1日 火曜日) ・国際道徳についての最新の言(1895年10月4日金曜日 神戸) 英国法と中国の刑罰(1895年10月11日金曜日 神戸) ・京都遷都千百年祭(1895年10月26日曜日 神戸) あとがき「パレット文庫」版をつつむ疑問の解明と、ハーン論説の位置づけ 付録 ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)と「シドニー号」事件 — 「パレット文庫」収録の「神戸クロニクル」紙ハーン論説の時代背景を見る。原題一覧

Lafcadio Hearn : Japan's great interpreter : a new anthology of his writings, 1894-1904 / edited by Louis Allen & Jean Wilson. - Sandgate, Kent : Japan Library, 1992. - xii, 308 p. ; 23 cm. - Paperback. - ISBN:1837410026 (Limp) 090440448X (Case)

- Contents. : In memoriam to Louis Allen. • Japan physical. <Landsc Notes trip to Kyoto. A Pilgrimage to Enoshima. People: Of women's hair. Of a dancing-girl. The Japanese smile.> • Japan psychological. <The genius of Japanese civilization. Shinju. Of the eternal feminine.> • Japan spiritual. <The household shrine. Two strange festivals. Jizo. Bon-odori.> • Japan supernatural. <Kitsune. The legend of Yurei-Daki. The story of Mimi-nashi-Hoichi. Jikininki. Mujina. Rokuro-kubi. Yuki-onna. Gaki.> • Japan's lesser beings? <Frogs. Heike-gani. Fireflies.> • Japan social. <Strangeness and charm. The religion of Loyalty. From the diary of an English teacher. With Kyushu students.> • Lafcadio's farewell. <Sayonara! Reverie.> • Extracts from Lafcadio Hearn's letters. • Lafcadio Hearn's "At a railway station" with commentaries by Hirakawa Sukehiro.

Lafcadio Hearn's lectures on Tennyson / compiled by Shigetsugu Kishi. - Tokyo : Hokuseido Press, 1941. - 182 p. ; 19 cm.

Contents:- Preface. Crossing the bar. Vastness. Hymn. Tithonus. Ulysses. Dora. The Lord of Burleigh. Odo on the death of the Duke of Wellington. The Lotos-eathter. Specimen of a translation fo the Illiad in blank verse. The sisters. The victim. The two voices. Morte d'Arthur. The princess; a medley.

Lectures on prosody / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Hokuseido Press, 1929. - 90 p. ; 20 cm.

- Contents:- First lecture on prosody --Metrical feet. Second lecture on prosody. --Scanning--recapitulation. --Additional note upon the preceding lecture. Third lecture on prosody --The Caesura and "Overlapping". Recapitulation of lecture on Scanning --Various examples. Appendix. Observations of letter-forms. First lecture on English prpsody.

Lectures on Shakespeare / by Lafcadio Hearn ; edited by Iwao Inagaki. - Tokyo :

(36)

[H 0 9 1. 2 2]

Hokuseido Press, 1931. - 132 p. ; 19 cm. - 訂正増補 初版1928.

- Contents:- The greatness of the man. Personal--the man and his life. The distinction of Shakespeare's work. Method of Shakespeare's work. Sources and possible grouping of Shakespeare's work. Difficulties--The language of Shakespeare, and his obscurities. The grouping of the play by kind. A little discourse about some typical characters of Shakespeare. Appendix. Note on the study of Shakespeare.

Life and literature by Lafcadio Hearn / compiled with notes by R. Tanabe.

- Tokyo : Hokuseido Press, 1930. - iii, 251 p. ; 19 cm. 9版 初版 1925.

- Contents:- Literature and political opinion. On the relation of life and character to literature. On composition. Studies of extraordinary prose. Naked poetry. The value of the supernatural in fiction and art of writing ghost--story. The Havamal: old Northern ethics of life. On reading in relation to literature. Farewell address.

Life and literature / Lafcadio Hearn ; edited with notes by Kazuo Ueda.

- Tokyo : Hokuseido Press, 1989. - 98 p. ; 22 cm. - 寄贈: 上田和雄氏

Contents:- はしがき On reading in relation to literature. On the relation of life and character to literature. On composition. Notes.

On art, literature and philosophy : complete lectures / Lafcadio Hearn ; ed.

by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki. - Tokyo

: Hokuseido Press, 1932. n̄ v, ii, 533, xv p. ; 23 cm. 寄贈: 中土義敬氏

- Contents:- I. The bible in English literature. II. Shakespeare. III. The insuperable difficulty. IV. On the relation of life and character to literature. V. On composition. VI. On reading in relation to literature. VII. The value of the supernatural in fiction. VIII. Literature and political opinion. IX. The question of the highest art. X. Note upon the abuse and the use of literary societies. XI. Tolstoy's theory of art. XII. The Havamal. XIII. Berkeley. XIV. Victorian philosophy. XV. The new ethics. XVI. Evolutional thought in the Victorian poets. XVII. Grant Allen. XVIII. Beyond man. XIX. On the philosophy of "Sartor Resartus" XX. On romantic and classic literature, in relation of style. XXII. Studies of extraordinary prose. XXI. Literary genius. XXIV. English fiction in the first half of the nineteenth century. XXV. English fiction in the second half of the nineteenth century. XXVI. On modern English criticism, and the contemporary relations of English to French literature. XXVII. Note on some French romantics. XXVIII. The prose of small things. XXIX. A King's romance. XXX. The most beautiful romance of the middle ages. XXXI. Old Greek fragments. XXXII. "The shaving of shagpat" XXXIII. Note upon Rossetti's prose. XXXIV. Great translators. XXXV. Farewell address. Index.

On poetry : complete lectures / by Lafcadio Hearn ; edited by Ryuji Tanabe,

Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1934.

- viii, ii, 750, x p. ; 23 cm. [小泉八雲詩論]

[扉に中土義敬氏筆ヘルン肖像スケッチがある。]

Contents:- Preface / R. Tanabe, T. Ochiai. Publisher's note: on the complete Lafcadio Hearn lectures.

- I. Naked poetry. II. English Ballads. III. On the stories of the best English ballads. IV. Some notes on popular songs. V. The ideal woman in English poetry. VI. Note on the influence of Finnish poetry in English literature. VII. Note upon the shortest forms of English poetry. VIII. Epigrammatic poems. IX. Some symbolic poetry. X. Poems on heroic subjects. XI. Poems about children. XII. Some foreign poems on Japanese subjects. XIII. Some fairy literature. XIV. Poems on music. XV. On love in English poetry. XVI. Some poems on death. XVII. Note upon an ugly subject. XVIII. On tree spirits in Western poetry. XIX. Some English tree poetry. XX. Some poems about insects. XXI. Some French poems on insects. XXII. Old Greek poetry about insects. XXIII. On flowers in English

poetry. XXIV. On birds in English poetry. XXV. Poems old and new, not English, in relation to the moon. XXVI. Poems on night, the moon and the stars. XXVII. A note on Jean Ingelow. XXVIII. "Three silences" XXIX. On Rossetti's "Sea-limits" XXX. Ionica. XXXI. Philosophical poems of the Victorian age--1. Browning's "Rabbi Ben Ezra" 2. Swinburne's "Hertha" 3. Meredith's "Earth and man" XXXII. Notes upon the poetry of James Thomson, "B. V." XXXIII. A note on Robert Buchanan. XXXIV. The poetry of Lord de Tabley. XXXV. A note on Munby's "Dorothy" XXXVI. A poem by Lord Houghton. XXXVII. Two mystical rose poems. XXXVIII. Metempsychosis in modern verse. XXXIX. Note upon Hood's "Haunted House" XL. A few examples of light verse. Index.

On poets : complete lectures / by Lafcadio Hearn ; edited by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1934. - viii, 99, 841, x p. ; 23 cm. [小泉八雲詩人論]
Contents:- Preface / R. Tanabe, T. Ochiai. Publisher's note: on the complete Lafcadio Hearn lectures / Yoshitaka Nakatsuchi. I. Studies in Tennyson (a fragment) II. Studies in Rossetti. III. Studies in Swinburne. IV. Studies in Browning. V. The poetry of George Meredith. VI. Pessimists and their kindred. VII. William Morris. VIII. Note on Mrs. Browning. IX. Note on O'Shaughnessy. X. Edward Fitzgerald and the Rubaiyat. XI. Note on Coventry Patmore. XII. Writers of society verse. XIII. The Victorian Spasmodics. XIV. Notes on Herrick. XV. The first Great nature poet. XVI. Note on Crabbe. XVII. Note on Cowper. XVIII. Blake-the first English Mystic. XIX. Wordsworth. XX. Coleridge. XXI. On Sir Walter Scott's place in poetry. XXII. Byron. XXIII. Culling from Byron. XXIV. Shelley. XXV. Some notes on the poetry of Shelley. XXVI. Keats. XXVII. On the lyrical beauties of Keats. XXVIII. Note on Hood. XXIX. Notes on Thomas Campbell. XXX. Charles Kningley as Poet. XXXI. Matthew Arnold as poet. XXXII. Note on Christina Rossetti and her relation to Victorian poetry. XXXIII. Robert Bridges. XXXIV. Note on Watson's poems. XXXV. On a proper XXXVI. Note on Whittier. XXXVII. Poe's verse. XXXVIII. Walt Whitman. Index.

On reading in relation to literature / by Lafcadio Hearn. - Boston : Atlantic Monthly Press, 1921. - 21 p. ; 19 cm. - (Atlantic readings ; no. 17)
[Life and literature / edited by J. Erskine, 1917 の巻頭にある論文を別刷したもの]

Poets and poems / by Lafcadio Hearn ; compiled with notes by R. Tanabe. - Tokyo : Hokuseido, 1926. - 298 p. ; 19 cm. 寄贈 : 小松原隆二氏
[とびらに To Mrs. E. Cannon, with the Compliments of M. Otaniとあり。]
• Contents:- Note upon the shortest forms of English poetry. Poems about children. Some fairy literature. Some poems on death. Byron. Note on Wordsworth. Some notes on the poetry of Shelley. On the lyrical beauties of Keats. Note on Hood. Tennyson. Edward Fitzgerald and the "Rubaiyat" "Three silences" "Sea limits" "The patriot" "Strangers yet" "Dover beach" "West London" "A picture at newstead" A Poem by Robert Bridges

Poets and poems / Lafcadio Hearn ; compiled with notes by R. Tanabe. - 8版.
Tokyo : Hokuseido, 1930. - 298 p. 19 cm. 8版

Romance and reason / by Lafcadio Hearn ; compiled with notes by R. Tanabe.
Tokyo : Hokuseido Press, 1928. 248 p. ; 19 cm. 中土義敬氏寄贈
Contents:- "The shaving of Shagpat" The most beautiful romance of the middle ages. Note upon Rossetti's prose. Note upon Tolstoi's "Resurrection" A King's romance. Old Greek fragments. The prose of small things On romantic and classic literature in relation to style. The Question of the highest art. Tolstoi's theory of art. The insuperable difficulty. Note upon the abuse and the use of literary societies. On the philosophy

of "Sartor Resartus"

Some strange English figures of the eighteenth and nineteenth centuries : in a series of lectures / by Lafcadio Hearn ; edited by R. Tanabe. - Tokyo : Hokuseido Press, 1927. - 140 p. ; 19 cm. 寄贈 : 中土義敬氏

[小泉八雲英文学崎人伝]

Contents:- Strange figures of the eighteenth century < William Blake, Bernard de Mandeville, Erasmus Darwin, William Beckford, Christopher Smart > Curious literary figures of the nineteenth century < George Borrow, "Monk Lewis," and the school of Horror and mystery, Thomas Love Peacock, Walter Savage Landor, Thomas Love Peacock.

Appendix:- Blake--The first English mystic.

Supplement to a history of English literature. Vol. 1 / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Hokuseido press, [1932.] - 60 p. ; 26 cm. 寄贈 : 中土義敬氏

Contents:- From Ben Jonson to restoration drama.

Talks to writers / by Lafcadio Hearn ; selected and edited, with an introduction by John Erskine. - New York : Dodd, 1920. - xxvi, 243 p. ; 20 cm.

Contents:- Introduction. I. On the relation of life and character to literature. II. On composition. III. Studies of extraordinary prose. <1. The Norse writers. 2. Sir Thomas Browne. 3. Bjornson. 4. Baudelaire. > IV. The value of the supernatural in fiction. V. The question of the highest art. VI. Tolstoi's theory of art. VII. Note upon the abuse and the use of literary societies. VIII. On reading. IX. Literature and public opinion. X. Farewell address. Index.

Victorian philosophy / Lafcadio Hearn. - Tokyo : Hokuseido Press, 1930.

- 98 p. ; 20 cm. [ビクトリア時代の哲学] 寄贈 : 西崎一郎氏寄贈

Contents:- Victorian philosophy < The Great thinkers--total transformation of modern thought by new knowledge > The new ethics. Evolutional thought in the Victorian poets. Metempsychosis in modern verse. Grant Allen.

Writings from Japan=日本随想 / Lafcadio Hearn ; an anthology edited with an introduction by Francis King. - Harmondsworth, Middlesex : Penguin Books, 1984. - 364 p. ; 20 cm. - (Penguin travel library). - ISBN: 0140095322

Contents:- Introduction.

- Pt. 1: Recollections < My first day in the Orient (Glimpses of unfamiliar Japan) The chief city of province of the Gods (Glimpses of unfamiliar Japan) In the cave of the children's ghosts (Glimpses of unfamiliar Japan) At the market of dead (Glimpses of unfamiliar Japan) By the Japanese sea (Glimpses of unfamiliar Japan) Beside the sea (A Japanese miscellany) Drifting (A Japanese miscellany) In Yokohama (Out of the East) Bits of life and death (Out of the East) At a railway station (Kokoro) In Cholera-time (Kokoro) A letter from Japan (The romance of the Milky Way) In a Japanese hospital (A Japanese miscellany) Fuji-no-Yama (Exotics and retrospectives) >
- Pt. 2: Reflections < In a Japanese garden (Glimpses of unfamiliar Japan) Survivals (Japan: an attempt at interpretation) Insect-musicians (Exotics and retrospectives) Kusa-Hibari (Kotto) A Glimpses of tendencies (Kokoro) The Japanese family (Japan: an attempt at interpretation) >
- Pt. 3: Relations < A conservative (Kokoro) Kimiko (Kokoro) The story of Mimi-Nashi-Hoichi (Kwaidan) Ubazakura (Kwaidan) Jikininki (Kwaidan) Ningyo-no-haka (Gleanings in Buddha-fields) The reconciliation (Shadowings) The case of O-Dai (A Japanese miscellany) The story of Kwashin Koji (A Japanese miscellany) Of a promise broken (A Japanese miscellany) >

H 0 9 1. 3 ヘルンによる翻訳

(Translations by Hearn)

- The adventures of Walter Schnaffs and other stories by Guy de Maupassant ; translated by Lafcadio Hearn ; with an introduction by Albert Mordell. - Tokyo : Hokuseido Press, c1931, 1932再版. - 277 p. ; 19 cm.
〔モーパッサン短篇集〕
Contents:- The adventures of Walter Schnaffs and other stories / by Guy de Maupassant ; translated by Lafcadio Hearn ; with an introduction ty Albert Mordell. - Tokyo : Hokuseido Press, c1931. 277 p. ; 29 cm.
- Contents:- Introduction. The adventures of Walter Schnaffs. The drum. At sea. "La Mere Sauvage" En Voyage. My uncle Jules. Pierrot. The Chair-mender. The Adopted child. The Minuet. "A madman?" The Little cask. Suicides. The return. The Colonel's Ideas. Mohammed Fripouille. The confession. A Vendetta. A Coward. The Umbrella. A Christmas story The funeral of an Indian Prince.
- The boy who drew cats / rendered into English by Lafcadio Hearn. - 東京 : 長谷川武次郎, 1898. - [20] p. ; 20 cm. - (Japanese fairy tales series)
〔猫を描いた少年〕
- Chin-chin kobakama : the fairies of the floor-mats / rendered into English by Lafcadio Hearn. 15版. - 東京 : 長谷川武次郎, 1903. - [21] p. ; 20 cm. - (Japanese fairy tale) 1925 刊も所蔵
〔ちんちん小袴〕
- The crime of Sylvestre Bonnard : member of the institute / by Anatole France ; the translation and introduction by Lafcadio Hearn. - New York : Harper, 1890. - ix, 281 p. ; 22 cm.
- The fountain of youth / rendered into English by Lafcadio Hearn. - 東京 : 長谷川武次郎, 1923. - [14] p. ; 20 cm. 〔若返りの泉〕
- The goblin spider / rendred into English by Lafcadio Hearn. - 東京 : 長谷川武次郎, 1899. - [15] p. ; 20 cm. - (Japanese fairy tale) 〔化け蜘蛛〕
- The old woman who lost her dumpling / rendered into English by Lafcadio Hearn. - 東京 : 長谷川武次郎, 1902. - [19] p. ; 20 cm. - (Japanese fairy tale)
〔団子を失したおばあさん〕
- One of Cleopatra's nights and other fantastic romances / by Theophile Gtier ; faithfully translated by Lafcadio Hearn. - New York : R. Worthington, 1882 - ix, 321 p. ; 21 cm.
Contents:- To the reader. One of Cleopatra's nights. Clarimonde. Arria Marcella. The Mummy's foot. Omphale: a recoco story. King of Candaultes Addenda.
- Sketches and tales from the French / translated by Lafcadio Hearn ; edited with preface by Albert Mordell. - Tokyo : Hokuseido Press, 1935. - xii, 196 p. ; 19 cm. 〔仏蘭西文学名篇集〕
Contents:- Preface. Theophile Gautier: two actors for one role. Gustave Flaubert: The crucified Lions. The Phalanx in Battle. The Sacrifice; Moloch the Devourer. Comte de Villiers de L'Isle-Adam: The secret of the Scaffold, The story of Tse-l-La, The Doctor's Heroism. Francois Coppee: The blessed Bbread, The Invitation to Sleep, The dedal. Alphonse Daudet: The Cure of Cucugnan, The man with the golden brain, The death of the Dauphin, The two Wayside Inns, Autheman's suicide, Monsieur Seguin's goat. Jules Lemaitre: the eldest daughter. Octave Mirbeau: recollections of the Franco-Parussian War.
- Stories from Emile Zola / translated Lafcadio Hearn ; edited with preface by Albert Mordell. - Tokyo : Hokuseido Press, 1935. - 96 p. ; 19 cm.
〔エミール・ゾラ短篇集〕

(40)

[H 0 9 1. 3]

Contents:- Preface. Emile Zola: a note. The fight at the Mill. A peasant's death. A rich man's death.

Stories from Pierre Loti / translated by Lafcadio Hearn ; with an introduction by Albert Mordell. - Tokyo : Hokuseido Press, 1933. - 2, 75 sheets ; 40 cm.

寄贈：中土義敬氏

[寄贈者中土氏の口絵の直筆：本原稿は昭和7年7月弊堂が米国フィラデルフィヤのアルバート・モーデル氏に依頼し、ヘルン先生がニュー・オルレアズ時代に寄稿されたる当時の諸新聞（ニューヨーク図書館所蔵）から写したもの]

Contents:- Introduction.

- A love match in Tahiti (From "The Marriage of Loti") ("The New Orleans Democrat", Oct. 17, 1880) • Extracts from the marriage of Loti ("The New Orleans Times-Democrat", Feb. 12, 1882) • Selections from the Romance of a Spahi < Saint Louis ("The Democrat", Oct. 30, 1881) • An African Tornado ("The Times-Democrat", Dec. 11, 1881) • The Griots ("The Democrat", Nov. 20, 1881) • Senegal Landscapes ("The Democrat", Oct. 30, 1881) • The markets of Senegal ("The Democrat", Nov. 20, 1881) • The Spahi's death ("The Democrat" Nov. 6, 1881) • In Algeria (From "Fleurs d'ennui") ("The Times-Democrat", April 1, 1883) • The Capture of Tonkin (Reprinted in "Figures et Choses") ("Times-Democrat", Oct. 21, 1883) • The Massacre of the Annamites (Reprinted in "Figures et Choses") ("The Times Democrat", Nov. 4, 1883) • The Burial of Sailor (From "Mon Frere Yves") ("The Times-Democrat", Nov. 11, 1883) • Extracts from mon Frere Yves ("The Times-Democrat", Dec. 9, 1883) • Annamese Pictures ("The Times-Democrat," Oct. 12, 1884) • Fragments from my diary ("The Times-Democrat," Dec. 21, 1884) • In the mountains of Marble (Reprinted in "From Lands of Exile") ("The Times-Democrat," July 6, 1885) • Off the African East Coast (Reprinted in "From lands of Exile") ("The Times-Democrat," March 13, 1887) • The Apparition ("Iceland Fisherman") ("The Times-Democrat," May 23, 1886) • The death of Sylvestre ("Iceland Fisherman") ("The Times-Democrat", May 30, 1886) • The Big Bell (Reprinted in "Japoneries D'automne") ("The Times-Democrat, April 3, 1887) • In the palace of Taiko Sama (Reprinted in "Japoneries d'automne") ("The Times-Democrat", April 17, 1887) • The Dream (Reprinted in "A Book of Pity and Death")

Stories from Pierre Loti / translated by Lafcadio Hearn ; with an introduction by Albert Mordell. - Tokyo : Hokuseido Press, c1933. - 231 p. ; 19 cm.

[ピエル・ロチ短篇集]

Contents:- Introduction. A love-match in Tahiti: from "Le mariage de Loti" • Legend of the Moons: from "Le mariage de Loti" • Saint Louis, Capital of Senegal: from "Le roman d'un Spahi" • An African Tornado: from "Le roman d'un Spahi" • The Griots: from "Le roman d'un Spahi" • A senegal landscape : from "Le roman d'un Spahi" • The Spahi's death: from "Le roman d'un Spahi" • In Algeria: from "Fleurs d'ennui" • A Bat: from "Fleurs d'ennui" • The capture of Tonkin: reprinted in "Figures et choses" • The Massacre of the Annamites: reprinted in "figures et choses" • The Burial of a sailor: from "Mon Frere Yves" • A sailor's Frolic: from "Mon Frere Yves" • Annamese pictures: from "Mon Frere Yves" • Fragments from My diary translated from the original manuscript. • In the Mountain of Marble: Reprinted in "Propos d'Exil" 1887. • Off the East African coast: reprinted in "Propos d'Exil" • The Apparition: from "Pêcheurs d'Islande" • In Tonquin: from "Pêcheurs d'Islande" • The death of Sylvestre: from "Pêcheurs d'Islande" • The Big Bell: reprinted in "Japoneries d'automne" • In the palace of Taiko-Sama: reprinted in "Japoneries d'automne" • The dream: reprinted in "Le livre de la pitié et la mort"

The temptation of St. Anthony / by Gustave Flaubert ; translated by Lafcadio Hearn. - New York : Alice Harriman, 1911. [33], 262 p. ; 20 cm.

H 0 9 1. 4 教科書用テキスト (Textbooks)

- Athletic contests / Lafcadio Hearn. - p.11-14 ; 21 cm. - (The Meridian readers. Book 4 / Buhachiro Mitsui. Tokyo : Hokuseido Press, 1932. - 修正再版 216 p.より)
- At Yaidzu / Lafcadio Hearn. p.52-58. - (Life and humanity. Tokyo : Hokouseido, 1928. 132 p. ; 19 cm. の中のハーンの文) 寄贈 : 西崎一郎氏
- Beautiful stories of old Japan / Lafcadio Hearn ; edited with notes by Densaku Midorikawa. - Tokyo : Asahi Press, 1982. - 15 版 初版1971. - iv,108 p. ; 19 cm. [古い日本の美しい物語]
- Contents:-はしがき Yuki-onna. Furisode. The screen-maiden. The Mirror maiden. Story of a pheasant. The story of Aoyagi. Before the supreme court. The story of Kogi the priest. The story of Kwashin Koji. Notes.
- A book of recitations from the writings of Lafcadio Hearn. - Matsue : Hearn Society, 1986. - 46 p. ; 26 cm. 2 部所蔵
[小泉八雲暗唱読本]
- Contents:-編集方針と利用のしかた : ご指導の先生方のために.
The story of a Futon in Tottori. Oshidori. Mujina. The fountain of youth. Yuki-Onna. The dream of a summer day. The legend of Yurei-Daki. The story of O-Tei. Ubazakura. Butterflies. Matsue. Two legends in Matsue. From the diary of An English teacher(1) Form the diary of an English teacher(2) Sayonara. The nun of the Temple of Amida. A trip to Izumo. A street Singer Kusa-Hibari. At Yaidzu. Lettters to Mrs. Hearn.
- A dancing-girl and other stories / by Lafcadio Hearn ; with introduction and notes by T. Otsuka. - Tokyo : Osaka Kyoiku Tosho, 1947. - vi,106 p. ; 19 cm. - (Standard authors series)
[ダンシング・ガール 大塚高信注解]
- Contents:-作者小伝 A dancing girl. A passionnal Karma. The legend of Tchi-Niu. The story of Ming-Y. Notes.
- Essays / by Lafcadio Hearn ; with introduction and notes by R. Tanabe. - Tokyo : Kenkyusha, 1955. 23 版, 初版1940. - iv,69 p. ; 18 cm. - (Kenkyusha pocket English series)
[ハーン論文集 / 田辺隆次解説注釈]
- Contents:- Introduction.
Essays < A living God. Some thoughts about Ancestor-Worship. "Whatever the living possess is from the dead" The Japanese smil. "A little flower show." "The beauty of stones" "Unselfish self-control" "The writing of short poems" Strangeness and charm. > Notes.
- Exotic stories / by Lafcadio Hearn ; with introduction and notes by Ryuji Tanabe. - Tokyo : Kenkyusha, 1935. - iv,81 p. ; 18 cm. - (Kenkyusha pocket English series)
[異国奇譚 / 田部隆次解説注釈]
- Contents:- Introduction.
Exotic storeis < The tale a picture tells. The devil's Carbuncle. The Piper of Hamelin. The Legend of the Monster Misfortune. Boutimar, The Dov. Mingyo-no-Haka. A question in the Zen texts. A story of Divination. Drifting. Heike-Gani. The eater of dreams. Notes.
- Fuji-no-Yama. The festival of the dead / Lafcadio Hearn. - p.99-106 ; 21 cm. - (The Meridian readers. Book 3 / by Buhachiro Mitsui. Tokyo : Hokuseido Press, 1932 修正再版 184 p. ; 21 cm. の中のハーンの文2 章)

- (42) [H 0 9 1. 4]
 Fuji-no-Yama / Lafcadio Hearn. - p. 17-53 ; 20 cm. - (Selections from great authors / edited with notes by T. Kawatsu. - Tokyo : Sanseido, 1933. - 197 p. ; 20 cm. の中のハーンの文)
- Glimpses of unfamiliar Japan / by Lafcadio Hearn. - Tokyo : Daito shobo, 1931. - 173 p. ; 20 cm. 寄贈：安積昭夫氏
 • Contents:- I. May first day in the Orient. II. Fuji-no-Yama. III. At Yaizu. IX. A woman's diary. X. Bits of life and death. XI. Kusa-Hibari. XII. Pathological.
- Hearn's diary / 西村一雄編・注. - Kyoto : Yamaguchi Shoten, 1958 2刷. 初版1957 - 80 p. ; 19 cm. - (Students' English series)
 • Contents:- Lesson 1. Hearn's diary. 2. On a bridge. 3. At Yaidzu. Otokichi's Daruma. 5. Bits of life and death. 6. The Japanese smile.
- Hearn's essays / by Lafcadio Hearn ; with introduction and notes by Soji Inoue - Kyoto : Yamaguchi shoten, 1958. - 5版 初版1951. - iii, 105 p. ; 19 cm.
 • Contents:- Introduction. By the Japanese sea. At Yaidzu. Otokichi's Daruma. Pathological. Kusa-Hibari. Stranger than fiction. Vespertina cognitio. Notes.
- Hearn's tales and letters. I / Lafcadio Hearn ; edited with notes by Kageshiro Nishino, Masahiro Kitsudo. - 京都 : 国際出版社, 1974. - 84 p. ; 19 cm
 • Contents:- まえがき ハーン年譜 Glimpses of unfamiliar Japan, letter concerned. At Mionoseki, letter concerned. From the dialy of a teacher. Out of the East, letter concerned, 露国皇帝見舞電文. Yuko.
 • Kokoro < At a railway station, letter concerned. A street singer, letter concerned. From a traveling diary. > Kotto, letter concerned. Kusa-Hibari, notes.
- Hi-mawari / Lafcadio Hearn. - p.3-7 ; 19 cm. - (Twelve best shor stories from British and American writer / by selected by K. Kumano. - Tokyo : Hokuseido, 1925. - 200 p. ; 19cm. の中のハーンの文) 寄贈：西崎一郎氏
- Japan : an attempt at interpretation by Lafcadio Hearn ; a selection edited with notes by Shohei Uchiyama. - Tokyo : Hokuseido Press, [1958]. - 107 p. ; 19 cm. 寄贈：平岡伴一氏
 Contents:- Preface. Difficulties. The Japanese family. The introduction of Buddhism. Feudal integration. Reflections. Notes.
- Kokoro =心 : hints and echoes of Japanese inner life / by Lafcadio Hearn ; selected and annotated by Ichigoro Fujii. - Tokyo : Kenkyusha, 1958, 9版 初版1952. - ii, 136 p. ; 18 cm. - (Kenkyusha poecke English series)
 Contents:- はしがき Kokoro -- At a railway station. A street singer. From a travelling diary. The nun of the temple of Amida. Haru. By Horce of Karma. A conservative. In the twilight of the Gods. In cholera time. Kimiko. Notes.
- Kwaidan / by Lafcadio Hearn ; with introduction and notes by Soji Inoue. - Kyoto : Yamaguchi shoten, 1958. 初版1950. - ii, 83 p. ; 19 cm. - (English text series)
 Contents:- Introduction. The story of Mimi-nashi-Hoichi. Diplomacy. Of a mirror and a bell. Jikininki. Mujina. A dead secret. Yuki-onna. The story of Aoyagi. Notes.
- Kwaidan / Lafcadio Hearn ; edited with introduction and notes by Y. Sugi. - Tokyo : Seibido, 1957. - 92 p. ; 18 cm. [怪談 / 杉安太郎注解]
 Condents:- The story of Mimi-nasi-Hoichi. Oshidori. The story of O-Tei. Diplomacy. Mujina. Yuki-Onna. The story of Aoyagi. The dream of Akinosuke. Notes.

Kwaidan : 小説=独英対照怪談 / 淵田一雄訳注. - Tokyo : Sansyusya, 1958.
 - 98 p. ; 16 cm. - (Biblioteca Germanica ; 52)
 Contents:-独英対照 <耳なし芳一 はかりごと むじな>
 和訳 <耳なし芳一 はかりごと むじな>

Kwaidan=怪談 / Lafcadio Hearn ; notes by T. Kobayashi. - Tokyo : Daigaku-syorin, 1951. - 69 p. ; 19 cm. - (Daigakusyorin easy redings series)
 Contents:- The story of Kwashin Koji. The story of Mimi-nashi-Hoichi.

Kwaidan(怪談) / by Lafcadio Hearn ; edited with notes by Rintaro Fukuhara.
 - Tokyo : Kenkyusha, 1958. 13版 初版1953. - iv,133 p. ; 18 cm.
 - (Kenkyusha pocket English series)
 Contents:- Introduction. Preface. Kwaidan < The short of Mimi-nashi-Hoichi Oshidori. The story of O-Tei. Ubazakura. Diplomacy. Of a mirror and a bell. Jikininki. Mujina. Rokuro-Kubi. A dead secret. Yuki-Onna. The story of Aoyagi. Jiu-Roku-Zakura. The dream of Akinosuke. Riki-Baka Hi-Mawari. Horai. Notes.

Kwaidan / by Lafcadio Hearn ; with introduction and notes by Shogoro Ogita.
 - Tokyo : Kaibunsha, 1958. 15版 初版1954. - v,152 p. ; 18 cm. - (開文社 英文名著選集) [ハーン怪談 / 荻田庄五郎註]
 Contents:- Introduction.
 Kwaidan < The story of Mimi-nashi-Hoichi. Oshidori. The story of O-Tei. Ubazakura. Diplomacy. Of a mirror and a bell. Jikininki. Mujina. Rokuro-kubi. A dead secret. Yuki-Onna. The story of Aoyagi. Jiu-Roku-Zakura. The dream of Akinosuke. Riki-Baka. Hi-Mawari. Horai. Notes.

Kwaidan and Kotto / by Lafcadio Hearn ; 大阪教育図書編集部編注. - 東京 : 大阪教育図書, 1958, 改訂版2刷, 初版1948. - iv,103 p. ; 19 cm. - (Easy reading series) [怪談と骨董]
 Contents:-まえがき 改訂版刊行に当り
 • Kwaidan < Mujina Yuki-Onna The story of Mimi-nashi-Hoichi. Diplomacy. The story of Aoyagi. >
 • Kotto < Kusa-Hibari. Pathological. Fireflies. > Notes.

Lafcadio Hearn's stories & essays / edited with introduction & notes by Minoru Soda. - Tokyo : Daigakusyorin, 1958, 3版, 初版 1956. - x,120 p. ; 19 cm. - (ハーン小作品集)
 Contents: Oshidori. The story of Kwashin Koji. Of a promise kept. A living God. At a railway station. Otokichi's daruma. Kusai-Hibari. The Japanese smile. On birds in English poetry.

Lectures on literature / Lafcadio Hearn ; with introduction and notes by Sadami Hirose. - Tokyo : Daigakusyorin, 1957, 3版, 初版1953. - 93 p. ; 19 cm. [ハーン文学論]
 Contents:-
 Introduction. Literature and political opinion. The question of the highest art. Shakespeare--The greatness of the man. On reading in relation to literature. The value of the supernatural in fiction. Farewell address. Notes.

Literary selections from Lafcadio Hearn / edited with notes by Motoi Kurihara. Tokyo : Sekizenkwan, 1931, 4版, 初版1924. - 231 p. ; 19 cm. - (Kawase series) 寄贈: 西崎一郎氏
 Contents:-
 I. Naked poetry. II. Note upon the shortest forms of English poetry. III. The Most beautiful romance of the middle ages. IV. "Ionica" V. Old Greek fragments. VI. The new ethics. VII. Beyond man. VIII. Literature and political opinion. IX. The value of the supernatural in fiction. X. Edward Fitzgerald and the Rubaiyat. Notes.

- (44) [H091.4]
 Literature and political opinion / L. Hearn. - 東京 : 文明書院 1925.
 p.51-69. 16 cm. - (Advanced prose readings : essays of modern famous
 authors 中のハーンの文)
- Mujina and other tales : selections from Kwaidan and Kotto / by Lafcadio Hearn
 ; edited by Hiromu Nagaoka. - Tokyo : Sanseido, 1929, 13版, 初版1929.
 - 3,85 p. ; 17 cm. (T Crown reading series. Fifth year grade)
 寄贈 : 西崎一郎氏
 Contents:- Mujina. Ubazakura. A dead secret. Rokuro-Kubi. In a cup of tea.
 Common sense.
- My first day in the Orient and others / Lafcadio Hearn ; edited with intro-
 duction and notes by N. Saito, T. Kumamoto. - Tokyo : Seibido, 1958, 3版,
 初版1956. - 104 p. ; 19 cm.
 [ハーン随筆選 / 齊藤信雄, 熊本徳次郎注解]
 Contents:- My first day in the Orient. A living God. From the diary of
 an English teacher. At Yaidzu. Notes.
- New selections from Lafcadio Hearn. First series / [抄録者 田部隆次].
 - 東京 : 有朋堂, [1921], 1911の訂正再版, 初版1910. - 181 p. ; 19 cm.
 [小泉八雲文抄 第1集] 寄贈 : Perkins 氏
 Contents:-
 I. Drifting. II. At a railway station. III. On a bridge. IV.
 The future of the Far East. V. After the war. VI. In Cholera time. VII.
 A Tottori legend. VIII. The story of Urashima. IX. Ningyo-no-Haka. X.
 The legend of Misfortune. XI. Kwashinkoji. XII. The story of Mimi-nashi
 -Hoichi. XIII. A Queer tale. XIV. From the diary of an English teacher.
 XV. Sayonara! XVI. To Otani. XVII-XX. To Ochiai. XXI. Fujisaki.
- New selections from Lafcadio Hearn / [抄録者 田部隆次]. - 東京 : 有朋堂,
 1921, - 181 p. ; 19 cm. - 1911訂正再版の増刷
 [小泉八雲文抄] 寄贈 : Perkins 氏
 Contents:-内容は上記に同じ
- On literature / by Lafcadio Hearn ; notes by Yoshitaka Sakai. - Tokyo :
 Eihosha, 1957, 増刷, 初版1955. - ii, 42 p. ; 19 cm. - (Minor series)
 [ハーン文学論]
 Contents:- The bible in English literature. Literature and political
 opinion. The insuperable difficulty. Notes.
- The romance of the Milky Way and other stories / Lafcadio Hearn ; with intro-
 duction and notes by Tatsuhiko Arakawa. - Tokyo : Keibundo, 1954.
 - ii, 57p ; 19cm. 寄贈 : 平岡伴一氏
 Contents:- Introduction. The romance of the Milky Way. Kusa-Hibari. Patho-
 logical. Notes.
- Selections from Lafcadio Hearn / edited by K. Nasu. - Tokyo : Kawase, 1937.
 - 165 p. ; 20cm. - (The Kawase series) 寄贈 : 川瀬日進堂殿
 • Contents:- 1. Kobodaishi. 2. Two strange festival. 3. Kitsune. 4. From
 the diary of an English teacher. 5. Of a dancing-girl.
- Selections from Lafcadio Hearn / [荒井書店編集部編]. - Tokyo : Arai Shoten,
 1934. - 128 p. ; 20 cm. - 寄贈 : 尾島庄太郎氏
 • Contents:- Butterflies. At Hinomisaki. The soul of the Great Bell.
 Boutimar the dove. Mosquitoes. Of a mirror and a bell. A tradition of
 titus. Esther's choice. The Lion. Natalika. At Yaidzu. The book of Thoth.
 At Mionoseki. The soul of a Peony. The story of Ito Norisuke. A legend of
 love. The writing of Kobo Daishi. Sikworms.
- Selected essays of Hearn / edited with notes by D. Midorikawa. - Tokyo :

Kaibunsha, 1958, 7版, 初版 1954. - vii, 110 p. ; 19 cm. - (開文社: 英文名著選集) [ハーン論文選 / 緑川伝作注]

- Contents:- Introduction. Essays-- The Japanese smile. Some thoughts about Ancestor-worship. "Unselfish self-control" "The writing of short poems" Strangeness and charm. "Whatever the living possess is from the dead" "A little flower-show" "The beauty of stones" A living God. Notes.

Select readings from Lafcadio Hearn. Second series / with notes by I. Yamada.

- Tokyo : Hokuseido Press, 1930. - 34 p. ; 19 cm. 寄贈: 西崎一郎氏

- Contents: The story of Kwashin Koji. Yuki-Onna.

Sketches / by Lafcadio Hearn ; with introduction and notes by R. Tanabe.

- Tokyo : Kenkyusha, 1958, 33版. - iv, 82 p. ; 18 cm. - (Kenkyusha pocket English series) 初版1940. [ハーン随筆集 / 田部隆次解説・注釈]

- Contents: Introduction. Sketches< From the diary of an English teacher. Bits of life and death. On a bridge. Otokichi's daruma. Pathological. Hi-Mawari. Notes.

The stories and sketches of Lafcadio Hearn / 津田昇注釈. - Tokyo :

Taiseido, 1960, 2版. - v, 59 p. ; 19 cm. - (Taiseido short English story series= 大盛堂書房英文学叢書 2) 寄贈: 津田昇氏

[ラフカディオ・ハーンの世界と随筆 / 津田昇注]

- Contents:- Introduction. I. Of a promise kept=守られた約束の話. II. The story of Kwashin Koji=果心居士の話. III. The story of Kogi in priest= 仏師興義の物語 IV. On a bridge=或る橋の上にて. V. Otokichi's Daruma= 乙吉のだるま

Stories from Lafcadio Hearn / [田中饒編]. - 東京 : 有朋堂書店, 1930訂正

18版, 初版1923. - 58 p. ; 19 cm. - (The modern student's library= 現代学生英文叢書 ; 4. - ハーン傑作集) 寄贈: 西崎一郎氏

- Contents: Chap. 1. The dream of a summer day. Chap. 2. Ningyo-no-haka. Chap. 3. At a railway station. Chap. 4. The story of Kwashin-Koji. Chap. 5. The story of Miminashi-Hoichi.

Stories of mystery from Lafcadio Hearn / edited with an introduction by Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Hokuseido Press, 1948, 10版, 初版1939.

寄贈: 西崎哲郎氏

- Contents: Introduction.
- Kwaidan <The story of Mimi-nashi-Hoichi. Oshidori. The story of Aoyagi. Yuki-Onna. Diplomacy> • Shadowings<The screen-maiden. The corpse-rider>
- In Ghostly Japan<Fragment. Furisode> • The romance of the milky way < Stranger than fiction. The mirror maiden > • A Japanese miscellany < The story of Kogi the Priest. The story of Kwashin Koji > • Kotto < Story of Pheasant. Kusa-Hibari > • Some Chinese ghosts<The soul of the Great bell>
- Stray leaves from strange literature < The bird wife. The Lion. The legend of the monster misfortune > • The Item < The accursed fig tree>
- Cincinnati enquirer < Wonderes of Assassination >

The story of Mimi-nashi-hoichi, Mujina & Yuki-onna / Lafcadio Hearn ; [西崎一郎編]. - Tokyo : Ryusenji shobo, 1948. - 23 p. ; 22 cm. - (The plain text

series of English & American literature ; no. 2) 寄贈: 西崎哲郎氏

Strange stories / by Lafcadio Hearn ; edited with notes by Satoru Takemura.

- Tokyo : Kaibunsha, 1954. 1955 重版. - 116 p. ; 18 cm. - (開文社: 英文名著選集) [ハーン怪談 / 竹村覚注]

- Contents:- The story of the futon of Tottori. In a cup of tea. The story of the Girl TS'ing. The returning of the dead. The story of Chugoro. Of a promise broken. The story of O-Kame. The reconciliation. Ingwa-Banashi. The Corpse-rider. Story of a fly. Furisode. The Graatitude of the Samebito Of a promise kept. The story of Kwashin Koji. Notes.

(46)

[H 0 9 1. 4]

Strange stories / Hearn : 岡寿吉注解. - Tokyo : Gakuseisha, 1958. - 98 p. ; 17 cm. - (Atom books by ready vocabulary method) [ハーン 奇談集]

- Contents:- The story of Kwashin Koji. The story of Umetsu Chubei. The story of Kogi the priest. Before the supreme court.

Tolstoi's theory of art / by Lafcadio Hearn [The distinction of Shakespeare's work / by Lafcadio Hearn.] - (On art literature / edited with notes by S. Yoshida. - 東京 : 荘人社, 1934刊の5つの文の番目と4番目がハーンの著作 p. 9-27, 37-45 ; 19 cm.)

Yuki-Onna and other stories / by Lafcadio Hearn =雪おんな、その他 / 藤田美広編. - 東京 : 泰文堂, 1951, 1958. - 6版. - 98p ; 18cm. - (泰文堂英語研究文庫) [訳注雪おんな、その他 / 藤田美広編]
Contents:- 発刊のことば まえがき 1. Yuki-Onna =雪おんな 2. The story of O-Tei =おていの話 3. Jikininki =食人鬼

H 0 9 2 ヘルン著作の翻訳・対訳

(Translations of Hearn's works)

H 0 9 2. 1 翻 訳 (Translations)

天の川幻想 / ラフカディオ・ハーン珠玉の絶唱 / 小泉八雲〔著〕 ; 船木裕
 訳 - 東京 : 集英社, 1994.7. - 299p ; 22cm ISBN:4087731960
 ・内容 : ・天の川縁起<天の川縁起 鏡の乙女 妖怪の歌 日本からの手紙 伊藤則
 資の物語 究極の問題> ・虫の研究・蚊<蚊> ・日本のお伽話<ちんちん小袴
 団子を失くしたおばあさん 化け蜘蛛 猫を描いた少年 若さの泉>
 ・「天の川縁起」序文(フェリス・グリーンズレッド) ・思いでの記(小泉節子)
 解説(船木裕)

文学入門 / 小泉八雲著 ; 今東光訳. - 東京 : 金星堂, 1932. - 241p ; 20cm.
 内容 : 第1章 生活及び正確の文学に対する関係 <1. 作家志望者に与える基礎
 問題、2. 生活及び性格と文学の関係 3. 天才と才能 4. 個性、道徳的観念、
 時間> 第2章 文学の構成に就いて<1. 文章構成上の三つの誤謬 2. 表現と
 推敲 3. 文章の構成法 4. 文章のスタイル 5. アカデミーを排せよ>
 第3章 特殊な散文の研究<1. 単なる力の芸術—北欧の作家 2. サー・トー
 マス・ブラウン 3. ビヨルンソン 4. ボードレール> 第4章 小説に於ける
 超自然の価値 第5章 最高芸術論 第6章 トルストイの芸術論 第7章 文学
 社会の弊害と効用に関する考察 第8章 読書に就いて 第9章 文芸と政治上の
 見解 第10章 この講義を結ぶに当たって

ちんちん小袴 / 小泉八雲作 ; 光吉夏弥訳. - 東京 : 三十書房, 1956.
 - 226p ; 22cm - (日本童話名作選集)
 内容 : ちんちん小袴、ばけぐも、だんごをなくしたおばあさん、ねこの絵をかく子
 ども、わかがりりの泉、鳥取のふとん、おしどり、はえのはなし、安芸之助のゆめ
 鏡と鐘、茶わん、猪、雪おんな、はかりごと、やくそくをまもる、常識、浜口五兵
 衛、魚になったおしょうさん、耳なし芳一、小泉八雲について(光吉夏弥)

蝶の幻想 / 小泉八雲著 ; 長沢純夫編訳. - 東京 : 築地書館, 1988.
 - 299p ; 19cm.
 内容 : 蝶の幻想、蝶、蚕、蚊、蠅、蟻、蟬、蜻蛉、蛍、草雲雀、虫の音楽師、昆虫
 の詩、編者あとがき、昆虫の名前に基づく索引

中国怪談集、他 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1976.
 - 328p ; 21cm.
 ・内容 : 印象派作家日記抄<フロリダの幻想—青春の泉へ、熱帯間奏曲、広場の人
 命、黄金の鷹> ・クリオール雑記<古風なニュー・オーリンズとその住民、仏領
 西インドにおけるクリオール婦人> ・唐草紙<アラビアの女性、騎手ラビヤ
 —の最期>
 ・クリオール小品集<ニュー・オーリンズの魅力 税関 夢の都 クリーオール人
 の典型 ニュー・オーリンズ巡り 下宿屋の愚痴 下宿人の答弁 蟹はなぜ生きた
 まま茹でるのか クリーオール日記 おちつかない下宿人 家具つきの部屋 メキ
 シコ貨幣 陽気でないルイジアナ人 クリーオールの中庭 クリーオール気質 大佐
 殿の部屋借り 謝肉祭の夜明け メキシコ人の恩返し 食道楽に告ぐ! 川向こう
 の記 クリーオールの歌 ダランディシムス 謎のクリーオール事件 エリュース
 ス ラテンとアングロ・サクソン人 来訪者 クリーオールの女中 家庭 古風な
 家 積極的な意見 朝の声>
 ・中国怪談集<はしがき 大鐘の霊 孟沂のはなし 織女の伝説 顔真卿の帰還 茶
 の木縁起 登神譚 改題>
 ・八雲と異国趣味(平井呈一)

クレオール物語 / 小泉八雲著 ; 平川祐弘編. - 東京 : 講談社, 1991.
 - 347p ; 15cm. - (講談社学術文庫) 寄贈 : 布村弘氏
 ・内容 : 泉の乙女、ラビニア、最初の礼拝呼び掛け人、バラモンとバラモンの妻、ラ

(48)

[H092.1]

イオン、最初の楽師、孟沂の話、茶の樹伝説、死せる妻、皮革製作所殺人事件、ドリー、万聖節の夜、メキシコ人の感謝、ニューオーリンズの魔力、夢の都、鼠の夢最後のグードウー教徒、亡霊、わが家の女中、クレオール民話解説(平川祐弘)、「クレオール物語」原題と訳者一覧

仏領西インドの二年間 上 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社 1976.3. - 473p ; 21cm.

- ・内容: はしがき、真夏の熱帯行、マルティニーク小品集 <荷運び女、ラ・ランド・アーンズ、幽霊、魔女、天然痘、洗濯女、ペレー山、箱舟少年> 八雲と俳諧(平井呈一)

仏領西インドの二年間 下 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. 東京 : 恒文社, 1976.3 - 447p ; 21 cm

- ・内容: マルティニーク小品集(続き) <有色人の娘、ムデカ、わが家の女中、「思索は禁物! (パ・コンビネ、シュ)」エ(Ye) リ(Lys) 付録: クリーオール音楽 >
- ・チタ: ラスト島のおもいで <第1部 ダーニエルス島の伝説 第2部 海の力の中から 第3部 潮の影 >
- ・ユーマ: 西インドの奴隷の物語 ・八雲の小説(平井呈一)

東の国から : 新しい日本における幻想と研究 上 / ラフカディオ・ヘルン作 ; 平井呈一訳. - 東京 : 岩波書店, 1952. - 172p ; 15cm. - (岩波文庫)

- ・内容: 夏の日の夢、九州の学生とともに、博多で、永遠の女性について、生と死の断片

東の国から : 新しい日本における幻想と研究 下 / ラフカディオ・ヘルン作 ; 平井呈一訳. - 東京 : 岩波書店, 1952. - 202p ; 15cm. - (岩波文庫)

- ・内容: 石仏、柔術、赤い婚礼、願望成就、横浜で、勇子、解説

東の国から : 新しい日本における幻想と研究 . 心 : 日本の内面生活の暗示と影響 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1975. - 713p. ; 21cm.

- ・内容: 東の国から <夏の日の夢、九州の学生とともに、博多で、永遠の女性、生と死の断片、石仏、柔術、赤い婚礼、願望成就、横浜で、勇子>
- ・心 <停車場で、日本文化の真髓、門つけ、旅日記から、あみだ寺の比丘尼、戦後ハル、趨勢一瞥、因果応報の力、ある保守主義者、神々の終焉、前世の観念、コレラ流行期に、祖先崇拜の思想、きみ子> 附録 三つの俗謡
- ・八雲と近代文明(平井呈一)

東の国から : 新しい日本における幻想と研究・心 : 日本の内面生活の暗示と影響 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 第2版. - 東京 : 恒文社, 1990 初版: 1975. - 663p ; 21cm. - ISBN:4770401922 内容は上記初版と同じだが、「附録 三つの俗謡」がない。

飛花落葉集・他 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1976.2. - 441p ; 21cm.

- ・内容: 飛花落葉集一解説、書目
- ・落葉集 <トートの書、泉の乙女、烏妻>
- ・インド文学・仏教文学からの物語の創成、婆羅門とその妻、バカワリ、屍鬼、異聞、仏諭譚、芬陀利、閻魔王、信蓮華>
- ・カラワラの歌 <魔法のことば、最初の楽人、ワイナモイネンの医方>
- ・回教国の物語 <鳩のプーティマル、盗賊の子、愛の伝説、王の裁判>
- ・タルムッドの伝説ーラバの伝説、嘲弄者、エステルの選択、丸薬入れ、川を想う、心は老いぬ、MDCCCIII, 玄奘、死後の恋、郵便局>
- ・八雲と翻訳文学(平井呈一)

仏の畑の落穂・他 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1975 - 492p ; 21cm.

- 内容:
- ・仏の畑の落穂 <生神、街上から、京都紀行、塵、日本美術の顔について、人形の

墓、大阪、日本の俗語における仏教引喩、涅槃、勝五郎再生記、環中記>

- ・異国風物と回想 <異国風物、富士の山、虫の音楽家、禅の公案、死者の文学、カエル、月がほしい。>
 - ・回想 <第一印象、美は記憶なり、美の中の悲哀、青春のかおり、青の心理学、小夜曲、赤い夕日、身震い、薄明の認識、永遠のつきもの。>
- 八雲と仏教思想 (平井呈一)

十六桜 : 小泉八雲怪談集 / 森銑三、荻原恭平訳。 - 東京 : 研文社, 1990 - 166p ; 19cm.

- ・内容: 雪をんな、鴛鴦、乳母桜、はかりごと、青柳物語、むじな、葬られた秘密、茶碗の中、判断、屍に乗る人、約束を守る、約束を破る、耳なし芳一の話、お貞の話、食人鬼、十六桜、梅津忠兵衛の話、和解、衝立の女、鮫人の恩返し
- 編集後記 (小出昌洋)

人生と文学 / ラフカディオ・ハーン著 ; 太田三郎訳。 - 東京 : 河出書房 1954.6. - 182p ; 15cm. - (ハーン文学論集1) (河出文庫)

- ・内容: 文学と与論、生活及び生活の文学との関係、文学と進化論哲学、文学批評に於ける英仏の交渉、読書論、創作論、解説 (矢野峰人)

怪談 / 小泉八雲原作 ; 北条誠 [著]。 - 東京 : 偕成社, 1958, 9 版, 初版1953. - 298p ; 19cm. - (世界名作文庫 77)

- ・内容: 耳なし芳一、お園の手紙、回童とろくろ首、友忠と青柳、生れかわり、奇怪な老僧、無間の鐘、雪おんな、執念、乳母桜、常世の国、紀の国坂の変化、村允とオシドリ、力ばか、桜の命

怪談 : 不思議な事の研究と物語 / ラフカディオ・ハーン作 ; 平井呈一訳。 - 東京 : 岩波書店, 1957, 19刷, 初版1940. - 183p ; 15cm. - (岩波文庫)

- ・内容: 耳なし芳一のはなし、をしどり、お貞のはなし、乳母桜、機略、鏡と鐘、食人鬼、猪、ろくろ首、葬られた密、雪をんな、青柳のはなし、十六桜 安芸之助の夢、夢、蓬萊、力ばか、日まわり、虫の研究

怪談 : 不思議な事の研究と物語 / ラフカディオ・ヘルン作 ; 平井呈一訳。 - 改訳版。 - 東京 : 岩波書店, 1994, 66刷, 改版1965. - 205p ; 15cm. - (岩波文庫) ISBN:4003224418

- ・内容: 怪談 <原序、耳なし芳一、おしどり、お貞のはなし、うばざくら、かけひき、鏡と鐘、食人鬼、むじな、ろくろ首、葬られた秘密、雪おんな、青柳ものがたり、十六ざくら、安芸之助の夢、力ばか、日まわり、蓬萊>
- 虫の研究 <蝶、蚊、蟻> 解説 (平井呈一)

怪談 / ラフカディオ・ヘルン [著] ; 繁尾久訳。 - 東京 : 集英社, 1992. - 201p ; 15cm. - (集英社文庫) ハーンに関する写真集あり ISBN:4087520269

- ・内容: 耳なし芳一のはなし おしどり お貞のはなし うばざくら はかりごと 鏡と鐘、食人鬼 むじな ろくろ首 葬られた秘密 雪おんな 青柳のはなし 十六ざくら、安芸之助の夢 力ばか 日まわり 蓬萊
- 解説 (繁尾久) 鑑賞 (清水義範) 年譜 (繁尾久)

<完訳>怪談 / ハーン著 ; 斉藤正二訳。 - 東京 : 講談社, 1976. - 266p ; 15cm. - (講談社文庫) 寄贈: 布村弘氏

- ・内容: 怪談-耳なし芳一のはなし、おしどり、お貞のはなし、乳母ざくら、かけひき、鏡と鐘、食人鬼、むじな、ろくろ首、葬られた秘密、雪おんな、青柳ものがたり、十六ざくら、安芸之助の夢、力ばか、蓬萊、虫の研究

<完訳>怪談 / ラフカディオ・ヘルン [著] ; 船木裕訳。 - 東京 : 筑摩書房, 1994. - 226p ; 15cm (ちくま文庫) ISBN:4480028773

- ・内容: 著者序文 怪談<耳なし芳一、おしどり、お貞の話、乳母桜、かけひき、鏡と鐘、食人鬼、むじな、ろくろ首、葬られた秘密、雪おんな、青柳物語、十六桜、安芸之助の夢、力馬鹿、向日葵、蓬萊>
- ・虫の研究<蝶 蚊 蟻> 訳者あとがき 年譜 参考文献

怪談 (他) 骨董、知られざる日本の面影、日本雑記、仏の畑の落穂 (抄) / ハーン

(50)

[H092.1]

- 著 ; 繁尾久訳. - 東京 : 旺文社, 1982, 重版, - 248p ; 16cm. - (旺文社文庫) 初版1972. 寄贈: 布村弘氏
- ・内容: 怪談<序文、耳なし芳一のはなし、おしどり、お貞のはなし、うばざくら、はかりごと、鏡と鐘、食人鬼、むじな、ろくろ首、葬られた秘密、雪おんな、青柳のはなし、十六ざくら、安芸之介の夢、力ばか、日まわり、蓬菜>
 - ・骨董(抄)<古いものがたり―― 幽霊滝の伝説、茶わんの中、常識、生霊、死霊 おかめのはなし、蠅のはなし、雉子のはなし、忠五郎のはなし>
 - ・知られざる日本の面影(抄)<鳥取の布団のはなし 死人が帰ってきたはなし>
 - ・仏の畑の落穂(抄)<人形の墓>
 - ・解説(繁尾久) - 人と文学、- 作品の解説と鑑賞
八雲の身近(小泉時) 代表作品改題 参考文献 年譜 あとがき

- 怪談・奇談 / 小泉八雲著 ; 平川祐弘編. - 東京 : 講談社, 1990. - 467p ; 15cm. - (講談社学術文庫) ISBN:406158930X 寄贈: 布村弘氏
- ・内容: まえがき(平川祐弘)、耳なし芳一、おしどり、お貞の話、乳母桜、策略、鏡と鐘と、食人鬼、貉、ろくろ首、葬られた秘密、雪女、青柳の話、十六桜、安芸之介の夢、宿世の恋、天狗の話、和解、普賢菩薩の伝説、死骸にまたがった男、菊花の約、閻魔の庁で、果心居士の話、梅津忠兵衛、夢応の鯉魚、幽霊滝の伝説、茶碗の中、常識、生霊、お亀の話、蠅の話、忠五郎の話、鏡の少女、伊藤則資の話、美の悲哀、薄明の認識、破片、振袖、夜光るもの、ゴシックの恐怖
解説(布村弘)、原拠、「怪談・奇談」原題と訳者一覧

- 神々の国の旅案内 : へるんとともに / [監修: 銭本健二]. - 松江 : 八雲会, 1990. - 48p ; 16cm
- ・内容: 神々の国の首都、宍道湖の夕日、松江城、城山の稲荷、八雲旧居、普門院とその他の寺、嵩山、八重垣神社、中海と大根島、美保関、加賀、日ノ御碕、出雲大社、巫女神楽、宍道湖と一畑薬師、隠岐、さようなら、加鼻と稲佐の浜、日本海に沿うて、松江再訪

- 神々の国の首都 / 小泉八雲著 ; 平川祐弘編. - 東京 : 講談社, 1990. 396p ; 15cm - (講談社学術文庫) ISBN:4061589482 寄贈: 布村弘氏
- ・内容: 東洋の土を踏んだ日、地蔵、盆踊り、神々の国の首都、杵築(きづき)、加賀の潜戸(かがくげど)、美保関にて、心中、八重垣神社、狐、日本の庭で、家庭の祭屋、さようなら 解説(牧野陽子) 「神々の国の首都」原題と訳者一覧

- 小泉八雲読本 / 田部隆次編 東京 : 第一書房, 1942 361p ; 19cm
- ・内容: 小泉八雲について<1. 生涯 2. 人、思想、芸術 3. 作品>
 - ・奇談<或る絵の物語、巨人と矮人: 侏儒と怪物、悪魔の紅玉、ハメリンの笛手、怪物禍の物語、大鐘の霊、人形の墓、禅の一間、占の話、漂流、平家蟹、小説よりも奇>
 - ・怪談<布団、帰って来た死者、約束、破約、果心居士、僧興義、耳無し芳一の話、むじな、雪女、青柳のはなし、安芸之助の夢>
 - ・文学論<創作の方法について、生活及び性格の文学に対する関係、文学に関する読書について、文学と与論、小説に於ける超自然的要素の価値、文学的団体の功過に就て、「ハヴァマル」古代北歐に人生倫理、赤裸々の詩>
 - ・書簡<ウェイランド・ディ・ボール師に、エリザベス・ビスランドに、大谷正信に、ベージル・ホール・チェムバレン氏に、エルウッド・ヘンドリックに、藤崎八三郎

- 小泉八雲読本 続 / 田部隆次編 東京 : 第一書房, 1943.1 370p ; 19cm
- ・内容:
 - ・紀行- 樹木之美、盆踊、神国の首都: 松江、夏の日々の夢、旅行日記より、京都紀行桜、英語教師の日記から、住居と国民性、生と死の断片、停車場にて、門つけ、夜店情緒、墓地、美のうちの悲哀、虫、焼津にて、橋の上、乙吉の達磨、或る女の日記、露の一滴、餓鬼、病理上の事、草雲雀、夢を食うもの、蓬菜、広瀬中佐、おばあさんの話>
 - ・物語<浜口五兵衛、了然尼> 研究<日本の魅惑、日本人の微笑、日本人の勇氣柔術、日本文化の真髓、前世の観念、祖先崇拜について、小さな詩>
講演<東亜の将来> 年譜(生涯、著作及び遺稿)

- 小泉八雲読本 / 小泉八雲著 ; 田部隆次編. - 東京 : 蓼科書房, 1958.

- 173p ; 19cm. - (スクール文庫)

- ・内容：日本のお伽ばなし <猫を画いた子供、団子を失したお婆さん、ちん・ちん・こばかま、化け蜘蛛、若返りの泉>
- ・日本見聞紀 <中学教師の日記から 浜口五兵衛 三つのおとづれ 日本人の勇気 人形のいのち 列車の中にて>
- ・日本の珍しい話 <布団の話 人形の墓 僧興義 むじな 鏡の少女 占いの話>
- ・東洋の珍しい話 <禍という怪物の話 大鐘の霊>

小泉八雲怪談奇談集 上 / 森亮他訳. - 東京 : 河出書房新社, 1988. - 185p ; 15cm. - (河出文庫)

- ・内容：耳なし芳一、果心居士、梅津忠兵衛、お貞の話、十六桜、雪女、猪、勝五郎の再生 阿弥陀寺の比丘尼、生神様、漂流
- 解説(平川祐弘) 文庫への解説(平川祐弘)

小泉八雲怪談奇談集 下 / 森亮他訳. - 東京 : 河出書房新社, 1988. - 176p ; 15cm. - (河出文庫)

- ・内容：ある保守主義者、心中、赤い婚礼、君子、ある女の日記、禪書の一問、メキシコ人の感謝、泉の乙女、事実は小説よりも奇なり
- 小伝・年表(森亮)

小泉八雲名作集 / 古谷綱武訳. - 東京 : あかね書房, 1958. - 242p (口絵写真4p) ; 22cm. - (少年少女日本文学選集 ; 9)

小泉八雲作品集 / 平井呈一訳編. - 東京 : 筑摩書房, 1954. - 428p (口絵写真2p) ; 22cm.

小泉八雲選 / 谷川徹三編. - 東京 : 筑摩書房, 1951. - 170p ; 19cm. - (中学生全集 3)

- ・内容：耳なし芳一のはなし、むじな、日まわり、安芸之助の夢、おしどり、お貞のはなし、果心居士、僧興義、鮫人の感謝、約束、常識、茶わんの中、停車場にて、人形の墓、鏡の少女、伊藤則助のはなし、了然尼

小泉八雲選集 落穂 / 田部隆次訳編. - 東京 : 八雲書店, 1948.11. - 223p ; 19cm.

- ・内容：序文(田部隆次) 随筆 <教師日記から、盆踊、日本人の微笑、停車場にて、橋の上、夏の日の夢、門つけ、ある女の日記、猫、草雲雀、餓鬼、露の一滴、蓬萊、日廻り、おばあさんの話、祖先崇拜について、日本文化の真髄
- ・落穂-1. 石の美 2. 生花 3. 住居と国民性 4. 無私の自制 5. 日本人の沈黙 6. 日本人の勇気 7. 日本の家族 8. 辞世

小泉八雲集 / 田部隆三訳. - 東京 : 改造社, 1931. - 188p ; 23 cm - (現代日本文学全集 第57篇小泉八雲、ラーファエル・ケーベル集、野口米次郎集より)

- ・内容：怪談 <悪因縁、因果話、天狗の話、和解、衝立の女、弁天の同情、鮫人の感謝、約束、破約、閻魔の庁にて、果心居士、梅津忠兵衛、僧興義、幽霊滝の伝説 茶碗の中、常識、生霊、死霊、おかめのはなし、忠五郎のはなし、おしどり、お貞のはなし、術数、食人鬼、ろくろ首、雪女、青柳のはなし、安芸之助の夢>
 - ・日本の面影と心 <日本海に沿うて、魂について、幽霊と化け物について、日本人の微笑、夏の日の夢、生と死の断片、停車場にて、門づけ、生神、人形の墓、占いの話、乙吉の達磨、了然尼、英語教師の日記から。断片。随筆ここかしこ
- [「田部隆三」とあるのは「田部隆次」の誤り]

小泉八雲集 / 平井呈一訳. - 東京 : 新紀元社, 1957. - 6, 228p ; 18cm. - (中学生文学全集 1)

小泉八雲集 / 古谷綱武編. - 東京 : 新潮社, (上) 1958, 17刷, (下) 1955 - 2冊 ; 15cm. - (新潮文庫)

- [上巻には巻末に26ページにわたる、詳しい「年譜」が、下巻には15ページにわたる詳しい「解説」がついている。本文は昭和3年(1928)発行の第一書房版小泉八雲全集の中からもっと広く知られている、日本で日本を書いた物語的な作品集を集めたもの]

(52)

[H 0 9 2. 1]

小泉八雲集 / 上田和夫訳. - 東京 : 新潮社, 1979, 8刷, 初版1915. - 407p ; 15cm. (新潮文庫)

- ・内容: 影(Shadowings) < 和解(The Reconciliation) 衝立の乙女(The screen-maiden) 死骸にまたがる男(The corpse-rider) 弁天の同情(The sympathy of Benten) 鮫人の感謝(The gratitude of the Samebito) >
- ・日本雑記 (A Japanese miscellany) < 守られた約束(Of a promise kept) 破られた約束 (Of a promise broken) 果心居士のはなし(The story of kwashin koji) 梅津忠兵衛のはなし(The story of Umetsu Chubei) 漂流(Drifting) >
- ・骨董(Kotto) < 幽霊滝の伝説(The legend of Yurei-daki) 茶碗の中 (In a cup of tea) 常識(Common sense) 生霊(Ikiryo) 死霊(Shiryō) おかめのはなし (The story of Okame) 蠅のはなし(Story of a fly) 雉子のはなし(Story of a pheasant) 忠五郎のはなし

小泉八雲鈔 / 上伊那郡教育会編. - 長野 : 上伊那郡教育会, 1937. - 176p ; 23cm. - (青年読物 第2編) 寄贈: 田部隆次氏 同氏の自署あり

小泉八雲全集 第1巻 / 訳者: 大谷正信、落合貞三郎. - 東京 : 第一書房, 1926. 10. - 624p ; 23cm.

- ・内容: 『異文学異聞』 < 落葉、印度及び仏教文学よりの物語、カラワラよりの歌、回教国物語、タルムッドのを書更めし伝説 > 『支那怪談』 『チタ』 『ユーマ』

小泉八雲全集 第2巻 / 訳者: 大谷正信. - 東京 : 第一書房, 1927. 1. - 600p ; 23cm.

- ・内容: 『仏領西印度の二年間: 熱帯への旅』 『マルティニーク・スケッチ』 < 荷運びの女、グランド・アンス、帰り来る者、魔女、疱瘡、洗濯女、ペレ山、空船乗の子供、有色人の娘、百足虫、自分の下女、「パ・コムビネ、シェ」、エ、リ 附録 クリーオールのメロディー >

小泉八雲全集 第3巻 / 訳者: 落合貞三郎、大谷正信、田部隆次. - 東京 : 第一書房, 1926. 8. - 895p ; 23cm.

- ・内容: 『知られぬ日本の面影 上』 第1章 私の極東に於ける第一日、第2章 弘法大師の書、第3章 お地蔵さま、第4章 江ノ島巡礼、第5章 盆市にて、第6章 盆踊 第7章 神国の首都、第8章 杵築、第9章 子供の精霊の一潜戸、第10章 美保の関にて、第11章 日ノ御崎、第12章 第13章 心中、第14章 八重垣神社、第15章 狐
- ・『知られぬ日本の面影 下』 第16章 日本の庭、第17章 家の内の宮、第18章 女の髪について、第19章 英語教師の日記から、第20章 二つの珍しい祝日 第21章 日本海に沿うて、第22章 舞妓について 第23章 伯耆から隠岐へ 第24章 魂について 第25章 幽霊と化け物について、第26章 日本人の微笑 第27章 サウナラ

小泉八雲全集 第4巻 / 訳者: 戸沢正保、石川林四郎、田部隆次. - 東京 : 第一書房, 1927. 2. - 640p ; 23cm

- ・内容: 『東の国から』 夏の日の夢、九州学生、博多にて、永遠の女性に就いて、生と死の断片、石仏、柔術、赤い婚礼、叶へる願、横浜にて、勇子。
- ・『心』 第1章 停車場にて、第2章 日本文化の真髓、第3章 門つけ、第4章 旅行日記より、第5章 阿弥陀寺の比丘尼、第6章 戦後雑感、第7章 お春、第8章 趨勢一瞥 第9章 業の力、第10章 保守主義者、第11章 薄暗がりの神仏 第12章 前世の観念 第13章 コレラ流行時に、第14章、祖先崇拜に就いて、第15章 きみ子 附録 俗唄三つ

小泉八雲全集 第5巻 / 訳者: 落合貞三郎、金子健二、大谷正信、岡田哲蔵、稲垣巖、田部隆次. - 東京 : 第一書房, 1926. 12. - 549p ; 23cm.

- ・内容: 『仏の島の落穂』 第1章 生神 第2章 街頭より 第3章 京都紀行 第4章 塵 第5章 日本美術に於ける顔について 第6章 人形の墓 第7章 大阪 第8章 日本の民謡に現れた仏教引喩 第9章 涅槃 第10章 勝五郎の転生 第11章 環中流転相
- ・『異国情趣と回顧-異国情趣』 < 富士山、虫の楽師、禪の一問 死者の文学、蛙、月の顔 >
- ・『回顧』 < 初の諸印象 美は記憶 美のうちの悲哀 若さの香 蒼の心理 挽歌

赤い夕日 身震ひ 夕暗の認識 永遠の執着者>

- ・『日本のお伽噺』< 化け蜘蛛 猫を画いた子供 団子を失したお婆さん ちん・ちん・こばかま>

小泉八雲全集 第6巻 / 訳者：岡田哲蔵、大谷正信、田部隆次。 - 東京 :

第一書房, 1926.11. - 669p ; 23cm.

- ・内容：『霊の日本』< 断片 振袖 香 占の話 蚕 悪因縁 仏足石 吠 小さな詩 仏教に縁のある日本の諺 暗示 因果話 天狗の話 焼津にて>
- ・『影』< 和解 普賢菩薩の物語 衝立の乙女 屍に乗る人 弁天の同情 鮫人の感謝> ・『日本研究』< 蟬 日本の女の名 日本の古い歌>
- ・『幻想』< 夜光虫 群集の神秘 ゴシック建築の恐怖 夢飛行 夢魔触 夢書の読物一対の眼のうち> ・『日本雑録』 奇談< 約束 破約 閻魔の庁にて 果心居士 梅津忠兵衛 僧興義>
- ・『民間伝説拾遺』< 蜻蛉 仏教に縁のある動植物の名 日本の子供の歌>
- ・『随筆ここかしこ』< 橋の上 お大の例 海のほとりにて 漂流 乙吉の達磨 日本の病院にて>

小泉八雲全集 第7巻 / 訳者：戸川明三、大谷正信、田部隆次。 - 東京 : 第一書房, 1926.7. - 530p ; 23cm

- ・内容：『骨董』 古い物語< 1幽霊滝の伝説 2茶碗の中 3常識 4生霊 5死霊 6おかめのはなし 7蠅のはなし 8雉子のはなし 9忠五郎のはなし>
- ・或女の日記、平家蟹、螢、露の一滴、餓鬼、尋常の事、黙想、病理上の事、真夜中草雲雀
- ・『怪談』 不思議な事の研究と物語< 耳無芳一の話、をしどり、お貞のはなし、姥桜、術数、鏡と鐘、食人鬼、貉、ろくろ首、葬られたる秘密、雪女、青柳のはなし 十六日桜、安芸之助の夢、力ばか、日廻り、蓬萊>
- ・虫の研究< 蝶 蚊>
- ・『天の河縁起そのほか』< 天の河縁起、化け物の歌、「究極の問題」、鏡の少女、伊藤則助の話、小説よりも奇、日本からの手紙>

小泉八雲全集 第8巻 / 訳者：戸川明三。 - 東京 : 第一書房, 1927.5. - 535p ; 23cm.

- ・内容：『神国日本』< 難解、新奇及び魅力、古代の祭祀、家庭の宗教、日本の家族、組合の祭祀、神道の発達、礼拝と浄めの式、死者の支配、仏教の渡来、大乘仏教、社会組織、武権の勃興、忠義の宗教、ジェジュイト教徒の禍、封建の完成、神道の復活、遺風、近代の抑圧、官憲、教育 産業上の危険 回想> 追録

小泉八雲全集 第9巻 / 訳者：小日向定次郎、金子健二、田部隆次、落合貞三郎、大谷正信。 - 東京 : 第一書房, 1927.6. - 639p ; 23cm.

- ・内容：書簡集(1) アメリカ時代—エイチ・イ・クレービエルに、ジエロウム・エイ・ハートに、ウェイランド・デイ・ボール師に、ダブリュー・デイ・オーコナーに ジョン・アルビーに、エイチ・イ・クレービエルに、ダブリュー・デイ・オーコナーに、ページに、エイチ・イ・クレービエルに、ダブリュー・デイ・オーコナーに、ページに、エイチ・イ・クレービエルに、ダブリュー・デイ・オーコナーに、エイチ・イ・クレービエルに、ウェイランド・デイ・ボール師に、ダブリュー・デイ・オーコナーに、エイチ・イ・クレイビエルに、ダブリュー・デイ・オーコナーに、エイチ・イ・クレービエルに、ダブリュー・デイ・オーコナーに、エイチ・イ・クレービエルに、エイザベス・ビスランドに、エイチ・イ・クレービエルに、エリザベス・ビスランドに、エイチ・イ・クレービエルに、エイリザベス・ビスランドに、ジョージ・エム・グールドに、ジョージ・フチャーニスンに、エリザベス・ビスランドに、ジョージ・エム・グールドに
- ・松江時代—エイリザベス・ビスランドに、チェムバレンに、ページ・エム・ベイカに、チェムバレンに、エウウッド・ヘンドリックに、西田千太郎に
- ・熊本時代—大島正信に

小泉八雲全集 第10巻 / 訳者：落合貞三郎、金子健二、田部隆次、大谷正信。 東京 : 第一書房, 1927.10. - 688p ; 23cm.

- ・内容：書簡集(2) 熊本時代 統一西田千太郎に、落合貞三郎に、ページ・エム・ベーカーに、ペーシル・ホールに、チェムバレンに

(54) [H092.1]

小泉八雲全集 第11巻 / 訳者：金子健二、落合貞三郎、大谷正信。 - 東京：第一書房, 1927.7 - 648p ; 23cm
・内容：書簡集(3) 熊本時代 続ターエルウッド・ヘンドリックに、神戸時代-西田千太郎に、大谷正信に、落合貞三郎に、田村豊久に、ベシル・ホル・チェムリツに、ページ・エム・ベーカーに、エルウッド・ヘンドリックに、東京時代-西田千太郎に、田村豊久に、ベジに、フェロ夫妻に、アルビー夫妻に、アーネスト・フォックスに、イルヨ・ヒルンに、マクドナルドに、エルウッド・ヘンドリックに、エトモア夫人に、クロスビーに

小泉八雲全集 第12巻 / 訳者：大谷正信、田部隆次、稲垣巖、小日向定次郎、落合貞三郎。 - 東京：第一書房, 1927.11. - 669p ; 23cm.
内容：書簡集(4) 大谷正信に、田部隆次に、安河内麻吉に、藤崎八三郎に、西田寿馬に、坪内〇蔵に、ダブリュ・ビー・メースンに、鳥の手紙、或る夫人に、オジ・アス・ミッドウィンタアの手紙
・雑篇-因果、精霊、最初の祈禱時告人、支那と欧州印象作家の日記から
・フロリダ幻想記<青春の泉へ、熱帯の一つの挿楽曲、ぐ園における一つの名、黄金の鷹>
・クリオール短編<奇異なるニュー・オーリアンズとその住民、仏領西印度に於けるクリオール婦人>
・唐草模様<亜刺比亜の婦人、騎手ラビヤアの最後>
・日本の冬の旅、秋月先生の古稀を祝して、極東の将来、明治三十四年東京帝国大学文学部卒業生に、了然尼、遺稿-おばあさんの話
・自伝断片<私の守護神、偶像礼拝、私の最初の小説、星、直覚、消えた光で>

小泉八雲全集 第13巻 / 訳者：落合貞三郎、金子健二、土井林吉、大谷正信、稲垣巖、田部隆次。 - 東京：第一書房, 1926.9. - 682p ; 23cm.
内容：『文学論』<西洋文学研究の難関、最高の芸術について、文体上より見たる浪漫的及び古典的文学、文学と与論、異常なる散文の研究、小説における超自然的要素の価値、生活及び性格の文学に対する関係、散文小品に就いて、「サートル・レザルトス」の哲学に就いて、英吉利文学に於ける聖書、パークリー、ビクトリア朝の哲学新倫理、超人、創作の方法に就いて、文学に関する読書に就いて、「ハヴァマル」古代北歐の倫理、フランス浪漫派の人々、アメリカ文学に就いて、中世紀の最も美しいロマンス、「シャグバットの剃髪」、ロセッティの散文について、英国現代の評論界に就て、並に現代に於ける英文学対仏文学の關係に就いて、別れの言葉>

小泉八雲全集 第14巻 / 訳者：小日向定次郎、林並木、土井林吉、田部隆次。 - 東京：第一書房, 1927.4. - 730p ; 23cm.
内容：『詩論』<ロセッティの研究、スインバーンの研究、ブラウニングの研究、ブレイク：英国最初の神秘家、クウバア略解、クラブについて、コールリッジ、ワーズワース バイロンより抜粋、シェリーの詩に関して、キーツの叙情詩的好處 詩人としてのマシュー・アーノルド、詩人としてのチャールズ・キングスリー>

小泉八雲全集 第15巻 / 訳者：土井林吉、林並木、落合貞三郎、田部隆次、岡田哲蔵。 - 東京：第一書房, 1927.8. - 637p ; 23cm.
内容：『詩論 続』<ポーの韻文、ロングフェロウの適当な評価に就いて、ウイティアに就いて、ワイトマについて、ウイリアム・モリス、ジョージ・メレダスの詩 ロバート・ブリッジス、ビクトリア時代の哲学的詩歌、厭世家及び其系族、ビクトリア朝の癡癡派、エドワード・フィッツジェラルドと「ルバイヤット」 イオーニカ 古いギリシャの断片、マンピー氏「ドロシイ」について、「三つの沈黙」ハウトン卿の詩の一つ>

小泉八雲全集 第16巻 / 訳者：落合貞三郎、大谷正信、戸沢正保、田部隆次。 - 東京：第一書房, 1927.2. - 650p ; 23cm.
内容：『詩論 続々』<赤裸々の詩、英詩に於ける恋愛について、死を題材とせる幾つかの詩について、英詩に現れた鳥に就いて、夜の詩：月と星、英国のバラッド 社交詩の作家ヘリック・タブレ卿の詩>
・『文学史論』<十九世紀前半の英国小説 十九世紀後半の英国小説 悪魔派の詩人-バイロン、シエレイ、キール>

小泉八雲全集 第17巻 / 訳者：落合貞三郎、大谷正信、田部隆次。 - 東京
： 第一書房, 1928.1. - 619p ; 23cm.

内容：『きまぐれ』＜万聖節の夜、悪魔の紅玉、楽屋、旅人、紙鳶の夢、遺伝的記憶、幽霊の接吻、黒い愛の神、私が花であった時、輪廻、不死の人、死んだクリーオール人の夢、碑銘、アフロダイテーと王の囚人、黄金泉、死んだ恋人、墓地にて、アイダ、仏国制臭煙草盆の一挿話、怪異な一接吻、鳥と少女、或る扇子の物語、ジプシイの話、唯だ一個の丸葉函、赤猫

- ・『クリーオール小品』＜ニュー・オールリアンズの魔力、税関、夢の都、クリーオールの典型、ニュー・オリアンズ訪問、クリーオール下宿主人の愚痴、下宿人の返事、どうして蟹を生き茹でにするのか、クリーオール日記、落ち着かぬ下宿人、家具付きの部屋、墨其西哥貨幣、快活ならぬルイジアナ人、クリーオールの中庭、クリーオールの性格、ケンタキー大佐の部屋借り、謝肉祭の明け方、或る墨其西哥人の感謝、注意、アジム氏！ 堀割り越しの談話、クリーオールの歌、グランデツシム、或るクリーオールの秘密、エリウシス、拉句とアングロサクソン、或る客、クリーオールの下女、家庭、古風な家、積極的な意見 明け方の声＞
- ・『神戸クロニクル社説（抜粋）』＜車屋問題、干渉政策、「金羊毛」号の売却、戦争が賽さん可能な結果、悲しむべき変化、日本の教育政策、寛宏の要、日本人の体格、亜米利加の人種問題、宗教的不寛容、条約改正の一問題、新定旅券法の一結果 タイロア博士の古代亜米利加に於ける日本の影響、愛国心と教育、地震と国民性、亜米利加の政治に就いての日本人の観念、国民的個性、亜米利加に於ける労働問題 支那に対する同情、西印度への日本人移住、日本に於ける低廉な労働、欧羅巴の未来、亜米利加の人口増加、金の呪詛、合衆国の懸賞拳闘者、新聞文学に見る中世的迷信、支那の未来、神道の価値、合衆国に於ける共和党の勝利、外国影響の衰微、倫理と適者生存、欧羅巴の軍事状態、心靈論の唯物論、男女同等の問題、裸体画像に対する十字軍新しい「禁止書目」、支那に就いてピアスン博士の真の意見、仏教にとっての新機会近代戦争に於ける勇氣、日本の芸術と西洋とを論ぜる一日本人、英国人は天使か、日本婦人と教育、民主的な或る謎、寛大の必要、未開と開化、極東における三国同盟、謎の朝鮮「金誠」に就いて、『隨筆八種』＜或絵の物語 地獄の門に咲く百合の花、ハメリンの笛手、女剣士 巨人と矮人-侏儒と怪物、屍の利用法に関して、毒殺者、ビダサリ＞

小泉八雲全集 別冊 : 小泉八雲 / 田部隆次著。 - 東京 : 第一書房, 1945.
- 509p ; 23cm.

内容：故小泉八雲氏の著作について（坪内逍遙） 序（西田幾多郎） 小泉八雲先生を懐ふ（内ヶ崎作三郎） 自序、再版、改版に際して（田部隆次） 小泉八雲（田部隆次） 思い出の記（小泉節子）

小泉八雲全集 第1巻 / 平井呈一訳。 - 東京 : みすず書房, 1955. - 411p.
; 19cm

内容：・日本の面影（上）＜はしがき 極東の第一日 弘法大師の書 地藏 江の島行脚 盆市で 盆おどり 松江 杵築 潜戸 美保の関 杵築雑記 日の御碕 八重垣神社 キツネ＞ 解説

小泉八雲全集 第4巻 / 平井呈一訳。 - 東京 : みすず書房, 1954. - 422p.
; 19cm

内容：・心＜はしがき 停車場で 日本文化の真髓 門つけ 旅日記から あみだ 寺の比丘尼 戦後に ハル 趨勢一瞥 因果応報の力 保守主義者 神々の終焉 前世の観念 コレラ流行期に 祖先崇拜の思想 きみ子＞

- ・影＜珍籍叢話――和解 普賢菩薩のはなし 衝立の乙女 死骸に乗る人 弁天の感応 鮫人の恩返し―― 日本の研究――蟬 日本の女性の名 日本の古い歌謡―― 解説

小泉八雲全集 第8巻 / 平井呈一訳。 - 東京 : みすず書房, 1954. - 375p.
; 19cm

内容：・ラフカディオ・ハーン（S. ツヴァイク） ・怪談＜はしがき 耳なし芳一のはなし おしどり お貞のはなし うばざくら 機略 鏡と鐘 食人鬼 むじな ろくろ首 葬られた秘密 雪おんな 青柳ものがたり 十六ざくら 安芸之介の夢 力ばか 日まわり 蓬菜 ・虫の研究＜蝶 蚊 蟻＞ ・骨董＜古い物語――幽霊滝の伝説 茶わんの中 常識 生霊 死霊 おかめのはなし 蠅のはなし 雉子のはなし 忠五郎のはなし―― ある女の日記 平家蟹 螢 露のひとしづく

(56) [H092.1]

餓鬼 いつもあること 夢想 病理上のこと 真夜中に 草ひばり 夢を食うもの
解説

小泉八雲全集 第9巻 / 平井呈一訳. - 東京 : みすず書房, 1954. - 458p.
; 19cm

内容: ・日本: 一つの解明<わかりにくさ 珍しさと魅力 上代の祭 家庭の宗教
日本の家族 地域社会の祭 神道の発達 礼拝と清め 死者の支配 仏教の渡来
大乘仏教 社会組織 武力の興隆 忠義の宗教 キリシタン禍 封建制の官製 神
道の復活 前代の遺物 現代の抑圧 官吏教育 産業の危機 反省> 解説

心 : 日本の内面生活の暗示と影響 / ラフカディオ・ヘルン作 ; 平井呈一訳
- 東京 : 岩波書店 1957 7 刷 初版1951 310p ; 15cm (岩波文庫)

内容: 原序、停車場で、日本文化の真髄、門つけ、旅日記から、あみだ寺の比丘尼
戦後に、ハル、趨勢一瞥、因果応報の力、保守主義者、神神の終焉、前世の観念、
コレラ流行期に、祖先崇拜の思想、きみ子

骨董 / 平井呈一訳. - 東京 : 岩波書店, 1954. - 202p ; 15cm. 5刷.
- (岩波文庫)

ラフカディオ・ハーン著作集 第1巻 アメリカ雑録 / 訳者: 平川祐弘[ほか].

東京 : 恒文社, 1980.7. - 473p ; 21cm.

内容: アメリカ雑録<杉の間 (仙北谷晃一訳) 大めがね (池田美紀子訳) 皮革
制作所殺人事件 (平川祐弘訳) ヴァレンタインの日に思う (平川祐弘訳) さま
よえる亡者たち (牧野陽子訳) 奇妙な体験 (河島弘美訳) 小鳥店での夢想 (牧
野陽子訳) 人間遺体の利用に関する覚え書 (河島弘美訳) 古代における娼婦の世
界 北谷晃一訳 毒殺の歴史 (河島弘美訳) 堤防の生活 (仙北谷晃一訳) ド
リー: 波止場の牧歌 (平川祐弘訳) バンジョー・ジムの物語 (平川祐弘訳) 蝶
の幻想 (仙北谷晃一訳) 霜の幻想 (仙北谷晃一訳) 尖塔に登って (河島弘美訳
) 音楽倶楽部でのロマンティックな出来事 (仙北谷晃一訳) 貧しい暮らしのス
ケッチ (河島弘美訳) 顔の研究 (河島弘美訳) 嘘の進歩 (河島弘美訳) 率直
さ (河島弘美訳) 詐欺 (河島弘美訳) メフィストフェレスの徒 (仙北谷晃一
訳) 成功をめぐる幾つかの断層 (仙北谷晃一訳) 夢魔ならびに夢魔伝説 (平川
祐弘訳) 想像力芸術の哲理 (池田美紀子訳) サブハドラ (池田美紀子訳) 死
せる妻 (池田美紀子訳) 聖ブランダンのクリスマス (池田美紀子訳) ビダサリ
(仙北谷晃一訳) 破られた手紙 (池田美紀子訳) 三つの夢 (池田美紀子訳)
地獄の口に咲いた一輪の百合 (平川祐弘訳) ハメルンの笛吹き (平川祐弘訳)
サンマロ (池田美紀子訳) 楽園 (仙北谷晃一訳) ギュスターヴ・ドレ (池田美
紀子訳) ドレの「大鴉」 (池田美紀子訳) 星の生命 (河島弘美訳) 太陽系の
運命 (河島弘美訳) 「生命法則」の大問題 (池田美紀子訳) 調和と妥協の論理
(池田美紀子訳) クレオール方言 (牧野陽子訳) クレオール文学覚え書 (牧野陽
子訳) クレオールの学問的価値 (牧野陽子訳) クレオールの方言略記 (牧野陽
子訳) ケーブルの物語の舞台 (河島弘美訳) ニューオーリンズ最後のフェンシ
ング師範 (河島弘美訳) 最後のヴードゥー教徒 (平川祐弘訳) ニューオーリン
ズの迷信 (平川祐弘訳) 西インド諸島における混血人種考 (牧野陽子訳) 西イ
ンド諸島: 肌色の多様なその社会 (牧野陽子訳) 日本への冬の旅 (仙北谷晃一訳
) 解説 (平川祐弘)

ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻 アメリカ論説集 I・II・III / 訳者: 森亮
[ほか] - 東京 : 恒文社, 1988.4 503p ; 21cm ISBN:4770400071

内容: アメリカ文学論説集 I<クリスマスの玩具 ハロウィーン 厚顔無恥 い
やなタイプブラドロー 「たらいの中で恋をすれば、底が抜ける」 (速川和男訳)
著名人の結婚法離婚 教養を高める旅行 慈善は引き合うか 「社会に生活保障の
義務あり!」 慈善という好奇心 猫に課税を 英国の娯楽: 昔と今 けちないた
ずら者 運動競技 大男と小男 体育: 両親へのヒント 子供たちの扱い方 現代
のジャガンタータ神 偽りの自由思想 フランスの共和体制 誘拐犯処罰法 フラ
ンスとアメリカの協同組合 世界のジャーナリズム アメリカ合衆国の征服 植民
地開拓 文明社会の進歩現象 文明の諸相 政治における女性の影響力 共産主義
社会主義におけるペシミズム――以上は「速川和男」訳
人はすべて賢明になる時は来るか もはや巨人はいない アメリカ ――以上は
「多賀谷悟」訳

- ・アメリカ論説集 II <野蛮床屋 忍び寄る飢餓 暴動寸前 墓掘りボールドウィン ハンディ氏の人生 ピケット親父 屑拾い 「ボロ、鉄、ストーブ」 シシリア人の仇討ち 美の褒賞 やくざ行状記 呪われたイチジク シンシナティのユダヤ人囚人の友 金色の玉 ある奴隷の話 真夜中の伝道 「ヘムステッド」 磁器の絵付け 苦闘と勝利 絞首刑 暗殺の驚異 青い血 シンシナティの火トカゲ 紺の制服と金ボタン――以上「中田賢次」訳
スペインであった話 ロシアにおけるユダヤ人迫害 政府の政策とユダヤ人 ルイジアナへのユダヤ人移民――以上多賀谷悟
- ・アメリカ論説集 III <新米の光明姫 声の不思議 迷信 神秘の正体 美容学校 太陽の終末 プロテウスの天体旅行 猫と犬の話 昆虫の文明 起こり得べきこと 笑いの有害論 いごとではない 匂いの生理学 いかがわしい話 ハヴァ博士の舞踏ゲーム――以上「秦しゅん〔田へんに俊〕」訳
阿片とモルヒネ 阿片常用癖 阿片の吸飲 阿片窟 ハバナのロマンス ある殺人の理論的考察 目にみえない毒物 二つの奇妙な自殺事件 病的な自殺――以上「藤村栄一」訳
死の舞踏 精神病院の恐怖 精神病院風景 近視 目の移植 現代心霊術――以上「秦しゅん〔田へんに俊〕」訳
オカルト・サイエンス 火葬にすべきか、土葬にすべきか ゴルゴタ――以上「多賀谷悟」訳 解説（森亮）

- ラフカディオ・ハーン著作集 第3巻 アメリカ論説集IV・V・他 / 訳者：森亮〔ほか〕 - 東京：恒文社，1981.8 481p；21cm ISBN:4770400071
内容：アメリカ論説集 IV 東洋学論集 / 高木大幹訳 <梵語の叙事詩：ラーマヤナ ラマヤナ 梵語からのあやしい翻訳 仏教へのおびえ 神知学的偶像破壊 宗教界の夢魔 カースト インドの現在と将来 混乱せる東洋学 世界の崇拜物 博覧会における東洋文献 中国における英国の政策 中国からの考古学的なニュース 中国の将来 腑に落ちない日本人評価 アラビアの馬 数多のマーディ 十八世紀のマーディ 武装されたアラブの女性 スーダンでの奴隷制度とマホメット教 奴隷制度とイスラム教 メッカ巡礼に関する奇習 イスラム教のしきたり タメルランの後継者 ポンペイでの珍しい発見：鳥屋 エジプト人のいかさま「発見物」 マスペロの掘出し物 蘇った審美服 四千年むかしの話 カルタゴの廃墟 ホランド博士の擁護者たち 考古学的芸術と批評家>
- ・アメリカ論説集 V 文学評論集 / 奥田裕子訳<葬送文学 不道徳文学 熱帯文学自然主義 北方神話 ニーベルンゲンの歌 ワーグナー崇拜者 翻訳と骨抜き アメリカにおける翻訳 エレーヌ：ある愛の挿話 修道院長の誘惑 ドーテの最後の小説 隊長フラカス ヴォヴァリー夫人 ルナン論 ヴィクトル・ユーゴー ヴィクトル・ユーゴーの誕生日 ヴィクトル・ユーゴーの死 ルナンのユーゴー論 学問の勝利 「ユダヤ的フランス」 ゴラ対検閲 ミシュレの伝記 「マノン・レスコー」 クールベ 審美主義の使途 ドレとポー チャールズ・リード マージョリー・ドーとその他の人々 「ギリシャの詩人」 スコットランドのイザヤ ビスマルクの文学観 手まわし風琴について カルメン 音楽関係の文献 あの古い絵
 - ・アメリカ文学評論 / 酒本雅之、安井信子訳<ブレット・ハートと批評家たち 「アトランティック」誌の没落 新聞の書評家 定期刊行物の新機軸 最良の読み物 未来のジャーナリズム モトレー著「ネーデルランド連合国の歴史」 詩人モトレー著「ジョン・パーネヴェルトの生涯」 南部小説 実物の「腕なし」 アリカ文学の死 読書 「死後も美德は生きる」 ラルフ・ウォルドー・エマソン 「草の葉」 写実主義小説 小説家と小説 南部文学 南部文学と「オブザーヴァー」 新奇な小説 マーク・トウエインのミシシッピー川 雑誌の怪 「不安の谷」 作家と成功 韻文と散文の翻訳 読書 ケープル氏の「医師セヴィエ」 詩と報酬 才子と天才 「ハムレットの手帳」 合衆国におけるニヒリズム文学 天才の罪科 雑食性新聞 ホワーキン・ミラー 礼節対道徳 ジャーナリズムと雑誌の作品 ハウエルズ氏の写実主義の一面 天才を問う ハウエルズ氏批評家を論ず
- あとがき（森亮）

- ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻 西洋落穂集 / 訳者：篠田一士、千石英世 寺島悦恩訳 - 東京：恒文社，1987. - 548p；21cm. - ISBN:4770400071
内容：まえがき アメリカ文学の渦中で（篠田一士） 王の牧歌（千石英世訳） 霊に交わりて（千石英世訳） タンシー・サイクス（寺島悦恩訳） パトロン制度（千石英世訳） 薄絹を脱ぎし美女（千石英世訳） 墓石（千石英世訳） 畜殺の街（千石英世訳） 無宿人（千石英世訳） ハセルダーマ（千石英世訳） ギレア

ド＝バルサム(寺島悦恩訳) 競売(寺島悦恩訳) 黒人寄席演芸(千石英世訳) 塚を築いた人びと(千石英世訳) 巨人と小人(千石英世訳) フォレスト将軍の葬儀(千石英世訳) メンフィスからニューオーリンズへ(寺島悦恩訳) 熱帯の入口にて(千石英世訳) 南部(寺島悦恩訳) ロス・クリオロス(寺島悦恩訳) 雨のニューオーリンズ(寺島悦恩訳) ニューオーリンズ(寺島悦恩訳) ニューオーリンズからの手紙(寺島悦恩訳) ある苛酷な物語(寺島悦恩訳) ニューオーリンズ通りの奇妙な命名法(寺島悦恩訳) 教育における想像力(千石英世訳) 精神文化の両極(千石英世訳) 学と教育(千石英世訳) 頭の中の辞書(千石英世訳) 言語学習における目の効用、耳の効用(千石英世訳) 外国語の問題(千石英世訳) 言語学者としての伝道師(千石英世訳) 進化論的歴史(千石英世訳) ハワード記念図書館(千石英世訳) 驚くべき事実と恐ろしい夢(千石英世訳) 人類の先駆者(千石英世訳) アリの消息(千石英世訳) 民族学の理論(千石英世訳) 天体地学(千石英世訳) 懐疑論あれこれ(千石英世訳) 新しい理論と古い理論(千石英世訳) ある哲学(千石英世訳) 記憶(千石英世訳) 「怪談」(千石英世訳) 神智学(千石英世訳) 現代の迷信(千石英世訳) ホランド土の「不死」(千石英世訳) 不死(千石英世訳) 「アジアの光」の影(千石英世訳) 共和国：古代と現代(千石英世訳) 大国の未来(千石英世訳) 精神錯乱に関する多様な見解(千石英世訳) 自由思想の狂態(千石英世訳) 「ロバの行く道を行け」(千石英世訳) 催眠術とニヒリズム(千石英世訳) 失われた音楽(寺島悦恩訳) 音楽についてギリシャ人が知っていたこと(寺島悦恩訳) 「メフィストフェレス」(寺島悦恩訳) リスト(寺島悦恩訳) トワレグ族(寺島悦恩訳) シディ・アブデルカデル・エル・ジュラニ(寺島悦恩訳) マーディの正統(寺島悦恩訳) ユダヤ人(ラサール)(千石英世訳) タルマツト瞥見(千石英世訳) ユダヤ式葬儀覚え書(千石英世訳) 舞台に見るユダヤ人(千石英世訳) 西インド諸島クレオール語の諺についての覚え書(寺島悦恩訳) クレオールの医師(寺島悦恩訳) ニューオーリンズ博覧会：日本の展示物(寺島悦恩訳) ニューオーリンズに見る東国の国(寺島悦恩訳) ニューオーリンズでのメキシコ展(千石英世訳) 東洋の珍しき品々(寺島悦恩訳) 珍しいものを探す人の覚え書(寺島悦恩訳) ニューオーリンズの政府展示品(寺島悦恩訳) 東洋のソロモン物語(寺島悦恩訳) ストラコシュ・オペラ座の思い出(寺島悦恩訳) 新しいナポレオンの肖像(寺島悦恩訳) 女と馬(寺島悦恩訳) 人肉嗜食奇譚(寺島悦恩訳) 解説(千石英世)

ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論・論説集・神戸クロニクル論説集 / 齊藤正二〔ほか〕訳。 - 東京 : 恒文社, 1988. - 587p ; 21cm.
- ISBN:4770400071

内容：東西文学評論<理想主義の将来(山下宏一訳) 理想主義と自然主義(山下宏一訳) 写実主義と理想主義(山下宏一訳) 文学進化の教訓(山下宏一訳) 科学と文学(山下宏一訳) 芸術としての頹廢(山下宏一訳) 雑誌文芸における折衷主義(山下宏一訳) 狂るロマン派詩人(藤本周一訳) 偉大なる奇人の偶像(藤本周一訳) フローベルの友人たち(藤本周一訳) 考古学的小説(藤本周一訳) 素晴らしい散文家(藤本周一訳) 文学上の厭世主義(藤本周一訳) 「孤独」(藤本周一訳) 厭世主義のための弁護(藤本周一訳) 女剣客(藤本周一訳) ゾラ作「ボヌール・デ・ダーム百貨店」(藤本周一訳) 「制作」(藤本周一訳) 新ロマン主義(藤本周一訳) 現代作家の中で最も独創的なピエール・ロティ(藤本周一訳) 現代小説の筋立て(藤本周一訳) 「ネイション」誌のロティ論(藤本周一訳) 苦悩の宗教(藤本周一訳) 好奇心をそそる回想記(藤本周一訳) 死の恐怖(藤本周一訳) ボヘミアの回想(藤本周一訳) 「文人の苦境」(藤本周一訳) 国外におけるロシア文学(齊藤正二訳) 怖い小説一篇(齊藤正二訳) トルストイの説く「知恵の空しさ」(齊藤正二訳) 二人のアーノルド(田中一生訳) 祖国では認められず(田中一生訳) エドウィン・アーノルドの新著(田中一生訳) ロセッティの決定版(田中一生訳) いくつかの人間の弱点について(田中一生訳) テニスンの「ロックスレー・ホール」(田中一生訳) ハイリヒ・ハイネの妻(齊藤正二訳) ハイネに関する補注(齊藤正二訳) メルス博士のダンテ論考(齊藤正二訳) 仏教とは何か(林隆訳) 最近の仏教文献(林隆訳) ダーターバーヤ・バラタ・カーリャーヤ(林隆訳) 「天上の歌」(林隆訳) インドの女流詩人たち(林隆訳) 「王たちの叙事詩」(林隆訳) 中国人の神信仰(林隆訳) 日本の詩瞥見(林隆訳)

・論説集 / 岩原康夫訳<ポンペイ 夢のような発明の可能性 人類の移動 ドイツの問題 アジアの地平線 昆虫の政治学 海へびはウナギなりや 哀れなミイラ

音楽におけるロマン主義 古代に共産主義は存在したか ブロンドの女性とブルーネットの女性 深紅の狂気 春の異常な空想 砂漠か海か 無限の秘密 オナイダ 共同体の宣言 悪魔の大聖堂 エドガー・アラン・ポーのフランス語訳 アメリカの雑誌 自立する妻 監獄と刑罰 ルイジアナのフランス人 女性虐待の防止 古代ローマの粗末な食と贅沢な生活 電灯 産業の利益と無法な行為 フランスのジャーナリズム あっさり死を：簡単なほど苦痛は少ない 多発する犯罪 未来の夢 女性の影響>

- ・神戸クロニクル論説集 / 佐藤和夫訳<車屋の問題 干渉政策 ゴールデン・フリーズ号の売却 日清戦争の予想される結果 悲しい変化 日本の教育政策 寛容の必要性 日本人の体格 アメリカにおける人種問題 宗教的な不寛容 条約改正の一問題 新旅券制度のもたらすもの 古代アメリカに対する日本の影響についてのタイラー博士の意見 愛国心と教育 地震と国民性 日本人のアメリカにおける政策観 国民性について アメリカにおける労働問題 清国に対する同情 西インド諸島への日本人の移住 日本における低賃金 ヨーロッパの将来 アメリカにおける人口増加 金の呪い 合衆国の懸賞金ボクシング ジャーナリズムにおける中世的迷信 清国の将来 神道の価値 合衆国における共和党の勝利 外国勢力の後退 道徳と適者生存 ヨーロッパの軍事情形 心靈論の唯物主義 男女平等の問題 裸体反対運動 新しい「禁書目録」 清国に関するピアスン博士の真の見解 仏教の新しい機会 近代戦における勇気 日本と西欧の芸術についての一日本人の発言 イギリス人は天使か 日本と教育 民主主義の謎 寛大の必要性 未開と文明 極東における三国同盟 朝鮮の謎 「黄金律」について>
- ・解説「神戸クロニクル論説集」あとがき(佐藤和夫) 卷末解説(斉藤正二)

ラフカディオ・ハーン著作集 第6巻 文学の解釈Ⅰ / 池田雅之〔ほか〕訳。

— 東京：恒文社，1980。— 507, ixp ; 21cm. — ISBN:4770400071

内容：文学の解釈Ⅰ<第1章 ヨーロッパ文学研究のむずかしさ(池田雅之訳) 第2章 至高芸術について(池田雅之訳) 第3章 文体上におけるロマン主義文学と古典主義(池田雅之訳) 第4章 クラップ論ノート(伊沢東一訳) 第5章 クーパー論ノート(伊沢東一訳) 第6章 プレイク：イギリス最初の神秘薬(池田雅之訳) 第7章 ワーズワス(池田雅之訳) 第8章 コールリッジ(池田雅之訳) 第9章 バイロン(金沢豊訳) 第10章 バイロン精華(金沢豊訳) 第11章 シェリー(金沢豊訳) 第12章 シェリー詩についての若干の注釈(金沢豊訳) 第13章 キーツ(金沢豊訳) 第14章 キーツの抒情(金沢豊訳) 第15章 フッド論ノート(伊沢東一訳) 第16章 カーライルの「衣装哲学」について(中里寿明訳) 第17章 十九世紀のイギリス小説(前期)(立野正裕訳) 第18章 十九世紀のイギリス小説(後期)(立野正裕訳) 第19章 社交詩の作家(中里寿明訳) 第20章 ホートン卿の詩(中里寿明訳) 第21章 エドワード・フィッツ・ジェラルドと「ルバイヤート」(中里寿明訳) 第22章 ペシミズムの詩人たち(立野正裕訳) 第23章 ヴィクトリア時代の哲学詩(中里寿明訳) 第24章 「シャグパットの剃髪」(中里寿明訳) 第25章 文学と世論(池田雅之訳)> 解説(池田雅之) 年譜

ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻 文学の解釈Ⅱ / 池田雅之〔ほか〕訳。

— 東京：恒文社，1985。— 511, viip ; 21cm.

内容：文学の解釈Ⅱ<第1章 シェイクスピア(中里寿明訳) 第2章 シェイクスピア研究ノート(中里寿明訳) 第3章 聖書と英文学(立野正裕訳) 第4章 散文芸術論(立野正裕訳) 第5章 小説における超自然的なもの(立野正裕訳) 第6章 英国バラッド(伊沢東一訳) 第7章 ヘリック論ノート(中里寿明訳) 第8章 バークレイ(中里寿明訳) 第9章 ポーの韻文(池田雅之訳) 第10章 ロングフローの適切な評価について(池田雅之訳) 第11章 「ハヴァーマル」古代北歐の生活倫理(立野正裕訳) 第12章 超人(中里寿明訳) 第13章 西洋の詩歌における樹の精について(池田雅之訳) 第14章 虫の詩(伊沢東一訳) 第15章 英詩のなかの鳥たち(伊沢東一訳) 第16章 夜の詩(伊沢東一訳) 第17章 英詩の最も短い形式に関するノート(池田雅之訳) 第18章 日本を主題にした外国の詩(池田雅之訳) 第19章 最終講義(池田雅之) 解説(池田雅之)

ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻 詩の鑑賞 / 篠田一士、加藤光也訳。

— 東京：恒文社，1983。— 531, viiip ; 21cm.

内容：詩の鑑賞<まえがき(篠田一士) 第1章 英詩における愛について 第2章 ロセッティ研究(断片) 第4章 スウィンバーン研究 第5章 ブラウニン

(60)

[H092.1]

グ研究 第6章 ウィリアム・モリス 第7章 チャールズ・キングズリー 第8章 詩人としてのマシュー・アーノルド 第9章 ジーン・インジェロウへのノート 第10章 「三つの沈黙」 第11章 ワストンの詩へのノート 第12章 ロバート・ブキャナンへのノート 第13章 マンビーの「ドロシー」へのノート 第14章 ロバート・ブリッジズ> 訳者あとがき(加藤光也)

ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 人生と文学 / 池田雅之〔ほか〕訳

— 東京 : 恒文社, 1988. - 441p ; 21cm. - ISBN:4770400071

内容: 人生と文学<第1章 読書論(安吉逸季訳) 第2章 生活および性格と文学との関係について(田中一生訳) 第3章 創作論(田中一生訳) 第4章 文学協会の功罪に関する覚え書(安吉逸季訳) 第5章 文学的天才(断片)(安吉逸季訳) 第6章 イギリスの近代批評、および同時代の英仏文学の関係について(浜田泉訳) 第7章 散文小品(小沢博訳) 第8章 ジョージ・メレディスの詩(小沢博訳) 第9章 ロセッティの散文に関する覚え書(安吉逸季訳) 第10章 ヴィクトリア朝の痙攣派(安吉逸季訳) 第11章 ド・タブレ卿の詩(安吉逸季訳) 第12章 フランスのロマン派作家(浜田泉訳) 第13章 フランスの虫の詩数編 第14章 醜の主題について(浜田泉訳) 第15章 トルストイの芸術論(浜田泉訳) 第16章 トルストイの「復活」について(浜田泉訳) 第17章 死についての数編の詩(浜田泉訳) 第18章 妖精文学(浜田泉訳) 第19章 中世の最も美しいロマンス(引地正俊訳) 第20章 イオーニカ(引地正俊訳) 第21章 古いギリシャの断片(引地正俊訳)> 解説

ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻 英文学崎人列伝、シェイクスピア論、その他 / 由良君美〔ほか〕訳 — 東京 : 恒文社, 1987. - 380p ; 21cm.

— ISBN:4770400071

内容: 英文学崎人伝(由良君美、門脇由紀子訳)<ウィリアム・ブレイク、バーナード・ド・マンデヴィル、イラズマス・ダーヴィン、ウィリアム・ベックフォード、クリストファースマート、ジョージ・ボロウ、マンク・ルイスと「恐怖・ミステリー派」、トマス・ラヴェル・ベドウズ、ウオルター・サヴェジ・ランドー、トマス・ラヴ・ピーコック>

- ・ヴィクトリア朝哲学(由良君美訳)<ヴィクトリア朝詩人における進化論的思考、グラント・アレン、超人、新しい倫理、ヴィクトリア朝の哲学:大思想家たち>
- ・韻律学心得(井上美沙子訳)<第1講、第2講:韻律分析:要約、第3講:行間休止と「またがり」、韻律分析講義総括:いろいろな事例>
- ・シェイクスピア論(高村忠明訳)<第1章:シェイクスピアの偉大さ 第2章:個人的側面:そのひとと生涯 第3章:シェイクスピア作品の特質 第4章:シェイクスピア作品の方法 第5章:シェイクスピア作品の出典および時代区分の試み 第6章:シェイクスピアの言葉と彼の難解さ 第7章:シェイクスピア劇の分類 第8章:シェイクスピアの典型的な登場人物
- ・その他<虫とギリシャの詩(伊藤欣二訳) 子供をうたった詩(伊藤欣二訳) ロセッティの「海のきわみ」(伊藤欣二訳) ある国王のロマンス(井出弘之訳) 英詩に描かれた理想的女性(井出弘之訳) 現代詩における輪廻転生(井出弘之訳)> 解題(由良君美)

ラフカディオ・ハーン著作集 第11巻 英文学史I / 野中涼、野中恵子訳

— 東京 : 恒文社, 1981. - 491, xivp ; 21cm. - ISBN:4770400072

内容: I:最初の時期<序論、異教時代の詩、古期英語の詩:キリスト教文学と世俗文学、古期英語の宗教詩:二大宗教詩人、古期英語の散文> II:ノルマンの征服<英語の変形、古い文学の死:沈黙の時代、中期英語の第1期:新しいことば、中期英語の第2期、中期英語の最後の時期:標準英語の定着> III:十五世紀<エリザベス朝直前の文学:イギリスの演劇-新しい詩形の導入> IV:エリザベス朝文学<エリザベス朝の演劇、エリザベス朝の散文:ユーフェイズム、叙情詩、エドマンド・スペンサー、翻訳家たち、シェイクスピア、ベン・ジョンソン:エリザベス朝演劇の衰退:シェイクスピアの同時代ならびにそれ以後の作家、ジョンソン以後:簡単な年代覚え書 ジョンソン以後の一般的傾向、ベーコン V:王政復古と十七世紀後半<助言:文学の衰退と腐敗、ミルトン、ドライデン、王政復古期の演劇:道徳的退廃の時期-宮廷と社会の状態-演劇の二つの流派、十七世紀後半の他の劇作品:英雄劇 他の悲劇、王政復古期の散文と十七世紀末の散文、偉大な日記> VI:十八世紀文学<概説:古典時代、1700-1750、古典時代の十八世紀詩人:アレクサンダー・ポープ、古典時代の散文:デフォー ジョナサン・スウィフト アデ

イスンとスティール ビショップ・バークレイ、劇> VII: ジョンソンの時代<概説: ジョンソン博士、ジョンソン時代の詩: 概説—ロマンティズムの流れ 古典主義の詩: ジョンソンからダーウィンまで、歴史家、ジョンソン時代の散文: イギリス小説の発達、十八世紀最後のエッセイスト、十八世紀演劇: 世紀最後の劇、神秘および恐怖ロマンス、革新主義者たち、十八世紀文学のまとめ> 解説(野中恵子)

ラフカディオ・ハーン著作集 第12巻 英文学史Ⅱ / 野中涼、野中恵子訳。

— 東京 : 恒文社, 1982. - 409, xvii p ; 21cm. - ISBN:4770400073

内容: VIII: 前ヴィクトリア時代の詩人たち<ロマンティズム第1期: サー・ウォルター・スコット ワーズワズ コウルリッジ サウジー、ロマンティズム第2期: バイロン、シェリー、キーツ、ロマンティズム群小詩人

・IX: 前ヴィクトリア時代の散文—小説<偉大な作家たち: スコット、リットン、ディケンズ サッカレイ、群小作家、女流作家、荘重な散文とその大家: マコーレイ カーライル デ・クインシー>

・X: ヴィクトリア時代の詩<序言、テニスンとその偉大な詩: テニスン ブラウニング、新しい流派: 痙攣とラファエル前派: ロゼッティスウィンバーン まとめ 群小詩人: 序言 ミス・ロゼッティ ジョージ・メレディス・ブリッジス モリス マシュー・アーノルド チャールズ・キングズリー フィッツジェラルド ブラウニング夫人 ウィリアム・ジョンソン タブリー オショーンネシー、軽い詩<ロッカードブスン ラング・キャルヴァリー R. H. バーラム エイトウン> 最後の流派<トマス・ベイリー シドニー・ドベルとアレグザンダー・スミス トムソン オウエン・メレディス コヴェントリー・パトモア、まとめ>

・XI: ヴィクトリア時代の小説<ブロン ジョージ・エリオット チャールズ・キングズリー ヘンリー・キングズリー トロロップ リード コリンズ R. L. スティーヴンソン ジョージ・デュ・モーリエイ ラドヤード・キップリング>

・XII: 偉大なヴィクトリア時代の散文<小説以外の分野: フルード ジョン・ラスキン マシュー・アーノルド アディントン・シモンズ ウォルター・ペイター ティンダルとハックスレイ セインツベリー ボス ダウデン、まとめ>

・XIII: アメリカ文学覚書<アメリカの詩、アメリカの散文: アーヴィング エドガー・アラン・ポウ ホーソーン ホームズ博士 他> 解説(野中恵子)

ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻 詩論・詩人論 / 佐藤喬〔ほか〕訳。

— 東京 : 恒文社, 1987. - 622p ; 21cm. - ISBN:4770400071

内容: 詩論・詩人論 第1章: 赤裸々の詩(池田雅之訳) 第2章: 英国バラッド秀歌選(遠田勝訳) 第3章: 俗謡に関する覚え書(神田庄二訳) 第4章: フィンランド叙事詩の英学への影響について(遠田勝訳) 第5章: エピグラム詩(佐藤喬訳) 第6章: 象徴詩一斑(遠田勝訳) 第7章: 英雄的主題を扱った詩(鳥海久義訳) 第8章: 音楽についての詩(佐藤喬訳) 第9章: 樹木の詩(鳥海美恵子訳) 第10章: 英詩における花(鳥海久義訳) 第11章: 月に関する古今の外国詩歌(池田雅之訳) 第12章: ジェイムズ・トムスン、B. V.の詩について(鳥海美恵子訳) 第13章: 二つの神秘的なバラの詩(鳥海久義訳) 第14章: フッドの「幽霊屋敷」について(鳥海美恵子訳) 第15章: 遊戯詩管見(遠田勝訳) 第16章: ブラウニング夫人覚え書(佐藤喬訳) 第17章: オショーンネシーについての覚え書(佐藤喬訳) 第18章: コヴェントリー・パトモア覚え書 第19章: 自然詩の偉大なる先駆者(遠田勝訳) 第20章: 詩におけるウォルター・スコットの位置(鳥海美恵子訳) 第21章: トマス・キャンベル覚え書(神田庄二訳) 第22章: クリスティーナ・ロゼッティとヴィクトリア朝詩との関係についての覚え書(佐藤喬訳) 第23章: ホイッティアーに関する覚え書(佐藤喬訳) 第24章: ウォルト・ホイットマン(佐藤喬訳) 解説(佐藤喬)

ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 ゴンボ・ゼーブス カルマそのほか 書簡Ⅰ

・Ⅱ / 齊藤正二〔ほか〕訳。— 東京 : 恒文社, 1983. - 592p ; 21cm.

— ISBN:4770400071

内容: ゴンボ・ゼーブス<原著者解説、クレオール文献書誌、クレオール俚諺小辞典、索引、「ゴンボゼーブス」解説(原一郎)> カルマそのほか<カルマ: 創作 幽霊: エッセイ、最初の祈禱時報係り: エッセイ、ちんちん小袴: 再話、団子をなくしたおばあさん: 再話 猫の絵を描いた男の子: 再話、「カルマそのほか」解説(内藤四郎)>

・書簡Ⅰ<西田千太郎あて書簡 「西田千太郎あて書簡」解説(池野誠) 大谷正信あて書簡 大谷正信あて書簡 解説(齊藤正二)> 書簡Ⅱ: ハーン=チェンバレ

(62) [H092.1]
ン往復書簡 「ハーン=チェンバレン往復書簡」解説>

ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 書簡Ⅱ・書簡Ⅲ 拾遺 年譜 / 齊藤正二
藤本周一、山下宏一共訳、 - 東京 : 恒文社, 1988. - 780p ; 21cm.

- ISBN:4770400071

内容: 書簡Ⅱ(続き): ハーン=チェンバレン往復書簡 「ハーン=チェンバレン
往復書簡」解説(山下宏一) 書簡Ⅲ<大鴉の手紙: ヘンリー・ワトキン宛書簡集
「大鴉の手紙」解説(遠田勝) ジェイムズ・D・ハーン宛書簡集 「ジェイムズ
・D・ハーン宛書簡集」解説(遠田勝) 拾遺<出雲への旅日記 「出雲への旅日
記」解説(梶谷泰之) 島根・九州だより 「島根・九州だより」について(榊井
幹生)> 年譜<ラフカディオ・ハーン年譜>

収録資料<初出不明作品 バレット文庫所蔵未刊行書簡一覧 バレット文庫所蔵未
刊行新聞記事一覧 あとがき(銭本健二、小泉凡)

ラフカディオ・ハーン著作集 総目次(第15巻別冊). - 東京 : 恒文社, 1988
- 47p ; 21cm.

明治日本の面影 / 小泉八雲著 ; 平川祐弘編 東京 : 講談社, 1990.10
- 489p ; 15cm. - (講談社学術文庫). - ISBN:4061589431

・内容: 英語教師の日記から(平川祐弘訳) 日本海の浜辺で(平川祐弘訳) 伯耆
から隠岐へ(銭本健二訳) 化けものから幽霊へ(遠田勝訳) 日本人の微笑(平
川祐弘訳) 横浜にて(遠藤勝訳) 勇子(遠田勝訳) 京都旅行記(河島弘美訳
) 出雲再訪(遠田勝訳) 富士の山(河島弘美訳) 橋の上(平川祐弘訳) お
大の場合(池田美紀子訳) 日本の病院で(池田美紀子訳) ちんちん小袴(遠田
勝訳) おばあさんの話(遠田勝訳) 勝五郎の再生(平川祐弘訳) 蛍(仙北谷
晃一訳) 露の一滴(森亮訳) 力馬鹿(平川祐弘訳) ひまわり(平川祐弘訳)
蓬萊(仙北谷晃一訳) 私の守護天使(平川祐弘訳) 解説(遠田勝訳) 「明治
日本の面影」原題と訳者一覧 [寄贈 布村 弘氏]

耳なし芳一 / 小泉八雲・原作 ; 宮田雪・脚色 ; 水木しげる・絵. - 東京
: 扶桑社, 1994. - 257p ; 16cm. - (扶桑社文庫)

耳なし芳一・雪女 / 小泉八雲作 ; 保永貞夫訳 ; 小林敏也絵. - 東京 :
講談社, 1992. - 250p ; 18cm. - (講談社青い鳥文庫 66-3). - ISBN:4061473603

・内容: えんま大王の前で、人を食う鬼、茶わんの中の顔、やなぎの木の霊、ちんち
ん小袴、玉の願い、力ばか、がま、氏神のやくそく、かがみの少女 解説(保永貞
夫)

日本:一つの試論 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1976.
- 474p ; 21cm.

・内容: わかりにくさ 珍しさと魅力 上代の祭り 家庭の宗教 日本の家族 地域
社会の祭り 神道の発達 礼拝と清め 死者の支配 仏教の渡来 大乘仏教 社会
組織 武力の興隆 忠義の宗教 キリシタン禍 封建制の復活 前代の遺物 現代
の抑圧 官制教育 産業の危機 反省八雲と日本(その2) (平井呈一)

日本警見記 上 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1975.
- 448p ; 21cm.

・内容: 極東の第一日、弘法大師、地藏、江の島行脚、盆市、盆おどり、神々の国の
首都、杵築、潜戸(くげど)、美保の関、杵築雑記、日ノ御碕、心中、八重垣神社
キツネ

日本警見記 下 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1985.
- 454p ; 21cm.

・内容: 日本の庭、家庭の祭壇、女の髪、英語教師の日記から、二つの珍しい祭日、
日本海に沿って 舞妓 伯耆から隠岐へ、魂について、幽霊と化けもの、日本人の微
笑、さようなら、八雲と日本その1 (平井呈一)

日本の怪談 / [小泉八雲著] ; 田部隆次編. - 東京 : 大日本雄弁講談社
1946. - 211p ; 19cm. - (小泉八雲新輯 1)

・内容: 小泉八雲について<生涯、思想・芸術、作品> (田部隆次) 生と死の断片

浜口五兵衛 阿弥陀寺の比丘尼 了然尼 怪談<弁天の同情 鮫人の感謝 衝立の乙女 因果話 僧興義 幽霊滝の伝説 おかめの話 忠五郎の話 耳無芳一の話 鏡と鐘 食人鬼 青柳の話 葬られたる秘密 姥桜> 猫を画いたこども

日本の心 / 〔小泉八雲著〕 : 田部隆次著. - 東京 : 大日本雄弁講談社, 1947. - 222p. ; 19cm. - (小泉八雲新輯 III)
 ・内容: 或る舞妓の話 英語教師の日記から 九州学生 停車場にて 或る女の日記 コレラ流行時に 乙吉の達磨 平家蟹 小さな歌 年譜 (生涯、著作及び遺稿)

日本の心 / 小泉八雲著 ; 平川祐弘編. - 東京 : 講談社, 1990. - 397p ; 16cm. - (講談社学術文庫). - ISBN:4061589385 寄贈: 布村弘殿
 ・内容: 夏の日の夢 (仙北谷晃一訳) 永遠に女性的なるもの (仙北谷晃一訳) 赤い婚礼 (仙北谷晃一訳) 停車場にて (平川祐弘訳) 旅日記から (河島弘美訳) 阿弥陀寺の比丘尼 (仙北谷晃一訳) 戦後に (平川祐弘訳) ある保守主義者 (平川祐弘訳) コレラ流行期に (河島弘美訳) 君子 (平川祐弘訳) 生神様 (平川祐弘訳) 塵 (仙北谷晃一) 日本美術に描かれた顔について (仙北谷晃一訳) 人形の墓 (平川祐弘訳) 大阪にて (河島弘美訳) 虫の演奏家 (牛村圭訳) 草ひばり (森亮訳) 焼津にて (森亮訳) 乙吉の達磨さん (平川祐弘訳) 解説 (仙北谷晃一) 「日本に心」原題と訳者一覧

日本の面影 / 〔小泉八雲著〕 ; 田代三千稔訳. - 東京 : 愛宕書房, 1945 - 3版. - 初版1943. - 300p ; 19cm. - (小泉八雲珠玉集)
 ・内容: 第1部: 停車場にて 東洋における私の第1日 盆踊 日本海のほとりにて 橋の上 人形の墓 焼津にて 乙吉の達磨 漂流 占いの話 生神 病理上のこと 草雲雀 虫の音楽師
 第2部: 約束 耳なし芳一の話 をしどり 雪女 乳母桜 青柳物語 鮫人の感謝 むじな 梅津忠兵衛の話 興義和尚の話 食人鬼 茶碗の中 常識 果心居士 あとがき 原作者略伝

日本の面影 / ラフカディオ・ハーン著 ; 田代三千稔著. - 東京 : 角川書店, 1958. - 244p ; 15cm. - (角川文庫)
 ・内容: 東洋の第一日、盆おどり、子供の霊の洞窟-潜戸、石の美しさ、英語教師の日記から、日本海のほとりにて、日本人の微笑、夏の日の夢、生と死の断片、停車場にて、門つけ、生神、人形の墓、虫の楽師、占いの話、焼津にて、橋の上、漂流 乙吉の達磨、ひとしづく、草ひばり、蓬萊

日本雑記 他 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1975. 11. - 643p. ; 21cm.
 ・内容: 霊の日本<断片 振袖 香 占いの話 蚕 恋の因果 仏陀の足跡 犬の遠ぼえ 小さな詩 日本の仏教俚諺 暗示 因果ばなし 天狗譚 焼津>
 ・明暗<珍籍叢話-和解 普賢菩薩のはなし 衝立の乙女 死骸に乗る人 弁天の感応 鮫人の恩返し。 日本研究-蟬 日本女性の名 日本の古い歌謡。 夢想-夜光虫 ひとつごみの神秘 ゴシックの恐怖 飛行 夢魔の感触 夢の本から 一對の目のなかに>
 ・日本雑記<奇談-守られた約束 破られた約束 閻魔の庁で 果心居士 梅津忠兵衛 興義和尚のはなし。 民間伝承 落葉集-トンボ 動・植物の仏教的名称 日本のわらべ歌。 あちこち艸-橋の上 お大の場合 海のほとり 漂流 乙吉のだるま 日本の病院で>
 参考資料 八雲と再話文学 (平井呈一)

おとぎの国の妖精たち : 小泉八雲怪談集 / ラフカディオ・ハーン著 ; 池田雅之訳編. - 東京 : 社会思想社, 1995. - 334p ; 15cm. - (現代教養文庫 1950). - ISBN:4390115804
 ・内容: 第1章 おとぎの国の妖精たち<ちんちん小袴 団子をなくしたおばあさん 化け蜘蛛 猫を描いた少年 若がえりの泉 むじな 力ばか ひまわり> 第2章 ユートピアへの夢想<浦島伝説 安芸之介の夢 おしどり お貞の話 蓬萊> 第3章 怪異と愛のユートピア<鳥妻 泉の乙女 織女の伝説 孟沂の話 忠五郎の話 伊藤則資の話> 第4章 愛の裏切りと激情<雪女 和解 振り袖伝説 因果話 茶わんの中 耳なし芳一の話> 第5章 青柳の話 鏡の乙女 衝立の乙女 葬られた秘密 十六桜 乳母桜 永遠の憑きもの> 第6章 永遠の女性と妖精文

(64)

[H092.1]

学<永遠の女性像について 妖精文学 文学における超自然の価値>
ラフカディオ・ハーン略年譜 収録作品の原題と出典

おとぎの国の妖精たち : 小泉八雲怪談集 2 / ラフカディオ・ハーン著 ;
池田雅之訳編. - 東京 : 社会思想社, 1996. - 350p ; 15cm. - (現代教養
文庫 ; 1594). - ISBN:4390115944

・内容: 第1章 霊の日本への旅<子捨ての話 小豆磨き橋 水飴を買う女 鳥取の
布団の話 帰ってきた死者 倩女の話> 第2章 おとぎの国の妖怪たち<幽霊滝
の伝説 ろくろ首 食人鬼 死体にまたがった男 果心居士の話 僧興義の話 普
賢菩薩の伝説 常識 天狗の話> 第3章 霊の転生<大鐘の霊 鏡と鐘と お亀
の話 蠅の話 雉子の話 策略> 第4章 霊との交感<願真卿の帰還 梅津忠兵衛
の話 鮫人の恩返し 菊花の契り 破られた約束 生霊 死霊> 第5章 恋の因
果<愛の伝説 天女 バカワリ 最初の音楽家 弁天の感応 牡丹燈籠 天の川叙
情> 第6章 「怪談」の誕生まで<私の守護天使 夢魔の感触 ゴシックの恐怖
亡霊> ・ラフカディオ・ハーンの略年譜 収録作品の原題と出典 あとがき

尖塔登攀記外四篇 : 小泉八雲初期文集 / [小泉八雲著] ; 佐藤春夫訳.
- 東京 : 白水社, 1934. - 101p ; 28cm. ケース入り 限定版. - 1千部の
うち48番

・内容: 水彩画 (八雲筆) 編者の解説あり 訳者の覚え書 (佐藤春夫) 原作者照影
絞刑記事 ・尖塔登攀記 ・無法な火葬 ・蝶の幻想 ・蝶 (ルドン筆) ・霜の意
匠 ・装飾画 八雲筆)

尖塔登攀記外四篇 : 小泉八雲初期文集 / [小泉八雲著] ; 佐藤春夫訳.
- 東京 : 恒文社, 1996. - 101p ; 28cm. 復刻版. - 上記図書の復刻版

・内容は上記に同じ。

付: 小泉八雲と佐藤春夫について : 解説に代えて (速川和夫) 佐藤春夫さん
と「尖塔登攀記」のこと (小泉時)

西洋文学講義 / ハーン [著] ; 太田三郎訳. - 東京 : 河出書房, 1953.
- 161p ; 15cm. - (市民文庫 ; 1701-B).

・内容: I : 西洋文学研究の難関 イギリス文学と聖書 中世の最も美しいロマンス
「ハヴァマル」: 古代北欧人の生活倫理 II : 奇人の偶像: ボードレール 作家と
友人: フローベル 偉大な散文家: モオパッサン 「制作」のもつ新しい意義: ゴ
ラ 新しい浪漫主義者: ロティ 苦悩の宗教: プールジェ 人間としての弱み: ロ
ゼッティ 科学小説の作家: グランド・アレン 恐ろしい小説「罪と罰」: ドスト
エフスキー 「アンナ・カレーニナ」の人生探究: トルストイ 詩人とその妻: ハ
イネ 「神曲」: ダンテ あとがき

新潮カセットブック・小泉八雲 / 上田和夫訳. - 東京 : 新潮社, 1989.

- カセットテープ 1本. - 朗読: 橋爪功

内容: A面 1. ろくろ首 2. 雪女 B面: 1. 耳なし芳一のはなし
2. むじな。

神国日本 / 小泉八雲著 ; 訳者: 戸川秋三. - 東京 : 第一書房, 1932.

- 535p ; 20cm. ケース入り. - ケースには「戸川秋骨訳」とあり, また神国日本
の紹介文あり。

・内容: 難解 新奇及び魅力 古代の祭祀 家庭の宗教 日本の家族 組合の祭祀
神道の発達 礼拝と浄めの式 死者の支配 仏教の渡来 大乘仏教 社会組織 武
権の勃興 忠義の宗教 ジェジュイト教徒の禍 封建の完成 神道の復活 遺風
近代の抑圧 官憲 教育 産業上の危険 回想 追録 あとがき (戸川秋三)

[訳者は戸川秋骨であって、全集におさめてある訳書を単行本として発行したもの]

神国日本: 解明への一試論 / ラフカディオ・ハーン [著] ; 柏倉俊三訳注.

- 東京 : 平凡社, 1987. 初版1976.7. - 453p ; 18cm. - (東洋文庫 ; 292).
- ISBN:4582802923

・内容: 1. 難解なこと 2. 珍しさと魅力 3. 上代の祭祀 4. 家庭の宗教
5. 日本の家族 6. 地域社会の祭祀 7. 神道の発展 8. 礼拝と浄め 9. 死
者の支配 10. 仏教の伝来 11. 大乘仏教 12. 社会組織 13. 武家の興
隆 14. 忠義の宗教 15. キリシタンの災厄 16. 封建制の完成 17. 神

道の復活 18. 前代の遺物 19. 現代の抑圧 20. 官吏教育 21. 産業の危機 22. 反省
付録 ハーバート・スペンサーの日本に対する助言 文献についての注

旅の宿の夜話 / ヘルン〔著〕；田部隆次〔訳〕。－東京：養徳社，1959
3版，初版1948。－140p；18cm。－（養徳叢書 外国篇；1022）
・内容：旅の宿の夜話・お大の例・人形の墓・乙吉の達磨・漂流・占いの話・振袖・魂の数・霊・死霊・果心居士・僧興義・青柳のはなし・をしどり・悪魔の紅玉 怪物禍の物語 団子をなくしたお婆さん
あとがき（田部隆次）

東西文学評論 / 小泉八雲著；三宅幾三郎、十一谷義三郎共訳。－東京：聚芳閣，1926。－369, 13p；19cm。－
・内容：緒言（Albert Mordell）第1編：文芸上の諸問題＜理想主義の将来、理想主義と自然主義、写実主義と理想主義、文学進化の教訓、科学と文学、退廃の芸術、雑誌文学 文学に於ける包含主義＞ 第2編：フランス文学雑感＜狂へる浪漫主義者：ジェラルド・ネルヴァル、奇人の偶像：ボードレール、フローベルの友人、考古学的小説：サランボ、大散文家：モーパッサン、文学上の厭世主義の武器：ペラミ、孤独：モーパッサン、厭世主義の武器：モーパッサン、女剣客、ゾラの「百貨店」、「制作」：ゾラ、新しき浪漫主義者：ロティ、最も独創的なる現代作家：ロティ現代小説に於ける構想：ロティ、ネイション紙のロティ論、苦悩の宗教：プールジェの「愛の扉」、ゴンクール兄弟の日記、死の恐怖：フランス文学に於ける、ボヘミアン生活の回顧：ミュルジェの「ボヘミアン生活」、「文人不遇」 第3編：ロシア、イギリス、ドイツ及びイタリヤ文学＜外国に於けるロシア文学、恐ろしい小説：罪と罰、トルストイの求道心、アーノルド二人：マシウとエドイン、その国に容れられず：エヂイン・アーノルド、エドイン・アーノルドの新著：死の秘密 定本ロウゼツティ全集人生の弱点：ロウゼツティ、テニスンのロックスリ・ホールハイブリッヒ・ハイネの妻、ハイネ統、メルシエ博士のダンテ論＞ 第四編：東洋文学＜仏教とは何ぞや 最近の仏教文学 亜細亜の光、新版その他、マハーバーラタの英訳、バガヴァド・ギータの英訳、印度の女流詩人、「列王紀詩：ツィムメルン女史の意識、支那の拝神思想、日本の詩瞥見＞ 訳者小言（十一谷義三郎）
索引 INDEX

ヘルン善人の書 / 〔小泉八雲著〕；十一谷義三郎編。－東京：金星社，1937。－283p；19cm。－（人生叢書；第9編）
内容：ヘルン小伝（十一谷義三郎）、第1部：日本風物誌＜橋の上にて、易断の話 富士山を望む、長谷の大仏、江ノ島－青貝の都、眺望、龍の洞窟－時代祭、見世物と玩具店、神国の朝－目醒、穴道湖の朝、下駄の音－日本海のほとり、素朴な人々－女護ヶ島、夜更けの波止場、好意、焼津にて、日本の庭にて、門づけ、狐、心中 禅書中の一問題－無門関情の物語、禅的見地－因果のわざ－初恋の神秘、若い出家の自殺、仏教的解釈
・第2部 停車場にて、日本文明の精神－日本の躍進、西洋人は永久的に作る、日本人は一時的に作る、自然な生活、犠牲的精神－、旅日記抄－没我的自制的奇跡、障子の影寂び、日本美術、芸術美の本質、国民の宗教的感情、日本人のユートピア－阿弥陀寺比丘尼－幸福な月夜、衝撃、発狂、子供等と遊ぶ－、戦後－鯉幟、国民の誇松島艦、凱旋する、 たち－、はる、趨勢一瞥－外国人居留地、外商の凋落、居留民と日本人の確執、外資の敗北、異分子の排除、日本の将来－、国粹主義者－武士教育、日本のために、黎明
・第3部 仏教とは何ぞや、バガヴァド・ギータ、日本の詩瞥見、支那の敬神思想、亜細亜の光、狂える浪漫主義者、新しき浪漫主義者、考古学的小説

雪女 / 田部隆次訳編。－東京：八雲書店，1948。－224p；19cm。－（小泉八雲選集）
・内容：物語＜生神 了然尼＞ 奇談＜・生と死の断片、・人形の墓、・乙吉の達磨・夢を食ふもの、・小説よりも奇、・或る絵の物語＞ 怪談＜・布団、約束を守る・和解、・禅の一問、・果心居士、・耳無芳一の話、・むじな、・術数、・雪女、・安芸の助の夢＞ 自伝断片＜私の守護神、偶像礼拝、私の最初のロマンス、星、直覚消えた光で＞

全訳小泉八雲作品集 第1巻 / 平井呈一訳。－東京：恒文社，1965。

- 328p ; 22cm.

- ・内容：印象派作家日記抄<フロリダの幻想—青春の泉へ、熱帯間奏曲、広場の人命、黄金の鷹、クリーオール雑記—古風なニュー・オーリンズとその住民、仏領西インドにおけるクリオール夫人、唐草紙—アラビアの女性、騎手ラビヤ—の最後>
- ・クリーオール小品集<ニュー・オーリンズの魅力、税関、夢の都、クリーオール人型、ニュー・オーリンズ巡り、下宿屋の愚痴、下宿人の答弁、蟹はなぜ生きたまま茹でるのか、クリーオール日記、おちつかない下宿人、家具つきの部屋、メキシコ貨幣、陽気でないルイジアナ人、クリーオールの中庭、クリーオール気質、大佐殿の部屋借り、謝肉祭の夜明け、メキシコ人の恩返し 食道楽に告ぐ！ 川向こうの記、クリー奥ールの歌、グランディシムス、謎のクリーオール事件、エリュシス、ラテンとアングロ・サクソン人、来訪者クリー奥ールの女中、家庭、古風な家、積極的な意見、朝の声>
- ・中国怪談集<はしがき、大鐘の霊、孟沂のはなし、織女の伝説、顔真卿の帰還、茶の木縁起、瓷神譚、解題、八雲と異国趣味（平井呈一）>

全訳小泉八雲作品集 第2巻 / 平井呈一訳。— 東京：恒文社，1965.

- 441p ; 22cm

- 内容：飛花落葉集<解説 書目> 落葉集<・トートの書・泉の乙女・鳥妻>
- ・インド文学、仏教文学からの物語<・ティロッタマーの創成、婆羅門とその妻、ババカウリ、ナタリア、屍鬼、獅子、禍母異聞、仏諭譚、芬陀利、閻魔王、信蓮華（または「火炉」）>
 - ・カレワラの歌<魔法のことば 最初の楽人 ワイナモイネンの医方>
 - ・回教国の物語<鳩のプーティマル 盗賊の子 愛の伝説 王の裁判>
 - ・タルムッドの伝説<ラバの伝説、嘲弄者、エステルを選択、ハラカの論争、ヨカナンベン、ザカイ師、テトスの伝説>
 - ・きまぐれ草<白装束、小さな赤猫、万聖節の夜、悪魔の紅玉、舞台の裏、見知らぬ人、どうして？ 紙鳶の夢、遺伝的記憶、幽霊の接吻、黒いキューピット、ぼくが花だった時、転生、不死の人、死んだクレオール人の夢、石に書かれた名前、アフロディットと国、王の囚人、こがねの泉、死んだ恋人、墓場で、アイーダ、黄熱病、フランス臭き煙草入れの田園詩、春の妄想、奇怪な接吻、鳥と少女、ある扇のはなし、伝説、ジプシーのはなし、丸薬入れ、川を想う、心は老いぬ、MDCCLIII、玄奘、死後の恋、郵便局> ・八雲と翻訳文学（平井呈一）

全訳小泉八雲作品集 第3巻 / 平井呈一訳。— 東京：恒文社，1966.

- 437p ; 22cm.

- ・内容：仏領西インドの二年間<はしがき、真夏の熱帯行、マルティニーク小品集—荷運び女、ラ・グランド・アーンヌ、幽霊、魔女、天然痘、洗濯女、ペレー山、箱舟少年—> ・八雲と俳諧（平井呈一）

全訳小泉八雲作品集 第4巻 / 平井呈一訳。— 東京：恒文社，1967. 2.

- 447p ; 22cm.

- ・内容：仏領西インドの二年間（承前）<マルティニーク小品集（続き）—有色人の娘ムデカ、わが家の女中、「思案は禁物（バ・コンビネ、シェ）」、エ（Ye）リ（Lys）、（付録）クリーオール音楽>
- ・チタ：ラスト島のおもいで<第1部 ダーニエルス島の伝説 第2部 海の力の中から 第3部 潮の影>
- ・ユーマ：西インドの奴隷の物語 ・八雲の小説（平井呈一）

全訳小泉八雲作品集 第5巻 / 平井呈一訳。— 東京：恒文社，1964. 7.

- 448p ; 22cm

- ・内容：日本警見記（上）<はしがき 第1章 極東の一日 第2章 弘法大師の書 第3章 地蔵 第4章 江の島行脚 第5章 盆市で 第6章 盆おどり 第7章 神々の国の首都 第8章 杵築：日本最古の神社 第9章 潜戸：子供の亡霊岩屋 第10章 美保の関 第11章 杵築雑記 第12章 日ノ御碕 第13章 心中 第14章 八重垣神社 第15章 キツネ 八雲と民俗学（平井呈一）>

全訳小泉八雲作品集 第6巻 / 平井呈一訳。— 東京：恒文社，1964. 8.

- 454p ; 22cm

- ・内容：日本警見記（下）第16章 日本の庭 第17章 家庭の祭壇 第18章 女の髪

第19章 英語教師の日記から 第20章 二つの珍しい祭日 第21章 日本海に沿って
 第22章 舞妓 第23章 伯耆から隠岐へ 第24章 魂について 第25章 幽霊
 と化けもの 第26章 日本人の微笑 第27章 さようなら
 ・八雲と日本(その1) (平井呈一)

全訳小泉八雲作品集 第7巻 / 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1964.9.
 - 713p ; 22cm

内容 : ・東の国から<夏の日の夢 九州の学生とともに 博多で 永遠の女性 生
 と死の断片 石仏 柔術 赤い婚礼 願望成就 横浜で 男子>
 ・心<停車場で 日本文化の真髄 門つけ 旅日記から あみだ寺の比丘尼 戦後
 ハル 趨勢一瞥 因果応報 ある保守主義者 神々の終焉 前世の観念 コレラ流
 行期に 祖先崇拜の思想 きみ子> 附録 三つの俗謡
 ・八雲と近代文明 (平井呈一)

全訳小泉八雲作品集 第8巻 / 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1964.10.
 - 492p ; 22cm

内容 : ・仏の畑の落穂<生神 街上から 京都紀行 塵 日本美術の顔について
 人形の墓 大阪 日本の俗謡における仏教引喩 涅槃 勝五郎再生記 環中記>
 ・異国風物と回想<異国風物--富士の山 虫の音楽家 禅の公案 死者の文学
 カエル 月がほしい-- 回想--第一印象 美は記憶なり 美のなかの悲哀 青
 春のかおり 青の心理学 小夜曲 赤い夕日 身震い 薄明の認識 永遠の憑きも
 の--> ・八雲と仏教思想 (平井呈一)

全訳小泉八雲作品集 第9巻 / 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1964.12.
 - 643p ; 22cm

内容 : 霊の日本<断片 振袖 香 占いの話 蚕 恋の因果 仏陀の足跡 犬の遠
 ぼえ 小さな詩 日本の仏教俚諺 暗示 因果ばなし 天狗譚 焼津>
 ・明暗<珍籍叢話--和解 普賢菩薩のはなし 衝立の乙女 死骸に乗る人 弁天
 鮫人の恩返し> ・日本研究<蟬 日本女性の名 日本の古い歌謡> ・夢想<夜
 光虫 ひとつみの神秘 ゴシックの恐怖 飛行 夢魔の感触 夢の本から 一對の
 目のなかに> ・日本雑記<奇談--守られた約束 破られた約束 閻魔の庁で
 果心居士 梅津忠兵衛 興義和尚のはなし-- 民間伝承・落穂--トンボ 動・
 植物の仏教的名称 日本のわらべ歌-- あちこち艸--橋の上 お大の場合 海
 のほとり 漂流 乙吉のだるま 日本の病院で--> 参考資料
 ・八雲と再話文学 (平井呈一)

全訳小泉八雲作品集 第10巻 / 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1964.6.
 - 527p ; 22cm

内容 : ・骨董<古い物語-- 幽霊滝の伝説 茶わんのなか 常識 生霊 死霊
 おかめのはなし 蠅のはなし 雉子のはなし 忠五郎のはなし-- ある女の日記
 平家蟹 螢 露のひとしづく 餓鬼 いつもあること 夢想 病のもと 真夜中に
 草ひばり 夢を食うもの> ・怪談<耳なし芳一のはなし おしどり お貞のはな
 し うばざくら かけひき 鏡と鐘 食人鬼 むじな ろくろ首 葬られた秘密
 雪おんな 青柳ものがたり 十六ざくら 安芸之介の夢 力ばか 日まわり 蓬萊
 虫の研究<蝶 蚊 蠅> ・天の川綺譚<天の川綺譚 化けものの歌 「究極の問
 題」 鏡の乙女 伊藤則資のはなし 小説よりも奇 日本だより> 参考資料
 ・八雲と怪談 (平井呈一)

全訳小泉八雲作品集 第11巻 / 平井呈一訳. - 東京 : 恒文社, 1964.11.
 - 474p ; 22cm

内容 : ・日本 : 一つの試論<わかりにくさ 珍しさと魅力 上代の祭 家庭の宗教
 日本の家族 地域社会の祭 神道の発達 礼拝と清め 死者の支配 仏教の渡来
 大乘仏教 社会組織 武力の興隆 忠義の宗教 キリシタン禍 封建制の官製 神
 道の復活 前代の遺物 現代の抑圧 官制教育 産業の危機 反省>
 八雲と日本(その2) (平井呈一)

全訳小泉八雲作品集 第12巻 - 東京 : 恒文社, 1967.4. - 580p ; 22cm

内容 : ・思い出の記 (小泉節子) ・父「八雲」を憶う (小泉一雄) 祖母のこと、
 父のこと (小泉時)

H 0 9 2 . 2 対 訳

(Translations with the original)

- Diaries & letters [英語教師の日記と手紙] / Lafcadio Hearn ; translated and annotated by R. Tanabe. - Tokyo : Hokuseido, 1920. - 401 p. ; 19 cm. - 写真7枚
- Contents: 序言<略伝 解題> (田部隆次) I. From the diary of an English Teacher (英語教師の日記から) II. With Kyushu students (九州学生と) III. Letter-- To Ochiai (落合貞三郎氏へ) To Basil Hall Chamberlain (ベール、ホール、チェムバレン氏へ)
- 英和対訳小泉八雲文抄 / 矢口達訳 ; 中島治注. - 東京 : 中興館, 1915. 110p ; 20cm.
- 合綴: Tales from Lafcadio Hearn / translated by T. Yaguchi and revised by Y. Takenobu. - Tokyo : Chukokwan, 1915. - 141 p. ; 20 cm.
- 内容: ・人形の墓 ・停車場にて ・橋の上 ・鳥取の伝説 ・漂流 ・果心居士の話 ・くさひばり ・生と死との断片 ・街の唄い手 ・架空物語よりもいやふしぎ Ningyo-no-haka. At a railway station. On a Bridge. A Tottori legend. Drifting. The story of Kwashin Koji. Kusa-hibari. Bits of life and death. A street singer. Stranger than fiction.
- Essays and sketches =論文と随筆 / by Lafcadio Hearn ; translated and annotated by D. Midorikawa. - Tokyo : Kaibunsha, 1956. - 重版. - 203 p. ; 17 cm. 寄贈: 平岡伴一氏
- Contents: The Japanese smile (日本人の微笑) Some thoughts about ancestor-worship (祖先崇拜について) Unselfish self-control (没我的自制) The writing of short poems (短い歌を書くことについて) Strangeness and charm (不思議と魅力) Whatever the living possess is from the dead (生者の所有物はすべて死者から) A little flower-show (小さな花の展示会) The beauty of stones (石の美) A living God (生神) Bits of life and death (生と死の断片) On a bridge (或る橋の上で) Pathological (異状な精神状態の研究に関するもの) Kusa-Hibari (草雲雀)
- ハーン : 奇談 / 竹村覚 [訳]. - 東京 : 開文堂, 1950. - xviii, 174p ; 17cm. [11pにわたり、詳しくハーンを紹介した文章がついている] 所在: 書庫
- Impressions of Japan [日本印象記] / Lafcadio Hearn ; translated and annotated by T. Ochiai. - Tokyo : Hokuseido, 1920. - 403 p. ; 19 cm. - 写真9枚. - (小泉八雲文集 第2編)
- Contents: Preface by the editor. I. My first day in the Orient (私の極東に於ける第一日) II. A Pilgrimage to Enoshima (江の島巡礼) III. Fuji-no-Yama (富士の山) IV. Tennoji (天王寺) V. The Chief City of the province of the Gods (神国の首都—松江) VI. Kitzuki : The most ancient shrine in Japan (杵築—日本最古の神殿) VII. In the cave of the children's ghosts (子供の幽霊窟—潜戸) VIII. At Mionoseki (美保の関) IX. At Hinomisaki (日ノ御崎) X. Yaegaki-Jinja (八重垣神社)
- Insect literature [虫の文学] / Lafcadio Hearn ; translated and annotated by M. Otani. - Tokyo : Hokuseido, 1921. - 515 p. ; 19 cm. - (小泉八雲文集 第4編)
- Contents: 巻頭文 (Mitchell McDonald氏) Foreword (大谷正信) Butterflies (蝶) Mosquitoes (蚊) Ants (蟻) Story of a fly (蠅物語) Fireflies (蛍) Dragon-flies (蜻蛉) Semi (蟬) Insect-Musicians (虫の伶人) Kusahibari (草雲雀) Some poems about insects (昆虫を詠んだ詩)
- Island voyages [島巡り] / Lafcadio Hearn ; translated and annotated by M. Otani. - Tokyo : Hokuseido, 1922. - 439 p. ; 19 cm. - 写真3枚
- Contents: A Midsummer trip to the tropics [熱帯への真夏旅] From Hoki to Oki [伯耆から隠岐へ] 寄贈: 小松原隆二氏, 複本でPerkins 氏寄贈もあり

Japanese strange stories=日本奇談 / Lafcadio Hearn ; 富原芳彰訳注. - 東京 : 研究社, 1957. - 11版. - 168p ; 18cm.

- Contents: Of a promise kept(守られた約束) Of a promise broken(破られた約束) Before the supreme court(最高法廷にて) The story of Kwashin koji(果心居士話) The story of Umetsu Chubei(梅津忠兵衛の話) The story of Kogi the Priest(興義和尚の話) On a bridge(橋の上で) Drifting(漂流) Otokichi's Daruma(乙吉のだるま) In a Japanese Hospital(日本の病院にて) [巻末18ページにわたって、「Lafcadio Hearnについて—その略歴と人」がくわしく美しく記されている]

怪談 / 萩田庄五郎訳. - 東京 : 開文堂, 1953. - viii, 212p ; 17cm. 重版

怪談 / 萩原恭平訳注. - 東京 : 研究社, 1953. - viii, 212p ; 18cm. 6版

Kidan=奇談 / Lafcadio Hearn ; 田代三千穂訳注. - 東京 : 南雲堂, 1958改訂4版 [改訂初版, 1955] - iv, 167p. ; 18cm (Mermaid library)

- Contents: はしがき。The futon of Tottori(鳥取の布団) The reconciliation(和解) The corpse-rider(屍に乗る者) The gratitude of the Samebito(鮫人の感謝) Of a promise kept(守られた約束) Of a promise broken(破られた約束) The story of Kwashin Koji(果心居士の話) The story of Umetsu Chubei(梅津忠兵衛の話) The story of Kogi the Priest(興義和尚の話) In a cup of tea(茶碗の中) Common sense(常識)

小泉八雲選集 第1篇 / 萩原恭平、刈谷新三郎訳註. - 東京 : 嶺光社・開隆堂, 1926. - 71p ; 20cm.

合綴: Selections from Lafcadio Hearn. Vol. 1 / translations and notes K. Hagiwara and S. Kariya. - Tokyo : Reikosha & Kairyudo, 1926. - ii, 73 p. ; 20 cm.

内容: ・雪女 ・鴛鴦 ・乳母桜 ・はかりごと ・青柳物語 ・むじな ・葬られた秘密 ・茶碗の中 ・判断 ・屍に乗る人 ・約束を守る ・約束を破る

小泉八雲選集 第2篇 / 萩原恭平、刈谷新三郎訳註 - 東京 : 嶺光社・開隆堂, 1927. - 62, 4p ; 19cm

合綴: Selections from Lafcadio Hearn. Vol. 2/ with translations and notes by K. Hagiwara and S. Kariya. Tokyo : Reikosha & Kariyudo, 1927.

- 内容: ・耳なし芳一の話 ・お貞の話 ・食人鬼 ・十六桜 ・梅津忠兵衛の話
- 和解 ・衝立の女 ・鮫人の恩返し

Kwaidan / by Lafcadio Hearn ; with translation and notes by K. Yamamoto. [上巻] - Tokyo : Shunyodo [春陽堂], 1931. - vi, 170 p. ; 20 cm.

- Contents: Oshidori. The reconciliation. Of a promise kept. Mujina. A dead secret. The story of Aoyagi. Diplomacy. Yuki-Onnna. The story of O-Tei. 物語の出所(おしどり、菊花の約、葬られた秘密)

Kwaidan / by Lafcadio Hearn ; with translation and notes by K. Yamamoto. [下巻] - Tokyo : Shunyodo [春陽堂], 1931. - 159 p. ; 20 cm.

- Contents: The story of Mimi-Nashi Hoichi. The return of the dead. Jikininki. A matter of fact. Jiu-Roku-Zakura. Ubazakura. The story of the futon of Tottori. The screen-maiden. 物語の出所(耳なし芳一の話、姥桜、衝立の女)

Kwaidan / [by] Lafcadio Hearn ; translated and annotated by M. Tanaka. - Tokyo : Taiundo [泰文堂], 1957. - 3rd edition. [first edition:1955] - 145 p. ; 19 cm.

- Contents: Mujina. Ubazakura. Riki-Baka. Diplomacy. Yuki-Onna. Jikininki. The Dream of Akinosuke. The story of Mimi-Nashi-Hoichi. The story of O-Tei

Kwaidan=怪談 / Lafcadio Hearn ; 成田成寿訳注. - Tokyo : Taishukan Press [大修館出版], 1957. - 185 p. ; 18 cm. - (大修館・ドルフィンブックス2) (大修館英文訳注叢書)

- Contents: 解説. The story of Mimi-Nashi-Hoichi(耳なし芳一のはなし) Roku-

(70) [H 0 9 2. 2]
ro-kubi (ろくろ首) Yuki-Onna (雪女) The story of Aoyagi (青柳物語)
The dream of Akinosuke (安芸之助の夢) Diplomacy (計略) Index.

Kwaidan / by Lafcadio Hearn ; introduction, translation & notes by Ichiro Nishizaki. - Tokyo : Inouye English Correspondence School, 1950. 95 p. ; 19 cm. (Students' English classics series) 寄贈: 西崎一郎氏
・ Contents: Introduction. The story of Mimi-Nashi-Hoichi. Mujina. Yuki-Onna notes.

Kwaidan / by Lafcadio Hearn ; 荻原恭平訳注. -Tokyo : Kenkyuusha, 1932 10th edition. - [first edition 1930] xi, 239 p. ; 17 cm. (研究社英文訳注叢書)
・ Contents: はしがき: Lafcadio Hearn <ひととなり 著者目録 怪談について 付記> Kwaidan (怪談) <The story of Mimi-Nashi-Hoichi (耳なし芳一の話) Oshidori (鴛鴦) The story of O-Tei (お貞の話) Ubazakura (乳母桜) Diplomacy (はかりごと) Of a mirror and a bell (鏡と鐘) Jikininki (食人鬼) Mujina (むじな) Rokurokubi (轆轤首) A dead secret (葬られた秘密) Yuki-Onna (雪をんな) Story of Aoyagi (青柳物語) Jiu-Roku-Zakura (十六桜) The dream of Akinosuke (安芸之助の夢) Riki-Baka (力馬鹿) Hi-mawari (向日葵) Horai (蓬莱)
補注 [タイトルページ欠落]

Letters from Tokyo [東京からの手紙] / Lafcadio Hearn ; translated and annotated by T. Ochiai. Tokyo : Hokuseido, 1920. 345 p. ; 19 cm. 写真6枚 (小泉八雲文集 第3編)

・ Contents: Foreword [はしがき] (落合貞三郎) To Mr. Ellwood Hendrick (エルウッド・ヘンドリック氏へ) To S. Nishida (西田千太郎氏へ) To Mr. Ellwood Hendrick (エルウッド・ヘンドリック氏へ) To Masanobu Otani (大谷正信へ) To Mr. Mitchell McDonald (ミチエル・マクドナルド氏へ) Professor Foxwell (フォックスエル教授へ) To Mrs. Wetmore (エトモア夫人へ) To Masanobu Otani (大谷正信へ) To Yasukochi (安河内氏へ) To Dr. and Mrs. Yr. イルエ・ヒルン氏夫妻へ) To Mrs. Wetmore (エトモア夫人へ) To Mr. Hirn (ヒルン夫人へ) To Mrs. Wetmore (エトモア夫人へ) To Mr. Tanabe (田部氏へ) To Ernest Crosby (アーネスト、ネット、クロスビー氏へ) To Mr. H. Fujisaki (藤崎八三郎氏へ) A letter from Japan (日本からの手紙)
寄贈: 小松原隆二氏

The romance of the Milky Way=七夕物語 / Lafcadio Hearn 著 ; 花園兼定訳注. - 東京 : 外国研究社, 1933. 207p ; 20cm

・ Contents: My first day in the Orient. The romance of the Milky Way. Kusa-Hibari A question in the Zen texts.

論文と随筆 (ハーン) / 緑川伝作訳注. - 東京 : 開文堂, 1956. - xvi, 204p ; 17cm. 重版

Sea literature [海の文学] / Lafcadio Hearn : translated and annotated by M. Otani. - Tokyo : Hokuseido, 1921. 395 p. ; 19 cm. (小泉八雲文集 第6編) 「ルイジアナ州東南部略図」 (折り込み挿図) 写真等あり

・ Contents: The legend of L' Ile Derniere [ラスト島物語] Out of the sea's strenght [海の力] The shadow of the tide [潮の影] At Yaizu (焼津にて) Beside the sea [海のほとりにて] Drifting [漂流]

Sketches and stories [ハーン短篇集] / by Lafcadio Hearn ; with translation and notes by K. Hanazono. 東京 : 英文世界名著全集刊行会, 1928. - 209 p. ; 19 cm. - (英文世界名著全集 第5巻)

・ Contents: My first day in the Orient. The romance of the Milky Way. Kusa-Hibari. A question in the Zen texts.

七夕物語 / ラフカヂオ・ヘルン著 ; 花園兼定訳注. - 東京 : 外語研究社 - 8, 210p ; 22cm.

H 0 9 2 . 3 ドイツ語訳 (German translations)

Buddha : Geschichten und Studien aus Japan / Lafcadio Hearn ; Übersetzung aus dem Englischen von Berta Franzos. - Frankfurt am Main : Rutten & Loening, 1922. - 268 S. ; 19 cm. (Lafcadio Hearns Werke)

Izumo : Blicke in das Unbekannte Japan / Lafcadio Hearn ; Übersetzung aus dem Englischen von Berta Franzos. - Frankfurt am Main : Rutten & Loening, 1922. - 314 S. ; 19 cm. (Lafcadio Hearns Werke)

Das Japanbuch / eine Auswahl aus den Werken von Lafcadio Hearn ; [Berechtigte Übertragung aus dem Englischen von Berta Franzos.] - Frankfurt a. M. : Rutten & Loening, 1920. - 310 S. ; 19 cm.
Inhalt. : Lafcadio Hearn von Stefan Zweig. Mein erster Tag in Japan. Jizo. Der Markt der Toten. Bon Odori. Seelen. Shinju. Aus meiner Lehrerzeit. Geister und Kobolde. An der japanischen See. Das japanische Lachein. Auf einer Eisenbahnstation. Die Nonne im Tempel des Amida. Nach dem Kriege. Die Macht des Karma. In der Cholerazeit. Ein erfüllter Wunsch. Kusa-Hibari.

Kokoro / Lafcadio Hearn ; mit Vorwort v. Hugo von Hofmannsthal ; Übersetzung aus dem Englischen v. Berta Franzos. Frankfurt am Main : Rutten & Loening, 1922. 290 S. ; 19 cm. (Lafcadio Hearns Werke)

Kwaidan : Seltsame Geschichten und Studien aus Japan / Lafcadio Hearn ; Übersetzung aus dem Englischen von Berta Franzos. Frankfurt am Main : Rutten & Loening, 1921. - 198 S. ; 19 cm. - (Lafcadio Hearns Werke)

Kwaidan / Lafcadio Hearn ; erläutert von K. Fuchita. - Tokyo ; Daisan Shobo Verlag, 1955. - 73 S. ; 19 cm.
Inhalt. : Die Geschichte von Mimi-nashi Hoichi. Die Geschichte Aoyagis. Der Akinosukes. Horai.

Kyushu : Traume und Studien aus dem Neue Japan / Lafcadio Hearn ; Übersetzung aus dem Englischen v. Bert Franzos. - Frankfurt am Main : Rutten & Loening 1922. - 208 S. ; 19 cm. (Lafcadio Hearns Werke)

Lafcadio Hearn Kleine Schriften / ausgewählt von B. Matsuoka. - Tokyo : Shobundo, 1932. - 149 s. ; 19 cm.
Inhalt. : Der Geist der japanischen Zivilisation. Aus einem Reisetagebuch. Die Idee der Praexistenz. Gedanken über Ahnenkult. Kusa-Hibari.

Lotos : Blicke in das unbekanntes Japan / Lafcadio Hearn ; Übersetzung aus dem Englischen von Berta Franzos. - Frankfurt am Main : Rutten & Loening, 1922

H 0 9 2 . 9 その他

Historias Misteriosa : yakumo koizumi-lafcadio hearn. - Kamakura : Luna Books, 1996. - 131 p. ; 21cm. [小泉八雲・怪談(スペイン語版) - 発売 : 東京 : 現代企画室

H 0 9 3 ヘルンの評伝

(Biographies and criticismus Hearn)

H 0 9 3. 1 評伝 (Biographies and criticismus Hearn)

愛の詩人小泉八雲 / 山本和夫著. - 東京 : 偕成社, 1957. - 301p ; 19cm.
- (偉人物語文庫 ; 65). - 初版1952 [偉人文庫の第65番で、児童の読物]

愛と孤独と漂泊と : 小泉八雲 / 田代三千稔著. - 東京 : 月曜書房, 1958
- 356p ; 19cm. - (伝記選書).

内容: 序 1. ギリシャとアイルランド 2. 大叔母の家庭 3. 学校生活 4. シンシ
ナティ時代 5. ニュー・オーリアンズ時代 6. 西インド=フィラデルフィア=
ニュー・ヨーク 7. 日本への旅 8. 松江時代 9. 熊本時代 10. 神戸時代 11. 東
京時代(1) 12. 東京時代(2) 年表

An ape of Gods : the art and thought of Lafcadio Hearn / by Beongcheon Yu.

- Detroit : Wayne State University, c1964. - p. xiv, 346 p. ; 24 cm.

- Contents:- Preface. I. Art. 1. "Only the first step" : translation as an art. 2. "My long-cherished dream" : a stylistic experiment. 3. Many-colored Ghosts : the twice-told tales. 4. Romances born and unborn : Hearn's ambition in fiction. 5. "To be a literary Columbus" : Hearn's literary exioticism.
- II. Criticism. 6. "To strive after truth" : a critic in the making. 7. Literary study : The Japanese lectures. 8. Aesthetics of organic memory : literature as an art of emotional expression. 9. Toward world literature
- III. Philosophy. 10. "Give us all Japan" 11. "The eternal feminine" : beyond Western passionism. 12. "The coming race" : beyond Western individualism. 13. "A prefect sphere" : an integration of the world. 14. "The tree of life" : an intergration of man. Conclusion. Appendix: a sketch --Hearn's life and works. Notes. A selected bibliography. References. Index

The art of Lafcadio Hearn. - [n. p.] : University of Virginia Library, 1983.

- [20 p.] ; 14 × 21 cm.

Contents: Lafcadio Hearn / Guy Davenport. On collecting Lafcadio Hearn / Clifton Waller Barrett.

Blue ghost : a study of Lafcadio Hearn / Jean Temple. - New York : Cape, c1931

- 228 p. ; 21 cm.

Contents: Luminous Spectre. The Sacred Mountain.

Books and habits : from the lectures of Lafcadio Hearn / selected and edited with an introduction by John Erskine. - New York : Dodd, 1921. - xv, 328 p. ; 20 cm.

Contents: Introduction. • The insuperable difficulty. • On live in English poetry Note upon the shortest forms of English poetry. • Some foreign poems on Japanese subjects. • The bible in English literature. • The "Havamal" Beyond man. • The new ethics. Some poems about insects. • Some French poems about insetcs. • Note on the influence of finnish poetry in English literature. • The most beautiful romance of the middle ages. • "Ionica" Old Greek fragments.

文芸研究小泉八雲号. - 東京 : 文芸研究社, 1928. - 88p ; 22cm. 寄贈: 西崎一

郎氏 [88ページのうち49ページを八雲についての文章が占めている]

内容: ハーンと我々(市河三喜) 小泉八雲に就いてのノート(佐藤春夫) 怪異の文学(落合貞三郎) 小泉八雲先生歿後の事ども(田部隆次) 懐出の一つ(大谷繞石) 小泉八雲先生の追憶(藤崎八三郎) ヘルン先生のこと(田村豊八) ハーンと臭覚(ティンカー著、森脇達夫訳) 八雲先生の松江時代(奈良井金市)

松江に於ける八雲会と事業計画（根岸磐井） ヘルン旧居を訪れて（幡谷正雄）

文豪小泉八雲号、－ 松江：水郷社、1925。－ 116p；23cm。－（水郷 第4輯）。
内容：〔巻頭言〕野口米次郎 小泉八雲先生（内山敬二郎） ハーンと臭覚と（ただ・さいし） 蓬萊への思慕（並河亮） 文学と生活及性格の関係（ラフカディオ・ハーン 村田修造訳） 冗語漫集 他

文明史家ラフカディオ・ハーン：詩的想像力と日本文化論研究 / 原田熙史著。
－ 東京：千城書房、1980。－ 206,7p；22cm
内容：第1部：ハーンの生涯と作品。第2部：ハーンと日本文化。年表。

父小泉八雲 / 小泉一雄著。－ 東京：小山書店、1950。－ 258p（口絵写真1枚）；19cm。
内容：父小泉八雲（諸言） 1. 矛盾 2. 虚偽 3. 伝記 4. アススタンツ 5. 昔人 6. 実情
[Kazuo Koizumi's "My father Koizumi Yakumo"]

父「八雲」を憶ふ / 小泉一雄著。－ 東京：警醒社、1931。－ 584p；19cm。
内容：・父「八雲」を憶ふ－を書くに先立ちて ・東京へ来る前 ・東京牛込 ・私への授業 ・海へ ・散歩 ・東京大久保

Concerning Lafcadio Hearn / by George M. Gould ; with a bibliography by Laura Stedman. - London : T. Fisher Unwin , 1908. xiv,303 p. ; 23 cm.
Contents: Heredity and the early life. In person. The period of the Gruesome. The New Orleans time. At Martinique. "Getting a soul" "In ghostly Japan" As a poet. The poet of myopia. Hearn's style. Summary and conclusion. Appreciations and epitomes. Bibliography.

エドワード・トマス ラフカディオ・ハーン：翻訳と研究 / 飯田操訳著。
－ 東京：文化評論社、1990.8。－ 179p；19cm。－ ISBN:4830223243
内容：翻訳 エドワード・トマス著 ラフカディオ・ハーン 原注、訳注 ハーン作品の日本語訳対照表 作品研究 批評家としてのエドワード・トマス、エドワード・トマスとラフカディオ・ハーン、あとがき

Exotisme spirituel et esthetique dans la vie et l'oeuvre de Lafcadio Hearn, 1850-1904 / Bernadette Lemoine. - Paris : Universite de Poitiers ; Didier Erudition, c1988. - 370 p. ; 25 cm. - (Etudes de litteratureetrangere et comparee ; n. 81). - ISBN:2864601168

Father and I : memories of Lafcadio Hearn / by Kazuo Koizumi. - Boston : Houghton, 1935. - viii,208 p. ; 22 cm.
Contents: Introduction. I. Before coming to Tokyo. II. At Ushiogome. III. At the sea. IV. My lessons. V. Walks. VI. At Okubo.

風狂の詩人小泉八雲 / 濱川博著。－ 東京：恒文社、1979。－ 273p；20cm。
内容；- 第1章：風狂の詩人－小泉八雲 <・批判と讃歌と ・ギリシャから日本まで 独眼に映じた明治の日本 ・卓越した無二の教師 ・文体と文学論の一断片 日本文学とのかかわり ・神道と仏教観 ・人間像の片影とセツ夫人 ・絶筆「神国日本」にそそいだ情熱 >
・第2章：八雲をめぐる素描 <・八雲とモライスとリーチ ・遺児たちと弟ジェームス ・未知の女の手紙と遺髪塔 ・小泉八雲の浪漫性 ・小泉清の日記 ・八雲と松江 > 小泉八雲年譜

A guidebook for travellers in the province of the Gods : from Hearn's writings / 島根大学教育学部英語教育研究室英文学セミナー編。－ 松江：八雲会、1990。－ 48 p. ; 26 cm.
Contents: Preface / Kenji Zenimoto. The Chief city of the province of Gods sunsets upon Lake Shinji. Matuse Castle. Oshiroyama-no-inari. Hearn's former residence. Fumon-in and other temples. Dakesan. Yaegaki-Jinja. Nakaumi and Daikonjima. Mihonoseki. Kaka. Hinomisaki. Izumo shrine. Miko-

-kagura. Lake Shinji and Ichibata Temple. Oki. Sayonara. Kabana and Inasanohama. By the Japanese sea. Matsue revisited.

Hearn in my heart : the strange life and even stranger tales of Lafcadio Hearn / James Kirkup. ; annotated by Yasuo Deguchi. - Tokyo : Kirihara shoten, 1985. 2刷 - 99 p. ; 19 cm.

Contents: Introduction: My Lafcadio. 1. Setsuko Koizumi remembers Lafcadio Hearn. 2. Koizumi Yakumo and I --James Kirkup speaks. 3. Setuko Koizumi remembers Koizumi Yakumo. 4. Two ghostly tales by Lafcadio Hearn. -- 1) Two story of Miminashi-Hoichi. 2) Yuki-Onna. -- 5. Hearn's last years in Japan : Setsuko Koizumi remembers. 6. Visiting the graves in Zoshigaya cemetery. 7. Last memories of Lafcadio by Setsuko Koizumi. 8. Return to Matsue. Notes

へるん百話 : 小泉八雲先生こぼれ話集 / 梶谷泰之著. - 4版. - 松江 : 八雲会, 1990. - 113p. ; 30cm. 初版1987

内容: 「へるん百話」(1~26ページ) 1.モズク 2.ワレット豆と結婚 3.そば 4.酒 5.盃 6-7.酒と餅と女 8.高山は望夫山 9.小豆磨き橋 10.煙のにおい 11.米つきの音 12.昼寝 13-14.石碑 15.漬け物 16.「君と別れて」 17.迫害事件 18.ピチャピチャとお勝 19.ブランデー 20.一日のブランク 21-22.甘いもの 23.精養軒 24.前借 25.教育勅語 26.陰陽越え 27.月俸三百五十円 28.名月の宴 29.防がれた?急死 30.アアアアア----- 31.大社昇殿 32.ラフカディオ・ハーン大学 33.皇太子様の爆笑 34.ヘルンとクラークの孫 35.妃殿下と鶯 36.怨念 37.出雲節 38.家紋 39.樹木(1)山桜 40.樹木(2)連理の玉椿 41.樹木(3)てがしわ 42.誕生祝い 43.年賀状 44.龍蛇さん 45.ソーランエンヤ 46.養神保寿の碑 47.狐の嫁入り 49.月照寺の今昔 49.取材のマナー 50-53.知られぬ足跡 54-56.お正月 57.豪雪の賜り物 58.鹿 59.スルメ 60.七不思議 61.節分 62.裸まいり 63.米つき 64.春 65.米騒動 66.名妓舞 67.知事令嬢 68.ツグミのみそ漬 69-71.人力車 72.やぶの天王さん 73.旅館曳野 74.船長と勲三等 75.ソーランエンヤ 76.怒った手紙 77.アイルランド 78.ウップルイ 79-80.横木富三郎 81.蛙とびこむ 82.学校給食 83.博覧会 84-85.大津事件 86-87.畠山勇子 88.午前八時に出発 89-91.モラエス 92-93.想像力 94-96.匂い 97.フロレンツ 98-99.ひるね 101.蛭

- ・「続へるん百話」(27~51ページ) 1.聖書 2.忘れ物 3.水の縁 4.ヘルンの横顔 5-7.嫌いなこと 8.「ビッキ」とは 9.帰化手続き 10.ゴンボ・ゼーブス 11.富士登山 12.巖のこと 13.学生の訪問 14.羽根つきと手毬歌 15.年賀状 16.熊本の正月 17.散歩と鉄アレイ 18.弓と水泳 19-21.大谷のこと 22-24.タットル教師 25-26.ひな人形 27.ギリシアの発音 28-31.記者の目 32.おもちゃ 33-34.巡礼 35.作品の日付 36-38.力士 39.北高の肖像写真 40.コマイつり 41.マクドナルド本 42.パリの神学校 43.ジャパン谷地変 44.日本着の日時 45.汽船アビシニア号 46-48.新古美術品展 49.青と黒 50-51.お別れ訪問 52.貴船神社 53.温泉 54.白子地藏 55-56.玉造温泉 57.勲章の英訳 58.事件記者 59-61.ツツガムシ病 62.ワレット豆 63.ララ電 64-65.矢田デン女 66.セツとデン 67.泥棒事件 68-69.就職口 70.水難事故 71-72.警官 73.頭取生之松菊介 74-75.アビシニア号 76.絶筆の前後 77.富士の山 78.法華経 79.裸 80.ロンドンブリッジ 81-82.桂月とヘルン 83.師弟愛 84.酒の爛 85-86.最後の訪問 87.万歳帽子 88.清水寺の秘宝 89.日本刀 90.ディクテーション 91.書体 92.万年筆 93.四十曲り峠 94.真名井神社 95.牧心斎 96-97.漱石の場合 98-100.漱石から
- ・索引 「へるん百話」(アルファベット順、項目別) (53頁~56頁) 「続ヘルン百話」(アルファベット順) (57頁~59頁)
- ・付録 話題関連英文(原作)抜粋 (61頁~113頁)

ヘルン今昔 / 八雲会編. - 東京 : 恒文社, 1993.3. - 286p ; 19cm.
- ISBN:4770407343

[1990年(平成2年)8月でハーンが来日して百年を迎えたが、八雲会ではハーンが松江に滞在した期間に合わせて、1990年9月より1991年11月までの間、「山陰中央新報」に連載を行った「へるん今昔」に加筆・訂正を行って発行された。]

内容: はじめに(銭本健二)

- I. ヘルンの足跡<ハーンは松江のどこに着いたのか(本田秀夫) 松江への旅(銭本健二) 探索と観察(野津直久) 汽船と人力車(池橋達雄) 下市盆おどり考(梶谷泰之) 最初の杵築訪問(中和夫) 熊本への旅(藤原己代子) 伯耆への旅(横山幸子) 隠岐(日野雅之)>
- II. 郷土探訪<湖と川と堀(野津直久) 松江大橋(田村のり子) さいさい節(福間直子) スポーツ好き(和田正則) 散歩・遠足(田村のり子) 大谷正信と雅楽(福間直子) 川津と持田(梶谷泰之) 清水寺(越野勝)>
- III. 日本の社会と文化<万国博覧会(銭本健二) 天皇誕生日(梶谷泰之) 社会観・宗教観(池橋達雄) 帝国議会開院(銭本健二) 大雪と洪水(銭本健二) 大津事件(藤森きぬえ) 山口松五郎(銭本健二)>
- IV. 民俗への関心<玩具と生活(小泉凡) 目のカミ様(小泉凡) 家庭の祭壇(本田秀夫) 正月風景(小泉凡) 厄除けと人形(小泉凡) 稻荷渡しと楽山神社祭り(銭本健二) 佐太神社参拝(銭本健二) 井上円了との出会い(小泉凡) 玉造温泉(銭本健二) 勝見温泉と精霊舟(横山幸子) 八重垣神社・神魂神社(銭本健二)>
- V. ヘルン身边<国際結婚(長谷川洋二) 西田千太郎旧居(桑垣琴子) 契約と遺言(銭本健二) ハーンと梅謙次郎(後藤昴) チェンバレンと柳田国男(小泉凡) ハーンかヘルンか(藤原治) ヘルンさん言葉(藤原治) セツ夫人と松江言葉(藤原治) 家紋(後藤昴) フェラーズ将軍(小泉時) 食卓(銭本健二) 伝染病(小泉凡) 海水浴(池橋達雄)>
- VI. 教師生活<中学での授業(池橋達雄) 横木富三郎(梶谷泰之) 天成の教師(仙北谷見一) 愛弟子(日野雅之) 講演「西インド雑話」(池橋達雄)>
- VII. ヘルンの名残<富山大学のヘルン文庫(三原弘) 恋人への手紙(銭本健二) 小泉八雲旧居(野津直久) ヘルン地蔵(藤原治) 長岡家地蔵由来(藤原治) 仁多町の二つの碑(藤原己代子) なおみ忌と八雲(野津良夫) 小泉八雲記念館(銭本健二)> あとがき(野津直久)

- ヘルンを訪ねる : 山陰路・八雲文学散策 / 池野誠編 ; 監修: 梶谷泰之・森亮. - 2版. - 島根出版文化協会, 1968.5. - 220p ; 22cm. - 初版1967.9.
- 八雲の隠岐旅行の折り込み図あり
内容: 巻頭詩<頌(宮田隆) 加賀の潜戸(森亮)> 序文<ハーン文学の再認識(斎藤強) - 監修者のことば(梶谷泰之) はじめに(池野誠)> 写真集<山陰路と小泉八雲(文・池野誠 写真: 関勲)>
- ・エッセイ<名誉市民の適格者(木幡吹月) ヘルンの写真(漢東種一郎) 松江とハーン(市河三喜) ラフカディオと旧居(根岸啓二) 小泉八雲先生の片貌(西村房太郎) ハーンへの慕情(渡部沢見) ヘルンゆかりの地を訪ねて: 卒業旅行のおもいで(染村絢子) ヘルンのこと(勝部顕三郎) 旧八雲会から新八雲会までの四十年間のこと(和田正則) ヘルン先生と私: 北堀時代の思い出話(鈴木勝子) ラフカディオ・ハーンの記事から(梶谷泰之) 八雲先生の観た斐川路(岡義重) 松江で感じたこと: ハーン文学のあとをたずねて(アレン・E・タットル) ヘルンと富山: 松江市を訪れて(平岡伴一) セグロウミヘビの話(上田常一) ヘルンと郷土玩具(奥原国雄) 日本精神の理解者: ハーン六十年祭によせて(池原誠)>
 - ・研究<ハーンが遺したもの: 英語で書いた明治文学(森亮) ハーン的美保関紀行(森亮) 小泉家のうちとそと: 「父小泉八雲」をめぐる(森亮) 八雲と隠岐(阿部勝) 教育者としての小泉八雲(飯塚喬一) ヘルンと出雲大社(中和夫) 八雲の文学と人生観: 松江時代を中心に(池野誠) 出雲路に八雲の足跡を訪ねる(梶谷泰之) ハーンの日本文書簡: 書生Akiの思い出(梶谷泰之) ハーン資料と考証五つ(梶谷泰之)>
 - ・資料<資料(1) 西田千太郎日記の抜粋 資料(2) 小泉家戸籍謄本写(松江市役所扱いの部分) 資料(3) ハーン雇入に関する資料 資料(4) 松江時代に於ける小泉八雲月日別行動暦 資料(5) 採譜(1) 「知られぬ日本の面影」より (1) 盆踊り歌の中の音頭 (2) 中海の漁船の船歌 (3) 幼稚園児の遊び歌 (4) 売り声 採譜(2) 隠岐の子守歌>
- 小泉八雲略伝 執筆者紹介 監修者、編集者紹介 ハーンの参考文献

ヘルンとセツの玉手箱 : 小泉八雲とその妻の物語 / 藤森きぬえ作 ; 梅川和男絵. - 東京 : 文溪堂, 1992. - 143p ; 22cm.

ヘルンと大社 / 島洋之助、梶谷延、白築祐久、中鶴千代、宇家たみ著. - 大社

(76)

[H093. 1]

- ： 大社ヘルン会, 1954.9. - 32p ; 19cm, 寄贈：平岡伴一氏
内容：ヘルンの初詣（島洋之助） ヘルンと杵築（梶谷延） ヘルンさんの想出（中鶴千代） 小泉一家の思い出（白築祐久） ヘルン先生（宇家たみ）
・写真と版画—小泉八雲 明治二十三年頃の出雲大社 ヘルンの室 版画父の偲影（小泉一雄作）

ヘルンと私 / 小泉時著. — 東京 : 恒文社, 1990.9. - 254p ; 20cm.
内容：I. マツティニーク<ペレー火山のスケッチ マルティニークとオレンジ
ハーンとカメラ マルティニークの古写真> II. 祖母セツの思い出<東京・西大
久保 大久保村 大宮・三橋村 チンチン電車 祖母、叔母の来訪 信州山田温泉
セツの死 野口米次郎とセツ> III. 身内のこと<一雄の執筆 土に馴染んで 巖
叔父のこと 清叔父のこと 寿々子叔母のこと> IV. 折々の記<花札 ガールフ
レンド 中村丘陵画伯 荏原中延のころ 表具師佐藤正三 ムジナの草稿と渋団扇
八雲の偽書 「日本—一つの試論」校正綴りと坪内逍遙の書簡> V. 奇しき縁<
横浜グランドホテル ミッチェル・マクドナルド フェラーズ将軍 若きハーンの
フランス留学 ヘルン文庫再訪 "The boy's own annual" レフカダを訪ねて>
VI. <ヘルンと手紙<セツから焼津の八雲に宛てた手紙> あとがき

比較文学研究 第60号 / 東大比較文学会編輯. — 東京 : 恒文社 (発売),
1991. - 231, 64p ; 21cm. - ISBN:4770407408
内容：特輯 ラフカディオ・ハーン [ハーンに関する論文のみ抜粋]
語る女の系譜：「おしゃべりは耳の栄養」—クレオールのことざわ (Gombo Zhebes
1885) (西成彦) 異文化への眼差し：ウィリアム・ジョウンズ、ウジェーヌ・ビ
ュルヌフ、ラフカディオ・ハーンをつなぐもの (竹内信夫)
Hearn as a critic (George Hughes) Hearn's Kwaidan and Soseki's ghost
stories (Hirakawa Sukehiro) "Hearn as a critic" and other artickles (Geo-
rge Hughes) Storytelling women in Lafcadio Hearn's life (Nishi Masahiko)
Une lignee du regard interculturel —W. Jones, E. Burnouf et L. Hearn —
(Takeuchi Nobuo)
・〔書評〕ジョゼフ・ド・スメ著・／西村六郎訳 「ラフカディオ・ハーン」：その
人と作品 恒文社 1990 (小川敏栄) Denise Brahimi: Theophile et
Judith vont en Orient (Paris: La Boite a Documents, 1990) (金沢公子)
・小泉八雲来日百年記念フェスティバル印象記 (平川節子) マルティニークの旅
(牧野陽子)

炎と光の人小泉八雲 / 西野影四郎著. 東京 : 講談社, 1979. - 265p ; 20cm
内容：「影四郎の名」(梶谷泰之)
・炎< 地獄 極楽 ふたたび地獄 頌春譜 弁財天 欲情と自制と 女神をさらば
四十にして惑わず 捏造の書「一異端者への手紙」 好色本「女性の芳香」は八雲
の著作でない >
・光< 四次元世界からの囁き 「雷のように働かねばなりません」 コスモポリタン
の目 東西文化のかけ橋 「ああ、病気のため！」
・小泉八雲系図 小泉八雲年表 あとがき

評伝ラフカディオ・ハーン / E・スティーヴンソン著 ; 遠田勝訳 東京 :
恒文社, 1984.8 441p ; 20cm ISBN:4770405677
内容：序 第1章：登場 第2章：パトリック・ラフカディオ 第3章：センセイ
ショナル・レポーター 第4章：センセイショナル・レポーター 第5章：下層の生
活とロマンティズム 第6章：南へ逃亡 第7章：光の中の窮乏 第8章：クレ
オールの町 第9章：ニューオーリーズの継息子 第10章：グランド島の浜辺
第11章：激化 第12章：ペレー山の麓にて 第13章：一つ眼巨人の街 第14章：横
浜—日本入門 第15章：神々の国 第16章：北堀 第17章：丘の辺の仏陀 第18章
：神戸管見 第19章：瘤寺の杉木立 第20章：最終講義
解説 (遠田勝)

The idyl : my personal reminiscences of Lafcadio Hearn / by Leona Queyrouze
Barel. - Tokyo : Hokuseido Press, 1933. [xii], 66 p. ; 28 cm. With 17
photographic reproductions of Hearn's letters. 250部限定版中のNo. 5, 22

「稲むらの火」の教方に就いて / [小泉八雲原著] ; 今村明恒著 [出版地

不明〕：震災予防評議会，1940再版 16p；21cm 寄贈：今村明恒氏
 [ハーンのGleanings in Buddha-Fieldsの中のA living god(生ける神)を材料として当時の小学校の読本に「稲むらの火」という文が出ていた。この内容を地震学者としての著者が資料的に歴史的に明らかにしたもの]

出雲に於ける小泉八雲 / 根岸磐井著。 - 松江 : 八雲会, 1931改訂増補版。
 - 129p ; 19cm 初版1930
 内容：はしがき 最初の住居の頃(到着-不思議な因縁-ヘルンという呼び方の起こり-その頃の松江-松江の第一印象-日常生活-結婚-帰化) 次の住居の頃(大山の遠望 寒い松江の冬) 最後の住居の頃(因縁-居間-煙草-南庭-書齋-蓮池-動植物への愛-再度の来松-フロレンツ博士の来訪-お別れ) 旅行と遊覧(市内遊覧-湖上の夕日-一畑葉師-八重垣神社-出雲大社-水泳と海の趣味-加賀の潜戸-日御碕-美保関-隠岐国) 断篇(先生の偉大なる面影-著述-著述と夫人-交際嫌い-松江中学校-県教育会の大講演-教師としての先生-西田千太郎氏-易断-先生の日本語-愛読書-大学講壇上の先生-辞任-逝去-風貌 -遺品-遺稿)

Japanese letters / edited with an introduction by Elizabeth Bisland. Kyoto : Rinsen Book, 1988. 388 p. ; 23 cm. (The writings of Lafcadio Hearn, large-paper edition, in sixteen vol. ; v. 16) Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922.
 ISBN:4653017085 タイトルページに切り貼り絵(Suzuko and Midori(wife of Iwano) in the garden of Tokyo house) あり。

人生の教師ラフカディオ・ハーン / 仙北谷晃一著。 - 東京 : 恒文社, 1996. ix, 373p ; 20cm. - ISBN:477040865X
 内容：I 天成の教師：「想像力の価値」の訴え 「クレオ」とラフカディオ・ハーン 人生の教師ラフカディオ・ハーン II. 日本の心 古い日本への挽歌 「神国日本」を読む ハーンと音楽 III. 詩人ラフカディオ・ハーン：「赤裸の詩」を中心に 一国者の芸術：「ナイチンゲール」と「草雲雀」 夫婦の絆を断つものは：「破られた約束」と「因果話」など 身代わりの人：「阿弥陀寺の比丘尼」と「草雲雀」など 「むじな」小論 樹木との共苦共生：ラフカディオ・ハーンの一面 ハーンの「牡丹燈籠：その変奏の軌跡」 ハーンと浦島伝説：「夏の日の夢」の幻 IV. 荷風とハーン 食血餓鬼：茂吉とハーン 竹山道雄の文化遍歴：ハーンとの関連を中心に 森銑三・萩原恭平訳「十六桜」に寄せて V. レフカダ行 ハーンと鉄道 来日百年に寄せて 来日百年記念フェスティバルをふり返って ハーンをめぐる二つの批判について あとがき

「怪談」をかいたイギリス人小泉八雲 / 木暮正夫・文 ; 岩淵慶造・絵。 - 東京 : 岩崎書店, 1992.4. 103p ; 26cm (伝記・人間にまなぼう 3)
 ISBN:426505403X ハーン関連写真3ページあり。

近代文学研究叢書 第7巻 / 昭和女子大学近代文学研究室編。 - 東京 : 昭和女子大学光葉会, 1957. - 514p ; 19cm. [前出 2ページ]
 [283ページから514ページにかけて、1. 生涯 2. 著作年表 3. 業績 4. 資料年表 5. 遺族、教え子、遺跡及び文庫にわたって詳細をきわめている]

小泉八雲 / 田部隆次著。 - 東京 : 早稲田大学出版部, 1914. - p.32, 6, 492p. ; 21cm. 初版 寄贈：田部隆次氏 [Tanabe's life of Hearn]

小泉八雲 / 田部隆次著。 - 東京 : 第一書房, 1930. - 510, 10p (口絵とさし入れ写真合わせて8枚) ; 20cm. - (小泉八雲全集 別冊) 寄贈：西崎一郎氏 [学生版全集の別冊、大正3年本の第2版にあたる]

小泉八雲 / 田部隆次著。 - 東京 : 北星堂, 1950. - 470p (口絵写真1枚、さし入れ写真5枚) ; 19cm. 寄贈：田部隆次氏
 [ハーンの生誕百年記念出版。大正3年本の第3版にあたる] [The new edition of Tanabe's life of Hearn]

小泉八雲 / 田部隆次著。 - 東京 : 北星堂, 1951. - 改訂再版。 - 470p (口

(78)

[H093. 1]

絵写真1枚、さし入れ写真5枚) ; 19cm. 寄贈 : 中土順平氏
[昭和25年版の改訂再版である]

小泉八雲 / 岡戸武平著. - 東京 : 大日本雄弁会講談社, 1943. - 242p ;
19cm. - (日本小説新書)
内容 : 第1章 : 松江行 第2章 : お傭い教師 第3章 : 出雲の神 第4章湖畔抒情
第5章 : 日本の家 第6章 : さらば出雲。 覚書

小泉八雲 : 映画のためのひとつの案 / 八木保太郎、棚田吾郎〔著〕. - [松
江] : [松江市], [1959]. - 11p ; 24cm. - 謄写刷
[死後五十年祭にあたり松江で作られた映画シナリオの案]

小泉八雲 : 回想と研究 / 平川祐弘編. - 東京 : 講談社, 1992.
- 445p ; 15cm. - (講談社学術文庫) ISBN:4061590375
内容 : 小泉八雲の今日的意味 (平川祐弘)
第1部 : 回想 < 思い出の記 (小泉節子) 人間ラフカディオ・ハーン (雨森信成・
仙北谷晃一訳) 小泉八雲先生の追憶 (藤崎八三郎) ラフカディオ・ハーン (エ
ルウッド・ヘンドリック・銭本健二訳) ハーンと過ごした束の間の日々 (エドワ
ード・クラーク・遠田勝訳) ラフカディオ・ハーン (ホーフマンタール・平川祐
弘訳) > 第2部 : 研究 < 祭りの踊り : ロティ・ハーン・柳田国男 / 平川祐弘訳
「雪女」 : 世紀末「宿命の女」の変容 (牧野陽子) 「茶碗の中」 : 水鏡の中の顔
(牧野陽子) ハーン・転生・死女の恋 : 怪談における「時間」について (池田美
紀子) 人生の教師ラフカディオ・ハーン (仙北谷晃一) 小泉八雲 : 神道発見の
旅 (遠田勝) 八雲研究・回顧と展望 : 昭和54年以降について (銭本健二) >
講談社学術文庫「小泉八雲名作選集」出展一覧
「小泉八雲回想と研究」訳者・著者一覧

小泉八雲 : 思い出の記 父「八雲」を憶う / 小泉節子、小泉一雄著. - 東京
: 恒文社, 1976. - 580p ; 21cm. - ハーン関係の写真4ページあり
内容 : 思い出の記 (小泉節子) 父「八雲」を憶う (小泉一雄) < 本書を書くに先
立ちて 東京へ来る前 東京牛込 私への授業 海へ 散歩 東京大久保 >
祖母のこと、父のこと (小泉時)

小泉八雲 : 思い出の記 父「八雲」を憶う / 小泉節子、小泉一雄著. - 東京
: 恒文社, 1994. - 580p ; 21cm. 第2版5刷 ハーン関係の写真4ページあり
内容 : 思い出の記 (小泉節子) 父「八雲」を憶う (小泉一雄) < 本書を書くに先
立ちて 東京へ来る前 東京牛込 私への授業 海へ 散歩 東京大久保 >
祖母のこと、父のこと (小泉時)

小泉八雲 : 西洋脱出の夢 / 平川祐弘著. - 東京 : 新潮社, 1981.
- 327p ; 20cm.
・内容 : 第1章 : 小泉八雲の心の眼 < ニューオーリーonzの朝 松江の朝 家庭のな
い人、ある人、「ヘルンさん言葉」 小泉八雲の家庭生活 ハーンとロティ お
地蔵様の微笑 恩に感ずる心 イヴトーの寄宿学校 君子の「無言の愛」 「コノ
魚泣ク」 >
・第2章 : 子供を捨てた父 : ハーンの民話と漱石の「夢十夜」 < 二人の英文学教授
出雲の民話 「夢十夜」の第三夜 共通性と異質性 親の因果が子に報ゆ 子供を
捨てたラフカディオの父 子供を捨てた金之助の父 あとがき >
・第3章 : 泉の乙女 : ハーン再話文学の秘密 < 帰って来た宣教師 ポリネシア神話
「異文学遺文」 民俗の伝承から文学の短篇へ 約束を守った女 夏の夜の夢 ハ
ーンの文学論講義 神話に感じる心 >
・第4章 : 稲むらの火 < 日本国民の文化遺産 稲むらの火 ジャーナリズムへの関心
詩と真実 広村堤防 恩に感ずる心 激越なる感動 >
・第5章 : 一異端児の霊の世界 : 来日以前と以後のハーン < ミシシッピー河の昼 ミ
シシッピー河の夜 波止場の牧歌 異人種に共感する心 God, Ghostそしてghosts
の自己の内なる恐怖 語り手と聴き手の主観 雪女 俗信への興味 最後のヴード
ウー教徒 蟹売りの言葉 護国の霊 万物流転 「停車場にて」 詩と真実 父と
子の関係 境界を越えること >
・第6章 : 草ひばりの歌 : ハーンにおける民俗学と文字 < 日本行の計画書 民俗学と
文学の間 ひどい宿、幸ふかい宿 民俗探訪の旅 旧世代を尊ぶ気持 人柱の噂

人形の墓 達磨の眼、ハーンの眼 チェンバレン、柳田、ハーン 暗々裡の感化
 一身二生 草ひばり> あとがき

小泉八雲 : 西洋脱出の夢 / 平川祐弘著. - 東京 : 講談社, 1994.
 429p ; 15cm. - (講談社学術文庫) ISBN:4061591436
 内容: 1991年に発行された新潮社版と内容が同じ。ただし、講談社学術文庫
 版へあとがき 解説(牧野陽子)がある。

小泉八雲 : その日本学 / 高木大幹著. - 東京 : リプロポート, 1986.
 246, iiip ; 19cm. - ISBN:485702428. - (シリーズ・民間日本学者 1)
 内容: 1. 序章「小泉八雲の日本学」への道程 2. アメリカ時代のハーンと日本
 3. ハーンと神道・仏教・儒教 4. 家と祖先崇拜 5. ハーンと日本の民俗
 6. ハーンと日本の美学 年譜 あとがき 人名索引

小泉八雲傳 / 野口米次郎著. - 京都 : 富書店, 1946. - 83p ; 19cm. - (ブ
 ックレット 第2編)

小泉八雲記念号(水郷 第4輯) ⇨ 文豪小泉八雲号

小泉八雲記念号 / 帝国文学会編輯. - 東京 : 大日本図書, 1904.
 - 155p(192p) ; 22cm. - 帝国文学 第10巻第11 小泉八雲号より
 内容: 誕生より来朝までの小泉八雲先生(内ヶ崎作三郎) 松江時代の先生(大谷
 正信) 熊本時代のヘルン氏(黒板勝美) 留任(小山内薫) 小泉八雲を悼む(
 斉藤信策) 先師ハーン先生を憶う(厨川辰夫) 個人としての小泉八雲先生(大
 谷正信) 蓬萊(皆川正禧) 俳句紹介者としての小泉八雲氏(沼波武夫) ハー
 ン氏の「日本婦人の名」について(若月保治) 先生の著書改題(大谷正信) ヘ
 ルン氏の書簡(チャムブレ) 以上ハーンに関係する論文のみ
 挿画: 小泉八雲氏書簡 原稿手跡

小泉八雲・松江=Lafcadio Hearn in Matsue / 松江観光協会小泉八雲記念事業実行
 委員会編 ; 監修・原作英文対訳: 梶谷泰之. - 松江 : 松江観光協会,
 1984. - 2刷. - 70p ; 26cm. - 初刷1984.8 寄贈: 小泉凡氏
 内容: はじめに 監修のことば Glimpsesより 小泉八雲の生涯 小泉八雲遺品集
 小泉家より贈られた記念の写真 小泉八雲旧居 小泉八雲記念館 小泉八雲ゆかり
 の地マップ 小泉八雲ゆかりの地第一の宿・高田屋 第二の宿・織腹家借家 松江
 大橋 源助柱と大庭の音する石 島根県尋常中学校及び県庁 小泉八雲旧居とその
 付近 松江城 城山稲荷神社 月照寺 大雄寺 普門院 児守稲荷神社 客神社
 天神橋界隈 龍昌寺 洞光寺 栗原そば屋と宍道湖の夕日 嵩山 八重垣神社 神
 魂神社 六所. 真名井・武内神社 風土記の丘センター 小泉八雲文学碑
 八雲ゆかりの地サイクリングコース・マップ 松江時代に於ける小泉八雲の行動暦
 小泉八雲ゆかりの地と引用文献一覧 あとがき

小泉八雲の文学 / 森亮著. - 東京 : 恒文社, 1980. - 188p ; 22cm.
 内容: はしがき I. ハーン文学の方法と成果 II. ラフカディオ・ハーンの再話
 文学 III. ラフカディオ・ハーンと日本の心 IV. ハーン再考: 晩年の随筆と観想
 文 V. 回顧と展望: 日本におけるハーン研究<1. 文学者としてのハーン 2.
 ハーンの日本研究 3. 批評家・文学教授 4. 人物像とメンタリティ 5. 足跡
 調査と文学紀行 6. 影響と評価> VI. ハーン雑考<1. ハーン研究と顕彰
 2. 二つの日本: ハーンが残した課題 3. 「英語教師の日記から」 4. 玉手箱
 の煙のゆくえ: 「夏の日の夢」の一つの読み方 5. 八雲の怪談・奇談 6. 英語
 で書いた日本文学 7. ハーンの読者 8. 対訳「小泉八雲文集」 9. 小泉家の
 うちとそと: 「父小泉八雲」書評 10. 青い目と黒い目の友情: 「へるん先生生
 活記」を読む 11. ヘルンという呼び名 VII. 小泉八雲小伝
 初出一覧 作品名索引

小泉八雲の世界 / 速川和男著. - 東京 : 笠間書院, 1978. - 308p ; 19cm.
 - (笠間選書 ; 94) ハーンのイラスト・写真7ページあり。寄贈: 速川和男氏
 内容: 小泉八雲と佐藤春夫 小泉八雲と小川未明 小泉八雲と夏目漱石 小泉八雲
 と野口米次郎 小泉八雲と永井荷風 小泉八雲と岡倉天心 小泉八雲と坪内逍遙
 小泉八雲と徳富蘆花 小泉八雲と今東光 小泉八雲: 八十・直哉・有明・朔太郎

(80)

[H093.1

小泉八雲の怪奇物管見：「怪談」の初訳に触れて 想像力と教育：教壇での小泉八雲 小泉八雲の家庭教育 小泉八雲と大津事件：ラモエスに触れて 小泉八雲と横浜：マクドナルドを中心に 小泉八雲：松江との訣別 小泉八雲：熊本から神戸へ 小泉八雲と神戸 小泉八雲と神様の村 小泉八雲の文献 年譜 あとがき

小泉八雲の日本 / 池田雅之著. - 東京 第三文明社, 1990. - 263p ; 18cm.

- (レグルス文庫 ; 190) ISBN:447601190X

内容：激情家ハーン：序にかえて I. 日本との出会い<ハーンの来日 ハーンと松江 ハーンの二つの日本：松江と熊本 ハーンとチェンバレン ハーンと漱石：外国体験の明暗> II. 赤裸々の詩：英語教師ハーン<ハーンの日本発見：熊本時代を中心に魂の教師ハーン：教育における(想像力)とは何か 赤裸々の詩：文学者としてハーン ハーンの世界観：チェンバレンと比較しつつ> III. ハーン文学の生命<永遠の女性：ハーンの再話文学世界 妖精たちの棲むところ：ハーンの「怪談」の世界 ハーンの顔なしお化け 文学の初心：「人生と文学」について 作家の英文学講義：「文学の解釈」について 再話文学の生命：創作と講義の関連性> あとがき 小泉八雲略年譜

小泉八雲の妻 / 長谷川洋二著. - 松江 : 今井書店, 1991. - 三刷追補版. 279p ; 19cm. - 初版1988

内容：はしがき ・1：セツの生い立ち (1)誕生 (2)幼年時代 (3)幼年時代 (4)親達。祖父達の物語 ・2：松江土族の没落とセツ (1)明治の大変革と土族 (2)松江土族の没落の概要 (3)稲垣家の零落 (4)セツの娘時代 (5)生活の窮迫 ・3：ハーンとセツの結婚の実情 (1)実情解明の試み (2)出会いの後の半年 ・4：結婚後の生活 (1)へるん言葉と怪談 (2)養父母達・子供達・女中達 (3)ハーンの晩年と最期 (4)ハーンの死の五年後と「思い出の記」 (5)ハーンの死の十七年後と子供達の人生 (6)セツの死 ・5：資料的説明と考証 (1)小泉家について (2)山陰道鎮撫使事件について (3)養家の稲垣家につて (4)養家の稲垣家について (4)松江藩の稲垣家について (5)ヴァレットとセツについて (6)セツの小学校入学について (7)小泉家と乙部家の関係について (8)塩見増右衛門の諫死について (9)セツの母チエの結婚について (10)松江土族没落の実態について (11)稲垣家の零落について (12)杵築の高浜家との関係について (13)セツの小学上等教科への進学断念について (14)小泉湊の機織会社について (15)千家家と小泉家の関係について (16)セツの教養について (17)不遇時代のセツの家族について (18)セツの親戚達について (19)実母チエの零落について 資料及び参考文献一覧 ・小泉セツ関係系図 ・小泉八雲略年譜 ・付録 セツの「英語覚え書帳」

小泉八雲の横顔 ⇨ うがけい・ん

小泉八雲の横顔 / 高田力著

小泉八雲入門 / 平井呈一著. - 東京 : 古川書房, 1976. - 185p ; 19cm.

内容：八雲と日本(その1) ・八雲と日本(その2) ・八雲と近代文明 ・八雲と仏教思想 ・八雲と異国趣味 ・八雲と民俗学 ・八雲と怪談 ・八雲と再話文学 ・八雲の小説 ・八雲と俳諧 ・八雲と翻訳文学 ・著書解題 ・年譜 ・あとがき

小泉八雲新考 / 丸山学著. - 東京 : 北星堂書店, 1936. - 238p ; 20cm.

- 寄贈：北星堂書店殿

内容：序 第1章：熊本時代の作品と其素材< 熊本着任-"Household Shrine"と"The diary"-Glimpsesの成立-"Stone Buddha"-紀行文その他-"Out of the East"の成-其他の作品 > 第2章：熊本時代の私生活< 手取本町時代-身辺の人々-熊本の正月-春の旅行-転居の理由-堀端の家-文学的精進-父となる-動揺の中に-熊本を去る > 第3章：五高に於けるヘルン< 第一印象-"九州学生"-五高の同僚-ヘルンの五高 > 第4章：「停車場にて」など< 新聞記事-素材と作品-ヘルンの創作態度 > 第5章：ヘルン踏査< 松江-因縁断-熊本の旧居-五高-焼津-富山 >

附録第1：参考文献一覧 附録第2：未発表のヘルン書簡

挿絵目次：ヘルンと藤崎八三郎氏 手取本町の旧居 当時の熊本市略図 堀端旧居間取図 堀端旧居間取図 ヘルン書簡の封皮 ヘルン書簡

[「中土北星堂蔵書」の印あり。第5章「ヘルン踏査」の中に著者の富山ヘルン文庫訪問記がある]

- 小泉八雲新考 / 丸山学著. - 東京 : 講談社, 1966. - 264p ; 15cm.
 - (講談社学術文庫) 監修: 木下順二. - ISBN:4061592556
 内容は上記図書に同じ
- 小泉八雲と遺品. - 松江 : 小泉八雲記念館, 1954. - 16p ; 22cm.
 内容: 小泉八雲先生 記念館 小泉八雲先生遺品 図書大要
 [第1ページに「明治24年2月松江藩士の娘小泉節子嬢と結婚された」とあって
 ハーンの結婚時期について24年2月説をとっている。この本には同記念館にある
 ハーン文献の大要をあげてあるが、その書物の数は約496冊]
- 小泉八雲とカミガミの世界 / 平川祐弘著. - 東京 : 文芸春秋, 1988.
 - 310p ; 20cm. - ISBN:4163422102
 内容: まえがき ・第1章: 小泉八雲とカミガミの世界 ・第2章: 小泉八雲と母
 性への回帰 ・第3章: 日本の女とアメリカの女 ・第4章: ハーンのロンドン体
 験 ・第5章: ハーンとケーブルの奇妙な関係 ・第6章: 文学と国際世論 ・第
 7章: ハーンの「祖国への回帰」 ・付録「孟沂の話」 ・あとがき
- 小泉八雲と松江 : 異色の文人に関する一論考 / 池野誠著. - 松江 : 島根
 出版文化協会, 1972. - 2版. - 220p ; 19cm. - 初版1970
 内容: まえがき 日本の心のふるさとを求めて 島根県知事と契約書の締結 山陰
 路への旅 富田旅館に投宿す 島根県訪常中学校と西田千太郎教頭 第1回目の大
 社訪問 松江市民と大いに交わる 出雲の民芸品に興味を示す 教育を大いに論ず
 教育勅語の発布 進歩的教師として 一畑薬師に参詣す きびしい冬の日々 小泉
 節子との結婚 風土記の丘めぐり 同盟欠席事件 市民の非難をよそに部落訪問す
 宍道湖の夕日 大津事件と露国皇皇帝への見舞い文 籠手田知事との送別 日本の
 怪談研究への出発 よき妻、よき助手 お化け博士井上円了と語る 日本民俗への
 愛着 武家屋敷における生活 日本女性への讚美 フロレンツ教授の来訪 出雲大
 社を再訪す 伯耆に旅行す 美保関に遊ぶ 加賀の潜戸への探訪 隠岐紀行のこと
 熊本第五高等学校への転勤決まる 中学校と師範学校の送別会 松江よ、さような
 ら 松江時代を中心とするハーンの年月譜 ハーンの参考文献
- 小泉八雲と日本 : ヘルン生誕百年記念講演会 / 田部隆次述. - 富山 : 富
 山大学, 1950. - 16p ; 25cm. - 謄写刷. - 昭和25年6月27日午後1時半
 より富山大学文理学部講堂(当時は蓮町)で行われたヘルン生誕百年祭記念講演の
 速記録 主催富山大学附属図書館
- 小泉八雲と日本の心 / 高木大幹著. - 東京 : 古川書房, 1978.4. - ii, 210p
 ; 20cm. (古川叢書) ハードカバー ハーンの作品に関連する写真4ページあり
 内容: 序(栢井迪夫) 序章: 松江にハーンの旧居をたずねて 1. 感覚表現: 耳な
 し芳一の場合 2. 盆踊 3. ハーンと日本の微笑 4. ハーンと明治 5. 日本の庭 6.
 色彩 7. 地蔵 8. ハーンと西洋文明 9. 短歌 10. 無常(1) 11. 無常(2) 12. 無常
 (3) 書評――(1) 平井呈一著「小泉八雲入門」(古川書房) (2) 齊藤正二訳「<
 完訳>怪談」(講談社) あとがき
- 小泉八雲と日本の心 / 高木大幹著. - 東京 : 古川書房, 1981. - ii, 210p ;
 19cm. (古川叢書) ISBN:4892360112 ハーンの作品に関連する写真4ページあり
 内容は上記図書と同じ
- 小泉八雲とヨーロッパ / 西野影四郎著. - 東京 : 古川書房, 1978. - 248p ;
 20cm. 写真16p 折り込み付録: 八雲系図、年表 寄贈: 西野影四郎氏
 内容: はしがき 東京-ロンドン-ダブリン アイルランド(ダブリン、モーツ)
 イングランド・北ウェールズ(ロンドン、レッドヒル、カーナボン、バンゴア、ダ
 ラム) フランス(パリー、ルアン、イヴトー、ル・アーブル) ギリシア(ラフ
 カス、コルフ、キシラ島) 帰国 参考文献 あとがき
- 旧師小泉八雲先生を語る(座談会) / 松江中学校編. - 松江 : 松江中学校英
 語科, 1940. - 2, 118p (写真3枚) ; 19cm. 寄贈: 松江中学校殿
- Λ Ε Ψ Κ Α Δ Ι Ο Σ Χ Ε Ρ Ν = Lafkadio Hearn. - Α Θ Η Ν Α Ι :
 Ε Λ Λ Η Ν Ο Ι Α Π - Ω Ν Ι Κ Ο Σ Σ Ψ Α Λ Ο Γ Ο Σ Α Θ Η Ν Ω Ν , 1934.

(82) [H093. 1]
- 32 p. ; 22 c m. - (ΕΛΛΗΝΟΙΑΠΩΝΙΚΟΣ ΣΨΛΛΟΓΟΣ
ΑΘΗΝΩΝ=Societe Greco • Japonaise D'Athenes ; 3) [アテネ日本ギリシ
ャ協会] 発行の「ラフカディオ・ハーン特集会報」全ページ複写物

Lafcadio Hearn / by Edward Thomas. - London : Constable ; Boston : Houghton,
1912. - 90 p. ; 17 cm. 寄贈:パーキンズ氏

Lafcadio Hearn / by Elizabeth Stevenson. - New York : Macmillan , 1961.
- xvi, 362 p. ; 24 cm. 寄贈:アメリカ文化センター
Contents: Acknowledgments. Preface. Chap.1:Entrance. Chap.2:Patrick
Lafcadio. Chap. 3:Cincinnati Streets. Chap. 4: Sensational reporter.
Chap.5: Low life and romanticism. Chap. 6: Flight southward. Chap. 7:
Poverty in the sunshine. Chap. 8: A Creole city. Chap. 9: Stepson to New
Orleans. Chap.10: The beach at Grand Isle. Chap. 11: Intensifications.
Chap. 12: Underneath Pelee. Chap. 13: Cyclopean Streets. Chap. 14: Yoko-
hama: Anteroom to Japan. Chap. 15: Land of the Gods. Chap. 16: Kitabori
Chap.17: Buddha on a Hillside. Chap.18: A Kobe view. Chap.19: The dedars
of Kobudera. Chap.20: Final address. Notes. Selective bibliography. Index.

Lafcadio Hearn / by Ellwood Hendrick. - New York : New York Public Library,
1929. - 10 p. ; 26 cm. - (Reprinted from the Bulletin of the New York
Public Library, December 1929) 2 copies 所蔵

Lafcadio Hearn. Tome 1 / Marcel Robert. - Tokyo : Hokuseido Press, 1950.
- iv, 184 p. ; 26 cm. - (Publications de la Maison Franco-Japonaise. Ser. B
Tome 3) 寄贈:富山県
Contents: Tome 1: Europe-Amerique. Note bibliographique. Introduction.
Pt. 1: Europe. Ch. 1: L'enfant. Ch. 2: Ushaw et les dieux. Ch. 3: Londres
Pt. 2: Amerique. Ch. 1: Le Nord. Ch. 2: La Louisiane et Chita. Ch. 3: Deux
ans dans les Indes Occidentales Francaises. Ch. 4: Les derniers jours
D'occident. Index.

Lafcadio Hearn. Tome 2 / Marcel Robert. - Tokyo : Hokuseido Press, 1951.
- 122 p. ; 26 cm. - (Publications de la Maison Franco-Japonaise. Ser. B
; Tome 4) 寄贈:富山県
Contents: Tome 2: Asie. Pt. 1: Matsue-Kumamoto-Kobe.

Lafcadio Hearn / by Nina H. Kennard ; containing some letters from Lafcadio
Hearn to his half-sister Mrs. Atkinson. - London : Eveleigh Nash, 1911.
- xii, 13-403 p. ; 24 cm. 1912発行もあり。
Contents: Preface. I. Early years. II. Boyhood. III. Tramore. IV. Ushaw.
V. London. VI. Cincinnati. VII. Vagabondage. VIII. Memphis. IX. New
Orleans. X. Letters and personal characteristics. XII. The lady of a myriad
souls. XIII. Religion and science. XIV. West Indies. XV. Japan. XVI.
Matsue. XVII. Marriage. XVIII. The Katchiu-Yashiki. XIX. Kumamoto. XX.
Out of the East. XXI. Kobe. XXII. Tokyo. XXIII. Ushigome. XXIV. Nishi
Okubo. XXV. His death. XXVI. His funera. XXVII. Visit of Japan. XXVIII.
Second visit to Nishi Okubo. Conclusion. Index.

Lafcadio Hearn / by Nina H. Kennard ; containing some letters from Lafcadio
Hearn to his Half-Sister Mrs. Atkinson. - New York : D. Appleton, 1912.
- x, 356 p. ; 21 cm.
Contents: Chap. 1: Early years. Chap. 2: Boyhood. Chap. 3: Tramore. Chap.
4: Ushaw. Chap. 5: London. Chap. 6: Cincinnati. Chap. 7: Vagabondage.
Chap. 8: Memphis. Chap. 9: New Orleans. Chap. 10: Wider Horizons. Chap.11:
Letters and personal characteristics. Chap. 12: The Lady of a Myriad Soult
Chap. 13: Religion and science. Chap. 14: West Indies. Chap. 15: Japan.
Chap. 16: Matsue. Chap. 17: Marriage. Chap. 18: The Katchiu-Yashiki. Chap.
19: Kumamoto. Chap. 20: Out of the East. Chap. 21: Kobe. Chap. 22: Tokyo.
Chap. 23: Ushigome. Chap. 24:Nishi Okubo. Chap. 25: His death. Chap. 26:

His funeral. Chap. 27: Visit to Japan. Chap. 28: Second visit to Nishi Okubo. Conclusion. Index.

Lafcadio Hearn / Vera McWilliams. - Boston : Houghton, 1946.
- ix, 464 p. ; 22cm.

Lafcadio Hearn - his sun was dark / Dennis Rose. - Lewes, Sussex : Book Guild, 1987. - 213 p. ; 23 cm. ISBN:0863322123
Contents: Chap. 1: Encounter and deception. Chap. 2: Escape to Ionian happiness. Chap. 3: The Levkadian leap. Chap. 4: Indiscretion. Chap. 5: Pregnancy and solitude. Chap. 6: West Indian pleasures. Chap. 7: Irish miseries. Chap. 8: Lafcadio's other mother. Chap. 9: Growing up in Dublin. Chap. 10: Hard schooling and a taste of Lonely London. Chap. 11: Arrival in America. Chap. 12: From Cincinnati struggle to spellbound New Orleans. Chap. 13: Steamy heat in Martinique. Chap. 14: Japanese Wedlock Chap. 15: A lasting reputation. Epilogue.

ラフカディオ・ハーン : 漂泊の魂 / 工藤美代子著. - 東京 : 日本放送出版協会, 1955. - 219p ; 16cm. - (NHKライブラリー ; 5)
- ISBN:4140840056
内容: 第1章 旅人ハーン 第2章 孤独な生い立ち 第3章 シンシナティの名物記者 第4章 最初の結婚 第5章 ニューオーリンズ:南への憧れ 第6章 新聞記者から作家へ 第7章 マルチニーク:記録と幻想 第8章 日本への道 第9章 松江:セツとの出会い 第10章 ハーンから小泉八雲へ 第11章 エリザベス・ビスランドへの思い 第12章 小さな神々の国:「日本」再考 第13章 ハーンの中の東洋と西洋

ラフカディオ・ハーン : 異文化体験の果てに / 牧野陽子著. - 東京 : 中央公論社, 1992. - 220p ; 18cm. - (中公新書 : 1056). - ISBN:4121010566
寄贈: 平田純氏
内容: 第1章 ハーン来日: 西洋に背を向けた人 < 1. 横浜到着-紀行文作家の来日、傷痕、新聞記者として 2. 昔日の白昼夢-アジアの新興日本、存在の欠落感、背反のアイディティティ 3. 日本の印象-富士山、エキゾチスムの描写法、"小さな"妖精の国日本と煙管、チェンバレンとの出会い > 第2章 松江のハーン: 理想の異郷 < 1. 「神々の国」出雲-山越えの旅、夢幻の世界の踊り、富田屋旅館 神々の国の首都、出雲大社訪問 2. 英語教師として-籠手伝安定知事、島根県尋常中学校、天長節 3. 城下町の生活-湖畔、日本風の生活、西田千太郎、神々に国の冬、小泉セツ、北堀の武家屋敷、旅、チェンバレンへの協力 4. 子供のイメージ-子供の眼差し、子供のイメージ、最初の怪談話、地蔵、母の幻影、アイルランドの風景、「さようなら」 > 第3章 熊本から神戸へ: 振り子の時代 < 1. 熊本の日々-神棚のない町、熊本第五高等学校、熱狂からの覚醒、「振り子」の時代、十一人の小さな世界、断層 2 日本文化論-転居、チェンバレンとの往復書簡、手紙という場のサロン、居留地の議論、煙管、「物」と「心」の民俗学、「常識としての礼節」と万人共通の心の宗教 3. 日本への帰化-子供の誕生、国際結婚の帰結 神戸へ、挫折、条約改正問題、「振り子」のゆくえ、二つの文化観 4. 神々しき小世界-「夏の日々の夢」、「赤い婚礼」、聖なる幼年期、「阿弥陀寺の比丘尼」、神々しき小世界、時間の遡及と幻想の異世界 > 第4章: 晩年の結実: 微粒子の世界像 < 1. 英文学教授-東京へ、授業、ケーベル先生、人生はあまりに短し、想念の世界 2. 「過去」を問う思索-瘤寺、怪談、死者との遭遇、「有機的記憶」、透明な世界 3. 微粒子の世界像-虫の文学、マイクロコスモスの神秘、焼津、夜の海、微粒子のダイナミズム 4. 最後の夢-チェンバレンとの訣別、祖国回帰の出来ない人々、美しいシャボン玉、小さな瓶、小さな寺 > 資料 主要参考文献 あとがき

Lafcadio Hearn(Koizumi Yakumo) : his life, work and Irish background / Sean G. Ronan, Toki Koizumi. - Tokyo : Ireland Japan Association, 1991. - 72 p. ; 21cm. - ISBN:095186520X

ラフカディオ・ハーン : 虚像と実像 / 大田雄三著. - 東京 : 岩波書店, 1994. - ii, 218p ; 18cm. - (岩波新書 336). - ISBN:4004303362
内容: はじめに 第1章 来日前のハーン < 1. 異文化体験の文学者 2. 人種主

(84) [H093.1]

義的傾向 3. 日本への興味> 第2章 ハーンと明治日本< 1. 遅れてきたお雇
い外国人 2. 英語と英文学への懐疑 3. 熱狂から幻滅へ 4. ハーンと創世記
第二章第二十四節 5. 忠君愛国的ナショナリズムの解釈> 第3章 ハーンの文
学< 1. ハーンの「日本」の虚構性について 2. 「勇子、一つの追憶」 3. 日
本の話の再話をめぐって> 終章 日本人のハーン発見 あとがき

ラフカディオ・ハーン : その人と作品 / ジョゼフ・ド・スメ著 ; 西村六郎
訳. - 東京 : 恒文社, 1990. - 236p ; 20cm. - ISBN:4770407319
内容: ラフカディオ・ハーン: その人と作品 原注 訳者あとがき

Lafcadio Hearn in Japan / by Yone Noguchi ; with Mrs. Lafcadio Hearn's Remini-
scences ; frontispiece by Shoshu Saito, with sketches by Genjiro Kataoka
and Mr. Hearn himself. - London : Elkin Mathews ; Yokohama : Kelly &
Walsh, 1910. - 177 p. ; 19 cm. 帙入り
Contents: Preface. A Japanese appreciation of Lafcadio Hearn. A Japanese
defence of Lafcadio Hearn. Mrs. Lafcadio Hearn's reminiscences. Lafcadio
Hearn at Yaizu. Mr. Otani as Hearn's literary assistant. Lafcadio Hearn
in lecture room.
Appendix: On romantic and classic literature in relation to style.
Farewell address.

Lafcadio Hearn in Japan / by Yone Noguchi ; with Mrs. Lafcadio Hearn's remini-
scences ; frontispiece and many sketches by Mr. Hearn himself. - Tokyo :
Ryokuyosha, 1910. - 177 p. ; 19 cm. - 寄贈: 尾島庄太郎氏
内容は上記図書に同じ

Lafcadio Hearn in Japan / by Yone Noguchi ; with the Japanese foot-notes.
- Tokyo : ARS' Book Shop, 1923. - vii, 177 p. ; 20 cm. - (The works of
Yone Noguchi= 野口米次郎叢書 : 第2編) 寄贈: 西崎一郎氏
[内容は上記緑葉社版と同じ内容であるが、巻末26ページにわたる日本文の「小
泉八雲」論が加えられている]

ラフカディオ・ハーン研究 : 愛と女性と / 白神栄子著. - 東京 : 旺史社
1993. - 213p ; 19cm. - ISBN:4871190536
内容: 序文(テツマロ・ハヤシ) 第1章: ハーンの創作の秘密をさぐる< 怪談の
美 創作論 文学と夢 作品と原話との比較> 第2章: ハーンと女性< 女性観
作品の中の女性たち その1 作品の中の女性たち その2> 第3章: ハーンと
愛< 愛の意識 倫理観 愛と死> 注 あとがき ラフカディオ・ハーン主要文献
索引

ラフカディオ・ハーンの耳 / 西成彦著. - 東京 : 岩波書店, 1993.
- ii, 205p ; 20cm. - (Image collection / 精神史発掘). - ISBN:4000037226
内容: 序・文字の王国 大黒舞: ゴム靴・トマト・南京虫 ざわめく本妙寺: 馬
頭観音 門づけ体験: 蚊 ハーメルンの笛吹き 耳なし芳一考 注

ラフカディオ・ハーンの日本観 : その正しい理解への試み / 築島謙三著.
- 東京 : 勁草書房, 1964. 11. - 404, 7p ; 20cm.
内容: はしがき 第1部 まえがき 第1章: 外国人の日本観を理解する上に必要
なこと 第2章: 研究の目標 第3章: 「知られぬ日本の面影」をかくまでのハー
ン< 第1節: はじめに 第2節: ハーンの性格 第3節: 怪奇趣味と文明ざらい
第4節: 日本渡来-出雲松江へ- 第5節: 「知られぬ日本の面影」>
第2部 まえがき 第4章: 松江から熊本へ 第5章: 熊本における心況の推移
< 第1節: はじめに 第2節: 明治25年-変化のきざし- 第3節: 明治26年
-自己反省- 第4節: 明治27年-激しい動揺-> 第6章: 当時のハーンの日
本観: チェンバレンとの間の往復書簡に見る 第7章: 日本観の変化に影響した諸
要因< 第1節: はじめに 第2節: 知識人 第3節: 官僚 第4節: 戦争 第5節
: 養子生活 第6節: 結び-熊本滞在の意義> 第8章: 熊本から神戸へ: 視野の
拡大 第9章: ハーンにおける文化の概念: 著書「日本」を完成する基礎条件とし
て 第10章: 神戸から東京へ: 不安と独居と執筆と 第11章: 「日本-一つの
解明-」の考察< 第1節: はじめに 第2節: 各章の考察 第3節: むすび>

第3部 まえがき 第12章：若干の問題<第1節：はじめに 第2節：宗教重視
第3節：知識人の概念 第4節：人間観 第5節：西洋ざらい 第6節：庶民の注
視> 第13章：ハーンとチェンバレン <第1節：はじめに 第2節：チェンバ
レンの日本渡来 第3節：ハーンの直観法とチェンバレンの経験主義 第4節：「
日本事物誌」の初版と第3版との比較、1. 「序説」について 2. 項目「日本人
」について 第5節：ハーンはチェンバレンに影響をあたえたかどうか 第6節：
ハーンにあゆみよったチェンバレン> 第14章：ハーンとスペンサー<第1節：
はじめに 第2節：スペンサーはハーンのをまげたか 第3節：スペンサーの
思想承認 第4節：リポーの心理学への接近 第5節：ハーンの生物主義 第6節：
むすび 第15章：「日本人の変わらない側面」について<第1節：はじめに
第2節：日本人の親切 1. はじめに 2. 知り合いへの親切 3. 西洋人に親切
であるについて 4. 知らない人への不親切 第3節：むすび> 第16章：ハ
ーンの「日本」とベネディクトの「菊と刀」 第1節：はじめに 第2節：両名の
立場 第3節：「菊と刀」の構成と内容 第4節：比較 第5節：両者の影響>
第17章総括 あとがき

ラフカディオ・ハーンの世界観 : その正しい理解への試み / 築島謙三著.
— 増補版 — 東京 : 勁草書房, 1984. - 436p ; 20cm. 初版1964年
内容: 内容は上記に同じだが、下記のもが増補されている。
再版あとがき 増補日本観をめぐるハーンの世界観と晩年 付録

ラフカディオ・ハーンの世界観を追って / 山陰中央新報社編. — 東京 : 恒文社
1987. - 157p ; 24cm. - ISBN:4770406622 2冊所蔵
内容: 本書の刊行に寄せて(梶谷泰之)・松江(脈はくの音、金色の霞の精、籠手
知事に会う、河畔の漁師町、ウグイスかご、松江の大橋、悲しい源助柱、妖霊「出
雲不二」嫁ヶ島伝説、如泥石、竹生島神社、天空の松江城、宍道湖の夕景、お寺
めぐり、荒神さま、高山、小泉八雲旧居、武家屋敷、グッド・バイ、洞光寺の追悼
会)・神社めぐり(城山稲荷神社、八重垣神社(1)(2)、連理のツバキ、縁結の御
雛、八重垣神社(3)、熊野神社、児守稲荷神社)・怪談(龍蛇さま、月照寺の化け
亀、推恵神社、おもちゃ、大雄寺の怪談、普門院の怪談)・出雲大社・日御碕・一
畑薬師(荘原村、杵築の宿、出雲大社(1)、出雲大社本殿、出雲大社(2)、巫女舞
い、稲佐の浜、経島、日御碕神社、一畑薬師)・加賀浦へ(御津浦、新潜戸、旧潜
戸、加賀浦の宿屋)・美保関(美保関(1)(2)(3)(4)(5))・隠岐(境港、関の五本
松、焼火神社、西郷の宿、イカ漁、玉若酢命神社と大杉、後鳥羽上皇の山稜、隠岐
を去る)・伯耆・因幡路(盆踊りの寺、木の根神社、海辺の墓地、中菅の幽霊滝、
浜村温泉の宿) 系図 あとがき(立脇祐十) 参考文献

Lafcadio Hearn's American days / by Edward Larocque Tinker. New York : Dodd,
1925. - xiv, 382 p. ; 23 cm. 2nd edition. First edition c1924.
Contents: Introduction. Principal dates in Hearn's life. I. How He came
to the United States. II. Cincinnati. III. He comes to New Orleans. IV.
Item days. V. The "Hard Times" VI. A library of exotism. VII. Friends
and acquaintances. VIII. On the Times-Democrat. IX. Mrs. Courtney Mothers
Hearn. X. Dr. Matas. XI. Straddling Canal street. XII. Another rung
XIII. West Indies once more. XIV. Dr. Gould and Mr. Hearn. XV. Final days
XVI. Aftermath. XVII. Postscript: Mrs. Baker speaks of Hearn. Index.

Lafcadio Hearn's American days / by Edward Larocque Tinker. London : Bodley
Head, 1925. - xiv, 382 p. ; 23 cm. Copyright, 1924 by Dodd.
Contents:-内容は上記の図書と同じ

ラフカディオ・ハーン再考 : 百年後の熊本から / 熊本大学小泉八雲研究会編.
— 東京 : 恒文社, 1993. - 310p ; 22cm. - ISBN:4770407874 ハーン関係写
真4ページあり 寄贈: 恒文社殿
内容: はしがき(中島最吉) 1. 西洋から来た浦島(西成彦) 2. 「女王の都市」
の新聞記者(小平直行) 3. 文学者ハーンとアメリカ(里美茂美) 4. ハーン
の松江時代(福澤清) 5. 第五高等学校とハーン(今江正知) 6. 秋月胤永: ハ
ーンとの交友をめぐる(金原理) 7. 外国人と熊本(猪飼隆明) 8. ハーン
の熊本時代: 再評価の試み(アラン・ローゼン) 9. マニラ行きの夢(西成彦) 10. 人生
の考察: 「小品」鑑賞(首藤基澄) 11. 身辺雑話の蒐集: 熊本を描いた作品から(

(86)

[H093.1]

中村青史) 12. 怪談：日本の古典文学とのかかわりから (荒木尚) 13. ハーンの神戸・東京時代 (西川盛雄) 付録：ハーンの熊本時代・年譜 ・「東の将来」
・「シンシナーティの道德性」 ・「九州日日新聞」広告欄より (明治24年7月1日付)
・明治26年熊本市街地図 ・編集後記 ・執筆者紹介

ﾌﾌｶﾞｲｵ・ﾊﾙﾝ

小泉八雲 / 田部隆次著. - 東京 : 早稲田大学出版部, 1914. - 491p ; 23cm.
寄贈：西崎一郎氏
内容：故小泉八雲氏の著作につきて (坪内逍遙) 序 (西田幾多郎) 小泉八雲先生を懐う (内ヶ崎策三郎) 自序 (田部隆次)
第1章：ギリシャからアイルランドへ 第2章：大叔母のてもと 第3章：学校生活 第4章：シンシナーティ 第5章：ニュ、オルレアンス及び西印度 第6章：松江 第7章熊本 第8章：神戸 第9章：東京(1) 第10章：東京(2) 第11章：思ひ出の記 (小泉節子) 第12章：交友 第13章：刻苦精励と趣味 第14章：ヘルンの通った道 ヘルンの著書 講義の題目<東京帝国大学に於けるもの 早稲田大学に於けるもの> 講義の翻訳<1. 文学に関する読書について 2. 文章について 3. 文学と与論> 蔵書目録<アメリカ時代のもの 日本時代のもの>

ﾌﾌｶﾞｲｵ・ﾊﾙﾝ

小泉八雲 / 田部隆次著. - 東京 : 北星堂書店, 1950. - 470p ; 19cm.
内容は上記図書に同じ

ﾌﾌｶﾞｲｵ・ﾊﾙﾝ

小泉八雲 / 田部隆次著. - 東京 : 北星堂書店, 1951. - 改訂版.
- 470p ; 19cm. - 初版 1950 寄贈：中土順平氏 2部所蔵
内容は上記図書に同じ

ﾌﾌｶﾞｲｵ・ﾊﾙﾝ

小泉八雲 / 田部隆次著. - 東京 : 北星堂書店, 1985. - 改訂3刷.
- 279p ; 19cm. 第4版 1980発行の3刷
内容は上記図書に同じ

ﾌﾌｶﾞｲｵ・ﾊﾙﾝ

小泉八雲の横顔 / 高田力著. - 東京 : 北星堂書店, 1934. - 216p ; 20cm.
寄贈：馬場久治氏
内容：はしがき 蔵書より観たる八雲 蔵書の余白に記入されたる短評 教師としての八雲 ヘルンと虫 ヘルンと狐 少年のヘルン観 八雲の旧居 八雲先生第二十五回忌追悼文 書簡より観たる八雲 あとがき
・挿絵目次：ヘルン横顔 (口絵) ヘルン文庫書架の一部及びヘルン著「神国日本」の原稿 新渡戸博士よりヘルンに送りし「武士道」の扉書 ヘルン自筆の書込の一部 リーダーの見返に書かれたる自筆教材 芳一雨の夜に琵琶を弾ずる図 長男に与えた自筆の英語教材 ヘルン遺愛の虫籠・櫛・片眼鏡・煙草壺 八雲旧居前面 八雲旧居南庭より見た居間 八雲遺愛の煙管・煙管架台

The life and letters of Lafcadio Hearn ; with illustrations, in two volumes.
vol. 1 / by Elizabeth Bisland. - Boston : Houghton, 1906. - viii, 475 p.
; 22 cm.

Contents: Introductory sketch <Boyhood. The artist's apprenticeship.
The master workman. The last state.> Letters.

Life and letters ; in three volumes. vol. 1 / edited by Elizabeth Bisland.
- Kyoto : Rinsen Book, 1988. - vii, 376 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio Hearn, large paper edition, in sixteen volumes ; v. 13) - Original imprint : Boston and New York : Houghton, 1922. - ISBN:4653017050
タイトルページに切り貼り絵 (Bamboos in Hearn's garden. Tokyo) あり。
Contents: - Introductory sketch. 1. Boyhood. 2. The artist's apprenticeship
3. The master-workman. 4. The last stage. Letters. 1877-1887.

Life and letters : in three volumes. Vol. 2 / edited by Elizabeth Bisland.
- Kyoto : Rinsen Book, 1988. - 388 p. ; 23 cm. - (The writings of Lafcadio

Hearn, large-paper edition, in sixteen vol. : v. 14) - Original imprint:
Boston and New York: Houghton, 1922. - ISBN: 4653017069.

Life and letters and Japanese letters : in three volumes. Vol. 3 / edited by
Elizabeth Bisland. - Kyoto : Rinsen Book, 1988. - 464 p. ; 23 cm. - (The
writings of Lafcadio Hearn, large-paper edition, in sixteen vol. ; v. 15)
- Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. ISBN:4653017077
タイトルページに切り貼り絵(Hearn's desk on the veranda of the Tokyo house)

- Letters, October, 1895-1904. Conclusion.
- Japanese letters. < Preface. Introduction. Letters to Basil Hall

Life and letters of Lafcadio Hearn, including the Japanese letters. I / edited
by Elizabeth Bisland. - Boston : Houghton, 1923. - vii, 376 p. ; 21cm.
- (The Writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; v. 14).

- 口絵 : Bamboos in in Hearn's Garden, Tokyo.

Contents:- Introductory sketch. < I. Boyhood. II. The artist's apprentice-
ship. III. The master-workman. IV. The last state. Letters, 1877-1886.>

Life and letters of Lafcadio Hearn, including the Japanese letters. II / ed.
by Elizabeth Bisland. - Boston : Houghton, 1923. - 388 p. ; 21cm. - (The
writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; v. 14) 口絵 : Hearn's
House from the Garden, Tokyo.

Contents:- Letters of Lafcadio Hearn. 1887-September, 1895.

Life and letters of Lafcadio Hearn, including the Japanese letters. III / ed.
by Elizabeth Bisland. - Boston : Houghton, 1923. - 464 p. ; 21cm. - (The
writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; v. 15) 口絵 : Hearn's
desk on the Veranda of the Tokyo House.

Contents:- Letters, October, 1895-1904. Conclusion. Japanese letters
< Preface. Introduction. Letters to Basil Hall Chamberlain.>

Life and letters of Lafcadio Hearn, including the Japanese letters. IV / ed.
by Elizabeth Bisland. - Boston : Houghton, 1923. - 388 p. ; 21cm. - (The
writings of Lafcadio Hearn, in sixteen volumes ; v. 16) 口絵 : Suzuko and
Midori(Wife of Iwao)in the Garden of the Tokyo House.

Contents:- Letters to Basil Hall Chamberlain. Letters to W. B. Mason.
Letters to Mrs. Hearn. Appendix Nakaed poetry. Index.

The life and letters of Lafcadio Hearn ; with illustrations in two volumes.
vol. 1 / by Elizabeth Bisland. - Boston : Houghton, 1906. - viii, 475 p. ;
22 cm.

Contents: Introductory sketch < Boyhood. The artist's apprenticeship.
The master workman. The last state. > Letters.

The life and letters of Lafcadio Hearn ; with illustrations, in two volumes.
vol. 2 / by Elizabeth Bisland. - Boston : Houghton, 1906. - 554 p. ; 22 cm
Contents: Letters.

The life and letters of Lafcadio Hearn ; with illustrations in two volumes.
vol. 1 / by Elizabeth Bisland. - Boston : Houghton, 1906. - 554 p. ; 23 cm
Electrotyped and printed by H. O. Houghton & Co. Cambridge, Mass.
Contents: Introductory sketch< Boyhood. The artist's apprenticeship.
The master workman. The last stage. > Letters.

The life and letters of Lafcadio Hearn ; with illustrations in two volumes.
vol. 2 / by Elizabeth Bisland. - Cambridge : Riverside Press, 1906.
- 554 p. ; 23 cm.
Electrotyped and printed by H. O. Houghton & Co. Cambridge, Mass.
Contents: Letters.

(88) [H093.1]

マルティーン・ク熱帯紀行 : ラフカディオ・ハーン追想 / 工藤美代子著.
- 東京 : 恒文社, 1995. - 226p ; 20cm. 14 ページにわたるマルティーン・ク島の写真あり ISBN:4770408471
内容: サンファン行きの乗客たち 道端の聖母マリア像 美人族 グランド・アーンズ・ジョゼフィーヌ像 マドラス・チェックのターバン 大噴火の爪あと 親愛なるポロヘ 仮面の世界 ホテルにて フォール・ド・フランス 「龍宮城への夢」の原点として あとがき

松江. - 東京 : 岩波書店, 1953. 4. - 63p ; 19cm. - (岩波写真文庫 ; 91)
内容: 小泉八雲 ・ 神話の国 ・ いにしへの松江 ・ 出雲国府 ・ 松江付近の地形 ・ 宍道湖 ・ 松江城 ・ 城下町松江

松江に於ける八雲の私生活 / 桑原羊次郎著. - 松江 : 山陰新報社, 1953.
- 3版. - 46p ; 19cm. - (島根叢書 ; 11). - 初版1950.6 寄贈: 平岡伴一氏
内容: 序文 (エモリー・L・タアリ) 自序 緒言 八雲の私生活 < 富田旅館時代 京店と北堀時代 住居 衣服調度 食事と嗜好品 習癖 交友 雑事 小泉八雲略伝
[ハーン生誕百年祭を期して昭和25年に初版刊行された。今までハーン結婚は一般に明治23年12月(1890)に行われたとしていたが、本書は24年2月という説を出している]

松江乃へるん : 松江にへるんの足跡をたずねる / 梶谷延著. - 松江 : 小泉八雲記念館, 1956. - 改訂再版. - 27p ; 25cm. - 謄写刷 表紙には副標題として「八雲文学を訪ねる、原作英文対訳解説、地図と考証」とあり。
寄贈: 平岡伴一氏
内容: 序 ・ 小泉八雲略伝 1. 城山、同英文 2. 普門院の怪談、同英文 3. ヘルン旧居とその付近、同英文 4. 月照寺、夜歩く大亀、同英文 5. 大雄寺の怪談、飴を買う女 同英文 6. 島根県尋常中学校及び県庁、同英文 7. 第一の宿、松江の朝、第二の宿、同英文 8. 大橋から大山の遠望、源助柱、地藏堂、同英文 9. 洞光寺、同英文 10. 湖上の夕日、同英文 11. 天神橋の黄昏、同英文 12. 高山、同英文 13. 八雲松江時代月別行動表 14. 松江市内小泉八雲ゆかりの地概略位置図
・ 後記

松江の小泉八雲 : ある放浪詩人の肖像 / 池野誠著. - 松江 : 山陰中央新報社, 1980. - 282p ; 18cm. - (ふるさと文庫)
内容: 心のふるさとを求めて ・ 島根県知事との契約書の締結 ・ 山陰への旅 ・ 富田旅館に投宿 ・ 島根県尋常中学校と西田千太郎 ・ 第一回目の大社訪問 ・ 松江市民と大いに交わる ・ 出雲の民芸に興味を示す ・ 教育を大いに論ず ・ 愛弟子たち ・ 教育勅語の発布 ・ 進歩的教師として ・ 一畑薬師に参詣 ・ きびしい冬の日々 ・ 小泉セツと同棲 ・ 風土記の丘めぐり ・ 同盟欠席事件 ・ 宍道湖の夕日 ・ 大津事件と露国皇帝への見舞文 ・ 籠手田知事との送別 ・ 日本の怪談研究へ出発 ・ 妖怪学者井上円了と語る ・ 「道德哲学」を講演 ・ 日本の民俗への愛着 ・ 武家屋敷における生活 ・ フロレンツ教授の来訪 ・ 小泉セツを正妻に ・ 出雲大社の再訪 ・ 伯耆、美保関に遊ぶ ・ 加賀の潜戸へのへの探訪 ・ 隠岐紀行のこと ・ 良き助手 ・ 熊本第五高等学校への転勤 ・ 中学校と師範学校の送別会 ・ 松江よ、さようなら 小泉八雲略伝 ・ 松江時代を中心とするハーンの年月譜 ・ あとがき

民俗学者小泉八雲 : 日本時代の活動から / 小泉凡著. - 東京 : 恒文社, 1995. - 271, xxxixp ; 20cm. - 口絵にハーンに関する写真あり。寄贈: 小泉凡氏
内容: まえがき はじめに
・ 序章 研究史 1. 日本における民俗学的ハーン研究 2. 諸外国における民俗学的ハーン研究 3. その他
・ 第1章 基礎文化への関心とその背景 第1節 血筋と生誕地における風土的影響 第2節 幼年時代の文化環境 第3節 クレオール世界での異文化体験 第4節 世紀末思潮の中でのハーン 第5節 ハーン滞在時の日本 ・ 第2章 来日後の著作からみる民俗学研究の特色 第1節 民俗資料の抽出 < 来日後の著作中にみられる民俗資料一覧 > 第2節 民俗資料の内容的特色 1. 民間信仰の重視 < ①先駆的な禁忌研究 ②キツネツキとミサキガミの信仰の認識 ③祖先崇拜 > 2. 感性の民俗 3. 口承文芸の緊急採集と再話 < ①信仰的伝説の蒐集と再話 ②消滅

の危機感による民謡採集> 4. 日常的伝承の欠如 5. 地域差の重視 第3節
民俗学研究の方法上の特色 1. フィールドワークと微視的調査法 2. 直観的研
究法 3. 比較民俗学研究の視点 4. 作品形式および文体の特色 ・第3章 民
俗学史上におけるハーン 第1節 ハーン滞在時の日本における民俗学の動向
< 1. 人類学研究と民俗学 2. 風俗研究と民俗学 3. 井上円了の妖怪研究など
> 第2節 日本民俗学史上におけるハーン< 1. ハーンの特色 2. 柳田国男とハ
ーン 3. 井上円了とハーン> 第3節 欧米民俗学の動向とハーン< 1. 19世
紀における欧米民俗学の動向 2. ハーンにおける欧米民俗学の受容 3. 欧米民
俗学界への参与> ・第4章 結びと展望 第1節 補論：チェンバレ宛て書簡に
みる基層文化研究の意識 第2節 結語 第3節 展望：現代の民俗とハーン
おわりに ラフカディオ・ハーン略年譜 参考文献
あとがきに代えて 「ヘルン文庫」民俗関係蔵書一覧 索引

人間小泉八雲 / 高木大幹著. - 東京 : 三省堂, 1984. - ii, 216p ; 19cm.
- (三省堂選書 ; 102) ISBN:4385431027 ハーン他界12日前の写真あり
内容: 序: 今、なぜ、ハーンか 1. ハーン前景< 思潮のうねり: 宣長・明治維
新・ハーン 2. ハーンとスペンサー: 思想の生命 3. ギリシアとケルト: 澄明
と神秘 4. 孤独と苦闘: 谷間の時代 > II. ミシシッピー河のさざなみ< 1.
二人の偉大な文人: ラフカディオ・ハーンと「ミシシッピー河上の生活」> III.
太平洋という水盤の中で< 1. ハーン: 日本で最も不快であったこと 2. ゴー
ガン: 天才とはかくのごときか 3. スティヴンソン: 薄命の人 > IV. ハー
ンの美学< 1. ハーンと絵画: 自筆画の魅力 2. ハーンと俳句: 短詩型文学の
心 3. ハーンとカメラ・アイ: 眼の使い方 > V. ハーンと出雲など< ハ
ーンと出雲大社 2. ハーンと杵築の常宿 3. 風狂の人ハーン > 年譜
あとがき

オリエンタルな夢 : 小泉八雲と霊の世界 / 平川祐弘著. - 東京 : 筑摩書
房, 1996. - 329p ; 20cm. - ISBN:448082331X
内容: 小泉八雲と霊の世界 祭りの踊り: ロティ・ハーン・柳田国男 ハケルダマ
: ハーンと藤村 果心居士の消滅: 西洋のミメーシスと違うもの 日本文学に底
流するアニミズム 江戸風怪談から芸術的怪談へ: 石川鴻斎・ハーン・漱石 御神
木が倒れた日 夢の日本か、現実の日本か: ハーン「英語教師の日記から」 異文
化を生きた人びと。 ハーン的位置。 解題

Re-Echo / by Kazuo Hearn Koizumi ; edited by Nancy Jane Fellers ; illustrated
with photographs and with original, hitherto unpublished pen and watercolor
sketches by Lafcadio Hearn. - Caldwell, Idaho : Caxton Printers, 1957.
- 161 p. ; 26 cm. 一千部限定出版のNo. 153.
Contents: Editor's preface. Author's preface. Chapter I. Words from the
Great : interpretations. Chapter II. Off to other worlds : lessons.
Chapter III. Stories told by Lafcadio Hearn for Kazuo's copybook. Chapter
IV. Around Home ["Some of Kazuo's Copybook, and quite a number of the
drawings his father made to explain poetry and arithmetic and geometric and
geography are reproduced in RE-ECHO." (p. 21)]

靈魂の探究者小泉八雲 : 焼津滞在とその作品 / 村松真一著. - 静岡新聞社,
1994. - 227p ; 19cm. - ISBN:4783810524
内容: 1. 小泉八雲と焼津 2. 「焼津にて」 3. 「乙吉のだるま」 4. 「漂
流」 5. 「海辺」 6. 夜光る海の幻覚 7. 天野甚助: 語り手の肖像 8. 海
と作家ハーン 9. 八雲の日本語 10. 靈魂の探究者 注
附録1: 八雲のセツさん宛手紙 附録2: 焼津における関係資料 あとがき

Reminiscences of Lafcadio Hearn / by Setsuko Koizumi (Mrs. Hearn) ; translated
from the Japanese by Paul Kiyoshi Hisada and Frederick Johnson. - Boston
: Houghton, 1918. - viii, 87 p. ; 20 cm. - Note: Introduction (Kiyoshi Hisada)

さまよう魂 : ラフカディオ・ハーンの遍歴 / ジョナサン・コット ; 真崎義
博訳. - 東京 : 文芸春秋, 1994. - 541p ; 20cm. - ISBN:4163488901.
- Wander ghost by Jonathan Cott の翻訳
内容: 序文 プロローグ: 真夏の日の夢。 第1部 青い亡霊 失楽園 ルネッサ

(90)

[H093.1]

ンス 監獄の影 チャンスの国で 煽情的な新聞記者 黒と白 南へ飛ぶツバメ
第2部 裸にむかれた花嫁 出直し クレオールの日々 ヴードウ教の夜 途上
の友人たち エチオピア人の影のなかで 島を愛した男 落ち着かない別れ
第3部 取り戻された楽園 神経中枢 第4部 お伽の国にて 神々の国にて 松
江での結婚 小さな泉、八つの雲 道 東京物語 ”ほぼ”日本人 不安な靈魂
補注 訳者あとがき

世界の中のラフカディオ・ハーン / 平川祐弘編. - 東京 : 河出書房新社,

1994.2 - 428p ; 19cm. - ISBN:4309202144

内容:ハーンの生涯(小泉時)〔本文の前に16ページにわたる写真と解説によるハーンを紹介〕・まえがき(平川祐弘) 夢の日本か、現実の日本か:ハーン「英語教師に日記から」(平川祐弘)・帰属と距離(フランシス・キング)・ハーンとアショ校(ルイ・アレン)・西洋人の神道理解:ハーン、タウト、マルローの場合(遠田勝)・文化人類学者としてのハーン(ジョージ・ヒューズ)・アウトサイダーとしてのハーン「他者」との同一化をめぐる(杉山直子)・語る女の系譜(西成彦)・ハーン「ニルヴァーナ」について(竹内信夫) 帰路のない旅(ドニーズ・ブライミ)・ハーンと日本の風土(梶谷泰之)・ロチの紀行文からハーンの紀行文へ(河島弘美)・批評家としてのハーン(ジョージ・ヒューズ)・中学生落合貞三郎の未発表ノートから(関田かおる)・学生から見た外人教師ハーン(布村弘)・ハーンと日本:一つの解明の試み(アール・マイナー)・チェンバレン試論:ハーンとの比較を中心に(太田雄三)・ハーンの変容:小泉八雲はポーランドでいかに読まれたか?(土谷直人)・アインシュタインの訪日とハーン体ン体験(金子務)・小泉八雲と周作人(劉岸偉)・マルティニークの旅(牧野陽子)

シナリオ・美しき日本の妻 : 小泉八雲百年祭記念映画 / 八尋不二著. - 松江 : 小泉八雲百年記念委員会、松江市, 1950.4. - 96p ; 19cm.

[生誕百年に当たりハーンと節子夫人とを顕彰するために作られたシナリオ]

小説松江の小泉八雲 / 岡戸武平著. - 東京 : 恒文社, 1995. - 237p ; 20cm.

- ISBN:4770408595. - 注:昭和18年(株)大日本雄弁会講談社より刊行の復刻
内容:第1章 松江行 第2章 お備教師 第3章 出雲の神 第4章 湖畔旅情
第5章 日本の家 第6章 さらば出雲。 覚書。解説(鈴木健二)

Unfamilliar Lafcadio Hearn / by Kenneth R. Kirkwood. - Tokyo : Hokuseido Press
1936. - xiii, 97 p. ; 20 cm. - 全ページ複写図書

Contents: 1. Hearn's transition. 2. Hearn the animal lover. 3. Hearn as poet and craftsman.

わが心わが山陰 : 小泉八雲の見た神々の里 / 協賛山陰中央テレビ放送.

- 東京 : 聚海書林, 1982. - 186p ; 27cm. - ISBN:4915521109 書中に八雲の思い出アルバムあり

内容:序・題字(恒松制治) 祖父八雲について(小泉時) 八雲たつ出雲(下重暁子) 松江(郡山政宏) 杵築・加賀・美保関(長野忠) 伯耆・隠岐(宮田隆) さようならヘルン先生(郡山政宏) 小泉八雲年譜、小泉八雲関係文献

若き日のヘルン / 島谷照夫著. - 東京 : 洋々社出版部, [1932]. - 229, 32p

; 20cm. 巻末8ページ及び奥付が欠落 口絵にハーンのレリーフ

内容:はしがき 1. 生い立ち<誕生 リュカディヤ 祖先 血統 「系譜」 父と母 父母の結婚 帰国 ダブリン 大叔母 父母の離婚 母に対する同情 父に対する反感 ギリシャの思い出> 2. 少年時代<大叔母の住居 海を好む 悪戯 幻覚 「夢魔触」 自伝断片「私の守護神」 ギリシャ憧憬 自伝断片「偶像崇拜」> 3. 学校生活<私塾 家庭教師 アショ校入学 その生活 左眼失明 右眼は近視2度半 人嫌いの原因 ヘンリー・モリヌークス 大叔母の破産 旧婢カザリンの忠節 フランス遊学 イーヴト校入学 中途退学 ローマ旧教を嫌う 渡米> 4. ニュー・ヨーク<窮乏 老弁護士 アイルランド生まれの老人 安料理店の給仕 移民列車 自伝断片「私の最初の小説」> 5. シンシナーティ<窮乏 自伝断片「星」 老友ワトキン 自伝断片「直覚」 求職 「インクワイヤー入社」 主筆コツクリル 記者生活 製革所の殺人事件 友人クレービエル 「自殺の技巧」 「紅に染んだ月火香の花」 聖バトリック寺院の尖塔に上る 画家のモデ

ルを隙見 私娼窟探訪 絵入り週間新聞「イ・デグラムブス」発行 ゴーティエの怪談翻訳 フローベルの「聖アントニーの誘惑」翻訳 その友人 混血の美女アルシア・フォレエに求婚 「コマーシャル」社へ転任 メンフィス 南方へ> 6. ニュ・オルリアンズ<到着 「手紙通信(ニュースレター)」 困窮 親友ワトキンとクレビエル 熱病 「ディリ・アイテム」紙の記者となる 記者生活 木版漫画 オクトルーンの美女 住居 五仙均一の飲食店開業と失敗 古本屋廻り この時代に交わった畸友 コートネ夫人のこと 不良児デニー・コクコーラン 「タイムズ・デモクラット」紙の文学部長に栄転す ゴーティエの怪談「クレオパトラの一夜そのほか」の翻訳出版 詩的散文「異文学異聞」及び「支那怪談」出版 フローベルの「聖アントニーの誘惑」を翻訳す 「黒人の諺」「クリオール料理本」「ニュ・オルリアンズの歴史的スケッチ及び案内書」出版 ニュ・オルリアンズ博覧会で服部一三氏に会う グランド島に遊ぶ 小説「チタ」を書く ドクトル・メータスと交る 稀観書「女のにおい」のこと 島の女との恋 フロリダの青春の泉を探ねて ハーバード・スペンサーの進化論とヘルンの哲学 放浪愛(ウオンターラスト)> 7. 西印度旅行とその前後<シンシナティーでワトキンと再会 ニュ・ヨーク到着 クレビエルのアパート 人ごみ嫌い 「チタ」の推敲 クレビエル夫人 「熱帯への真夏の旅」一先づニュ・ヨークへ帰る アルデンに逗留 再び西印度に遊ぶ 友人アルヌー サン・ピエール 熱帯の生活 小説「ユーマ」随筆紀行「仏領西印度の二年間」断片「消えた光で」 感覚と理性の生活 再びニュ・ヨークに帰る フィラデルフィアの友人ゲルドの家に滞在 小説「カーマ」ゲルド夫人 蔵書問題 弟ジェームスと通信> 8. 日本への冬の旅 ・ペーチ ベーカーに再会 親友ヘンドリック 美術記者パットン 日本行の計画 パットンの逃走 パーシヴァル・ロウエルの「極東の魂」 アナートル・フランスの「シルヴェストル・ポンナードの罪」翻訳 クレビエルと絶交 ニュ・ヨーク出発ヴァンクーヴァーへ オルバニー 画家ウェルドン 汽船アビシニア号 「日本への冬の旅」 横浜着 感激 付録 「弟ジェームスに与えた手紙」 Lafcadio Hearn's letters to his brother. 文献目録 年譜

Wandering ghost : the odyssey of Lafcadio Hearn / Jonathan Cott. - Tokyo : Kodansha International, c1990. - xxi, 438 p. ; 24 cm. - ISBN:477001659X
Contents: Prologue<The Dream of a summer day> Pt. 1<Blue ghost. Paradise lost. Renaissance. Shades of the Prison-House. In the Land of Opportunity. A sensational reporter. Black and white. Swallow flying South> Pt. 2<The birde stripped bare. Sarting over. Creole days. Voodoo nithts. Some friends along the way. In the shadow of the Ethiopian. The man who loved islands. Restless farewell.> Pt. 3<Paradise regained. Nervous centers.> Pt. 4<In fairyland. In the province of the Gods. A wedding in Matsue. Little Spring, Eight clouds. The path. Tokyo story. "Almost" Japanese. Restless ghost.> Source notes. The writings of Lafcadio Hearn: a cronological bibliography.

破られた友情 : ハーンとチェンバレンの日本理解 / 平川祐弘著. - 東京 : 新潮社, 1987. - 353p ; 20cm. - ISBN:4103179058
内容: 日本理解とは何であったのか: チェンバレンとハーンの破られた友情. 第1部: 頭で理解した日本 序章: 学者の典型 第1章: チェンバレンとハーン 第2章: チェンバレン兄弟 第2部: 心で愛した日本 第1章: 小泉八雲の家庭生活 第2章: 「おしどり」 日本回帰の軌跡: 埋もれた思想家・雨森信成 第1部: 洋行帰りの保守主義者 第2部: ハーンの影の人 第3部: 埋もれた市井の思想家 第4部: 日本回帰の系譜 開花の舞踏会 第1部: 野蛮から文明へ 第2部: 西洋化の社交界 あとがき

焼津における小泉八雲 : 四つの随想 / 村松真一訳・編. - 静岡新聞社, 1984 - 80p ; 19cm. - ISBN:4783810257 英文合綴: Lafcadio Hearn at Yaidzu : four sketches. 72p
内容: まえがき 焼津にて 乙吉のだるま 漂流 海辺 付夜光幻想

八雲の足跡を訪ねて / 文・小泉凡 ; 絵・市原麻里子. - 松江 : 八雲会, 1989. - 4版. - 31p (片面印刷) ; 23cm. - 昭和60年10月2日から昭和61年6月4日まで「新日本海新聞」に連載されたものを単行本としたもの。寄贈: 小泉凡氏
内容: ①謎の道程: 姫路から下市へ ②下市にて: 盆踊りのその後 ③ふたりの旅

(92)

[H093.2]

: その1 八橋・由良 ④ふたりの旅: その2 浜村 ⑤伯耆から隠岐へ: 境港
⑥幽霊滝の話: 黒坂 ⑦故郷の表象: 大山 ⑧神々の国の首都へ: 松江での本拠地
⑨異空間の接点としての魅力: 松江での本拠地 ⑩城山界限: 千鳥城をめぐって
⑪きつね: 城山稲荷など ⑫夜歩く大亀: 月照寺 ⑬橋姫の話: 普門院 ⑭赤子塚
の話: 大雄寺 ⑮寺に想うこと: 洞光寺・龍昌寺など ⑯黒髪への憧憬: 客神社
⑰帰還を祈る山: 嵩山とあみだ寺のびく尼 ⑱意宇の社巡り: その1 武内神社か
ら大庭大宮へ ⑲意宇の社巡り: その2 八重垣神社 ⑳開眼祈願: 一畑薬師 ㉑
平凡なる非凡: 簸川平野 ㉒昇殿と恩返し: 出雲大社 ㉓海と遊泳: 稲佐浜 ㉔両
部神道之美: 日御碕神社 ㉕「島根・九州」だよりから: 玉造 ㉖海神のお使い姫
: 佐太神社 ㉗海と魂と: 加賀の潜戸 ㉘卵のきれいな神様: 美保関 ㉙近代化
への驚異: 島後西郷 ㉚島人として: 島前菱浦 ㉛永遠の客人: むすびにかえて
改版によせて(小泉凡) 正誤表

ヨーロッパに小泉八雲を訪ねる : わが文学紀行 / 池野誠著. - 松江 : 今
井書店, 1972. - 240p ; 19cm.

内容: 仕合せな教師: 序に代えて(森亮) 自序(著者)

欧州への旅 学園都市オックスフォード 英国の生活 英国・アイルランド一周旅
行へ ハーンの故郷へ ダラムのアショウ・カレッジ: ハーンの母校訪問 ある教
授との文学談義 英国の大学と教育界 シェークスピアの生地にて 善良な英国人
[ジョン・ブル]たち オックスフォードよ、さようなら ロンドン探訪 パリの散歩
ノルマンディへ フランスへの愛着 文豪ゲーテへの誘い スペイン三日間 古都
ローマでハーンの生地・ギリシア 楽都ウィーンに遊ぶ スイスの一都市 コペン
ハーゲン: 一つの童話の世界 若き日の小泉八雲: 一つの伝記的考証のこころみ

Young Hearn / by O. W. Frost. - Tokyo : Hokuseido Press, 1958. - iv, 222 p.
; 22 cm.

Contents: The Hearn family. Auntie and the Priests. On the Enquirer.

Commercial reporter. Farewell to Cincinnati. Author in America.

[ハーンに関係のあるヨーロッパ各地を実地調査して書かれた新しいハーン伝]

雪女の悲しみ : ラフカディオ・ハーン「怪談」考 / 橋正典著. - 東京 : 図
書刊行会, 1993. - 206p ; 20cm. - ISBN:4336035202

内容: 序 体験 美と倫理: ポーとハーン1 美と倫理: ポーとハーン2 怪異譚
1 怪異譚2 結び「雪女」 人魚姫の憂愁: アンデルセン童話考 ハーンとアン
デルセン: あとがきに代えて

H093.2 手紙集 (Collections of letters)

一異端者への手紙 / 小泉八雲〔著〕 ; 小泉一雄訳. - 東京 : 第一書房,
1935. - 161p ; 21cm.

内容: 翻訳にあたりて(小泉一雄) 緒言(ロバート・パワーズ)

書簡: 第1信 ニュー・オルレアンズ(月曜) 第2信(住所及日付なし) 第3
信 ニュー・オルレアンズ(1882年5月) 第4信 ニュー・オルレアンズ(1883
年) 第5信 ニュー・オルレアンズ(1883年) 第6信 ニュー・オルレアンズ
(1883年) 第7信 ニュー・オルレアンズ(日付なし) 第8信 ニュー・オル
レアンズ(1884年9月) 第9信 ニュー・オルレアンズ(1885年) 第10信 ニュ
ー・オルレアンズ(1886年) 第11信 ニュー・オルレアンズ(1887年3月14日
) 第12信 マルティニーク(1887年) 第13信 グランド・アンス(1887年) 第
14信 マルティニーク(1887年7月) 第15信 マルティニーク(1887年8月) 第
16信 マルティニーク(1887年8月) 第17信 マルティニーク(1887年9月)
第18信 マルティニーク・サン・ピエール(1887年) 第19信 マルティニーク(1
887年) 第20信 マルティニーク(1887年3月29日) 第21信 紐育市西十番街
149(1890年1月16日) 第22信 日本横浜(1890年) 第23信 日本出雲・松江
(1890年12月) 第24信 日本出雲・松江(年月日なし) 第25信 日本出雲・松
江(年月日なし) 第26信 日本神々の郷土出雲松江(年月日なし) 第27信(住
所の記入なし) 第28信 日本東京牛込市ヶ谷富久町21(1901年)

[Letters to a pagan の訳] [Japanese translation of "Letters to a pagan"
(1933)]

- The Japanese letters of Lafcadio Hearn / edited with an introduction by Elizabeth Bisland. - Boston : Houghton, 1910. - lx, 468 p. ; 23 cm.
Contents: Introduction. Letters to Basil Hall Chamberlain. Letters to W. B. Mason. Letters to Mrs. Hearn.
- The Japanese letters / edited with an introduction by Elizabeth Bisland.
- Kyoto : Rinsen Book, 1988. - 388 p. ; 23 cm. - Original imprint: Boston and New York : Houghton, 1922. ISBN: 4653017085
タイトルページに切り貼り絵 "Suzuko and Midori (Wife of Iwao) in the garden of the Tokyo House."あり。
Contents:- Letters to Basil Hall Chamberlain. Letters to W. B. Mason. Letters to Mrs. Hearn. Appendix. Naked poetry. Index.
- 桑原春三所蔵知られざるハーン絵入り書簡 : ワトキン、ビスランド、グールド宛, 1876-1903=Veiled letters from Lafcadio Hearn / 関田かおる編著. - 東京 : 雄松堂, 1991. - 478p ; 27cm. - ISBN:4841901132
ハーン及びハーン関係者写真4ページあり。
- ラフカジオの手紙と講義 / 花園兼定著. - 東京 : 四条書房, 1934
- p.347-370 ; 19cm. - 「花園兼定著 偉人の言葉」より抜粋
- Letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn / compiled by Kazuo Koizumi. - Tokyo : Hokuseido Press, 1936. - iv, 158 p. ; 23 cm.
- Letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn / compiled by Kazuo Koizumi. - 東京 : 雄松堂書店, 1992. - iv, 158 p. ; 23 cm. - 復刻版
元の版 : Tokyo : Hokuseido Press, 1936
- Letters from the Raven : being the correspondence of Lafcadio Hearn with Henry Watkin / with introduction and critical comment by the editor, Milton Bronner. - New York : Brentano's, 1907. - 201 p. ; 20 cm.
寄贈 : Mrs. B. McClelland.
- Letters from Shimane and Kyushu by Lafcadio Hearn / Bunsho Jugaku. - Kyoto : Sunward Press, 1934. - 72 p. ; 27 cm.
[Japan Weekly Mailから初めて再録されたもの。100部限定の第12番。First reprinted from the Japan Weekly Mail in which they first appeared.
The edition is limited to 100 copies and this copy in No. 12]
- Letters to a pagan by Lafcadio Hearn / Robert Bruna Powers. - Detroit : R. B. Powers, 1933. - 119 p. ; 22 cm.
[550部限定の第173番、312番。本書については小泉一雄氏著「父小泉八雲」のp.59-60を参照。No. 173, 312 of the limited edition in 550 copies]
- More letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn and Letters from M. Toyama Y. Tsubouchi and others / compiled by Kazuo Koizumi. - Tokyo : Hokuseido Press, 1937. - viii, 208 p ; 23 cm.
Contents: Letters from Basil Hall Chamberlain. Letters from Prof. Masakazu Toyama. Letters from Prof. Yuzo Tsubouchi. Replies to Hearn's inquiries about Parents.
- More letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn and letters from M. Toyama Y. Tsubouchi and others / compiled by Kazuo Koizumi. - 東京 : 雄松堂書店, 1992. - viii, 208 p. ; 23 cm. 復刻版
元の版 : Tokyo : Hokuseido Press, 1937
- Some new letters and writings of Lafcadio Hearn / collected and edited by Sanki Ichikawa. - Tokyo : Kenkyusha, 1925. - xvi, 430 p. ; 21cm.
- Some new letters and writings of Lafcadio Hearn / collected and edited by

(94)

[H 0 9 3 . 3]

Sanki Ichikawa. - Tokyo : Kenkyusha, 1950再版. - xvi, 430 p. ; 19cm.
初版1925年発行

H 0 9 3 . 3 写 真 (Photographs)

稲垣巖氏 (ハーン次男) 一家の写真 天理図書館複製寄贈

ハーンの熊本時代に居住した書斎及び家主の「赤星家」の人々

[ハーンは熊本での最初の家は、手取本町三十四番地の赤星晋策氏 (長男典太氏はハーン在住時は五高生で隣人であった。後に熊本県知事になった人) の家を借りて居住した。当時の家主の赤星家の人々とハーンが書斎に使った部屋、ハーンが愛した日本庭園から撮ったもの。現在「小泉八雲旧居」として熊本市安政町2-6に保存されている] 寄贈：松岡継雄氏

ハーンが愛した日本庭園と家主の赤星家の人々

[ハーンが熊本で最初に住んだ手取本町三十四番地の住居の庭、ハーンが愛した日本庭園と当時の赤星家の人々] 寄贈：松岡継雄氏

ハーンが熊本で最初に住んだ手取本町三十四番地の借家の床の間に掛けてあった「掛け軸」 [鶴亀の軸で正月らしい] 寄贈：松岡継雄氏

ハーンのレリーフ胸像 ギリシャから東大へ送られたハーンのレリーフ像の複製

ハーンの友人メーソン (W. B. Mason) の夫人鹿子の写真 天理図書館複製寄贈

ハーンの立像写真 紋付き羽織白足袋姿 13×9 cm.

[熊本時代のもの ガラスのネガも所有]

ハーンの肖像 原画は油絵。和服紋付き羽織姿 11.4×14.3cm.

ハーン死後満五十年祭の状況写真6枚。昭和29年(1954)9月26日松江で挙

ヘルン文庫訪問中の徳富蘇峰 (本館所蔵のネガより焼き付けポジ)

ヘルン五十年祭 (松江) に展観したハーンの原稿の写真 [6種の内「神国日本」は富山大学出品、他は小泉八雲記念館所蔵]

小泉節子夫人の手紙の写真。年代不明、2月19日づけ。封筒と中味4枚つづき。手紙は市河三喜博士あて

小泉節子夫人と一雄氏 天理図書館複製寄贈

小泉八雲記念館内のハーンの手紙。11.2×7.6 cm.

小泉八雲記念館にあるハーン愛用のきせる・虫かご・独眼鏡の写真

小泉八雲記念館正面

小泉八雲記念館所蔵、令息に英語を教えるときに使った古新聞の写真

小泉八雲の弟 James Hearn の孫娘ドロシーとその夫クラーク大尉一家の写真。昭和24年(1949)から25年春まで横浜に駐在中写したもの。

寄贈：島根県太田市、田原新作氏

小泉八雲三男清氏全身写真

小泉八雲 (Lafcadio Hearn) 写真集 [昭和62年2月23日 小泉時氏と尚子夫人が初めてヘルン文庫を訪問された際、寄贈された写真25枚 (複製)]

内容：1. 若き日のハーン 2. 大叔母とハーン 3. ハーンの紋付き姿、松江時代 4. あごひげのハーン 5. 熊本時代のハーン 6. ハーンと大谷正信、松江時代 7-8. ハーン2枚 9. ハーンの富士登山、ハーンと藤崎八三郎（明治30年）1897年8月24日 10. ハーンとミッチェル・マクドナルド 11. ミンニイ・アトキンソン夫人（異母妹） 12. ジェイムス・ハーン（弟） 13. ハーンの生誕地レフカス、ギリシャ 14. ウェットモアー夫人（エリザベス・ビスランド女史） 15. 小泉チエ（節子の母） 16. 小泉湊（節子の父） 17. 稲垣金十郎夫妻 18. 稲垣万右衛門 19. 西大久保の兄弟、一雄、巖、清 20. 一雄を抱く節子 21. 小泉一雄とハーンの墓石、雑司ヶ谷 22. ハーン没後の家族の写真（寿々子、セツ、喜久恵、女中サキ、女中米、清、巖、一雄） 23. ハーン愛用の机と椅子 24. ハーバート・スペンサー 25. 山口乙吉（焼津の魚屋さん） 26. 雨森信成

小泉八雲と夫人および長男一雄氏 神戸居住中の写真。

寄贈：島根県太田市，田原新作氏

小泉八雲とその教え子藤崎八三郎。 寄贈：島根県太田市、田原新作氏

ラフカディオ・ハーン

小泉八雲展：日本を描いた異色のボヘミアン [日本経済新聞社主催で1965年9月18日から29日まで東京・西武百貨店でされた小泉八雲展の写真集 自家製]

ラフカディオ・ハーンとレフカダ（写真帳）1984年6月撮影のもの

寄贈：西村六郎氏

内容：1. 八雲の出生だ記録されてあるレフカダ市教会の登録簿 2. レフカダ市内公園内の八雲記念碑（1933年建立、1948年地震倒壊）跡 3. その礎石 4. その礎石に書かれている碑文「アテネ日本ギリシャ教会は、偉大なる作家ラフカディオ・ハーン1850-1904を記念して1933年、その出生の地にこれを建立す（本文はギリシャ語、訳文は西村六郎氏）」 5. レフカダ八雲出生識（生家跡）「1850年6月27日ハーン生誕の地（本文はギリシャ語）」 6. レフカダ八雲生家跡（1948年の地震で崩壊後別途建造）標識（レフカディオ・ヘルン通り） 7. 市内レフカディオ・ヘルン通り 8. 再建なった小泉八雲記念碑 9. 記念碑のある公園

レフカダ島のハーン関係写真 4枚 1994年撮影 寄贈：瀧澤弘氏

内容：レフカダ島全景（カラー絵ハガキ） ハーンの記念碑（胸像） ハーンの生家 ラフカディオ・ハーン通り

鈴木朱雀画「小泉八雲像」のカラー写真 和服紋付き羽織姿 オリジナルは油絵 早稲田大学図書館所蔵 関田かおる氏寄贈

鈴木朱雀画「小泉八雲像」の白黒写真 和服紋付き羽織姿 11.4×14.3cm.

徳富蘇峰ヘルン文庫参観のときの写真（ネガ） 昭和10年9月27日（1935）

富山高等学校八雲会の「ヘルン文庫に就て」の写真

Tulaneにおいてハーン住んでいた下宿等の写真集 13枚 [平成2年11月本学人文学部平田教授（元館長）がアメリカ合衆国ニューオーリンズ、チューレン大学に出張の際撮影したもの] 寄贈：平田純氏

内容：1~4. チューレン大学のハーンコレクション 5. ハーンのレリーフ 6. きせるをふかしたハーン 7. 教え子のサイン集 8~10. ハーンが住んでいた家の正面・全体・側面の屋根 11~13. ハーンが住んでいた下宿及び通りの家並み

上野図書館前のハーンの記念像レリーフと碑文の写真 6枚 塩谷温撰 市河三喜書 碑文の内容と共に

(96)

H 0 9 4 単行本に含まれた論文・随筆

(Essays and articles contained in books)

H 0 9 4 論文 (Essays and articles)

醜の研究 : 東京帝国大学英文学科講演 / ラフカヂオ・ヘルン述 ; 紫蘭生訳
東京 : 現代社, 1914 p.221-234 ; 18cm
「生活の朝 : 四人叢書 第1篇」より抜粋

H 0 9 4 . 1 創作、翻訳

(Stories and translations)

[単行本に含まれているハーンの創作、翻訳など]

ある女の日記 / 小泉八雲[著]; 平井呈一訳. - 東京; 筑摩書房, 1992.
4刷

Gods, goblins and ghost : the weird legend of the Far East / by Bertha Lum.
- Philadelphia and London : J. B. Lippincott, 1922. 64 p ; 35cm.

表紙に宝船集とあり。

[p.41~ Ghostsの項にYuki-anna(雪女), Aoyagi がある。Noguchi Yoneの名があるがハーンの名はない]

蚊 / 小泉八雲[著]. - 東京: 筑摩書房, 1993. - 3刷. - p.187-193 ; 20cm.
「動物たちの物語 / 安野光雅〔ほか〕編 (ちくま文学の森12)」より抜粋

英詩文鑑賞 / 南日恒太郎著. - 東京: 北星堂, 1932.7. - 184p ; 19cm.
[ハーンのThe bird and girl=はかなき契り (p.37-48)とA legend=新女護島物語 (p. 49-58)の作品あり、対訳]

破約 / 小泉八雲[著]; 田代三千稔訳. - 東京: 立風書房, 1993.7.
- p.7-14 ; 20cm 新装版 ISBN:46516320140
「現代怪談集成 / 中島河太郎、紀田順一郎編」より抜粋

開いた処 / 大石繞石著. - 東京: 敬文社, 1914. - 93p ; 20cm.

寄贈: 小松原隆二氏

[ハーン作品として、「泉の乙女(p.39-47)」「恋物語(p.48-52)」「屍中の悪魔(p.94-110)」「草雲雀(p.227-230)」が掲載されている。]

耳なし芳一 / 小泉八雲[著]; 中山伸子訳. - 東京: くもん出版, 1994. - 5刷.
- p.21-40 ; 22cm. - 初刷1988.8
「恐ろしい幽霊の話 / 江河徹編 (幻想文学館1)」より抜粋

日本の風土 / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京: 筑摩書房, 1961.
- p.3-44 ; 20cm. - (外国人の見た日本 3 明治 / 大久保利謙編 I.
小泉八雲の描いた日本)より抜粋

日本のころ / 小泉八雲著 ; 平井呈一訳. - 東京: 筑摩書房, 1961.
- p.45-93 ; 20cm. - (外国人の見た日本 3 明治 / 大久保利謙編 I.
小泉八雲の描いた日本)より抜粋

停車場で / 小泉八雲[著]; 平井呈一訳. - 東京: 筑摩書房, 1990. - 2刷.
- p.438-444 ; 20cm 「悪いやつ物語 / 安野光雅〔ほか〕編 ちくま文学
の森8」より抜粋

H094.2 評伝 (Biographies and criticisms)

[単行本に含まれているハーンに関する論文など]

アメリカの作家たち／ハーンの世界 / 田代三千稔著. - 東京 : 英宝社, 1981
- 199p ; 20cm

[第1部では19世紀から20世紀にかけて活躍した9人のアメリカの作家の紹介
第2部ではハーンの世界観と文学の紹介。ハーンの世界観、日本仏教の特殊性、ハーン
の文学論、怪物物語、虫の文学、など。]

アルバム東京文学散歩 / 野田宇太郎著. - 東京 : 創元社, 1956. 3版.
1冊 ; 27cm.

[こぶ寺、西大久保のいたましい破壊の跡と雑司ヶ谷墓地が含まれている]

朝日新聞100年の記事にみる①恋愛と結婚. - 東京 : 朝日新聞社, 1979.
- 308p ; 21cm.

[48-49ページに「出雲の神様にお礼参り 小泉八雲夫妻」と題した明治29年7月19
日の記事、「八雲芸術生んだ賢夫人」と題して昭和7年2月20日夕刊の記事、「寒さ
がこたへ熊本へ 松江永住を希望したが」と題して昭和4年9月23日の記事が掲載
されている]

朝日新聞100年の記事にみる④外国人の足跡. - 東京 : 朝日新聞社, 1979.
- 379p ; 21cm.

[123-124ページに「小泉八雲(L. ハーン) 松江を愛した文豪」と題して、小泉
八雲を紹介した明治29年7月19日の記事、「逝去」を知らせる明治37年9月29日の
訃報記事、「親友ワトキンへの手紙」を紹介した明治43年5月23日の記事、「ハ
ーン贈位と英紙」の大正4年11月14日の記事、「これが小泉八雲の弟一家」と題した
弟ジェームスについて紹介した昭和47年11月27日の夕刊記事が掲載されている]

朝日新聞100年の記事にみる⑨追悼録上. - 東京 : 朝日新聞社, 1979.
- 312p ; 21cm.

[86-90ページにかけて、「文豪八雲逝いて25周年、思い出を語る未亡人」と題して
昭和4年9月23日に記事、「小泉八雲の未亡人逝く、八雲の芸術を生んだ賢夫人」
と題した昭和4年2月20日夕刊の記事、「ギリシャから八雲の浮彫 親善の贈物に
」と題してアテネ市の日希教会から東大へ贈られたハーンのレリーフ像の記事、昭
和8年9月28日の記事、ちなみにこのレリーフ像の複製が東大の好意で実現し、わ
が富山大学ヘルン文庫の入口に掲げられている。この像では、失明している左眼が
はっきりして、洋服が左前となっている。「小泉八雲記念碑除幕式」と題して
東京上野図書館前のハーン記念碑除幕を伝える昭和10年7月2日夕刊の記事、「小
泉八雲の70周年に思う 木村毅」と題して、戦後アメリカ占領軍がハーンの遺族
を探したエピソードなど、最後にハーンが焼津に避暑に行った頃の山口乙吉宅(お
魚屋さん)が明治村博物館に移された記事が掲載されている。ちなみにこの明治村
の家は、今は駄菓子屋となっている。奥に入ると「乙吉のだるま」が表の賑わいに
比べ、ひっそりと置かれているのが印象的である。]

薔薇と貝殻 / 安藤一郎著. - 東京 : 研究社, 1957. - 239p ; 18cm. - (研究社選
書) 「貝殻と文学」の章にハーンの記事(83ページ)あり
[英語青年 昭和14年8月号から再録。文学に現れた貝殻をたづねたこのエッセー
の中に、ロゼッティやリー・ハミルトンの詩に対するハーンの見解が引かれている]

文学碑散歩 / 本山桂川著. - 東京 : 河出書房, 1957. - 206p ; 18cm.
- (河出新書 ; 268) [86人の文学碑紹介の中で、24番目に「小泉八雲」ある。
東京上野公園の国立国会図書館分館前に建てられた碑の紹介]

文芸瑣談話 / 坪内逍遙著. - [出版地不明] : [出版社不明], 1904.
- 278p ; 22cm. 寄贈 : 西崎一郎氏
[p.127-130に「故小泉八雲氏の著作につきて」が掲載されている]

文人墨客を語る / 市島春城著. - 東京 : 翰墨同好会、南有書院, 1935.
- 676p. ; 20cm.

(98) [H 0 9 4. 2]

[俳人紹介の中に、「小泉八雲 : 蟬の句の研究」がある。]

チェンバレンの日本研究と「日本案内記」 / 楠家重敏著. - 東京 : 雄山閣出版, 1978. - p.169-188 ; 21cm. - 福地重孝先生還暦記念論文集「近代日本形成過程の研究」 雄山閣〔昭和53年〕の別刷 寄贈:楠家重敏氏
[五「日本案内記」(第三版)(a)成立事情の中で、チェンバレンの仲介によってハーンは松江の中学校へ赴任したが、「日本案内記」を執筆中のチェンバレンから出雲地方の資料を送ってくれるよう頼まれた云々とある]

竹柏漫筆 / 佐佐木信綱、佐佐木雪子著. - 東京 : 実業之日本社, 1931.
- 39p ; 19cm.
[p. 180-181 に「小泉八雲先生」の項あり]

伝説と史実松江大橋 / 野坂久三編輯. - 松江 : 松江大橋宣揚会, 1937.
- 19p ; 13×17cm. - 松江大橋折り込み絵図3枚. 電子複写 寄贈:染村絢子氏
内容:源助柱物語りp.10-12 源助の靈魂動くp.12-13

英米文学史 / 大和資雄著. - 東京 : 角川書店, 1958. - 12版.
- 338, 22p ; 15cm. 初版は1951.
[p. 298にハーンが日本紹介云々とある]

英文学への道 / 平田禿木著. - 東京 : 南雲堂, 1956. - 193p ; 18cm. - (南雲堂不死鳥選書)
[先ず何より入るべきやの章に「小泉八雲」の記述(27-28ページ)あり]

英文学を如何に読むか : 評論・紹介・随筆 / 福原麟太郎著. - 東京 : 研究社, 1927. - xiii, 395p ; 20cm.
[小説の章の7番目に「ラフカディオ・ハーン」の項(p.138-148)がある]

ふるさと再発見 : 焼津市の文化財 / 焼津市教育委員会編. - 焼津 : 焼津市教育委員会, 1985. - 129p ; 21cm.
[p.99-101 に焼津民俗歴史資料館の中の「小泉八雲コーナー」を紹介している]

外国人の見た日本の風光・風物 / 唐木順三著. - 東京 : 筑摩書房, 1970.
- p.217-237 ; 21cm. - (日本人の心の歴史 下)より
[ハーン作品「心」「東洋の第一日」など通じて日本の紹介をしている]

学生と日本 / 河合栄治郎編. - 東京 : 日本評論社, 1940. 698p ; 19cm
[p.529-546に「ラフカディオ・ハーン」の日本観 / 西崎一郎の項がある]
寄贈:西崎一郎氏

現代日本文学手帖 詩歌篇 / 矢野峰人監修. - 東京 : 創元社, 1952.
- 235, 14p ; 18cm. - (創元社手帖文庫)
[p. 176 に「小泉八雲」の解説がある]

下駄の音 / 平川祐弘著. - 東京 : 東京大学出版会, 1987. - p.199-203 ; 19cm. - 開国の作法 / 平川祐弘著(U P選書)より抜粋

五高五十年史 / 第五高等学校開校五十年記念会編. - 熊本 : 第五高等学校, 1939. - X, VI, 574, 12p ; 21cm. [旧制富山高校蔵書]
[第166 ページに「ヘルン氏試験問題の一部」が写真版で出ている。原文は肉筆]

愚者の知恵 / 福原麟太郎著 東京 : 新潮社, 1957 271p ; 20cm
[読書の愉しみの章の3番目、「読書日記」のなかの3(19ページ)に・・・4日夕方、同室の英語科生、国府田国一と小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の墓に詣でた。・・・10行にわたるハーンに関する記述がある。また、同4(22ページ)にもこの月にはトマスという人の著「ラフカディオ・ハーン評伝」と・・・というハーンの記述がある]

母親のいるふるさと : 小泉八雲と萩原朔太郎 / 平川祐弘. - 東京 : 新曜

社, 1996. - p. 345-370 ; 19cm. - 「甘え」で文学を解く / 平川祐弘・鶴田欣也編より

白村随筆集 / 厨川白村著 ; 厨川蝶子編. - 東京 : 人文会出版部, 1926. - 250, 3p ; 19cm. - (明治大正随筆選集 ; 12)
[p. 151-158にかけて「小泉先生の旧居を訪う」があり]

半峯昔ばなし / 高田早苗述. - 東京 : 早稲田大学出版部, 1927. - 681, 6p ; 20cm.
[p. 394-396に「194 ラフカディオ・ハーン」の項があり、内ヶ崎作三郎氏のすすめによってヘルンを早稲田へ迎えたことが出ている]

ハーン未亡人との談話 / 野口米次郎著. p.127-140. (帰朝の記 / 野口米次郎著. - 東京 : 春陽堂, 1904. - 140, 13p ; 19cm. の中から)
寄贈 : 西崎一郎氏

ハーンとケーブルの奇妙な関係 / 平川祐弘著. - 東京 : 東京大学出版会, 1987. - p. 84-87 ; 19cm. - 開国の作法 (UP選書) より

異文化を生きた人々 / 平川祐弘編. 東京 : 中央公論社, 1993. 10. - 494p ; 20cm. - (叢書・比較文学比較文化 ; 2) ISBN:4120022552
[19人の紹介の中、「鎮魂と慰霊の語り手、小泉八雲 : 夢幻能との比較を手がかりに / 遠田勝」「ラフカディオ・ハーン : 世紀末のパフォーマー / ジョージ・ヒューズ ; 杉山直子訳」の2論文がある。]

イギリス文学史 / 斎藤勇著. - 第4増補版. - 東京 : 研究社, 1958. - xiv, 850p ; 23cm. (Takashi Saito : A historical survey of English literature, with special reference to the spirit of the times. 4th and final edition, rewritten, enlarged, and brought up-to-date)
[p. 468 Victoria 朝の中でヘルンについて述べている。「Hearn は文学上の有益な誤解によって学生に多大の影響を与えてたけれども、その批評は1880年代の見解に禍されていることが多い]

Japan's advance / by James A. B. Scherer. - Tokyo : Hokuseido Press, 1934. xviii, 348 p. ; 23 cm.
[ハーンにとって不可思議な、または知りたいものと思われたものは、おもにハーンから出た。.... Dickinson は彼のするどい科学的な心をもって、封建日本と本質的に違っていなかったという、ただ一つの明せきな観察をもって、ハーンのかすんでロマンチックな神秘のかずかずを切り開いたのである」 (p. 310 より)

ジェーンズとハーン記念祭 : 報告書 / ジェーンズとハーン記念祭実行委員会[編]. - 熊本 : ジェーンズとハーン記念実行委員会, 1992. - 335p ; 23cm
内容 : (ハーンに関係するもののみ) 前書き ・記念式典・記念シンポジウム < 報告 ジェーンズとハーン記念祭開会式 開会宣言 (実行委員会運営委員長 花立三郎) 主催者挨拶 (実行委員会会長 永野光哉) 来賓挨拶 (駐日アイルランド大使 ジェームズ・アソニー・シャキー) 来賓挨拶 (在福岡アメリカ領事館首席領事 エヴァンス・R・リア) ハーン顕彰の功労者 (故丸山学) ・記念講演 日本の近代化と西洋人 (芳賀徹) 熊本の思い出 : 丸山学先生、ハーンジェーンズのことなど (木下順二) ・シンポジウム 第2部 ハーン関係 講演 < 漱石とハーン (平川祐弘) ハーンと民俗学 : 丸山学氏を偲んで (小泉凡) 世界の中のハーン像と国際交流 (池田雅之) 質疑応答 閉会挨拶 (小堀富夫) ・祝賀レセプション報告 ・八雲忌記念の能と茶会報告 ジェーンズとハーン記念展 報告 ジェーンズとハーン展 : 展示資料目録 ・ジェーンズとハーン記念訪米団 報告 ・「へるんさんの熊本」公演報告 作者の言葉 : 「へるんさんの熊本」 (緒方惇) 演出家のことば : 1991年「ジェーンとハーン記念祭」 (徳山博之)

十字街頭を往く / 厨川白村著. - 東京 : 福永書店, 1923. 382, 31, 10p ; 20cm. [p. 352-362にわたり「小泉先生の旧居を訪う」があり]

解説世界文学史年表. - 東京 : 中央公論社, 1957. - xviii, 888p ; 27cm.

- (100) [H094.2]
[484ページに「ハーン」の項あり] 所在：書庫
- 蒲原有明研究：附有明逸詩抄 / 矢野峰人著。 - 増訂版。 - 東京：刀江書院, 1959. - 568p ; 19cm.
[p. 77-81にかけてヘルンの記述がある]
- 近代文学研究叢書 第7巻 / 昭和女子大学近代文学研究室編。 - 東京：昭和女子大学光葉会, 1957. - 514p ; 19cm.
[p. 283-514にかけて、1. 生涯 2. 著作年表 3. 業績 4. 資料年表 5. 遺族、教え子、業績および文庫にわたって詳細をきわめている。口絵に3ページにわたりハーンの写真集あり]
- 近代日本文学研究明治文学作家論 下巻 / 佐藤春夫、宇野浩二編。 - 東京：小学館, 1943. 392p ; 22cm.
[巻末の明治文学年表に八雲の来朝と死が出ている]
- 孤独な旅人：松江のラフカディオ・ハーン。 - 東京：河合出版, 1991. p. 342-377 ; 20cm. - 日本の雨傘 / フランシス・キング著 ; 横島昇訳 (フランシス・キング作品集) より
- 小泉先生そのほか / 厨川白村著。 - 東京：積善館, 1919. 435p ; 19cm.
[p. 1-48にわたり「小泉先生」として、1. ラフカディオ・ヘルン 2. 講義の上梓 3. その特色 4. おもひで 5. 教室にて 6. 教師と文章 7. 専門家と述べられている] 寄贈：西崎一郎氏
- 小泉八雲君への御贈位 / 尾崎行雄著。 p. 259-260. (近代怪傑録 / 尾崎行雄著。 - 東京：千倉書房, 1934. 301p ; 19cm. より)
- 小泉八雲の旧居 / 調査委員：野津左馬之助。 - 松江：島根県, 1933. - p. 14-43 ; 26cm. - 島根県史蹟名勝天然記念物調査報告 第5輯より
寄贈：島根県
内容：1. 八雲の世界文学上に於ける地位と其思想 2. 八雲の松江に來たりし事情と社会との交渉 3. 松江に於ける八雲初期の僑居 4. 松江に於ける八雲の最後の住居 5. 松江に於ける八雲会 6. 八雲会の保存する八雲の遺品と遺稿 7. 結論
- 小泉八雲先生。 - 熊本：熊本第五高等学校, 1938. - p. 527-536 ; 23cm. - (熊本第五高等学校習学寮史 昭和13年2月より) 電子複写
- 小泉八雲先生：二十五回記念式に / 土井晚翠著。 - 東京：博文館, 1932 - p. 74-79 ; 19cm. - (土井晚翠著「アジアに叫ぶ」より) 電子複写
- 昆虫・言葉・国民性 / 市河三喜著。 - 東京：研究社, 1939. - 378, 48p ; 19cm. 「山花水鳥皆知己」「ハーンに関する事ども」「小泉八記念館」「ハーンとチェンバレン」など
- 熊本英学史 / 田中啓介編。 - 東京：本邦書籍, 1985. - 426, 19p ; 23cm.
[第4部 第五高等中学校・第五高等学校の第2章に「ラフカディオ・ハーン / 中島最吉著」p. 286-310の章があり、ハーンと熊本、熊本の家庭生活、第五高等中学校におけるハーン、ハーンの世界観、が掲載されている]
- Lafcadio Hearn / Hugo von Hofmannsthal (Gesammelte Werke in Einzelausgaben. Prosa II. Frankfurt am Main : S. Vischer, 1951. p. 121-124) [所在：書庫]
[1904(明治37)発行の雑誌 Die Zeit に出たもので、ハーンの死を聞いてすぐペンをとったもの。「比べようのないペンから生まれたこれらの芸術品が、その中に結晶している芸術的な形式を正しく言い表すことは決してできない」とハーンを嘆賞している]
- Lafcadio Hearn's interpretation of Japan / Paul Murray. [The Japan Society of Proceedings 124. Autumn 1994] [寄贈：大庭定男氏]

松江の洞光寺 / 平川祐弘著. - 東京 : 東京大学出版会, 1987. - p.204-207 ; 19cm. - 開国の作法 / 平川祐弘著 (UP選書) より抜粋

明治文学復古帳 / 塩田良平. p. 306-313. (明治文学史集説 / 日本文学社編. - 東京 : 日本文学社, 1939. 5版. 313p ; 22cm)
[p.309-310に「軽蔑されたヘルン」の一項がある。ヘルンが東大に来たということを知りて明治29年9月の「文学界」が、新聞通信員をしていた人が大学教師とは物足らぬ、日本に帰化した人に篤学高学の士は少ないとあって、ヘルンを批評したというのである]

明治文化史 / 岡崎義恵編 第7巻 文芸編. - 東京 : 洋々社, 1953. - p.12, 590p (口絵写真4) ; 22cm. [所在: 書庫]
[p.85に「姑射(戸沢正保)には小泉八雲やロゼッティの訳がある」とあり、p.456には八雲に関する記述が4行あって、「必ずしも日本の正しい認識には達しておらず、夢幻的な神秘の世界として見られていることは、当時としては止むを得ないことであった」といっている]

明治時代に於ける西洋人の日本社会観 / 牧健二著. - (開国百年記念明治文化史論集 / 開国百年記念文化事業会編. - 東京 : 角川書店, 1952 の p.1-72 より) [所在: 書庫]
[日本社会の西洋学の問題性、日本社会と社会進化編、日本社会の東洋性の問題、日本社会の近代化の問題、日本社会の将来の予想の5部に分かれている。第5部において、全歴史的観察の上に立って日本民族の将来を憂えたものは「民族的没落予想説と名づけるべきもので、日本理解の第一人者ラフカディオ・ハーンの説であった」として、「彼は繊細な文学者の間隔を以て日本人の心理をうかがい、鋭敏な思索家の洞察を以て日本社会の内面をさぐり、「神国日本」を書いたのであって、ハーンの悪夢がその後半世紀とたたないうちに現実となったという]

夏目漱石 / 赤門文学会編 東京 : 高山書院, 1944 482p ; 19cm
[第1部「漱石と明治の精神」の章の文中(159ページ)に小泉八雲の後を受けて、文化大学に云々の記述あり]

夏の夢日本の面影 / 末松謙澄著. - 東京 : 育英社, 1906. - 14, 441p ; 22cm
[p.125にハーンが日本婦人をほめていること、p.127-130にハーンの著作とその生涯のことが出ている]

ねちねちした進み方の必要 : 文芸時評 / 中野重治著. - (青野季吉、中野重治編 現代文学論大系 第4巻 p.348-356 河出書房 1954より) [所在: 書庫]
[昭和14年7月(1939)に発表された論文の再録で、文学問題の解決には出来合の言葉によってすることを避けて、ねちねちと行かねばならぬという。「小泉八雲でさへ哲学や文学へ行こうとした当時の松江中学校の生徒に関して、彼等の獣肉を食はぬ事を理由として悲観的な見解を述べていたことなども、あっさり派は顧みる必要がある]

人間漱石 / 金子健二著. - 東京 : いちろ社, 1948. - 269p ; 19cm.
[p.36-63にわたって「ヘルン先生留任運動の余燼」という題名で、ヘルンから漱石への移り変わりに際して東大英文科に起こった波紋を写している。]

日米文化交流の百年 : 明治百年記念論集. - 東京 : アメリカ大使館広報文化局出版部, 1968. 178p ; 21cm. - 「日米フォーラム」よりのぬき刷り
[p.45-54に「ラフカディオ・ハーンに就いて / 矢野峰人」、東京アメリカ文化センター主催「日米文化交流百年」第3回研究発表会(1967年4月12日)における講演が掲載されている]

日米文化交渉史 4 学芸風俗編 / 開国百年記念文化事業会編. - 東京 : 洋々社, 1955. - 744p ; 22cm.
[この中で「日米文学交流史(木村毅)第4章(p.80)ハーンがホーソーンを激励したことを述べ、第7章「ホイットマンと日本」に(p.163-165)ハーンがホイットマンの模倣について日本人に警告したことを論じている。第9章(p.211-212)ではハーンのロングフェロー論を引用している。p.269には有名な女優がハーンの作に

- (102) [H094. 2]
感動した話、p.302 には逍遙のツシェークスピア訳にハーンの説が影響したことが出ている。なお、p.318 にはハーンのアーヴィングに関する説が紹介されている。]
- 日本文壇史 / 伊藤整著。 - 東京 : 講談社, 1958 3版。 - 323, 18p ; 19cm.
- 2. 新文学の創始者たち。 - 初版1954
[p.272-273にハーンの記述がある]
- 日本文学とフランス文学 : モーパッサンの輸入とその媒介者 2 / 伊狩章著。
p.217-236。 - (比較文学 : 日本文学を中心として。 - 東京 : 矢島書房, 1957. 3版 294p ; 22cm より) [p.221 上田敏を論じているところに、彼が早く八雲からモーパッサンについて教えをうけたことが出ている]
- 日本英文学の学統 : 逍遙・八雲・敏・禿木 / 矢野峰人著。 - 東京 : 研究社, 1961。 - 214p ; 18 cm.
[p.71-113 にかけて「小泉八雲」の章があり、内容は 1. 文芸批評家としてのハーン 2. 大学教授としてのハーン]
- 日本英雄伝。 - 東京 : 非凡閣, 1936。 - 601p ; 20cm。 - 第4巻 キーサ部
[p.254-259に「小泉八雲」伝あり]
- 日本近世英学史 / 重久篤太郎著。 - 京都 : 教育図書, 1936。
- 416 p. ; 22 cm. [4か所にハーンの名がでていますが、そのうちp.337 にはチェンムバレンとの関係が記されている]
- 日本とアイルランのいっそうの友好と親善を願い「ラフカディオ・ハーン・ライブラリー」開設。 - 東京 : 駿台アイルランド国際学校, 1996。 - p.15 ; 30cm。
- 駿台アイルランド国際学校パンフレットより 寄贈:小泉時氏
- 西田幾多郎全集 第18巻 書簡集。 - 東京 : 岩波書店, 1953。 - 631p ; 22cm。
内容: 92 明治41年(1908)9月28日 東京市西大久保308 田部隆次宛
[ハーンの伝記の編纂の件、スペンサー論について]
・100 明治42年(1909)1月11日 東京市西大久保308 田部隆次宛 [ハーンのスเปนサー論など]
・156 明治42年(1909)7月17日 東京市外西大久保308 田部隆次宛 [小泉八雲伝について]
・175 大正2年(1913)10月3日 東京市外西大久保308 田部隆次宛
・183 大正2年(1913)4月18日 東京市外西大久保308 田部隆次宛
・263 大正3年(1914)2月17日 東京市外西大久保308 田部隆次宛
- 楽天地獄 / 戸川秋骨著。 - 東京 : 現代ユウモア全集刊行会, 1929。 - 527p ; 19cm
[p.119-130に「小泉先生の旧居にて」 p.182-189 に「ヘルン先生の孟宗藪に仮睡して」の項がある]
- 盧花の芸術 / 前田河広一郎著。 - 東京 : 興風館, 1943。 606p ; 19cm。
[盧花が神秘的傾向を持っていた一例として「新春」の中から小泉八雲の「お貞の話」を引用している]
- 老記者の旅 / 徳富猪一郎著。 - 東京 : 民友社, 1937。 - 352p ; 20cm
[p.264に「小泉八雲文庫を観。」とあり。]
- 西洋文学の日本発見 / E. マイナー著 ; 深瀬基寛、村上至孝、大浦幸男訳。
- 東京 : 筑摩書房, 1959。 337, 15p ; 20cm。
[p.57-60にかけて「ラフカディオ・ハーンの通俗観」あり]
- 世界文学 / 古谷綱武著 東京 : 市ヶ谷出版, 1951 200p ; 19cm (文芸読本 Ⅲ・3)
[第3章 世界文学と少年時代の第1項 「聖書を知る」の83ページにハーンに関する記述がある。また、第5章 結論としての第1項「文学の力」(p.196~)にもハーンに関する記述がある。]

- 新体詩運動と西洋詩 / 太田三郎. p. 187-200. (比較文学序説 / 中島健蔵[ほか]. - 東京 : 河出書房, 1951. - 230p ; 22cm)
 [p. 199蒲原有明を論じたところに、有明がハーンの影響によってロゼッティに強くひきつけられたこと述べている]
- 新東京文学散歩 / 野田宇太郎著. - 東京 : 角川書店, 1952. 4版. - 324p ; 15cm. - (角川文庫 ; 384) 増補訂正4版
 [雑司ヶ谷墓地、癌寺界限、八雲終焉の地の諸項がある]
- 逍遙選集 第12巻 / 坪内逍遙著. - 東京 : 春陽堂, 1927 (昭和2).
 - p. 471-475に「小泉八雲」の感想を述べている。〔旧制富山高校蔵書〕
 [明治37年12月の文の再録。ハーンについての感想を述べたもので、「同氏の筆は頗る音楽的である」といっている]
- 漱石の思い出 / 夏目鏡子述. - 東京 : 改造社, 1928 (昭和3). - 8, 8, 506p (口絵写真33枚) ; 20cm. 〔旧制富山高校蔵書〕
 [p. 135に八雲の後をついで文科大学の講師になったが、当人ははなはだ不服であったことが出ている]
- 哲人何処にありや : 齊藤信策遺稿. - 東京 : 博文社, 1913. - 918p ; 23cm
 [p. 130-151に「小泉八雲氏を悼む」があり、原文は明治37年11月(1904)の稿]
- 兎糞録 / 和田垣謙三著. - 東京 : 至誠堂書店, 1913. - 345p ; 20cm.
 [p. 178-181に「故ハーン氏の邦人評」が掲載されている]
- 東京文学散歩 : 山の手篇. - 東京 : 角川書店, 1955. - 68p ; 19cm. - (角川写真文庫 ; 青3) [雑司ヶ谷墓地のハーンの墓、牛込富久町の自證院、西大久保旧居の焼跡をおさめる]
- 東京文学散歩の手帖 / 野田宇太郎著. - 東京 : 学風書院, 1955.
 - 132p ; 18cm. [目次には「小泉八雲」の項があり、21. 雑司ヶ谷墓地 45. 八雲終焉の地. にそれぞれハーンの記述がある]
- 東西文芸評伝 / 高安月郊著. - 東京 : 春陽堂, 1929. - 7, 470p ; 20cm
 [p. 118-126に「小泉八雲の日本観」の項あり]
- 上田敏集・厨川白村集・阿部次郎集 東京 : 改造社, 1929 527p ; 23cm (現代日本文学全集 第20篇)
 [厨川白村集の中に「小泉先生：近刊の講義集を読む」の項(p. 254-266)があり、ハーンの評伝がある。]
- ヴィクトリア朝詩歌論 / 矢野禾積. - (研究社新英米文学語学講座 12. - 東京 : 研究社, 1954. - xiv, 268p ; 19cm. より) 所在：書庫
 [p. 43, p. 184, p. 250 にハーンに関する記述がある]
- 八雲と五高 / 河原畑正行著. - (斎藤勇博士古希祝賀論文集「英文学研究」 1955. 抜刷p. 349-358. 寄贈：河原畑正行.
 [ハーンが熊本で三年の不愉快の経験を持ったのは、個人的な原因よりはむしろ社会的時代的原因によるもので、五高の廃止を査定した第二と第四議会に、また議会の解散による契約更新の遅延により多く由来したものではなかったかという]
- 安井てつ伝 / 青山なを著 東京 : 岩波書店, 1959.6 416p ; 19cm
 [「英国留学」の章の61ページに小泉八雲の記述がある。]
- 若き日の文学探究 / 古谷綱武著 東京 : 泰文堂, 195 再版 222p ; 18cm
 初版1951 [第3章の第5項に「小泉八雲と日本」(p. 164-177)があり、ハーンに関する評伝がある。]
- 在日フランス人の眼 / ポール・ボネ著. - 東京 : 角川書店, 1982.
 - 229p ; 15cm. - (角川文庫 5199. - 不思議の国ニッポン ; Vol. 2)

(104)

[H 0 9 4 . 2]

p. 99-104に「ハーン著 日本人の微笑」について述べている。

随筆文鳥 / 戸川秋骨著. - 東京 : 奎運社, 1924. - 336p ; 19cm.

[p. 225-233に「ヘルン先生の孟宗藪に仮睡して」の項があるが、大正12年の大地震のとき小泉巖家の隣に住んでいた著者が同家の竹やぶに避難して一夜を明かしたときのことを書いたものにしぎない]

随筆思慕の春 / 上田杏村著. - 東京 : 第一書房, 1934. 285p ; 22cm.

[p. 207-211に「ヘルンのこと」の項が掲載されている]

H 0 9 5 雑誌に含まれた論文、随筆

(Essays and articles contained in periodicals)

H 0 9 5. 1 創作、翻訳

(Original works and translations)

銀河のローマンス / ラフカディオ・ハーン述 ; 藤山思朗訳. - 富山 : 富山高等学校青冥寮図書部, 1931. - p.28-32 ; 22cm. - 青冥 第2号[1931]年
寄贈 : 尾沢庄太郎氏

ハーンとクールベ / 市河三喜著. - 愛書 第7輯 [昭和11年] 抜刷
寄贈 : 市河三喜殿
[1885年9月25日のNew Orleans Times-Democratにヘルンが書いたクールベ提督の略伝を紹介したもの]

"Jikininki" (1) (2) / by Lafcadio Hearn. (The hitherto unpublished manuscript version). - 東京 : 英語青年社, 1932. - p.150,186 ; 28cm. - 英語青年 第67巻 第5号、第7号 [昭和7年6月] より
[大谷繞石注. Hearn先生の「怪談」の中の"Jikininki" (食人鬼)の草稿を読者の一瞥に供する。草稿とは言い條、これも先生は殆んど完璧と思われたものらしく出版者へ送稿するばかりの体になって居る。読者は之を世に現れた姿のものとは比べ読まれたなら啓発されるところがあろう。]

絞刑記事 / ラフカディオ・ハーン作 ; 佐藤春夫訳. - 紀伊国屋出版部, 1934. - p.200-215 ; 23cm. - 行動 第2年 第10号 [昭和9年10月] より
[ハーン30年忌にちなんでヘルンの新発見遺稿を訳したもの]

ラフカディオ・ハーンの電文. - 東京 : 研究社, 1958. - 1p. ; 26cm. - 英語青年 第104巻 第7号 [昭和33年(1958)7月] より
[ハーンがロシア皇太子に見舞いの心を表す電文]

Lectures on prosody / Lafcadio Hearn. - 東京 : 研究社, 1929. - p.493-522 ; 21cm. - 英文学研究=Studies in English literature. Vol. IX, No. 4 [昭和4年(1929)10月] より
[1901年のハーンの講義を片山正雄氏のノートによって再録。The lectures of Hearn in 1901, reprinted from the notes, taken down by Prof. Masao Katayama]

西印度雑話 / ラフカディオ・ヘルン演説 ; 中村鉄太郎翻訳. - 東京 : 研究社, 1924. - p.55-61 ; 21cm. - 英文学研究 第5冊 [大正12年] より
[明治24年松江でヘルンが行った講演を中村鉄太郎氏が訳したものの再録]

Pathological=悩み / by Lafcadio Hearn ; 清水繁訳注. - 東京 : 研究社, 1930. - p.22-25 ; 24cm. 英語研究 第23巻 第4号 [昭和5年7月] より
[Kottoの中のPathologicalを訳注したもの]

想像力の価値 / ラフカディオ・ヘルン演説 ; 中村鉄太郎翻訳. - 東京 : 研究社, 1924. - p.7-30 ; 21cm. - 英文学研究 第5冊 [大正12年] より
[明治23年(1890)島根県教育会の会合で行ったハーンの演説を中村鉄太郎氏が翻訳したもの]

UBAZAKURA=乳母桜 / by Lafcadio Hearn ; 山本供平訳注. - 東京 : 英文学社, 1929. - p.278-279. - 英語と英文学 第3巻 第4号 (昭和4年3月15日) より
寄贈 : 西崎一郎氏

The value of the imaginative faculty / [by Lafcadio Hearn]. - 東京 : 研究社, 1924. - p.31-51. - 英文学研究 第5冊 [大正12年] より (Studies by members of the English Club, Imperial University of Tokyo, vol. V, p.31-51, Kenkyusha, 1924) [明治23年松江におけるヘルンの講演「想像力の価値」を

(106)

[H 0 9 5. 2]

中村氏の訳文からさらに英文に訳したもの] [The re-translation of the lecture by Hearn before the Educational Association of Shimane Prefecture in 1890, from the Japanese version by Tetsutaro Nakamura]

A with fulfilled (An extract from "Out of the East") / by Lafcadio Hearn.
— 東京 : 博文館, 1898. - p. 1-4 ; 23cm. — 外国語学雑誌 第2 巻
第1 号 [明治31年1 月] より 口絵にハーンの写真あり

H 0 9 5. 2 評伝 (Bibliographies and criticisms)

(雑誌に含まれているハーンに関する伝記、論文、随想、ニュースなど)

「安芸之助の夢」 : 小泉八雲「怪談」論序説 / 中西芳絵著. — 東京 : 文芸と批評の会, 1978. - p. 1-10 ; 21cm. — 文芸と批評 第4 巻 第10号 [昭和53年7 月] より 寄贈 : 早稲田大学文学部内文芸と批評の会殿

American literature in Japan / Takeshi Saito. — 東京 : 日本英文学会, 1940. - p. 581-584 ; 21cm. - Studies in English literature. Vol. 20, No. 4 [昭和15年(1940)1 2月] より
[Here is mentioned in this speech for overseas broadcasting delivered in Tokyo, 2 Aug. 1938]

アメリカの八雲研究 / 西崎一郎著. — 東京 : 大修館書店, 1964. - p. 4-5 ; 26cm. 英語教育 Vol. 13, No. 2(1964) <特集・ラフカディオ・ハーン>より

安藤文庫のこと / 岡田幸一. — 東京 : 研究社, 1970. - p. 292 ; 26cm.
— 英語青年 第116 巻第1 2号 [1 9 7 0年(昭和4 5年)1 2月] より

The artistry of Hearn's "At a Railway Station" / Alan Rosen. — 熊本 : 熊本大学教養部, 1995. - p. 53-61 ; 26cm. — 熊本大学教養部紀要 外国語・外国文学編 第30号(1995)より

Azure psychologyと明治美学 / 木村毅. — 東京 : 研究社, 1965. - p. 10-11 ; 26cm. — 英語青年 第111 巻 第12号 [昭和40年(1965)12月] より

B. H. Chamberlain に関する二つの資料とその背景 / 西野影四郎著. — 新湊 : 富山商船高等専門学校, 1974. - p. 164-172 ; 26cm. — 商船高等専門学校紀要 第6 号 [昭和49年3 月] 別刷 寄贈 : 西野影四郎殿

ブレイク移入史覚え書 / 矢野峰人. — 東京 : 研究社, 1957. - p. 55-56 ; 26cm. — 英語青年 第103 巻第10号 [昭和32年(1957)10月] より
[Lafcadio Hearn の東大に於ける講義は、Blake 紹介史上極めて重要なものとなって来る] ハーンはBlake について3 回講義しているという。「英文学史のなかで、Interpretation of Literatureの中で、またSome strong English literary figures の中で]

Browningでない? / 岡田幸一著. — 東京 : 研究社, 1952. - p. 41 ; 26cm.
— 英語青年 第98巻第7 号 [昭和27年(1952)7 月] より
[ハーンはOn reading (読書論)の終わりで、ハイネの翻訳は至難でBrowningなどの訳は不満だといっているが、Browningにはハイネの訳はないから、これはBrowning の誤りではないかという]

「Browningでない?」に答えて二つ / 足立誠、森亮. — 東京 : 研究社, 1952 - p. 40 ; 26cm. — 英語青年 第98巻第8 号 [昭和27年(1952)8 月] より
[R. Browningにはハイネの訳はないが、E. B. Browningにあるということ]

Browning が正しい (再説) / 染村絢子著. — 東京 : 研究社出版, 1987. - p. 48 ; 26cm. — 英語青年 第133 巻 第4 号 [昭和62年7 月] より 寄贈 : 染村絢子氏

文学散歩バス。 - 東京 : 研究社, 1953. - p.60 ; 24cm. - 英語青年 第99巻第5号(1953) [東京のハーン旧居あとに建てられた碑についての紹介がある]

文芸評論家としてのHEARN / 矢野禾積著. - 東京 : 河出書房, 1953. - p. -14 ; 21cm. - 人文学報(東京都立大学人文学会) No. 9 [昭和28年6月] より [今後の我が文学研究者が更めてHearn に立ち帰る事によって、世界人的立場から世界文学の一環として対象を見る事を学ぶのみならず、文学の味わい方と批評の仕方とを学ぶべきである事を叫びたい] 「これ程の偉大なる批評家文学教授者のunique な業績を目して「古い」などという一語の下に片づけ去らんとする人を時折見出す事は、われわれをしてその無理解をせめるよりも、その無暴さに対し、概嘆に堪えざらしめるのである]

文豪ヘルンのこと / 福原茂. - 東京 : 英語青年社, 1941. - p.124 ; 28cm. - 英語青年 第86巻 第4号 [昭和16年11月] より [8月20日のジャパン・クロニクル社の催しのハーン座談会で外人側の語る人間ハーンと日本人側の想像する文豪ハーンとが相当違っているのに驚いたと云って、その実例をあげている。ハーンは交際家ではなかったもので、外人側からは誤解されがちだということである]

文体論 — BriessenとWeber : Stil und Form bei Lafcadio Hearn. Von Dr. Fritz van Briessen. Junker und Dunnhaupt Verlag. Berlin 1937. Herman Melville : eine stilistische Untersuchung. Von Walter Weber. Philographischer Verlag. Basel, 1937 / 批評文 : 岩崎鑑一. - 東京 : 日本英文学会, 1939. - p.261-265. - 英文学研究 第19巻 第2 [昭和14年4月] の「批評紹介」より [Dr. Fritz van Briessen の Stil un Form bei Lafcadio Hearn. Berlin, 1937とWalter WeberのHerman Melville:eine stilistische Untersuchung. Basel, 1937とを批評紹介したもの。「Briessenの研究は語学文学両方面に於ける最近の研究の成果を総合せるもので、この点はたしかにその長である」]

A case of sympathetic understanding of the inner life of Japan : Lafcadio Hearn / Hirakawa Sukehiro. - Tokyo : University of Tokyo, [197-?]. - p.67-96 ; p.97-106 ; 21 cm. From "Japan in comparative perspective / by Hirakawa Sukehiro" University Tokyo. 寄贈 : 平川祐弘氏

Chamberlain as Hearn's friend [More letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn. Compiled by Kazuo Koizumi. Tokyo: The Hokuseido Press. 1937. の書評]. - 東京 : 日本英文学会, 1937. - p. 614-619 ; 24cm. - 英文学研究 第17第4 [昭和12年11月] のReviews. より [Mr. Mori introduces and criticizes "More letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn, compiled by Kazuo Koizumi]

チェンバレンとハーンの語法論争 / 原田純. - 東京 : 研究社, 1991. - p.287 ; 26cm. - 英語青年 第137巻第6号 [平成3年(1991)9月] より

父八雲の述懐 / 小泉一雄著. - 東京 : 書物展望社, 1934. - p.56-65 ; 23cm - 書物展望 第4巻 第3号 [昭和9年3月] より

父「八雲」を憶ふ / 小泉一雄著. - 東京 : 文芸春秋社, 1934. - p.204-209 ; 21cm. - 文芸春秋 第12年12号 [昭和9年12月] より

Chita 論 — ハーンと自然 / 東田敏夫. - 東京 : 川村短期大学, 1986. - p.15-23 ; 26cm. - 川村短期大学研究紀要 第6号 [1986年3月] より

「チタ」を読む : その構成原理と主題 / 山下宏一. - 鳩山町(埼玉県比企郡) ; 東京電機大学理工学部, 1984. - p.67-76 ; 26cm. - 東京電機大学理工学部紀要 Vol.6 [1984年7月] より

The Complete lectures の校訂に加って / 西崎一郎. - 東京 : 北星堂, 1934 - The Pole Star Monthly. [昭和9年(1934)10月] より 新聞切抜帳1, 48ページ [ハーンの講義集のアメリカ版と日本版との違いを述べている]

- (108) [H095.2]
「クレオ」とラフカディオ・ハーン / 仙北谷晃一著. - 東京 : イタリア書房
1989. - p. 7-12 ; 25cm. - イタリア図書 Nuova serie No. 3(1989.5) より
寄贈 : イタリア書房殿
- 第5 高等学校におけるラフカディオ・ハーン : Lafcadio Hearn at the Dai-Go
-Koto Chugakko / 河原畑正行著. - 熊本 : 熊本大学法文学会, 1964.
- p. 48-64 ; 22cm. - 法文論叢 第17号 [昭和39年11月] 抜粋 寄贈 : 熊本大学
法文学会殿 河原畑正行氏寄贈の抜刷も所蔵
- A discovery of Early Hearn essays / Albert Mordell. - Tokyo : Cross Continent,
1959. - p. 41-54 ; 26 cm. - Today's Japan. Vol. 4, no. 1, Jan. 1959より
- 童話を作って五十年 : 雪降る国の詩人の獨語 / 小川未明著. - 東京 : 文
芸春秋社, 1951. - p. 178-186 ; 21cm. - 文芸春秋 第29巻 第2号 [昭和26年
2月] より [p. 182に卒業論文は「ラフカディオ・ハーンを論ず」ですとある]
- Dream of woman writer fulfilled with memoirs of Lafcadio Hearn printed.
- Tokyo : Hokuseido, 1933. - Pole Star Monthly, Vol. IV, No. 5(Dec. 1,
1933 (昭和8年) より 新聞切り抜き帳1、32ページ
["The Times-Picayune," New Orleans, Aug. 18, 1933 から転載。バレル女史の「
ヘルン回想記」の紹介]
- 英米における「落花枝に帰る」の句 / 町野静雄. - 東京 : 青山学院女子短期
大学, 1970. - p. 65-76 ; 21cm. - 青山学院女子短期大学紀要 第24輯 [昭和45
年(1970)11月] より
[第3章でハーンの「A Japanese Miscellany」から俳句の紹介を述べている]
- 英文学畸人伝[Some strange English literary figures of the Eighteenth and
Nineteenth Centuries in a series of lectures by Lafcadio Hearn / edited by
R. Tanabe. The Hokuseido Pressの批評紹介] / 舟生平蔵著. - 東京 : 研
究社, 1928. - p. 124-127 ; 24cm. - 英文学研究 第8巻第1 [昭和3年1月]
より
- 英文修業五十五年(5) / 伊地知純正. - 東京 : 研究社, 1955. - p. 23-25 ;
26cm. - 英語青年 第101巻第4号 [昭和30年(1955)4月] より
[伊地知氏が中学五年のとき教えを受けた深江先生がハーンの教え児であって、ハ
ーンがGibbonの文章を推賞したことをこの先生から聞いて感銘をうけたという]
- 英文修業五十五年(7) / 伊地知純正. - 東京 : 研究社, 1955. - p. 26-28 ;
26cm. - 英語青年 第101巻第7号 [昭和30年(1955)7月] より
[Lafcadio Hearnに専念す」という小題目でハーンの著書を全部読んだことを述べ
ている]
- 英文修業五十五年(8) / 伊地知純正. - 東京 : 研究社, 1955. - p. 24-25 ;
26cm. - 英語青年 第101巻第8号 [昭和30年(1955)8月] より
[Lafcadio Hearnに専念す(続)』と題してハーンに傾倒したことを述べている]
- 英語教師としての小泉八雲 / 島谷照夫著. - 西宮 : 関西学院大学, 1956.
- p. -11 ; 21cm. - 論攷 : 関西学院大学一般教育諸学研究 第2号 (語学・文学
特集) [昭和31年3月] より 寄贈 : 関西学院大学殿
[「教授法が如何にたくみであり法に適合していたとしても、その教師に力と愛と熱
がなければ真の教育は出来ない事をハーンの生涯は示している]
- 英語と日本語の"Hybridism" : Lafcadio Hearnの表現から / 柳瀬正人.
- 大月 : 大月短期大学, 1971. - p. 65-71 ; 21cm. - 大月短大論集 第2
号 [1971年3月] より
- 英国人の見た日本人 / 築島謙三. - 東京 : 東洋文化研究所, 1970. - p. 1-35
; 21cm. - 東洋文化研究所紀要 第52冊 [昭和45年(1970)3月] より

- English studies in Japan, 1956. - 東京 : 研究社, 1957. - p.57-83 ; 26cm.
 - 英語青年 第103 卷第10号〔昭和32年(1957)10月〕より
 [p.69 American Literature の項に Lafcadio Hearn の項がある]
- "The exotic picture are unforgettable" the Observer comments on Loti's stories published by the Hokuseido. - Tokyo : Hokuseido, 1933. - The Pole Star Monthly Vol. IV, No. 5〔Dec. 1, 1933〕より 新聞切り抜き帳1、33ページ
 [ピエル・ロチ短編集を紹介]
- "Father and I"を読んで / 松下巖. - 東京 : 英語青年社, 1936. - 英語青年 第75巻第1号 切抜帳 1, p.55
- フェノロツサと小泉八雲に就いて / [井上哲次郎著]. - 東京 : 文学社, 1937. - p.22-24 ; 23cm. - 国語教室 第3 巻第3 号〔昭和12年10月〕教材研究室より 寄贈:文学社殿
 [「文芸春秋」(昭和2年)から転載したもの。フェノロサと八雲との関係を書いたものでなく、当時の文科大学長としてこの二人の外人教師について別々に述べたもの]
- フェノロツサとラフカディオ・ハーン : ふたつの未発表書簡をめぐって / 山口静一著. - 埼玉 : Saitama University, 1979. - p.61-72 ; 26cm. - HERON. Vol. 13(1979年3月)別刷 寄贈:山口静一氏
- Folkloristハーンのスラング集 / 梶谷泰之. - 東京 : 研究社, 1977. - p.25-27 ; 26cm. - 英語青年 第123 巻 第8 号〔昭和52年(1977)11月〕より
- 風土 : 小泉八雲記念号 第1冊. - 松江 : 風土社, 1950. 40p ; 22cm.
 内容: 鮎の子(小泉一雄) 母を偲ぶ(小泉清) 大社のおたみさん(市河三喜) 出雲と八雲(阿部知二) 和紙と八雲(寿岳文章) ラフカディオ・ハーン氏とヘルン先生(駒田信二) 小泉家のうちとそと(森亮) 八雲あれこれ(小瀧空明) ヘルン二十周年忌に因みて(矢野峰人) 俳句八雲旧居(中田十四夜) 太上感応篇(増田渉) 明治二十三年十二月(桑原洋次郎) 二つの日本(森亮) 八雲時代の松江(太田直行) ハーンの足の裏(梶谷延) 「へろん」さんと大黒舞(大坂まさ) 八雲の第二住居時代(石村春荘) 短歌八雲を憶う(小瀧空明) 点心 扉(雨の穴道湖)(小泉清)
- 古本にかける妙味 / 渡辺沢身. - 東京 : 日本古書通信社, 1976. - p.12-13 ; 26cm. - 日本古書通信 第389 号〔昭和51年(1976)9月〕より
- 外人教師ワレット・アレキサンドル及びタットルについて(続ハーン資料) / 梶谷延. - 松江 : 島根大学, 1964. - p.13-26 ; 26cm. - 島根大学論集 人文科学 第13号〔昭和39年(1964)2月〕より
- 外国人教師 / 吉阪俊蔵著. - 東京 : 学士会, 1955. - p.30-36 ; 21cm.
 - 学士会月報 第660 号〔昭和30年7月〕より
 内容: 3. 王堂チェンバレン。
 [4人の外国人教師について書いた中にチェンバレンがあって、その中に「チェンバレンが日本を去った理由は健康上ということになっているが、外にハーンとの交情の関係があったのではなかろうか・・・」とある。]
- 外国人教師の悲劇 : ベルツとハーン / 喜多村和之著. - 東京 : 東京大学出版会, 1984. - [9p.] : 23cm. - (「国際化」の中の大学 4) UP (東京大学出版会) No. No. 145(1984) 抜刷(電子複写) 寄贈:染村絢子氏
- 下駄の音 / 平川祐弘. - 東京 : 新潮社, 1981. - p.150-151 ; 21cm.
 - 新潮 第78巻 第2 号〔昭和56年2月〕より
- 五狐の塚 / 高田力著. - 富山 : 富山高等学校尋常科雑誌部, 1932. - p.2-3 ; 23cm. - [富山高等学校] 校友会誌「剣」 創刊号〔昭和7年2月〕より
 寄贈:尾島庄太郎氏

(110) [H095. 2]

[熊本の第五高等学校にヘルンが教えていたときのこと、学生が運動場の片隅で狐の穴をを発見して、五匹の狐を養っていた。ヘルンがその狐を見にきて、金一封をおいて帰ったという]

八戸の「コイズミヤクモ」 / 広瀬朝光著. - 盛岡 : 岩手大学人文社会科学部 1981. - p.175-190 ; 21cm. 歴史と文化 : 岩手大学人文社会科学部アジア (日本学) 研究編 [1981] より抜粋 寄贈 : 岩手大学人文社会科学部殿

萩原朔太郎と小泉八雲 : 「日本への回帰」まで / 小川敏栄著. - 東京 : 朝日出版社, 1985. - p.74-93 ; 21cm. - 比較文学研究 第47号特輯「小泉八雲」 [1985年4月] より 寄贈 : 東大比較文学会

俳句の英訳について / 諸留寛. - 東京 : 大東文化大学, 1970. - p.78-94 ; 21cm. - 英文学論叢 (大東文化大学英米文学会) No. 2 [1970]より

ハケルダマ : ハーンの記事と藤村のスケッチ (平川祐弘) ・ハーンのネルヴァル論 (入沢康夫) ・ハーンのマゾヒズム ・「おしどり」を読む (西成彦) ・胃袋から心へ : ハーンと食のグロテスク (A・ローゼン、西成彦訳) ・増殖する雪おんな : 「雪おんな」小論 (藤原万巳) ・「日本 : 一つの試論」補注 (斉藤正二) 般若とプラジュニャ : ハーンにおける二つの仏教 (竹内信夫) ・「へるん文庫」とハーン (村井文夫) ・ハーンをめぐる二つのアクチュアルな問題 (仙北谷晃一) ・猫をめぐる : チェンバレンとハーン (小川敏栄) ・ビスランドとハーン : 「76日間世界一周」の女性との交流 (工藤美代子) ・ハーンの父母像とその変容 : 自筆草稿を手がかりに (関田かおる) ・新「江ノ島行脚」 (辻原登) ・「神々の国の首都」取材ノートを読む : 創作過程の一考察 (横山純子) 八雲星雲 : ハーンをとりまく日本文学小史 (速川和男) ・ラフカディオ・ハーン : イギリスと日本のあいだで (G・ヒーズ、玉井 [日へんに章] 訳) ・カリブ雑記 : ハーンのことなど (西江雅之) ・修辞としてのギリシア (遠田勝) ・ハーンのエスラム諸国物語 : 主要作品の典拠と注解 (杉田英明) ・ケルトの西、シンシナティの南 : クレオールするバイガニスト (徹底討論・西成彦/鶴岡真弓) ハーン/八雲主要著作解題 (牧野陽子) ・ラフカディオ・ハーン/小泉八雲略年譜 東京 : 青土社, 1995.4. - p.74-301 ; 23cm. - 「ユリイカ : 詩と批評」第27巻4号 (1995年4月号) 増頁特集「ラフカディオ・ハーン」よりハーン関係論文のみを抜粋

薄幸の美女たちの一考察 その1 / 白神栄子. - 岡山 : 就実女子大学, 1982 - p.25-38 ; 21cm. - 就実英学論集 創刊号 [昭和57年(1982)11月] より

薄幸の美女たちの一考察 その2 / 白神栄子. - 岡山 : 就実女子大学, 1983 - p.183-198 ; 21cm. - 就実論叢 第13号その1 (文芸) [昭和58年(1983)11月] より

薄幸の美女たちの一考察 その3 The case of O-Dai をめぐって / 白神栄子. - 岡山 : 就実女子大学英文学会, 1984. - p.71-89 ; 21cm. - 就実女子大学英学論集 第2号 [昭和59年(1984)3月] より

ハーバート・スペンサーの書翰とラフカディオ・ハーンの論評 / 木村駿吉著. - 東京 : 学士会, 1935. - p.13-16 ; 22cm. - 学士会月報 第573号 [昭和10年12月] より 寄贈 : 学士会殿 [神国ジャパンの終わりに出ているスペンサーの日本国策助言の手紙とハーンの論評を紹介したもの]

羽仁春氏と埋もれた長詩 / 中村精著. - 東京 : 三笠書房, 1933. - p.35-38 ; 23cm. - 書物 第1年 第2冊 [昭和8年11月] より [ハーンに私淑していた羽仁氏のことを述べている]

Hearn and Chamberlain [Letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn. Compiled by Kazuo Koizumi. Tokyo: The Hokuseido Press, 1936 のReviews] / S. L. - 東京 : 日本英文学会, 1936. - p.621-623 ; 24cm. - 英文学研究 第16巻第4 [昭和11年10月] のReviews より

[The reviewer introduces and criticizes the "letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn" compiled by Kazuo Koizumi. The writer of the review is glad, that the very letters, that were said to have been burnt up, "are here presented before our eyes"]

- Hearn and the Gastronomic Grotesque / by Alan Rosen. - 熊本 : 熊本大学教養部, 1994. - p.45-63 ; 26 cm. - 熊本大学教養部紀要 外国語・外国語文学編[1994年1月]より
- Hearn and Japanese thought / Mitake Katsube. - Tokyo : Cross Continent, 1959. - p.87-90 ; 26 cm. - Today's Japan. Vol. 4, no. 1. Japn. 1959より
- ハーン文学と書簡 / 津田昇. - 大阪 : 大阪経済大学, 1970. - p.80-93. - 大阪経大論集 第73号〔昭和45年(1970)1月〕より
- ハーン文学と夢 : 作品にみられる夢の影響 / 白神栄子著. - 岡山 : 就実女子大学英文学会, 1985. - p.73-102 ; 22cm. - 就実英学論集 第3号〔昭和60年3月〕より 寄贈 : 就実女子大学英文学会殿
- ハーン学者が辿る英文学の道 / 津田昇著. - 東京 : 開隆堂, 1965. - p.88-90 ; 26cm. - 高校英語教育 第6巻第4号〔昭和40年10月〕より 寄贈 : 津田昇氏
- ハーン、百年後の解釈 / 平川祐弘・講演. - 金沢 : 金沢大学附属図書館, 1994. p.8 ; 26cm. - 金沢大学附属図書館報「こだま」第113号(1994)年4月)平成5年度第4回図書館文化講演会要旨(1月27日)より
- ハーン遺稿英文学史[A history of English literature / by Lafcadio Hearn. Vol. 1 The Hokuseido Press, 1927.の批評紹介]. - 東京 : 研究社, 1927. - p.628-634 ; 24cm. - 英文学研究 第7巻第4号〔昭和2年10月〕より
- Hearn memorial museum formally dedicated. - Tokyo : Hokuseido, 1934. - The Pole Star Monthly. Vol. VI, No. 6 [July 1, 1934 (昭和9年)]より 新聞切り抜き帳1、45ページ
- ハーンの跡を訪ふ(1) / 市河晴子. - 東京 : 英語青年社, 1933. - p.331-332 ; 23cm. - 英語青年 第68巻第10号(1933)より [あるれるばかりの才筆でうつされている]
- ハーンの跡を訪ふ(2) / 市河晴子. - 東京 : 英語青年社, 1933. - p.8-9 ; 23cm. - 英語青年 第68巻第11号(1933)より [ハーンに対する深い愛をもって記念館設立の急務を説いている]
- ハーンの跡を訪ふ(3) / 市河晴子. - 東京 : 英語青年社, 1933. - p.7-9 ; 23cm. - 英語青年 第68巻第12号(1933)より [ハーンが一雄氏に英語を教えるとき、その上に単語を書いた古新聞から市河女史はその英語を筆写しながら、ハーンのスバルタ式教授法を批判している]
- Hearn の英文学史 / 府川哲雄. - 東京 : 研究社, 1930. - p.135-141 ; 19cm. - 英文学研究 第10巻第1号(1930)より
- ハーンの「異邦文学残葉」をめぐって / 村井文夫. - 富山 : 富山大学人文学部, 1996. p.249-270 ; 26cm. - 富山大学人文学部紀要 第23号(1996)より
- ハーンの日本文化観 : 「日本の面影」を書くまでのハーンについて / 築島謙三 - 東京 : 東京大学東洋文化研究所, 1956. - p.237-275 ; 21cm. - 東京大学東洋文化研究所紀要 第11冊(1956) [ヘルンの日本観はロマンチックで感情的にすぎると考えられているが、よく考えると、必ずしもそうではなくて、「神国日本」に深い日本の洞察への努力がみられる。氏の性格は臆病であったといわれるが、元来そうだったとは考えられない。日本渡来もきわめて自然な行きであった。このように著者は論じている] 寄贈 :

東洋文化研究所蔵

ハーンの露国皇太子見舞い電報 / 梶谷延. - 東京 : 英語青年社, 1958.
- 英語青年 第104 巻第7号(1958)

Hearn 先生の"Ants"の草稿 / 大谷正信. - 東京 : 研究社, 1931. - p.1-15
; 21cm. - 英文学研究 第11巻第1 (1931)より

Hearn の社会思想 / 穂積文雄. - 東京 : 英語青年社, 1950. - p.17 ; 23cm.
- 英語青年 第96巻第6号(1950) [彼は利己心が支配する資本主義社会をいとい
自由を抑える社会主義社会をにくむ。彼はその理想とする社会の万能性を人間の完
全化可能性に求める。しかし、それはあまりに遠い将来のこどであるので、「他人
を苦しめないようにして汝の欲するがままにせよ」を人間の理想的なあり方とした]

Hearn 書簡集. - 東京 : 研究社, 1926. - p.122-126cm ; 21cm. - 英文学研
究 第6巻第1号より

Hearn と Chamberlain / 村田祐治. - 東京 : 英語青年社, 1934. - p.12 ;
23cm. - 英語青年 第70巻第7号(1934)
[ハーンのような世界的大天才を遇すること薄かった当局をせめると同時に、日本
を去ってから日本に対して不平をまらず Chamberlain には愛想をつかしたという]

ハーンとチェンバレン / 市河三喜. - 東京 : 竹柏出版, 1936. - p.7-9 ;
21cm. - 心の花 第40巻第13号より

ハーンとチェンバレン / 市河三喜. - 東京 : 国民教育会, 1937. - p.4-6 ;
21cm. - 文検世界 第23巻第1号より
[上記「心の花」に出た同名の文と全く同じ内容]

ハーンとクレオール : 「ヘルン文庫」の形成をめぐる / 村井文夫. - 富山
富山大学人文学部, 1994. p.263-284 ; 26cm. - 富山大学人文学部紀要 第20号
(1994)より

ハーンと民謡に就て / 井沢友雄. - 大阪 : 大阪商業大学商経学会, 1958.
- 大阪商業大学論集 第11号(1958)
[ヘルンは詩を作らない田園詩人であったという考えから、彼が伯耆・出雲の各地
においてどんな風に民謡に接してこれを愛したかを叙述している]

Hearn 蔵書の余白に記入されたる短評 / 高田力. - 東京 : 研究社, 1929.
- p.133-148 ; 21cm. - 英文学研究 第9巻 第1 昭和4年(1929)より

へるん 第1号(昭和40年9月). - 松江 : 八雲会, 1965. - 16p ; 21cm.
内容: 松江時代のヘルン先生の授業ぶり(高橋節雄) ヘルン先生と私(白築祐久)
小泉一雄氏と小山久二郎氏(漢東種一郎) Katchiu-yashiki(根岸啓二)
ヘルンと地行場の稲荷さん(奥原国雄) 「へるん」誌の発刊を祝う(石倉俊寛)
旧八雲会の思い出(和田正則) 母を慕う心(梶谷泰之) 八雲の文学と人生観(その1)
(池野誠) 「へるん」談話室(荒木八洲雄、白築和夫、渡辺孝三)
寄贈: 染村絢子氏

へるん 第2号(昭和40年11月). - 松江 : 八雲会, 1965. - 16p ; 21cm.
内容: 高橋元市長特集: ヘルン先生遺愛の文机を囲りて(高橋節雄) 座談会・
ハーンと高橋さん(和田正則、本田秀夫、漢東種一郎、藤原治、梶谷泰之) ハー
ン文学の再認識(斎藤強) わたしとハーン(富士川和男) 八雲の文学と人生観
(その2)(池野誠) 「へるん」談話室(祐源八麿ほか) 寄贈: 染村絢子氏

へるん 第3号(昭和41年6月). - 松江 : 八雲会, 1966. - 16p ; 21cm.
内容: 左顧右盼(小泉一雄) ふるさと松江(小泉一雄) 小泉一雄氏の思い出(中
和夫) 考証報告二つ(梶谷泰之) 八雲の文学と人生観(その3)(池野誠)
八雲会だより――故一雄氏の病状、高橋翁の声―― 寄贈: 染村絢子氏

- へるん 第4号(昭和41年9月) . - 松江 : 八雲会, 1966. - 16p ; 21cm.
 内容: ヘルンの人間発見(丸山学) 解嘲(寿岳文章) 4月31日付けの手紙(梶谷泰之) 小泉八雲先生の片貌(西村房太郎) 八雲の文学と人生観(池野誠) へるん談話室—思い出(白築祐久) ヘルン先生葬式の日のこと(故落合貞三郎) 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第5号(昭和42年6月) . - 松江 : 八雲会, 1967. - 16p ; 21cm.
 内容: ハーン的美保関紀行(森亮) 民謡学者としてのハーン(原一郎) ヘルン先生と二人の友(落合貞三郎) 八雲ゆかりの人:(梶谷泰之) 思い出(藤崎ヲトキ) 八雲先生を憶う(玉木光栄) 八雲の文学と人生観(池野誠) へるん談話室—ヘルンとモラエス(白築祐久) ハーンと学生牧野茅(梶谷泰之) 淡路の大谷繞石(森亮)—小泉八雲懸賞論文受賞発表 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第6号(昭和43年3月) . - 松江 : 八雲会, 1968. - 16p ; 21cm.
 内容: ラフカディオ・ハーンの異国趣味(長谷川公司) 小泉先生の余光(田部隆次) 「ヘルンを訪ねる」を読む(矢野峰人) 皇太子ご夫妻を小泉八雲記念館にお迎えして(梶谷泰之) ハーン文学碑のことば(森亮) へるん談話室—小泉八雲文学碑完成(ライオンズクラブ) ハーンが見た鎌倉(森亮)—八雲会だより—矢野峰人博士の講演会 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第7号(昭和43年10月) . - 松江 : 八雲会, 1968. - 16p ; 21cm.
 内容: 小泉八雲覚え書(大西忠雄) 漱石のみたヘルン(渡辺沢見) Gombo Zhebesのことなど(原一郎) ヘルンと隠岐(池野誠) へるん談話室—小泉八雲さんの思い出(白築祐久) ハーンと浅野和三郎(森亮)—小泉八雲懸賞論文受賞発表 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第8号(昭和44年6月) . - 松江 : 八雲会, 1969. - 16p ; 21cm.
 内容: 八雲と「楠木正成の歌」(本田秀夫) ハーン二つの眼(富士川和男) 文学に現われたハーンの世界(長谷川公司) ハーンの世界(原一郎) 京都とハーン(梶谷泰之) わが国近代文化とハーン(池野誠) へるん談話室—ヘルンは主筆でなかった(奥平光) ハーン・八雲(はうん) 説(梶谷泰之) 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第9号(昭和45年6月) . - 松江 : 八雲会, 1970. - 16p ; 21cm.
 内容: 小泉八雲と仏教(大西忠雄) 欧州のハーン調査を終えて(池野誠) 市河・丸山両先生の逝去(森亮) 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第10号(昭和48年9月) . - 松江 : 八雲会, 1973. - 16p ; 21cm.
 内容: ラフカディオ・ハーンと日本の作家: 佐藤春夫と徳富蘆花の場合(速川和男) 大谷正信先生の思い出(飯塚俊夫) 書簡より見た松江時代の八雲(池野誠) へるん談話室—外山正一と小泉八雲(渡辺沢見) 佐川春水先生の八雲観(池野) 寄贈: 染村綾子氏
- へるん 第11号(昭和49年4月) . - 松江 : 八雲会, 1974. - 20p ; 21cm.
 内容: 松江と八雲の史蹟(池野誠) 警世家ラフカディオ・ハーン(西野影四郎) ハーンの「赤い婚礼とホーソンのラパチーニの娘」(鶴木奎治郎) 稲垣巖遺稿特別掲載について(池野誠) 遺稿「大男と小女」(稲垣巖) 伝承文学と八雲: 松江とんぼつり歌考(池野誠) 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第12号(昭和50年6月) . - 松江 : 八雲会, 1975. - 20p ; 21cm.
 内容: ハーンと大谷正信に関する珍資料(梶谷泰之) 焼津の八雲旧居住(北山宏明) 松江に於けるヘルン先生関係記事(矢部太郎) ヘルンとセツの結婚(池橋達雄) 島根県教育会館の現地保存を訴える(池橋達雄) 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第13号(昭和51年7月) . - 松江 : 八雲会, 1976. - 28p ; 22cm.
 内容: 東大赴任直前のハーンの行動について(梶谷泰之) ヘルンの肖像(その1) 辺沢身) ”小泉八雲京日記”を完成して(佐々木勘一郎) 松江におけるヘルン先生関係記事(矢部太郎) ヘルンとセツの結婚(2)(池橋達雄) ハーンと女性(白神栄子) 寄贈: 染村絢子氏

(114) [H095.2]

- へるん 第14号(昭和52年7月)。 - 松江 : 八雲会, 1977. - 25p ; 22cm.
内容: 東大赴任直前のハーンの行動について(続)(梶谷泰之) 小泉八雲とエドガー・アラン・ポーについての覚書(中西善弘) 八雲文学遺聞(本田秀夫) 八雲の日本に対する予言・警告(高西直樹) ヘルンの肖像(その2)(渡辺沢身) ベインズ氏のハーン「詩人論」(小林定義) 萩と雁と石灯籠と(漢東種一郎) ハーンとアメリカ俗語(梶谷泰之) 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第15号(昭和53年6月)。 - 松江 : 八雲会, 1978. - 46p ; 22cm.
内容: ハーンの研究について二三のこと(梶谷泰之) チェンバレン宛ハーンの手紙(渡辺沢身) ラフカディオ・ハーンと「怪談牡丹灯籠」(速川和男) 小泉八雲の日本芸術観(高西直樹) ラフカディオ・ハーンとイヴトー校(西野影四郎) ラフカディオ・ハーンの英語(尾崎孝) 北海道新聞に掲載された記事――「小泉八雲」の数奇な生涯に打たれ来日前の生活、論文に=Literary influences on Lafcadio Hearn / by David H. Waterbury. Linguist としてのLafcadio Hearn (中西善弘) 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第16号(昭和54年6月)。 - 松江 : 八雲会, 1979. - 22p ; 22cm.
内容: ハーンと内村鑑三こぼれ話①(梶谷泰之) 旧松江中学校殿町校舎(本田秀夫) 志賀直哉とハーンと松江(漢東種一郎) ヘルン生誕130年記念事業として(渡辺沢身) 1. 八雲の性格 2. 小泉八雲の日本女性観(高西直樹) 「小泉八雲とヨーロッパ」後記(西野影四郎) ジャーナリストへるんの不思議な感覚(鶴木奎治郎) 翻訳ヴァーノン・パターソン「日本国の教師、ラフカディオ・ヘルン」其の1(中西善弘訳) 挨拶(梶谷泰之) 故鈴木勝子さんに感謝して、こぼれ話② 会員西野影四郎氏の好著(梶谷泰之) テレビ「ふるさとに歴史あり」等 寄贈: 染村絢子氏
- へるん 第17号(昭和55年4月)。 - 松江 : 八雲会, 1980. - 32p ; 22cm.
内容: 小泉八雲生誕百三十年を迎えて(中村芳二郎) 八雲生誕百三十年に寄せて(小泉時) ハーン生誕百三十年にあたり最近の研究二つを眺めて――西野影四郎池橋達郎両氏の研究をたたえる(梶谷泰之) 八雲作品の翻訳閑談――桜井鷗村のこと(本田秀夫) 小泉八雲遺跡めぐり: 旧居と記念館(安達赤土) その頃は(栗原弘子) 古書界に出た大谷正信の英作文(渡辺沢身) ハーンの原稿(染村絢子) 「ハーンの足跡を求めて」(1)シンシナティの旅、その1(中田賢次) 「へるん」探訪――東京にて(尾崎孝) へるんの母ローザの写真を求めて(西野影四郎) 詠唱(秀川尚子) 埼玉と小泉八雲(松村じゅん) 翻訳ヴァーノン・パターソン「日本国の教師ラフカディオ・ヘルン、其の2」(中西善弘訳) ヘルンさんとデレンさん(鶴木奎治郎) 小泉八雲と日本の庶民(高西直樹) 炎と光の人小泉八雲(西野影四郎) 根岸菖蒲[アヤメ]さんの逝去を悼む(梶谷泰之) 寄贈: 八雲会殿
- へるん 第18号(昭和56年7月)。 - 松江 : 八雲会, 1981. - 26p ; 22cm.
内容: 口絵・ハーン生誕百三十年祭記念写真及び小泉時氏と尚子夫人写真・時氏作短歌と俳句 松江で考えたこと(渡辺沢身) 卒業論文からの抜粋――「怪談」の草稿から初版本に至る移動の統計的傾向など(染村絢子) ハーンの一つの視点(高木大幹) 偶然(福田勲) 徳島のモラエスの跡を尋ねて(藤原巳代子) ヘルン・漱石・J・ロンドン(鶴木奎治郎) 八雲像余談――気にかかること二三(田中岩太郎) その頃は(2)(栗原弘子) ヘルンの足跡をたどって――潜戸[クゲド]と隠岐(西野影四郎) ハーンと土井英一(速川和男) 「へるん」探訪――東京にて(尾崎孝) 長浜村の泉と雨乞いの行事(高西直樹) 詩――松江城郷四季(吉村一夫) ハーンの足跡を求めて①シンシナティの旅その2(中田賢次) 八雲旧居尋訪(本田秀夫) 朝日新聞の誤報(依田昌彦) 小泉八雲生誕百三十年祭に思う(梶谷泰之) 西田敬三氏を偲んで(梶谷泰之) 寄贈: 八雲会殿
- へるん 第19号(昭和57年6月)。 - 松江 : 八雲会, 1982. - 46p ; 22cm.
内容: カット 飛驒白川郷萩原合掌集落 釣のないイロリ(萩町)(小泉凡)
・研究篇 八雲の遊泳と喫煙(小泉時) 八雲忌と加藤鱸人(漢東種一郎) 梅謙次郎と八雲のことなど(後藤昂) 淑のこと(鉦鹿敏子) ヘルン著作集の「内容見本」について(渡辺沢身) 八雲研究班の傍証(中和夫) ハーンと栗原基(野坂東作) 「雪女」小考(中田賢次) 概説・小泉八雲の生きた時代の一面(西野影四郎) 風狂の人ハーン(高木大幹) へるん二題(大谷従二) 三角西港と浦島

屋旅館：ハーンの足跡を訪ねて（高西直樹） ブルーという言葉の画家（中西善弘）
 八雲と芳一堂（椎名駿輔） ヘルンと富山・金沢大学の図書館（染村絢子）
 「へるん」探訪―焼津にて（尾崎孝） ヴァレット（フレット）余談（梶谷泰之）
 第一次八雲会のこと―その創立と業績（本田秀夫）
 ・随想篇 私と出雲（花田尚友） さまざまな「学び」（山口美恵） ホーリヘッド
 の旅（矢部太郎） 崇徳上皇のご遺跡を巡りまつりて（1）（藤原巳代子） 高山
 は望夫山か（梶谷泰之） こぼれ話（小泉八雲記念館から） その頃は（3）（栗
 原弘子） 研究展望とニュース 寄贈：染村絢子氏

へるん 第20号（昭和58年7月）. - 松江 : 八雲会, 1983. - 55p ; 22cm.

第20号特別記念号

内容：扉カット絵及び中カット絵（小泉凡）

「へるん」第20号の発行を祝して（八雲会名誉会長 中村芳二郎） 「へるん」第
 20号発行の喜びと感謝（八雲会長 梶谷泰之）

- ・研究篇 お化け屋敷と茶碗（小泉時） 小泉清の死（後藤昂） 大社町に現存する
 ハーン文献（中和夫） ハーンの草稿と表紙考（染村絢子） 八雲と神戸の旧居（
 椎名駿輔） ハーンと翻訳（速川和男） 「雪女」小考（つづき）付マルチニーク
 旅詠（中田賢次） 新資料紹介―島根県尋常中学校におけるヘルンとその周辺（
 馬庭将光） 英国籍アイルランド人、ハーン（西野影四郎） 第一次八雲会のこと
 （つづき）：その創立と業績（本田秀夫） ハーンとモラエスの創作態度、畠山勇
 子について（深沢暁） ヘルンと京都（川谷恂郎） ヘルン探訪：神戸にて（尾崎
 孝） ヘルンの頃の大社参詣道（大谷従二） 明治「出雲風土記」を求めて（錢本
 健二） ハーンと出雲大社（高木大幹） 八雲と松島艦（高西直樹） 「へるん」
 誌の回想（渡辺沢身） 八雲会あれこれ（和田正則） 下市盆踊り考：ハーンは下
 市に二泊した？（梶谷泰之）
- ・随想篇 土井晩翠のこと―草堂・蔵書・資料（野坂東作） 私と出雲・姉の思い
 出（花田尚友） 出雲風土小考（小泉凡） 崇徳上皇のご遺跡を巡りまつりて（2）
 （藤原巳代子）
- ・訃報 常任理事吉村一夫氏の逝去を悼む（会長梶谷泰之） へるんニュースと編輯
 後記、寄稿家芳名住所 創刊号より第19号までの総目次とバックナンバー復版に
 ついて 事務局から 寄贈：染村絢子氏

へるん 第21号（昭和59年7月）. - 松江 : 八雲会, 1984. - 56p ; 22cm.

小泉八雲記念館新装開館記念特別号 寄贈：染村絢子氏

内容：扉カット絵及び中カット絵（小泉凡） 小泉八雲と松江の再発見： 小泉八
 雲記念館新装オープンに際して（松江市長本会名誉会長 中村芳二郎） 小泉八雲
 記念館の新築竣工を祝して思うこと（梶谷泰之） 祖父逝きて（小泉時）

- ・研究篇 「妖魔詩話」随想（小泉時） 小泉八雲と狭心症（花田尚友） せつ子の
 「思い出の記」と三成重敬（後藤昂） 市河三喜博士のハーン没後二十周年記念講
 演自筆原稿に就いて（鉅鹿敏子） ハーンに関する事ども、於ハーン没後二十周年
 記念講演会（市河三喜） 田部隆次著「西田幾太郎の手紙」から（染村絢子） ハ
 ーンの再話文学における節子の役割（中田賢次） 小泉八雲の回想と評価（西野影
 四郎） かんざし（大谷従二） 大谷繞石のことども（椎名駿輔） 土井晩翠のこ
 と（つづき）（野坂東作） 大社町に現存するハーンの文献(2)（中和夫） ハーン
 とラモエスの創作態度―畠山勇子について―（つづき）（深沢暁） ハーン散
 歩―晩翠・ハーン・勇子・モラエス（速川和男） ヘルンの墓碑銘考（矢部太郎）
 ハーン・ディケンズ・ドストエフスキー（高木大幹） 小泉八雲と第五高等中
 学校（その1）（高西直樹） 第一次八雲会のこと（つづき）（本田秀夫） 八雲
 会などあれこれ（つづき）（和田正則） 普門院の怪談と橋姫伝説の起源（小泉凡）
 「母なるもの」サトウハチロウの世界と比べて（橋本和子） 英国研修旅行から
 ーダーラム市とアショー校を訪ねて（伊藤亮輔） ハーン最後の手紙（訳）（梶
 谷泰之） 小泉八雲とヘンリー・ミラー（本田康典） 「へるんの夕べ」 慶祝・
 こぼれ話
- ・随想篇 わが国最古の銭湯奈良の「御夢想湯」（藤原巳代子） 茜雲（大谷とよ子）
 季節の音譜（秀川尚子） 草色のロープ（服部昭子） 松江慕情（藤森きぬえ）
 「父・渡辺沢見」（渡辺弘道） 寄稿家芳名住所 編集後記・その他

へるん 第22号（昭和60年6月）. - 松江 : 八雲会, 1985. - 55p ; 22cm.

没後80年記念行事特輯 寄贈：染村絢子氏

内容：表紙及び中カット絵（小泉凡）

- ・研究篇 八雲没後八十年を顧みて(小泉時) ハーンの遺稿の表と裏(染村絢子) 毛利八弥事務官:ヘルンとの交渉にあたった(本田秀夫) 大社町に現存するハーン文献(3)(中和夫) 続・新資料紹介:島根県尋常中学校におけるヘルンとその周辺(馬庭将光) 小泉八雲と第五高等学校(その3)(高西直樹) ハーンの大坂紀行(川谷恂郎) 八雲と神戸クロニクル(椎名俊輔) 「ハーバー誌」上のもう一つの「グリンプシズ」(銭本健二) 「小豆とき橋の女幽霊」とアイルランド民話(伊藤亮輔) 母子愛の描出:大雄寺の伝承をめぐって(小泉凡) 京の子育幽霊(榎井幹生) 「原話」二題(中田賢次) 「保守主義者」と雨森信成(松村じゅん) 小泉八雲とB. H. チェンバレンの人間性(西野影四郎) チェンバレンとボールドウィン(栗原弘子) ハーンの感覚表現:雪女の場合(1)(高木大幹) カーマに憑かれた人:ハンーンとブラックウッド(速川和男) ハーンと守るべきものの問題(藤原義之) モラエスにおけるハーン(深沢暁) 会津八一の八雲談(野津直久) 稲垣巖家について(角田洋三) ある資料について(藤森きぬえ) 新発見の手紙二通とハーンの死因について(梶谷泰之) 小泉八雲との出会い(三島千代子) こぼれ話
- ・随想・詩歌・俳句篇 第1回八雲忌全国俳句大会について、並びに特選句、(付) 第2回八雲忌全国俳句大会について(漢東種一郎) 神々の国の首都(角田直一) 「日本の面影」に寄せて:祖母(千太郎妻) 西田クラの事ども(桑垣琴子) 隠岐蓑浦の一夜(淀江きみえ) 稲佐浜のヘルンさん(大谷従二) 小泉八雲先生と広瀬中佐のことども(藤原巳代子) 私の心の鏡:小泉八雲(木村涼子) 花の命(大谷とよ子) 森の家(秀川尚子) 円頭太刀(平尾ひで子) 耳無し芳一祭に参拝して(和田正則) 松江市における記念行事概要記

へるん 第23号(昭和61年6月) - 松江 : 八雲会, 1986. - 62p ; 22cm.

- ギリシア訪問記念特集号 寄贈:染村絢子氏
内容:カット絵(小泉凡) 小泉八雲生誕の地ギリシア国レフカダを訪れて(中村芳二郎) 祖父の生誕地レフカスを訪ねて(小泉時)
- ・研究と発見篇 小泉家元祖と家紋について(後藤昂) 毛利八弥:ヘルンと交渉に当たった(本田秀夫) 怪談「耳なし芳一のはなし」源泉をアイルランドに求めて(伊藤亮輔) 京の子育幽霊(承前)(榎井幹生) 雨森信成について(松村じゅん) 西村六郎氏(日航アテネ支店長)からの手紙:「ヘルン」名と「卒業」の観念について(西野影四郎) 駒子と雪女(中田賢次) ヘルンの頃の大社社頭(大谷従二) ハーン文学のかけ橋・節子夫人(染村絢子) 島文次郎(椎名駿輔) ニューヨークタイムズの文豪小泉先生(佐々木正蔵) 「むじな」小論(仙北谷晃一) 八雲と日本の道徳(高西直樹) ヘルンに関する「山陰新聞」記事:未発表記事の紹介(内田融) 正宗白鳥のもうひとつのハーン論(1)(銭本健二) ハーンは何故えらいか:ハーン没後二十年記念講演原稿(市河三喜) 作品の中の日付について(梶谷泰之)
- ・随想・紀行・詩歌・俳句篇 白い石のある島:レフカダ島訪問記(小泉凡) 第二回八雲忌全国俳句大会(岡崎赤花) 神戸とヘルンと私(藤森きぬえ) 小泉八雲先生と広瀬中佐のことども(その2)(藤原巳代子) いまも咲きつぐ(秀川尚子) テレビ「日本の面影」によせて、曾祖父西田平兵衛・マツの事ども(桑垣琴子) ハーンとチェンバレン(木村涼子) 八雲との出会い:松江(関田かおる) 八雲と私(安田公弘) 隠岐に旅して:ヘルンに思う(山根愛子) 私の「おしどり」(よどえきみえ) 小泉八雲に関する昭和六十年の内外の動向 焼津だより(高田路久)

へるん : Lafcadio Hearn 第24号(1987年6月) / 八雲会編. - 東京 : 恒文社, 1987. - 111p. ; 22cm. この号より出版が「八雲会」から「恒文社」に変更 ISBN:4770406657 寄贈:染村絢子氏

- 内容:
- ・I. 書簡にみるヘルン――小国の民の人、ハーン(平川祐弘) ハーン書簡の発信日をめぐって:西田千太郎宛(1)(板東浩司) 「杵築」からの八雲書簡:日付についての新事実(関田かおる) 西田宛て八雲書簡(池野誠) 里帰りした古手紙(福岡直子)
- ・II. ヘルンゆかりの地――大社町に現存する文献(4)(中和夫) ミス・E. P. ヒューズと長崎(高西直樹) 八雲出生地レフカダ島を訪ねて(北山宏明) 上野図書館の八雲記念碑をたずねて(藤森きぬえ) 愛宕山の記念碑(藤原巳代子) 毛利八弥事務官(補遺)(本田秀夫)
- ・III. 小泉家のことども――祖母セツの思い出(小泉時) 武人、小泉湊の小伝(

後藤昂) 小泉家について(立脇祐十)

- ・IV. ヘルンをめぐる人びと―― ハーンと桂月(梶谷泰之) 晩翠夫妻と母あいの死(1)(野坂東作) 俳人としての大谷繞石(日野雅之) ハーンとローエル(角田洋三) ハーン先生と大伯父雨森信成との絆(渡辺栄)
 - ・V. 物語と伝説をめぐって―― ハーン作品の原典について(染村絢子) 「浪除(なみよけ)地蔵」の復活:ハーンと現代の民俗をめぐって(小泉凡) 怪談の恐怖と滑稽:「むじな」をめぐって(中田賢次) 怪談「食人鬼」の出典の考証(伊藤亮輔) <随想>初冬の譜(淀江きみえ)
 - ・VI. 発見と批評―― 小泉八雲とアビシニア号(安江安宣) ラフカディオ・ハーンと「朝妝」:お雇い外人たちの眼に映じた明治日本の一面(西野影四郎) ハーンの聴覚表現:雪女の場合(2)(高木大幹) 蓮葉の蛙(榊井幹生) 正宗白鳥のもうひとつのハーン論(2)(銭本健二) ハーンと日本のことわざ(深沢暁) 八雲忌と芭蕉英訳(椎名駿輔) <随想>へるん先生のみずうみ(渡辺兼直) <随想>明治らいぶ考(栗原弘子)
- 第三回八雲忌全国俳句大会<選者別特選句、席題特選句> <創作>ニューオーリンズにて歌いし十首(中田賢次) <創作>見返りの鹿・面影(秀川尚子)

へるん : Lafcadio Hearn 第25号(1988年6月) / 八雲会編. - 東京 : 恒文社, 1988. - 131p ; 22cm. - ISBN:4770406878 寄贈:染村絢子氏

内容:

- ・I. ハーン的生活と生涯―― 終焉とその周辺(1)(西野影四郎) 日本における小泉八雲と就職(高西直樹) グールドの「ハーン伝」を読んで(田村のり子) 西田千太郎日記に見る明治の贈答(藤森きぬえ)
- ・II. 小泉家をめぐって―― 無標題記録の中に(後藤昂) 稲垣巖について(角田洋三)
- ・III. ハーンをめぐる人びと―― 晩翠夫妻と母あいの死(2)(野坂東作) 俳人としての大谷繞石(2)(日野雅之) マクス博士のスピーチについて(萩原順子) E. ビスランドの日本滞在記(銭本健二)
- ・IV. ハーンゆかりの地―― ハーン唯一の胸像(西村六郎) 八雲と焼津海岸:焼津にてIを中心に(岩崎志濃) レフカダ行(仙北谷晃一) 藤沢随想:ハーンの見た庚申と鬼子母神(小泉凡)
- ・V. 著作と事実を追って―― ハーン書簡の発信日をめぐって:西田千太郎宛(2)(板東浩司) モデル作品:日付の謎(梶谷泰之) 蘇生地蔵(藤原治) ハーン作「心中」について(田中一弘) 八雲の子守歌(福間直子) ヘルンとアイルランド(河野賢司) 「停車場にて」を読んで(小幡秀雄) 小泉八雲と松島艦:同艦に殉じた酒井海軍少尉候補生を憶う(藤原巳代子)
- ・VI. 作品の原典と資料を探る―― アメリカのハーン・コレクション(野坂東作) 「原典」:活字本から版本へ(染村絢子) 「破られた約束」のルーツを考える(伊藤亮輔)
- ・VII. 作品鑑賞―― 「漂流」雑感(中山常雄) 修羅と微塵と(1)(高木大幹) 虫めずる男(榊井幹生) 島の文人ハーン(中田賢次) 西村真次の読んだハーンの鳴く虫の観察(野津直久)
- ・VIII. 随筆―― モームと平磯灯台(椎名俊輔) アメリカにあってハーンを偲ぶ(原田米蔵)
- ・IX. 小泉八雲の未刊行資料(1)―― ウエルドン宛(1890年1月31日付)(銭本健二) 西田千太郎宛書簡(1891年12月)(野坂東作) アトキンス宛(1901年9月1日付)(中田賢次) 雨森信成のハーン宛書簡(1897年11月14日付)(小泉時)
- ・第四回八雲忌全国俳句大会:選者別特選句 <創作>短歌:追憶(秀川尚子) <ヘルン雑話>指六、東大退官前後のハーン、「怪談」の出版(染村絢子) 「大隅重信と八雲」(市島春城) 「ヘルン先生の怪談」(日夏耿之介)
- ・小泉八雲のクレオール料理:松江のホテルで再生

へるん : Lafcadio Hearn 第26号(1989年6月) / 八雲会編. - 東京 : 恒文社(発売), 1987. - 152p ; 22cm. - ISBN:4770407068 寄贈:染村絢子氏

内容:

- ・I. 刊本の点検―― 八雲著作の邦訳題名(森亮) 東大講義(染村絢子) 八雲と秋成:「約束」を読んで(椎名俊輔) ハーン短篇の謎(中田賢次) 「西田千太郎日記」のことども(池橋達雄)
- ・II. 作品鑑賞―― 夫婦の絆を断つものは:「破られた約束」と「因果話」など(仙北谷晃一) 修羅と微塵(2)(高木大幹) 情愛の美しさと神秘性:「和解」に寄

- せて(右近克枝) 談話分析からみた「耳なし芳一」: 故・和井由紀子教授の研究発表に関して(榊井幹生)
- ・Ⅲ. ハーンと著作: ゆかりの地を訪ねて――はらからのほとけ(榊井幹生) 「幽霊滝の伝説」と「樊噲」(福間直子) 八雲と焼津海岸: 「焼津にてⅡ」を中心に(岩崎志濃) ハーン写真集取材ノートから(立脇祐十) 訪米記: シンシナティ(小泉凡)
 - ・Ⅳ. ハーンの生涯と生活――ニューオーリンズの博覧会: ハーンと日本との出会い(萩原順子) ヘルンの帰化をめぐる(藤森きぬえ) 終焉とその周辺②(西野影四郎) 熊本講演の思い出: 「著作集」完結に寄せて(池田雅之)
 - ・Ⅴ. ハーンをめぐる人びと――稲垣巖について(再び)(角田洋三) 俳人としての大谷繞石③(日野雅之) 怪談小泉八雲: 花園兼定について(速川和男) 小泉八雲と坪内逍遙: 「新曲浦島」をめぐる(関田かおる)
 - ・Ⅵ. ハーンに思いを寄せて――昭和天皇・今上両陛下と小泉八雲(梶谷泰之) 小泉八雲の日本教育観(高西直樹) ハーンの東洋への思慕(中山常雄) ヘルンの隠岐旅行を思う: 土御門上皇の御遺跡を巡りて(藤原巳代子)
 - ・Ⅶ. 小泉八雲の未刊行資料②――M. アトキンソ宛書簡(手紙1・2)(中田賢次) 父兄の教育上における注意(「島根県立教育会雑誌」211号)(内田融) 隠れた日本の風俗「魔狐の奇談」(「女学世界」1902年)(野津直久)
 - ・Ⅷ. 「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正①(銭本健二、小泉凡)
 - ・第五回八雲忌全国俳句大会: 選者別特選句 短歌: ハーンロード(秀川尚子)
 - ・<ヘルン雑話>――「おぼろ影」/十葉の草稿/クリオール・フレンチ雑記帳(染村絢子) 森銑三と「怪談」(野津直久) 草稿の表装(小泉時) 小泉八雲と小川未明・面白き誤訳/ラフカディオ・ハーン レフカダ便り(西村六郎) 新宿歴史博物館開館によせて(渡辺弘道)
 - ・<追悼>――矢野峰人先生を悼む(本田秀夫) 根岸啓二さんの思い出(銭本健二) 和井田先生のこと(榊井幹生)

へるん : Lafcadio Hearn 第27号(1990年6月) / 八雲会編. - 東京 : 恒文社(発売), 1990. - 148p ; 22cm. - ISBN:4770407211. - 来日100年記念 寄贈: 染村絢子氏

内容:

- ・Ⅰ. 「物語」の源流と周辺――身代はりの人: 「阿弥陀寺の比丘尼」と「草雲雀」など(仙北谷晃一) 続・八雲と秋成: 「興義和尚のはなし」を読んで(椎名俊輔) 「持田の子殺し」をめぐる: 日本の昔話と英国のラッドから(美濃部京子) 鐘の霊(藤田明彦)
- ・Ⅱ. 原典と表現をめぐる――八雲著作の邦訳題名: 続篇・日本時代の著作(森亮) 「日本歌謡類聚」にある原歌(染村絢子) 「柔術」を読んで憶う(藤原巳代子) ハーンにおける生物観: 「蛭」をめぐる(先川暢郎)
- ・Ⅲ. ハーンの生涯と生活――八雲と机(小泉時) ハーンを怒らせた学生(梶谷泰之) 終焉とその周辺③(西野影四郎) 小泉八雲と第五高等中学校(その3)(高西直樹) 「ヘルンとセツの物語」創作ノートから(藤森きぬえ) ハーンのクリオール料理(角田洋三)
- ・Ⅳ. ハーンをめぐる人びと――ニューオーリンズ時代のハーンと医師マクス(萩原順子) 或る書(矢野修一) 八雲とモラエス: 来日百年をめぐる(秦敬一) ヘルンとモラエス(小幡秀雄) ツヴァイク「ラフカディオ・ハーン」(野島幹郎)
- ・Ⅴ. ハーンゆかりの地をめぐる――ハーンと富士山(中山常雄) 続訪米記: メンフィスからニューオーリンズへ(小泉凡) 謎の峠越え(田村のり子) 八雲と焼津海岸: 「焼津にて③」を中心に(岩崎志濃) 「海」へ向う峠: 全国「八雲夢街道」写真展①を終えて(越野勝)
- ・Ⅵ. 小泉八雲の未刊行資料(3)――チェンバレン自筆原稿「ラフカディオ・ハアン」(榊井幹生) チェンバレン宛ハーン書簡(福間直子) M. アトキンソ宛書簡(中田賢次) メアリー・M・フェノロサの草稿「夕霧お客さん」(銭本健二)
- ・Ⅶ. 「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正②(銭本健二、小泉凡)
- ・Ⅷ. ハーン来日百年と八雲会の回顧――「へるん」初めのころ(森亮) 文学碑こぼれ話(本田秀夫) ハーンと私(池橋達雄) ハーンとの出会い(秀川尚子) 八雲会を省みて(梶谷泰之) 思い出(中村芳二郎) 「へるん」のこと等(速川和男) 八雲会員なればこそ(藤原巳代子) 八雲会創立(池野誠) 新資料「山陰新聞」のこと(矢部太郎) [無題](白築和夫)(和田正則) 機関誌「へるん」の変遷について(銭本健二)
- ・短歌(秀川尚子) ・<ヘルン雑話>――親子三人の写真/アメリカでも八雲会

(小泉時) 「鳩ポップ」のうた／再び「怪談」の出版について／「東大講義メモ帳」と「浮世絵展覧会」(染村絢子) 八雲のレリーフがダラム大学に設置

- へるん : Lafcadio Hearn 第28号(1991年6月) / 八雲会編. - 東京 : 恒文社(発売), 1991. - 127p ; 22cm. 寄贈: 染村絢子氏
 内容: 口絵写真 来日百年を記念して松江市塩見縄手広場に建てられた八雲胸像
 ・ I. 思想と天性―― 小泉八雲の文明観(高西直樹) ハーンの絵ごころ(中山常雄) ヘルンの画才(小幡秀雄) ラフカディオ・ハーンと語学教育(荻原順子) ラフカディオ・ハーンの理科教育観(先川暢郎)
 ・ II. 境涯と生活―― 終焉とその周辺(4)(西野影四郎) 明治の唱歌(染村絢子) マルチニーク島でのハーン(角田洋三) ハーンとモース(谷村忠樹) ハーン: 心のふるさと・コング(八木悦子)
 ・ III. ハーン的心情―― ハーンと鉄道(仙北谷晃一) 修羅と微塵(3)(高木大幹) ハーンと幽霊(右近克枝) ハーンの庭園美学: 「日本の庭で」に寄せて(大東俊一) ハーンの地蔵遍歴(豊田政子)
 ・ IV. ゆかりの人びと―― 横木富三郎とそのノート(梶谷泰之) 或る書(続)(矢野修一) 俳人としての大谷繞石(4)(日野雅之) 八雲とモラエス: 「モラエス翁蔵書遺品展覧会陳列品目録」から(秦敬一)
 ・ V. 著作をみつめて―― ハーンと神戸: 「門つけ」を読んで(椎名駿輔) 小泉八雲の著書中の鳥類(内田映) 「耳なし芳一」における怨霊の登場と退場について(千代田友久) 「安芸之介の夢」と蝶になった魂(美濃部京子) 八雲と焼津海岸: 「焼津にて(4)」を中心に、ジョン・キーツの「ギリシャの壺に寄せる歌」との関わりをみる(岩崎志濃)
 ・ VI. 小泉八雲の未刊行資料(4)―― M. アトキンソン宛書簡(手紙6・7・8)(中田賢次) The conservator 収録断片(銭本健二)
 ・ VII. 「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(3)(銭本健二、小泉凡) 小泉一雄著「ファーザー・アンド・アイ」の思い出(小泉時) 加賀の潜戸にて(榊井幹生) "Chicken Skin '91" 報告記(小泉凡)
 ・ 「ヘルンと私」出版記念会(平川祐弘) 感謝のことば(小泉時)
 ・ 短歌―― 水温む(秀川尚子)
 ・ <へるん雑話>―― 松江の八雲八景(市河三喜) 「怪談」の一筆書きとケルト模様(染村絢子) 川角捨兵衛(染村絢子) ハーンと南方熊楠(染村絢子) アテネ文化へのあこがれ(伊地知純正) 文は人なり(伊地知純正)

- へるん : Lafcadio Hearn 第29号(1992年6月) / 八雲会編. - 東京 : 恒文社(発売), 1992. - 155p ; 22cm. 寄贈: 染村絢子氏
 内容: 菱浦港(鏡の浦)(小泉凡)
 ・ I. 境涯と生活―― ラフカディオ・ハーンの名(西村六郎) 熊本と小泉八雲(小泉時) 小泉八雲と隠岐の後醍醐帝(内田映) ハーンと金比羅詣り(その1)(福岡直子) 終焉とその周辺(5)(西野影四郎) ハーンと食生活(角田洋三) ハーンと目(久津木信治) その頃のハーン: ニューオーリンズ時代(中園岩男) ハーンとアショー校の旧学寮: ダラム再訪と私のSerendipity(庭野吉弘) 「ハーン=チェンバレン往復書簡」配列の疑問(内田融)
 ・ II. 観察と心情―― 八雲と日本庶民(高西直樹) ハーンと柳宗悦: 民芸を見る目(大東俊一) 真名井神社の秘宝絵図: ハーンが見た(梶谷泰之) ハーンと宗教観を思う(吉野貴好) ラフカディオ・ハーンと文章観(先川暢郎) ワイルドのアメリカ講演旅行とヘルン(河野賢司) 八雲と焼津海岸: 「漂流」を中心に(岩崎志濃)
 ・ III. 物語の誕生―― 八雲の富士: 「富士山」を読んで(椎名駿輔) ハーンと朔太郎: 「日本の女性」をめぐって(谷村忠樹) ハーンと大山(井田徹) 「草ひばり」の妖精のイメージ(美濃部京子) 青春の泉考: オシン伝説と浦島をつなぐもの(荻原順子) 八雲とモラエス: 「螢」をめぐって(秦敬一) 竜宮への帰還: ハーンの小説について(横山孝一) 一国者の芸術: 「ナイチンゲール」と「草雲雀」(仙北谷晃一) 「小ノート」の「青柳ものがたり」(染村絢子) 俳人としての大谷繞石(5)(日野雅之) 八雲の手作り英語教材: 「小泉八雲父子英語練習帳」について(横山純子)
 ・ IV. 未刊行資料・埋もれた資料(5)―― 小泉セツ「思い出の記」の草稿(関田かおる) M. アトキンソン宛書簡(手紙9・10・11)(中田賢次) 城見縄手「小磯国昭自伝」より(和田正則) 八雲旧邸・記念館を訪ねる(「野上弥生子日記」より) 熊本第五高等学校における英会話授業: ある学生の筆記ノートから(1)

(東大英文科市河文庫収蔵)

- ・V. 「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(4) (銭本健二、小泉凡)
- ・記念講演(要旨) ハーンと八雲：帰化をめぐる心のドラマ (高木大幹)
- ・短歌 悠久の愛 (秀川尚子)
- ・書評 S. Ronan & T. Koizumi: Lafcadio Hearn (銭本健二)
- ・<ヘルン雑話> 「栓を抜く人」マクドナルド (市島謙吉) ふるあめりかに袖はぬらさじ (染村絢子) ハーンと高峰譲吉 (染村絢子) 小泉先生の思い出 (野尻抱影) 小泉八雲先生に就きて聞きし事ども (日高只一) 大谷正信と犀川の氾濫 (染村絢子) 無限大について (小泉時) 表紙絵解説 (妖魔詩話より)

へるん : Lafcadio Hearn 第30号 (1993年6月) / 八雲会編. - 東京 : 恒文社 (発売), 1993. - 136p ; 22cm. - ISBN:4770407858 寄贈 : 染村絢子氏
内容 :

- ・I. ヘルンと出雲地方―― 小泉八雲と八重垣神社の句碑 (内田映) 柳田・スコットの松江訪問と第一次八雲会：新聞資料より (小泉凡) ハーン=チェンバレン往復書簡の配列と「山陰新聞」広告記事 (内田融) 「件」(くだん)の話 (梶谷泰之)
- ・II. ヘルンの心情を思う―― 言語と文化：ハーンの場合 (高木大幹) ハーンの見た夢：「気まぐれ草」について (横山孝一) ハーンの恐怖概念 (右近克枝) ハーンの父親像 (角田洋三) ハーンのユートピア (大東俊一)
- ・III. 作品のうん釀―― ラフカディオ・ハーンと小学唱歌「螢の光」 (先川暢郎) 続・ハーンと朔太郎：スペンサーの影響をめぐる (谷村忠樹) ハーンの花比羅詣り (その2) (福岡直子) 八雲と焼津海岸：「漂流」考 (岩崎志濃)
- ・IV. ヘルンの身辺と境涯―― ハーンの目(再び) (久津木信治) アイルランド系アメリカ移民としてのヘルンの面影覚書 (河野賢司) 小泉八雲と浜名湖 (小野達) イヴトーからの手紙：ハーンの神学校在学について (西村六郎) ハーンと同僚、佐久間信恭 (梅本順子) 八雲とモラエス：日本ポルトガル友好450年 (秦敬一) 天皇を擁護した二人のアメリカ人：フェラーズとヴォーリズ (椎名駿輔)
- ・V. 未刊行資料・埋もれた資料(6)―― M. アトキンソン宛 (手紙12・13・14・15・16・17) (中田賢次) 小泉八雲先生の思い出 (野々村戎三 (述)) 小泉八雲先生の面影 (片上伸) 熊本第五高等学校における英会話授業：ある学生の筆記ノートから(2)
- ・VI. 「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(5) (銭本健二、小泉凡)
- ・特別寄稿―― ヘルン校舎保存運動顛末記 (本田秀夫) 漱石、ハーン比較文学の旅 (小泉時) 小泉八雲隠岐訪問百年を記念して (J. A. シャーキー)
- ・記念講演―― 小泉八雲来日・帰化の時代背景と諸家の評価など (西野影四郎) 小泉八雲記念館 (東京新宿) オープン
- ・短歌―― ヘルン五世誕生 (秀川尚子)
- ・「へるん」総目次 (第1号～第29号) 「へるん」執筆者別号数索引 (第1号～29号)
- ・<ヘルン雑話>―― 小泉八雲全集の出版に寄せて (高島平三郎) 小泉八雲全集の出版に寄せて (土田杏村) 早稲田より三月分入る (染村絢子) 金沢市池田町界限 (染村絢子) ステンショウ (染村絢子) 小泉八雲全集の出版に寄せて (日夏耿之介) 小泉八雲全集の出版に寄せて (芥川龍之介、千葉亀雄) 小泉八雲全集の出版に寄せて (新村出)

へるん : Lafcadio Hearn 第31号 (1994年6月) / 八雲会編. - 東京 : 恒文社 (発売), - 7. - 132p ; 22cm. - ISBN:4770408021 寄贈 : 染村絢子氏
内容 : 口絵 へるんさんのポストンバック発見

- ・I. ヘルンの文学―― ラフカディオ・ハーンにおけるジョン・キーツ (先川暢郎) 詩人ラフカディオ・ハーン「赤裸の詩」を中心に (仙北谷晃一) ハーンと「万葉集」905 (染村絢子) ラフカディオ・ハーン点描(1)：“strange”に関する一考察 (中田賢次) ハーンと漱石：一つの場合 (高木大幹) ハーンの見たもの：「茶わんの中」に寄せて (右近克枝) 近代作家とラフカディオ・ハーン(1) (石原亨)
- ・II. 新聞記者・文明批評家としてのヘルン―― 国際ジャーナリスト小泉八雲(1) (西野影四郎) 小泉八雲が見た日本国民性 (高西直樹)
- ・III. ヘルンの環境と身辺―― ヘルンとゴシック小説のダブリン (河野賢司) ハーンとユング：夜の文学と無意識 (谷村忠樹) 聖母の奇跡：ハーンとローザを結ぶ絆について (横山孝一) ミニー・アトキンソン夫人への手紙 (角田洋三)

- ・IV. ゆかりの人・ゆかりの地――八雲の後任者夏目金之助(椎名駿輔) 玉の光の梓弓:秋月胤永の書幅(佐藤俊之) 八雲新発見書簡に出る高木氏・佐久間氏のこと(内田映) レフカダ島のハーン記念碑(嘉納康晴) アイルランドを訪ねて(小泉時) シンシナティ探訪(1)(吉野貴好) ニューオーリンズの「ハワード記念図書館」を訪ねる(中園岩男) 珍しい小さなものたち(榊井幹生) ハーンと隠岐:ハーンをめぐる人びと(日野雅之) 八雲と顎なし地蔵(三原弘) ハーンと金比羅詣り(その3)(福間直子) 八雲と焼津海岸:「漂流」考(2)(岩崎志濃)
- ・V. 未刊行資料・埋もれた資料(7)――熊本第五高等学校における英会話授業 ある学生筆記ノートから(3)
- ・VI. 「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(6)(銭本健二、小泉凡)
- ・VII. 講演と研究発表――八雲会総会記念講演:小泉八雲とフランス(西村六郎) 怪談「十六ざくら」とアイルランド伝説(伊藤亮輔) 上市「盆踊り」考(成瀬経男) 残酷な三つの話のことなど:横木富三郎ノートから(梶谷泰之)
- ・VIII. 八雲会記事――「ヘルンを讃える青少年スピーチコンテスト」審査雑感(多々納健児) ヘルン短通(小泉凡) 告知板(白築和夫) 事務局だより(白築和夫) 追悼・森亮氏(池橋達夫)
- ・短歌 八雲旧居にて(秀川尚子) 俳句 小泉八雲旧居(内田宝谷)
- ・<ヘルン雑話>――小ノートで再確認の「鑑日奇観」(染村絢子) 小ノートの「むじな」(染村絢子) 小ノートの「耳なし芳一」(染村絢子)

へるん : Lafcadio Hearn 第32号(1995年6月) / 八雲会編. - 東京恒文社, 1995. - 107p; 22cm. - ISBN:4770408358 寄贈:染村絢子氏

内容:口絵 ダブリン市内のハーン旧居(画・文 小泉凡)

- ・I. ヘルンの文学をめぐる――ラフカディオ・ハーン点描(2):新解釈への路(中田賢次) 人が最も永く記憶にとどめるものは何か:「東の国から」について(横山孝一) ハーン作品に見られる旧約聖書「雅歌」の影響:特に「死んだクレオル人の夢」と「和解」について(伊藤亮輔) 「伯耆から隠岐へ」の幽霊船の描写を巡って(横山純子) ハーンが探し求めたもの(前田礼子) 蜚の国でのハーン(清水澄子) 雪の幻想(大森富士子) 近代作家とラフカディオ・ハーン(2):志賀直哉(2)(石原亨)
- ・II. ジャーナリストとしてのヘルン――国際ジャーナリスト小泉八雲(2):極東における三国同盟 神戸クロニクル紙(西野影四郎)
- ・III. 身辺とゆかりの人びと――一雄への教育(角田洋三) ハーンのアシスタントの一人・折戸徳三郎(染村絢子) 八雲とラモエス:「日本通信」の中のハーン(秦敬一) 八雲と蘆花文庫を訪ねて(椎名駿輔) 縮緬本「ハーン日本昔噺集」(鈴木あゆみ) 俳人としての大谷繞石(6)(日野雅之) 八雲愛用のカエルペン先入れ:名工松崎仙石のこと(三原弘)
- ・IV. 生活と曾遊の地――アイルランド随想(小泉凡) ヘルンとニューオーリンズ(河野賢司) ハーンと西インド諸島(梅本順子) 「ハーンと金比羅詣り」に因む謎二題(福間直子) 作品、「出雲への旅日記」と汽船、土佐丸の謎への試論(梶谷泰之) 八雲と焼津海岸「乙吉のダルマ」と<魚街道>(岩崎志濃)
- ・V. 講演と研究会の記録――八雲会の思い出(要旨)(梶谷泰之) 「ラフカディオ・ハーン・イン・イン・カンサイ」報告(銭本健二) 公開研修講座「小泉八雲に親しむ」(榊井幹生)
- ・VI. 未刊行資料・埋もれた資料(8)――熊本第五高等学校における英会話授業:ある学生の筆記ノートから(4)
- ・<書評>――ジョナサン・コット著・真崎義博訳「さまよう魂 ラフカディオ・ハーン」(高成玲子) 太田雄三著「ラフカディオ・ハーン」(野津直久) 真貝義五郎訳「ラフカディオ・ハーンと神戸クロニクル論説集」(池橋達雄)
- ・<八雲会記事>――へるん短通(小泉凡) 事務局だより(白築和夫)
- ・コラム 宮中晩餐会に出席して(小泉時)
- ・短歌 小泉八雲旧居(内田宝谷)
- ・<へるん雑話>――「日本の仏教俚諺」と雨森・大谷・折戸(染村絢子) 折戸徳三郎英訳「怪談牡丹灯籠」(染村絢子) 折戸徳三郎英訳「万葉集」(染村絢子) ハーンと地震(池橋達雄) 晩餐とハーン(池橋達雄)

へるん : Lafcadio Hearn. 第33号(1996年6月) / 八雲会編. - 東京恒文社(発売), 1996.6. - ISBN:4770408773 寄贈:染村絢子氏

内容:マルティニーク島のゴーギャン博物館(画・文 小泉凡)

- ・I. ヘルンの心情をおもう――ハーンと中海:本庄工区全面干拓に思う(梶谷泰

(122) [H095. 2]

之) 教師としてのハーン(角田洋三) ハーンの心に生き続けた父母への思い(右近克枝) 母の愛は死より強く: ハーンと「雅歌」について(横山孝一) 短歌十首「八雲椿」(秀川尚子)

- ・II. ヘルンの生活と執筆の機縁―― 母ローザ・アントニオ・カシマチイを中心に(1) (西野影四郎) レフカダ島にハーンの生家を訪ねて(板東浩司) 俳句吟詠: 松江の小泉八雲懐古(内田宝谷) 庶民派ハーン: 手回しオルガンの話(榎井幹生) 門つけが歌った京都の疎水心中事件(谷毅夫) 神戸のヘルン居住地探索(中園岩男) ハーンの数比羅詣り(その4)(福岡直子) 「了然尼」考(染村絢子)
- ・III. ヘルンをめぐる人びと―― マルティニーク島の絵と凶画教師後藤金弥のこと(内田融) 会津八一と小泉清(椎名駿輔) エドウィン・アーノルド卿とハーン(長谷川洋二) 八雲とモラエス: 数比羅詣りをめぐって(秦敬一)
- ・IV. 同時代の作家など―― ヘルンの奇遇: 野の人・散士・フェノロサ(河野賢司) 近代作家とラフカディオ・ハーン(3)志賀直哉(石原亨) 八雲と藤村: 八雲への関心について(八木功) ハーンとゴッホ: 日本美術へのまなざし(谷村忠樹)
- ・V. 作品鑑賞と刊本をめぐって―― ラフカディオ・ハーン点描(3)新解釈への道「雪女」(中田賢次) 「雪女」: 悲劇のヒロインをめぐって(冨塚博之) 「江の島行脚」を読む(横山純子) 縮緬本「ハーン日本昔噺集」(2)(鈴木あゆみ) 八雲と焼津海岸: 「乙吉のだるま」と八雲だるま(岩崎志濃)
- ・VI. 特別寄稿―― 速川和男「二つのカバン――八雲雑考」 小泉時「会津八一先生と小泉家」
- ・VII. 未刊行資料・埋もれた資料(9)―― アーノルド宛て書簡二通(長谷川洋二) 学生版全集内容見本より< 野口米次郎「小泉八雲の価値」 千葉亀雄「ラフカディオ・ヘルン詩境」 田部隆次「ヘルンの著作」 金子健二「ヘルン先生書翰集」 > 小日向定次郎「小泉八雲先生の思い出」(昭和25年)
- ・<書評> 小泉凡著「民俗学者・小泉八雲」(内田融) 池田雅之訳編「おとぎの国の妖精たち」(田村のり子) 工藤美代子著「マルティニーク熱帯紀行」(富井俊郎) 平川祐弘編「異文化を生きた人々」(銭本健二)
- ・<へるん雑話>―― 雨森信成と二種類のガイドブック(染村絢子) 「勝五郎再生記」の原典「ほどくぼ小僧前世話」(染村絢子) 「了然尼」日本語訳(染村絢子)

ヘルン文学の基調と現代的意義に就いて / 井沢友雄. - 大阪 : 大阪商業大学 1957. - p.54-66 ; 21cm. - 大阪商業大学論集 第9号(1957)
[終戦後の八雲研究の衰えを嘆いて、八雲文学の新しい意義の発見を志している。P. E. MORE氏によって八雲文学の基調を明かにし、原有日本の思想は今日なお底流として生きていっていると、そこに八雲文学の現代的意義をみとめている]
寄贈: 大阪商業大学殿

ヘルン文庫 : 八雲五十年忌に / 荒川龍彦. - 学燈 第51巻第9号 p. 14-16 1954 [文庫の内容を詳しく紹介]

ヘルン文庫について(2) / 高田力. - 富山 : 富山高等学校交友会, 1927. - p.71-83 ; 19cm. - 富高 第4号より
[ヘルン文庫の内容、特に英文学関係書についてくわしく述べている。これによると、ヘルンの英文学関係の蔵書は彼が東大へ勧めるようになってから増加したことがわかる]

ヘルン文庫に就いて / 田部隆次. - 富山 : 富山高等学校交友会, 1929. - p.6-15 ; 19cm. - 富高 第7号 昭和4年より
[昭和3年10月17日開校式直後講堂で行った講演]

「へるん文庫」の形成をめぐって(II) : 来日以前のハーンとロニー / 村井文夫. - 富山 : 富山大学人文学部, 1995. - p. 271-287 ; 26cm. - 富山大学人文学部紀要 第22号(1995)より

ヘルン文庫を観る / 長井真琴. - 東京 : 同文館, 1930. - p.153-157 ; 19cm. - 宗教研究 新第7巻第3号(1930)より
[東方聖書中にパトリ律蔵の英訳3巻がろっていることは珍しい。南条博士の英文十二宗綱要は珍本であるという]

ヘルン旧居と戦災 / 丸山学. - 英語青年 第92巻第4号 p. 28. 1946

- ヘルン未亡人逝く / N. Y. 生. - 東京 : 北星堂, 1932. - The Pole Star Monthly. 1932. 切抜帳 1, p. 11
 [西洋人や新聞記者を嫌うヘルン未亡人を特に筆者(中土氏)がアメリカの新聞記者 Nover氏を案内して訪問したときの記事で、Nover 氏の訪問記を添えてある]
- ヘルンに映じた日本人の微笑 / 内山正平. - 東京 : 早大学法学会, 1957. - p. 211-227 ; 21cm. - 早稲田法学会誌 第8巻(1957)
 [もはや微笑はどこにも発見出来ないだろうか。・・・少し注意して人々の様相に眼をとめれば・・・「微笑」を見出して驚くのではなかろうか]
- [ヘルンのHistory of English literature をすすめる] / 木村毅. - 東京 : 婦人公論社, 1927. - 婦人公論 第146号(1927) 切抜帳 1、p. 23.
- ヘルンの三十周年忌と草ひばり / 北星堂主人. - The Pole Star Monthly. Vol. 7 No. 3 1934. 切抜帳 1, p. 45
- ヘルン先生の手帳 第3回 / 大石繞石. - 英語青年 第64巻第9号 p. 22-23 英語青年社 昭和6年(1931)
- ヘルン先生の思出 / 石原喜久太郎. - 東京 : 英語青年社, 1934. - p. 27 ; 23cm. - 英語青年 第70巻第7号(1934)より
 [松江中学でハーンの教え子であった石原氏の思い出話で、ハーンが松江を去るときの告別式に、先ずmy dear boysと呼んでから、すぐそのboysと言った気持ちを説明したという逸話は印象的である]
- ヘルンと職員録 / 津田武夫. - 東京 : 英語青年社, 1936. - 英語青年 第76巻第5号 新聞切抜帳 1, p. 56 より
- 「平民新聞」の頃 : 日本文壇史第67回. / 伊藤整. - 東京 : 大日本雄弁講談社, 1957. - p. 256-267 ; 21cm. - 群像 第12巻第7号(1957)
 [「漱石の講義とその神経病」という項の中に、ハーンの跡をうけて東大の教壇に立つようになった漱石のことがハーンと比べて書かれている]
- Introduction to the study of Lafcadio Hearn's mental development in his American days. - (Studies in English literature. v. 11, no. 4) p. 507-522. 1941.
- 出雲に於けるラフカディオ・ハーンについて : 資料並に考証 / 梶谷延. - 島根 : 島根大学, 1952. - p. 72-88 ; 21cm. - 島根大学論集(人文科学) 第2号(1952) [ハーンの生徒横木富三郎の日記その他未発見であった資料によって資料によってヘルンの第一回杵築訪問の日付を明らかにした]
- Jane Austen と女性教養 / 宮西光雄. - 東京 : 日本英文学会, 1943. - p. 27-38. ; 21cm. - 英文学研究 第23巻第1(1943)
 [Jane Austenの小説は女性教養の小説ということができるといふ、この論文の中に「Hearn は A history of English literatureに於いて、Jane Austen の小説の中に「日本の少女を思わせるような本当に可愛い人物」を発見すると言った。・・・ということばがある]
- Japan in pictures. Asahigraph oversea ed. / ed. by Asahi Shinbunsha. Tokyo : Asahi Shinbunsha, Oct. 15, 1935. - 32 p. ; 27 cm.
 [Contains a short article in 2 pages on "Koizumi-Yakumo" with 10 pictures]
- 小泉八雲 / 久澄彰三. - 東京 : 国本社, 1936. - p. 70-72 ; 21cm. - 国本 第16巻第6号より
- 小泉八雲「アメリカ文学論」 - 東京 : 研究社, 1930. - p. 492-492 ; 21cm. - 英文学研究 第10巻第3(1930)より
- 小泉八雲文庫に就いて / 西崎一郎. - 東京 : 新英米文学社, 1933. - p. 38-39 ; 21cm. - 新英米文学 第2巻第8号(1933)

- (124) [H095.2]
[ヘルン文庫をもっとよく利用した筆者が文庫の内容をくわしく紹介したもの]
- 小泉八雲研究 一幻を追う人 / 島谷照夫. - 西宮 : 関西学院大学, 1957.
- p. 65-77 ; 21cm. - 論攷 第3号(1957)
[ハーンは理想主義者であり、一生幻を追い求めて放浪した人のひとりであるとい
う] 寄贈 : 関西学院大学殿
- 小泉八雲記念館 / 市河三喜. - 東京 : 日本博物館協会, 1931. - p. 11-12 ;
21cm. - 博物館研究 第7巻第3号(1934)
- 小泉八雲の旧居を訪ふ / 高須芳次郎. - 東京 : 新潮社, 1935. - p. 170-173
; 21cm. - 新潮 第32年第3号(1935)
- 小泉八雲の英語 / 中島慶治. - 小泉八雲の英語. - 仙台 : 東北大学英文学
会, 1956. - p. 12-27 ; 1956. - 文化 第20巻第3号(1956)
[ハーンの英語にはアメリカニズムが出ている。その一例はwillとshallの用法で
あって、チェーンバレンの忠告によって後にはそれを改めている。文法的語彙的特
色もいろいろあるが、表現の新しさとかリズムとかliterary styleのためと見られ
る]
- 小泉八雲の旧居を訪れて / 佐藤恭. - 京都 : 河原書店, 1948. - p. 103-115
; 21cm. - ユマニテ 第1号(1948)
- 小泉八雲の死 : 日本文壇史 第71回 / 伊藤整. - 東京 : 大日本雄弁講談
社, 1957. - p. 224-233 ; 21cm. - 群像 第12巻第11号(1957)
[ハーンが帝大から解職されたのは、その前半イギリスの教育者ミス・ヒューンズ
が政府に悪口を言ったからに相違ないと、ハーンは誤解していた。ハーンはまた、自
分は欧米の女性には嫌われるという偏見をもっていた]
- 小泉八雲の親友 / 前田多門. - 東京 : 文芸春秋新社, 1950. - p. 25-26 ;
21cm. - 文芸春秋 第28巻第10号(1950) [ハーンのニューオーリアンズ時代の無
二の親友メタス博士のこと。今なお百歳の寿を保って元気に活動を続けている翁か
らこの年開かれた松江の生誕百年祭に祝詞がとどいたことを喜んでいる]
- 小泉八雲の生涯と作品 / 馬場久治. - 東京 : 玉川学園出版部, 1938.
- p. 30-36 ; 21cm. - 女性日本 第7巻第4号(1938)
[ヘルンの生涯をくわしく紹介したもので、ここでもロティとヘルンを比較してい
る]
- 小泉八雲の正月 / 園田綱. - 研究社月報 第205号 1941. 切抜帳 1, p. 62
[「出雲における小泉八雲」を読んで、数年前フランスから海を渡って英国へ上陸
したとき、検疫医に「ハーンを知っているだろう。ハーンはいいね。」と言われて
うれしかったことを思い出したという。この書に書かれた、日本で始めて正月を迎
えるハーンの姿。羽織はかまに靴をはいて日本人の心を味わうヘルンを筆者はなつ
かしむ]
- 小泉八雲の手紙 : 書簡を通じて見る当時の大学 / 小川鈞. - 東京 : 研究
社, 1949. - p. 21-24 ; 21cm. - 英語研究 第38巻第5号(1949)
- 「小泉八雲の横顔」に就て / 木俣修. - The Pole Star Monthly. v. 7, no. 3
1934. 切抜帳 1, p. 45 [高田氏の著書の紹介]
- 小泉八雲生誕百年祭挨拶 / 豊田実. - 英文学研究 第27巻第3, p. 389-390. 1951
- 小泉八雲先生の松江時代 / 川角捨兵衛. - 金沢 : 北国毎日新聞社, 1948.
- p. 36-42 ; 21cm. - 文華 第35号(1948) 寄贈 : 佐伯彰一氏
[筆者川角氏は松江ハーンの教え子。ハーンに対する深い敬愛のあるれた文]
- 小泉八雲氏. - 東京 : 早稲田大学, 1933. - p. 47 - 早稲田学報 第457号
昭和8年(1933) より 切抜帳 1, p. 25

- 小泉八雲と仏教 / 井上哲次郎. - 東京 : 全日本真理運動本部, 1935.
- p.18-29 ; 21cm. - 真理 第1年第9号(1935)
- 小泉八雲と日本 : 相異なる二つの立場 / 大西忠雄. - 天理 : 天理大学,
1952. - p.95-114 ; 21cm. - 天理大学学报 4-2(1952)
〔ハーンの日本観は、旧日本への讚美と近代日本への批判を含んでいる。日本に対
する相異なる二つの態度は、ハーンに内在する主情的浪漫主義者と実証的社会学者
の対立とも考えられようと筆者はいう〕
- 小泉八雲と日本 / 谷川徹三. - 日本文化時報 昭和14, 1939 切抜帳 1, p. 60
〔ヘルンは詩人として日本を讚美したが、日本の生活には深入りしていたし、科学
的客観的精神にも富んでいた。神道の教義は近代科学と不調和な点が少ないと言っ
ている〕
- 小泉八雲と日本 / 玉井武. - 小樽 : 小樽商科大学, 1955. - p.113-132 ;
19cm. - 人文研究 第9輯(1955)
〔Japan Society of LondonのBulletinに出たKeith S. Bovey氏の論文を紹介したも
の。「日本」はハーンの傑作でない。それは彼にはびったりとしてない役である
〕とっている〕
- 小泉八雲と節子夫人. - 東京 : 主婦之友社, 1947. - p.8-13 ; 21cm. - 主婦之
友 第31巻第8号(1947) 3
- 熊本時代の小泉八雲. - 東京 : 日本英文学会, 1937. - p.283-284 ; 21cm.
- 英文学研究 第17巻第2 (1937)より
〔丸山学氏の「小泉八雲新考」の批判紹介 〕
- 熊本における小泉八雲 / 丸山学. - 広島 : 広島高師英語学会, 1935.
- p.15-39 ; 21cm. - 年刊英語論文集 第15号(1935)
- 草雲雀 / 高田力. - 富山 : 富山高等学校交友会, 1929. - p.1-7 ; 19cm.
- 交友会雑誌 第8号(1929)より
〔名作 Kusa-Hibariについての感想。「我国文学には各方面に亘り古代近世を通じ
て虫に関するものが極めて多い。これに反して、西洋の詩歌は・・・この虫の題目
に就いて詠んだものは甚だ少ない。・・・故に東西文学の比較の見地よりみても、
ヘルンの虫文学は誠に貴いものと言わねばならない〕
- 京都におけるラフカディオ・ハーンとウェンセスラフ・デ・モラエス : 資料と考察
(その2) / 梶谷泰之. - 京都 : 京都外国語大学, 1980. - p.1-13 ;
26cm. - 京都外国語大学研究論叢 第11号[1970]年より
- L. ハーンの作品と原話の比較 : 「お貞の話」と「和解」を中心に / 白神栄子
- 岡山 : 就実女子大学, 1981. - p.1-10 ; 26cm. - 就実論叢 第10号
〔昭和56年1月〕より
- L. Hearnと日本の詩 / 田中準著. - 東京 : 研究社, 1932. - p.81-92 ; 24cm
- 英文学研究 第12巻 第1〔昭和7年1月〕より
- Lafcadio Hearn / 太田黒実. - 熊本 : 熊本大学教育学部, 1957. - p.144-
151 ; 26cm. - 熊本大学教育学部紀要 第5号〔1975年〕より
〔ハーンの思想と文学論について述べている〕
- Lafcadio Hearn : an appreciation / G. S. Fraser. - 東京 : 日本英文学会,
1951. - p.269-281 ; 21cm. - 英文学研究 第27巻 第3号〔昭和26年7月〕より
〔A lecture given at Lafcadio Hearn's Centenary at the Shimane University on
27th June 1950. Professor Fraser talks about Hearn from three points of
view, as a teacher of English literature, as a master of English prose,
and as the poet of Japanese life.〕
- Lafcadio Hearn : The Brahman and his Brahmani 考 / 前田式子. - 東京 :

- (126) [H 0 9 5. 2]
 二松学舎, 1987. p.67-83 ; 21cm. - 二松学舎創立110 周年記念論文集抜刷
 [昭和62年(1987)年10月] より
- Lafcadio Hearn : the Japanese years / by Sylvia Verdun Metzinger. - Clifton,
 N. J. : Bookman Publication , 1990. - [5] p. ; 29 cm. - (Bookman's Weekly.
 v. 86, no. 12)
- Lafcadio Hearn : the New Orleans Years / by Sylvia Verdun Metzinger. - Clifton
 N. J. : Bookman Publication, 1988. - p.24-30 ; 29 cm. - (Bookman's weekly.
 v. 82, no. 1)
- Lafcadio Hearn : 松江との訣別 / 速川和男著. - p.171-176 ; 21cm. - (英学史
 研究 第7号抜刷[1974年9月] (日本英学史学会) 寄贈: 速川和男氏
- Lafcadio Hearn and H. F. Farny in "Ye Giglampz" / by Ichiro Nishizaki. - 東
 京 : お茶の水女子大学, 1957. - p.69-108 ; 21cm. - お茶の水女子大学人
 文学紀要 第10巻 [昭和32年12月] 別刷 寄贈: 西崎一郎氏
- Lafcadio Hearn and his relations in Dublin / Lilo Stephens. - 東京 : 研究社
 1973. - p.102-103 ; 26cm. - 英語青年 第119巻 第2号 [昭和48年5月] より
- ラフカディオ・ハーン「ある停車場にて」考 / 田中岩太郎. - 東京 : 日本大
 学経済学研究会, 1973. - p.1-7 ; 26cm. - 経済集誌 人文・自然科学 (日本大
 学経済学研究会) 第43巻別号 [昭和48年11月] より
- Lafcadio Hearn as translator / Angela Kitzinger. - Tokyo : Cross Continent,
 1959. - p.105-110 ; 26 cm. - Today's Japan. Vol. 4, no. 1. Japn. 1959 より
- ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻 月報 no. 12. - 東京 : 恒文社, 1988.
 - 10p ; 19cm.
 内容: ・ハーン蛙 (佐藤和夫) ・蚊とのつきあい方 (西成彦) ・八雲と漱石 (池田
 雅之)
- ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻 月報 no. 10. - 東京 : 恒文社, 1987.
 - 12p ; 19cm.
 内容: ・柳田とハーン (小泉凡) ・Lafcadio Hearn (ダグラス・ラミス) ・進歩的
 思想家としてのハーン像 (上) (齊藤正二)
- ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 月報 no. 14. - 東京 : 恒文社, 1988.
 - 16p ; 19cm.
 内容: ・キング氏の思い出とハーン (梶谷泰之) ・Japan (ポール・スノードン)
 ・チェンバレンとハーン (楠家重敏) ・ハーンとフランス (浜田泉) ・樹木と共苦
 共生 (下) (仙北谷晃一)
- ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻 月報 no. 8. - 東京 : 恒文社, 1985.
 - 10p ; 19cm.
 内容: ・「文学の解釈」を読む (出口保夫) ・ハーンとロマン主義精神 (松島正一
) ・ハーンと俗謡趣味 (榎井幹生)
- ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻 月報 no. 6. - 東京 : 恒文社, 1983.
 - 14p ; 19cm.
 内容: ・ハーンの魅力 (窪田般弥) ・きらめくギリシア (西村孝次) ・「日本 —
 一つの試論」について (平野仁啓) ・ハーンと文化的保守主義 (石附稔)
- ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 月報 no. 13. - 東京 : 恒文社,
 1988. - 14p ; 19cm.
 内容: ・二十一世紀のハーン (中里寿明) ・ラフカディオ・ハーンの足跡をヨーロ
 ッパ各地に訪ねる (中田賢次) ・小泉八雲とフランス (富田仁) ・樹木との共苦共
 生 (上) (仙北谷晃一)

- ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻 月報 no. 11. - 東京 : 恒文社, 1987. - 12p ; 19cm.
内容 : ・微笑する類推の人(銭本健二) ・ラフカディオ・ハーンとイマジストの接点(岩原康夫) ・進歩主義思想家としてのハーン像(下)(斉藤正二)
- ラフカディオ・ハーン著作集 第11巻 月報 no. 4. - 東京 : 恒文社, 1981 - 10p ; 19cm.
内容 : ・八雲と一雄(小泉時) ・ハーンと画家・小泉清(ワシオ・トシヒロ) ・雑司ヶ谷のほとり(田中一生)
- ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻 月報 no. 9. - 東京 : 恒文社, 1987 - 12p ; 19cm.
内容 : ・小泉家の人びと(戸川エマ) ・「女の髪」とギリシア神話(引地正俊) ・八雲が何度も戻ってきた(堀内守) ・ハーンとヘルン(西村六郎)
- ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 月報 no. 7. - 東京 : 恒文社, 1983 - 14p ; 19cm.
内容 : ・ハーンと絵画(高木大幹) ・ラフカディオ・ハーンとアニメ(秋山さと子) ・ハーンとフェノロサ(高田美一) ・ハーン研究の現状と展望(遠田勝)
- ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 月報 no. 15. - 東京 : 恒文社, 1988. - 16p ; 19cm.
内容 : ・ハーンにかかわる私的な思い出と関心(入沢康夫) ・ハーンが秋月悌次郎に視たもの(松本健一) ・小泉八雲「日本の庭」(田中圭) ・ハーンとクレオール語研究(田中克彦)
- Lafcadio Hearn in Japan / Makoto Sangu. - Tokyo : Cross Continent, 1959. - p.67-72 ; 26 cm. - Today's Japan. Vol. 4, no. 1, Jan. 1959より
- Lafcadio Hearn Journal. Vol.1. No. 2. - Cincinnati : Lafcadio Hearn Society, Fall 1991. - 8 p. ; 28cm.
Contents:- Lafcadio Hearn and Leona Queyrouze / by Junko Hagiwara. Glimpses of Unfamiliar Japan. 100 years later: A NEH Teacher-Scholar project / by Naomi H. Westcott. <Book review> A general catalogue of Hearn collections in Japan and Overseas / compiled by Kenji Zenimoto ; reviewed by Sylvia V. Metzinger.
- Lafcadio Hearn Journal. Vol. 2. No. 1. - Cincinnati : Lafcadio Hearn Society, Spring 1992. - 8 p. ; 28 cm.
Contents:- Jack London on Lafcadio Hearn / by Dennis Fox. Lafcadio Hearn : a tribute : written under the impression of Lafcadio Hearn's death in the Autumn of 1904 / by Hugo von Hofmannsthal ; translated by Alfred Klein-Kreutzmann. Lafcadio Hearn and ethnomusicology / by Bruce Nemerov. Dr. John Ashmead, 74, Professor; LH Scholar. Recent books on Hearn. <Book notes> Lafcadio Hearn: The Irish Background. Lafcadio Hearn Society/USA news
- Lafcadio Hearn Journal. Vol. 2. No. 2. - Cincinnati : Lafcadio Hearn Society, Winter 1992. - 8 p. ; 28 cm.
Contents:- Honoring Janes and Hearn in Kumamoto / by Bon Koizumi. Haunting Hearn's Havens / by JoCarroll Hann. <Book review> Lafcadio Hearn and vision of Japan / by Carl Dawson. --Recent books on Hearn--
- Lafcadio Hearn Journal. Vol. 3. No. 1. - Cincinnati : Lafcadio Hearn Society, Spring 1993. - 8 p. ; 28 cm.
Contents:- Requiem for a recluse : few foreigners attended Lafcadio Hearn's Japanese funeral but those who did reveal much about the man and his friends / by Dennis Fox, with Photographs of Lafcadio Hearn's funeral. Lafcadio Hearn and Alethea(Mattie) Foley / by Mary Keys.
- Lafcadio Hearn Journal. Vol. 3. No. 2. - Cincinnati : Lafcadio Hearn Society,

(128)

[H 0 9 5. 2]

Autumn 1993. - 8 p. ; 28 cm.

Contents:- Hearn and the way of the bow / by Alan Rosen. Lafcadio Hearn (Koizumi Yakumo): my attempt at interpretation : lecture to the Lafcadio Hearn Society USA, July 12, 1993 / by Gary Eith. Lafcadio Hearn in France / by Suetoshi Funaoka.

Lafcadio Hearn Journal. Vol. 4. - Cincinnati : Lafcadio Hearn Society, 1994.

8 p. ; 28 cm.

Contents:- A Jingoist in Japan : Lafcadio Hearn championed Japan's imperialist wars with China and Russia / by Dennis Fox. Hearn's Great-Grandson tours U. / by Naomi H. Westcott.

Lafcadio Hearn Journal. Vol. 5. - Cincinnati : Lafcadio Hearn Society, 1955.

8 p. ; 28cm.

Contents:- The place where clouds are born : On Lafcadio Hearn's Chita / by Patrice Repousseau.

ラフカディオ・ハーン研究年表 6、7、8、9 / 板東浩司. - 北海道東海大学国際文化学部, 1989-1992. - p.204-190,200-186,232-216,214-198 ; 26cm.

- 北海道東海大学紀要 人文社会科学系 第2、第3、第4、第5号[1990年3月~1993年3月]より

[東海大学札幌教養部彙報 第4-8号に掲載された筆者の同題の論文1-5の続編]

ラフカディオ・ハーン「草雲雀」考 / 田中岩太郎. - 東京 : 日本大学経済学研究会, 1970. - p.43-52 ; 26cm. - 経済集誌(日本大学経済学研究会) 第40号昭和45年(1970)11月より

Lafcadio Hearnに関する資料と考察 / 梶谷泰之. - 京都 : 京都外国語大学, 1973. - p.1-19 ; 26cm. - 京都外国語大学研究論叢 第14〔1973〕より
内容: 続き. KokoroのAppendix, Three Popular Ballads について

ラフカディオ・ハーンに見る'Strange'とその類義に関する一考察 / 中田賢次著.
- [水戸] : 茨城英語談話会, 1980.9. - 158-163 ; 21cm. - 茨城英語研究 第3号〔昭和55年9月〕より 寄贈: 中田賢次氏

Lafcadio Hearnに就いて / 北村常次. - 東京 : 研究社出版, 1950. - p.249 ; 26cm.

- 英語青年 第96巻 第6号〔昭和25年6月〕より

[「1880年代のアメリカ文学に関するHearnのeditorialsは・・・立派な文学評論と言えると思う」「Whitmanと共通する所のあるHearnは、Leaves of Grassを・・・不当にも八つ当たり式に口を極めて悪評痛罵する」]

ラフカディオ・ハーンについての誤解(I)(II)(III)(IV)(V) / 西野影四郎著. - 商船高等専門学校, 1972-1976. - 3冊 ; 26cm. - 商船高等専門学校紀要 第4号、第5号、第6号、第7号、第8号〔昭和47年3月-昭和51年3月〕

ラフカディオ・ハーンの新しさ / 阿部幸子著. - 京都 : 京都工芸繊維大学工芸学部1982. - p.115-130 ; 22cm. - 人文: 京都工芸繊維大学工芸学部研究報告 30〔昭和57年2月〕より

ラフカディオ・ハーンの仏教理解と日本の仏教 / 前田専学. p.77-89. ; 21cm.
- (東方第9号. 東京 : 東方学院, 1994. より) 寄贈: 前田専学氏

ラフカディオ・ハーンの文学論 / 田代三千稔著. - 横浜 : 鶴見女子大学, 1965. - p.31-45 ; 21cm. - 鶴見女子大学紀要 第3号〔昭和40年12月〕より
寄贈: 鶴見女子大学殿

ラフカディオ・ハーンの文学作品に表われた虚構性とリアリティ I、II / 西野影四郎著. - 商船高等専門学校, 1977-78. - 2冊 ; 26cm. - 商船高等専門学校紀要 第9号、第10号〔昭和52年1月-昭和53年3月〕より

内容：Ⅰ ルポルターージュ的作品「停車場にて」と「勇子」から Ⅱ ルポルターージュ的作品「生神」から

- Lafcadio Hearnの文体(1) OSHIDORIの分析的研究 / 中田賢次著. - [水戸] : 茨城英語談話会, 1978.9 - p.151-168 ; 21cm. - 茨城英語研究 英語教育・英語研究 第1号〔昭和52年9月〕より 寄贈：中田賢次氏
- Lafcadio Hearnの文体(2) Riki-Bakaの分析的研究 / 中田賢次著. - [水戸] : 茨城英語談話会, 1979.9 - p.59-74 ; 21cm. - 茨城英語研究 英語教育・英語研究 第2号〔昭和54年9月〕より 寄贈：中田賢次氏
- Lafcadio Hearnの文体(3) Of a Mirror and a Bellの分析的研究 その1 / 中田賢次著. - [水戸] : 茨城英語談話会, 1980.9. - p.142-157 ; 21cm. - 茨城英語研究 第3号〔昭和55年9月〕より 寄贈：中田賢次氏
- Lafcadio Hearnの文体(4) OF a mirror and a Bellの分析的研究 その2 / 中田賢次著. - [水戸] : 茨城英語談話会, 1982.2. - p.123-130 ; 21cm. - 茨城英語研究 第4号〔昭和57年9月〕より 寄贈：中田賢次氏
- ラフカディオ・ハーンの「英文学史」 / 野中恵子. - 東京 : 杉野女子大学, 1980. - p.178-183 ; 26cm. - 杉野女子大学紀要 17〔昭和55年12月〕より
- ラフカディオ・ハーンの英語教授 : スペンサーの「教育論」との関わりにおいて / 庭野吉弘著. [東京] : 日本英文学会, 1982.10. - p.141-157 ; 21cm. - 「英学史研究」第15号別刷 寄贈：庭野吉弘氏
- ラフカディオ・ハーンのG. メレディス観 / 浜四津文一郎著. - 東京 : オベロン社, 1935. - p.18-21 ; 22cm. - オベロン(東大英文学研究会編) XI〔昭和10年9月〕より 寄贈：浜四津文一郎氏
- "Lafcadio Hearn"の発音 / 岩瀬恭. - 東京 : 研究社, 1953. - p.66 ; 26cm. - 英語青年 第99巻第12号〔昭和28年(1953)12月〕より
- Lafcadio Hearnの発音 / 空西哲郎. - 東京 : 研究社, 1953. - p.41 ; 26cm. - 英語青年 第99巻第4号〔昭和28年(1953)4月〕より
- ラフカディオ・ハーンのホイットマン論 / 吉武好孝著. - 保谷 : 武蔵野女子大学, 1979. - p.129-139 ; 26cm. - 武蔵野女子大学紀要 Vol. 14(1979)より
- Lafcadio Hearnの情緒主義的文学評論 / 姫野誠二著. - p.23-33 ; 21cm. - (滋賀県立短期大学雑誌 第1巻2号B〔昭和27年3月〕より
- ラフカディオ・ハーンの怪奇物語 / 田代三千稔著. - 横浜 : 鶴見女子大学, 1968. - p.9-22 ; 21cm. - 鶴見女子大学紀要 第6号〔昭和43年12月〕より 寄贈：鶴見女子大学殿
- ラフカディオ・ハーンの怪奇物語(Ⅱ) / 田村三千稔著. - 横浜 : 鶴見女子大学, 1969. - 鶴見女子大学紀要 第7号〔昭和44年(1969)12月〕より
- Lafcadio Hearnの紀行文"From Hoki to Oki"について : ノートから完成までの展開、附録未発表資料、Hearnの旅行用ノートの内容=Some considerations on "From Hoki to Oki" by Lafcadio Hearn : The development from his notes to the final version, appendix : the contents of Hearn's note(a previously unpublished material) / 梶谷延著. - 松江 : 島根大学, 1960.2. - p.1-23 ; 26cm. - 島根大学開学十周年記念論文集 人文科学篇〔昭和25年2月〕抜刷
- ラフカディオ・ハーンの講義用メモ : 小泉八雲手稿について / 河原畑正行. - 天理 : 天理大学, 1966. - p.37-38 ; 21cm. - 天理大学図書館報 ビブリア no. 34〔昭和41年10月〕より

- (130) [H 0 9 5. 2]
Lafcadio Hearnのこと / 西崎一郎著. - 東京 : 研究社出版, 1952. - p. 71 ; 26cm. - 英語青年 第98巻 第2号 [昭和27年 2月] より
[O. W. Frost 氏がBritish War Officeでハーンに関する新しい事実を確かめたこと。それによると、母親は字が書けない女であった、など]
- Lafcadio Hearnのことども (小日向定次郎) Hearn の思い出 (田部隆次) Hearn 先生に関し思出るまま (日高只一) Hearn : In French West Indies (笠井満訳注) Hearn : Answering to my young questioner (吉田繁子訳注) Hearn の文学評論 (荒川龍彦) A Firefly (Lafcadio Hearn) 東京 : 研究社, 1950. - p. 4-25 ; 24cm. - 英語研究 第39巻第 6号 (昭和25年 6月) の Lafcadio Hearn 特集より
- Lafcadio Hearnの熊本時代 / 丸山学著. - 東京 : 日本英文学会, 1935. p. 360-371 ; 24cm. - 英文学研究 第15巻 第 3 [昭和10年 7月] より
内容 : 1. 熊本着任 II. "Household Shrine" と "The diary" III. "Glimpses" の成立 III. "Stone Buddha" IV. 紀行文その他 V. "Out of the East" の完成 VI. その他の作品 [IIIは重複]
- ラフカディオ・ハーンの松江時代に関する資料と考証 その2 / 梶谷延著. - 松江 : 島根大学, 1957. 3. - p. 92-108 ; 26cm. - 島根大学論集 (人文科学) 第 7号 [昭和32年 3月] 抜刷 寄贈 : 島根大学殿
内容 : ハーン雇入に関する資料. ハーンの著書Glimpses of Unfamiliar Japanに寄せられた事実の考証. 松江の島根県尋常中学校に於けるハーンの教授内容 (横木富三郎ノート)
[新しい資料によってハーンの雇入れについて、Glimpsesに記載された事実について、ハーンの授業内容から検討している]
- ラフカディオ・ハーンの松江時代に関する資料と考証 その3 / 梶谷延著. - 松江 : 島根大学, 1958. 2. - p. 1-20 ; 26cm. - 島根大学論集 (人文科学) 第 8号 [昭和33年 2月] 抜刷 寄贈 : 梶谷延氏
内容 : ハーンの助力者、西田千太郎 (1)
[西田千太郎日記によってハーンの生活と著作に関する事実を研究し、従来不明であったハーンの松江着任の日が明治23年 8月30日であったことを明らかにした]
- ラフカディオ・ハーンの松江時代に関する資料と考証 その4 / 梶谷延著. - 松江 : 島根大学, 1959. 2. - p. 1-16 ; 26cm. - 島根大学論集 (人文科学) 第 9号 [昭和34年 2月] 抜刷 寄贈 : 梶谷延氏
内容 : ハーンの助力者、西田千太郎 (1) (続)
[論集第 8号につづいてハーンの助力者西田千太郎の日記を採録し、それを通じてハーン生活と著作について考証している]
- Lafcadio Hearnの松江時代に関する資料と考証 その5 / 梶谷延著. - 松江 : 島根大学, 1961. 3. - p. 1-19 ; 26cm. - 島根大学論集 (人文科学) 第10号 [昭和36年 3月] 抜刷 寄贈 : 島根大学殿
内容 : 西田千太郎教頭の日記と同日記によるハーンの生活及び著者に対する考証 (続) れた事実の考証. 松江の島根県尋常中学校に於けるハーンの教授内容 (横木富三郎)
- Lafcadio Hearnの松江時代に関する資料と考証 その6 / 梶谷延著. - 松江 : 島根大学, 1962. 3. - p. 13-31 ; 26cm. - 島根大学論集 (人文科学) 第11号 [昭和 3 7年] 抜刷 寄贈 : 島根大学殿
内容 : 西田千太郎教頭の日記 (続)
- Lafcadio Hearnの虫の文学 / 田代三千稔著. - 横浜 : 鶴見女子大学, 1967. p. 25-37 ; 21cm. - 鶴見女子大学紀要 第 4号 [昭和 4 2年 2月] より 寄贈 : 鶴見女子大学殿
- ラフカディオ・ハーンの虫の文学 / 豊田政子著. - 東京 : 東洋大学, 1994. p. 55-67 ; 26cm. - 東洋大学紀要 教養課程篇 第33号 [1994年 3月] より

- ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の名前の由来とその家系図 / 西野影四郎著.
 - 商船高等専門学校, 1971. - p. 323-333 ; 26cm. - 商船高等専門学校紀要
 (昭和46年 3月) 別刷
- Lafcadio Hearnの人間性について / 津田昇著. - 大阪 : 関西外国語短期大学.
 1964. - p. 65-80 ; 22cm. - 関西外国語大学研究論集 第10号 (1964年 9月)
 より 寄贈: 津田昇氏
- ラフカディオ・ハーンの来日前後 / 小玉晃一著. - 東京 : 青山学院大学一般
 教育部会, 1965. 11. - Pp. 45-51 ; 26cm. - 青山学院大学一般教育部会論集 第
 6号 (昭和40年11月) より 寄贈: 青山学院大学殿
- ラフカディオ・ハーンの世界観 / 田代三千稔著. - 横浜 : 鶴見女子大学,
 1964. - p. 31-36 ; 21cm. - 鶴見女子大学紀要 第2号 (昭和39年12月) より
 寄贈: 鶴見女子大学殿
- ラフカディオ・ハーンの世界観・宇宙観についての二、三の考察 : 仏教、ハーバード・
 スペンサーなどによる影響を論ず (I) (II) / 西野影四郎著. - 商船
 高等専門学校, 1970-71. - 2冊 ; 26cm. - 商船高等専門学校紀要 第2号、第
 3号 (昭和45年 3月-昭和46年 3月) 別刷
- Lafcadio Hearnの神秘主義文学 / 姫野誠二著. - p. 1-2 ; 26cm. - (滋賀県立大
 学農業短期大学学術報告 第2部第1号 (昭和27年 1月) より抜粋)
 [Hearnは通例日本文化の西洋への紹介者と言われている。勿論それに間違いはないが
 彼の神秘主義文学の本質は決して単に日本の情緒の翻訳や紹介でない。この過去内
 在の神秘感こそ、彼の拓いた独自の分野であり、世界文学史上に強くその存在を主
 張し得るものなである]
- ラフカディオ・ハーンの草稿 : 「Nightmare-touch」その他 / 河原畑正行著.
 - 天理 : 天理図書館, 1937. - p. 55-65 ; 23cm. - 日本文化 第4輯第9
 号 (昭和12年 2月) より 寄贈: 天理図書館殿
 [ハーンの草稿101枚について、その内容を全集のテキストと比較したもの]
- ラフカディオ・ハーンの足跡を求めて : アメリカ時代 / 中田賢次著. - p. 17
 -50 ; 26 cm. - (茨城工業高等専門学校研究彙報-Research reports of
 Ibaragi Technical College. 第16号 (昭和56年 3月) より抜粋) 寄贈: 中田賢次殿
- Lafcadio Hearnの推敲過程 : Oshidoriの草稿に見る / 中田賢次著. - (水
 戸) : 茨城英語談話会, 1982. 2 - p. 117-122 ; 21cm. - 茨城英語研究 第4
 号 (昭和57年 2月) より 寄贈: 中田賢次氏
- ラフカディオ・ハーンの生涯と文学 / 田中岩太郎. - 東京 : 日本大学経済学
 研究会, 1978. - p. 48-49 ; 26cm. - 経済集誌 (日本大学経済学研究会) 第48
 巻別号 (昭和53年(1978)11月) より
- ラフカディオ・ハーン(Lafcadio Hearn)の短篇数篇に見出される素朴美 / 片田一徹
 著. 松阪 : 松阪女子短期大学学術研究会, 1964. - p. 70-98 ; 21cm.
 松阪女子短期大学論叢 創刊号 (1964年12月) より抜粋 寄贈: 松阪女子短期大学
- Lafcadio Hearnの手紙. - 東京 : 研究社, 1931. - p. 144 ; 24cm. - 英文学研
 究 第11巻第1 (昭和 6年1月) の「雑録」の項より
 [1900年(明33)6月16日づけでKomai氏にあてたもの。東洋的な考え方を元にして
 西洋文学の研究に向かうのが正しいという]
- ラフカディオ・ハーンの蔵書 : 大学蔵書めぐり / 小森典著. - 東京 : 研
 究社, 1957. - p. 33 ; 21cm. - 英文法研究 第1巻 第3号 (昭和32年 5月)
 より [富山大学のヘルン文庫について説明]
- ラフカディオ・ハーン「お貞の話」考 / 田中岩太郎. - 東京 : 日本大学経済
 学研究会, 1972. - p. 1-9 ; 26cm. - 経済集誌 人文・自然科学編 第42巻別号

〔昭和47年(1972)11月〕より

- Lafcadio Hearn論考 : 怪談: Diplomacy を中心として / 中田賢次著. - 勝田 : 茨城工業高等専門学校, 1980. - p. 1-29 ; 26cm. - (茨城工業高等専門学校研究彙報=Research reports of Ibaragi Technical College. 第15号〔昭和55年3月〕より抜粋) 寄贈: 中田賢次氏
- Lafcadio Hearn論考 : 怪談: Diplomacy を中心として(承前) / 中田賢次著. - 勝田 : 茨城工業高等専門学校, 1983. - p. 37-49 ; 26cm (茨城工業高等専門学校研究彙報=Research reports of Ibaragi Technical College. 第18号〔昭和58年3月〕より抜粋) 寄贈: 中田賢次氏
- Lafcadio Hearn論考 : 怪談: MUJINAの成立をめぐって / 中田賢次著. - 勝田 : 茨城工業高等専門学校, 1974. p. 97-112 ; 26cm. - (茨城工業高等専門学校研究彙報=Research report of Ibaragi Technical College. 第9号〔昭和49年3月〕) 別刷 寄贈: 中田賢次氏
- Lafcadio Hearn論考 : 怪談: OSHIDORIを中心として / 中田賢次著. - 勝田 : 茨城工業高等専門学校, 1975. - p. 71-89 ; 26cm. - (茨城工業高等専門学校研究彙報=Research reports of Ibaragi Technical College. 第10号〔昭和50年3月〕) 別刷 寄贈: 中田賢次氏
- Lafcadio Hearn論考 : 怪談: The story of Mimi-Nashi-Hoichiを中心として / 中田賢次著. - 勝田 : 茨城工業高等専門学校, 1984. - p. 31-48 ; 26cm. - (茨城工業高等専門学校研究彙報=Research report of Ibaragi Technical College. 第19号〔昭和59年3月〕より) 寄贈: 中田賢次氏
- Lafcadio Hearn論考 : 怪談: The story of O-Teiを中心として / 中田賢次著. - 勝田 : 茨城工業高等専門学校, 1977. - p. 35-73 ; 26cm. - (茨城工業高等専門学校研究彙報=Research reports of Ibaragi Technical College. 第12号〔昭和52年3月〕) 別刷 寄贈: 中田賢次氏
- Lafcadio Hearn論考 : 怪談: The story of O-Teiを中心として[続] / 中田賢次著. - 勝田 : 茨城工業高等専門学校, 1978. - p. 7-40 ; 26cm. - (茨城工業高等専門学校研究彙報=Research report of Ibaragi Technical College. 第13号〔昭和53年3月〕) 別刷 寄贈: 中田賢次氏
- Lafcadio Hearn論考 : 怪談: YUKI-ONNA の成立をめぐって / 中田賢次著. - 勝田 : 茨城工業高等専門学校, 1975. - p. 9-30 ; 26cm. - (茨城工業高等専門学校研究彙報=Research reports of Ibaragi Technical College. 第11号〔昭和51年3月〕) 別刷 寄贈: 中田賢次氏
- ラフカディオ・ハーン先生の追憶 / 岸重次著. - 金沢 : 北国新聞社, 1951. - p. 50-51 ; 22cm. - 北国文化 第6巻 第2号〔昭和26年1月〕より
- Lafcadio Hearn's borther / by Henry Tracy Kneeland. - Concord, N. H. : Atlantic Monthly, 1923. - p. 20-27 ; 24 cm. - The Atlantic monthly 1923より
- Lafcadio Hearn's and Koizumi Setsuko's "Oshidori" : emblem of a conjugal affection / by Sukehiro Hirakawa. - Tokyo : University of Tokyo, 1987. - p. 96-105 ; 21 cm. Offprint from Modernizing Japan in comparative perspective / by Hirakawa Sukehiro. (1987) 東京大学比較文化研究 Vol. 26, 1987より
- Lafcadio Hearn's Japanbild / Erwin Jahn. - 名古屋 : 南山大学南山学会, 1961. - p. 1-22 ; 21cm. - アカデミア : 人文・体育篇 31号より抜粋 寄贈: 南山学会殿
- Lafcadio Hearn試論 / 小松元也著. - 秋田 : 秋田大学附属図書館, 1968. 2. p. 1-12 ; 26cm. - 秋田大学教育学部研究紀要: 人文科学・社会科学 第18集〔昭和43年2月〕より 寄贈: 秋田大学殿

- Lafcadio Hearn, Teacher / Edmund Blunden. - Tokyo : Cross Continent, 1959.
- p.63-65 ; 26cm. Today's Japan. Vol. 4, no. 1, Jan. 1959 より
- Lafcadio Hearn, the story of the Futon of Tottori の<読み>をめぐって : テクスト分析と学生のレポートから / 柳田寛著. - 札幌 : 北海道医療大学基礎教育部, 1995. - p. 1-17 ; 26cm. - 北海道医療大学基礎教育部論集 第21号(1995年)より 寄贈:北海道医療大学殿
- ラフカディオ・ハーンと仏教 / 田代三千稔著. - 横浜 : 鶴見女子大学, 1968
- p.43-49 ; 21cm. - 鶴見女子大学紀要 第5号〔昭和43年3月〕より
寄贈:鶴見女子大学殿
- Lafcadio Hearnと仏教美術 / 山口静一著. - 埼玉 : 埼玉大学, 1968. - p.53-65 ; 26cm. - 埼玉大学HERON No. 3 (1968) 抜刷 寄贈:山口静一殿
- ラフカディオ・ハーンとギリシャ詩 / 引地正俊著. - 東京 : 早稲田大学比較文学研究室, [n. d.]. - p.52-66 ; 23cm. - 比較文学年誌 第10巻より抜粋
- Lafcadio Hearnと俳句 : 虫について / 速川和男. - 東京 : 立正大学教養部, 1977. - p.71-82 ; 26cm. - 立正大学教養部紀要 第11号〔昭和52年12月(1977)〕より
- ラフカディオ・ハーンとキリスト教 / 島谷照夫著. - 西宮 : 関西学院大学商学研究会, 1969. - p.1-11 ; 21cm. - 商学論究 荻田庄五郎教授記念号〔昭和44年3月〕より 寄贈:関西学院大学殿
- ラフカディオ・ハーンとマティー・フォーリー / 中田賢次著. p. 11-31 ; 26cm.
- (茨城工業高等専門学校研究彙報=Research reports of Ibaragi Technical College. 第17号〔昭和57年3月〕より抜粋)
寄贈:中田賢次氏
- ラフカディオ・ハーンと猫 / 錢本健二. - 松江 : 島根大学, 1989. - p.33-43 ; 26cm. - 山陰地域研究 第5号〔1989年3月〕より
- Lafcadio Hearnと西田千太郎 : その書簡をめぐって / 速川和男著. - 東京 : 立正大学教養部, 1978. - p.19-27 ; 26cm. - 立正大学教養部紀要 第12号〔1978〕より 寄贈:速川和男殿
- ラフカディオ・ハーンと音楽 / 仙北谷晃一著. - 東京 : 朝日出版社, 1985.
p.1-23 ; 21cm. - 比較文学研究 / 東大比較文学会編 第47号特輯「小泉八雲」〔1985年4月〕より 寄贈:東大比較文学会殿
- ラフカディオ・ハーンと大谷正信 : 書簡と人間 / 速川和男. - 東京 : 立正大学英文学会, 1979. - p.5-19 ; 21cm. - 英文学論考(立正大学英文学会) 第9輯
- ラフカディオ・ハーンと聖者伝説 / 錢本健二著. - 松江 : 島根大学山陰地域研究総合センター, 1986. - p.73-87 ; 26cm. - 山陰地域研究(伝統文化) 第2号〔1986年3月〕抜刷 寄贈:錢本健二氏
- ラフカディオ・ハーンと神聖舞踏 / 錢本健二著. - 松江 : 島根大学山陰地域研究総合センター, 1987. - p.113-126 ; 26cm. - 山陰地域研究(伝統文化) 第3号〔1987年3月〕抜刷 寄贈:錢本健二氏
- ラフカディオ・ハーンとウェンセスラウ・デ・モラエスと烈女畠山勇子 : 京都におけるハーン資料(その1) / 梶谷泰之. - 京都 : 京都外国語大学, 1968
p.1-4 ; 26cm. - 京都外国語大学研究論叢 第10号〔1968年〕より
- ラフカディオ・ハーンと焼津 / 田中岩太郎. - 東京 : 日本大学経済学研究会, 1974 - p.683-692 ; 26cm. - 経済集誌(日本大学経済学研究会) 第44巻 第3・

- (134) [H 0 9 5 . 2]
4号、別号、合併号〔昭和49年(1964)年10月〕より
- ラフカディオ・ヘルン / 工藤好美著. - 東京 : 英語青年社, 1935. - p. 291-293 ; 26cm. - 英語青年 第72巻 第9号〔昭和10年2月〕より
- ラフカディオ・ヘルンと出雲大社 / 中和夫. - 東京 : 神道学会, 1957. - p. 54-57 ; 21cm. - 神道学 復刊第12号〔昭和32年(1957)2月〕より
〔ハーンと出雲大社との関係をハーンと千家宮司との間にかわされた手紙などによって叙述したもの〕 寄贈 : 神道学会
- ラフカディオ・ヘルンと出雲大社(承前) / 中和夫. - 東京 : 神道学会, 1958. - p. 30-31 ; 21cm. - 神道学 復刊第16号〔昭和33年(1958)2月〕より
寄贈 : 神道学会
- ラフカディオ・ヘルンと日本 : 比較文学からみた或る「媒体」の意義 / 島田謹二著. - 東京 : 研究社, 1953. - p. 506-507 ; 26cm. - 英語青年 第99巻 第11号〔昭和28年11月〕より〔日本の比較文学者にゆるされる分野は日本文学の伝統に寄与したヘルンの系譜の追求であるとする〕
- ラフカディオ・ヘルンと日本文化(1) 文字のイメージを通じて / 豊田政子著. - 東京 : 東洋大学, 1987. - p. 25-36 ; 26cm. - 東洋大学紀要 教養課程篇 第26号〔1987年3月〕より
- ラフカディオ・ヘルンと日本文化(2) 彼の自然観と日本庭園について / 豊田政子著. - 東京 : 東洋大学, 1989. - p. 45-59 ; 26cm. - 東洋大学紀要 教養課程篇 第27号〔1988年3月〕より
- ラフカディオ・ヘルンと日本文化(3) 物語に見るヘルンの心と愛のバリエーションについて / 豊田政子著. - 東京 : 東洋大学, 1989. - p. 45-59 ; 26cm. - 東洋大学紀要教養課程篇 第28号〔1989年3月〕より
- ラフカディオ・ヘルンと日本文化(4) 物語に見る愛とその遍歴について / 豊田政子著. - 東京 : 東洋大学, 1990. - p. 79-90 ; 26cm. - 東洋大学紀要 教養課程篇 第29号〔1990年3月〕より
- ラフカディオ・ヘルンと日本文化(5) 京都紀行から / 豊田政子著. - 東京 : 東洋大学, 1991. - p. 85-98 ; 26cm. - 東洋大学紀要 教養課程篇 第30号〔1991年3月〕より
- ラフカディオ・ヘルン研究資料 : 「西田千太郎日記」について / 広瀬朝光著. - 松江 : 島根大学, 1975. - p. 75-114 ; 22cm. - 島根大学文理学部紀要 文学科編 第9号(1975)より
- ラフカディオ・ヘルン研究資料〔1〕「山陰新聞(明治二十五年3月~明治三十七年10月)記事」 / 広瀬朝光著. - 松江 : 島根大学, 1976. - p. 23-65 ; 22cm. - 島根大学文理学部紀要 文学科編 第10号(1976)より
- ラフカディオ・ヘルン研究資料(2) 「九州日日新聞」の記事を中心に / 広瀬朝光著. - 松江 : 島根大学, 1976. - p. 9-23 ; 22cm. - 山陰文化研究紀要 第16号(人文・社会科学・自然科学合併号)〔昭和51年3月〕より
寄贈 : 山陰文化研究所殿
- ラフカディオ・ヘルン研究資料(3) 「神戸又新日報」(明治27年10月~明治29年8月)の記事・その他 / 広瀬朝光著. 松江 : 島根大学, 1977. p. 117-136 ; 21cm. - 山陰文化研究紀要 第17号〔1977年3月〕より
- Λ Ε Ψ Κ Α Δ Ι Ο Σ Χ Ε Ρ Ν : Α Ρ Θ Ρ Α Π Ο Ψ Δ Η Μ Ο Σ Ι Ε Ψ Θ Η - Κ Α Ν Ε Φ Η Μ Ε Ρ Ι Δ Ε Σ , Π Ε Ρ Ι Ο Δ Ι Κ Α , Κ Α Π . [ギリシアの新聞・雑誌に掲載されたヘルンの記事=<ラフカディオ・ヘルン> [ギリシャ] : 1987.6 101 p. ; 30 cm. 寄贈 : 元日航アテネ支店長西村六郎氏

内容(原文はギリシア語のため寄贈者の西村六郎氏の翻訳による)

ラフカディオ・ヘルンの経歴 1. 出生証明書 1850年7月12日 レフカダ町
 2. 日本(1905年10月31日 パンアテナ雑誌) 3. 日本の伽話(1909年10月15日
 パンアテナ雑誌) 4. リキバカ(1910年1月31日 パンナテナ雑誌)
 5. 伝記より L. H. (1910年1月31日 パンナテナ雑誌) 6. かけひき
 (1910年2月28日 パンアテナ雑誌) 7. バカバリ(1910年9月15-30日 パ
 ンアテナ雑誌) 8. ラフカディオ・ヘルン(1917年1月6日 <希望>ロン
 ドン) 9. 怪談(1922) 10. 日本にて(1930) 11. ラフカディオ・ヘルン
 (1930年12月22, 23, 24日 カシメリニ新聞) 12. おていの話(1931年 <花束>
 雑誌) 13. 東洋のお伽話(1932年<本の声>) 14. ラフカディオ・ヘルン
 (1932年9月<イオニア文集>) 15. ラフカディオ・ヘルン(1933年10月15日)
 16. ラフカディオ・ヘルン(ギリシア大百科事典) 17. ラフカディオ・ヘルン
 (1934年アテネ日希協会誌) 18. ラフカディオ・ヘルンと日本の教育(1934)
 19. 破壊(1945) 20. 11, Ιουλιου, 1950, <カシメリニ>新聞 21. 外観
 と思想(1976年10月24日) 22. ΕΠΤΑΝΗΣΙΟΣ Ο ΕΘΝΙΚΟΣ
 ΠΟΙΗΤΗΣ ΤΗΣ ΙΑΠΟΝΙΑΣ (1977年3月7日) 23. ラフカディ
 オ・ヘルン(日本人)(1978年 <カシメリニ版>) 24. 日本の伝説(1980年
) 25. L. H. 生涯と作品(1986年) 26. パトリック・ラフカディオ・ヘルン
 (1986年12月6日 <メッシンプリニ>新聞) 27. ・ヘルンの母(1987年3月<
 キシラの声> 28. L. H. 小泉八雲 29. ローザとヘルン
 以下割愛(単行本のため)

Lafcadioの発音について / 空西哲郎. - 東京 : 研究社, 1954. - p. 40 ;
 26cm. - 英語青年 第100巻第1号〔昭和29年(1954)1月〕より

"Letters to a Pagan" not by Hearn / Albert Mordell. - Tokyo : Cross Continent,
 1959. - p. 7-18. ; 26cm. - Today's Japan. Vol. 4, No. 11(1959)より

マルチニーク熱帯紀行 1-4 / 工藤美代子著. - 東京 : 日本アイ・ビー・
 エム, 1993-1995. - p. 120-137, 106-121, 82-97, 76-91 ; 30cm. - (ラフカディ
 オ・ハーン追想 ; 1-4) - 無限大 No. 93, 95, 96, 97 [1993年3月~
 1995年1月]より

丸山学氏の業績と人柄 / 小川二郎. - 東京 : 研究社, 1970. - p. 292 ; 26m.
 - 英語青年 第116巻第12号〔1970(昭和45年)5月〕より

松江師範とヘルン / 丸山学. - 東京 : 英語青年社, 1937. - p. 8 ; 26cm.
 英語青年 第76巻第8号〔昭和12年(1937)1月〕より
 [ハーンの松江師範兼任についての疑いについて, Sayonara! から引用して、その
 誤りでないことを説いている]

明治村通信 第48号 第8回明治村茶会、小泉八雲展記念号. - 東京 : 明治村東
 京事務所, 1974. - 32p ; 27cm.

内容:御挨拶(谷川徹三) ヘルン先生の思い出(野尻抱影) ラフカディオ・ヘ
 ルン素描(木村毅) ハーンとは俺のことかとヘルン聞き(野田宇太郎) 小泉八
 雲の日本観(太田三郎) ハーンと日本の心:盆踊のことなど(高木大幹) 八雲
 と妻の座(長谷川泉) ハーンの日本定住(佐藤孝巳) 八雲研究と諸家の思い出
 (小沢明子) ハーンの来日関係資料(小玉晃一) 私の卒業論文とハーン(手塚
 竜麿) 「仏領西インド諸島のメモ帳」(富田仁) ハーンの読者:併せて邦訳全
 集について(森亮) 「怪談」翻訳事始(速川和男) 小泉八雲と夏目漱石(大村
 喜吉) チェンバレンとハーン(高梨健吉) 小泉八雲とバーナード・リーチ(浜
 川博) ラフカディオ・ハーンの功罪について(吉武好孝) ラフカディオ・ハ
 ーンのホテルマン論(鈴木保昭) ハーンとモラエスと畠山勇子(梶谷泰之) 松
 江の小泉八雲(池野誠) 小泉八雲略年譜

女神との心中 : 「赤い婚礼」のおよしとハーン / 河島弘美著. - 東京 :
 朝日出版社, 1985. - p. 144-155 ; 21cm. - 比較文学研究 / 東大比較文学会
 編 第47号 特輯「小泉八雲」より 寄贈:東大比較文学会殿

Memoirs of Hearn told by Mrs. Barel. - Tokyo : Hokuseido, 1933. - The Pole

- (136) [H 0 9 5. 2]
Star Monthly. Vol. IV, No. 5 [dec. 1, 1933 (昭和8年)] より 新聞切り抜き
帳1、32ページ [”The Item,” New Orleans, 18. Aug. 1933 から転載。このころ
世に出たバレル夫人の「ヘルン回想記」の紹介]
- 「耳無し芳一の話」の原話をめぐって / 中田賢次著. - 東京 : 朝日出版社,
1985. - p.135-143 ; 21cm. - 比較文学研究 / 東大比較文学会編 第47号
特輯「小泉八雲」〔1985年4月〕より 寄贈: 東大比較文学会殿
- 「耳無し芳一の話」をめぐって / 高橋義孝著. p. 10-12 ; 21cm. - (風景
通巻76号〔昭和42年1月〕より抜粋) 寄贈: 島根大学山陰文化研究所殿
- 民族のこのころのことなど(覚書) 第1 ラフカディオ・ヘルンのこと / 徳宣一郎
著. - 富山 : 北陸経済研究所, 1981. - p.1-5 ; 26cm. - 北陸経済研究
No. 34〔1981〕 電子複写
- モラエス考 / 田坂長次郎. - 東京 : 立正大学教養部, 1974. - p.71-76 ;
26cm. - 立正大学教養部紀要 第8号〔1974〕より
- 虫めづるハーン / 牛村圭著. - 東京 : 朝日出版社, 1985. - p.156-164 ;
22cm. - 比較文学研究 / 東大比較文学会編 第47号 特輯「小泉八雲」
〔1985年4月〕より 寄贈: 東大比較文学会殿
- My teacher, Lafcadio Hearn / Motoi Kurihara. - Tokyo : Cross Continent, 1959.
- p. 97-102 ; 26 cm. - Today's Japan. Vol. 4, no. 1. Jan. 1959より
- 猫三態 : ハーンとポーとボードレールにおける内面的葛藤 / 池田正年著.
- 松江 : 島根大学法文学部, 1981.12. - p.281-295 ; 21cm. - 島根大学
法文学部紀要 文学科編 第4号II〔昭和56年12月〕より抜粋
内容: はじめに. I. ハーン「夢を食うもの」 II. ポー「黒猫」 III. ボード
レール「黒猫たち」 IV. ハーンとボードレール. おわりに.
- 年表形式によるラフカディオ・ハーン伝 : 来日以前を中心に(1) / 板東浩司
- 札幌 : 北海道東海大学, 1994. - p.168-152 ; 26cm. - 北海道東海大学
紀要 人文社会科学系 第6号〔1994年3月〕より
- 年表形式によるラフカディオ・ハーン伝 : アメリカ時代(1) - (2) / 板東
浩司. - 札幌 : 北海道東海大学, 1995-1996. - p.176-143, 222-194 ; 26cm.
- 北海道東海大学紀要 人文社会科学系 第7号、第8号〔1995年3月-1996年
3月〕より
- New Hearn letters from the French West Indies / by Ichiro Nishizaki. Tokyo :
Ochanomizu University, 1959 p. 59-110 ; 21 cm.
お茶の水女子大学人文科学紀要 第12巻(昭和34年6月)より 寄贈: お茶の水女
子大学 別刷の寄贈: 西崎一郎氏
〔西インド諸島からの手紙25通をおさめている〕
- Newly discovered letters from Lafcadio Hearn to Dr. Rudolph Matas / by Nishi-
zaki Ichiro. - 東京 : お茶の水女子大学, 1956.3. - p.85-118 ; 26cm.
- お茶の水女子大学人文科学紀要 第8巻〔昭和31年3月〕抜刷
寄贈: 西崎一郎氏
〔ハーンがニューオーリアンズで10年にわたって親交を結んだ Dr. Matasにあて
て、1886から1888年の間に西インドのマルチニークその他から送った手紙22通(未
発表)を収めている〕
- ニュー・オーリアンズ博覧会とハーン / 小玉晃一. - 東京 : 研究社, 1965.
- p.801 ; 26cm. - 英語青年 第111巻 第12号〔昭和40年(1965)12月〕より
- ニュー・オリンズ時代のハーンの友マタス博士 / 西崎一郎. - 東京 : 研究社
1965. - p.17 ; 26cm. - 英語青年 第111巻第12号〔昭和40年(1965)12月〕より

NHKテレビ・ドラマ「日本の面影」批判 : 小泉八雲研究の発展のために / 池野誠著 - 平田 : 島根県立平田高等学校教務部, 1984. - p. 1-12 ; 26cm.
- 研修 (島根県立平田高等学校) 第17 [1984] より

日露戦争とハーンおよびコンラント / 山路勝之. - 鹿児島 : 鹿児島大学英文研究室, 1973. - p. 38-74 ; 21cm. - 英語英文学論集 No. 4 (1973) より

人間ヘルンの内的生活一、二の私見 / 津田昇著. - 東京 : 精華学園, 1963. p. 43-47 ; 26cm. - 精華学園研究紀要 第1輯 [昭和38年4月] より
寄贈 : 津田昇氏

人間としての父八雲 : 生誕百年記念に因んで / 小泉一雄. - 東京 : 改造社, 1950. - p. 118-123 ; 21cm. - 改造 第31巻第6号 [昭和25年(1950)6月] より

日本人と英国人 / 築島謙三. - 東京 : 大修館書店, 1968. - p. 5-7 ; 26cm. - 英語教育 第17巻 第7号 [昭和43年10月] より

日本人と欧米人 第1 / 藤本充安. - 東京 : 学士会, 1930. - p. 14-17 ; 21cm. - 学士会月報 第509号(1930)より
[日本人が平和愛好の国民であることや日本人が欧米崇拜になって行く筋道を書いている中に、五高時代ヘルンに教えをうけ、その美辞麗句に感じたことが出てくる] 寄贈 : 学士会殿

日本にヘンリー・ロングフェロー / 佐渡谷重信. - 福岡 : 西南学院大学, 1968. - p. 21-48 ; 21cm. - 西南学院大学英語英文学論集 第9巻第1号(1968)より
[p. 37で小泉八雲全集第15巻から「ロングフェーロウの適当な評価に就いて」の紹介をしている]

日本理解とは何であったのか : チェンバレンとハーンの破れた友情 / 平川祐弘著. - 東京 : 新潮社, 1985. 2. - p. 6-87 ; 21cm. - 新潮 第82巻第2号 [昭和60年2月] より抜粋 寄贈 : 平川祐弘氏

西村貫一氏所持のハーン書簡 / 渡辺沢身. - 東京 : 日本古書通信社, 1979. - p. 5-7 ; 26cm. - 日本古書通信 第425号 [昭和54年(1979)9月] より

A note on Hearn and Benedict / Iwao Utsunomiya. - 京都 : 立命館大学人文科学研究所, 1961. - p. 1-10 ; 26cm. - 外国文学研究 第4号 [1961年12月] より 寄贈 : 京都大学人文科学研究所殿

欧米文学の日本発見 / 田坂長次郎. - 東京 : 立正大学教養部, 1973. - p. 31-43 ; 26cm. - 立正大学教養部紀要 第8号 [昭和49年(1974)12月] より
[第1章に「ラフカディオ・ハーン」をにおいて、ハーンを論じている]

王堂チェンバレンの交友(1) / 吉阪俊蔵著. - 東京 : 学士会, 1955. - p. 55-58 ; 21cm. - 学士会月報 第661号 [昭和30年10月] より
寄贈 : 学士会殿
[吉阪氏はチェンバレンが諸名士から送られた手紙約200通を日本に持ちかえった人。この文はヘルンとチェンバレンの関係をくわしく述べている]

王堂チェンバレンの校友 2 / 吉阪俊蔵著. - 東京 : 学士会, 1955. - p. 42-47 ; 21cm. - 学士会月報 第662号 [昭和30年1月] より
寄贈 : 学士会
[この文はヘルンを除いた他の手紙の書き手について述べたものである]

大隅重信と小泉八雲の出会い / 関田かおる著. - 早稲田フォーラム 第57・58号 [平成元年3月] 抜刷 寄贈 : 関田かおる氏

女ははたして和解したか : 「今昔物語」に取材したハーンの会談 The reconcilia-

- (138) [H 0 9 5. 2]
tion / 平川祐弘著. - 東京 : 平和出版社, 1985. - p.94-108 ; 21cm.
- 比較文学研究/東大比較文学会編 第47号特輯「小泉八雲」[1985年4月]より
寄贈: 東大比較文学会殿
- 大谷繞石の英作文とハーンの訂正・評言 / 福田勲. - 東京 : 研究社, 1976.
- 目次, p.593 ; 26cm. - 英語青年 第121巻 第12号 [昭和51年(1976)3月]
より
- 大谷正信の英作文 / 渡辺沢身. - 東京 : 日本古書通信, 1978. - p.3-5 ;
26cm. - 日本古書通信 第415号 [昭和53年11月]より
- A *passional Karma* と「牡丹燈籠」 / アダム・カバット著. - 東京 : 朝日出
版社, 1985. - p.129-134 ; 21cm. - 比較文学研究 / 東大比較文学会編
第47号特輯「小泉八雲」[1985年4月]より 寄贈: 東大比較文学会殿
- パーシバル・ローエルと日本文化論=Percival Lowell and his study on the Japanese
culture / 横尾広光著. - 八王子 : 杏林大学医学部, 1977. - p.67-87 ;
26cm. - 杏林大学医学部教養課程研究報告 Vol. 4[1977] 別刷 寄贈: 横尾広光氏
- ピエル・ロティとラフカディオ・ヘルン / 馬場久治著. - 東京 : 玉川大学出
版部, 1937. - p.40-44 ; 23cm. - 女性日本 第6巻 第5号 [昭和12年6月]
より 寄贈: 馬場久治氏
[おもにロティを論じ、最後にハーンとロティとを比較して、ハーンは日本の古い
文化に共鳴した「近代的な古代人」であるという]
- "P. E. More and American criticism" : Paul Elmer More and American criticism.
By Robert Shafer. Yale University, 1935 / 批評: 石田憲次. - 東京 :
日本英文学会, 1937. - p.430-437 ; 24cm. - 英文学研究 第17巻 第3 [昭和
12年7月] 批評紹介より
[Robert Shaferのこの著書(1935)を批評紹介したもの。1937年に死んだ世界的な批
評家Moreは人生の全体と文学とを結びつけて、文学の価値を決定した。ハーンは自
己に関するMoreの批評がAtlantic Monthlyに現れたとき、その公正などを認めて深
く謝意を表したという]
- Poe と明治文学 (4) Lafcadio Hearn / 木村毅. - 東京 : 研究社, 1957.
- p.30-31 ; 26cm. - 英語青年 第103巻第10号 [昭和32年(1957)10月]より
[ハーンが東大におけるNotes on American Literatureという講義の中でポーの小
説を扱っていること、別に Poe's verses と題した講義をしたことを述べている]
- Poe と明治文学 (5) 東西文学交流の考察 / 木村毅. - 東京 : 研究社, 1957
- p.28-29 ; 26cm. - 英語青年 第103巻第11号 [昭和32年(1957)11月]より
[ハーンが世界文学とのつながりにおいてポーを評価したことに言い及ぶ]
- Poe と明治文学 (6) 早稲田派とポー / 木村毅. - 東京 : 研究社, 1957.
- p.29-30 ; 26cm. - 英語青年 第103巻第12号 [昭和32年(1957)12月]より
[Koeber や Hearnの鼓吹で主として東大出の文学士によって研究されたポーが明治
40年あたりから早稲田で説かれるようになったとある]
- Poe と明治文学 (7) / 木村毅. - 東京 : 研究社, 1958. - p.30-31 ; 26cm
- 英語青年 第104巻第2号 [昭和33年(1958)2月]より
[ハーンが、「巡環節」を詩のなかに入れたのはポーだといったことを引用し、ハ
ーンがポーの畳句を賞賛したことを述べている]
- 落日の風景 : 「出雲論」 / 対談 山崎正和・丸谷才一. - 東京 : 文芸春
秋社, 1985. - p.142-161 ; 21cm. - 別冊文芸春秋 第172号 [1985]より
- Reminiscences of Lafcadio Hearn / by Ernest Foxwell. p.68-94 ; 25 cm.
From "Japan Society : Transactions, Vol. 8"
- 輪廻の夢 : 「むじな」と「因果話」の分析の試み / 牧野陽子著. - 東京 :

平和出版社, 1985. - p.109-128 ; 21cm. - 比較文学研究 / 東大比較文学会編 第47号特輯「小泉八雲」〔1985年4月〕より 寄贈：東大比較文学会殿

ルドルフ・マクス博士の語る「ラフカディオ・ハーンの思い出」 / 中田賢次著.
- 〔水戸〕 : 茨城英語談話会, 1983.9. - p.38-71 ; 21cm. - 茨城英語研究 第5号〔昭和58年9月〕より 寄贈：中田賢次氏

生誕と自己疎外 : 八雲「雪おんな」論 / 鳥居明雄著 p.130-123 ; 26cm.
都留文化大学研究紀要 第21集より

「沙翁全集」の思い出咄(上) / 戸沢姑射. - 東京 : 研究社, 1950. - p.32-33 ; 26cm. - 英語青年 第96巻第7号〔昭和25年(1950)7月〕より
〔東大におけるハーンの講義中に「君等もぜひシェークスピアを翻訳して見られよただし君等が今使っている談話体で訳したまえ」といわれた。言文一致が広く行われて居なかったところに、この一語をハーンから聞いたことを、後になるほど感心しているという〕

「島根・九州だより」(小泉八雲)改題 / 榊井幹生. - 京都 : 京都府立大学 1985. - p.19-33 ; 26cm. - 京都府立大学学術報告 人文 第37号〔昭和60年11月〕より

島根大学の小泉八雲関係資料 / 梶谷泰之. - 東京 : 日本古書通信社, 1965. - p.3-4 ; 26cm. - 日本古書通信 第30巻9号(第257号)〔昭和40年9月〕より

新発見のハーン書簡 / 池野誠. - 東京 : 研究社, 1971. - p.118-229 ; 26cm. - 英語青年 第117巻 第3号〔昭和46年(1971)6月〕より

「神国日本」考 : チェンバレンとの対立をめぐる / 遠田勝著. - 東京 : 朝日出版社, 1985. - p.24-53 ; 21cm. - 比較文学研究 / 東大比較文学会編 第47号特輯「小泉八雲」〔1985年4月〕より 寄贈：東大比較文学会殿
内容：1. 「日本事物誌」の中のラフカディオ・ハーン 2. 「神国日本」におけるチェンバレン 3. 「宗教」：諸版の異同 4. 「宗教」から「新宗教への発明」へ 5. 「新宗教の発明」と「神国日本」：神道観の対比 6. スペンサー論争

心象風景論(6) / 赤祖父哲二. - 東京 : 研究社, 1988. - p.24-26 ; 26cm - 英語青年 第133巻第12号〔1988年(昭和63年)3月〕より
〔ハーンの「こころ」について論じている〕

神秘 : 亡父小泉八雲満五十回忌に当り / 小泉一雄著. - 東京 : Books の会, - 1954. - p.2-7 ; 21cm. - Books No. 54〔1954年10月〕より

知られぬ小泉八雲の面影 / さだまさし著. 松江大橋(日本散策「橋」シリーズ3) - 文・園山俊二 ; 写真・山城寿美雄. - 京都 : PHP研究所, 1985. - p.78-80, 41-46 ; 19cm. - PHP No. 442〔昭和60年3月〕

死者の文学 : ラフカディオ・ハーンと日本の墓碑銘 / 錢本健二. - 松江 : 島根大学, 1985. - p.79-90 ; 26cm. - 山陰地域研究 第1号〔1985年3月〕より

思想家としてのハーン氏 / 小川未明著. - 東京 : 早稲田大学校友会, 1982 - p.103-105 ; 21cm. - 早稲田学報 創立100周年臨時増刊号 復刊第36巻第9号〔昭和57年10月〕より 寄贈：関田かおる氏

小説小泉八雲 第1部(石一郎著) - 82p ; 21cm. - (すばる第3巻10号昭和56年10月より)

小説小泉八雲 第2部(石一郎著) - p.242-308 ; 21cm. - (すばる第3巻11号昭和56年11月号より)

早大を飾る八雲の像. - 東京 : 研究社, 1935. - 英語青年 第74巻 第3号〔昭和10年(1935)11月〕より 新聞切抜帳1、55ページ

- (140) [H095. 2]
[鈴木朱雀氏の日本画作品が早大へ寄贈されたこと]
- Some meditations on visiting Hearn country / Allen Tuttle. - 東京 : 大修館書店, 1964. - p.6-9 ; 26cm. - 英語教育 Vol. 13, No. 2(1964) より
- その頃ハーンは・・・1-2 / 中園岩男著. - 川西(兵庫県) : 藤森タイムズ 1989. - p.1-7 ; 26cm. - 藤森タイムズ 第45-46号 [1989年9-10月] より
寄贈 : 中園岩男氏
- 「漱石と敏のこと」を読んで / 矢野峰人. - 東京 : 研究社, 1955. - p.40 ; 26cm. - 英語青年 第101巻第3号 [昭和30年(1955)3月] より
[ハーンが上田敏を嘆賞したこと]
- 想像力と教育 : 教壇でのLafcadio Hearn / 速川和男著. - 東京 : 立正大学教養部, 1976. - p.21-36 ; 26cm. - 立正大学教養部紀要 第9号 [1976]より
- Studies of English literature in Japan, 1936-1940. - 東京 : 日本英文学会 1940. - p.565-581 ; 21cm. - Studies in English literature. Vol. 19, No. 4 [昭和14年(1940)12月] より [4 books on Hearn are contained in the list of studies of English literature during the half decade]
- スワンソン氏旧蔵「ハーン・コレクション」 / 新田満夫. - 天理 : 天理大学 1966. - p.39-40 ; 21cm. - ビブリア No. 34 [昭和41年(1966)10月] より
- 魂の教師ラフカディオ・ハーン : 教育における<想像力>とは何か / 池田雅之著. - 東京 : 潮出版社, 1984. - 雑誌「潮」305号 [1984年9月号] 抜刷
- たたかう仮装舞踏会 : 小泉八雲の文学・その伝記的紀行 / 石一郎. - 東京 : 明治大学, 1975. - p.1-40 ; 21cm. - 明治大学教養論集 通巻92号 [1975] 2月] より
- Titles of the graduation theses, 1937. - 東京 : 日本英文学会, 1937. - p.614-619 ; 21cm. - Studies in English literature(英文学研究) Vol. 17, No. 4 [昭和12年(1937)11月] より [There is one graduation thesis on Hearn in Waseda University]
- Titles of the graduation theses, 1939. - 東京 : 日本英文学会, 1939. - p.629-632 ; 21cm. - Studies in English literature(英文学研究) Vol. 19, No. 4 [昭和14年(1939)12月] より [The list contains 3theses on Hearn, one in Waseda, one in Keio and one in Nihon University]
- 東大在学中の回想 / 深作安文著. - 東京 : 文芸春秋社, 1935. - p.38-44 ; 22cm. - 文芸春秋 第13年 第5号 [昭和10年5月] より
[p.40-41でハーンが「帝国文学」に寄せた「エジュア・サイコロジ」のことを述べている。]
- <特集>ハーン、百年後の解釈 東京 : 日本アイ・ビー・エム, 1991.8. - 187p ; 28cm 雑誌「無限大」No. 88, 1991年夏より
内容 : ・写真で見る／ハーンの生涯(小泉時) ・夢の日本か、現実の日本か(平川祐弘) ・文化人類学者としてのハーン(ジョージ・ヒューズ) ・アウトサイダーとしてのハーン(浦川直子) ・ハーンとアショー校(ルイ・アレン) ・西洋人の神道理解(遠田勝) ・鎌倉から京都へ(河島弘美) ・グリフィスとハーン(瀧田佳子) ・帰路のない旅(ドニーズ・ブライミ) ・「新曲浦島」をめぐる(関田かおる) ・三つの夢(ドニーズ・ブライミ) ・ハーンの変容(土谷直人) ・アインシュタインの訪日とハーン体験(金子務) ・書簡が語る八雲の生涯(遠田勝) ・編集後記
- 特集「ヘルン文庫」とL・ハーン来日百年 (とやま文学 第9号(1992年3月)より) - p. 155-222 ; 21 cm.)
内容 : 思い出のなかの八雲図書館(佐伯彰一) ヘルン文庫の余韻 : 出会いの”

妙”の楽しさ(関田かおる) 「知られざる日本の面影」を読んで(エリザベス・バレストリエリ) 「ヘルン文庫」の逸話(大島文雄) ヘルン文庫と南日恒太郎(高瀬重雄) 「ヘルン文庫」異聞:「兄の思い出」から(田部重治) 中土義敬宛(封書) 書簡(南日恒太郎) 小伝(田部隆次) ラフカディオ・ハーンの日本時代(シルヴィア・ヴァーダン・メツインガー著 平田純訳 訳者追加文) ハーン蔵書と富山の研究者 ——「ヘルン文庫」以前——田部隆次の「小泉八雲」「ヘルン文庫」以後①高田力の「小泉八雲乃横顔」、「ヘルン文庫」以後②平岡伴一・西崎一郎・小森司・佐伯彰一・平田純(布村弘) 資料紹介「占の話」と「梅花心易掌中指南」(布村弘) ラフカディオ・ハーン略年譜(編集編)

特集・小泉八雲が見た不思議な日本人。— 東京 : 小学館, 1991. - p. 22-41 ; 29cm. — 雑誌「サライ」第3巻第7号〔1991年4月4日〕より
内容: 正座とキセル 蛙、虫の声、障子 まねき猫 女の髪 浦島になりたかったハーンの目の前で消失した竜宮(長尾龍一) 藍染、手拭、下駄 寺の見方 安玩具、人形

特集・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)と日本。— 東京 : 至文堂, 1991. - p. 1-170 ; 21cm. — 国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号〔平成3年(1991)11月〕より
内容: アルバム=小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)(小泉凡) 小泉八雲 : 人と作品(森亮) 特派員としてのハーン : 来日の事情とその成果(西村六郎) 「神仏の国日本」を愛したハーン : 二つの漂流譚が語るもの(遠田勝) ハーンと日本の風土(梶谷泰之) ハーンの再話文学(池田雅之) 松江時代の小泉八雲(木村東吉) 妻節子(セツ)と子供たち(小泉時) 学生から見た外人教師ハーン(布村弘) 日本の作家たちとの出会い(速川和男) 大学講師としてのハーン : 西洋文学の紹介者(池田紀美子) ハーンとキリスト教(勝部真長) ハーン「ニルヴァーナ」について(竹内信夫) お地蔵さんとハーン : 日本人の信仰・微笑とお地蔵さんの微笑(渡浩一) 地獄絵と出会う日まで : ハーンの日本仏教の見聞(林雅彦) 小泉八雲と神々 : 大津事件を中心に(遠田勝) 国語教材としての八雲作品(久松宏二) 小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)研究の軌跡 : 昭和50年以降(河島弘美) 小泉八雲参考文献目録: 1075年から1991年まで(銭本健二) 小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の作品の略解題(牧野陽子) 小泉八雲年譜(林雅彦) 小泉八雲記念館(小泉凡) 松江市立図書館(小泉凡)

外山正一宛小泉八雲の書簡 / 渡辺沢身。— 東京 : 日本古書通信社, 1975. - p. 7-9 ; 26cm. — 日本古書通信 第380号〔昭和50年(1975)12月〕より

外山正一と小泉八雲 : 新出の外山氏宛八雲書簡の紹介 / 河合忠信, 赤鳥八恵子 — 天理 : 天理大学, 1966. - p. 1-26 ; 21cm. — ビブリア No. 34〔昭和41年(1966)10月〕より

Two unpublished Hearn Letters / O. W. Frost. - p. 43-48 ; 26cm. (Today's Japan. Vol. 5, No. 1(1955-1960) Tokyo : Cross Continent)

失われた照応 (1) 小泉八雲書簡の削除部分 (2) 未刊行の小泉八雲書簡 / 銭本健二。— 東京 : 研究社, 1988. - p. 489-491, 530-531 ; 26cm. — 英語青年 第134巻9, 10号〔昭和63年12月、昭和64年1月〕より

牛津英文学辞典とLafcadio Hearn / 岡田幸一。— 東京 : 研究社, 1954. - p. 31 ; 26cm. — 英語青年 第134巻9, 10号〔昭和29年(1954)7月〕より

若き日の上田敏と英文学 / 島田謹二。— 東京 : 研究社, 1954. - p. 31 ; 26cm. — 英語青年 第100巻第7号〔昭和29年(1954)7月〕より

若き八雲の短歌観 / 長谷章久。— 東京 : 昭和女子大学光葉会, 1953. - p. 10-14 ; 21cm. — 学苑(昭和女子大学光葉会) 第148号〔昭和28年(1953)5月〕より
〔1883(明治6年)年5月27日のTimes-Democratにハーンが載せたA peep at Japanese poetry によってハーンの日本の歌に対する鑑賞力を研究したもの。この

- (142) [H095. 2]
ハーンの論文の元になったローニー(Rosny)のアントロジーは富大のヘルン文庫にある]
- わが国に於ける英文学研究 / 島田勤二. - 東京 : 英語青年社, 1938. - p. 10-14 ; 26cm. - 英語青年 第78巻第8号〔昭和13年(1938)1月〕より
[わが国における英文学研究の第一期においては、ハーンなどの英米人の教授を任命することによって、自国文学への刺激と培養素とを与えるのを主眼とし、第二期においては英文学への attachment の方が著しく強かった。第三期に入って英語英文学の科学的研究が起るようになったのであるが、今後の研究は独自の分野をひらくために、日本文学と英文学との交渉をあきらかにする「比較文学研究」に進まなければならないという]
- われ限りなくHearnを愛す / 津田昇著. - 東京 : 精華学園, 1964. - p. 33-37 ; 26cm. - 精華学園研究紀要 第2輯〔1964年2月〕抜刷 寄贈 : 津田昇氏
- 早稲田時代の小泉八雲 : 八雲と逍遙との交流をめぐって / 関田かおる著.
- 東京 : 新宿歴史博物館, 1989. - p. 82-87 ; 26cm. - 新宿ゆかりの明治の文豪三人展「漱石・八雲・逍遙」開館記念特別展より
- 忘れ得ぬ風貌 / 井上哲次郎著. - 東京 : 文芸春秋社, 1937. - p. 208-221 ; 23cm. - 文芸春秋 第15巻 第8号〔昭和12年8月〕より
[別項井上氏の「フェノロッサと小泉八雲に就いて」はこの文の中から関係のある部分を転載したもの]
- 私の戦中戦後史抄(9) 向日庵の思い出 / 寿岳文章. - 東京 : 研究社, 1984 - p. 7 ; 26cm. - 英語青年 第130巻第4号〔1984年〕より
[向日庵版の「島根九州だより」にまつわるハーンのことを記している]
- 私のすすめる英書 / 石田憲次. - 東京 : 研究社, 1953. - p. 48-49 ; 21cm. - 英語研究 第42巻第5号〔昭和28年(1953)5月〕より
[ハーンの東京大学での講義をすすめて、「殊に十九世紀初頭のRomantic PoetryとVictoria朝の詩歌の鑑賞については、こんなよい手引きは世界の何処を探してもない」という]
- ウェストンとハーン / 三井嘉雄著. - 大町 : 大町山岳博物館, 1985. - p. 2-3 ; 27cm. - 山と博物館 第30巻 第1号〔1985年1月〕より 寄贈 : 三井嘉雄氏
- ホイットマン紹介をめぐって : 小泉八雲から民衆詩派へ(1) / 小玉晃一著.
- 東京 : 青山学院大学英文学会, 1963. - p. 229-243 ; 21cm. - 英文学思潮 Vol. 36〔1963〕より 寄贈 : 青山学院大学英文学会殿
- 焼津におけるハーン関係資料 / 村松真一. - 静岡 : 静岡大学人文学部, 1988 - p. 120-140 ; 21cm. - 人文論集 静岡大学人文学部社会学科・人文学科研究報告 No. 39〔昭和63年(1988)1月〕より
- 焼津に於ける小泉八雲 / 鈴木賢著. - 東京 : 伝記学会, 1935. - p. 103-114 ; 23cm. - 伝記 第2巻 第10号〔昭和10年10月〕より
- 焼津のハーン関係資料 / 村松真一. - 東京 : 研究社, 1986. - p. 640 ; 26cm - 英語青年 第131巻第12号〔1986年3月〕より
- 八雲 第1号. - 焼津 : 小泉八雲顕彰会, 1988. - 28p ; 21cm. - 寄贈 : 染村絢子氏
内容 : 焼津を愛した小泉八雲とは(服部毅一) 小泉八雲未公開資料展をめぐって(小泉時) 八雲の日本語(村松真一) 八雲記念碑(駅前)について(北山宏明) 八雲と乙吉・焼津(福井昭三) 八雲先生の思い出(片岡きぬ) 八雲先生とのめぐりあい(松村正江) 焼津における小泉八雲の作品とその周辺(鈴木賢)
- 八雲 第2号. - 焼津 : 小泉八雲顕彰会, 1988. - 38p ; 22cm. - 寄贈 : 染村絢子氏

内容：セツから焼津の八雲に宛た手紙（小泉時） 小泉家の菩提寺を訪う（北山宏明）夜光る海の幻覚（村松真一） 焼津町の歌（染村絢子） 小泉一雄ノート「焼津町の詩」について（梅田貞夫） ハーンの温き友人：マーガレット・コートニイ婦人と山口乙吉（中山常雄） 焼津と八雲(1)（西野影四郎） 鈴々子さんと小泉家の回想：学校で机を並べた浅岡すみさんの話（福井昭三） 小泉八雲を知って（日吉恭子） 八雲先生と一本の歯の下駄（服部愛治） 小泉八雲（吉田郁子） エピソードの周辺（鈴木賢）

八雲 第3号。 - 焼津 : 小泉八雲顕彰会, 1990. - 38p ; 22cm.
内容：ハーンと歌（小泉時） 焼津と八雲(2)（西野影四郎） 八雲とお酒と「漂流」の福寿丸について（北山宏明） ハーンが描いた天野甚助（村松真一） ハーンの「日本の昔話」（染村絢子） ハーンの温かき友人：マーガレット・コートニイ夫人と山口乙吉（中山常雄） 八雲の焼津の海での異人さん泳ぎ（新村日新） 八雲来日の頃の焼津（福井昭三） 「贈位の碑」その他（鈴木賢）
寄贈：小泉八雲顕彰会殿

八雲 第4号。 - 焼津 : 小泉八雲顕彰会, 1991. - 32p ; 22cm.
内容：焼津と市宝（梶谷泰之） ハーンとフェローズ将軍（小泉時） 焼津と八雲(3)（西野影四郎） 「海辺」覚え書き（村松真一） 「戦後」の草稿について（染村絢子） 焼津と私（福間直子） 八雲と日本の神神（北山宏明） ”だるま”の由来（福井昭三） 小泉八雲の座談会と八雲会の変遷（鈴木賢） 八雲忌句会に寄せて（長谷川延生） 寄贈：小泉八雲顕彰会殿

八雲 第5号。 - 焼津 : 小泉八雲顕彰会, 1992. - 36p ; 22cm. 寄贈：染村絢子氏
内容：焼津における一雄からセツへの手紙（小泉時） 焼津と八雲(4)（西野影四郎） ハーンの美学と焼津（中山常雄） 「十六桜」（染村絢子） 焼津中央高校のクラブ活動：焼津と小泉八雲（村松真一） 焼津で購入、ハーン直筆「小説より奇」とハーンの小説について（新村日新） 進藤広橋の手紙をめぐる（福井昭三） 焼津の八雲遺品について（鈴木賢） 小泉八雲記念館設立について（北山宏明） 八雲忌句会報告記（長谷川延生）

八雲 第6号。 - 焼津 : 小泉八雲顕彰会, 1993. - 30p ; 22cm. 寄贈：染村絢子氏
内容：ハーンの焼津から出した'ひらがな'の手紙（未発表）その他（小泉時） 小泉八雲と仏教（北山宏明） 八雲の田村豊久宛書簡(1)（村松真一） 八雲と海Ⅰ（西野影四郎） ハーンの絵ごとと日本画：アメリカ時代（中山常雄） ビスランドからのお悔やみ状（染村絢子） 昭和二十五年の「八雲祭」について（鈴木賢） 八雲忌句会報告記（長谷川延生） あとがき（鈴木賢）

八雲 第7号。 - 焼津 : 小泉八雲顕彰会, 1994. - 34p ; 22cm.
内容：アイルランドとハーンの足跡を追って（小泉時） 八雲と海Ⅱ（西野影四郎） 八雲の田村豊久宛書簡(2)（村松真一） 八雲の循環思想と焼津の作品（中山常雄） ハーンと焼津（高木大幹） 「バレット文庫」にみられるハーン創作過程（染村絢子） 昭和二十五年「八雲祭」(2)（鈴木賢） あとがき（鈴木賢）
寄贈：小泉八雲顕彰会殿

八雲 第8号。 - 焼津 : 小泉八雲顕彰会, 1995. - 30p ; 22cm. 寄贈：染村絢子氏
内容：熊本の小泉八雲旧居が復元完成（小泉時） 講演「ハーンを慕って六十三年」（高木大幹） 八雲の田村豊久宛書簡(3)（村松真一） 「餓鬼」と雨森信成・折戸徳三郎（染村絢子） 八雲と海Ⅲ（西野影四郎） 昭和二十五年「八雲祭」(3) 小泉一雄氏を囲んであの頃の遊び友達が語る座談会（鈴木賢） 納涼俳句大会「八雲に関する句」（長谷川延生）

八雲 第9号。 - 焼津 : 小泉八雲顕彰会, 1996. - 34p ; 22cm.
内容：小泉家と写真（小泉時） 小泉八雲と焼津（北山宏明） 八雲の文学：印象記の魅力その他（村松真一） 八雲と海Ⅳ（西野影四郎） 希有の教師、小泉八雲：その教育理念と実践に学ぶ（新村光男） 昭和二十三年九月二十六日夜、NHK静岡放送局（PK）よりのラジオ放送「焼津と八雲」の座談会（草稿）（鈴木賢）
寄贈：小泉八雲顕彰会殿

八雲、一雄再考。 - 東京 : 研究社, 1970. - p.618 ; 26cm. - 英語青年

(144) [H 0 9 5. 2]

第116 卷第10号(1970)より

八雲彫像贈呈式. - 英語青年 第74巻 第3号〔昭和10年(1935)11月〕より
新聞切抜帳1、55ページ

八雲会報 第11号(1992. 11. 30) - 第13号(1994. 1. 1) - 松江 : 八雲会, 1991-1994.
- 26cm.

八雲研究会 - 英語青年 第74巻第3号 1935 [旧制富山高等学校八雲研究会]

八雲旧居おなごあるじ : 根岸菖蒲さんの小泉八雲 / 伊藤益臣. - 東京 :
思想の科学, 1975. - p. 46-56 ; 21cm. - 思想の科学 No. 125(333)〔昭和55年
(1980)12月〕より

八雲のコレクション / 布施明子. - 東京 : 昭和女子大学光葉会, 1957.
- p. 83-84 ; 21cm. - 学苑 昭和女子大学光葉会 第208号〔昭和32年(1957)9
月〕より

八雲の紋所 / 片寄生. - 東京 : 英語青年社, 1933. - p. 29 ; 26cm.
- 英語青年第69巻 第11号(1933)9月〕より
[ハーンの紋所は当時松江中学校の絵画教師後藤魚洲が図案したもの]

八雲の作品に現れた<白い光>の譬喩について / 遠田勝著. - 富田林 : 大谷
女子大学, 1981. - (大谷女子大学紀要 第16号第2輯〔1981年12月〕より
寄贈: 大谷女子大学殿

八雲の早稲田 / 関田かおる著. - 東京 : 早稲田大学校友会, 1985. 3.
- p. 36-39 ; 21cm. - 早稲田学報 復刊第39巻第2号〔昭和60年3月〕より
寄贈: 関田かおる氏

八雲手引草 / 平井呈一著. - 東京 : 岩波書店, 1955. - p. 12-14 ; 21cm.
- 文庫 43号〔1955年4月〕より 寄贈: 岩波文庫の会殿
[一般の人が八雲の著作のうち、まず読むべきものとして、「怪談」「日本の面影」
「東の国から」「心」「日本」の5冊をあげている。「日本」について「この本
を正しく読むことは、人間性を追い求めた八雲の心情を正しく読み探ることよりほ
かにないはずです」といっている]

八雲と五高 : その "three years' experience of discomfort" に就いて / 河原
畑正行著. - p. 349-358 ; 21cm. Jan. 9, 1955. - 齊藤勇博士古希祝賀論
文集「英文学研究」抜刷

「八雲」と「芳一」 / 小泉凡著. - 下関 : 真情会, 1985. - p. 32-36 ; 21cm
- 雑誌「真情」第18号〔昭和60年2月〕安徳天皇八百年大祭特集号より
寄贈: 小泉凡氏

八雲とジプシーと / 関田かおる著. - 東京 : 丸善, 1984. - p. 46-49 ; 21cm
- 学燈 Vol. 81, no. 10〔昭和59年10月〕より 寄贈: 関田かおる氏

八雲とイエイツ : 詩「青銅の頭像」をめぐる / 内藤史郎著. - 京都 :
大谷大学大谷学会, 1979. 11. - p. 12-23 ; 21cm. - 大谷学報 第59巻3号
1979〕より

八雲と日本 : 相違なる二つの立場 / 大西忠雄. - 天理 : 天理大学,
1952. - p. 95-114 ; 21cm. - 天理大学学報 4-2(1952)

妖精たちの棲むところ : ハーン「怪談」の世界 / 池田雅之著. - 東京 :
青土社, 1984. - p. 131-139 ; 22cm. - ユリイカ 第16巻第8号〔1984年8月〕
特集・妖怪学入門より

「雪女」論 : 小泉八雲「怪談」論(その2) / 中西芳絵著. - 東京 : 文

芸と批評の会, 1983. 10. - p. 58-70 ; 21cm. - 文芸と批評 第5 巻6 号〔昭和58年10月〕より 寄贈：文芸と批評の会（早稲田大学文学部内）

幽霊に心ひかれて : ラフカディオ・ハーンの人生と著述 / ロブ・ラフォンティン. - Tokyo : U-Kan, 1995. - p. 25-29 ; 21cm. - The Plaza. No. 25, Sept. - Nov. 1995より

座談会 : ハーンの講義と文学 / 出席. 川田順、矢野峰人、太田三郎. - 東京 : 研究社, 1965. - p. 790-797 ; 26cm. - 英語青年 第111 巻 第12号〔昭和40年(1965)12月〕より

続ハーン資料と考証 [1] / 梶谷延著. - 松江 : 島根大学, 1965. 12. - p. 50-62 ; 21cm. - 山陰文化研究紀要 第6 号〔昭和40年12月〕より抜粋
寄贈：島根大学殿
内容：I. ラフカディオ・ハーンと烈女畠山勇子とウエンセスロウ・デ・モラエス
II. Glimpses of unfamiliar Japanの「盆踊り」の章の考証.

続ハーン資料と考証 [2] / 梶谷延著. - 松江 : 島根大学, 1966. 12 - p. 33-60 ; 21cm. - 山陰文化研究紀要 第7 号〔昭和41年12月〕より抜粋
寄贈：島根大学殿
内容：I. 4月31日附の手紙. II. 家計簿. III. Glimpsesの中の二つの石碑について（ハーンの誤植の訂正） III. IV. 4枚の草稿. V. ハーン自作自筆の英語入門教材. 寄贈：島根大学殿 別に梶谷延氏寄贈別刷あり。

<ニュース・記事・コラムより>

文学散歩バス. - 東京 : 研究社出版, 1953. - p. 252 ; 28cm. - 英語青年 第99巻第5 号〔昭和28年5 月〕「片々録」より
〔東京のハーン旧居あとに建てられた碑について〕

Correspondence / 市河三喜. - 東京 : 研究社, 1933. - p. 111 ; 24cm.
- 英文学研究 第13巻 第1 〔昭和8 年1 月〕の「雑録」より

Correspondence / 市河三喜. - 東京 : 研究社, 1939. - p. 147-149 ; 24cm.
- 英文学研究 第19巻 第1 〔昭和14年1 月〕の「雑録」より
[[「Lafcadio Hearn's criticism of American Literature」という学位論文を書く人がChicago に居る」とある]

ハーン五十年祭. - 東京 : 研究社, 1954. - p. 44 ; 26cm. - 英語青年 第100 巻第11号〔昭和29年(1954)11月〕より

ハーン記念碑. - 東京 : 研究社, 1950. - p. 36 ; 26cm. - 英語青年 第96巻 第5 号〔昭和25年(1950)5 月〕より
〔東京都内三箇所建てられたハーン碑のこと〕

ハーン記念展覧会. - 東京 : 研究社, 1950. - p. 37 ; 26cm. - 英語青年 第96巻第9 号〔昭和25年(1950)9 月〕より〔誕生百年を記念して昭和25年6 月15日から30日まで東大図書館で開かれた〕

ハーンのリリーフ胸像 / 平田純. - 富山 : 富山大学人文学部同窓会, 1990. - p. 1 ; 26cm. - 人文：富山大学人文学部同窓会会報 No. 12〔1990. 9. 15〕より

片々録 / 岡倉記. - 東京 : 英語青年社, 1934. - p. 321-322 ; 28cm.
- 英語青年 第70巻 第9 号〔昭和9 年2 月〕より

片々録. - 東京 : 研究社, 1950. - p. 36 ; 26cm. - 英語青年 第96巻第6 号〔昭和25年(1950)6 月〕より
〔ハーン生誕100 年祭についてハーンを回想する文〕

- (146) [H 0 9 5. 2]
ヘルン五十年祭. — 東京 : 研究社出版, 1955. — p. 44 ; 28cm. — 英語青年
第101巻 第1号 [昭和30年1月] 「片々録」より
[富山大学における五十年祭の記事]
- ヘルン記念館の建設. — 東京 : 研究社, 1950. — p. 36 ; 26cm. — 英語青年
第96巻第7号 [昭和25年(1950)7月] より
[熊本の赤星典太氏宅を買い上げて記念館をつくる計画]
- ヘルン未亡人逝く. — 東京 : 英語青年社, 1932. — p. 464-465 ; 28cm. — 英語
青年 第66巻 第13号 [昭和7年3月] 「片々録」より
- ヘルンの旧居と戦災 / 丸山学. — 東京 : 研究社, 1946. — p. 124 ; 28cm.
— 英語青年 第92巻 第4号 [昭和21年4月] 「英語クラブ」より
[熊本のハーン旧居が二つとも戦火を免れたこと]
- ヘルン座談会のこと. — 東京 : 英語青年社, 1941. — p. 126 ; 26cm. — 英語青
年 第86巻 第4巻 [昭和16年11月] 片々録より
- 市河博士蒐集のヘルン文庫. — 東京 : 英語青年社, 1941. — p. 30 ; 26cm.
— 英語青年 第84巻 第10号 [昭和16年2月] 片々録より
[東大英文研究室には従来200冊ばかりヘルン関係書があつたが、こんど市河博士が
17-8年前から集めた150冊ほどをさらに正式に寄贈されたというのである]
- 小泉八雲を偲ぶ会. — 英語青年 第95巻第12号 [昭和24年(1949)12月] より
[9月26日に行われた同祭の知らせ]
- 小泉八雲の墓に詣でた駐日アイルランド大使と孫. — 東京 : 文芸春秋, 1993.
— 2p. ; 23cm. — 文芸春秋 第71巻6号 [平成5年8月] グラビア「People」より
- 小泉八雲の碑を希臘に. — 東京 : 英語青年社, 1932. — p. 253 ; 28cm. — 英語
青年 第67巻 第7号 [昭和7年7月] 「片々録」より
- 小泉八雲生誕百年祭挨拶. — 東京 : 日本英文学会, 1951. — p. 389-390 ; 21cm.
— 英文学研究 第27巻第3号 (1951) [昭和25年6月27日島根大学において日本英文
学会会長として述べたもの]
- 小泉八雲誕辰八十年記念講演会. — 英文学研究 第11巻第1号, p. 155. 1931
- ここかしこ / T. H. — 東京 : 日本英文学会, 1936. — p. 320-325 ; 24cm
— 英文学研究 第16巻 第2号 [昭和11年4月] 「雑録」より
[「八雲先生に就いて聞きし事ども」として、ヘルンが大隅伯に会うときにfrock
-coat を着たこと、「開国五十年史」の英訳に目を通すことになっていたのを、訳
者中に宣教師がいることをしって校閲を断ったことなど]
- ここかしこ / T. S. — 東京 : 日本英文学会, 1937. — p. 314-317 ; 24cm
— 英文学研究 第17巻 第2号 [昭和12年4月] 「雑録」より
[十一谷義三郎の死を報じ、「Lafcadio Hearnを訳して「東西文学比較論」と題し
た一書もある」という]
- 熊本における八雲百年祭. — 東京 : 英語青年社, 1950. — p. 35 ; 23cm. — 英
語青年 第96巻第8号(1950) [八雲百年祭の計画]
- 熊本の八雲生誕一百年記念祭. — 東京 : 英語青年社, 1950. — p. 36 ; 28cm.
— 英語青年 第96巻第10号 [昭和25年10月] 「片々録」より
[6月27日熊本で行われた記念祭の報告]
- 熊本の八雲記念行事. — 東京 : 研究社, 1950. — p. 37 ; 26cm. — 英語青年
第96巻第9号 [昭和25年(1950)9月] より [式典、講演、座談会、展覧会、絵はが
き・小冊子の発行 — 以上の諸行事計画について]

”Lafcadio Hearn”の発音 / 空西哲郎. - 東京 : 研究社出版, 1953. - p. 185 ; 28cm. - 英語青年 第99巻 第4号〔昭和28年4月〕「英語クラブ」より

Lafcadioの発音について / 空西哲郎. - 東京 : 研究社出版, 1953. - p. 40 ; 28cm. - 英語青年 第100巻 第1号〔昭和29年1月〕「英語クラブ」より

レフカダのヘルンさん : ラフカディオ・ハーンのふるさとから / 檀ふみ.
- 東京 : 毎日新聞社, 1987. - 3p ; 26cm. - サンデー毎日 1987年8月2日号グラビア写真より 寄贈 : 平田純氏

松江の八雲記念館 / 藤井啓一. - 東京 : 英語青年社, 1935. - 英語青年 第74巻 第5号〔昭和10年(1935)12月〕より 新聞切抜帳1、55ページ
〔パーキンズ氏を案内して記念館をみたしらせで、同館所蔵のヘルン文庫が湿気のために損なわれているという〕

Memorial rites held for Lafcadio Hearn. - 東京 : 研究社, 1954. - p. 42 ; 21cm. - 英語研究 第43巻第12号〔昭和29年(1954)12月〕より

日本比較文学会. - 東京 : 研究社, 1953. - p. 77 ; 26cm. - 英語青年 第99巻 第12号〔昭和28年(1953)12月〕より
〔同会関西大会は11月1、2日の両日京都で開かれ、大西忠雄氏が「ヘルンとモウパッサン」について、姫野誠二氏が「lafcadio Hearnの文学講義における「情緒」について」を発表した。同会の催しで天理図書館で11月1、2日にハーン文化展が開かれた〕

大阪女子大英米文学研究会. - 東京 : 研究社出版, 1950. - p. 428 ; 28cm.
- 英語青年 第96巻 第10号〔昭和25年10月〕「片々録」より
〔7月1日開かれた「ハーン記念講演会」のこと。梅原義一氏ほか3氏講演〕

早大英文学会. - 東京 : 研究社出版, 1950. - p. 428 ; 28cm. - 英語青年 第96巻 第10号〔昭和25年10月〕「片々録」より〔6月24日開催の八雲生誕百年祭講演会のこと。本間久雄氏ほか3氏講演〕

早大を飾る八雲の像. - 東京 : 英語青年社, 1935. - 英語青年 第74巻第3号 切抜帳1, p. 55 [鈴木朱雀氏の日本画作品が早大へ寄贈されたこと]

富山の小泉八雲生誕百年祭. - 東京 : 研究社出版, 1950. p. 4248 ; 28cm.
- 英語青年 第96巻 第10号〔昭和25年10月〕「片々録」より
〔6月27日の田部氏講演、28日の座談会、27～29日のヘルン文庫公開〕

焼津に於ける八雲祭. - 東京 : 研究社, 1949. - p. 45 ; 26cm. - 英語青年 第95巻 第12号〔昭和24年(1949)12月〕より [9月26日に行われた同祭の知らせ]

八雲彫像贈呈式. - 東京 : 英語青年社, 1935. - 英語青年 第74巻第3号 切抜帳1, p. 55

八雲研究会. - 東京 : 英語青年社, 1935. - 英語青年 第74巻 第3号〔昭和10年(1935)11月〕より [旧富山高等学校の八雲研究会のこと]

「八雲会」と研究誌「へるん」創刊 - 東京 : 研究社, 1965. - p. 843-844 ; 26cm. - 英語青年 第111巻 第12号〔昭和40年12月〕片々録より

<ハーンに関係する記述や名前が文中にあるもの>

文学研究と科学 / 土居光知. - 東京 : 研究社, 1954. - p. 1-3 ; 26cm.
- 英語青年 第100巻第6号〔昭和29年(1954)6月〕より
〔Hearnの研究態度ペイタアに似ており、夢の現象、有機的記憶、詩的形象の連関に深い興味を持ち、精神分析的であったが・・・〕

- (148) [H 0 9 5. 2]
駐日大使と日本文学 / 高杉一郎. - 東京 : 岩波書店, 1975. - p.40 ; 21cm.
- 文学 Vol. 43, no. 12(1975) より
- ディクソン先生を悼む / 村田祐治. - 東京 : 英語青年社, 1933. - P.153 ;
28cm. - 英語青年 第70巻 第5号〔昭和8年12月〕より
- 英文学について / 福原麟太郎. - 東京 : 研究社, 1955. - p.2-7 ; 26cm.
- 英語青年 第101巻第6号〔昭和30年(1955)6月〕より
〔筆者が一番最初に読んだのはハーンであったという〕
- 英文学史 / 岡倉由三郎. - 東京 : 英語青年社, 1932. - p.305 ; 28cm.
- 英語青年 第67巻 第9号〔昭和7年8月〕研究書案内より
- 英文修業五十五年(5) / 伊地知純正. - 東京 : 研究社, 1955. - p.167
-189 ; 26cm. - 英語青年 第101巻 第4号〔昭和30年4月〕より
〔伊地知氏が中学五年のとき教えをうけた深江先生がハーンの教え子であって、ハ
ーンがGibbonの文章を推賞したことをこの先生から聞いて感銘を受けたという〕
- 英学時評 / R. F. - 東京 : 英語青年社, 1934. - p.281 ; 26cm. - 英語
青年 第70巻 第8号〔昭和9年1月〕より
- 英語英文学研究業績一覧. - 東京 : 研究社, 1952. - p.22-40 ; 26cm. - 英語
青年 第98巻 第12号〔昭和27年(1952)12月〕より
〔35 ページにLafcadio Hearnの項あり〕
- 蒲原有明論 / 形田藤太. - 東京 : 至文堂, 1932. - p.280-314 ; 21cm.
- 国語と国文学 第9巻 第4号〔昭和7年(1931)4月〕明治文豪論より
〔p.297に有明が「文章世界」(明治43年(1910)2月)に書いた言葉を引いている
その中で有明がロセッティの詩を味うのに良い参考になったと述べている〕
- 「ハドソン」(研究社英米文学評伝叢書) 柏倉俊三著. - 東京 : 英語青年社,
1935. - p.30 ; 26cm. - 英語青年 第73巻 第1号〔昭和10年4月〕
〔新刊書架〕より
- 翻訳文学について / 河盛好蔵. - 東京 : 研究社, 1953. - p.25-24 ; 21cm.
- 英語研究 第42巻6号〔昭和28年(1953)6月〕より
〔小泉八雲を引用して、原作と本当に理解するためには作品を翻訳することが必要
だという〕
- The Japanese smile / 山麓居士. - 東京 : 研究社, 1946. - p.28 ; 26cm.
- 英語青年 第92巻第4号〔昭和21年(1946)4月〕より
〔アメリカ軍進駐当時あるアメリカ人が、ある日本の女のJapanese smileをあやし
んだということで、ハーンも引用されている〕
- 繞石先生の追憶 / 西村稠著. - 東京 : 英語青年社, 1934. - p.29 ; 26cm.
- 英語青年 第70巻 第8号〔昭和9年1月〕より
- 各大学英文科卒業論文題目. - 東京 : 日本英文学会, 1943. - p.113 ; 21cm.
- 英文学研究 第23巻第1号〔昭和18年(1943)7月〕より
〔早稲田大学にハーンを題目としたもの一人あり〕
- 河口湖畔通信 / S. K. - 東京 : 研究社, 1947. - p.156-157 ; 28cm.
- 英語青年 第93巻 第4号〔昭和22年5月〕より
〔文の終わりの方に内ヶ崎氏がハーンの亡き後、伝記を書く云々の記述がある〕
- 湖畔通信 / 片々子. - 東京 : 研究社, 1946. p.221 ; 28cm. - 英語青年
第92巻 第7号〔昭和21年7月〕より
〔藤沢周次氏の死去について、同氏が東大在学中ハーンから賞を受けたことを書い
ている〕

湖畔通信 / 片々子. - 東京 : 研究社, 1946. - p. 284-285 ; 28cm. - 英語青年 第92巻 第9号〔昭和21年9月〕より

故平井呈一氏 / 岡村和夫. - 東京 : 講談社, 1988. - p. 224-225 ; 21cm. - 群像 第43巻8号〔昭和63年(1988)8月〕より

小泉八雲と日本 / 玉井武. - 小樽 : 小樽商科大学, 1955. - p. 113-132 ; 21cm. - 人文研究 第9輯(1955)
[Japan Society of LondonのBulletinに出たKeith S. Bovey氏の論文を紹介したものの「日本」はハーンの傑作ではない。それは彼にはぴったりとていない役である」ととっている]

明治初期の教育事情並びに資料 : 西田千太郎をケースとして その1 / 梶谷延 - 松江 : 島根大学, 1962. - p. 45-65 ; 21cm. - 山陰文化研究紀要 第3号〔1962年〕より

日本英文学会第十回大会記事. - 東京 : 日本英文学会, 1939. - p. 125-135 ; 24cm. - 英文学研究 第19巻 第1〔昭和14年1月〕の「雑録」より
[p. 130に「L. Hearn のいうように芸術はうみ疲れた人心を放心させるものでなければならぬ」という点に於いて、この Dickens のもつ optimism から来る humorに健康的な大衆性があった」とある]

日本英文学会第十二回大会記事. - 東京 : 日本英文学会, 1941. - p. 129-140 ; 24cm. - 英文学研究 第21巻 第1〔昭和16年1月〕の「雑録」より
[第2日(昭和15年10月13日)に中村順一郎氏が Lafcadio Hearn's apprenticeshipと題して発表された。「英文学研究」第21巻4号に出た同氏の論文は、この発表をもとにしたものであろう]

王堂先生の功績と感化 / 新村出. - 東京 : 英語青年社, 1935. - p. 43-44 ; 26cm. - 英語青年 第73巻 第2号〔昭和10年4月〕Chamberlain 記念の頁より

岡倉先生を追慕して / 市河三喜. - 東京 : 英語青年社, 1937. - p. 260 ; 26cm. - 英語青年 第76巻 第8号〔昭和12年1月〕より
[Chamberlainの手紙の中の岡倉氏をハーンに紹介した文句がある。それを引用して岡倉氏の人となりを追慕している]

お前の魂は腐っている / 辻幸三郎. - 東京 : 昭和女子大学光葉会, 1957. - p. 50-51 ; 21cm. - 学苑 昭和女子大学光葉会 第208号〔昭和32年(1957)9月〕より

恩師チャムブレン先生を偲ぶ / 岡倉由三郎. - 東京 : 英語青年社, 1935. - p. 39-42 ; 26cm. - 英語青年 第73巻 第2号〔昭和10年4月〕Chamberlain 記念の頁より

オレゴンのバイロン研究 / 金子健二. - 東京 : 昭和女子大学光葉会, 1957. - p. 6-15 ; 21cm. - 学苑 昭和女子大学光葉会 第210号〔昭和32年(1957)11月〕より
[オレゴンのバイロンと称した詩人ミラーのことを書いたこの論文の中に、ミラーが日本に好意をもっていたことを述べたところに八雲のことが出てくる。八雲は門下生の懇願によって従四位を贈られたという]

大谷繞石氏逝く. - 東京 : 英語青年社, 1933. - p. 213 ; 28cm. - 英語青年 第70巻 第6号〔昭和8年12月〕「片々録」より

紹介者忠告者としてのChamberlain / 斉藤勇. - 東京 : 英語青年社, 1935. - p. 48 ; 26cm. - 英語青年 第73巻 第2号〔昭和10年4月〕Chamberlain 記念の頁により

湘南便り / S. K. - 東京 : 研究社, 1949. - p. 187-188 ; 26cm. - 英語青年 第95巻第5号〔昭和24年(1949)5月〕より

(150) [H095. 2]
[金子健二氏の「人間漱石」と矢本貞幹氏の「漱石の精神」の読後感の中にハーン
留任運動のことが出ている]

春鳥集自序の試論に就て(2) / 明石利代. - 大阪 : 大阪女子大学文学会,
1954. - 女子大学文学 第6号 [昭和20年(1954)2月]より
寄贈:大阪女子大学文学会殿
[蒲原有明の春鳥集自序の研究であって、最後に有明の「愛」の元をロセッティに
求めて、そのロセッティを有明が知ったのは、矢野博士によれば、八雲の講義によ
ったのであるとして、八雲との関係に言いおよんでいる]

対談: 日本を知ることは世界を知ること / 平川祐弘、加藤淳平. - 東京 :
日本アイ・ビー・エム, 1993. - p.10-23 ; 30cm. - 無限大 No. 93 [1993年
3月]より

高田先生 / 須沼吉太郎. - 東京 : 研究社, 1947. - p.25 ; 26cm. - 英語
青年 第93巻 第4号 [昭和22年(1947)5月]より
[富山大学の前身富山高等学校時代から同校でハーン研究をしていた高田氏が、昭
和21年1月21日に死去されたので、その吊文として書かれたもの]

七夕まつり形成基層論 第1編 / 中塩清臣. - 富山 : 富山大学文理学部,
1952. - p.13-34 ; 22cm. - 富山大学文理学部紀要 第1号 [昭和27年(1952)5
月]より [ハーンの七夕物語についてはほんの一言いい及んでいるだけ]

上田敏の英文学観 / 島田謹二著. - 東京 : 研究社, 1934. - p.207-247 ;
24cm. - 英文学研究 第14巻 第2 [昭和9年4月]より
[この中でハーンの名が二三箇所現れる。東大第3学年でハーンの教えをうけたこ
と、ハーンの去った後の大学の教壇に立ったこと、彼が彼の腹の中ではただ語学を
教えてもらうつもりであったろう、その先は不完全ながら独学で推し通す考えであ
っただろうということ]

<書評関係>

"Father and I"を読んで. - 東京 : 英語青年社, 1936. - 英語青年 第75巻
第1号 [昭和11年(1936)4月]より 新聞切抜帳1、55ページ

ヘルンについての二著(上)「父八雲を憶う」小泉八雲著 / 中島慶治. - 東京
: 英語青年社, 1931. - p.64 ; 26cm. - 英語青年 第66巻 第2号 [昭和6
年10月]より

ヘルンについての二著(下) Jean Temple: Blue ghost: a study of Lafcadio Hearn
/ 中島慶治. - 東京 : 英語青年社, 1931. - p.64 ; 26cm. - 英語青年
第66巻 第2号 [昭和6年10月]より

Japanese stories from Lafcadio Hearn. Put into Basic by T. Takata. (Lodnon:
Kegan Paul. 2s.6d.) / 書評・K. H. - 東京 : 英語青年社, 1933.
- p.38 ; 28cm. - 英語青年 第70巻 第2号 [昭和8年10月]「英米文学新声」より

小泉八雲「日本の面影」(上)平井呈一訳 / 書評・福田陸太郎. - 東京 : 研
究社出版, 1955. - p.383-384 ; 28cm. - 英語青年 第101巻 第8号 [昭和
30年8月]「新刊書架」より

「小泉八雲新考」丸山学著 / 書評・S. K. - 東京 : 英語青年社, 1937.
- p.103 ; 26cm. - 英語青年 第77巻 第3号「新刊書架」より

小泉八雲全集. - 英文学研究 第6巻第3 p.469-472. 1926

小泉八雲全集、第8巻「怪談」「骨董」平井呈一訳 / M. K. - 東京 : 研究
社出版, 1955. - p.79-80 ; 28cm. - 英語青年 第101巻 第2号 [昭和30年2
月]「新刊書架」より[批評紹介]

熊本時代の小泉八雲 : 丸山学著「小泉八雲新考」北星堂刊、昭和11年 / T. K. - 東京 : 日本英文学会, 1937. - p. 283-284 ; 24cm. - 英文学研究 第2〔昭和12年4月〕より [丸山学著の「小泉八雲新考」の批評紹介]

「日本の英学」福原麟太郎著 / 書評・Phoenix. - 東京 : 研究社, 1946. - p. 220 ; 26cm. - 英語青年 第92巻 第7号〔昭和21年7月〕の「新刊書架」より [英学史を五期に分け、第三期明治中期にハーンの記述がある]

Prof. Chamberlain の著書其他 / 市河三喜. - 東京 : 英語青年社, 1935. - p. 44-45 ; 26cm. - 英語青年 第73巻 第2号〔昭和11年4月〕 Chamberlain の頁より

新刊紹介 Lafcadio Hearn : On art, literature and philosophy. - 東京 : 英語青年社, 1933. - p. 7-9 ; 26cm. - 英語青年 第68巻 第12号〔昭和8年(1933)3月〕より
[ハーンの欠陥としては、劇とか大小説に対する関心が少なく、劇については殆どないとも言える。本書に多きを求める人は失望するかもしれないが、創作心理からなされたヘルンの芸術論は本書のすぐれた特色であるという]

新刊書架 Stories from Pierre Loti, translated by Lafcadio Hearn. - 東京 : 英語青年社, 1934. - p. 28 ; 26cm. - 英語青年 第70巻 第12号〔昭和9年(1934)3月〕より
[「感慨の赴く儘に訳出した名文もあって・・・「名筆を訳すに靈筆を以てしたる稀代名訳」であることを認めてよかろう]

[書評] Exotisme spirituel et esthetique dans la vie et l'oeuvre de Lafcadio Hearn / Bernardette Lemoine (出版予定) / 書評・牧野陽子. - p. 192-198 ; 22cm. - 比較文学研究 第47号より

[書評] 「ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 ゴンボ・ゼーブス、カルマそのほか 書評 I. II.」斎藤正一他訳 恒文社刊 1983. 「評伝ラフカディオ・ハーン」E. スティヴンスン著 ; 遠田勝訳 恒文社刊 1984. / 書評・河島弘美. - p. 199-205 ; 21cm. - 比較文学研究 第47号より

Stories from Pierre Loti, translated by Lafcadio Hearn / Tachio. - 東京 : 英語青年社, 1934. - p. 424 ; 28cm. - 英語青年 第70巻 第12号〔昭和9年3月〕新刊書架より

(追補)

ヘルン文庫(上) 縁起・名称(下) 内容 / 平田純著. - 京都 : 同供出版, 1985. - P. 5-11, 15-17 ; 21cm. - 同朋 86号(1985年8月) 87号(1985年9月)

ヘルン文庫縁起. - 東京 : 第一法規出版, 1976. - 21cm. - 雑誌「大学生と学生」文部省高等教育局学生課編 第261号「キャンパス散策: 富山大学」より

「へるん文庫」縁起 1-3 / 平田純著. - 富山 : 富山大学学生部, 1992-93. - 26cm. - 富山大学学園ニュース No. 78, 79, 80 (平成4年11月、5年3月4月) 1: その生涯 2: 蔵書を富山大学へ 3: アメリカへ

漂泊の人 Lafcadio Hearn : 熊本から神戸へ / 速川和男. - 東京 : 立正大学教養部, 1976. - p. 94-104 ; 26cm. - 立正大学教養部〔紀要〕第10号抜刷

小泉八雲の好んだ刻煙草白梅 / 須知善一著. - 水戸 : 天恩商事, 1963. - p. 5-6 ; 24cm. - 週刊てんおん 第482号(1963)

小泉八雲のキリスト教と仏教 / 多久和新爾著. - 福岡 : 西南学院大学, 1983. - p. 125-134 ; 19cm. - 西南学院大学文理論集 第24巻第1号(1983)より

(152) [H095. 2]

ラフカディオ・ハーンの絵画芸術の資質 : ハーンは浮世絵に何を見たか= Lafcadio Hearn's sense of the Aesthetic : What did Hearn see in Ukiyo-ye? / 高成玲子. - 富山 : 富山女子短期大学紀要 第27輯 (平成5年3月) より

Lafcadio Hearn の "Reconciliation" について : 「和解」によって生返る「死せる妻」のイメージ=A reviving image of the Dead Wife in "Reconciliation" / 高成玲子. - 富山 : 富山女子短期大学, 1993. - p. 187-198 ; 26cm.
- 富山女子短期大学紀要 第28輯 (平成5年3月) より

H 0 9 6 新聞に含まれた論文・記事

(Essays and articles contained in newspapers)

注. 本文庫の新聞切抜帳は、初版では4冊であったがその後増加し、冊子式のもの
とパンフレットバインダー綴じのものがある。便宜上次のように記号化した。
なお、論文・記事の配列は年代順とした。

小泉八雲関係新聞切抜帳	1	1
〃	2	2
小泉八雲生誕百年記念祭関係新聞切抜帳		3
松江における小泉八雲生誕百年記念祭関係新聞切抜帳		4
大版切り抜き帳(黒表紙A3変形) No. 1		大1
No. 2		大2
No. 3		大3

H 0 9 6. 1 創作・翻訳

(Original works and translations)

H 0 9 6. 2 評 伝

(Biographies and criticisms)

・昭和4年(1929)

焼津と小泉八雲 : 富士を中心に / 三宅驥一 (大阪朝日新聞、昭和4年
(1929) 8月8日31日~9月2日 [1, p.1]
[明治30年(1897)の夏から始めて、31年と36年を除いて最後の年の37年まで、ハ
ーンが毎年の夏を送った焼津にヘルンの足跡を訪ねた記録]

小泉先生追憶いろいろ / 大谷正信 (大阪朝日新聞、昭和4年(1929) 9月20日)
[ハーン死後25周年を迎える筆者の追憶記] [1, p.3]

今にハッキリ目に浮かぶ亡き夫、八雲の思い出 : 文豪ヘルン二十五周年を迎えて「
胸が一ぱいー」と節子未亡人は語る (大阪朝日新聞、昭和4年(1929) 9月25日
[ヘルン死後25周年を迎える未亡人の思い出。「その年の十二月私は八雲の許へ嫁
ぎました。」とあるのは、ヘルン結婚の年月が問題になっていることに関して参考
になる] [1, p.5]

文豪八雲の遺稿、展覧の際盗難 : 時価二万円の雑篇 (東京日日新聞 昭和4年
(1929)10月23日 [1, p.6]
[松江発信で、25周年記念展覧会に出品中の遺稿35枚が紛失したという]

八雲遺品の原稿窃まる : 展覧中に (大阪朝日新聞 昭和4年(1929)12月23日)

小泉八雲の盗難遺稿に懸賞 (東京日日新聞 昭和4年(1929)10月24日)

八雲に関する英詩を作り米国で義金募集 (大阪朝日新聞 昭和4年(1929)12月23日)
[1, p.6]

・昭和6年(1931)

八雲氏の「怪談」米国から出版注文 : 日本趣味たっぷりの豪華版 (読売新聞 昭
和6年(1931)10月28日) [1, p.8]
[ニューヨークのLimited Edition クラブから審美書院にKwaidan の豪華版1,500
部出版を注文してきたのが出来上がったというニュース]

・昭和7年(1932)

(154) [H 0 9 6 . 2]

小泉節子刀自 : 八雲の婦人 (大阪毎日新聞 昭和 7年(1932) 2月19日)

[訃報] 小泉八雲未亡人 (東京日日新聞 昭和 7年(1931) 2月20日)

[昭和 7年 2月18日八雲未亡人が東京西大久保の自宅で亡くなったことを伝えている] [1, p. 6]

小泉八雲の未亡人逝く (大阪朝日新聞 昭和 7年(1932) 2月20日) [1, p. 6]

亡き母を語る : 父「八雲」の協力者として 1, 2, 3, 4 / 小泉一雄 (昭和 7年(1932) 2月29日 ~ 3月 3日)

[筆者が母の死に会ってその一生を語ったもの] [1, p. 23, 24, 16]

八雲の故郷へ日本から謝恩の碑面 (読売新聞 昭和 7年(1932) 5月31日)

[ギリシャのレフカス島で行われる八雲記念祭に日希協会から日本文の碑面を送ることにした] [1, p. 8]

Studies emphasize years Hearn spent in Caribbean lands. (The Japan Advertiser, October 2, 1932 (昭和 7年) [1, p. 7]

[日本電報UPの通信員Harry W. Frantz氏は、1880年代の初めにハーンの心は東洋よりはむしろ西インドに向かっていたと言っているという記事]

[With timely encouragement, writes Mr. Harry W. Frantz, Latin America and not Japan would have been the sphere of his labors at literary maturity.]

八雲夫婦のため追善供養(新日米 昭和 7年(1932)11月25日 [1, p. 3] [ローサンジェルス] [パーキンス氏寄贈]

逝いて二十八年八雲追想買い(羅府新報 昭和 7年(1932)11月25日) [1, p. 3]

[ローサンジェルス] [A cutting from a Japanese paper in Los Angeles, reporting a memorial service in Montebello in honor of L. Hearn] [パーキンス氏寄贈]

Novel tribute to Lafcadio Hearn by Buddhist monk. (Illustrated Daily News, Nov. 26, 1932 (昭和 7年)) [1, p. 2 Los Angeles] [Reports about the Hearn memorial service of the following day with photographs] [Given by Mr. Perkins]

The ritual to feature Lafcadio Hearn affair. (Los Angeles Times, Nov. 27, 1932 (昭和 7年)) [1, p. 10 Los Angeles] [Tells about the Hearn memorial ceremony of the following day in Montebello. Hearn is spoken of by mistake as an another of both prose and poetry] [Given by Mr. Perkins]

Momument gift made at Hearn memorial rites. (Los Angeles Times, Nov. 27, 1932 (昭和 7年)) [1, p. 7 Los Angeles] [Describes the 28th annual Hearn memorial ceremony, conducted by a Japanese priest in Nov. 27 in Montebello, Mr. and Mrs. Perkins being present.] [Given by Mr. Perkins]

神国日本 : 批評と紹介(ラフカディオ・ヘルン著、戸川秋骨訳 第一書房) (読売新聞 昭和 7年(1932)12月 1日) [1, p. 8]

Writer paid rare honors at memorial. (The Montebello News, Dec. 2, 1932 (昭和 7年)) [1, p. 1, Montebello, California] [Describes the memorial service in honor of the memory of Lafcadio Hearn, held in the preceding day in Montebello, where Mr. and Mrs. Perkins were living, whose Bibliography of Hearn had been just completed] [Given by Mr. Perkins]

ブックレビュー小泉八雲の「文学論」(北星堂) / 西脇順三郎. (読売新聞 昭和 7年(1932)12月 7日) [1, p. 8]

・昭和 8年 (1 9 3 3)

小泉八雲「文学論」を読む / 酒井善孝 (東京帝大新聞 昭和 8年 1月 1 3日)

〔「芸術論としては彼の哲学論と同様に、スペンサー流の考え方で、倫理的の美が知的の美に勝ると説く〕〔1, p. 21〕

ハーン博物館 / 市河三喜 (東京帝大新聞 昭和 8年(1933) 1月23日)
〔昭和 7年10月26日松江のヘルン旧居をたずねて、遺品のかずかずを見た記録〕
〔1, p. 17〕

八雲館完成に英文学者起つ (ザ カワセタイムズ 第175号 昭和 8年(1933) 2月 1日) 〔1, p. 22〕

In honour of Lafcadio Hearn : Admirers of Koizumi Yakumo start move to erect museum to house all objects for perpetuating his memory (英文毎日 昭和 8年 2月 3日) 〔ヘルン記念館建設計画を紹介したもの〕〔1, p. 17〕

Hearn Home revisited : American pays homage where famous writer once resided in Matsue City; his lifetime recalled by objects He used (1)(2) / by Miss Loraine E. Kuck. (英文毎日 昭和 8年(1933) 2月 8~9日)
〔ホノルルの新聞記者であった筆者の松江ハーン旧居訪問記〕〔1, p. 18-19〕

小泉八雲「文学論」を読む / 酒井善孝. (東京帝大新聞 昭和 8年(1933) 2月13日) 〔1, p. 21〕〔「芸術論としては彼の哲学論と同様に、スペンサーの考え方で、倫理的の美が、知的の美に勝ると説く」〕

八雲と坪内博士に心酔し当市に日本文庫を建設 (新日米 昭和 8年(1933) 5月23日)
〔ローサンジェルス〕〔A Japanese paper in Los Angeles, reporting that there lives an earnest scholar named Perkins, who studies Hearn and Dr. Tsubouchi〕〔パーキンズ氏寄贈〕

文豪を偲ぶ八雲記念館 : 遺品を集めた松江に建設 (富山新報 昭和 8年(1933) 5月23日) 〔松江に八雲記念館ができることを知らせて、その設計や陳列のことを書いている〕〔1, p. 26〕

お話 (松江より) 小泉八雲先生 / 須貝太郎 (大阪朝日新聞 昭和 8年(1933) 6月20日) 〔松江放送局からの放送解説〕〔1, p. 27〕

お話 (午後 6時の子供の時間) 小泉八雲 / 須貝太郎 (読売新聞 昭和 8年(1933) 6月20日) 〔1, p. 27〕

お話 (松江より) 小泉八雲 / 須貝太郎 (報知新聞 昭和 8年(1933) 6月27日)
〔ラジオ番組「コドモノジカン」松江より〕〔1, p. 25〕

ギリシアに小泉八雲記念碑 (東京朝日新聞 昭和 8年(1933) 9月 8日) 〔1, p. 25〕

小泉八雲の実妹を訪問しリットン卿とも懇談 : 英国留学、欧米視察を終り、富山高
校高田教授帰朝談 (北陸タイムズ 昭和 8年(1933) 9月14日)
〔旧制富山高等学校高田教授が英国留学から帰ったときのみやげ話。リラ・ハーンを訪問したこと、当時やかましかった満州問題について在英日本人会がリットン卿と懇談したこと〕〔1, p. 26〕

焼津の海と八雲 : 父逝きて三十年 上、中、下 / 小泉一雄 (読売新聞 昭和 8年(1933) 9月28日、29日、30日) 〔1, p. 27〕
〔三十年前の焼津と、このころの焼津を比べながら「怖いけど懐かしい」父を思い出している〕

へろんサンのことども : 松江の旧居を訪う / 中村浩 (台北新聞 昭和 8年(1933) 9月29日) 〔ヘルンの跡を訪ねて松江市内を歩き回ったメモ〕〔1, p. 39〕

希臘の大理石に偲ぶ文豪八雲の面影 : 近く「故郷」日本へ (大阪朝日新聞 昭和 8年(1933) 9月29日)

- (156) [H096. 2]
[日希協会からおくられたヘルンの記念碑が昭和 8年 9月3日「レフカス島」に建てられたが、これに対しギリシャ側でも大理石に刻んだ記念肖像を送ってくるということ。珍しいヘルン右向きの像] [1, p. 29]
- 小泉八雲英訳「ロチ短篇集」=Stories from Pierre Loti, translated by Lafcadio Hearn / 西崎一郎 (帝国大学新聞 昭和 8年(1933)10月23日) [1, p. 29]
- ピエル・ロッチ短篇集 (読売新聞 昭和 8年(1933)11月14日)
- 八雲の墓所英文案内書に誤り、一外国人が指摘 (報知新聞 昭和 8年(1933)11月27日)
[観光局出版のガイドブックにヘルンの雑司ヶ谷墓地を牛込と書いてあったためにカナダの大学教授が困ったなど載っている] [1, p. 30]
- 大谷繞石氏逝く : 広島で葬儀 (帝国大学新聞 昭和 8年(1933)11月27日)
[1, p. 31]
- ・昭和 9年 (1934)
- 小泉八雲記念館成る (帝国大学新聞 昭和 9年(1934)) [1, p. 31]
- 八雲図書館にボンと八千余円 (読売新聞 昭和 9年(1934) 2月16日)
[馬場家が富山高校のヘルン文庫建築費を寄付したこと] [1, p. 34]
- 八雲記念館 : 松江の新名所 (東京朝日新聞 昭和 9年(1934) 2月19日)
[1, p. 34]
- 小泉八雲書誌考 (読売新聞 昭和 9年(1934) 5月10日) [1, p. 37]
- P. D. P. [=P. D. Perkins] "Stories from Pierre Loti" (Saturday Night, Vol. 14-- No. 33, p. 10, May 12, 1934 (昭和 9年), S. N. Publishing Co., Los Angeles) [According to this book-review "Fragments from My Diary" was translated from the original manuscript and never been published in French] [Given by Mr. Perkins]
- 小泉八雲の東郷観 / 獅子堂豪三 (大阪朝日新聞 「評壇」欄 昭和 9年(1934) 6月 5日) [ハーンが東郷元帥の崇拜者であったこと] [1, p. 40]
- 小泉八雲の家 (名家の邸宅邸址 2) / 田中貢太郎 (報知新聞 昭和 9年(1939) 6月28日) [出雲旅行記の中にハーン旧居のことが出てくる] [1, p. 40]
- 桂月翁教鞭の地 (名家の邸宅邸址 3) / 田中貢太郎 (報知新聞 昭和 9年(1939) 6月29日) [上記に引き続きハーン旧居のことが出てくる] [1, p. 41]
- 小泉八雲の感触 上、下、 / 梅原真隆 (中外日報 昭和 9年(1934) 8月19日、21日) [小泉八雲は不幸な盲にちかい近視を覚知して自然と人生をしみじみと感触せられたのである] [1, p. 43, 44]
- ヘルン文庫の伝書 (中外日報 昭和 9年(1939) 8月28日) [1, p. 44]
- Was Hearn a genius? : Irish-Greek writer has abundant fancy, but no creative imagination / Julian Hawthorn. - (Pasadena Star-News, Sept. 1, 1934 (昭和 9年)) [1, p. 44] [The critic says, on the whole Hearn was attractive, but his analytical and logical faculties were curiously weak] [ヘルンは想像力は豊富であるが、哲学的な深みに欠けているとこの人は批評している] [Given by Mr. Perkins]
- ハーン先生の最終遺稿「詩論」及び「詩人論」を読み / 日高只一 (読売新聞 昭和 9年(1934)10月24日)
[日本の文学学生にとっては、これほど分かりやすく、これほど興味深い詩論も、詩人の評価、批判もないであろう] [1, p. 77]

小泉八雲満三十年忌記念出版の二著に就て / 蘇峰生 (東京日日新聞 昭和 9年
(1939)10月25日 [パーキンスの書誌と「妖魔詩話」との紹介] [1, p.49])

Good English (報知新聞 昭和 9年(1939)11月12日、20日)
[ハーンが亡くなって30年を記念するために令息一雄氏がハーンの狂歌翻訳の草稿
を元にして「妖魔詩話」をつくったが、これはその訳しぶりを紹介したもの]
[1, p.50]

佐藤氏訳す小泉先生の「尖塔登攀記」 / 秋骨 (読売新聞 昭和 9年(1934)12月23
日) [佐藤春夫氏のこの訳書の紹介] [1, p.51]

・昭和10年(1935)

著者に最適任を得た「小泉八雲の横顔」 / 中野好夫 (読売新聞 昭和10年(1935)
1月18日) [旧制富山高等学校教授の高田力氏の著書の紹介]

西洋で造られる「日本的映画」 / 正宗白鳥 (読売新聞 昭和10年(1935) 1月19日)
[ハーンが学生に与えた、西洋文学理解の根本としての西洋人の女性観を引いて
東西たがいに他の芸術を理解するには、相当の準備を要するという] [1, p.53]

Lafcadio Hearn record / Helen E. Haines. - (Pasadena Star-News, Jan. 26, 1935
(昭和10年)) [1, p. 5 Pasadena] [A book-review of Perkins' Bibliography of Hearn's Writings. Of Hearn's own library, which is now possessed by the Toyama University, the critic talks by mistake as if it belonged to the Tokyo University] [Giver by Mr. Perkins]

富山高等学校のヘルン図書館 : 天災地変に不可侵の建物、竣工式に催物計画 (北
陸タイムズ 昭和10年(1935) 2月 9日
[旧制富山高等学校のヘルン文庫の落成近きを報じている] [1, p.53])

スペイン大統領に「八雲全集」を贈る : 国情紹介のよすがにと (報知新聞 昭和
10年(1935) 2月18日) [スペインのザイモラ大統領に八雲全集を贈ったこと]

富高のヘルン文庫きょう落成式 (北陸タイムズ 昭和10年(1935) 5月10日) [この日
の落成式を知らせている] [1, p.53]

小泉八雲碑除幕式 (北陸タイムズ 昭和10年(1935) 7月 3日)
[昭和10年7月1日東京上野図書館前に設けられたヘルン記念碑の除幕式を写真入
りで知らせている] [1, p.62]

八雲全集を各国元首へ贈呈 : 三十周忌をむかへての計画 (北国新聞 昭和10年
(1935) 7月 9日) [1, p.54]
[ハーン30周忌を迎えてハーン全集を各国元首に贈ろうという計画があるという]

ヘルン浮彫伝達式 (帝国大学新聞 昭和10年(1935) 9月23日)
[ギリシャから灯台へ送ってきた浮き彫りの伝達式の模様] [1, p.54]

ヘルン文庫 / 蘇峰生 (東京日日新聞 昭和10年(1935)10月10日)
[ヘルン文庫訪問記。「別に奇書とか、珍籍とかいうべき類は、殆んどこれを見い
だすことが出来ないと述べている] [1, p.54]

・昭和12年(1937)

小泉八雲と帝大 : 彼の文学部を去る頃 / 田部隆次 (帝国大学新聞 昭和12年
(1937) 5月24日) [1, p.57]
[ハーンが帝大へ来たときの事情、また去ったときの事情を述べている]

パーキンス氏講演 (帝国大学新聞 昭和12年(1937) 6月 7日)
[この年 5月31日富山高校での講演とヘルン文庫基金募集のためパンフレットを出
す計画とを知らせる記事が載っている] [1, p.58]

- (158) [H096. 2]
小泉八雲先生 : 美しい文章で日本を世界に紹介した (大毎小学生新聞 昭和12年(1937)6月7日) [1, p.58]
- ・昭和13年(1938)
- 文豪八雲を偲ぶ集い : 令息を招き来月焼津で (東京日日新聞 昭和13年(1938)5月1日) [1, p.58]
- 特異なヘルン文庫 : 富山高校のほこり(帝国大学新聞 昭和13年(1938)6月20日)
[ヘルン文庫を含む富山高校図書館の紹介] [1, p.58]
- ・昭和15年(1940)
- 米国の記念室へ贈る・追憶の座談会 (読売新聞 昭和15年(1940)3月12日)
[国際文化振興会の依頼によって市河博士がニューオーリアンズのチューレン大学にヘルン記念室をつくること。たま追憶の座談会を催して、その速記をかの地へ送ること] [1, p.61]
- ・昭和24年(1949)
- ヘルン生誕百年祭 (朝日新聞島根版 昭和24年(1949)10月29日)
[昭和25年のハーン生誕百年記念事業の一つとして、富山大学のヘルン蔵書1,400冊を譲りうける話がついたとある] [2, p.1]
- 富大のヘルン文庫をよこせ : 松江市で準備中「生誕百年祭記念」として (北日本新聞 昭和24年(1949)10月30日)
[松江市で昭和25年のハーン生誕百年記念に富山大学にあるハーン蔵書のうち、1,400冊を買い取ってハーン図書館を建てたいと考えていることについて、清水文理学部長、高瀬附属図書館長もそんなことする必要がないと言っている]
[2, p.1]
- どうなるかヘルン文庫 第2話 (大阪朝日新聞 昭和24年(1949)11月3日)
- ・昭和25年(1950)
- 世界に誇る小泉八雲文庫 : 富山大学に蔵書二千四百余冊 (読売新聞 昭和25年(1950)1月14日) [富山大学ヘルン文庫の内容や由来を高瀬附属図書館長の説明によって詳しく述べている] [2, p.2]
- 小泉八雲生誕百年 : 蔵書三千を松江へ、文豪を記念する数々の計画 (大阪毎日新聞 昭和25年(1950)1月15日)
[松江市がヘルン旧居を市有にしよう、富山のヘルン文庫の蔵書を譲りうけようという計画、東京ではヘルンが元住んだ2か所とハーンの墓地とに記念碑を建てようという計画、そのほか作品集を刊行しようとしている] [2, p.3]
- 松江から正式に譲渡交渉 : 世界的な、富大の「ヘルン文庫」 (北日本新聞 昭和25年(1950)1月24日) [2, p.2]
[この年の1月11日に松江市の岩坂観光文化課長が来県して、ハーン誕生百年記念事業の一つとしてヘルン図書館を作るためにヘルン文庫の蔵書を譲りうけたいと申込みがあったが、富大では考慮中とのこと]
- 富大に残るヘルン文庫、今ではお国の宝 (富山新聞 昭和25年(1950)1月24日)
[少年少女のために書かれた] [2, p.4]
- ヘルン文庫への関心 (北日本新聞 昭和25年(1950)2月1日)
[富大文理学部学生の「潮音」欄への投書。「ハーンには思い出の地は多い。彼の文学的流転をしてなお及ばなかったが、その蔵書によって満たされた富山もその一つである」] [2, p.5]
- 松江市から譲渡願い (富山新聞 昭和25年(1950)2月3日) [2, p.5]

簡単には渡せぬ : 小泉八雲の蔵書、富大に松江から譲渡の催促 (読売新聞 昭和25年(1950) 2月28日)

[ヘルン文庫の蔵書譲り渡しを松江市が申込み、その後も催促をしているが、富大ではそう簡単に動かせないという]〔2, p. 5〕

第二の小泉八雲に (大阪朝日新聞 昭和25年(1950) 3月 8日)

[金沢発のニュース。敗戦後二年余り日本の各地にCIC 隊長をつとめ、今はアメリカ国務省に勤めているコンデ少佐が、日本に永住して日本を海外に紹介したいという便りを金沢の木津氏によせたとのこと]〔2, p. 5〕

ハーンの碑建立 (東京毎日新聞 昭和25年(1950) 3月 9日)

[ハーンの愛弟子らによって、東京のハーン旧居二カ所と雑司ヶ谷墓地に記念碑が立てられた]〔2, p. 6〕

ラフカディオ・ハーン富大で小泉八雲生誕祭 (北日本新聞 昭和25年(1950) 4月 9日)

[昭和25年 6月27日から 3日間富大で行われる記念祭行事予定]〔2, p. 6〕

「ハーン」大学建設 : 百年祭に松江で計画 (大阪毎日新聞 昭和25年(1950) 4月 14日)〔2, p. 6〕

[誕生百年を機会に松江に英文学中心の文化大学を建設しようとする計画があると報じている]

「ハーン大学」建設 : 百年祭に松江で計画 (毎日新聞富山版 昭和25年(1950) 4月14日)〔3, p. 39〕

小泉八雲先生のこと / 田部隆次 (熊本日日新聞 昭和25年(1950) 4月30日)

[3, p. 4]

ハーンの三男、兄へ抗議 : 愛情一路に生きた母、「美しい映像壊す」と (朝日新聞 昭和25年(1950) 5月 4日)〔2, p. 9〕

[嗣子一雄氏が「父の家庭生活は幸福でなかった」と語ったのに対して発せられた清氏の抗議]

私は母を賛う、「傷つけるのは兄」と : ハーンの三男抗議 (大阪朝日新聞 昭和25年(1950) 5月 4日)〔3, p. 3〕

譲れぬ八雲文庫 : 富大の学生自治会が決議 (読売新聞 昭和25年 5月 7日)

[ハーンの蔵書を松江に譲ることに富大学生自治会は絶対反対決議をし、大学当局も反対である]〔2, p. 6〕

ヘルン生誕百年祭行事 (読売新聞 昭和25年(1950) 5月11日)

[富大の行事]〔2, p. 7〕

ハーンの子らに / 村尾武二郎 (朝日新聞 「声」欄より 昭和25年(1950) 5月15日)

[ハーンの子ら二人の争論について、一雄氏のその母に対する批判は正しいだろうが、二人が父母を一つに結んだ真の愛を知り、愛に生きぬくようにと、この文の筆者は望んでいる]〔2, p. 9〕

母を憶う : 八雲と妻セツの人柄 / 小泉清 (大阪朝日新聞 昭和25年(1950) 5月21日)〔2, p. 19〕

ヘルン文庫公開 : 八雲百年祭に富山大学で (北日本新聞 昭和25年(1950) 6月 6日)

[八雲百年祭に富大で展覧会、講演会、座談会を開く]〔2, p. 7〕

ハーン文庫を初公開 (朝日新聞 昭和25年(1950) 6月11日)

[百年祭のニュース。ただし「初公開」とあるが、ヘルン文庫の公開は戦前には何回も行なわれている。「戦後初公開」の意味だろう]〔2, p. 7〕

「天地人」欄の論説 (北日本新聞 昭和25年(1950) 6月12日, 26日)

[ハーン百年祭について、ハーンの日本観を批評している。ハーンは古い日本に心

- (160) [H096.2]
引かれたのであるが、日本人の現在の課題は、どうして古い日本を断ち切って新しい日本に生まれかわらせるかにある。この点から見てハーンの日本愛には透徹した批判が欠けていた、という] [2, p.7 3, p.3]
- ヘルン百年祭 : 富大で講演や遺稿出展 (富山新聞 昭和25年(1950)年 6月14日)
[2, p.7]
- 小泉八雲百年祭に寄せて (朝日新聞 昭和25年(1950) 6月18日)
[1, p.63]
- ・偉大な業績をおもう : 記念会のことども / 市河三喜
[小泉八雲百年祭についての感想で、八雲旧居を松江市のために買い上げたいという]
 - ・素顔の八雲 / 寿岳文章
[八雲の日本に対する深い愛情を理解するためには、八雲の素顔を見つめなければならぬ。八雲の日本愛には多くの反発や諦めや悲哀をまじえていたとう。]
 - ・五セント食堂 : アメリカ時代のハーン / 安藤勝一郎
[ハーンが29才の記者時代ニュー・オーリアンズ市内で5セント食堂を経営して失敗したこと]
- ヘルン文庫のことども / 高瀬重雄 (富山新聞 昭和25年(1950) 6月18日)
[1, p.64]
[ハーン生誕百年祭を迎えるについてヘルン文庫の説明をしたもの]
- ヘルンの今日的意義 / 佐伯彰一 (富山新聞 昭和25年(1950) 6月18日)
[たがいに争うハーン遺児一雄氏の現実主義的な考え方と清氏の理想主義的な考え方とはハーンの日本及び日本人観にもこれをあてはめることができる。ハーンが古い日本の面影を美しく描き出したのは理想主義であり、晩年における「神国日本」で古い日本と共存している姿をみて、これを何とか解決しなければならないと考えたのは現実主義と見ることが出来る。この解決こそハーンの精神が生かされるのではなかろうかと筆者はいう] [1, p.64 3, p.19]
- 小泉八雲と日本 : 百年祭に寄す / ヘッスル・ティルトマン (昭和25年(1950) 6月19日) [3, p.15]
- ハーン百年祭 / 市河三喜 (日本読書新聞 昭和25年(1950) 6月21日) [3, p.8]
- ヘルン百年祭開く : 富大でも講演会など (北陸夕刊 昭和25年(1950) 6月21日)
[2, p.8 3, p.40]
- 八雲記念委員会生る (日本読書新聞 昭和25年(1950) 6月21日) [3, p.37]
- 八雲文献展示会 (日本読書新聞 昭和25年(1950) 6月21日) [3, p.37]
[日本英文学会が東大で展示会を開いた]
- 小泉八雲 (夕刊毎日 昭和25年(1950) 6月23日) [3, p.29]
- 生誕百年回想の小泉八雲 (時事通信 昭和25年(1950) 6月24日) [3, p.1]
- 美しき助手, 節子夫人 : 田部翁の話 (時事通信 昭和25年(1950) 6月24日)
[3, p.5]
- 故ヘルンをしのぶ座談会 (北日本新聞 昭和25年(1950) 6月24日) [2, p.8]
- 世界的なハーン伝記映画 (時事通信 昭和25年(1950) 6月24日) [3, p.34]
- 富大に誇る「ヘルン文庫」 : 百年祭を機に拡充強化 (読売新聞富山版 昭和25年(1950) 6月24日) [3, p.41]
- 永遠の世界人 : あす小泉八雲百年祭 / 西崎一郎 - (毎日新聞 昭和25年(1950) 6月25日) [3, p.9]

童話の世界を通じて / 初山滋 (時事通信 昭和25年(1950)6月24日)
〔3, p. 35〕

父母の仲人松江に健在 / 小泉清氏・談 (時事通信 昭和25年(1950)6月24日)
〔3, p. 35〕

小泉八雲と日本 / 西崎一郎 (大阪毎日新聞 昭和25年(1950)6月25日)
〔「学生にも教師たるよしも作家たれと説くなど八雲は常に文学創作の仕事の尊さについて確固たる信念を常に持っていたのである」〕〔2, p. 8〕

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)に思う : 東洋への郷愁、日本は「蓬萊」の地
/ 平岡伴一 (北日本新聞 昭和25年(1950)6月25日)
〔この目録の初版の編纂者でもある平岡氏のハーンの紹介文、ハーンは国境を越えての人類の精神的交流の可能を実証した人である〕〔2, p. 10 3, p. 20〕

ハーン生誕百年祭 : 27日松江市で盛大に (大阪毎日新聞 昭和25年(1950)6月25日)〔2, p. 10〕

ヘルンを継ぐもの : 東と西の問題 / 佐伯彰一 (北日本新聞 昭和25年(1950)6月25日)〔2, p. 11 3, p. 22〕
〔ハーンは同年に生まれたスチブンスンやロチと同じように近代産業的社會を嫌って、日本に安息所を見出したのであるが、単に日本を嘆賞したばかりでなく、その中に身を投じて、古い日本から新しい日本へ移り変りを予感したというところに、彼が現代の我々と関連を持っていることが考えられるという〕

八雲記念スタンプ (読売新聞 昭和25年(1950)6月25日)〔4, p. 22〕

父の作品にしのおぶ : ハーン百年祭、来松の遺族小泉氏語る、そのまま静かな松江
(夕刊山陰 昭和25年(1950)6月26日)〔4, p. 12〕

変質的な一雄氏 : 兄弟の和解は望めぬ、秦氏談 (夕刊山陰 昭和25年(1950)6月26日)〔4, p. 12〕

日本の再発見 : 生誕百年祭に寄せる 下 / 秦一郎 (夕刊山陰 昭和25年(1950)6月26日)〔3, p. 16〕
〔特に戦後すっかり自信と希望を喪失した現代の日本人にとっては、〔彼の著書は〕そのまま日本の姿の再発見であり、再認識でなければならぬ〕

八雲の記念祭 (夕刊山陰 昭和25年(1950)6月26日)〔3, p. 30〕

〔越人草話〕 (富山新聞 昭和25年(1950)6月27日)
〔ハーンは日本文化の良さと悪さの板ばさみとなって死んで行ったけれども、彼の夢みた平和な日本は今日なお生きているという〕〔2, p. 11〕

日本の紹介に一生を捧ぐ : 明日ヘルン百年祭 / 田部隆次 (北陸夕刊 昭和25年(1950)6月27日)〔2, p. 12 3, p. 6〕
〔田部氏と我が富山県とは、ハーンの蔵書を富山大学が有しているという点で不思議な関係が出来ている〕

ハーン慕う一米婦人 : 生誕記念に贈る・・・友愛50年の手紙発見 (大阪毎日新聞 昭和25年(1950)年6月27日)〔2, p. 12〕
〔ハーンがニュー・オーリアンズ時代から死にいたるまで美しい友情を続けたエリザベス・ビスランド(ウエットモア夫人)女史が、大正15年(1926)松江のヘルン旧居に寄せた手紙がこのころ発見されたという松江からのニュース〕

きょう小泉八雲百年祭 : 松江市で盛大な記念式典 (毎日新聞 昭和25年(1950)6月27日)〔3, p. 28〕

顕彰金募金に協力 : パール・バック女史書簡 (毎日新聞 昭和25年(1950)6月27日)〔3, p. 38〕

- (162) [H 0 9 6 . 2]
きょうヘルン百年祭 : 富大で文庫公開や講演 (北日本新聞 昭和25年(1950) 6月27日) [2, p. 13 3, p. 41]
- 買い上げられる八雲旧居 : 英・米代表団よりも大口寄付 (夕刊山陰 昭和25年(1950) 6月28日) [4, p. 13]
- 西欧的な外貌 : 小泉清氏の特異な画風 (夕刊山陰 昭和25年(1950) 6月28日) [4, p. 14]
- 東大でもハーン展 (夕刊山陰 昭和25年(1950) 6月28日) [4, p. 14]
- 故人を偲ぶ遺品の数々 : ハーン記念展、松江城山ユネスコ会館 (夕刊山陰 昭和25年(1950) 6月28日) [4, p. 14]
- ヘルンに寄せて(「話題」) (北陸夕刊 昭和25年(1950) 6月28日)
[今日のヘルン百年祭に当たって、ハーンはもろん、その他にも日本観や日本人観を發表している外人が多いことが思い出される。これらをよく読んでわれわれは、一段の成長をしなければならない、という] [2, p. 13 3, p. 31]
- ゆかりの水郷にハーン祭り展く (島根新聞 昭和25年(1950) 6月28日) [4, p. 2]
- 天に花火・地にドウ : しのぶ百年このひととき (島根新聞 昭和25年(1950) 6月28日) [4, p. 5]
- しのぶ「ハーン」の偉業 : 式典、カーニバル今日盛大に (夕刊山陰 昭和25年(1950) 6月28日) [4, p. 7]
- 出発前の狭心症で : 長男一雄氏は式典に参列せず=西崎氏談 (夕刊山陰 昭和25年(1950) 6月28日) [4, p. 7]
[母セツさんの記事をめぐって、兄弟の対立から一雄氏が式典に欠席かと憶測されたが、狭心症発作のため、参列を見合わせたと西崎氏の話]
- 間に合わせぬ「メッセージ」 : 唯一の生き残りの友人マタス氏 (夕刊山陰 昭和25年(1950) 6月28日) [4, p. 7]
- 八雲生誕百年祭盛大に挙行 (読売新聞 昭和25年(1950) 6月28日) [2, p. 13 3, p. 38]
- 松江で八雲生誕百年祭 (大阪朝日新聞 昭和25年(1950) 6月28日) [2, p. 13 3, p. 38]
- 小泉八雲の生誕百年(社説) (大阪朝日新聞 昭和25年(1950) 6月28日)
[八雲が学生の想像力を養うようにつとめた良教師であったとを回顧し、八雲は古い日本の姿に引かれたが、それは「ある高尚な将来の可能性を予示している事実から来るのである」「祖先とともにあるわれわれの血の中から、美しいものを呼び起こさなくては、作家は「人生の教師」とはいえない」という。]
[2, p. 14 3, p. 27]
- 世界に誇示しうる文献 : ハーン百年祭に伝記二つ、長男一雄氏が描く「父小泉八雲」、愛弟子田部隆次氏の「小泉八雲」 / 西崎一郎 (日本読書新聞 昭和25年(1950) 6月28日) [3, p. 10]
- 遺稿や愛用の机 : 旧師しのぶ田部氏 (朝日新聞 昭和25年(1950) 6月28日)
[ハーン百年祭に富山大学を訪れた田部氏が旧師を偲ぶ様子を伝えている]
[3, p. 42]
- ヘルンの印象を新たに : きょう田部氏らを囲み座談会 (北日本新聞 昭和25年(1950) 6月28日) [2, p. 15]
[富大で開かれたハーンを偲ぶ座談会の様子を伝えている]

八雲の伝記と作品 : 文献紹介、小泉一雄著「父小泉八雲」小山書店、田部隆次著「小泉八雲」北星堂 (日本読書新聞 昭和25年(1950)6月28日)〔3, p.11〕

Hearn loved beauty, nature and solitude / by Narao Matsumoto (The Mainichi, 1950(昭和28年)6月28日)〔3, p.24〕

編集手帖 (読売新聞 昭和25年(1950)6月28日)〔3, p.33〕

ハーン記念展 / 森亮 (島根新聞 昭和25年(1950)6月28日)〔3, p.17〕

浮標 (日本読書新聞 昭和25年(1950)6月28日)〔3, p.37〕
〔ハーン東大講師時代の「えんま帳」が出展されているとのこと〕

二つの日本 : ハーンが残した課題 上 / 森亮 (夕刊山陰 昭和25年(1950)6月29日)〔3, p.17〕

にぎやかに「ハーンの夕」 : バレエ「雪女」に感銘のひとつとき (夕刊山陰 昭和25年(1950)年6月29日)〔4, p.16〕

業績讃えて : 記念講演会終わる (夕刊山陰 昭和25年(1950)6月29日)〔4, p.16〕

英語教育研究大会 (夕刊山陰 昭和25年(1950)6月29日)〔4, p.16〕
〔ハーン記念祭に併せて松江市で開催された英語教育研究大会の記事〕

明窓 (島根新聞 昭和25年(1950)6月29日)〔4, p.11〕

雲海、亀斎彫刻展 (夕刊山陰 昭和25年(1950)6月29日)〔3, p.36〕
〔八雲が高く評価した亀斎の作品展示のこと〕

どじょうすくい見物 : ユカタがけの使節団 (島根新聞 昭和25年(1950)6月29日)〔4, p.23〕

約六百名が集い : 盛大に英語教授研究大会開く (島根新聞 昭和25年(1950)6月29日)〔4, p.24〕

ハーンの真価 (島根新聞 昭和25年(1950)6月29日、続-30日)〔4, p.18-19〕
偉大さを生かす道 / 矢野峰人
優れた三つの面 / 西崎一郎
美しい声、鋭い眼 / 日高只一
アメリカでも高い文名 / 前田多門
旧居について / 市河三喜

ヘルンの印象を新たに : きょう田部氏らを囲み座談会 (北日本新聞 昭和25年(1950)6月29日)〔3, p.42〕

セツ夫人役は新人募集 : 「小泉八雲伝記映画」構想新たに着手 (島根新聞 昭和25年(1950)6月30日)〔4, p.17〕

小泉八雲と日本(木曜論壇) / 清水虎雄 (北陸夕刊 昭和25年(1950)6月30日)
〔現在の日本にハーンの美があるであろうか。旧日本は一面には多くの価値あるものを含んでいる。この価値あるものを知り分ける「ヘルンの眼」が必要ではないかという。〕〔2, p.68 3, p.23〕

〔公民館でヘルン百年祭〕(読売新聞富山版 昭和25年(1950)8月1日)〔3, p.42〕
〔西砺波郡石動町の石動文芸会と同町公民館の共催で「ヘルン祭」を行うという記事〕

ヘルン文庫の奇縁 「学生を援助したい」米婦人からお礼の便り (朝日新聞 昭和25年(1950)9月14日)〔2, p.15〕

(164) [H096. 2]
[アメリカ・アイオワ大学教授の婦人ドロシア・マクレランドさんがヘルン文庫目録の礼状を寄せて、アメリカ研究の学生があれば、研究について援助したいと言っていること、なお、婦人は1958年(昭和33年)に本館を訪問した]

ヘルン文庫は譲れぬ(富山より) / どうしても欲しい(島根より) (読売新聞 昭和25年(1950)9月23日) [2, p.16]
[見出しのような富大側の意見と松江市の岩坂課長の談を対照させている]

幣原喜重郎(第17回) : 外交五十年 (読売新聞 昭和25年(1950)9月23日)
[ワシントン軍縮会議のとき、アメリカの有力な婦人で非常な日本びいきの人があって、英米の立場に反対して日本のために宣伝の労をとろうという人があって、それを断るのに困ったほど熱心であったが、この人はハーンの「心」を読んですっかり日本びいきになったのだという] [2, p.16]

富高移転とはもっての外 : 東京の同窓生から猛反対来る (富山新聞 昭和25年(1950)10月9日) [2, p.17]
[富山大学文理学部は元の官立富山高校の建物を使っており、ヘルン文庫もその中にあるが、このころ文理学部を五福地区に移転するという話があったことについてヘルン文庫の現在の場所は世界的に知られているということもあって、軽はずみな移転には反対だと旧富高同窓会東京支部が決議をしたという]

Lafcadio Hearn exhibition at Ernie Pyle Library (The English Mainichi, Oct. 24, 1950 (昭和50年) [2, p.17] [生誕百年祭を記念して東京のアーニーパイル図書館でハーン展覧会が開かれたこと]

独立態勢が必要 (北日本新聞 昭和25年(1950)11月1日)
[日本国連協会会長「佐藤尚武」氏が国際問題について講演するため富山へ来たついでに、ヘルン文庫を見学された] [2, p.18]

小泉八雲の映画化本きまり (北日本新聞 昭和25年(1950)12月13日)
[東宝によって小泉八雲の映画化がきまった]

・昭和26年(1951)

[三笠宮崇仁殿下] ヘルン文庫をお読み (北日本新聞 昭和26年5月8日)
[三笠宮崇仁殿下がヘルン文庫を御訪問された記事] [2, p.20]

・昭和28年(1953)

ハーンの孫娘、米空軍将校と結婚 (朝日新聞 昭和28年(1953)8月22日)
[ヘルン三男清氏の娘、小泉らん子さんは米空軍のブランデス中尉と結婚]

・昭和29年(1954)

ヘルン文庫(風土記) (中部日本新聞富山版 昭和29年5月18日) [2, p.20]

文豪八雲の遺稿を入手 : 富大ヘルン文庫に精彩加う、文学愛好家の話題さらう (産業経済新聞 昭和29年(1954)7月18日) [2, p.21]
[チェーンバレンからヘルンへ、またヘルンからチェーンバレンへ宛てた手紙を2冊にまとめて、ヘルン夫人セツ子のロザシの夏帯地で装釘したもの。そのほかに、The story of Kwairyoという見出しつきの草稿10枚がSemi(蟬)と書いた袋に入っている。この10枚は下書きの断片らしい。以上2種の手書きがヘルン文庫に入ったことを報じた ニュースである。本目録「ヘルン自筆の手紙」の項参照]
[2, p.21]

思い出の小泉八雲(座談会) : 語る人 桑原羊二郎、野津静一郎、梶谷延、漢東種一郎 (山陰新報 昭和29年(1954)9月21日)
[五十年祭を迎えるための座談会の記事。参考のために富大のヘルン文庫を見たという漢東氏は「今度富山を訪れて痛切に感じたことは、松江にはハーンの記念物の形態だけが珍重されているだけで、真のハーンの文学としての生きた血はむしろ、

富山に現実に混じっているということです」という〕〔2, p.22〕

いよいよあす盛大に : 八雲50年祭・まず記念法要から (毎日新聞島根版 昭和29年(1954)9月25日)〔2, p.23〕
〔50年祭法要と八雲のキセルにちなんだキセル展示会のことなど〕

小泉一雄氏来松 : 八雲ゆかりの米婦人伴い (山陰新報 昭和29年(1954)9月25日)〔一雄氏が五十年祭参列のため松江に到着したと同時に、ハーンがニュー・オーリアンズのタイムズ・デモクラット紙記者をしていた時の編集長デヴィス氏の孫ジャンキー嬢がわざわざアメリカから来たことを知らせる〕〔2, p.24〕

〔小泉八雲特集〕(山陰新報 昭和29年(1954)9月25日)〔2, p.25〕

- ・小泉八雲50年祭ひらく : あすから多彩な記念行事(八雲の肖像写真入り)
- ・数奇に富んだ生涯 : その文名世界にあまねく(八雲記念館写真入り)
- ・最も愛した蓮池(蓮池のある松江の旧居の写真入り)
- ・浴衣のまま布団に座す : 八雲来松当時の表情(コラム)
〔明治23年9月14日の「松江新報」173号に「お雇い教師ヘルン氏」の見出しで紹介されたハーンが松江に到着したところの様子を原文によって伝えたもの「某氏の洋服を着したるを見て跪座するの困難を察しイスを出してこれを坐せしめ自身は浴衣のまま布団に坐し、いと愉快げに当地方の談話をなしたりと〕
- ・英文学上のハーン的位置 / 森亮(筆者の写真入り)
〔ハーンはアイルランド系英国人であるために英文学史に扱われると同時に、アメリカで文学活動をしたためにアメリカ文学史にいれられるというわけで、そのためまます扱いをうける危険がひそんでいる〕
- ・小泉八雲年譜 : 著書歴を中心に(囲み欄)
〔著者歴を中心に要点をあげたもので、松江到着は8月30日という梶谷の推定により、セツ子夫人との結婚は1890年(明治23年)としているが、桑原氏の24年2月説も添えてある〕
- ・「ハーン」と「ヘルン」の呼び方(囲み欄)
〔ハーンに対する松江中学教師としての文部省辞令には「ヘルン」となっていたので、松江では「ヘルン」で通っている〕
- ・八雲と根岸家の由縁 : 教え子だった磐井氏
- ・亡夫の意思継ぐ : 根岸菖蒲さんの話(写真入り)

さこん ゆうべん

左顧右盼(1) - (5) : 原文のまま / 小泉一雄著 (山陰新報 昭和29年(1954)年9月25日~29日)〔2, p.25, 30-31, 33〕

〔氏特集の皮肉な調子で書かれた、ハーン没後五十年の随想である。同氏の著「父小泉八雲」は病氣中で助手を使って書いたため誤記が多いのは申し訳ないということ。八雲の原稿用紙を雁皮紙という人があるが、あれは鳥ノ子紙というのが正しいということ。ハーンが松江の師範校で女生徒を教えたという人があるが、そういう記録はないと。ハーン明治23年末結婚説の否定については別の折りに述べようという。ハーン之母ローザがハーンと別れた後のことも書かれている〕

小泉八雲五十年祭多彩な記念行事展く : 今日万寿寺で法要、秘蔵の遺品数々を公開(山陰新聞 昭和29年(1954)9月26日)〔2, p.26〕
〔このとき富山大学から八雲手書の「神国日本」の原稿の中から11枚が特別展観に加えられた〕

きょうから八雲50年祭 : 記念法要や遺品展、協賛行事もかずかず (朝日新聞 島根版 昭和29年(1954)9月26日)

- (166) [H096. 2]
[松江の八雲50年祭に参列するために、はるばるニュー・オーリアンズ市から来たジャンキー女史のことが出ている] [2, p. 27]
- うれしい松江の好意 : 令息小泉一雄氏語る (朝日新聞 島根版 昭和29年(1954) 9月26日) [2, p. 27]
- 「八雲の日本」見たさ、米国からもお客さま (朝日新聞 島根版 昭和29年(1954)9月26日) [2, p. 27]
- 芸術に立派な見識 : 福原氏、八雲を礼賛 (山陰新報 昭和29年(1954) 9月26日) [50 年祭に参列した福原麟太郎氏の八雲観を伝えたもの] [2, p. 28]
- 八雲描いた日付印 : 松江郵便局で使用 (山陰新報 昭和29年(1954) 9月26日) [50 年祭のために郵政省で記念日付印を使用したこと] [2, p. 28]
- 煙管とサギ組合せ : 八雲の記念スタンプ出来る (山陰新報 昭和29年(1954) 9月26日) [2, p. 28]
- 八雲文庫を世界の宝に : 小泉八雲五十年祭にあたって / 西崎一郎 (北日本新聞 昭和29年(1954) 9月26日) [2, p. 21]
[前年からアメリカに行ってヘルン文献を探したみやげ話であって、ハーンが1890年(明治23年)日本へ来たときの最初のスケッチを書きとめた「作家手帳」がガッドショー氏によって1,000 ドルで買われたなど珍しい内容。西崎氏は富大のヘルン文庫の充実を強く望んでいる]
- ヘルン50年祭 遺品展など大賑い : きのうちめやかに法要 (産業経済新聞 昭和29年(1954) 9月27日) [2, p. 28]
- 小泉八雲50年祭 : きのうち厳かに法要、万寿寺で約百名が参列 (山陰新報 昭和29年(1954) 9月27日) [2, p. 27] [法要は台風の最中に行われたとのこと]
- 大社町でも慰霊祭 : 終わってからも座談会も開く (山陰新報 昭和29年(1954)年 9月27日) [2, p. 29]
- ノート一冊千ドル : 小泉八雲の遺品 (朝日新聞 昭和29年(1954) 9月28日) [松江の八雲50年祭の記念特別展観に出た八雲のノート2冊の価値について記したもの] [2, p. 31]
- さんど便 (朝日新聞 島根版 昭和29年(1954) 9月28日) [2, p. 31]
[50 年祭に参列したジャンキー女史のうわさ話]
- ヘルン子供の夕 : プログラム決る (山陰新聞 昭和29年(1954) 9月28日) [2, p. 31]
- 外国タバコも吸う、梶谷教授が新事実を発表、温泉津にも旅行の経験 / 梶谷延 (毎日新聞 昭和29年(1954) 9月28日 [2, p. 32]
[八雲50年祭記念日本英文学会中国四国大会で梶谷延氏が発表したハーン実証的研究の内容を紹介したもの。これによると、ハーンが「きざみを喫ったのはキセルの美術的な価値を愉しんだためで、やはり平常は外国製のタバコを喫っていたと考えられる]
- 「ヘルン子供の夕」きまる (毎日新聞 昭和29年(1954) 9月28日) [2, p. 32]
- 選者に一流俳人 : 小泉八雲五十年祭全国俳句大会 (毎日新聞 昭和29年(1954) 9月28日) [2, p. 32]
- 小泉八雲没して五十年、文豪しのび記念祭 : 26日富大で盛大に実施 (産業経済新聞 昭和29年(1954)10月15日 [2, p. 34]
[松江の50年祭から一ヵ月おくれて昭和29年10月26日に行われた富山大学の八雲50年祭りのこと]

三日間に延長決る : 富大・小泉八雲の記念祭 (産業経済新聞 昭和29年(1950)10月20日)〔2, p. 35〕

「ヘルン文庫」を公開 (北日本新聞 昭和29年(1954)10月20日)〔2, p. 35〕

盛大にヘルン50年祭 : 愛弟子ら招き面影しのぶ、文庫も開放・遺稿ぎっしり (中部日本新聞 昭和29年(1954)10月17日)〔2, p. 35〕

多彩な小泉八雲記念行事 : 26日から富山大学文理学部が (富山新聞 昭和29年(1954)10月22日)〔2, p. 36〕

ヘルン文庫のこと : 五十年祭を迎えて / 小森典. (富山新聞 昭和29年(1954)10月26日)〔2, p. 36〕

〔「ヘルン文庫」はちょうどカシの実のようなもので、やがて天にもとどく大きなカシの木となるだろう。そしてまたその実がつぎの時代のカシの大木となるという具合に大なる発展の基となると考えられるからこそ、大学は「ヘルン文庫」を大事にし自慢の種としているのであります〕〔2, p. 36〕

「ヘルン文庫」の逸話 / 大島文雄 (富山新聞 昭和29年(1954)10月26日)

〔小泉一雄氏から聞いた話として二つを記している。一つは、某氏がハーンの蔵書が富山へ送られることになったことを聞いて、上野駅の貨車の前で香を焼いて別れを惜しんだこと、二つは、南日恒太郎氏はハーン蔵書の代金を遺族へ渡されてから居ずまいを正して、「このお金は故先生の身代わりのようなものですから、この金の使途について特別の御注意をお願いしたい」といったとのこと〕〔2, p. 37〕

ヘルン文庫について / 大島文雄 (富山大学新聞 第9号 昭和29年(1954)10月26日)〔2, p. 38〕

小泉八雲について / 小森典 (富山大学新聞 第9号 昭和29年(1954)10月26日)

〔八雲は自分が身長が低いこと、失明した左眼がみにくかったこと、右眼が二度半というギョロリとした近眼であったこと、以上三つの劣等感のために日本に逃避したものでなかろうか。とくかく日本が住みよかったに違いない。その日本にも住みにくい点もあったであろうが、それが住みよかったのは八雲自身の美德にも原因している。彼の日本紹介もあれだけでは決して十分なものではない。彼の業績はそれよりも文学乃至芸術理解あるいは創作の根本を平易に示してくれたことであろう。以上がこの論の要点である〕〔2, p. 38〕

ヘルン文庫を公開 : 50年祭を記念して、富大文理学部 (北日本新聞 昭和29年(1954)10月28日)〔2, p. 44〕

鋭い小泉八雲の直感力 / 西崎一郎 (北日本新聞 昭和29年(1954)10月28日)

〔現に英語の識者たちの間では、R. L. スティブソンと同じくらいの重さであると論じられておる。----- イリノイ大学のフロント教授は近年、「彼の母親はジプシイの女だった」と発表しているが、彼の出生については、ペイターがダ・ヴィンチについていったことばがそのまま八雲にも当てはめらると思う。と西崎氏はいう〕〔2, p. 72〕

・昭和30年(1955)

在りし日のヘルン : 研究家が寄贈 (中部日本新聞 昭和30年(1955)5月29日)

〔島根県の田原新作氏が富大に寄贈した写真3枚のこと。一枚は「ハーンと藤崎」一枚は「ヘルンの弟ジェームズの孫ドロシー夫人一家」である〕〔2, p. 45〕

ノーベル賞作家と小泉八雲 / 西崎一郎. - (北日本新聞 昭和30年(1955)12月11日)

〔個人の自由を求めて自由の危機を叫ぶフォークナーは日本へ来て、長野のアメリカセミナーで黒人差別問題をとり上げた。「いまやわれわれは奴隷となるか、それとも自由人となるか、それとも自由人となるかの分かれ道に立つと叫んだ。このフォークナーが八雲をどう思うかと聞かれて、「ミスター・ハーンを敬っています」と答えた。フォークナーは昔八雲が副主筆をした新聞に関係したことがあったのである。フォークナーも古い日本の姿を描いた。ここに永遠なものを求める二人

- (168) [H096. 2]
の作家の間に —— スタイルの上ではどんなに対照的であろうとも —— 相似性があるのではなからうか。と西崎氏はいう] [2, p.46]
- ・昭和33年(1958)
- ヘルンと富山 : 松江市を訪れて / 平岡伴一 (富山新聞 昭和33年(1958)6月7日) [2, p.48] [松江にハーンの足跡を訪ねたみやげ話から始めて、富山とハーンの関係を考察している]
- 柳田国男の強い刺激 / 古谷綱武 (日本読書新聞 昭和33年(1958)8月25日)
[「わたしの古典」という続き物の一編。「内外の幾人かの作家をのぞけば、私とその全著作に近いぐらいよんでいるのは、柳田とハーンだけである」 [2, p.50]
- 多くの収穫があった : ハーン研究のマ氏富山を去る (富山新聞 昭和33年(1958)9月12日 [2, p.49] [この年9月10日から12日まで3日間富大ヘルン文庫にかよって、研究を行ったアイオア大学教授夫人ドロシア・カクレランド女子(Dorothea McClelland)のこと]
- ヘルン研究に富大へ : アイオア大の教授夫人 (北陸夕刊 昭和33年(1958)9月13日) [2, p.49]
- 富山ヘルン文庫訪問 : マ教授夫人ドロシアさん (北日本新聞 昭和33年(1958)9月13日) [2, p.49]
- ・昭和34年(1959)
- 若き日のラフカディオ・ヘルン : 小泉八雲の新研究 / 平岡伴一 (富山新聞 昭和34年(1959)6月28日) [2, p.51] [フロスト氏の新ハーン伝によってハーンとその母の悲しい宿命をしのんでいる]
- ヘルンと怪談 / 志波駿介 (北日本新聞 昭和34年(1959)7月24日)
[日露戦争のときの兵隊怪談から話を起こしてヘルンの耳なし芳一におよぶ]
- ヘルン関係文献の解説目録完成 : 簡潔に内容も分かる (朝日新聞富山版 昭和34年(1959)11月10日) [2, p.52]
- ・昭和35年(1960)
- ヘルンの蔵書集める : 「神国日本」の原稿など (日本経済新聞 昭和35年(1960)11月14日) [2, p.53]
- ・昭和40年(1965)
- 作品朗読などでつづるハーンと松江の物語 : NHKラジオ「教養特集」文学のふるさと (朝日新聞 昭和40年(1965)2月26日) [大1]
- ・昭和45年(1970)
- 見つかったハーンの記事・ヘルン氏の鳥尾中将に与ふる書 / 金山信三郎 (島根新聞 昭和45年(1970)11月30日) [大1]
- ・昭和49年(1974)
- 未開拓の人ラフカディオ・ハーン : 没後七十年に寄せて / 速川和男 (読売新聞 昭和49年(1974)9月10日夕刊) [大1]
- [出版紹介] 八雲の草稿と書簡 : 新資料まじえ公刊 (昭和49年(1974)9月24日) [大1]
- ・昭和51年(1976)

教え子と仲よく : ラフカディオ・ヘルン写真嫌いのはずなのに (毎日新聞 昭和51年(1976)10月26日) 〔大1〕
 [ハーンが亡くなる五ヵ月ほど前に教え子の藤崎八三郎と写した記念写真、島根県太田市で発見したという記事]

・昭和52年(1977)

八雲図書館(旧制富山高校物語 ああ若き日の 109) (毎日新聞 富山版 昭和52年 4月19日) 〔大1〕

・昭和55年(1980) 7月5日

小泉八雲の屋敷守り 根岸さん死去 (読売新聞 昭和55年 2月27日) 〔大1〕

八雲の心求め白村、逍遙、鉄幹ら50人 : 松江の根岸家芳名録見つかる (朝日新聞 1980年(昭和55年) 6月28日) 〔大1〕

ハーン生誕百三十年 : ゆかりの松江で記念祭 (朝日新聞 1980年(昭和55年) 7月5日) 〔大1〕

ヘルン文庫にご満悦 : 初来県のマ大使夫妻(読売新聞 富山版 昭和55年(1980) 9月12日) 〔大1〕
 [マンスフィールド・アメリカ大使ご夫妻がヘルン文庫を訪問された記事]

隠岐に幽霊船が出る : 小泉八雲の取材ノート発見 (朝日新聞 昭和55年10月10日) 〔大1〕
 [雑誌「へるん」第 号によれば、この記事は誤りであるという]

ハーンの陰と内面も : 書評「炎と光の人小泉八雲 西野影四郎著」 / 小森典・評(昭和55年)

・昭和59年(1984)

漱石が書きそびれた一語 : ハーンとケーブルの奇妙な関係 / 平川祐弘 (毎日新聞 昭和59年(1984) 3月8日) 〔大1〕

明窓 (山陰中央新報 昭和59年 3月5日) 〔大1〕電子複写

小泉八雲記念館の竣工に思う : 今は亡き初代建設の先輩、功績をしのび無限の感謝 / 梶谷泰之 (山陰中央新報 昭和59年 3月19日) 〔大1〕電子複写

Lafcadio Hearn(小泉八雲)を訪ねて : 松江からの手紙 / 村上健 (The Student Times, March 23, 1984) 〔大1〕

小泉八雲記念館 : 装い一新あす開館、ハーンしのぶ遺品900点展示 (山陰中央新報 昭和59年(1984) 3月31日) 〔大1〕電子複写

純和風造りに衣替えオープン : 小泉八雲記念館 (山陰中央新報 昭和59年(1984) 4月1日) 〔大1〕電子複写

「日本の面影」求め2000人 : 小泉八雲記念館オープン (山陰中央新報 昭和59年(1984) 4月2日) 〔大1〕電子複写

連日どっと観光客 : 松江、改装の小泉八雲記念館 (朝日新聞 昭和59年(1984) 4月5日) 〔大1〕電子複写

八雲記念館が開館式(松江) : 遺品も懐かしげ孫夫婦も出席 (朝日新聞 昭和59年(1984) 4月10日) 〔大1〕電子複写

祖父小泉八雲を語る : 「ヘルンの夕べ」記念講演、小泉時氏の講演要旨、頑丈な体

- (170) [H096. 2]
・・・声は女性的、ユーモア豊かな人 (山陰中央新報 昭和59年(1984) 4月7日) [大1]
- 雨で人出も湿りがち : 連休2日目松江は倍増 (山陰中央新報 昭和59年(1984)5月1日) [大1] 電子複写
- 文豪ハーンは「生きていた」 : 出生の地ギリシャ・レフカダ島に多くの事跡 / 西村六郎 (日本経済新聞 昭和59年(1984) 7月10日) [大1] 電子複写
- ハーンとヘルン / 西村六郎 (山陰中央新報 昭和59年(1984) 8月29日) [大1] 電子複写
- [特集] いまよみがえる小泉八雲の世界 (山陰中央新報 昭和59年(1984) 9月 9日) [大1]
「小泉八雲」フェスティバル 9月23日・24日
小泉八雲と松江(ゆかりの地案内図)
八雲の素顔と足跡を訪ねて、等々
- ラフカディオ・ハーンの記念碑50年ぶりに再建 : 生誕地・ギリシャの小島の町で (昭和59年(1984) 9月14日) [大1] 電子複写
- 教材「稲むらの火」を復刊 : ハーンの霊前に供える、和歌山の元小学校長 (山陰中央新報 昭和59年(1984) 9月23日) [大1] 電子複写
- 前年から病魔の兆候 : 狭心症で「急死」の八雲、新発見手紙で判明 (山陰中央新報 昭和59年(1984) 9月27日) [大1] 電子複写
- 文豪「ハーン」小泉八雲日本文は苦手だった : カナ手紙「見たら焼却を」、没後80年大阪の親類宅に珍しい資料 (サンケイ新聞 昭和59年(1984)10月 3日) [大1] 電子複写
- 八雲出生の地、レフカダを訪ねて : 「ヘルン通り」に生家跡 / 西村六郎 (毎日新聞 昭和59年(1984)10月 5日) [大1] 電子複写
- これがハーンの記念碑 : 生誕の地レフカダ島で除幕式、現地から写真と手紙届く (山陰中央新報 昭和59年(1984)10月25日) [大1] 電子複写
- 八雲の記念碑ギリシャに再建 : 大使ら参列し除幕、中村松江市長来年にも訪問 (サンケイ島根版 昭和59年(1984)10月31日) [大1] 電子複写
- 「史実とドラマ」に一石 : 小泉八雲像で問題提起 (朝日新聞 1984(昭和59年)10月31日 「手帳」より) [大1]
- 脈はくの音 : 松江で初めての朝 (ハーンの面影を追って 1) (山陰中央新報 昭和59年(1984) 3月 2日) [大2] 電子複写
- 金色の霞の精 : 幽玄な宍道湖に感動 (ハーンの面影を追って 2) (山陰中央新報 昭和59年(1984) 3月 3日) [大2] 電子複写
- 松江の大橋 : 仮橋に「毒のないムカデ」 (ハーンの面影を追って 3) (山陰中央新報昭和59年(1984) 3月 9日) [大2] 電子複写
- 悲しい源助柱 : 橋を渡る「おきて」破る (ハーンの面影を追って 4) (山陰中央新報 昭和59年(1984) 3月10日) [大2] 電子複写
- 嫁ヶ島伝説 : 悲話残る小島に魅せられ (ハーンの面影を追って 5) (山陰中央新報 昭和59年(1984) 3月16日) [大2] 電子複写
- 妖霊「出雲不二」 : 墨絵に比すべき筆致 (ハーンの面影を追って 6) (山陰中央新報 昭和59年(1984) 3月17日) [大2] 電子複写

- お寺巡り : 日曜ごと「美」と「奇」求め (ハーンの面影を追って 7) (山陰中央新報 昭和59年(1984)3月23日)〔大2〕電子複写
- 天空の松江城 : 鷹のように全市を一望 (ハーンの面影を追って 8) (山陰中央新報 昭和59年(1984)3月24日)〔大2〕電子複写
- 八重垣神社 上 : 良縁願う若い男女の参詣 (ハーンの面影を追って 9) (山陰中央新報 昭和59年(1984)3月30日)〔大2〕電子複写
- 八重垣神社 中 : 良縁結ぶ「連理の葉」 (ハーンの面影を追って 10) (山陰中央新報 昭和59年(1984)4月5日)〔大2〕電子複写
- 八重垣神社 下 : 「占い紙」に良縁託す (ハーンの面影を追って 11) (山陰中央新報 昭和59年(1984)4月14日)〔大2〕電子複写
- 城山稲荷神社 : 壮観な数百の石キツネ (ハーンの面影を追って 12) (山陰中央新報 昭和59年(1984)4月21日)〔大2〕電子複写
- 月照寺の化けガメ : 父の長寿願い不昧公建立 (ハーンの面影を追って 13) (山陰中央新報 昭和59年(1984)4月28日)〔大2〕電子複写
- 河畔の漁師町 : 折にふれ散策楽しむ (ハーンの面影を追って 14) (山陰中央新報 昭和59年(1984)5月12日)〔大2〕電子複写
- 恂光寺の追悼会 : 生徒に問い合わせつづる (ハーンの面影を追って 15) (山陰中央新報 昭和59年(1984)5月18日)〔大2〕電子複写
- 御津浦 : 舟に乗って加賀の潜戸へ (ハーンの面影を追って 16) (山陰中央新報 昭和59年(1984)5月19日)〔大2〕電子複写
- 加賀浦の宿屋 : 笑顔の群衆に囲まれる (ハーンの面影を追って 17) (山陰中央新報 昭和59年(1984)5月25日)〔大2〕電子複写
- 新潜戸 : 「神さまの海」にひかれる (ハーンの面影を追って 18) (山陰中央新報 昭和59年(1984)6月1日)〔大2〕電子複写
- 旧潜戸 : 老婆の案内で賽の河原に (ハーンの面影を追って 19) (山陰中央新報 昭和59年(1984)6月7日)〔大2〕電子複写
- 美保関 ① : 故事、神話・・・軽妙な筆致 (ハーンの面影を追って 20) (山陰中央新報 昭和59年(1984)6月8日)〔大2〕電子複写
- 美保関 ② : 羽織、袴・・・好んで着用 (ハーンの面影を追って 21) (山陰中央新報 昭和59年(1984)6月15日)〔大2〕電子複写
- 美保関 ③ : 船乗りの宴会詳しく (ハーンの面影を追って 22) (山陰中央新報 昭和59年(1984)6月16日)〔大2〕電子複写
- 美保関 ④ : 情緒あふれる石畳の道 (ハーンの面影を追って 23) (山陰中央新報 昭和59年(1984)6月22日)〔大2〕電子複写
- 美保関 ⑤ : 沖からながめた夫婦松 (ハーンの面影を追って 24) (山陰中央新報 昭和59年(1984)6月23日)〔大2〕電子複写
- 熊野神社 : モチに難くせ・・・威厳示す (ハーンの面影を追って 25) (山陰中央新報 昭和59年(1984)6月29日)〔大2〕電子複写
- 推恵神社 : 小野検校の霊を鎮魂 (ハーンの面影を追って 26) (山陰中央新報 昭和59年(1984)6月30日)〔大2〕電子複写

(172) [H096.2]

荒神さま : 亡き子の追憶断つ親たち (ハーンの面影を追って 27) (山陰中央新報 昭和59年(1984)7月7日) [大2] 電子複写

嵩山 : 小石にまつわる恋慕物語 (ハーンの面影を追って 28) (山陰中央新報 昭和59年(1984)7月13日) [大2] 電子複写

児守稲荷神社 : 子どもと遊ぶキツネ様 (ハーンの面影を追って 29) (山陰中央新報 昭和59年(1984)7月14日) [大2] 電子複写

焼火山 : 海の男助ける船霊信仰 (ハーンの面影を追って 30) (山陰中央新報 昭和59年(1984)7月20日) [大2] 電子複写

西郷の宿 : 居ごこちのよさ絶賛 (ハーンの面影を追って 31) (山陰中央新報 昭和59年(1984)7月21日) [大2] 電子複写

イカ漁 : 夏の夜彩る漁火に感嘆 (ハーンの面影を追って 32) (山陰中央新報 昭和59年(1984)7月27日) [大2] 電子複写

玉若酢命神社と大杉 : 豪壮さにひかれる (ハーンの面影を追って 33) (山陰中央新報 昭和59年(1984)8月17日) [大2] 電子複写

後鳥羽上皇の山陵 : 心打つ厳かなただずまい (ハーンの面影を追って 34) (山陰中央新報 昭和59年(1984)8月18日) [大2] 電子複写

隠岐を去る : 習俗と家並み・・・海に感動 (ハーンの面影を追って 35) (山陰中央新報 昭和59年(1984)8月24日) [大2] 電子複写

大雄寺の怪談 : 死超えた母性愛に感動 (ハーンの面影を追って 36) (山陰中央新報 昭和59年(1984)8月25日) [大2] 電子複写

普門院の怪談 : 「杜若」の謡に怨念が・・・ (ハーンの面影を追って 37) (山陰中央新報 昭和59年(1984)9月21日) [大2] 電子複写

黒坂の幽霊滝 : 賃金かけ女たちが肝試し (ハーンの面影を追って 38) (山陰中央新報 昭和59年(1984)9月28日) [大2] 電子複写

木の根神社 : 子授けの神木に興味 (ハーンの面影を追って 39) (山陰中央新報 昭和59年(1984)9月29日) [大2] 電子複写

海辺の墓地 : 心に刻まれた墓石の群 (ハーンの面影を追って 41) (山陰中央新報 昭和59年(1984)10月6日) [大2] 電子複写

浜村温泉の宿 : 「浜辺の湯」に奇妙な思い (ハーンの面影を追って 42) (山陰中央新報 昭和59年(1984)10月11日) [大2] 電子複写

境港 : 港のにぎわいを取材 (ハーンの面影を追って 43) (山陰中央新報 昭和59年(1984)10月12日) [大2] 電子複写

一畑薬師 : 昼食の精進料理に閉口 (ハーンの面影を追って 44) (山陰中央新報 昭和59年(1984)10月18日) [大2] 電子複写

荘原村 : 人力車で田園風景に行く (ハーンの面影を追って 45) (山陰中央新報 昭和59年(1984)10月19日) [大2] 電子複写

杵築の宿 : 心のこもった歓待に感激 (ハーンの面影を追って 46) (山陰中央新報 昭和59年(1984)10月20日) [大2] 電子複写

出雲大社 ① : 参拝者の表情を観察 (ハーンの面影を追って 47) (山陰中央新報 昭和59年(1984)10月25日) [大2] 電子複写

出雲大社 ② : 破格の待遇を受け昇殿 (ハーンの面影を追って 48) (山陰中央新報 昭和59年(1984)10月27日)〔大2〕電子複写

出雲大社 ③ : 「巫女舞」に深く感銘 (ハーンの面影を追って 49) (山陰中央新報 昭和59年(1984)11月18日)〔大2〕電子複写

稲佐の浜 : 美しい海岸線を絶賛 (ハーンの面影を追って 50) (山陰中央新報 昭和59年(1984)11月22日)〔大2〕電子複写

竜蛇さま : 社紋刻む神々の使者 (ハーンの面影を追って 51) (山陰中央新報 昭和59年(1984)11月23日)〔大2〕電子複写

経島 : 降臨伝説が残る霊地 (ハーンの面影を追って 52) (山陰中央新報 昭和59年(1984)11月24日)〔大2〕電子複写

日御倚神社 : 華麗な造りに驚き (ハーンの面影を追って 53) (山陰中央新報 昭和59年(1984)11月29日)〔大2〕電子複写

宍道湖の夕景 : 水と雲と山が描く美 (ハーンの面影を追って 54) (山陰中央新報 昭和59年(1984)11月30日)〔大2〕電子複写

グッド・バイ : 朝の湖上 汽船に乗る (ハーンの面影を追って 55) (山陰中央新報 昭和59年(1984)12月 1日)〔大2〕電子複写

・昭和60年(1985)

小泉セツ : 「八雲文学」陰で支える(歴史を彩った山陰のおんな) / 村松直子 (山陰中央新報 昭和60年(1985)2月 6日)〔大2〕電子複写

富大にハーンのレリーフ : ヘルン文庫の顔に、東大の胸像を複製 (富山新聞 昭和60年(1985)4月18日)〔大2〕

富大へ小泉八雲のレリーフ : 東大総合図書館から複製 (北陸中日 昭和60年(1985)4月18日)〔大2〕

ハーンとピエール・ロチ : 新資料の書簡をめぐる / 船岡末利 (図書新聞 1985年 8月10日)〔大2〕

八雲の全初版本を松江市に寄贈 (北日本新聞 昭和60年 9月 4日)〔大2〕

嘉納治五郎 ③ / 川本信正 (日本経済新聞 昭和60年(1985)10月17日)〔大2〕

・昭和62年(1987)

ほたるいか (富山新聞 昭和62年(1987)2月24日)〔大2〕
〔小泉時夫妻がヘルン文庫を訪れられた記事〕

松江を第二の故郷に : 小泉八雲のひ孫・凡さん (中国新聞 昭和62年(1987)5月10日)〔大2〕

耳なし芳一、生みの苦心語る草稿 : 東京八雲の孫宅で断片みつける (毎日新聞 1987年(昭和62年)6月11日)〔大2〕

ハーン未公開資料展開幕 : 松江原稿、写真など112点 (山陰中央新報 昭和62年(1987)6月21日)〔大2〕

八雲未公開資料を展示 : 英文の草稿や手紙112点 (中国新聞 昭和62年 6月21日)〔大2〕

ハーンの業績ひと目で : 「小泉八雲とその周辺」展 (山陰中央新報 昭和62年 6

(174) [H096. 2]
月23日) [大2]

小泉八雲・蔵書の和漢書59種 : マイクロフィルム新学期から閲覧できる、富山大学の好意受け島根大学附属図書館で(毎日新聞 島根版 昭和62年(1987) 8月19日)

ヘルンとの出会い / 関田かおる(早稲田学生新聞 1987年(昭和62年) 9月 1日)
[大2]

小泉八雲「里がえり」 : 富大から島根大へ、蔵書マイクロフィルムで (毎日新聞 富石福版 昭和62年(1987) 9月 8日) [大2]

小泉八雲送別の辞を図書館に寄贈 (北日本新聞 昭和62年(1987)11月16日夕刊)
[大2]

・昭和63年(1988)

八雲・日本の私生活 : 英の子孫宅に手紙18通のコピー / 中田賢二 (読売新聞 昭和63年(1988) 1月 5日夕刊) [大2]

八雲の未発表原稿発見 : 東京小泉家「蜘蛛模様の浴衣」 (朝日新聞 1988年(昭和63年) 3月 7日) [大2]

伝統の酒蔵を見学 : 小泉八雲の孫夫妻ら、金沢のやちや酒造 (北国新聞 昭和63年(1988) 5月 1日) [大3]

小泉八雲の資料を新たに2百点購入 : 松江市立図書館 (福井新聞 昭和63年(1988) 6月 4日) [大3]

65年に松江で八雲フェスティバル (北日本新聞 昭和63年(1988) 7月12日)
[大3]

65年に松江で八雲フェスティバル : シンポジウム軸に (富山新聞 昭和63年(1988) 7月26日) [大3]

八雲「ヘルン文庫」が縁、ローナンアイルランド大使富山大に : 蔵書類に感慨深げ (読売新聞 昭和63年(1988)11月 3日) [大3]

ハーン通じ友好深める : 在日アイルランド大使富大「ヘルン文庫」へ (富山新聞 昭和63年11月 3日) [大3]

富大のヘルン文庫視察 : アイルランド大使のロ氏 (北陸中日新聞 昭和63年(1988)11月 3日) [大3]

「八雲の文庫」視察 : アイルランドローナン大使富大を訪問 (北日本新聞 昭和63年(1988)11月 3日) [大3]

・昭和64年・平成元年(1989)

小泉八雲にちなみ文学賞 : 平成2年度からふるさと資金で、松江市 (日本経済新聞 平成元年(1989) 2月10日) [大3]

「国際化の芽」置き土産に : 心のふるさと松江(小泉八雲の百年 1) (1989年 8月18日) [大3]

中学生の交歓温かく : ダブリンでの誓い(小泉八雲の百年 2) (1989年 8月21日)
[大3]

縁結ぶ入り江の光景 : 生地レフカダ島(小泉八雲の百年 3) (1989年 8月22日)
[大3]

住まぬ地にハーン通り : アメリカの旧居(小泉八雲の百年 4) (1989年 8月23日)〔大3〕

心の底から愛した日本 : 優しいまなざし(小泉八雲の百年 5) (1989年 8月28日)〔大3〕

・平成2年(1990)

悠閑春秋 (北日本新聞 平成 2年 3月14日)〔大3〕
〔ハーン来日百年にちなんだ話題〕

ハーン・ライブラリーが開館 : 来日100年で駿台アイランド校 (北日本新聞 平成 2年 3月14日)〔大3〕

ゆかりの松江から熱い視線 : 八雲来日から100年、島根大・富大ヘルン文庫をマイクロ化 (北日本新聞 平成 2年 5月 6日)〔大3〕

・平成3年(1991)

L・ハーンへの思いつづる : 「ヘルン文庫」を特集、とやま文学第9号刊行 (北日本新聞 平成 3年(1991) 4月 4日)〔大3〕

・平成4年(1992)

小泉八雲研究した中央公論新書 : 成城大の牧野助教授 (書評・牧野陽子著「ラフカディオ・ハーン」) (福井新聞 平成 4年 2月 9日)〔大3〕

ラフカディオ・ハーン女性たちとの出会いと別れ : 黒人と法を超えて結婚 / 工藤美代子 (朝日新聞 1992年(平成 4年) 4月 8日)〔大3〕

・平成5年(1993)

英語直訳、ハーンの日本語 : 三味線の音色愛した祖父の思い出 / 小泉時 (日本経済新聞 1993年(平成 5年) 8月 4日)〔大3〕

・平成6年(1994)

「西洋至上主義」をゆるがしたハーン : 常識に逆行した帰化、文化・宗教の価値認める / 平川祐弘 (読売新聞 平成 4年(1992) 3月10日夕刊)〔大3〕

ハーンの前半生に光 : 書評・さまよう魂 / ジョナサン・コット著、真崎義博訳 (北日本新聞 平成 6年(1994) 3月28日)〔大3〕

全滅寸前の街並みパチリ、八雲撮影の写真贈呈 : ひ孫がカリブの島訪問 (新潟日報 1994年(平成 4年) 4月12日)〔大3〕

八雲の心に触れる : アイランド大使ヘルン文庫を訪問、かねてからの夢 (朝日新聞富山版 平成 6年(1994) 4月26日)〔大3〕

小泉八雲が愛した島、ひ孫らカリブ訪問 : 「世界に紹介した大恩人」国賓並みに盛大な歓迎 (新潟日報 1994年(平成 6年) 5月11日)〔大3〕

小泉八雲神戸来訪100周年で記念行事 : 八雲会と松陰女大 (毎日新聞 1994年(平成 6年) 6月 3日)〔大3〕

建都千百年祭り(京都) : 無言静粛の行列見物に驚き(ハーンが見た関西来神百年) (毎日新聞 1994年(平成 6年) 7月 3日)〔大3〕

大津事件(大津) : 日本女性の献身に衝撃(ハーンが見た関西来神百年) (1994年(平成 6年) 7月10日)〔大3〕

- (176) [H096.2]
奈良見物(奈良) : 巫子舞の美しさに感激(ハーンが見た関西来神百年)(1994年7月17日) [大3]
- 俳句と俗謡(三重) : 芭蕉の句を英訳も(ハーンが見た関西来神百年)(1994年7月24日) [大3]
- 山陰旅行(島根) : 大国主命に結婚報告(ハーンが見た関西来神百年)(1994年8月7日) [大3]
- 帰化 : 家庭作るため日本人に(ハーンが見た完成来神百年)(1994年8月14日) [大3]
- 天声人語(朝日新聞 1994年(平成6年)8月8日) [大2] [ハーンの「虫の音楽師」にまつわる日本人に虫好きの話から、虫を売る商売の昨今の話] [大3]
- 小泉八雲の和洋書寄贈 : 松江の研究者(新潟日報 1994年(平成6年)8月13日) [大3]
- 佐野史郎が語る小泉八雲の世界 : 山陰放送が40周年記念番組、日米の足跡をたどる(平成6年(1994)9月2日) [大3]
[松江出身の俳優佐野史郎がリポーターを勤め、ハーンの足跡をたどる。BNS(山陰放送)の40周年記念番組と平成6年9月10日放映された]
- ラフカディオ・ハーン : ジャーナリト像に一層の光を、神戸に来て100年記念の催し開催(毎日新聞 1994年(平成6年)9月9日) [大3]
- ハーンに学ぶ、他国を知る心(毎日新聞 1994年(平成6年)9月26日) [大3]
- 「日本」導く八雲の教訓 / 高橋元(日本経済新聞 1994年(平成6年)11月27日) [大3]
- ハーン文学の今日性 : 没後90年に / 仙北谷晃一(毎日新聞 1994年11月15日) [大3]
- ・1995(平成7年)
- ギリシャ・小泉八雲高まる関心 : 「生地」名乗ったことに共感(読売新聞 1995年(平成7年)3月夕刊) [大3]
- ラフカディオ・ハーンと神道 : 日本人の心の根幹を見取る(日本人の死生観を考える4) / 鎌田東日(北陸中日新聞 1995年(平成7年)8月29日) [大3]
- 八雲41歳の遺言状みつかると : セツさんに深い愛情(北日本新聞 平成7年(1995)9月17日) [大3]
- 小泉八雲41歳に遺言状 : 孫の自宅から発見、全財産をセツさんに(北陸中日新聞 平成7年9月17日) [大3]
- 旧制富山高を創設 : 馬場さんの胸像除幕(富山新聞 平成7年(1995)10月23日) [大3]
- 旧制高校「生みの親」 : 馬場さんの胸像除幕(北日本新聞平成7年(1995)10月23日) [大3]
- ああ「ヘルン文庫」眠る小泉八雲の蔵書 : 富山大に2500冊公開まならず(朝日新聞富山版 1995年(平成7年)11月6日) [大3]
- 小泉八雲賞を受賞した駐英アイルランド大使館員、ポール・マレーさん(新潟日報 1995年(平成7年)11月19日) [大3]

・1996年(平成8年)

小泉八雲蔵書「ヘルン文庫」保存状態良く「感無量」 : 移転前に孫夫妻が訪問、富山大学附属図書館 (北日本新聞 平成8年9月12日)〔大3〕

小泉八雲の想像力を語る : ひ孫の凡氏が講演 (北日本新聞 平成8年(1995)12月1日)〔第3〕

オリエンタルな夢・小泉八雲と霊の世界 平川祐弘著 / 佐藤忠男・書評 (朝日新聞 1996年(平成8年)12月1日)〔大3〕

今に生きる北前船 115 : 社会貢献、時代に先駆け(読売新聞 1997年(平成9年)1月28日)〔富山大学附属図書館所蔵の「ヘルン文庫」の紹介と同文庫を寄贈した「馬場ハル氏」の紹介〕〔大3〕

・1997年(平成9年)

NHKスペシャル「昭和天皇・二つの独白録」:「私は無力だった」と英語版 (朝日新聞 平成9年6月)
〔マッカーサー元帥の秘書官フェラーズ准将がハーンの研究者であったこと。Macmillan社発行の「Japan」〔神国日本〕が画面に出てくるが、当館の蔵書を撮影したもの〕

小泉八雲、故国で顕彰、記念館に肖像展示へ アイルランド (朝日新聞 平成9年8月17日)

小泉八雲への讃歌 : 連載小説「怪談」を始めるに当たって / 阿刀高 (北陸中日新聞 1997年7月3日)

怪談〔新聞連載小説〕 1 - / 阿刀田高著. 宇野亜喜良イラスト (北陸中日新聞 平成9年7月3日より 連載中)
〔内容は殆ど八雲の伝記と作品の紹介、この連載小説を書くに当たって、2度ヘルン文庫を訪れられた〕

小泉八雲記念館 / 坂本政親 (ふくい文化) (福井新聞 平成9年9月27日)

小泉八雲の「神国日本」直筆原稿デジタル写真化へ (読売新聞富山版 平成9年10月27日)

(178)

その他 (ハーンに関連する著書)

ヘルン文庫分類表に入らないハーン関係の文献をNDCにHを冠せた。

H 2 8 9 伝 記

ある英語教師の思い出 : 小泉八雲の次男・稲垣巖の生涯 / 小野木重治編著.
- 東京 : 恒文社, 1992. - 237p ; 20cm.

西田千太郎日記 全1巻 / [池橋達雄編]. - 松江 : 島根郷土資料刊行会,
1976. - 426p ; 22cm

H 2 9 5 アメリカ地理

Historial sketch book and guide to New Orleans and environs, with map / edited
and compiled by Several Leading writers of the New Orleans Press. - New
York : Coleman, 1885. - 324 p. ; 18 cm.

(178)

H 3 3 8 伝説・民話

文芸倶楽部 第7巻 第1、3-6、8-9、11-13、15-16号. - 東京
: 博文館, 1901. - 12冊 ; 23cm 電子複写
[各号よりハーンの怪談の底本となった「十六桜」「姥桜」「幽霊滝」「狐火」「
平家蟹」など「諸国奇談」に関する記事のみをコピーしたもの]

H 7 2 3 洋 画

小泉清画集=Kiyoshi Koizumi's works. - 東京 : 恒文社, 1989. - 145p ;
24cm.
内容 : 作品 日記 父を憶う 年譜 参考文献 作品リスト

H 9 3 3 アメリカ文学

Fangs of evil / by Ellen Steiber. - New York : Random House, c1994. - 105 p.
; 20cm. - (Bullseye chillers). - Based on: The boy who drew cats/rendered
into English by Lafcadio Hearn. [ハーンの「猫を描いた少年」に基づいて書か
れた物語] ISBN:0679854665

参考資料 ビデオテープ

ハーンが愛した街・松江 小泉八雲来日百年 NHK' 90. 9. 3. 放映

小泉八雲 NHK教育テレビ評伝 昭和55年8月27日放映

日本の面影 第1-第4 : NHK総合テレビ・ドラマスペシャル ビデオテープ
4本 VHS 昭和59年3月放映

西洋文明の衝撃と日本 / 平川祐弘, ビデオ 3巻 第12回. ハーンとケーブルの
奇妙な関係 寄贈: 平川祐弘殿

八雲の怪談はこうして生まれた / NHKミッドナイトジャーナルより 平成4年
一龍斉貞永、染村絢子出演 「耳なし芳一」「おしどり」を講演

NHK富山水曜探偵局「ヘルン文庫」紹介 平成4年
平田純館長が文庫の内容を紹介

テレビドラマ怪談「耳なし芳一」「むじな」 平成5年 富山テレビ放映

テレビドラマ怪談「牡丹登籠」 平成6年 富山テレビ放映

ラフカディオ・ハーン漂泊の魂 第11回-第12回 NHK教育テレビ
レポート: 工藤美代子

富大ヘルン文庫秘話 KNBテレビ 平成5年1¹月放映
出演: 瀧沢館長、小泉凡氏、銭本健二氏

CD資料

Nine Kwaidan Ballads / Pehr Henrik Nordgren ; Izumi Tateno, Piano. - Espoo,
Finland ; Fazer Music, c1990. cd 1枚 寄贈: 黒田益子氏
Contents:- 1. O-tei. 2. Yuki-Onna. 3. Mugen-kane 4. Oshidori. 5. Mujina.
6. Rokuro-kubi. 7. Mimi-nasi-Hoichi. 8. Jikininki. 9. Ju-roku-zakura.

(180)
追 補

[H090.3]

H090.3 いろいろ (Miscellanea)

小泉八雲熊本旧居〔絵はがき〕 袋入り8枚. 熊本 : 小泉八雲熊本旧居.
着物が好きだった八雲 ハーンがよく散歩した小峰墓地にある石仏 小泉八雲英文
碑 ハーンの著作(初版本)「知られざる日本の面影」上・下 第五高等中学校創
建当時(明治22年)の正門と本館 ハーンとセツ婦人-明治25年5月24日富
重写真所で撮影 日本へ向けて旅立つハーンを同行した画家C. D. ウェルドンが
描いたスケッチ ハーンの肖像:明治25年5月24日富重写真所で撮影したもの

小泉八雲熊本旧居〔パンフレット〕 熊本 : 熊本市教育委員会, 1992

八雲忌〔92回忌報告〕 平成7年9月26日(火) 熊本市 小泉八雲熊本旧居
(180)

小泉八雲来焼百周年記念・八雲とやいづ : 焼津を愛した小泉八雲〔ポスター〕
'97.8.1-15 に行われた行事ポスター 1枚

H091.12 日本時代 (Works of Japan)

A history of English literature / by Lafcadio Hearn ; ed. by R. Tanabe & T.
Ochiai. - Popular edition, with revisions. - Tokyo : Hokuseido Press, 1938
- x, 815 p. ; 20 cm.

H092.3 ~ H092.7 (German, French, Russian, Chinese translations)

Phantasien von Lafcadio Hearn / ausgewählt von J. Suita. - 東京 : 南江堂
1931. - 76 p. ; 19 cm.

Seltsame Geschichten aus Japan und Deutschland / Gesammelt und mit einem
Nachwort hrsg. von Taku Mandzoku. - Tokyo : Daigakusyorin, 1959.

Lettres japonaises 1890-1893. (Lafcadio Hearn) / traduction de Marc Loge.
- Paris : Mercure de France, 1938. - 226 p. ; 19 cm.

Очеркы мородой Японии. Перевод е в г. Маурин
а / Л. К. Хырн. - Petrograd : Svetoch, 1918. - 282 p. ; 24 cm.

華文日本 / 大亜文化会編. - 東京 : 連合出版社, 1944. - 142 p. ; 18cm.

Japanese stories from Lafcadio Hearn / translated by T. Takata. London : K.
Paul, 1933. - 168 p. ; 16 cm.

H094.2 単行本に含まれた評 伝 (Biographies and criticisms)

文学館探究 / 榎原浩著. - 東京 : 新潮社, 1997.7. - 290, 7p ; 20cm.
p. 80-84 に「ヘルン文庫(富山大学)」の紹介がある。

女性の寄付で建った旧制富山高等学校 / 浦田. - 富山 : 富山テレビ放送,
1997. - 富山ものしり雑学大全 p. 296-297 より

小泉八雲と夏目漱石 / 平川祐弘. - 熊本 : '96 くまもと漱石博推進100
人委員会, 1997. p. 8-21 ; 30cm. - 「世界と漱石国際シンポジウム報告書」
より 寄贈:松岡継雄氏

漱石の熊本 : 明治と異邦人たち. - 熊本 : 熊本県観光連盟, 1996.
 [「漱石・同時代の外国人たち」の項に「ラフカディオ・ハーン」の紹介がある
 寄贈: 松岡継雄氏

H095. 2 雑誌に含まれた評 伝

(Biographies and articles)

「東の国から」通信 = Letter from "Out of the East" No. 4・5 (平成 6年 9月26日)
) - 東京 : 日本・アイルランド ラフカディオ・ハーン交流協会, 1994.
 6p. ; 26cm.

内容: 小泉時氏ご夫妻の訪愛: 有意義な成果 (瀬尾秀彰) ハーンの後ろ姿 (錢本健二) ラフカディオ・ハーンの文学の魅力 (仙北谷晃一) 祖父の故郷アイルランドを訪ねて: ハーンとアイルランド (小泉時)

「東の国から」通信 = Letter from "Out of the East" No. 6 (平成 7年 9月26日)
 - 東京 : 日本・アイルランド ラフカディオ・ハーン交流協会, 1995.

4p. ; 26cm.

内容: ヘルンと私 (小泉時) ジェイムズ・ジョイスの移入: ラフカディオ・ハーンをめぐって (柳瀬尚紀) 第6回小泉八雲賞: ポール・マレー氏の「ア・ファンタスティック・ジャーニー」に

「東の国から」通信 = Letter from "Out of the East" No. 7 (平成 8年 9月26日)
 - 東京 : 日本・アイルランド ラフカディオ・ハーン交流協会, 1996.

4p. ; 26cm.

内容: 「ケルトの風」「カリブの風」「ハーンの風」(小泉凡) L. ハーンと W. B. イエイツ (鈴木弘) ハーン来京100年の集い: 令孫・小泉時氏の講演

Ireland と England における Lafcadio Hearn : Ushaw 校生活前後の事情 / 西野影四郎著. - 鳥羽 : 鳥羽商船高等専門学校, 1985. - p. 119-126 ; 26cm.
 - 鳥羽商船高等専門学校紀要 第7号(1985)より抜粋 電子複写

怪談・耳なし芳一のはなし・小泉八雲. - 文部時報 平成9年7月号 No. 1448より
 島根県教育委員会高校教育課指導主事 山本康治・文

くまもとハーン通信 No. 1 (平成5年9月). - 熊本 : 小泉八雲旧居保存会, 1993. - 4 p. ; 30 cm. 寄贈: 小泉八雲旧居保存会 松岡継雄殿

内容: ・小泉八雲旧居全面復元へ ・小公園の隣の俳句会場 (岩下雄二) ・ハーン文学の舞台—九州の学生とともに、柔術、石仏、停車場で、願望成就、生と死の断片、橋の上、夏の日の夢— <八雲トピックス>八雲の生まれ故郷から町長一行が来訪、熊本日愛協会9月設立へ、危機一髪旧居で不審火 「ラフカディオ・ハーン再考」発刊

くまもとハーン通信 No. 2 (平成7年5月). - 熊本 : 小泉八雲旧居保存会, 1995. - 4 p. ; 30 cm. 寄贈: 小泉八雲旧居保存会 松岡継雄殿

内容: ・八雲熊本旧居復原完成: 当時を偲ばせる八雲熊本旧居復原完成 ・龍南哲学者の道 (河原畑正行) ・熊本旧居の変遷: 2度の大改築 ・充実した展示内容 ・作品紹介: 熊本で生まれた作品を紹介 ・八雲忌

くまもとハーン通信 No. 3 (平成8年9月). - 熊本 : 小泉八雲旧居保存会, 1996. - 4 p. ; 30 cm. 寄贈: 小泉八雲旧居保存会 松岡継雄殿

内容: ・ヘルンの思い出 (松岡継雄) ・八雲と漱石を語る: 夏目漱石来熊百年記念特集 (出席者: 中村青史、中島最吉、緒方惇、宮本春吉、鈴木喬)

くまもとハーン通信 No. 4 (平成9年9月). - 熊本 : 小泉八雲旧居保存会, 1996. - 4 p. ; 30 cm. 寄贈: 小泉八雲旧居保存会 松岡継雄殿

内容: 芳一と五兵衛 (鈴木喬) ・势力的な仕事を支えた熊本: ハーンにとっての明かりと食べもの (中村青史) <八雲トピックス>八雲ゆかりの地蔵まつり、八雲通り夏の日の夢展開催 ・多忙だったヘルン先生 (宮崎啓子)

- (182) [H095.2]
ラフカディオ・ハーンの文学作品に表れた虚構性とリアリティⅢ : ルポルタージュ
的作品「ストリートシンガー」から / 西野影四郎著. - 鳥羽 : 鳥羽商船
高等専門学校, 1979. - p.167-173 ; 26cm. - 鳥羽商船高等専門学校紀要 創刊
号(1979)より抜粋 電子複写
- ラフカディオ・ハーンのフランス留学の時期について / 西野影四郎著. - 鳥羽
: 鳥羽商船高等専門学校, 1983. - p.91-98 ; 26cm. - 鳥羽商船高等専門学校
紀要 第5号(1983)より抜粋 電子複写
- Lafcadio Hearnの系図 : Rosa Casssimati, Robert Thomas, Jane, etc. / 西野
影四郎著. - 鳥羽 : 鳥羽商船高等専門学校, 1986. - p.87-94 ; 26cm.
- 鳥羽商船高等専門学校紀要 第8号(1986)より抜粋 電子複写
- Lafcadio Hearnの書簡集 "Letters to a pagan" の真否について I / 西野影四郎
著. - 鳥羽 : 鳥羽商船高等専門学校, 1981. - p.95-102 ; 26cm. - 鳥羽
商船高等専門学校紀要 第3号(1981)より抜粋 電子複写
- Lafcadio Hearnの書簡集 "Letters to a pagan" の真否について II / 西野影四郎
著. - 鳥羽 : 鳥羽商船高等専門学校, 1982. - p.145-153 ; 26cm. - 鳥
羽商船高等専門学校紀要 第4号(1982)より抜粋 電子複写
- Lafcadio HearnとGreece : 母Rosa Antioio Cassimati とGenealogy を中心に /
西野影四郎著. - 鳥羽 : 鳥羽商船高等専門学校, 1984. - p.103-113 ;
26cm. - 鳥羽商船高等専門学校紀要 第6巻(1984)より抜粋 電子複写
- 紫の一本 / 嵐山光三郎 ; 東啓三郎. - 小説現代 1997年9月号より
p.406-416 ; 22cm.
- 創造性とリアリティー : ラフカディオ・ハーンの「菊花の約」から / 西野影四
郎著. - 鳥羽 : 鳥羽商船高等専門学校, 1980. - p.103-109 ; 26cm.
- 鳥羽商船高等専門学校紀要 第2号(1980)より抜粋 電子複写

著者・編者・訳者索引及びその文献

A

- 阿部勝
ハーンの美保関紀行（ヘルンを訪ねる、島根出版文化協会、1968、2版）-----75
- 阿部幸子
ラフカディオ・ハーンの新しさ（京都工芸繊維大学工学部研究報告
30、1982より）----- 128
- 阿部知二
出雲と八雲（風土 第1冊、松江：風土社、1950より）----- 109
- 安達赤土
小泉八雲の遺跡めぐり（へるん 第17号 松江：八雲会、1980より）----- 113
- 足立誠
「Browningでない？」に答えて二つ（英語青年 第98巻第8号（1952年8月））-- 106
- 愛知教育大学附属図書館
B. H. Chamberlain 文庫目録（岡崎：愛知教育大学附属図書館、1990）----- 6
- 赤門文学会
夏目漱石（高山書院、1944の中の159ページに八雲の記述あり）----- 101
- 明石利代
春鳥集自序の試論に就いて(2)（女子大学文学（大阪女子大学）第6号(1954)）-- 150
- 赤祖父哲二
心象風景論(6)（英語青年 第133巻第12号(1988)）----- 139
- 赤鳥八恵子
外山正一と小泉八雲（ビブリア（天理大学）No. 34(1966)）----- 141
- 秋山さと子
ラフカディオ・ハーンとアニメ（ラフカディオ・ハーン著作集
第14巻月報(1983)）----- 127
- 芥川龍之介
小泉八雲全集の出版に寄せて（へるん第30号(1993)）----- 120
- Allen, Louis
Lafcadio Hearn(Sandgate, Kent：Japan Library, 1992より）----- 35
ハーンとアショ校（世界の中のラフカディオ・ハーン／平川祐弘編
河出書房新社より）----- 90
ハーンとアショ校（雑誌「無限大」No. 88(1991) 特集ハーン百年後の解釈）----- 140
- 雨森信成
人間ラフカディオ・ハーン（小泉八雲／平川祐弘編 講談社学術文庫）----- 78
- 安藤一郎
薔薇と貝殻（研究社、1957より「貝殻と文学」の章（83ページ））----- 97
五セント食堂（小泉八雲百年祭に寄せて 朝日新聞 昭和25年6月18日）----- 160
- 青山なを
安井てつ伝（岩波書店、1959の「英国留学」の章611ページ）----- 103

(A-02)	(荒井書店編集部 ～ 坂東浩司)	
荒井書店編集部	Selections from Lafcadio Hearn(Tokyo : Arai shoten, 1934)	44
荒川龍彦	Romance of the Milky Way and other stories (Tokyo : Keibundo, 1954)	
	の注釈	44
	ヘルン文庫：八雲五十年忌に(学燈 第51巻9号)	122
	Hearn の文学評論(英語研究 第39巻第6号(1950) Lafcadio Hearn特集)	125
荒木尚	怪談：日本の古典文学とのかかわりから(ラフカディオ・ハーン再考 恒文社 1993)	86
荒木八州雄	ヘルン談話室(へるん 第1号(昭和40年9月)八雲会)	112
嵐山光三郎	紫の一本(小説現代 1997年9月号)	182
朝日新聞社(Asahi Shinbunsha)	朝日新聞100年の記事にみる①恋愛と結婚(1979)	97
	朝日新聞100年の記事にみる④外国人の足跡(1979)	97
	朝日新聞100年の記事にみる⑨追悼録 上(1979)	97
	いずれもハーンに関する記事の掲載	
	Japan in picture(Asahi oversea edition Oct. 15, 1935)	123
浅生幸子	馬場はる(「馬場はる刀自・胸像建立記念」パンフレットより 1995)	6
Ashmead, John	Lafcadio Hearn and ethnomusicology(Lafcadio Hearn Journal v. 2, no.1,1992)	127
アテネ日本ギリシャ協会	Lafcadio Hearn(ギリシャ語)	81
阿刀高	小泉八雲への讃歌〔北陸中日新聞〕	177
	怪談〔新聞連載小説〕(挿絵：宇野亜喜良)〔北陸中日新聞〕	177
B		
馬場久治	小泉八雲の生涯と作品(女性日本 第7巻第4号)	124
	ピエル・ロティとラフカディオ・ハーン(雑誌「日本女性」第6巻第5号(昭和12年6月))	138
板東浩司	ハーン書簡の発信日をめぐって：西田千太郎宛(1)-(2)(へるん 第24号、第25号(1987-88)八雲会発行)	117
	レフカダ島にハーンの生家を訪ねて(へるん 第33号(1996.6) 八雲会発行)	122
	ラフカディオ・ハーン研究年表 6, 7, 8, 9(北海道東海大学紀要 人文社会科学系 第2, 3, 4, 5(1990.3-1993.3))	128
	年表形式によるラフカディオ・ハーン伝：来日以前を中心に(北海道東海大学紀要 人文社会科学系 第6号(1994.3)より)	136
	年表形式によるラフカディオ・ハーン伝：アメリカ時代(1)-(2)(北海道東海大学紀要 人文社会科学系 第7-8号(1995.3-1996.3))	136
	ヘルン旧居を訪れて(文芸研究 小泉八雲号. 文芸研究社発行 1928. より)	73

- バレストリエイ, エリザベス
(Barestoriei, Elizabeth)
「知られざる日本の面影」を読んで(雑誌「とやま文学」第9号 特集「ヘルン文庫
」とL. ハーン. 1992. 3) ----- 141
- Barel, Leona Queyrouze
The idyl : my personal reminiscences of Lafcadio Hearn. Tokyo : Hokuseido
Press, 1933 -----76
- Barrett, Clifton Waller
On collecting Lafcadio Hearn(In art of Lafcadio Hearn. University of
Virginia Library, 1983) -----72
- Bisland, Elizabeth
Japanese letters. Kyoto : Rinsen Book, 1988 -----77
Life and letters of Lafcadio Hearn. Boston : Houghton, 1906 -----86
Life and Letters. Kyoto : Rinsen Book, 1988 -----86
Life and letters and Japanese letters. Kyoto : Rinsen Book, 1988 -----86
Life and letters of Lafcadio Hearn. Boston : Houghton, 1923 -----87
Life and letters of Lafcadio Hearn. Boston : Houghton, 1906 -----87
Life and letters of Lafcadio Hearn. Boston : Houghton, 1906(Electrotyped
and printed by H. O. Houghton) -----87
Japanese letters of Lafcadio Hearn. Boston : Houghton, 1910 -----93
- Blunden, Edmund
Lafcadio Hearn, Teacher. Tokyo : Cross Continent, 1959 ----- 133
- ボネ, ポール
在日フランス人の眼(不思議の国ニッポン v. 2. 角川書店, 1982 より) ----- 103
- ブライミー, ドニーズ
帰路のない旅(世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編. 河出書房新社
より) -----90
三つの夢(雑誌「無限大」 No. 88(1991)) ----- 140
帰路のない旅(雑誌「無限大」 no. 88(1991) 特集. ハーン百年後の解釈 より) 140
- Bronner, Milton
Letters from the Raven. New York : Brentano's, 1907 -----93

C

- Chamberlin, B. H.
チェーンバレンからハーンへの手紙1通, 1894年9月18日 ----- 4
ヘルン氏の書簡(帝国文学(大日本図書発行, 1904) 第10巻第11 小泉八雲記念号)
----- 79
- 千葉亀雄
小泉八雲全集の出版に寄せて(へるん 第30号(1993. 6) 八雲会発行 より) --- 120
ラフカディオ・ヘルン詩境(へるん 第33号(1996. 6) 八雲会発行 より) ----- 120
- 千代田友久
「耳なし芳一」における怨霊の登場と退場について(へるん 第28号(1991. 6)
八雲会発行 より) ----- 119
- Clark, Edward
ハーンと過ごした束の間の日々 (小泉八雲: 回想と研究 講談社学術文庫 1992
より) -----78

(A-04)

(Cott, J. ~ 遠藤勝)

Cott, Jonathan

- さまよう魂 : ラフカディオ・ハーンの遍歴 (文芸春秋, 1994) 89
Wandering ghost : the Odyssey of Lafcadio Hearn (Kodansha International, 1990) 91

Cowley, Malcolm

- The selected writings of Lafcadio Hearn (New York : Carol Publishing, 1991) 9
The selected writings of Lafcadio Hearn (New York : Citadel Press, 1949) --- 22

D

第五高等学校開校五十年記念会

- 五高五十年史 (熊本 : 第五高等学校, 1939) より 98

大東俊一

- ハーンの庭園美学 (へるん 第28号(1991) 八雲会編 恒久文社発売より) 119
ハーンと柳宗悦 (へるん 第29号 1992.6 八雲会編 恒文社発売 より) 119
ハーンのユートピア (へるん 第30号 1993.6 八雲会編 恒文社発売 より) --- 120

壇ふみ

- レフカダのヘルンさん (サンデー毎日 1987年8月2日号グラビア より) 147

Darvenport, Guy

- Lafcadio Hearn (The art of Lafcadio Hearn. University of Virginia Library, 1983 より) 72

Dawson, Carl

- <Book review> Lafcadio Hearn and vision of Japan (Lafcadio Hearn Journal. vol.2, no. 2. Cincinnati : Lafcadio Hearn Society, 1992 より) 127

出口保夫

- Hearn in my heart / James Kirkup ; annotated by Yasuo Deguchi (Tokyo : Kihara Shoten, 1985 より) 74
「文学の解釈」を読む (ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻月報 no. 8 恒文社, 1985. より) 126

土井晩翠 ⇨ ツチイ バンスイ

- 小泉八雲先生 (土井晩翠著「アジアに叫ぶ」 東京 : 博文社, 1932. より) 100

土井光知

- 文学研究と科学 (英語青年 第100巻第6号 1954.6 より) 147

土井林吉

- 小泉八雲全集 (第一書房刊, 1926-1927) の第13巻、第14巻、第15巻の訳 54

E

Eith, Gary

- Lafcadio Hearn (Koizumi Yakumo) (Lafcadio Hearn Journal. v. 3, no. 2. Cincinnati : Lafcadio Hearn Society, 1993 より) 128

Embassy of Ireland, Tokyo

- Book by and about Lafcadio Hearn, 1850-1904 (Tokyo : Embassy of Ireland, 1988 より) 1
Catalogue of the Lafcadio Hearn at the Embassy of Ireland Tokyo (Tokyo : Embassy of Ireland, 1989 より) 1

遠藤勝 (訳者)

横浜にて (明治日本の面影／平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)	62
Erskine, John	
Pre-Raphaelite and other poets (Books for Libraries Press, 1968)	22
Appreciations of poetry (New York : Dodd, 1916)	31
Talks to writers (New York : Dodd, 1920)	38
Books and habits (New York : Dodd, 1921)	72
江藤源次郎	
Kotto (New York, Macmillan, 1903 のイラスト担当)	20
Kotto (Tokyo : Yushodo Bookseller, 1982 のイラスト担当)	20
F	
Farny, Henry	
Ye Giglampz (Cincinnati : Crossroads Books, 1983 より)	31
Fellers, Nancy Jane	
Re-Echo (Caldwell, Idaho : Caxton Printers, 1957 より)	89
Flaubert, Gustave	
The temptation of St. Anthony (New York : Alice Harriman, 1911 より)	40
Fox, Dennis	
Requiem for a recluse (Lafcadio Hearn Journal. vol.3, no. 1(1993) Cincinnati, Lafcadio Hearn Society)	127
Jack London on Lafcadio Hearn (Lafcadio Hearn Journal. vol.2, no.1. Cincinnati, Lafcadio Hearn Society, 1992 より)	127
A Jingoist in Japan (Lafcadio Hearn Journal. vol. 4. Cincinnati, 1994 より)	128
Foxwell, Ernest	
Reminiscences of Lafcadio Hearn (Transactions of Japan Society, v. 8 より)	138
France, Anatole	
The crime of Sylvestre Bonnard (New York, Harper, 1890)	39
Franzos, Berta	
Buddha (Frankfurt am Main : Rutten & Loening, 1922)	71
Izumo (Frankfurt am Main : Rutton & Loening, 1920)	71
Das Japanbuch (Frankfurt am Main : Rutton & Loening, 1920)	71
Kokoro (Frankfurt am Main : Rutton & Loening, 1922)	71
Kwaidan (Frankfurt am Main : Rutton & Loening, 1921)	71
Kyushu (Frankfurt am Main : Rutton & Loening, 1922)	71
Lotos (Frankfurt am Main : Rutton Loening, 1922)	71
Fraser, G. S.	
Lafcadio Hearn (英文学研究 第27巻第3号. 日本英文学会, 1951 より)	125
Frost, O. W.	
Young Hearn (Hokuseido Press, 1958)	92
Two unpublished Hearn Letters (From "Today's Japan. v. 5, no. 1, 1955. Tokyo : Cross Continent, 1955")	141
淵田一雄	
Kwaidan (Tokyo : Sansyusya, 1958 訳注)	42
Kwaidan (Tokyo : Daisan Shobo Verlag, 1955)	71

藤井イチゴロウ

Kokoro=心 / selected and annotated by Ichigoro Fujii (Tokyo : Kenkyusha, 1958) 42

藤井啓一

松江の八雲記念館 (英語青年 第74巻第5号 1935.12 より) 147

富士川和男

わたしとハーン (へるん 第2号(1965) 八雲会刊 より) 112

ハーン二つの眼 (へるん 第8号(1969) 八雲会刊 より) 113

藤森きぬえ

大津事件 (ヘルン今昔/八雲会編. 東京 恒文社 1993. より) 75

ヘルンとセツの玉手箱 (東京 文溪堂 1992.) 75

松江慕情 (へるん 第21号(1984) 八雲会編 より) 115

ある資料について (へるん 第22号(1985) 八雲会編 より) 116

神戸とヘルンと私 (へるん 第23号(1986) 八雲会編 より) 116

上野図書館の八雲記念碑をたずねて (へるん 第24号(1987) 八雲会編 より) 117

西田千太郎日記に見る明治の贈答 (へるん 第25号(1988) 八雲会編 より) 117

ヘルンの帰化をめぐる (へるん 第26号(1989) 八雲会編 より) 118

「ヘルンとセツの物語」創作ノートから (へるん 第27号(1990)八雲会編より) 118

藤本充安

日本人と欧米人 第1 (学会月報 第509) 137

藤本周一 (訳者)

狂るロマン派詩人 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

偉大なる奇人の偶像 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

フローベルの友人たち (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

考古学的小説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

素晴らしい散文家 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

文学上の厭世主義 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

「孤独」 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

厭世主義のための弁護 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

女剣客 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

ゾラ作「ボヌール・デ・ダーム百貨店」 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

「制作」 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

新ロマン主義 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社刊 1988) 58

現代作家の中で最も独創的なピエール・ロティ (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988 より) 58

現代小説の筋立て (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

「ネイション」誌のロティ論 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

苦悩の宗教 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

好奇心そそる回想記 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

死の恐怖 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

ボヘミアの回想 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

文人の苦境 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988) 58

ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 書簡Ⅱ. Ⅲ. 恒文社刊 1988. の訳 62

藤村栄一

アメリカ論説集Ⅲ から 阿片とモルヒネ 阿片常用癖 阿片の吸飲 阿片窟
ハバナのロマンス ある殺人の理論的考察 目にみえない毒物 二つの奇妙な
自殺事件 病的な自殺 を翻訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻(1988)
恒文社) 56

藤崎八三郎

小泉八雲先生の追憶 (文芸研究小泉八雲号 文芸研究社刊 1928. より) 72

小泉八雲先生の追憶 (小泉八雲：回想と研究 講談社学術文庫 1992. より) -----	78
藤田明彦 鐘の霊 (へるん 第27号(1990) 八雲会編 より) -----	118
藤田美広 Yuki-Onna and other stories (泰文堂刊 1951. より) -----	45
雪おんな、その他 (泰文堂刊 1958. より) -----	71
藤原万巳 増殖する雪おんな (ユリイカ 第27巻第4号(1995) 青土社刊 より) -----	110
藤原己代子 熊本への旅 (ヘルン今昔／八雲会編 恒文社刊 1993. より) -----	75
仁多町の二つの碑 (ヘルン今昔／八雲会編 恒文社刊 1993. より) -----	75
徳島のモラエスの跡を尋ねて (へるん 第18号(1981) 八雲会刊 より) -----	114
崇徳上皇のご遺跡を巡りまつりて (へるん 第19号(1982) 八雲会刊 より) ---	115
崇徳上皇のご遺跡を巡りまつりて (続) (へるん 第20号(1983) 八雲会刊)	115
わが国最古の銭湯奈良の「御夢想湯」 (へるん 第21号(1984) 八雲会刊) ---	115
小泉八雲先生と広瀬中佐のことども (へるん 第22号(1985) 八雲会刊 より)	116
小泉八雲先生と広瀬中佐のことども (その2) (へるん 第23号(1986) 八雲会刊 より) -----	116
愛宕山の記念碑 (へるん 第24号(1987) 八雲会編 より) -----	116
小泉八雲と松島艦 (へるん 第25号(1988) 八雲会編 より) -----	117
ヘルンの隠岐旅行を想う (へるん 第26号(1989) 八雲会編 より) -----	118
「柔術」を読んで憶う (へるん 第27号(1990) 八雲会編 より) -----	118
八雲会員になればこそ (へるん 第27号(1990) 八雲会編) -----	118
藤原治 ハーンかヘルンか (へるん今昔／八雲会編 恒文社刊 1993. より) -----	75
ヘルンさん言葉 (へるん今昔／八雲会編 恒文社刊 1993. より) -----	75
セツ夫人と松江言葉 (へるん今昔／八雲会編 恒文社刊 1993 より) -----	75
ヘルン地蔵 (へるん今昔／八雲会編 恒文社刊 1993 より) -----	75
長岡家地蔵由来 (へるん今昔／八雲会編 恒文社刊 1993 より) -----	75
座談会・ハーンと高橋さん (へるん 第1号(1965) 八雲会刊 より) -----	112
蘇生地蔵 (へるん 第25号(1988) 八雲会編 より) -----	117
藤原義之 ハーンと守るべきものの問題 (へるん 第22号(1985) 八雲会編 より) -----	116
藤山思朗 銀河のロマンス (青冥 第2号(1931) 富山高等学校青冥寮図書部刊 1931. より) -----	105
深瀬基寛 西洋文学の日本発見 (東京 : 筑摩書房, 1959 翻訳) -----	102
深作安文 東大在学中の回想 (文芸春秋 第13年第5号, 1935 より) -----	140
深沢暁 ハーンとモラエスの創作態度、畠山勇子について (へるん 第20号 八雲会発行 1983 より) -----	115
ハーンとモラエスの創作態度、畠山勇子について つづき (へるん 第21号(1984) 八雲会刊 より) -----	115
モラエスにおけるハーン (ヘルン 第22号(1985) 八雲会刊 より) -----	116
ハーンと日本のことわざ (へるん 第24号(1987) 八雲会編 恒文社刊 より)	117
福田勗	

(A-08)	(福田勗 続 ~ 古谷綱武)	
	偶然 (へるん 第18号(1981) 八雲会刊 より)	114
	大谷繞石の英作文とハーンの訂正・評言 (英語青年 第121 巻12号(1976))	138
福田陸太郎		
	書評・小泉八雲「日本の面影」上/平井呈一訳 (英語青年第101 巻第8号(1955))	150
福原麟太郎		
	Kwaidan (怪談) / 編・注 (Kenkyusha, 1953 より)	43
	英文学を如何に読むか (研究社刊 1927 より)	98
	英文学について (英語青年 第101 巻第6号(1955) より)	148
福原茂		
	文豪ヘルンのこと (英語青年 第86巻第4号(1941) より)	107
福井昭三		
	八雲と乙吉・焼津 (八雲 第1号(1988) 焼津 : 小泉八雲顕彰会刊)	142
	鈴々子さんと小泉家の回想 (八雲第2号(1989) 焼津、小泉八雲顕彰会刊)	143
	だるまの由来 (八雲)	143
	八雲来日の頃の焼津 (八雲)	143
	進藤広橋の手紙をめぐる (八雲)	143
福間直子		
	さいさい節 (へるん今昔/八雲会編 恒文社刊 1993. より)	75
	大谷正信と雅楽 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社刊 1993. より)	75
	里帰りした古手紙 (へるん 第24号(1987) 八雲会編 恒文社発売)	116
	八雲の子守歌 (へるん 第25号(1988) 八雲会編 恒文社発売)	117
	「幽霊滝の伝説」と「樊噲」 (へるん 第26号(1989) 八雲会編 恒文社発売)	118
	チェンバレン宛ハーンス書簡 (へるん 第27号(1990) 八雲会編 恒文社発売)	118
	ハーンの金比羅詣り (その1) (へるん第29号(1992) 八雲会編 恒文社発売)	119
	ハーンの金比羅詣り (その2) (へるん第30号(1993) 八雲会編 恒文社発売)	120
	ハーンの金比羅詣り (その3) (へるん第31号(1994) 八雲会編 恒文社発売)	121
	「ハーンの金比羅詣り」に因む謎二題 (へるん 第32号(1995) 八雲会編 恒文社発売)	121
	ハーンの金比羅詣り (その4) (へるん 第33号(1996)八雲会編 恒文社発売)	122
	焼津と私 (八雲 第4号(1991) 焼津 小泉八雲顕彰会刊)	143
福澤清		
	ハーンの松江時代 (ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲研究会編. 東京: 恒文社, 1993 より)	85
船岡末利		
	Lafcadio Hearn in France (Lafcadio Hearn Journal. vol. 3, no. 2(1993) Cincinnati, Lafcadio Hearn Society より)	128
	ハーンとピエール・ロチ (図書新聞 1985年8月10日号 より)	173
船木裕		
	天の川幻想 (集英社刊 1994. 翻訳 より)	47
	<完訳>怪談 (ちくま文庫 1994 より)	49
舟生平蔵		
	英文学畸人伝 (英文学研究 第8巻第1号(1928))	108
古谷綱武		
	小泉八雲集 上、下 (新潮文庫 1958)	51
	小泉八雲名作集 (あかね書房, 1958 翻訳)	51
	世界文学 (市ヶ谷出版, 1951 より)	102
	若き日の文学探究 (泰文堂, 1953 小泉八雲と日本 より)	103
	柳田国男の強い刺激 (日本読書新聞 1958年8月25日号より)	161

- 布施明子
小泉八雲のコレクション (学苑：昭和女子大学光葉会 第208号(1957)) 139

G

- Glenslet, Ferri
Leaves from the diary of an impressionist(Houghton, 1911. の Introduction)11
- Goodman, Henry
The selected writings of Lafcadio Hearn (editor)(Carol Pub. 1991) 9
The selected writings of Lafcadio Hearn (editor)(Citadel Press, 1949)22
- 後藤昴
ハーンと梅謙次郎 (へるん今昔／八雲会編 恒文社刊. 1993 より)75
家紋 (へるん今昔／八雲会編 恒文社刊. 1993 より)75
梅謙次郎と八雲のことなど (へるん 第19号(1982) 八雲会) 113
小泉清の死 (へるん 第20号(1983) 八雲会刊 1983 より) 114
せつ子の「思い出の記」と三成重敬 (へるん 第21号 八雲会刊 1984) 114
小泉家元祖と家紋について (へるん 第23号(1986) 八雲会刊 恒文社刊) 115
武人、小泉湊の小伝 (へるん 第24号(1987) 八雲会刊 1987) 115
無標題記録の中に (へるん 第25号(1988) 八雲会編 恒文社刊) 115
- Gould, George M
Concerning Lafcadio Hearn (T. Fisher Unwin, 1908)73
- グリーンズレッド, フェリス
「天の川縁起」序文 (天の川幻想 集英社 1994)47
- Gtier, Theophile
One of Cleopatra's nights and other fantastic romances (New York :
R. Worthington 1882.)39
- Gwyn, Ann S.
Lafcadio Hearn (New Orleans : Tulane University Library, 1977)..... 1

H

- 芳賀徹
日本の近代化と西洋人 (ジェーンとハーン記念祭：報告書 熊本 : ジェーン
とハーン記念祭実行委員会, 1992)99
- 萩原順子
マタス博士のスピーチについて (へるん 第25号(1988) 八雲会編 恒文社刊) 117
ニューオーリンズ博覧会 (へるん 第26号(1989) 八雲会編 恒文社刊) 118
ニューオーリンズ時代のハーンと医師マタス (へるん 第27号(1990) 八雲会編
恒文社刊 より) 118
ラフカディオ・ハーンと語学教育 (へるん 第28号(1991)八雲会編 恒文社刊) 119
青春の泉考 オシン伝説と浦島をつなぐもの (へるん 第29号) 119
Lafcadio Hearn and Leona Queyrouze (Lafcadio Hearn Journal. vol. 1, no. 2
Cincinnati, Lafcadio Hearn Society, 1991 より) 127
- 浜田泉 (訳者)
イギリスの近代批評、および同時代の英仏文学の関係について
フランスのロマン派作家
フランスの虫の詩数篇
醜の主題について
トルストイの芸術論

トルストイの「復活」について 死についての数編の詩 妖精文学 以上は ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻人生と文学 (恒文社刊 1988 より) -----	60
ハーンとフランス (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 月報 no. 14(1988) 恒文社刊 より) -----	126
濱川博 風狂の詩人小泉八雲 (恒文社, 1979) -----	73
小泉八雲とバーナード・リーチ (明治村通信 第48号(1974) 小泉八雲展記念号 より) -----	135
浜四津文一 ラフカディオ・ハーンのG. メレディス観 (オベロン 11号(1935) 東大英文学 研究会編 より) -----	129
花田尚友 私と出雲 (へるん 第19号(1982) 八雲会刊 より) -----	115
私と出雲・姉の思い出 (へるん 第20号(1983) 八雲会刊 より) -----	115
小泉八雲と狭心症 (へるん 第21号(1984) 八雲会刊 より) -----	115
花園兼定 The rofmance of the Milky way =七夕物語 (東京、外国研究社, 1933 訳注) 70 七夕物語 (東京、外国研究社, 1933 訳注) -----	70
ラフカディオの手紙と講義 (東京、四条書房, 1934) -----	93
Hann, JoCarroll Hearn's Havens (Lafcadio Hearn Journal. Vol. 2, No. 2(1992) Cincinnati : Lafcadio Hearn Societyより) -----	127
原一郎 「ゴンボゼーブス」解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 恒文社, 1983 より) -----	61
民謡学者としてのハーン (へるん 第5号(1967) 八雲会刊 より) -----	113
Gombo Zhebesのことなど (へるん 第7号(1968) 八雲会刊 より) -----	113
ハーンの間人像 (へるん 第8号(1969) 八雲会刊 より) -----	113
原田熙史 文明史家ラフカディオ・ハーン (千城書房, 1980) -----	73
原田純 チェンバレンとハーン語法論争 (英語青年 第137 巻第6号(1991) より) ---	107
原田米蔵 アメリカにあってハーンを偲ぶ (へるん 第25号(1988) 八雲会編 恒文社刊 より) -----	117
長谷章久 若き八雲の短歌観 (学苑 第148 号(19539 昭和女子大学光葉会) -----	141
長谷川延生 八雲忌句会に寄せて (八雲 第4号(1991) 焼津, 小泉八雲顕彰会 より) -----	143
八雲忌句会報告記 (八雲 第5号(1992) 焼津, 小泉八雲顕彰会 より) -----	143
八雲忌句会報告記 (八雲 第6号(1993) 焼津, 小泉八雲顕彰会 より) -----	143
納涼俳句大会「八雲に関する句」 (八雲 第8号(1995) 焼津, 小泉八雲顕彰会 より) -----	143
長谷川泉	

小泉八雲と妻の座 (明治村通信 第48号(1974) 小泉八雲展記念号 より) …	135
長谷川公司	
ラフカディオ・ハーンの異国趣味 (へるん 第6号(1968) 八雲会刊 より) ……………	113
文学に現れたハーンの世界 (へるん 第8号(1969) 八雲会刊 より) ……………	113
長谷川洋二	
国際結婚 (へるん今昔／八雲会編 恒文社刊 1993 より) ……………	75
小泉八雲の妻 (松江, 今井書店 1991) ……………	80
エドウィン・アーノルド卿とハーン (へるん 第33号(1996)八雲会編 恒文社刊より) ……………	122
アーノルド宛書簡二通 (へるん 第33号) ……………	122
橋本和子	
「母なるもの」サトウハチロウの世界と比べて (へるん 第21号(1984)八雲会)	115
秦一郎	
変質的な一雄氏 (夕刊山陰 昭和25年6月26日) ……………	161
日本の再発見 (夕刊山陰 昭和25年6月26日) ……………	161
秦敬一	
八雲とモラエス：来日百年をめぐって (へるん 第27号(1990) 八雲会編 恒文社発売より) ……………	118
八雲とモラエス：「モラエス翁蔵書遺品展覧会陳列品目録」から (へるん 第28号(1991)八雲会編 恒文社発売 より) ……………	119
八雲とモラエス：「蛭」をめぐって (へるん 第29号(1992) 八雲会編 恒文社発売より) ……………	119
八雲とモラエス：日本ポルトガル友好450年 (へるん 第30号(1993) 八雲会編 恒文社発売 より) ……………	120
八雲とモラエス：「日本通信」の中のハーン (へるん 第32号(1995) 八雲会編 恒文社発売 より) ……………	121
八雲とモラエス：金比羅詣りをめぐって (へるん 第33号(1996) 八雲会編 恒文社発売 より) ……………	122
秦しゅん一	
アメリカ論説集Ⅲ (ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻 恒文社, 1988 より) ……………	56
初山滋	
童話の世界を通じて (時事通信 昭和25年6月24日) ……………	161
服部愛治	
八雲先生と一本の歯の下駄 (八雲 第2号(1988) 焼津, 小泉八雲顕彰会 より) ……………	143
服部昭子	
草色のロープ (へるん 第21号(1984) 八雲会刊 より) ……………	115
服部毅一	
焼津を愛した小泉八雲とは (八雲 第1号(1988) 焼津, 小泉八雲顕彰会 より) ……………	142
速川和男	
日本におけるラフカディオ・ハーン資料年表 (比較文学 第16巻(1973) 大阪, 日本比較文学会 より) ……………	3
小泉八雲と新宿 (新宿ゆかりの明治の文豪三人展「漱石・八雲・逍遙」開館記念 特別展 新宿歴史博物館, 1989 より) ……………	4
アメリカ文学論説集Ⅰ (ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻 恒文社刊 1988	

より)	56
小泉八雲と佐藤春夫について (尖塔登壇記外四篇 復刻版 恒文社刊 1996 より)	64
小泉八雲の世界 (笠間書院 1978刊)	79
八雲星雲 (雑誌「ユリイカ」第27巻4号(1995.4) 増頁特集「ラフカディオ ・ハーン」より)	110
ラフカディオ・ハーンと日本の作家 (へるん 第10号(1973) 八雲会刊より)	113
ラフカディオ・ハーンと「怪談牡丹灯籠」 (へるん 第15(1978) 八雲会刊 より)	114
ハーンと土井英一 (へるん 第18号(1981) 八雲会刊 より)	114
ハーンと翻訳 (へるん 第20号(1983) 八雲会刊 より)	115
ハーン散歩：晩翠・ハーン・勇子・モラエス (へるん 第21号(1984.6)八雲会刊 より)	115
カーマに憑かれた人 (へるん 第22号(1985) 八雲会刊 より)	116
怪談小泉八雲：花園兼定について (へるん 第26号(1989.6) 八雲会編 恒文社刊 より)	118
「へるん」のこと等 (へるん 第27号(1990) 八雲会編 恒文社刊 より)	118
二つのカバン：八雲雑考 (へるん 第33号(1996.6) 八雲会刊 恒文社刊)	122
Lafcadio Hearn：松江との訣別 (英学史研究 第7号(1974) より)	126
Lafcadio Hearnと俳句：虫について (立正大学教養部紀要 第11号(1977) より)	133
Lafcadio Hearnと西田千太郎 (立正大学教養部紀要 第12号(1978) より)	133
Lafcadio Hearnと大谷正信 (英文学論考 第9輯 立正大学英文学会 1979刊より)	133
「怪談」翻訳事始 (明治村通信 第48号(1974) 小泉八雲展記念号 より)	135
想像力と教育：教壇でのLafcadio Hearn (立正大学教養部紀要 第9号(1976) より)	140
日本の作家たちとの出会い (国文学 解釈と鑑賞 第56巻第11(1991) 特集・ 小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン)と日本 至文堂刊 より)	141
未開拓の人ラフカディオ・ハーン：没後七十年に寄せて (読売新聞 昭和49年 9月10日夕刊 より)	168
漂泊の人Lafcadio Hearn (立正大学教養部紀要 第10号抜き刷り 1976)	151
林雅彦	
地獄絵と出会う日まで：ハーンの日本仏教の見聞 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻 第11号(1991) 至文堂刊 特集・小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン)と日本 より)	141
小泉八雲年譜 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻第11号 より)	141
林並木	
小泉八雲全集 第14巻 詩論 第一書房 1927年刊 の翻訳)	54
小泉八雲全集 第15巻 詩論 続 第一書房 1927年刊 の翻訳)	54
林隆 (訳)	
仏教とは何か (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論 恒文社刊 1988 より)	58
最近の仏教文献 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論 恒文社刊 1988 より)	58
ダーターバーヤ・バーラタ・カーリャラーヤ (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論 恒文社刊 1988 より)	58
天上の歌 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論 恒文社刊 1988 より)	58
インドの女流詩人たち (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論 恒文社刊 1988 より)	58
王たちの叙事詩 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論 恒文社刊 1988 より)	58
中国人の神信仰 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論 恒文社刊 1988 より)	58
日本の詩瞥見 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論 恒文社刊	

1988 より) -----58

Hearn, Lafcadio

〔H090. 2 原稿と自筆の手紙〕	
ハーンからチェンバレンへの手紙1通 1894年9月22日 熊本発進	4
ハーンからチェンバレンへの手紙1通 日付なし	4
ハーンから茨木清次郎氏への手紙1通 1902年7月8日東京西大久保発進	5
(Semi.) Illustration. 10枚	5
〔H091 ヘルンの著作〕	
The complete Lafcadio Hearn lectures (Hokuseido Press, 1934)	6
Appendices for the d writings of Lafcadio Hearn/edited by Kenji Zenimoto. (Rinsen Book, 1991)	9
The selected writings of Lafcadio Hearn/ edited by Henry Goodman(New York, Carol Publishing, 1991)	9
〔H091. 11 アメリカ時代〕	
An American miscellany. vol. 1-2 (New York, Dodd, 1924)	9
Barbarous barbers and other storiel(Tokyo, Hokuseido Press, 1939)	9, 25, 26
Buying Christmas toys and other essays(Tokyo Hokuseido Press, 1939)	9, 26
Buying Christmas toys and other essays (東京, 雄松堂書店, 1992)	26
Chita (New York, Harper, 1917)	9
Chita (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	10
Facts and fancies (Tokyo, Hokuseido Press, 1929)	10
Fantastics and other fancies (Boston, Houghton, 1914)	10
Gibbeted (Los Angeles, Murray, 1933)	10
Gombo Zhebes (New York, Coleman, 1885)	10
Gombo Zhebes (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	10
Lafcadio Hearn:selected writings, 1872-1877(Indianapolis, Woodruff, 1979)	11
Lafcadio Hearn's Creole cook book (Gretna, Pelican Publishing, 1990)	11
Leaves from the diary of an impressionisty(Boston, Houghton, 1923)	11
Leaves from the diary of an impressionisty(Kyoto, Rinsen Book, 1988)	11
Leaves from the diary of an impressionisty(Boston, Houghton, 1911)	12
Literary essays/edited by Ichiro Nishizaki(Tokyo, Hokuseido Press, 1939)	12
The new radiance and other scientific sketches/edited by Ichiro Nisizaki (Tokyo Hokuseido Press, 1939)	12
Occidental gleanings. vol. 1-2(Londo, Heinemann, 1929)	12
Oriental articles/edited by Ichiro Nishizaki(Tokyo, Hokuseido, 1939)	12
Some Chinese ghosts(Tokyo Yushodo Booksellers, 1982)	12
Stray leaves strange literature(Boston, Houghton, 1884)	12
Stray leaves from strange literature and fantastics and other fancies (Boston, Houghton, 1923)	12
Stray leaves from strange literature and fantastics and other fancies (Kyoto, Rinsen Book, 1922)	13
Stray leaves from strange literature and fantastics and other fancies (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1982)	13
Stray learves from strange literature (Boston, Houghton, 1884)	13
Tales out of the East (Emmaus, Penn., Story Classics, 1952)	13
Two years in the French West Indies. I (Boston, Houghton, 1923)	13
Two years in the French West Indies. I (Kyoto, Rinsen Book, 1988)	14
Two years in the French West Indies. II (Boston, Houghton, 1923)	14
Two years in the French West Indies. II (Kyoto, Rinsen Book, 1988)	14
Two years in the French West Indies (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	14
The voice of the great bell (Boston, Little, c1963)	14
Youma (New York, Harper, 1890)	14
Youma (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	14
〔H091. 12 日本時代〕	
The Buddhist writings of Lafcadio Hearn (Stanta Barbara, Ross-Eriksen, 1977)	14
A drop of dew (Tokyo, Hokuseido Press, 1950)	15
Earless Ho-ichi (Tokyo, Kodansha International, 1966)	15

Exotics and retrospective (Boston, Little, c1898)	15
Exotics and retrospective (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1982)	15
Exotics and retropectives and In Ghostly Japan (Boston, Houghton, 1923)	15
Exotics and retropectives and In Ghostly Japan (Kyoto, Rinsen Bokks, 1988)	15
Gleanings in Buddha-fields (Boston, Houghton, 1897)	15
Gleanings in Buddha-fields (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	15
Gleanings in Buddha-fields and the Romance of Milky Way (Boston, Houghton 1923)	16
Gleanings in Buddha-fields and the Romance of Milky Way (Kyoto, Rinsen Book, 1988)	16
Glimpses of unfamiliar Japan. vol. 1(London, Harper, 1898)	16
Glimpses of unfamiliar Japan. vol. 1(Boston, Houghton, 1923)	16
Glimpses of unfamiliar Japan. vol. 2(London, Harper, 1898)	16
Glimpses of unfamiliar Japan. vol. 1(Boston, Houghton, 1923)	16
Glimpses of unfamiliar Japan. First series (Leipzig, Tauchnitz, 1907)	16
Glimpses of unfamiliar Japan. Second series (Leipzig, Tauchnitz, 1910)	16
Glimpses of unfamiliar Japan. vol. 1(Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	17
Glimpses of unfamiliar Japan. vol. 2(Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	17
Glimpses of unfamiliar Japan (Rutland, Vt., Tuttle, 1976)	17
Glimpses of unfamiliar Japan Vol. 1 (Kyoto, Rinsen Book, 1988)	17
Glimpses of unfamiliar Japan Vol. 2 (Kyoto, Rinsen Book, 1988)	17
I A Π Ω N I K O I Θ P Ψ Λ O I (日本伝説)	17
In ghostly Japan (London, Sampson Low, 1899)	18
In ghostly Japan (Boston, Little, 1899)	18
In ghostly Japan (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	18
Japan=神国 (New York Macmillan, 1904)	18
Japan (Boston, Houghton, 1923)	18
Japan (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1982)	18
Japan (Kyoto, Rinsen Book, 1988)	18
Japan and Japanese (Tokyo, Hokuseido, 1930)	18
Japan's religions/edited by Kazumitu Kato (New Hyde Park, N. Y. University Books, 1966)	19
Japanese lyrics (Boston, Houghton, 1915)	19
A Japanese miscellany (Boston, Little, c1901)	19
A Japanese miscellany (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1982)	19
Karma (New York, Boni and Liveright, 1918)	19
Karma and other stories & essays(Londo, Harrap, 1921)	19
Kimiko and other Japanese sketches (Boston, Houghton, c1896)	19
Kokoro (London, Gay & Boyd, 1902)	19
Kokoro (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	19
Kokoro (Leipzig, Tauchnitz, 1907)	20
Kotto=骨董 (New York, Macmillan, 1903)	20
Kotto=骨董 (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1982)	20
Kotto land Kwaidan (Boston, Houghton, 1923)	20
Kotto and Kwaidan (Kyoto, Rinsen Book, 1988)	20
Kwaidan (Tokyo, Kodansha, 1994)	20
Kwaidan (Leipzig, Taunitz, 1907)	20
Kwaidan (Boston, Houghton, 1904)	21
Kwaidan (Rutland, Vt. Tuttle, 1971)	21
Kwaidan (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	21
Land and seas (Hokuseido Press, 1930)	21
Ο λ ε θ ρ τ κ α ι δ ι η γ η μ α ι α	21
Out of East (Boston, Houghton, 1898)	21
Out of East (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	21
Out of East (Leipzig, Taunitz, 1910)	21
Out of East and Kokoro (Boston, Houghton, 1923)	22
Out of East and Kokoro (Kyoto, Rinsen, 1988)	22
Pre-Raphaelite and other poets (Freeport, N. Y., Books for Libraries Press, 1968)	22

The romance of the Milky Way and other studies and stories (Boston, Houghton, 1905)	22
The selected writings of Lafcadio Hearn (New York, Citadel press, 1949)	22
The selected writings of Lafcadio Hearn (Tokyo, Kenkyusha, 1953)	23
Shadowings (Boston, Little, 1901)	23
Shadowings (Tokyo, Yushodo Booksellers, 1981)	23
Shadowings and A Japanese miscellany (Boston, Houghton, 1923)	23
Shadowings and A Japanese miscellany (Kyoto, Rinsen Book, 1988)	24
Stories and sketches (Tokyo, Hokuseido, 1925)	24
Writings from Japan (Harmondsworth, Penguin Books, c1984)	24
(H 0 9 1. 2 講義集・論文集)	
(H 0 9 1. 2 1 アメリカ時代)	
妖魔詩話=Japanese goblin poetry (小山書店, 1934)	24
An American miscellany. vol. 1 (New York, Dodd, 1924)	25
An American miscellany. vol. 2 (New York, Dodd, 1924)	25
Editorials (Boston, Houghton, 1926)	26
Literary essays (Hokuseido Press, 1939)	27
Literary essays (東京、雄松堂書店, 1992)	27
The new radiance and other scientific sketches (Tokyo, Hokuseido Press, 1939)	27
The new radiance and other scientific sketches (東京、雄松堂書店, 1992)	28
Occidental gleanings. vol. 1(London, Heinemann, 1925)	28
Occidental gleanings. vol. 2(London, Heinemann, 1925)	28
Oriental articles (Tokyo, Hokuseido, 1939)	28
Oriental articles (東京、雄松堂書店, 1992)	28
Period of the gruesome (Lanham, M. D., University Press of America, 1990)	28
Ye Giglampz (Cincinnati, Crossroads Books, 1983)	31
(H 0 9 1. 2 2 日本時代)	
Appreciations of poetry (New York, Dodd, 1916)	31
Editorials from Kobe Chronicle (Tokyo, Hokuseido Press, 1960)	31
Essays on American literature (Tokyo, Hokuseido Press, 1929)	32
A history of English literature in a series of lectures. vol. 1(Tokyo, Hokuseido Press, 1927)	32
A history of English literature in a series of lectures. vol. 2(Tokyo, Hokuseido Press, 1927)	33
A history of English literature. One volume edition. (Tokyo, Hokuseido Press, 1930)	33
A history of English literature in a series of lectures (Tokyo, Hokuseido Press, 1930)	33
A history of English literature (Tokyo, Hokuseido Press, 1970)	33
Japan's religions (New Hyde Park, N. Y. University Books, c1966)	34
神戸クロニクル論説集(神戸、松蔭女子学院大学・短期大学学術研究会, 1992)	34
ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集(恒文社, 1996)	34
Lafcadio Hearn:Japan's great interpreter (Sandgate, Kent, Japan Library, 1992)	35
Lafcadio Hearn's lectures on Tennyson (Tokyo, Hokuseido Press, 1941)	35
Lectures on prosody (Tokyo, Hokuseido Press, 1929)	35
lectures on Shakespeare (Tokyo, Hokuseido Press, 1931)	35
Life and literature by Lafcadio Hearn (Tokyo, Hokuseido Press, 1930)	36
Life and literature by Lafcadio Hearn (Tokyo, Hokuseido Press, 1989)	36
On art, literature and philosophy (Tokyo, Hokuseido Press, 1932)	36
On poetry (Tokyo, Hokuseido Press, 1934)	36
On poets[小泉八雲詩人論]/Ed. by Ryuji Tanabe (Tokyo, Hokuseido Press, 1934)	37
On reading in relation to literature. Boston, Atlantic Monthly, 1921)	37
Poets and poems/compiled with notes by R. Tanabe(Hokuseido Press, 1926)	37
Poets and poems/compiled with notes by R. Tanabe(Hokuseido Press, 1930)	37
Romance and reason/compiled with notes by R. Tanabe(Hokuseido Press, 1928)	37
Some strange English figures of the eighteenth and nine teenth centuries (Hokuseido Press, 1927)	38

Supplement to a history of English literature. v. 1(Hokuseido Press, 1932)	38
Talks to writers/selected and edited, with an introd. by John Erskine. (New York, Dodd, 1920)	38
Victorian philosophy(Tokyo, Hokuseido Press, 1930)	38
Writings from Japan=日本随筆 (Harmondsworth, Penguin Books, 1984)	38
〔H 0 9 1. 3 ヘルンによる翻訳〕	
The adventures of Water Schnaffs and other stories by Guy Maupassant (Tokyo, Hokuseido Press, c1931)	39
The boy who drew cats (東京、長谷川武次郎, 1898)	39
Chin-chin kobakama (東京、長谷川武次郎, 1903)	39
Crime of Sylvestre Bonnard (New York, Harper, 1890)	39
The fountain of youth (東京、長谷川武次郎, 1923)	39
The goblin spider (東京、長谷川武次郎, 1899)	39
The old woman who ost her dumpling (東京、長谷川武次郎, 1902)	39
One of Cleopatra's nights and other fantastic romances (New York, R. Worthington, 1882)	39
Sketches and tales from the French (Tokyo, Hokuseido Press, 1935)	39
Stories from Emile Zola (Tokyo, Hokuseido Press, 1935)	39
Stories from Pierre Loti. Large (Tokyo, Hokuseido Press, 1933)	40
Stories from Pierre Liti(Tokyo, Hokuseido Press, 1933)	40
The temptation of St. Anthony (New York, Alice Harriman, 1911)	40
〔H 0 9 1. 4 教科書用テキスト〕	
Athletic contests (Tokyo, Hokuseido Press, 1932)	41
At Yaidzu(Tokyo, Hokuseido, 1928)	41
Beautiful stories of old Japan (Tokyo, Asahi Press, 1982)	41
A book of recitations from the writings of Lafcadio Hearn[小泉八雲暗唱読本] (Matue, Hearn Society, 1986)	41
A dancing-girl and other stories/with introd. and notes by T. Otsuka(Osaka Kyoiku Toshō, 1947)	41
Essays/with introd. and notes by R. Tanabe (Kenkyusha, 1955)	41
Exotic stories[異国奇談]/with introd. an notes by Ryuji Tanabe(Kenkyusha, 1935)	41
Fuji-no-Yama (Hokuseido Press, 1932)	41
Fuji-no-Yama (Sanseido, 1933)	42
Glimpses of unfamiliar Japan(Daito shobo, 1931)	42
Hearn's diary/西村一雄編・注 (Kyoto, Ymaguchi Shoten, 1958)	42
Hearn's essays/with introduction and notes by Soji Inoue (Kyoto, Yamaguchi Shoten, 1951)	42
Hearn's tales and letters I/ed. with notes by Kageshiro Nishino (京都、 国際出版社, 1974)	42
Hi-mawari(Hokuseido, 1925)	42
Japan/a selection ed. with notes by Shohei Uchiyama(Hokuseido, 1958)	42
Kokoro=心/selected and annotated by Ichigoro Fujii(Kenkyusha, 1958)	42
Kwaidan/with introd. and notes by Soji Inoue(Kyoto, Ymaguchi Shoten, 1958)	42
Kwaidan/ed. with introd. and notes by Y. Sugi(Tokyo, Seibido, 1957)	42
Kwaidan/淵田一雄訳注 (Tokyo, Sansyusya, 1958)	43
Kwaidan=怪談/notes by T. Kobayashi (Daigakusyōrin, 1951)	43
Kwaidan(怪談)/ed. with notes by Rintaro Fukuhara(Kenkyusha, 1958)	43
Kwaidan/with introd. and notes by Shogoro Ogita(Kenkyusha, 1958)	43
Kwaidan and Kotto/大阪教育図書編集部編注 (大阪教育図書, 1958)	43
Lafcadio Hearn's stories & essays/ed. with introd. & notes by Minoru Soda (Daigakusyōrin, 1958)	43
Lectures on literature/with introd. and notes by Sadami Hirose (Daigakusyōrin, 1957)	43
Literary selections from Lafcadio Hearn/ed. with notes by Motoi Kurihara (Tokyo, Sekizenkwan, 1931)	43
Literature and political opinion (東京、文明書院, 1925)	44
Mujina and other tales/ed. by Hiromu Nagaoka(Sanseido, 1929)	44
My first day in the Orient and others/ed. with introd. and notes by N.	

Saito, T. Kumamoto(Tokyo, Seibido, 1958)	44
New selections from Lafcadio Hearn. First series[小泉八雲文抄] (東京、有朋堂, 1910)	44
New selection from Lafcadio Hearn.訂正再版 (東京、有朋堂, 1921)	44
On literature/notes by Yoshitaka Sakai(Eihosha, 1957)	44
The romance of the Milky Way and other stories/with introd. and notes by Tatsuhiko Arakawa (Keibundo, 1954)	44
Selections from Lafcadio Hearn/ed. by K. Nasu (Kawase, 1937)	44
Selections from Lafcadio Hearn/〔荒井書店編集部編〕(Arai shoten, 1934)	44
Selected essays of Hearn/ed. with notes by D. Midorikawa(Kaibunsha, 1958)	44
Select readings from Lafcadio Hearn. Second series/with notes by I. Yamada (Hokuseido Press, 1930)	45
Sketches/with introd. and notes by R. Tanabae(kenkyusha, 1958)	45
The stories and sketches of Lafcadio Hearn/ 津田昇注釈(Taiseido, 1960)	45
Stories from Lafcadio Hearn/〔田中饒編〕(有朋堂, 1930)	45
Stories of mystery from Lafcadio Hearn/ed. with an introd. by Ichiro Nishizaki(Hokuseido Press, 1948)	45
The story of Mimi-nashi-hoichi, Mujina & Yuki-onna/〔西崎一郎編〕 (Tokyo, Ryuseiji shobo, 1948)	45
Strange stories/ed. with notes by Satoru Takemura(Kaibunsha, 1954)	45
Strange stories/岡寿吉注解 (Gakuseisha, 1958)	46
Tolstoi's theory of art (東京、荘人社, 1934)	46
Yuki-Onna and other stories/藤田美広編 (泰文堂, 1958)	46
〔H092 ヘルン著作の翻訳・対訳〕 〔H092.1 翻訳〕	
天の川縁起(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
鏡の乙女(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
妖怪の歌(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
日本からの手紙(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
伊藤則資の物語(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
究極の問題(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
虫の研究・蚊(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
ちんちん小袴(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
ちんちん小袴/光吉夏弥訳 (三十書房, 1956)	47
団子を失くしたおばあさん(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
化け蜘蛛(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
猫を描いた少年(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
若さの泉(天の川幻想/船木裕訳 集英社, 1994)	47
文学入門/今東光訳 (金星堂 1932)	47
蝶の幻想/長沢純夫編訳 (三十書房, 1956)	47
中国怪談集、他/平井呈一訳 (恒文社, 1976)	47
印象派作家日記抄 (中国怪談集、他 平井呈一訳 恒文社 1976)	47
クリーオール小作品集 (中国怪談集、他 平井呈一訳 恒文社 1976)	47
クレオール物語/平川祐弘編 (講談社学術文庫 1991)	47
(マルティニーク小品集 チタ ユーマ)	
仏領西インドの二年間 上、下/平井呈一訳 (恒文社, 1976)	48
東の国から 上、下/平井呈一訳 (恒文社, 1952)	48
(夏の日の夢、九州の学生とともに 博多で 永遠の女性について 生と死の断 片 石仏 柔術 赤い婚礼 願望成就 横浜で 勇子)	
東の国から、心/平井呈一訳 (恒文社, 1975)	48
(心—停車場で 日本文化の真髄 門つけ 旅日記から あみだ寺の比丘尼 戦後 ハル 趨勢一瞥 因果応報の力 ある保守主義者 神々の終焉 前世の 観念 コレラ流行期に 祖先崇拜の思想 きみ子)	
東の国から、心/平井呈一訳 第2版 (恒文社, 1975)	48
(附 三つの俗謡)	
飛花落葉集・他/平井呈一訳 (恒文社, 1976)	48
(・落葉集—トートの書 泉の乙女 鳥妻。 インド文学—仏教文学からの 物語の創成 婆羅門とその妻 バカウリ 屍鬼 異聞 仏諭譚 芬陀利 閻魔王 信蓮華。・カラワラの歌—魔法のことば 最初の楽人 ワイモネンの医方。	

- 回教国の物語—鳩のブティマル 盗賊の子 愛の伝説 王の裁判。・ダルムッ
ドの伝説—ラバの伝説 嘲弄者 エステルの選択 丸薬入れ 川を想う 心は
老いぬ MDCCCLIII 玄奘 死後の恋 郵便局)
- 仏の畑の落穂・他／平井呈一訳 (恒文社, 1976) -----48
(・仏の畑の落穂—生神 街上から 京都紀行 塵 日本美術の顔について
人形の墓 大阪 日本の俗語における仏教の引喩 涅槃 勝五郎再生記 環中記
・異国風物と回想—異国風物 富士の山 虫の音楽家 禅の公案 死者の文学
カエル 月がほしい。・回想—第一印象 美は記憶なり 美の中の悲哀 青春
のかおり 青の心理学 小夜曲 赤い夕日 身震い 薄明の認識 永遠のつきも
の)
- 十六桜／森銑三、荻原恭平訳 (恒文社, 1976) -----49
(雪女、鴛鴦、乳母桜、はかりごと、青柳物語、むじな、葬られた秘密、茶碗の
中、判断、屍に乗る人、約束を守る、約束を破る、耳なし芳一の話、お貞の話
食人鬼、十六桜、梅津忠兵衛、和解、衝立の女、鮫人の恩返し)
- 人生と文学／太田三郎訳 (河出書房 1954) -----49
- 怪談／北条誠 東京、偕成社 1958 -----49
(耳なし芳一 お園の手紙 回竜とろくろ首 友忠と青柳 生まれかわり 奇怪
な老僧 無問の鐘 雪おんな 執念 乳母桜 常世の国 紀の国坂の変化 村允
とオシドリ 力ばか 桜の命)
- 怪談／平井呈一訳 岩波文庫 1940 -----49
(耳なし芳一のはなし をしどり お貞のはなし 乳母桜 機略 鏡と鐘 食人
鬼 貉 ろくろ首 葬られた秘密 雪おんな 青柳のはなし 十六桜 安芸之助
の夢 夢 蓬萊 力ばか 日まわり 虫の研究)
- 怪談／平井呈一訳 岩波文庫 改訳版 1965 -----49
- 怪談／繁尾久訳 集英社 1992 -----49
- <完訳>怪談／斉藤正二訳 講談社 1976 -----49
- <完訳>怪談／船木裕訳 筑摩書房 1984 -----49
- 怪談(他) 骨董、知られざる日本の面影 日本雑記 仏の畑の落穂(抄)／繁尾久
訳 旺文社 1982 -----49
- 怪談・奇談／平川祐弘編 (講談社学術文庫 1990) -----50
(耳なし芳一 おしどり お貞の話 乳母桜 策略 鏡と鐘 食人鬼 貉 ろく
ろ首 葬られた秘密 雪女 青柳の話 十六桜 安芸之介の夢 宿世の恋 天狗
の話 和解 普賢菩薩の伝説 死骸にまたがった男 菊花の約 閻魔の庁で 果
心居士の話 梅津忠兵衛 夢応の鯉魚 幽霊滝の伝説 茶碗の中 常識 生霊
お亀の話 蠅の話 忠五郎の話 鏡の少女 伊藤則資の話 美の悲哀 薄明の認
識 破片 振袖 夜光るもの ゴシックの恐怖)
- 神々の国の旅行案内(松江、八雲会, 1990) -----50
(神々の国の首都 宍道湖の夕日 松江城 城山の稲荷 八雲旧居 普門院とそ
の他の寺 嵩山 八重垣神社 中海と大根島 美保関 加賀 日ノ御崎 出雲大
社 巫女神楽 宍道湖と一畑薬師 隠岐 さようなら 加鼻と稲佐の浜 日本海
に沿って 松江再訪)
- 神々の国の首都／平川祐弘編 (講談社学術文庫 1990) -----50
(東洋の土を踏んだ日 地蔵 盆踊り 神々の国の首都 杵築 加賀潜戸 美保
関にて 心中 八重垣神社 狐 日本の庭で 家庭の祭屋 さようなら)
- 小泉八雲読本／田部隆次編 (第一書房 1942) -----50
(奇談 怪談 文学論 書簡)
- 小泉八雲読本 続／田部隆次編 (第一書房 1943) -----50
(紀行—樹木之美 盆踊 神国の首都 夏の日々の夢 旅行日記 京都紀行 桜
英語教師の日記から 住居と国民性 生と死の断片 停車場にて 門つけ 夜店
情緒 墓地 美のうちの悲哀 虫 焼津にて 橋の上 音吉の達磨 或る女の日
記 露の一滴 餓鬼 病理上の事 草雲雀 夢を食うもの 蓬萊 広瀬中佐 お
ばあさんのはなし。物語—浜口五兵衛 了然尼。研究—日本の魅惑 日
本人の微笑 日本人の勇氣 柔術 日本文化の真髓 前世の観念 祖先崇拜につ
いて 小さな詩。講演—日本の将来)
- 小泉八雲読本／田部隆次編 (蓼科書房, 1958) -----50
(・日本のお伽ばなし—猫を画いた子供 団子を失したお婆さん ちんちん小
袴 化け蜘蛛 若返りの泉。日本見聞記—中学教師の日記から 浜口五兵衛
三つのおとづれ 日本人の勇氣 人形のいのち 列車のなかにて。日本の珍し
い話—布団の話 人形の墓 僧興義 むじな 鏡の少女 占いの話。東洋の

珍しい話—禍という怪物の話 大鐘の霊)	
小泉八雲怪談奇談集 上、下/森亮他訳(河出書房新社, 1988)	51
(耳なし芳一 果心居士 梅津忠兵衛 お貞の話 十六桜 雪女 猪 勝五郎の 再生 阿弥陀寺の比丘尼 生神様 漂流 ある保守主義者 心中 赤い婚礼 君 子 ある女の日記 禅書の一問 メキシコ人の感謝 泉の乙女 事実は小説より も奇なり)	
小泉八雲名作集/古谷綱武訳(あかね書房, 1958)	51
小泉八雲作品集/平井呈一訳編(筑摩書房, 1954)	51
小泉八雲選/谷川徹三編(筑摩書房, 1951)	51
小泉八雲選集 落穂/田部隆次編(八雲書店, 1948)	51
小泉八雲集/田部隆次訳(改造社, 1931 現代日本文学全集)	51
小泉八雲集/平井呈一訳編(新紀元社, 1957)	51
小泉八雲集/古谷綱武編(新潮社, 1958)	51
小泉八雲集/上田和夫訳(新潮社, 1979)	52
小泉八雲鈔/上伊那郡教育会編(上伊那郡教育会 1937)	52
小泉八雲全集 第1巻 異文学異聞 支那怪談 チタ ユーマ(第一書房 1926)	52
小泉八雲全集 第2巻 仏領西印度の二年間 マルティニーク・スケッチ (第一書房 1927)	52
小泉八雲全集 第3巻 知られざる日本の面影 上、下 (第一書房 1926)	52
小泉八雲全集 第4巻 東の国から 心 (第一書房 1927)	52
小泉八雲全集 第5巻 仏の畠の落穂 異国情趣と回顧 回顧 日本のお伽噺 (第一書房 1926)	52
小泉八雲全集 第6巻 霊の日本 影 日本研究 幻想 日本雑録 民間伝説拾遺 随筆ここかしこ (第一書房 1926)	53
小泉八雲全集 第7巻 骨董 或女の日記 怪談 虫の研究 天の河縁起その他 (第一書房 1926)	53
小泉八雲全集 第8巻 神国日本 (第一書房 1927)	53
小泉八雲全集 第9巻 書簡集(1) (第一書房 1927)	53
小泉八雲全集 第10巻 書簡集(2) (第一書房 1927)	53
小泉八雲全集 第11巻 書簡集(3) (第一書房 1927)	54
小泉八雲全集 第12巻 書簡集(4) 雑篇 フロリダ幻想記 クリオール短編 唐草模様 日本の冬の旅 自伝断片 (第一書房 1927)	54
小泉八雲全集 第13巻 文学論 (第一書房 1927)	54
小泉八雲全集 第14巻 詩論 (第一書房 1927)	54
小泉八雲全集 第15巻 詩論 続 (第一書房 1927)	54
小泉八雲全集 第16巻 詩論 続々 (第一書房 1927)	54
小泉八雲全集 第17巻 きまぐれ クリオール小品 神戸クロニクル社説(抜粋) (第一書房 1928)	55
小泉八雲全集 第1巻 日本の面影(上) 平井呈一訳 (みすず書房 1955)	55
小泉八雲全集 第4巻 心、影 平井呈一訳 (みすず書房 1954)	55
小泉八雲全集 第8巻 怪談、骨董 平井呈一訳 (みすず書房 1954)	55
小泉八雲全集 第9巻 日本 平井呈一訳 (みすず書房 1954)	56
心/平井呈一訳(岩波文庫 1954)	56
骨董/平井呈一訳(岩波文庫 1954)	56
ラフカディオ・ハーン著作集 第1巻 アメリカ雑録 (恒文社 1980)	56
ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻 アメリカ論説集I・II・III(恒文社 1980)	56
ラフカディオ・ハーン著作集 第3巻 アメリカ論説集IV・V・アメリカ文学評論 (恒文社 1981)	57
ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻 西洋落穂集 (恒文社 1980)	57
ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 東西文学評論・論説集・神戸クロニクル 論説集 (恒文社 1980)	58
ラフカディオ・ハーン著作集 第6巻 文学の解釈I (恒文社 1980)	59
ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻 文学の解釈II (恒文社 1985)	59
ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻 詩の鑑賞 (恒文社 1980)	59
ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 人生と文学 (恒文社 1988)	60
ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻 英文学崎人列伝 シェイクスピア論 その他 (恒文社 1980)	60
ラフカディオ・ハーン著作集 第11巻 英文学史I (恒文社 1981)	60
ラフカディオ・ハーン著作集 第12巻 英文学史II (恒文社 1982)	61

ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻 詩論・詩人論 (恒文社 1987)	61
ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 ゴンボ・ゼーブス カルマそのほか 書簡Ⅰ・Ⅱ (恒文社 1980)	61
ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 書簡Ⅱ・書簡Ⅲ 拾遺 年譜 (恒文社 1980)	62
ラフカディオ・ハーン著作集 総目次(第15巻別冊) (恒文社 1988)	62
明治日本の面影/平川祐弘編(講談社学術文庫 1990)	62
(英語教師の日記から 日本海の浜辺で 伯耆から隠岐へ 化けものから幽霊へ 日本人の微笑 横浜にて 勇子 京都旅行記 出雲再訪 富士の山 橋の上 お 大の場合 日本の病院で ちんちん小袴 おばあさんの話 勝五郎の再生 蛍 露の一滴 力馬鹿 ひまわり 蓬萊 私の守護天使)	
耳なし芳一/宮田雪・脚色(扶桑社 1994)	62
耳なし芳一・雪女/保永貞夫訳(講談社青い鳥文庫 1992)	62
日本:一つの試論/平井呈一訳(恒文社 1976)	62
日本警見記 上、下/平井呈一訳(恒文社 1975)	62
(極東の第一日 弘法大師 地蔵 江の島行脚 盆市 盆おどり 神々の国の首 都 杵築 潜戸 美保の関 杵築雑記 日ノ御碕 心中 八重垣神社 キツネ 日本の庭 家庭の祭壇 女の髪 英語教師の日記から 二つの珍しい祭日 日本 海に沿って 舞妓 伯耆から隠岐へ 魂について 幽霊と化けもの 日本人の微笑 さようなら)	
日本の怪談/田部隆次編(大日本雄弁講談社 1946)	62
日本の心/田部隆次編(大日本雄弁講談社 1946)	63
日本の心/平川祐弘編(講談社学術文庫 1990)	63
(夏の日の夢 永遠に女性的なるもの 赤い婚礼 停車場にて 旅日記から 阿 弥陀寺の比丘尼 戦後に ある保守主義者 コレラの流行期に 君子 生神様 塵 日本美術に描かれた顔について 人形の墓 大阪にて 虫の演奏家 草ひば り 焼津にて 乙吉の達磨さん)	
日本の面影/田代三千稔訳(愛宕書房 1945)	63
(停車場にて 東洋における私の第一日 盆踊 日本海のほとりにて 橋の上 人形の墓 焼津にて 乙吉の達磨 漂流 占いの話 生神 病理上のこと 草雲 雀 虫の音楽師 約束 耳なし芳一の話 をしどり 雪女 乳母桜 青柳物語 鮫人の感謝 むじな 梅津忠兵衛 興義和尚の話 食人鬼 茶碗の中 常識 果 心居士)	
日本の面影/田代三千稔訳(角川文庫 1958)	63
(東洋の第一日 盆おどり 子供の霊の洞窟 石の美しさ 英語教師の日記から 日本海のほとりにて 日本人の微笑 夏の日の夢 生と死の断片 停車場にて 門つけ 生神 人形の墓 虫の楽師 占いの話 焼津にて 橋の上 漂流 乙吉 の達磨 ひとしづく 草ひばり 蓬萊)	
日本雑記 他/平井呈一訳(恒文社 1975)	63
(・霊の日本—断片 振袖 香 占いの話 蚕 恋の因果 仏陀の足跡 犬の 遠ぼえ 小さな詩 日本の仏教俚語 暗示 因果ばなし 天狗譚 焼津。 ・明暗—珍籍叢話 和解 普賢菩薩のはなし 衝立の女 死骸に乗る人 弁天 の感応 鮫人の恩返し。・日本研究—蟬 日本女性の名 日本の古い歌謡。 ・夢想—夜光虫 人ごみの神秘 ゴシックの恐怖 飛行 夢魔の感触 夢の本 から 一对の目の中に。・日本雑記—奇談 守られた約束 破られた約束 閻 魔の庁で 果心居士 梅津忠兵衛 興義和尚のはなし。・民間伝承 落穂集— トンボ 動・植物の仏教的名称 日本のわらべ歌。・あちこち—橋の上 お 大の場合 海のほとり 漂流 乙吉のだるま 日本の病院で)	
おとぎの国の妖精たち/池田雅之訳(現代教養文庫 社会思想社 1995)	63
おとぎの国の妖精たち2/池田雅之訳(現代教養文庫 社会思想社 1996)	64
尖塔登攀記外四篇/佐藤春夫訳(白水社 1934)	64
尖塔登攀記外四篇 復刻版/佐藤春夫訳(白水社 1934)	64
西洋文学講義/太田三郎訳(河出書房 1953)	64
新潮カセットブック・小泉八雲(ろくろ首、雪おんな、耳なし芳一のはなし、 むじな—朗読 橋爪功 上田和夫訳)	64
神国日本/戸川秋三訳(第一書房 1932)	64
神国日本/柏倉俊三訳注(東洋文庫)(平凡社 1976)	64
旅の宿の夜話/田部隆次訳(養徳社 1959)	65
東西文学評論/三宅幾三郎、十一谷義三郎訳(聚芳閣 1926)	65

ヘルン善人の書／十一谷義三郎訳 (金星社 1937)	65
雪女／田部隆次訳編 (八雲書店 1948)	65
全訳小泉八雲作品集 第1巻 印象派作家日記抄 クリーオール小品集 中国怪談集 (恒文社 1965)	66
全訳小泉八雲作品集 第2巻 飛花落葉集 インド文学、仏教文学からの物語 カレワラの歌 回教国の物語 タルムッドの伝説 きまぐれ草 (恒文社 1965)	66
全訳小泉八雲作品集 第3巻 仏領西インドの二年間 (恒文社 1966)	66
全訳小泉八雲作品集 第4巻 仏領西インドの二年間 承前 (恒文社 1967)	66
全訳小泉八雲作品集 第5巻 日本瞥見記 (上) (恒文社 1967)	66
全訳小泉八雲作品集 第6巻 日本瞥見記 (下) (恒文社 1964)	66
全訳小泉八雲作品集 第7巻 東の国から、心 (恒文社 1964)	67
全訳小泉八雲作品集 第8巻 仏の畑の落穂、異国風物と回想 (恒文社 1964)	67
全訳小泉八雲作品集 第9巻 霊の日本、明暗、日本研究、日本雑記 (恒文社 1964)	67
全訳小泉八雲作品集 第10巻 骨董、怪談、天の川綺譚 (恒文社 1964)	67
全訳小泉八雲作品集 第11巻 日本 (恒文社 1964)	67
[H 0 9 2. 2 対 訳]	
Diaries & letters[英語教師の日記と手紙]/tr. and annotated by R. Tanabe (Hokuseido 1920)	68
英和対訳小泉八雲文抄／中島治注 (中興館 1915)	68
Essays and sketches=論文と随筆 (Kaibunsha 1956)	68
ハーン：奇談／竹村覚訳 (開文堂 1950)	68
Impressions of Japan[日本印象記]/tr. and annotated by T. Ochiai(Tokyo, Hokuseido, 1920)	68
Insect literature[虫の文学]/tr. and annotated by M. Otani (Tokyo, Hokuseido 1921)	68
Island voyages[島巡り]/tr. and annotated by M. Otani(Hokuseido, 1922)	68
Japanese strange stories= 日本奇談／富原芳彰訳・注 (研究社 1957)	69
怪談／萩田庄五郎訳 (開文堂 1953)	69
怪談／萩原恭平訳注 (研究社 1953)	69
Kidan=奇談／田代三千稔訳注 (南雲堂 1958改訂4版)	69
小泉八雲選集 第1篇／萩原恭平、刈谷新三郎訳注 (嶺光社・開隆堂 1926)	69
小泉八雲選集 第2篇／萩原恭平、刈谷新三郎訳注 (嶺光社・開隆堂 1927)	69
Kwaidan/with tr. and notes by K. Yamamoto[上巻][下巻] (春陽堂 1931)	69
Kwaidan/tr. and annotated by M. Tanaka (泰文堂 1957)	69
Kwaidan=怪談／成田成寿訳注 (大修館出版 1957)	69
Kwaidan/introd., tr. & notes by Ichiro Nishizaki(Tokyo, Inouye English Correspondence School, 1950)	70
Kwaidan /萩原恭平訳注 (Kenkyusha, 1932 10th edition)	70
Letters from Tokyo[東京からの手紙]/tr. and annotated by M. Ochiai (Hokuseido Press, 1920)	70
The romance of the Milky Way= 七夕物語／花園兼定訳注 (外国研究社 1933)	70
論文と随筆 (ハーン)／緑川伝作訳注 (開文堂 1956)	70
Sea literature[海の文学]/tr. and annotated by M. Otani(Hokuseido Press 1921)	70
Sketches and stories[ハーン短篇集]/with tr. and notes by Hanazono (英文世界名著全集刊行会 1928)	70
七夕物語／花園兼定訳注 (外国研究社 1933)	70
雪おんなその他／藤田美広編 (泰文堂 1958)	71
[H 0 9 2. 3 ドイツ語訳]	
Buddha/Übersetzung aus dem Englischen von Berta Franzos(Frankfurt am Main Rutten & Loening, 1922)	71
Izumo/Übersetzung aus dem Englischen von Berta Franzos(Frankfurt am Main Rutten & Loening, 1920)	71
Das Japanbuch/Berechtigte Übertragung aus dem Englischen von Berta Franzos (Frankfurt a. M., Rutten & Loening, 1920)	71
Kokoro/Übersetzung aus dem Rutten & Englischen v. Berta Franzos (Frankfurt am Main, Rutten & Loening, 1922)	71

Kwaidan/Übersetzung aus dem Englischen von Berta Franzos(Frankfurt am Main Rutten & Loening, 1921)	71
Kwaidan/erläutert von K. Fuchita(Tokyo, Daisan Shobo Verlag, 1955)	71
Kyushu/Übersetzung aus dem Englischen von Berta Franzos (Frankfurt am Main Rutten & Loening, 1922)	71
Lafcadio Hearn Kleine Schriften/ausgewählt von B. Matsuoka(Shobundo, 1932) 71	
Lotos/Übersetzung aus dem Englischen von Berta Franzos(Frankfurt am Main Rutten & Loening, 1922)	71
〔H 0 9 2. 9 その他〕	
Historias Misteriosa/Kamakura, Luna Books, 1996)	71
〔H 0 9 3. 2 手紙集〕	
—異端者への手紙/小泉一雄訳 (第一書房 1935)	92
The Japanese letters of Lafcadio Hearn/ed. with an introd. by Elizabeth Bisland (Boston, Houghton, 1910)	93
The Japanese letters/ed. with an introd. by Elizabeth Bisland (Kyoto, Rinsen Book, 1988)	93
桑原春三所蔵知られざるハーン絵入り書簡/関田かおる編著 (雄松堂, 1991)	93
Letter from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn/compiled by Kazuo Koizumi (Hokuseido Press, 1936)	93
Letter from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn/compiled by Kazuo Koizumi (東京、雄松堂書店 1992 復刻版)	93
Letter from the Raven/with introduction and critical comment by the editor, Milton Bronner(Brentano's, 1907)	93
Letter from Shimane and Kyushu/Bunsho Jugaku (Kyoto, Sunward Press, 1934) 93	
Letter to a papan by Lafcadio Hearn/Robert Brauna Powers (Detroit, R. B. Powers, 1933)	93
More letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn and Letter from M. Toyama Y. Tsubouchi and others/compiled by Kazuo Koizumi (Hokuseido Press, 1937)	93
More letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn and Letter from M. Toyama Y. Tsubouchi and others/compiled by Kazuo Koizumi (雄松堂書店 1992 復刻版)	93
Some new letters and writings of Lafcadio Hearn/collected and ed. by Sanki Ichikawa (kenkyusha, 1925)	93
Some new letters and writings of Lafcadio Hearn/collected and ed. by Sanki Ichikawa (Kenkyusha, 1950 再版)	93
〔H 0 9 4 論文〕	
醜の研究/紫蘭生訳 (現代社, 1914)	96
〔H 0 9 4. 1 創作、翻訳〕	
ある女の日記/平井呈一訳 (筑摩書房 1992)	96
蚊 (「動物たちの物語/安野光雄編 (ちくま文学のもり 12)より 筑摩書房 1993)	96
破約/田代三千稔訳 (「現代怪談集成/中島河太郎編」立風書房, 1993 より) 96	
耳なし芳一/中山伸子訳 (「恐ろしい幽霊の話/江河徹編 くもん出版 1994) 96	
日本の風土/平井呈一訳 (外国人の見た日本 3 明治/大久保利謙編 I. 小泉八雲の描いた日本 筑摩書房 1961 より)	96
日本のこころ/平井呈一訳 (外国人の見た日本 3 明治/大久保利謙編 I. 小泉八雲の描いた日本 筑摩書房 1961 より)	96
停車場で/平井呈一訳 (「悪いやつらの物語/安野光雄編 ちくま文学の森 8 筑摩書房 1990 より)	96
〔H 0 9 5 雑誌に含まれた論文、随筆〕	
〔H 0 9 5. 1 創作、翻訳〕	
銀河のローマンス/藤山思朗訳 (青冥 第2号(1931) 富山高等学校青冥寮図書部より)	105
Jikininki (1)(2) (英語青年 第67巻第5、6号(1932))	105
絞刑記事/佐藤春夫訳 (雑誌「行動」第2年第10号(1934) より)	105
ラフカディオ・ハーンの電文 (英語青年 第104巻第7号(1958))	105
Lectures on prosody (英文学研究 Vol. IX, No. 4(1929) より)	105
Pathological= 悩み/清水繁訳注 (英語研究 第23巻第4号(1930))	105

西印度雑話／中村鉄太郎翻訳 (英文学研究 第5冊(1924))	105
想像力ノ価値／中村鉄太郎翻訳 (英文学研究 第5冊(1890))	105
UBAZAKURA=乳母桜／山本供平訳注 (英語と英文学 第3巻第4号(1929))	105
The value of the imaginatiave faculty (英文学研究 第5冊(1924))	105
A with fulfilled(An extact from "Out of the East") (外国語学雑誌 第2巻 第1号(1898) 東京、博文館 より)	106
A firefly (英語研究 第39巻第6号(1950) Lafcadio Hearn特集)	130
Hearn Centennial Committee	
Selected writings of Lafcadio Hearn(Tokyo, Kenkyusha, 1953)	23
Hendrick, Ellwood	
ラフカディオ・ハーン (小泉八雲: 回想と研究 講談社学術文庫 1992 より)	78
Lafcadio Hearn(New York, New York Public Library, 1929)	82
片々子	
湖畔通信 (英語青年 第92巻第7号(1946) 研究社刊 より)	148
湖畔通信 (英語青年 第92巻第9号(1946) 研究社刊 より)	149
日高只一	
小泉八雲先生に就きて聞きし事ども (へるん 第29号(1992) 八雲会編 恒文社発売より)	120
Hearn 先生に関し思出るまま (英語研究 第39巻第6号(1950) 研究社刊 Lafcadio Hearn 特集 より)	125
ハーン先生の最終遺稿「詩論」及び「詩人論」を読み (読売新聞 昭和9年 10月24日より)	156
美しい声、鋭い眼 (島根新聞 昭和25年6月29日、続-30日 ハーンの真価)	163
秀川尚子	
詠唱 (へるん 第17号(1980) 八雲会 より)	113
祈り (短歌14首) (へるん 第20号(1983) 八雲会 より)	115
季節の音譜 (へるん 第21号(1984) 八雲会 より)	115
森の家 (へるん 第22号(1985) 八雲会 より)	116
今も咲きつぐ (へるん 第23号(1986) 八雲会 より)	116
<創作>見返りの鹿・面影 (へるん 第24号(1987) 八雲会編 恒文社刊)	117
<創作>短歌: 追憶 (へるん 第25号(1988) 八雲会編 恒文社刊)	117
短歌: ハーンロード (へるん 第26号(1989) 八雲会編 恒文社刊)	118
短歌 (へるん 第27号(1990) 八雲会編 恒文社刊)	118
ハーンとの出会い (へるん 第27号(1990) 恒文社刊)	118
短歌: 水温む (へるん 第28号(1991) 八雲会編 恒文社刊)	119
短歌: 悠久の愛 (へるん 第29号(1992) 八雲会編 恒文社刊)	120
短歌: ヘルン五世 (へるん 第30号(1993) 八雲会編 恒文社刊)	120
短歌: 八雲旧居にて (へるん 第31号(1994) 八雲会編 恒文社刊)	121
短歌十首「八雲椿」 (へるん 第33号1996) 八雲会編 恒文社刊)	122
東田敏夫	
Chita 論: ハーンと自然 (川村短期大学紀要 第6号(1986) より)	107
引地正俊	
中世の最も美しいロマンス (ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 人生と文学 恒文社, 1988刊 より)	60
イオーニカ (ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 人生と文学 恒文社, 1988)	60
古いギリシャの断片 (ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 人生と文学 恒文社 1988刊 より)	60
「女の髪」とギリシア神話 (ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻 月報 no. 9(1987)より)	127
ラフカディオ・ハーンとギリシャ詩 (比較文学年誌 第10巻 早稲田大学比較文 学研究室 より)	133

姫野誠二

- Lafcadio Hearnの情緒主義的文学評論 (滋賀県立短期大学雑誌 第1巻2号B
(1952) より) 129
- Lafcadio Hearnの神秘主義文学 (滋賀県立農業短径大学学術報告 第2部第
1号(1952) より) 131

日夏耿之介

- ヘルン先生の怪談 (へるん 第25号(1988) 八雲会編 恒文社刊 より) 117
- 小泉八雲全集の出版に寄せて (へるん 第30号(1993) 八雲会編 恒文社刊) 120

日野雅之

- 隠岐 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社刊 1993 より)74
- 愛弟子 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社刊 1993 より)74
- 俳人としての大谷纏石(1) (へるん 第24号(1987) 八雲会編 恒文社刊) 117
- 俳人としての大谷纏石(2) (へるん 第25号(1988) 八雲会編 恒文社刊) 118
- 俳人としての大谷纏石(3) (へるん 第26号(1989) 八雲会編 恒文社刊) 119
- 俳人としての大谷纏石(4) (へるん 第28号(1991) 八雲会編 恒文社刊) 121
- 俳人としての大谷纏石(5) (へるん 第29号(1992) 八雲会編 恒文社刊) 121
- ハーンと隠岐：ハーンをめぐる人びと (へるん 第31号(1994) 八雲会編
恒文社刊) 121

平井呈一

- 中国怪談集、他 (1976, 恒文社刊 の翻訳)47
- 仏領西インドの二年間 上、下 (1976 恒文社刊 の翻訳)48
- 東の国から 上下 (1975 岩波書店刊 の翻訳)48
- 東の国から、心 (1975 恒文社刊 の翻訳)48
- 飛花落葉集、他 (1976 恒文社刊 の翻訳)48
- 仏の畑の落ち穂、他 (1975 恒文社刊 の翻訳)48
- 八雲と俳諧 (仏領西インドの二年間 上 恒文社 1976)48
- 八雲の小説 (仏領西インドの二年間 下 恒文社 1976)48
- 八雲と近代文明 (東の国から・心 恒文社 1975)48
- 八雲と翻訳文学 (飛花落葉集・他 恒文社 1976)48
- 八雲と仏教思想 (仏の畑の落ち穂・他 恒文社 1975)49
- 怪談 (1957 岩波書店刊 の翻訳)49
- 怪談 改訳版 (1965 岩波書店刊 の翻訳)49
- 怪談・解説 (怪談/平井呈一訳 改訂版 岩波文庫 1994)49
- 小泉八雲作品集 (1954 筑摩書房刊 の翻訳)51
- 小泉八雲集 (1957 新紀元社刊 の翻訳)51
- 日本の面影(上) (小泉八雲全集 第1巻 みすず書房 1955)56
- 心 (小泉八雲全集 第4巻 みすず書房 1955)57
- 心 (1951 岩波書店刊 の翻訳)56
- 骨董 (1954 岩波書店刊 の翻訳)56
- 影 (小泉八雲全集 第4巻 みすず書房 1955)58
- 怪談 (小泉八雲全集 第8巻 みすず書房 1955)60
- 骨董 (小泉八雲全集 第8巻 みすず書房 1955)60
- 日本 (小泉八雲全集 第9巻 みすず書房 1954)60
- 日本：一つの試論 (1976 恒文社刊 の翻訳)62
- 八雲と日本 (その1、2) (日本瞥見記 上、下 1975 恒文社刊 より)62
- 日本瞥見記 上、下 (1975 恒文社刊 の翻訳)62
- 日本雑記、他 (1975 恒文社刊 の訳者)63
- 印象派作家日記抄 (全訳小泉八雲作品集 第1巻 1965 恒文社 の翻訳)66
- クリオール小品集 (全訳小泉八雲作品集 第1巻 1965 恒文社刊 の翻訳)66
- 中国怪談集 (全訳小泉八雲作品集 第1巻 1965 恒文社刊 の翻訳)66
- 八雲と異国趣味 (全訳小泉八雲作品集 第1巻 1965 恒文社刊 より)66
- 飛花落葉集 (全訳小泉八雲作品集 第2巻 1965 恒文社刊 の翻訳)66
- 八雲と翻訳文学 (全訳小泉八雲作品集 第2巻 1965 恒文社刊 より)66
- 仏領西インドの二年間 (全訳小泉八雲作品集 第3巻、第4巻 1966-67 恒文社刊
の翻訳)66
- 八雲と俳諧 (全訳小泉八雲作品集 第3巻 1966 恒文社刊 より)66

八雲の小説 (全訳小泉八雲作品集 第4巻 1966 恒文社刊 より)	66
日本警見記 上 (全訳小泉八雲作品集 第5巻 1966 恒文社刊 の翻訳)	66
日本警見記 下 (全訳小泉八雲作品集 第6巻 1966 恒文社刊 の翻訳)	66
八雲と民俗学 (全訳小泉八雲作品集 第5巻 1964 恒文社刊 より)	66
八雲と日本(その1) (全訳小泉八雲作品集 第6巻 1964 恒文社刊 より)	67
東の国から (全訳小泉八雲作品集 第7巻 1964 恒文社刊 より)	67
心 (全訳小泉八雲作品集 第7巻 1964 恒文社刊 より)	67
八雲と近代文明 (全訳小泉八雲作品集 第7巻 1964 恒文社刊 より)	67
仏の畑の落穂 (全訳小泉八雲作品集 第8巻 1964 恒文社刊 より)	67
異国風物と回想 (全訳小泉八雲作品集 第8巻 1964 恒文社刊 より)	67
八雲と仏教思想 (全訳小泉八雲作品集 第8巻 1964 恒文社刊 より)	67
霊の日本 (全訳小泉八雲作品集 第9巻 1964 恒文社刊 より)	67
明暗 (全訳小泉八雲作品集 第9巻 1964 恒文社刊 より)	67
日本雑記 (全訳小泉八雲作品集 第9巻 1964 恒文社刊 より)	67
八雲と再話文学 (全訳小泉八雲作品集 第9巻 1964 恒文社刊 より)	67
骨董 (全訳小泉八雲作品集 第10巻 1964 恒文社刊 より)	67
怪談 (全訳小泉八雲作品集 第10巻 1964 恒文社刊 より)	67
天の川綺譚 (全訳小泉八雲全集 第10巻 1964 恒文社刊 より)	67
八雲と怪談 (全訳小泉八雲作品集 第10巻 1964 恒文社刊 より)	67
日本 (全訳小泉八雲作品集 第11巻 1964 恒文社刊 より)	67
八雲と日本(その2) (全訳小泉八雲作品集 第11巻 1964 恒文社刊 より)	67
小泉八雲入門 (1976 古川書房)	80
ある女の日記 (1992 筑摩書房刊 の翻訳)	96
日本の風土 (外国人の見た日本 3 明治 1961 筑摩書房刊 の翻訳)	96
日本のこころ (外国人の見た日本 3 明治 1961 筑摩書房刊 の翻訳)	96
停車場で (悪いやつ物語 1990 筑摩書房刊 の翻訳)	96
八雲手引草 (文庫 第43号(1955) 岩波書店)	140

平川祐弘

クレオール物語 (講談社学術文庫 1991 の編者)	47
クレオール物語・解説 (講談社学術文庫 1991 より)	48
怪談・奇談 (講談社学術文庫 1990 の編者)	50
神々の国の首都 (講談社学術文庫 1990 の編者)	50
小泉八雲怪談奇談集(上)・解説 (河出書房 1988 より)	51
小泉八雲怪談奇談集(上)・文庫への解説 (河出書房 1988 より)	51
アメリカ雑録 (ラフカディオ・ハーン著作集 第1巻 1980 恒文社刊 より次の文について翻訳)	56
殺人事件 ヴァレンタインの日に思う ドリー：波止場の牧歌 バンジョー・ジムの物語 夢魔ならびに夢魔伝説 破られた手紙 ハメルンの笛吹き 最後のヴェドゥー教徒 ニューオーリンズの迷信	
アメリカ雑録・解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第1巻 1980 恒文社刊)	56
明治日本の面影(1990 講談社学術文庫 の編者のほか下記の翻訳を担当)	62
英語教師の日記から 日本海の浜辺で 日本人の微笑 力馬鹿 ひまわり 私の守護天使 橋の上 勝五郎の再生	
日本の心 (1990 講談社学術文庫 の編者のほか下記の翻訳と担当)	63
停車場にて 戦後に 君子 生神様 人形の墓 乙吉の達磨さん ある保守主義者	
Hearn's Kwaidan and Soseki's ghost stories (比較文学研究 第60(1991)東大 比較文学会編輯 特輯 ラフカディオ・ハーン より)	76
小泉八雲：回想と研究／平川祐弘編 (講談社学術文庫 1992)	78
小泉八雲：回想と研究 (1992 講談社学術文庫の編者のほか下記の翻訳を担当) ・ラフカディオ・ハーン ・祭りの踊り	78
小泉八雲の今日的意味 (小泉八雲：回想と研究 講談社学術文庫)	78
小泉八雲：西洋脱出の夢 (1981 新潮社刊)	78
小泉八雲：西洋脱出の夢 (1994 講談社学術文庫)	78
小泉八雲とカミガミの世界 (1988 文芸春秋刊)	81
オリエンタルな夢 (1996 筑摩書房刊)	89
世界の中のラフカディオ・ハーン (河出書房新社刊 の編者)	90
破られた友情 (1987 新潮社刊)	91
下駄の音 (開国の作法 1987 東京大学出版会刊 より)	98

母親のいるふるさと (「甘え」で文学を解く 1996 新曜社刊 より) -----	98
ハーンとケーベルの奇妙な関係 (開国の作法 1987 東京大学出版会刊) -----	99
異文化を生きた人々 (1993 叢書・比較文学比較文化 2 中央公論社刊) ----	99
講演<漱石とハーン> (ジェーンズとハーン記念祭:報告書 1992 -----	99
松江の洞光寺 (開国の作法 1987 東京大学出版会刊 より) -----	101
下駄の音 (新潮 第78巻第2号(1981) より) -----	109
A case of sympathetic understanding of the inner of Japan : Lafcadio Hearn (From "Japan in comparative perspective. University of Tokyo) ---	107
ハケルダマ (ユリイカ 第27巻第4号 1995.4 増頁特集「ラフカディオ・ハーン」 より) -----	110
ハーン、百年後の解釈 (金沢大学附属図書館報「こだま」第113号(1994)-----	111
小国の民の人、ハーン (へるん 第24号(1987) 八雲会編 恒文社刊) -----	116
「ヘルンと私」出版記念会 (へるん 第28号(1991) 八雲会編 恒文社刊) --	119
Lafcadio Hearn's and Koizumi Setsuko's "Oshidori" (University of Tokyo, 1987) -----	132
日本理解とは何であったのか (新潮 第82巻第2号(1985) より) -----	137
女ははたして和解したか (比較文学研究 第47号(1985) 東大比較文学会編 特輯「小泉八雲」より-----	137
夢の日本か、現実の日本か (雑誌「無限大」 No.88(1991) <特集>ハーン、 百年後の解釈 より) -----	140
対談・日本を知ること世界を知ること (雑誌「無限大」No.93(1993)より) 150	
漱石が書きそびれた一語 (毎日新聞 昭和59年3月8日号 より) -----	169
「西洋至上主義」をゆるがしたハーン (読売新聞 平成4年3月10日夕刊) ----	175
ハーンとケーベルの奇妙な関係 (ビデオ) -----	178
小泉八雲と夏目漱石 (世界と漱石国際シンポジウム報告書 1996) -----	180
平川節子	
小泉八雲来日百年記念フェスティバル印象記 (比較文学研究 第60号 東大比 較文学会編輯 恒文社発売 特輯 ラフカディオ・ハーン より) -----	76
平野仁啓	
「日本：一つの試論」について (ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻 月報 no. 6(1983) 恒文社刊 より) -----	126
平尾ひで子	
円頭太刀 (へるん 第22号(1985) 八雲会刊 より) -----	116
平岡伴一	
富山大学ヘルン文庫所蔵ヘルン関係文献解説付目録=Descriptive Catalogue of the Hearniana in the Hearn Library of Toyama University -----	2
ヘルンと富山 (ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会, 1968、2版) ----	75
小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン)に思う (北日本新聞 昭和25年6月25日) --	161
ヘルンと富山: 松江市を訪れて (富山新聞 昭和33年6月7日) -----	168
若き日のラフカディオ・ヘルン (富山新聞 昭和34年6月28日) -----	168
平田純	
ヘルン文庫所蔵ハーン著作一覧 (富山大学人文学部紀要 第11号(1986)) -----	3
ヘルン文庫所蔵ヘルン関連文献目録 (富山大学人文学部紀要 第15(1989) -----	3
ヘルン文庫: 南日恒太郎と馬場はる (馬場はる刀自・胸像建立記念 馬場はるさん の胸像をつくる会 1995)-----	6
ラフカディオ・ハーンの日本時代/シルヴィア・ヴァーダン・ツインガー著の翻訳 及び訳者追加文 (とやま文学 第9号(1992) 特集「ヘルン文庫」とL. ハーン 来日百年より) -----	141
ハーンのリリーフ胸像 (富山大学人文学部同窓会会報 No.12(1990)より) --	145
へるん文庫縁起 (富山大学学園ニュース No. 78, 79, 80 1992-1993) -----	151
ヘルン文庫 上下 (同朋 86号-87号 1985 同朋舎出版) -----	151
平田禿木	
英文学への道 (南雲堂 1956刊 より) -----	98

広瀬朝光

- 八戸の「コイズミヤクモ」 (歴史と文化：岩手大学人文社会科学部アジア
(日本学) 研究編 岩手大学人文社会科学部 1981刊) ----- 110
 ラフカディオ・ヘルン研究資料：「西田千太郎日記」について (島根大学文理学部
紀要 文学科編 第9号(1975) より) ----- 134
 ラフカディオ・ヘルン研究資料：山陰新聞記事 (島根大学文理学部紀要 文学科編
第10号(1976)より) ----- 134
 ラフカディオ・ヘルン研究資料(2) 「九州日日新聞」の記事を中心に (山陰文化研究
紀要 第16号(1976)より) ----- 134
 ラフカディオ・ヘルン研究資料(3) 「神戸又新日報」の記事・その他 (山陰文化
研究紀要 第17号(1977) ----- 134

ヒロセサダミ

- Lectures on literature [ハーン文学論] (Tokyo, Daigakusyoin, 1957) ----- 43

Hisada, Paul Kiyoshi

- Reminiscences of Lafcadio Hearn / Setsuko Koizumi ; translated from
Japanese by Paul Kiyoshi Hisada (Boston, Houghton, 1918) ----- 89

久松宏二

- 国語教材としての八雲作品 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻第11号(1991) 特集
・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)と日本 より) ----- 141

日吉恭子

- 小泉八雲を知って (八雲 第2号 焼津、小泉八雲顕彰会刊 1988) ----- 143

Hodges, Margaret

- The voice of the great bell / Lafcadio Hearn ; retold by Margaret Hodes.
(Boston, Little, c1963) ----- 14

Hoffmanthal, Hugo von

- Kokoro / Lafcadio Hearn ; mit Vorwort von Hugo von Hofmannsthal (Frankfurt
am Main : Rutten & Loening, 1922) ----- 71
 ラフカディオ・ハーン (小泉八雲/平川祐弘編 講談社学術文庫 1992) ----- 78
 Lafcadio Hearn (Gesammelte Werke in Einzelausgabe. Prosa II. Frankfurt
am Main S. Vischer, 1951) ----- 100
 Lafcadio Hearn : a tribute (Lafcadio Hearn Journal. Vol. 2, No. 1.
Cincinnati, Lafcadio Hearn Society) ----- 127

北条誠

- 怪談 (世界名作文庫 77) (東京, 偕成社, 1958) ----- 49

Hokuseido Press

- The complete Lafcadio Hearn lectures 1934) ----- 6

北星堂主人 :⇒ N. Y. 生 (中土氏)

- ヘルンの三十周年忌と草ひばり (The Pole Star Monthly) ----- 123

本田秀夫

- ハーンは松江のどのに着いたのか (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社刊 1993) ----- 75
 家庭の祭壇 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社刊 1993) ----- 75
 発刊にあたって (へるん 第1号(1964) 八雲会) ----- 112
 座談会・ハーンと高橋さん (へるん 第2号(1965) 八雲会) ----- 112
 八雲と「楠木正成」 (へるん 第8号(1969) 八雲会) ----- 113
 八雲文学遺聞 (へるん 第14号(1977) 八雲会) ----- 114
 旧松江中学校殿町校舎 (へるん 第16号(1979) 八雲会) ----- 114
 八雲作品の翻訳閑話 (へるん 第17号(1980) 八雲会) ----- 114
 八雲旧居尋訪 (へるん 第18号(1981) 八雲会) ----- 114
 第一次八雲会のことーその創立と業績 (へるん 第19号(1982) 八雲会) ----- 115

第一次八雲会のことーその創立と業績 (つづき) (へるん 第20号(1983))	115
第一次八雲会のこと (つづき) (へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
毛利八弥事務官 (へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
毛利八弥事務官 (へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
毛利八弥事務官 (補遺) (へるん 第24号(1987) 八雲会編 恒文社刊)	116
矢野峰人先生を悼む (へるん 第26号(1989) 八雲会編 恒文社刊)	118
文学碑こぼれ話 (へるん 第27号(1990) 八雲会編 恒文社刊)	118
ヘルン校舎保存運動顛末記 (へるん 第30号(1993) 八雲会)	120
本田康典	
小泉八雲とヘンリー・ミラー (へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
堀内守	
八雲が何度も戻ってきた (ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻 月報 No.4(1987) 恒文社刊)	127
穂積文雄	
Hearn の社会思想 (英語青年 第96巻第6号)	112
Hughes, George	
Hearn as a critic (比較文学研究 第60号/東大比較文学会編 恒文社発売)	76
文化人類学者としてのハーン (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房刊)	90
批評家としてのハーン (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房刊)	90
ラフカディオ・ハーン (雑誌「ユリイカ」 第27巻4号(1995) 青土社刊)	110
ラフカディオ・ハーン (異文化を生きる人々/平川祐弘編 中央公論社 1993)	99
文化人類学者としてのハーン (雑誌「無限大」 No.88(1991) 特集「ハーン百年後の解釈より」)	140
Hughes, John Christopher(editor)	
Period of the gruesome (Lanham, M.D. University Press of America, 1990)	28
Ye Giglampz/by introd., history, bibliography and notes by Jon Christopher Hughes (Cincinnati, Crossroads Books, 1983)	31
Hutson, Charles Woodward	
Fantastics and other fancies (Boston, Houghton, 1914)	10
Editorials (Boston, Houghton, 1926)	26
I	
市原麻里子	
「八雲の足跡を訪ねて/小泉凡」の挿絵 八雲会刊 1989	91
伊地知純正	
英文修業五十五年(7) (英語青年 第101巻7号(1955) より)	108
英文修業五十五年(8) (英語青年 第101巻8号(1955) より)	108
アテネ文化へのあこがれ (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
文は人なり (へるん雑話より) (へるん 第28号(1991)八雲会編 恒文社刊)	119
英文修業五十五年(5) (英語青年 第101巻4号(1955) より)	108, 148
アテネ文化へのあこがれ (へるん 第28号)	119
文は人なり (へるん 第28号)	119
市島謙吉 (春城)	
文人墨客を語る (南有書院, 1935)	97
「大隅重信と八雲」 (へるん 第26号(1989) 八雲会編 恒文社刊)	117
「栓をぬく人」マクドナルド (へるん 第29号(1992) 八雲会編 恒文社刊)	120

市河三喜

Lafcadio Hearn : a bibliography of his writings / P. D. and Ione Perkins ; with an introduction by Sanki Ichikawa(Lafcadio Hearn Memorial Committee by Hokuseido Press, 1934)	2
小泉八雲誌 1-17/市河三喜・北村恒夫編(英語研究 第26巻第1号～第27巻 第11号(1933-35))	3
Hearn Bibliography その他(東京、開隆堂, 1933)	3
Essays on American literature/ edited by Sanki Ichikawa	32
ハーンと我々(文芸研究小泉八雲号 文芸研究社刊 1928)	72
松江とハーン(ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会, 1968)	75
Some new letters and writings of Lafcadio Hearn/collected and edited by Sanki Ichikawa(Kenkyusha, 1925)	93
Some new letters and writings of Lafcadio Hearn/collected and edited by Sanki Ichikawa(Kenkyusha, 1950 再版)	93
昆虫・言葉・国民性(研究社刊 1939)	100
ハーンとクールベ(雑誌「愛書」 第7輯(1936)	105
大社のおたみさん(風土 第1冊 風土社刊 1950)	109
ハーンに関する事ども、於ハーン没後二十周年記念講演会(へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
ハーンとチェンバレン(心の花 第40巻第13号より)	112
ハーンとチェンバレン(文検世界 第23巻第1号より)	112
ハーンは何故えらいか(へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
松江の八雲八景(へるん雑話)(へるん 第28号(1991) 八雲会編)	119
小泉八雲記念館(博物館研究)	124
Correspondence(英文学研究 第13巻第1号(1933)の雑録より)	145
Correspondence(英文学研究 第19巻第1号(1939)の雑録より)	145
岡倉先生を追慕して(英語青年 第76巻第8号(1937)より)	149
Prof. Chamberlain の著書其他(英語青年 第73巻第2号(1935)	151
ハーン博物館(東京帝国新聞 昭和8年1月23日)	155
偉大な業績をおもう(小泉八雲百年祭に寄せて)(朝日新聞 昭和25年6月18日)	160
ハーン百年祭(日本読書新聞 昭和25年6月19日)	160
旧居について(ハーンの真価)(島根新聞 昭和25年6月29日)	163

井田徹

ハーンと大山(へるん 第29号(1992) 八雲会編 恒文社刊)	119
--	-----

井出弘之(訳者)

ある王国のロマンス(ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻 恒文社 1987)	60
英詩に描かれた理想的女性(ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻恒文社 1987)	60
現代詩における輪廻転生(ラフカディオ・アーン著作集 第10巻 恒文社 1987)	60

飯田操

エドワード・トマス ラフカディオ・ハーン(文化評論社、1990)	73
--	----

飯塚喬一

教育者としての小泉八雲(ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会, 1968)	75
--	----

飯塚俊夫

大谷正信先生の思い出(へるん 第10号(1973) 八雲会)	113
--------------------------------------	-----

伊狩章

日本文学とフランス文学(比較文学 矢島書房刊 1957 3版)	102
---------------------------------------	-----

池田紀美子

「アメリカ雑録」より(大めがね、想像力芸術の哲理、サブハドラ、死せる妻、 聖ブランダンのクリスマス、三つの夢、破られた手紙、サンマロ、ギュスターヴ ・ドレ、ドレの大鶴、「生命法則」の大問題、調和と妥協の論理 の訳文) (ラフカディオ・ハーン著作集 第1巻 恒文社刊 1980 より)	56
お大の場合(明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)	62

日本の病院で (明治日本の面影／平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)-----	62
ハーン・転生・死女の恋 (小泉八雲：回想と研究 講談社学術文庫 1992)-----	78
大学講師としてのハーン：西洋文学の紹介者 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号 (199 1) 特集・小泉八雲と日本)-----	136
池田正年	
猫三態 (島根大学法文学部紀要 文学科編 第4号Ⅱ(1981) より)-----	136
池田雅之	
文学の解釈Ⅰ (ラフカディオ・ハーン著作集 第6巻の 第1章、第2章、第3章、 第6章、第7章、第8章の翻訳 恒文社刊 1980)-----	59
文学の解釈Ⅰ・解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第6巻 恒文社 1980)-----	59
文学の解釈Ⅱ (ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻の 第9章、第10章、 第13章、第17章、第18章、第19章の翻訳 恒文社刊 1985)-----	59
第17章、第18章、第19章、の翻訳、及び解説 恒文社刊 1985)-----	59
人生と文学 (ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 の翻訳 恒文社刊 1988)-----	60
詩人・詩人論 (ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻 の第1章、第10章、 第11章の翻訳 恒文社刊 1987)-----	61
おとぎの国の妖精たち (社会思想社刊 1995 の訳編)-----	63
おとぎの国の妖精たち 2 (社会思想社刊 1996 の訳編)-----	64
小泉八雲の日本 (第三文明社刊 1990)-----	80
世界の中のハーン像と国際交流 (ジェーンズとハーン記念祭：報告書 熊本、 ジェーンズとハーン記念実行委員会刊 1992)-----	99
妖精たちの棲むところ (雑誌「ユリイカ」第16巻第8号(1984) より)-----	110
熊本講演の思い出 (へるん 第26号(1989) 八雲会刊 1989)より)-----	118
八雲と漱石 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 月報 no.14(1988) 恒文社刊)-----	126
魂の教師ラフカディオ・ハーン (雑誌「潮」305号(1984) 潮出版社 より)-----	140
ハーン再話文学 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻第11号(1991)小泉八雲と日本)-----	141
妖精たちの棲むところ：ハーン「怪談」の世界 (ユリイカ 第16巻第8号)-----	144
池橋誠	
日本精神に理解者 (ヘルンを訪ねる／池野誠編 島根出版文化協会, 1968)-----	75
池橋達雄	
西田千太郎蔵書について (研究紀要：島根県立松江北高等学校 第13・14号(1982) より)-----	3
汽船と人力車：ヘルンの足跡 (ヘルン今昔／八雲会編 恒文社, 1990 より)-----	74
社会観・宗教観 (ヘルン今昔／八雲会編 恒文社, 1990 より)-----	74
中学での授業：教師生活 (ヘルン今昔／八雲会編 恒文社, 1990 より)-----	74
海水浴 (ヘルン今昔／八雲会編 恒文社, 1990 より)-----	74
中学での授業 (ヘルン今昔／八雲会編 恒文社刊, 1990 より)-----	74
島根県教育会館の現地保存を訴える (へるん 第12号(1975) 八雲会刊 より)-----	113
ヘルンとセツの結婚 (1) (へるん 第12号(1975) 八雲会)-----	113
ヘルンとセツの結婚 (2) (へるん 第13号(1976) 八雲会)-----	113
「西田千太郎日記」のことども (へるん 第26号(1989)八雲会編、恒文社刊)-----	117
ハーンと私 (へるん 第27(1990)八雲会編、恒文社刊)-----	118
追悼・森亮氏 (へるん 第31号(1994)八雲会編 恒文社刊)-----	121
<書評>真貝義五郎訳「ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集」 (へるん 第32号(1995)八雲会編 恒文社刊)-----	121
ハーンと地震――へるん雑話 (へるん 第32号(1995) 八雲会)-----	121
晩餐とハーン――へるん雑話 (へるん 第32号(1995) 八雲会)-----	121
西田千太郎日記 (島根郷土資料刊行会, 1976)-----	178
池野誠	
「西田千太郎あて書簡」解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻(1983))-----	61
ヘルンを訪ねる／池野誠編 (島根出版文化協会 1968)-----	75
はじめに (ヘルンを訪ねる／池野誠編 島根出版文化協会, 1968)-----	75
写真集<山陰路と小泉八雲>-----	75

八雲の文学と人生観（ヘルンを訪ねる／池野誠編 島根出版文化協会，1967）	75
小泉八雲と松江（小泉八雲と松江 島根出版文化協会，1970）	81
松江の小泉八雲（山陰中央新報社，1980）	88
ヨーロッパに小泉八雲を訪ねる（松江、今井書店，1972）	92
八雲の文学と人生観（その1）（へるん 第1号(1965)八雲会）	112
八雲の文学と人生観（その2）（へるん 第2号(1965)八雲会）	112
八雲の文学と人生観（その3）（へるん 第3号(1966)八雲会）	112
八雲の文学と人生観（その4）（へるん 第4号(1966)八雲会）	113
八雲の文学と人生観（その5）（へるん 第5号(1967)八雲会）	113
ヘルンと隠岐（へるん 第7号(1968) 八雲会）	113
わが国近代文化とハーン（へるん 第8号(1969)八雲会）	113
欧州のハーン調査を終えて（へるん 第9号(1970)八雲会）	113
書簡より見た松江時代の八雲（へるん 第10号(1973) 八雲会）	113
佐川春水先生の八雲観（へるん 第10号(1973)八雲会）	113
ラフカディオ・ハーンと日本の作家（へるん 第10号）	113
稲垣巖遺稿特別掲載について（へるん 第11号(1974)八雲会）	113
松江と八雲の史跡（へるん 第11号(1974) 八雲会）	113
伝承文学と八雲（へるん 第11号(1974)八雲会）	113
西田宛て八雲書簡（へるん 第24(1987)八雲会）	116
八雲会創立（へるん 第27号(1990)八雲会）	118
松江の小泉八雲（明治村通信 第48号(1974)）	135
NHKテレビ・ドラマ「日本の面影」批判（研修：島根県立平田高等学校 第17号1984）	137
新発見のハーン書簡（英語青年 第117 巻第3号(1971)）	139
池塚俊夫	
大谷正信先生の思い出（へるん 第10号(1973)八雲会）	113
今江正知	
第五高等学校とハーン（ラフカディオ・ハーン再考／熊本大学小泉八雲研究会編 恒文社刊，1993）	85
今村明恒	
「稲むらの火」の教え方に就いて（震災予防評議会，1940）	76
稲垣巖	
Lectures on Shakespeare/by Lafcadio Hearn;edited by Iwao Inagaki(Hokuseido Press, 1931)	35
小泉八雲全集 第5巻 第一書房，1926刊 の翻訳	52
小泉八雲全集 第12巻 第一書房，1927刊 の翻訳	54
小泉八雲全集 第13巻 第一書房，1926刊 の翻訳	54
遺稿「大男と小女」（へるん 第11号(1974)八雲会）	113
猪飼隆明	
外国人と熊本（ラフカディオ・ハーン再考／熊本大学小泉八雲研究会編 恒文社，1993）	85
井上美沙子	
韻律学心得（英文学崎人列伝（ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻 恒文社 1987刊））	60
井上ソウジ	
Hearn's essays / by Lafcadio Hearn ; with introduction and notes by Soji Inoue. Kyoto : Yamaguchi Shoten, 1958	42
Kwaidan/with introduction and notes by Soji Inoue (Kyoto, Yamaguchi Shoten, 1958)	42
井上哲次郎	
フェノロッサと小泉八雲に就いて（国語教室 第3巻第9号(1937)文学社刊）	109

小泉八雲と仏教 (真理 第1年第9号)	125
忘れえぬ風貌 (文芸春秋 第15巻8号(1937)より)	141
井上嘉雄	
ウエストンとハーン (山と博物館 第30巻第1号)	142
入沢康夫	
ハーンのネルヴァル論 (雑誌「ユリイカ」 第27巻第4号(1995)より)	110
ハーンにかかわる私的な思い出と関心 (ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 月報 no. 15(1988))	123
石一郎	
小説小泉八雲 第1部 (雑誌「すばる」第3巻10号(1981)より)	135
小説小泉八雲 第2部 (雑誌「すばる」第3巻11号(1981)より)	135
たたかう仮面舞踏会 (明治大学教養論集 通巻92号)	140
石田憲次 131, 135	
"P. E. More and American criticism" / by Robert Shafer の批評 (英文学研究 第17巻第3(1937))	138
私のすすめる英書 (英語研究 第42巻第5号(1953)より)	141
石原喜久太郎	
ヘルン先生の思出 (英語青年 第70巻第7号)	123
石原亨	
近代作家とラフカディオ・ハーン(1)(へるん 第31号(1994)八雲会編 恒文社)	120
近代作家とラフカディオ・ハーン(2)(へるん 第32号(1995)八雲会編 恒文社)	121
近代作家とラフカディオ・ハーン(3)(へるん 第33号(1996)八雲会編 恒文社)	122
石川林四郎	
小泉八雲全集 第4巻 第一書房 1927刊 の訳者	52
石倉俊寛	
「へるん」誌創刊を祝う (へるん 第1号(1965) 八雲会 1965)	112
石村春荘	
八雲の第二住居時代 (風土、小泉八雲記念号 第1冊 1950)	109
石附稔	
ハーンと文化的保守主義 (ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻 月報 no. 6 (1983)より)	126
伊藤欣二	
虫とギリシャの詩. 子供のうたった詩. ロセッティの「海のきわみ」の翻訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻 恒文社刊 1987 より)	60
伊藤益臣	
八雲旧居おなごあるじ (思想の科学 No. 125(333)(1980)より)	144
伊藤亮輔	
英国研修旅行から (へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
「小豆とき橋の女幽霊」とアイルランド民謡 (へるん 第22号(1985)八雲会) ..	116
怪談「耳なし芳一のはなし」源泉をアイルランドに求めて (へるん 第23号(1986) 八雲会編 恒文社刊)	116
怪談「食人鬼」の出典の考証 (へるん 第24号(1987)八雲会編 恒文社刊)	117
「破られた約束」のルーツを考える (へるん 第25号(1988)八雲会編 恒文社刊)	117
怪談「十六ざくら」とアイルランド伝説 (へるん 第31号(1994)八雲会編)	121
ハーンの世界にみられる旧約聖書「雅歌」の影響 (へるん 第32号(1995)八雲会編 恒文社刊)	121

伊藤整	
日本文壇史(講談社, 1958 第2章 より)	102
小泉八雲の死: 日本文壇史 平民新聞の頃(群像)	123
岩淵慶造(挿絵)	
「怪談」をかいたイギリス人小泉八雲(東京、岩崎書店 1992)	77
岩原康夫	
論説集(ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻(1988) 恒文社刊の翻訳)	58
ラフカディオ・ハーンとイマジストの接点(ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 月報 No.11(1987) より)	122
岩崎鑑一	
文体論---Briessen とWeber (英文学研究 第19巻第2号(1939)の批評文)	107
岩崎志濃	
八雲と焼津海岸(へるん 第25号(1988)八雲会編 恒文社刊)	116
八雲と焼津海岸: 「焼津にてI」を中心に(へるん 第25号(1988)八雲会編 恒文社刊)	116
八雲と焼津海岸: 「焼津にてII」を中心に(へるん 第26号(1989)八雲会編 恒文社刊)	117
八雲と焼津海岸: 「焼津にてIII」を中心に(へるん 第27号(1990)八雲会編 恒文社刊)	118
八雲と焼津海岸: 「焼津にてIV」を中心に(へるん 第28号(1991)八雲会編 恒文社刊)	119
八雲と焼津海岸: 「漂流」を中心に(へるん 第29号(1992)八雲会編 恒文社刊)	119
八雲と焼津海岸: 漂流考(へるん 第30号(1993)八雲会編 恒文社刊)	120
八雲と焼津海岸: 漂流考(2)(へるん 第31号(1994)八雲会編 恒文社刊)	121
八雲と焼津海外: 「乙吉のダルマ」と<魚街道>(へるん 第32号(1995)八雲会編 恒文社刊)	121
八雲と焼津海外: 「乙吉のダルマ」と八雲だるま(へるん 第33号(1996)八雲会 編 恒文社刊)	122
岩瀬恭	
"Lafcadio Hearn"の発音(英語青年 第99巻12号(1953) より)	129
岩下雄二	
小公園の隣の俳句会場(くまもとハーン通信 No. 1 1994)	181
伊沢東一	
文学の解釈Iの中の第15章の翻訳(ラフカディオ・ハーン著作集 第6巻(1980) 恒文社刊)	59
文学の解釈IIの中の第6章の翻訳(ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻(1985) 恒文社刊)	59
井沢友雄	
ハーンと民謡に就て(大阪商業大学論集 第11号)	112
ヘルン文学の基調と現代的意義に就いて(大阪商業大学論集 第9号)	122
J	
Jahn, Erwin	
Lafcadio Hearn's Japanbild (アカデミア: 人文・体育篇 31号 南山大学 南山学会刊)	132
ジェーンズとハーン記念祭実行委員会	
ジェーンズとハーン記念祭: 報告書(熊本, ジェーンズとハーン記念実行委員会 1992刊)	99

(A-34)	(Johnson, F. ~ 梶谷泰之)	
Johnson, Frederick(translator)	Reminiscences of Lafcadio Hearn/by Setsuko Koizumi(houghton, 1918)	89
Johnson, William S	Lafcadio Hearn:selected writings, 1872-1877/edited and compiled by Wm. S. Jonson(Indianapolis, Woodruff, 1979)	11
寿岳文章		
	Letters from Shimane and Kyushu by Lafcadio Hearn(Kyoto, Sunward, 1934)	93
	和紙と八雲(風土 第1冊(1950) 風土社刊)	109
	解嘲(へるん 第4号(1966) 八雲会)	113
	私の戦中戦後史抄(9) 向日庵の思い出(英語青年 第130 巻第4号(1984))	141
	素顔の八雲(朝日新聞 昭和25年6月18日 小泉八雲百年祭に寄せて)	160
十一谷義三郎(訳者)		
	東西文学評論(聚芳閣 1926)	65
	ヘルン善人の書(東京 金星社 1937)	65

K

K. H.		
	<書評>Japanese stories from Lafcadio Hearn, put into basic by T. Tanabe (英語青年 第70巻第2号(1933))	150
カバット, アダム		
	Passional Karma と「牡丹燈籠」(比較文学研究 第47号)	138
門脇由紀子(訳者)		
	英文学崎人伝(ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻(1987)恒文社)	60
梶谷延 ⇨ 梶谷泰之		
梶谷泰之		
	小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第1巻(1990)八雲会編 の解説)	5
	小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第3巻(1992)八雲会編 の解説)	5
	へるん百話(八雲会刊 1990)	62
	川津と持田(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社刊 1993)	74
	天皇誕生日(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社刊 1993)	75
	横木富三郎(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社刊 1993)	75
	ラフカディオ・ハーンの記事から(島根出版文化協会刊 1968)	75
	出雲路にハーンを訪ねる(ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会、1968)	75
	ハーンの日本文書簡(ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会、1968)	75
	ハーン資料と考証五つ(ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会、1968)	75
	ヘルンと杵築/島洋之助〔ほか〕著 (大社ヘルン会 1954年刊)	76
	影四郎の名(炎と光の人小泉八雲/西野影四郎著 講談社 1979刊 より)	76
	小泉八雲・松江=Lafcadio Hearn in Matsue /松江観光協会小泉八雲記念事業 実行委員会編 松江観光協会刊 1984 の監修・原作英文対訳)	79
	本書の刊行に寄せて(ラフカディオ・ハーン的面影を追って/山陰中央新報社編 恒文社刊 の序文)	85
	松江乃へるん(松江, 小泉八雲記念館, 1956 改訂再版)	88
	ハーンと日本風土(世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房 新社 1990)	90
	Folkloristハーンのスラング集(英語青年 第123 巻第8号(1977))	109
	ハーンの足の裏(風土 第1冊 1950)	109
	外人教師ワレット・アレキサンドル及びタットルについて(続ハーン資料) 島根大学論集 人文科学 第13号(1965)	109
	ハーンの露国皇太子見舞い電報(英語青年 第104 巻第7号)	112
	母を慕う心(へるん 第1号(1965) 八雲会)	112

考証二つ(へるん 第3号(1966) 八雲会)	112
4月31日付けの手紙(へるん 第4号(1966) 八雲会)	113
八雲ゆかりの人(へるん 第5号(1967) 八雲会)	113
ハーンと学生牧野茅(へるん 第5号)	113
皇太子ご夫妻を小泉八雲記念館にお迎えして(へるん 第6号(1968))	113
ハーン・八雲(はうん)説(へるん 第8号(1969) 八雲会)	113
京都とハーン(へるん 第8号)	113
ハーンと大谷正信に関する珍資料(へるん 第12号(1975) 八雲会)	113
東大赴任直前のハーンの行動について(へるん 第13号(1976) 八雲会)	113
東大赴任直前のハーンの行動について(続)(へるん 第14号(1976) 八雲会)	114
ハーンとアメリカ俗語(へるん 第14号(1977) 八雲会)	114
ハーンの研究について二三のこと(へるん 第15号(1977) 八雲会)	114
ハーンと内村鑑三こぼれ話①(へるん 第16号(1979) 八雲会)	114
会員西野影四郎氏の好著(へるん 第16号(1979))	114
ハーン生誕百三十年にあたり最近の研究二つを眺めて(へるん 第17号(1980))	114
小泉八雲生誕百三十年祭に思う(へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
西田敬三氏を偲んで(へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
根岸菖蒲さんの逝去を悼む(へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
ヴァレット(ワレット)余談(へるん 第19号(1982) 八雲会)	115
嵩山は望夫山か(へるん 第19号(1982) 八雲会)	115
「へるん」第20号発行の喜びと感謝(へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
下市盆踊り考(へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
小泉八雲記念館新築竣工を祝して思うこと(へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
ハーン最後の手紙(訳)(へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
新発見の手紙二通とハーン死因について(へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
作品の中の日付について(へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
ハーンと桂月(へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
モデルの作品・日付の謎(へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
昭和天皇・今上両陛下と小泉八雲(へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
ハーンを怒らせた学生(へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
八雲会を省みて(へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
横木三郎とそのノート(へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
真名井神社の秘宝絵図(へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
「件」(くだん)の話(へるん 第30号(1993) 八雲会)	119
残酷な三つの話のことなど(へるん 第31号(1994) 八雲会)	120
八雲会の思い出(要旨)(へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
作品、「出雲への旅日記」と汽船、土佐丸の謎への試論(へるん 第32号)	121
ハーンと中海(へるん 第33号(1996) 八雲会)	121
京都におけるラフカディオ・ハーンとウェンセスラフ・デ・モラエス(その2) (京都外国語大学研究論叢 第11号(1970))	125
キング氏の思い出とハーン(ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 月報 No.14 (1988) より)	126
Lafcadio Hearnに関する資料と考察(京都外国語大学論叢 第14(1973)より)	128
Lafcadio Hearnの紀行文"From Hoki to Oki"について(島根大学学十周年記念 論文集 人文科学篇(1950))	129
ラフカディオ・ハーンの松江時代に関する資料と考証 その2(島根大学論集 (人文科学)第7号(1957)より)	130
ラフカディオ・ハーンの松江時代に関する資料と考証 その3(島根大学論集 (人文科学)第8号(1958)より)	130
ラフカディオ・ハーンの松江時代に関する資料と考証 その4(島根大学論集 (人文科学)第9号(1959)より)	130
Lafcadio Hearnの松江時代に関する資料と考証 その5(島根大学論集 (人文科学)第10号(1961)より)	130
Lafcadio Hearnの松江時代に関する資料と考証 その6(島根大学論集 (人文科学)第11号(1962)より)	130
ラフカディオ・ハーンとウェンセスラフ・デ・モラエスと烈女畠山勇子 (京都外国語大学研究論叢 第10号(1968))	133
ハーンとモラエスと畠山勇子(明治村通信 第48号(1974)より)	135
島根大学の小泉八雲関係資料(日本古書通信 第30巻9号(1965)より)	139

ハーンと日本の風土(国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号(1991) 特集・小泉八雲と日本より)	141
焼津と市宝(八雲 第4号(1991) 焼津、小泉八雲顕彰会刊)	143
続ハーン資料と考証[1](山陰文化研究紀要 第6号(1975))	145
続ハーン資料と考証[2](山陰文化研究紀要 第7号(1976))	145
明治初期の教育事情並びに資料(山陰文化研究紀要 第3号(1962))	149
思い出の小泉八雲(座談会)(山陰新報 昭和29年9月21日)	164
外国タバコも吸う、梶谷教授が新事実を発表、温泉津にも旅行の経験(毎日新聞 昭和29年9月28日)	166
小泉八雲記念館の竣工に思う(山陰中央新報 昭和59年3月19日)	169
角田直一 ⇨ スミタ ナオイチ	
角田洋三	
稲垣巖家について(へるん 第22号(1985) 八雲会編 恒文社刊)	116
ハーンとローエル(へるん 第24号(1987) 八雲会編 恒文社刊)	117
稲垣巖家について(へるん 第25号(1988) 八雲会編 恒文社刊)	117
稲垣巖家について(再び)(へるん 第26号(1989) 八雲会編 恒文社刊)	118
ハーンのクリオール料理(へるん 第27号(1990) 八雲会編 恒文社刊)	118
マルチニーク島でのハーン(へるん 第28号(1991) 八雲会編 恒文社刊)	119
ハーンの食生活(へるん 第29号(1992) 八雲会編 恒文社刊)	119
ハーンのお父さん像(へるん 第30号(1993) 八雲会編 恒文社刊)	120
ミニ・アトキンソン夫人への手紙(へるん 第31号(1994) 八雲会)	120
一雄への教育(へるん 第32号(1995) 八雲会編 恒文社刊)	121
教師としてのハーン(へるん 第33号(1996) 八雲会編 恒文社刊)	122
鎌田東日	
ラフカディオ・ハーンと神道(北陸中日新聞 1995年8月29日)	176
上伊那郡教育委員会	
小泉八雲鈔(上伊那郡教育会, 1937)	52
金山信三郎	
見つけたハーンの記事・ヘルン氏の島尾中将に与ふる書(島根新聞 昭和45年11月30日)	168
金沢公子	
[書評] Denise Brahimi(Paris, La Boite a Documents, 1990) (比較文学研究 第60号 東大比較文学会編 恒文社発売)	76
金沢豊(訳者)	
文学の解釈I(ラフカディオ・ハーン著作集 第6巻 恒文社刊 1980)	59
神田庄二(訳者)	
詩人・詩人論(ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻 恒文社刊 1987)	61
金子健二	
小泉八雲全集 第5巻 第一書房 1926の翻訳	52
小泉八雲全集 第10巻 第一書房 1927の翻訳	53
小泉八雲全集 第13巻 第一書房 1927の翻訳	54
人間漱石(東京, いちろ社, 1948)	101
「ヘルン先生書簡集」: 学生版全集内容見本より(へるん 第33号(1996))	122
オレゴンのバイロン研究(学苑: 昭和女子大学光葉会 第210号(1950))	149
金子務	
アインシュタインの訪日とハーン体験(世界の中のラフカディオ・ハーン/平川 祐弘編 河出書房)	90
アインシュタインの訪日とハーン体験(雑誌「無限大」 No. 88(1991))	140

嘉納康晴		
レフカダ島のハーン記念碑 (へるん 第31号(1994) 八雲会編 恒文社刊)	-----	121
漢東種一郎		
ヘルンの写真 (ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会, 1968)	-----	75
小泉一雄氏と小山久二郎氏 (へるん 第1号(1965) 八雲会)	-----	112
座談会・ハーンと高橋さん (へるん 第2号(1965) 八雲会)	-----	112
萩と雁と石灯籠と (へるん 第14号(1977) 八雲会)	-----	114
志賀直哉とハーンと松江 (へるん 第16号(1979) 八雲会)	-----	114
八雲忌と加藤鱈人 (へるん 第19号(1982) 八雲会)	-----	114
第1回八雲忌全国俳句大会について (へるん 第22号(1985) 八雲会)	-----	116
第2回八雲忌全国俳句大会について (へるん 第23号(1986) 八雲会)	-----	116
思い出の小泉八雲 (座談会) (山陰新報 昭和29年9月21日)	-----	164
唐木順三		
外国人の見た日本の風光・風物 (日本人の心の歴史 下 筑摩書房 1970)	-----	98
刈谷新三郎 (訳者)		
小泉八雲選集 第1篇 (嶺光社・開隆堂, 1926)	-----	69
小泉八雲選集 第2篇 (嶺光社・開隆堂, 1927)	-----	69
笠井満 (訳編)		
Hearn: In French West Indies (英語研究 第39巻第6号(1950))	-----	130
柏倉俊三		
神国日本 (平凡社, 1987 東洋文庫 292 の訳注)	-----	64
「ハドソン」 (研究社英米文学評伝叢書) (英語青年 第73巻第1号(1935))	-----	148
片田一徹		
ラフカディオ・ハーン(Lafcadio Hearn)の短篇数篇に見出される素朴美 (松阪女子 滝大学論叢 創刊号(1964))	-----	131
形田藤太		
蒲原有明論 (国文学 第9巻第4号(1931)明治文豪論 より)	-----	148
片上伸		
小泉八雲先生の面影 (へるん 第30号(1993) 八雲会編 恒文社刊)	-----	120
片岡きぬ		
小泉八雲先生の思い出 (八雲 第1号(1988) 焼津 小泉八雲顕彰会)	-----	142
片寄生		
八雲の紋所 (英語青年 第69巻第11号(1933))	-----	144
加藤淳平		
対談: 日本を知ること世界を知ること (雑誌「無限大」 No. 93(1933))	-----	150
Kato, Kazumitu		
Japan's religions: Shinto and Buddhism/edited by Kazumitu Kato(University Books, c1966)	-----	19, 34
加藤光也		
詩の鑑賞 (ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻 恒文社 1983 の翻訳)	-----	60
訳者あとがき (ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻 恒文社 1983)	-----	60
勝部顕三郎		
ヘルンのこと (ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会, 1968)	-----	75
勝部真長		

(A-38)	(勝部真長 続 ～ Keene, D.)	
	ハーンとキリスト教 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号(1991))	141
カツベ、ミタケ	Hearn and Japanese thought (Today's Japan. Vol. 4, no. 1(1959))	111
河原畑正行	八雲と五高 (齊藤勇博士古希祝賀論文集「英文学研究」1955より)	103, 144
	第5高等学校におけるラフカディオ・ハーン (法文論叢 第17号(1964) 熊本 大学法文学会刊)	108
	ラフカディオ・ハーンの講義用メモ (ビブリア 天理大学図書館報 No. 34(1966))	129
	ラフカディオ・ハーンの草稿 (日本文化 第4輯第9号(1937))	131
	龍南哲学者の道 (くまもとハーン通信 No. 2 1995)	181
河合忠信	ラフカディオ・ハーン文庫の分類法について (天理大学図書館報 ビブリア 第3号(1955)より)	2
	外山正一と小泉八雲 (天理大学図書館報 ビブリア 第34(1966))	141
河盛好蔵	翻訳文学について (英語研究 第42巻6号(1953)より)	148
川角捨兵衛	小泉八雲先生の松江時代 (文華 第35)	124
川本信正	嘉納治五郎③ (日本経済新聞 昭和60年10月17日)	173
河島弘美	アメリカ雑録 (ラフカディオ・ハーン著作集 第1巻(1980) 恒文社刊) 以下について翻訳. 奇妙な体験、人間遺体の利用に関する覚え書、毒殺の歴史 尖塔に登って、貧しい暮らしのスケッチ、顔の研究、嘘の進歩、率直さ、詐欺、 星の運命、太陽系の運命 ケーブルの物語、ニューオーリンズ最後のフェンシ ング師範	56
	京都旅行記 (明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)	62
	富士の山 (明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)	62
	旅の日記から/翻訳 (日本の心/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)	63
	ロチの紀行文からハーンの紀行文へ (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘 編 河出書房新社)	90
	女神との心中 (比較文学研究/東大比較文学会編 第47号(1985))	135
	鎌倉から京都へ (無限大)	140
	小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン) 研究の軌跡 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻第 11号(1991)特集・小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン) と日本 より)	141
	[書評] 「ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 ゴンボ・ゼーブル、カルマの ほか 恒文社刊 1983	151
川田順	座談会・ハーンの講義と文学 (英語青年 第111 巻第12号(1965))	145
川谷恂郎	ヘルンと京都 (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
	ハーンの大坂紀行 (へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
カバット, アダム	A passionate Karma と「牡丹燈籠」 (比較文学研究/東大比較文学会編 第47号 (1985)より)	138
Keene, Donald	Earless Ho-ichi/by Lafcadio Hearn; with an introduction by Donald Keene. (Kodansha International, 1966)	15

Kennard, Nina H	
Lafcadio Hearn (London, Eveleigh Nash, 1911)	82
Lafcadio Hearn (New York, Appleton, 1912)	82
Keys, Mary	
Lafcadio Hearn and Alethea(Mattie) Foley(Lafcadio Hearn Journal. vol. 3, no. 1(1993) Cincinnati, Lafcadio Hearn Society)	127
木幡吹月	
名誉市民の適格者(へるんを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
木俣修	
「小泉八雲の横顔」に就て(Pole Star Monthly)	124
木村涼子	
私の心の鏡(へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
ハーンとチェンバレン(へるん 第24号(1987) 八雲会)	116
木村駿吉	
ハーバート・スペンサーの書翰とラフカディオ・ハーンの論評(学会月報 第573号(1935)より)	110
木村毅	
ラフカディオ・ヘルン素描(明治村通信 第48号(1974))	135
Poeと明治文学(4)(英語青年 第103巻第10号(1957))	138
Poeと明治文学(5)(英語青年 第103巻第11号(1957))	138
Poeと明治文学(6)(英語青年 第103巻第12号(1957))	138
Poeと明治文学(7)(英語青年 第104巻第2号(1958))	138
[ヘルンのHistory of English literatureをすすめる]	123
木村東吉	
松江時代の小泉八雲(国文学 解釈と鑑賞 第56巻第11号(1991)特集・小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン)と日本 より)	141
金原理	
秋月胤永(ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲研究会編 恒文社刊 1993 より)	85
King, Francis	
Writings from Japan = 日本随想/an anthology edited with an introduction by Francis King(Penguin Books, 1984)	38
帰属と距離(世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房)	90
孤独な旅人(日本の雨傘/フランシス・キング著 河合出版 1991 より)	100
木下順二	
ハーン、ジェインズのことなど(ジェーンとハーン記念祭 熊本, ジェーンズと ハーン記念実行委員会 1992)	99
木下毅	
Azure psychologyと明治美学(英語青年 第111巻第12号(1965) より)	106
Kirkup, James	
Hearn in my heart(Kirihara shoten, 1985)	74
Kirkwood, Kenneth R.	
Unfamilliar Lafcadio Hearn (Hokuseido Press, 1936)	90
岸重次	
Lafcadio Hearn's lectures on Tennyson/ compiled by Shigetsugu Kishi.	

(Hokuseido Press, 1941)-----	35
ラフカディオ・ハーン先生の追憶 (北国文化 第6巻第2号(1951) -----	132
北村常次	
小泉八雲誌 1-17 (英語研究 第26巻1号～第27巻11号(1933~1935) より) -----	3
Lafcadio Hearnに就いて (英語青年 第96巻第6号(1950)) -----	128
喜多村和之	
外国人教師の悲劇 (「国際化」の中の大学 4 UP (東京大学出版会) No. 145 (1984) より) -----	109
北山宏明	
小泉八雲と焼津 (焼津市教育委員会・焼津八雲顕彰会 1987 パンフレット) -----	8
焼津の八雲旧居住 (へるん 第12号(1975) 八雲会) -----	113
八雲出生地レフカダ島と訪ねて (へるん 第24号(1987) 八雲会) -----	116
八雲記念碑 (駅前) について (八雲 第1号(1988) 焼津、小泉八雲顕彰会) -----	142
小泉家菩提寺を訪う (八雲 第2号(1988) 小泉八雲顕彰会) -----	143
八雲とお酒と「漂流」の福寿丸について (八雲 第3号(1990)小泉八雲顕彰会) -----	143
八雲と日本の神神 (八雲 第4号(1991) 小泉八雲顕彰会) -----	143
小泉八雲記念館設立について (八雲 第5号(1992) 小泉八雲顕彰会) -----	143
小泉八雲と仏教 (八雲 第6号(1993) 小泉八雲顕彰会) -----	143
小泉八雲と焼津 (八雲 第9号(1996) 小泉八雲顕彰会) -----	143
Kitsudo, Masahiro	
Hearn's tales and letters/ed. with notes by Kageshiro Nishino & Masahiro Kitsudo (京都 国際出版社 1974) -----	42
Kitzinger, Angela.	
Lafcadio Hearn as translator(Today's Japan. v. 4) -----	126
Kitzinger, Lilo	
Lafcadio Hearn and his relations in Dublin (英語青年 第119 巻第2号(1973) より) -----	126
Kneeland, Henry Tracy	
Lafcadio Hearn's brother (Atlantic Monthly. 1923) -----	132
小林定義	
ベインズ氏のハーン「詩人論」 (へるん 第14号(1977) 八雲会) -----	114
Kobayashi, T.	
Kwaidan=怪談/by Lafcadio Hearn ; notes by T. Kobayashi. (Daigakusyorin, 1951) -----	43
小林敏也	
耳なし芳一・雪女/保永貞夫・訳、小林敏也・絵 (講談社青い鳥文庫, 1992 -----	62
小平直行	
「女王の都市」の新聞記者 (ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲 研究会編 恒文社刊 1993) -----	85
小瀧空明	
八雲あれこれ (風土 第1冊 松江、風土社、1950 より) -----	109
小玉晃一	
ラフカディオ・ハーンの来日前後 (青山学院大学一般教育部会論集 第6号(1965) より) -----	131
ハーンの来日関係資料 (明治村通信 第48号(1974) 小泉八雲記念号) -----	135
ニュー・オーリンズ博覧会とハーン (英語青年 第111 巻第12号(1965)) -----	136

ホイットマン紹介をめぐって(1) (英文学思潮 Vol. 36(1963) 青山学院大学 英文学会)	141
木暮正夫 「怪談」をかいたイギリス人 (岩崎書店, 1992刊)	77
小日向定次郎 小泉八雲全集 第9巻 書簡集(1) 第一書房 1927年刊 の翻訳)	53
小泉八雲全集 第12巻 書簡集(4) 第一書房 1927年刊 の翻訳)	54
小泉八雲先生の思い出 (へるん 第33号(1996) 八雲会編 恒文社刊)	122
Lafcadio Hearnのことども (英語研究 第39巻第6号(1950)	130
(小出昌洋 ～ (A-41)	
小出昌洋 十六桜・編集後記 (十六桜/森銑三訳 東京 研文社 1990)	49
小泉凡 「ヘルン文庫」民俗関係蔵書一覧 (昭和61年2月)	1
ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 あとがき (恒文社 1988)	62
ヘルン今昔/八雲会編より 玩具と生活、目のカミ様、正月風景、厄除けと人形、井上円了との出会い、 チェンバレンと柳田国男、伝染病	74
民俗学者小泉八雲 (恒文社 1995)	91
八雲の足跡を訪ねて (八雲会 1989 4版)	91
改版によせて (八雲の足跡を訪ねて 八雲会 1989 4版)	91
ハーンと民俗学 (ジェーンズとハーン記念祭: 報告書 (熊本, ジェーンズとハーン 記念祭実行委員会, 1992)	99
カット・飛騨白河郷萩原合掌集落「釣りのないイロリ」 (萩町) (へるん 第19号)	113
出雲風土小考 (へるん 第20号(1983) 八雲会)	113
普門院の怪談と橋姫伝説の起源 (へるん 第21号(1984) 八雲会)	114
母子愛の描出 (へるん 第22号(1985) 八雲会)	114
白い石のある島 (へるん 第23号(1986) 八雲会)	115
「浪除 (なみよけ) 地蔵」の復活 (へるん 第24号 八雲会 1987)	115
藤沢随想: ハーンの見た庚申と鬼子母神 (へるん 第25号 八雲会 1988)	116
訪米記: シンシナティ (ヘルン 第26号(1989) 八雲会)	116
ラフカディオ・ハーン年譜追加と修正(1) (へるん 第26号 八雲会 1989) ..	116
メンフィスからニューオリンズへ (へるん 第27号 八雲会 1990)	117
ラフカディオ・ハーン年譜追加と修正(2) (へるん 第27号 八雲会 1990) ..	117
ラフカディオ・ハーン年譜追加と修正(3) (へるん 第28号 八雲会 1991) ..	118
"Chicken Skin '91" 報告記 (へるん 第28号 八雲会 1991)	118
柳田・スコットの松江訪問と第一次八雲会 (へるん 第30号(1993))	120
ラフカディオ・ハーン年譜追加と修正(4) (へるん 第29号 八雲会 1992) ..	119
ラフカディオ・ハーン年譜追加と修正(5) (へるん 第30号 八雲会 1993) ..	120
ラフカディオ・ハーン年譜追加と修正(6) (へるん 第31号 八雲会 1994) ..	120
ヘルン短通 (へるん 第31号 八雲会 1994)	121
ヘルン短通 (へるん 第32号 八雲会 1995)	121
アイルランド随想 (へるん 第32号 八雲会 1995)	121
マルチニークのゴーギャン博物館 (へるん 第33号 八雲会 1996)	122
柳田とハーン (ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻 月報 no. 10(1987) 恒文社刊)	126
Honoring Janes and Hearn in Kumamoto (Lafcadio Hearn Journal. vol. 2, no. 2(1992) Cincinnati, Lafcadio Hearn Society)	127
アルバム=小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン) (国文学 解釈と鑑賞 第56巻 第11号(1991) 特集・小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン) と日本)	141
小泉八雲記念館 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号(1991) より)	141
松江市立図書館 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号(1991) より)	141
「八雲」と「芳一」 (雑誌「真情」第18号(1985)より)	144
「ケルトの風」「カリブの風」「ハーンの風」 (「東の国から」通信 no. 6	

1995)	181
小泉一雄	
小泉一雄から中土義敬氏への手紙 (?年10月12日)	7
A drop of Drew/ compiled by Kazuo Koizumi (Hokuseido Press, 1950)	15
妖魔詩話=Japanese goblin poetry (東京、小山書店, 1934)	24
父「八雲」を憶う (全訳小泉八雲作品集 第12巻 恒文社 1967)	73
父小泉八雲 (東京、小山書店, 1950)	73
父「八雲」を憶ふ (東京、警醒社, 1931)	73
Father and I (Boston, Houghton, 1935)	73
小泉八雲: 思い出の記、父「八雲」を憶う (恒文社, 1976)	78
Re-Echo/by Kazuo Hearn Koizumi (Caldwell, Caxton Printers, 1957)	89
一異端者への手紙 (第一書房 1935 の翻訳)	92
Letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn/compiled by Kazuo Koizumi (Hokuseido Press, 1936)	93
Letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn/compiled by Kazuo Koizumi (雄松堂書店, 1992)	93
More letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn and letters from M. Toyama Y. Tsubouchi and others/compiled by Kazuo Koizumi Hokuseido Press, 1937)	93
More letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn and letters from M. Toyama Y. Tsubouchi and others/compiled by Kazuo Koizumi 雄松堂書店, 1992	93
Chamberlain and Hearn's friend (英文学研究 第17巻第4号(1937)	107
父八雲の述懐 (書物展望 第4巻第3号(1934))	107
父「八雲」を憶ふ (文芸春秋 第12年12号(1934))	107
鮎の子 (風土 第1冊 松江、風土社1950)	109
Hearn and Chamberlain/compiled by Kazuo Koizumi (英文学研究 第16巻第4号 (1936))	110
サコン・ユウベン	
左顧右盼 (へるん 第3号(1966) 八雲会)	112
ふるさと松江 (へるん 第3号(1966) 八雲会)	112
人間としての父八雲 (改造 第31巻第6号(1950))	37
神秘 (Books No. 54(1954) Books の会)	39
焼津の海と八雲 上、中、下 (読売新聞 昭和8年(1933) 9月28、29、30日)	55
亡き母を語る I, II, III, IV. (大阪朝日新聞 昭和7年2月29日～3月3日)	154
サコン・ユウベン	
左顧右盼 (山陰新報 昭和29年(1954) 9月25日)	165
小泉清	
母を偲ぶ (風土 第1冊 松江、風土社, 1950)	109
ハーンの三男、兄へ講義 (朝日新聞 昭和25年5月4日)	159
母を憶う (大阪朝日新聞 昭和25年5月21日)	159
父母の仲人松江に健在 (時事通信 昭和25年6月24日)	160
小泉節子	
思い出の記 (天の川幻想 集英社 1994刊 より)	47
思い出の記 (小泉八雲全集 別冊 第一書房)	55
思い出の記 (全訳小泉八雲作品集 12 恒文社 1967)	67
思い出の記 (小泉八雲/平川祐弘編 講談社学術文庫)	78
思い出の記 (小泉八雲 恒文社 1976) より)	78
思い出の記 (小泉八雲 恒文社 第2版 1994) より)	78
思い出の記 (ラフカディオ・ヘルン小泉八雲/田部隆次著 早稲田大学出版部 1914)	86
Reminiscences of Lafcadio Hearn (Boston, Houghton, 1918)	89
小泉時	
八雲の身近 (怪談 旺文社文庫 1972)	50

佐藤春夫さんと「尖塔登攀記」のこと(尖塔登攀記外四篇 恒文社 復刻半 1996 より)	64
祖母のこと、父のこと(全訳小泉八雲作品集 第12巻 恒文社 1967)	67
フェラーズ将軍(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
ヘルンと私(恒文社 1990)	76
祖父のこと、父のこと(小泉八雲 恒文社, 1976)	78
祖父のこと、父のこと 第2版(小泉八雲 恒文社, 1994)	78
Lafcadio Hearn(Koizumi Yakumo)/Sean G. Ronan, Toki Koizumi(Tokyo, Ireland Japan Association, 1991)	83
ハーンの生涯(世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房新社, 1990)	90
祖父八雲について(わが心の山陰 聚海書林 1982)	90
八雲生誕百三十年に寄せて(へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
八雲の遊泳と喫煙(へるん 第19号(1983) 八雲会)	114
お化け屋敷と茶碗(へるん 第20号(1984) 八雲会)	115
祖父逝きて(へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
妖魔詩話随想(へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
八雲没後八十年を顧みて(へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
祖父の生誕地レフカスを訪ねて(へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
祖母セツの思い出(へるん 第24号(1987) 八雲会)	116
草稿の表装(へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
雨森信成のハーン宛所感(1897年11月14日付)(へるん 第26号(1989))	117
親子三人の写真. アメリカでも八雲会—ヘルン雑話より(へるん 第27号 (1990) 八雲会)	118
八雲と机(へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
小泉一雄著「ファザー・アンド・アイ」の思い出(へるん 第28号(1991))	119
「ヘルンと私」出版記念会・感謝のことば(へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
熊本と小泉八雲(へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
無限大について(へるん 第29号(1992) 八雲会)	120
宮中晩餐会に出席して(へるん 第30号(1993) 八雲会)	122
漱石、ハーン比較文学の旅(へるん 第30号(1993) 八雲会)	121
アイルランドを訪ねて(へるん 第31号)	121
会津八一先生と小泉家(へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
八雲と一雄(ラフカディオ・ハーン著作集 第11巻 月報 No. 4(1981) 恒文社刊)	127
写真でみる/ハーンの生涯(雑誌「無限大」 No.88(1991)より)	140
妻節子(セツ)と子供たち(国文学 解釈と鑑賞 第56巻第11号(1991))	141
小泉八雲未公開資料展をめぐる(八雲 第1号(1988) 焼津, 小泉八雲顕彰会)	142
セツから焼津の八雲に宛てた手紙(八雲 第2号(1988) 小泉八雲顕彰会)	143
ハーンと歌(八雲 第3号(1990) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
ハーンとフェラーズ将軍(八雲 第4号(1991) 小泉八雲顕彰会)	143
焼津における一雄からセツへの手紙(八雲 第5号(1992) 焼津 小泉八雲 顕彰会)	143
ハーンの焼津から出した”ひらがな”の手紙(未発表)その他(八雲 第6号 (1993) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
アイルランドとハーンの足跡を追って(八雲 第7号(1994))	143
熊本の小泉八雲旧居が復元完成(八雲 第8号(1995))	143
小泉家と写真(八雲 第9号(1996))	143
英語直訳、ハーンの日本語(日本経済新聞 1993年8月4日)	175
祖父の故郷アイルランドを訪ねて(「東の国から」通信 No. 4/5 1994)	181
ヘルンと私(「東の国から」通信 No. 6 1995)	181

小泉八雲 ⇔ Hearn, Lafcadio

小泉八雲記念会

小泉八雲記念会から蜷川富山高等学校長への手紙 昭和7年12月(1932)資金募集状
(昭和8年)

小泉八雲記念館	
へるんを偲ぶ遺愛の品々 (小泉八雲来日百年記念特別展 平成2年8月1日) -----	7
駒田信二	
ラフカディオ・ハーン氏とヘルン先生 (風土 第1冊(1950)) -----	109
小松元也	
Lafcadio Hearn試論 (秋田大学教育学部研究紀要 人文化学・社会科学 第18集 (1968)) -----	132
小森典	
ラフカディオ・ハーンの蔵書 (英文法研究 第1巻第3号(1957)) -----	131
ヘルン文庫のこと (富山新聞 昭和29年10月26日) -----	167
小泉八雲について (富山大学新聞 第9号 昭和29年10月26日) -----	167
ハーンの陰と内面も：書評「炎と光の人小泉八雲 西野影四郎著」 -----	169
今東光 (翻訳)	
文学入門 (金星堂 1932) -----	47
河野賢司	
ヘルンとアイルランド (へるん 第25号(1988) 八雲会編 恒文社刊) -----	117
ワイルドのアメリカ講演旅行とヘルン (へるん 第29号(1992) 八雲会) -----	119
アイルランド系アメリカ移民としてのヘルンの面影覚書 (へるん 第30号(1993) 八雲会) -----	120
ヘルンとゴシック小説のダブリン (へるん 第31号(1994) 八雲会 恒文社) -----	120
ヘルンとニューオーリンズ (へるん 第32号(1995) 八雲会 恒文社) -----	121
ヘルンの奇遇 (へるん 第33号(1996) 八雲会編 恒文社刊) -----	122
郡山政宏	
松江 (わが心わが山陰 聚海書林 1982) -----	90
さようならヘルン先生 (わが心わが山陰 聚海書林 1982) -----	90
越野勝	
清水寺 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993) -----	75
「海」へ向かう峠 (へるん 第27号(1990) 八雲会) -----	118
Kreine-Kreutzman, Alfred	
Lafcadio Hearn/by Hugo von Hofmannsthal ; tr. by Alfred Kreine-Kreutzman (Lafcadio Hearn Journal. vo. 2. no. 1(1992)) -----	127
窪田般弥	
ハーンの魅力 (ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻 月報 No. 6(1983)) -----	126
Kuck, Miss Loraine E.	
Hearn Home revisited (1) (2) (英文毎日 昭和8年2月8～9日) -----	155
工藤美代子	
ラフカディオ・ハーン (日本放送出版協会 1955) -----	83
マルティニーク熱帯紀行 (恒文社 1955) -----	88
ビスランドとハーン (雑誌「ユリイカ」 第27巻4号(1995)) -----	110
マルチニーク熱帯紀行 1-4 (雑誌「無限大」 No. 93, 95, 96, 97(1993-1995) 日本アイ・ビー・エム刊) -----	135
ラフカディオ・ハーン女性たちとの出会いと別れ (朝日新聞 1992年4月8日) -----	175
工藤好美	
ラフカディオ・ヘルン (英語青年 第72巻第9号(1935)) -----	134
熊本大学小泉八雲研究会	
ラフカディオ・ハーン再考 (恒文社, 1993刊) -----	85

熊本徳次郎

- My first day in the Orient and others/ed. with introduction and notes by
T. Kumamoto[ハーン随筆選/熊本徳次郎注解] (Seibundo, 1958)44

栗原弘子

- その頃は(へるん 第17号(1980) 八雲会) 114
その頃は(2) (へるん 第18号(1981) 八雲会) 114
その頃は(3) (へるん 第19号(1982) 八雲会) 115
チェンバレンとボールドウィン(へうん 第22号(1985) 八雲会) 116
<随想>明治らいぶ考(へるん 第24号(1987) 八雲会) 117

Kurihara, Motoi

- Library selections from Lafcadio Hearn/edited with notes by Motoi Kurihara
(Tokyo, Sekizenkwan, 1931) 43
My teacher, Lafcadio Hearn (Tokyo, Kross Continent, 1959) 136

厨川蝶子

- 白村随筆集/厨川白村著、厨川蝶子編(東京、人文会出版部、1926)99

厨川白村

- 白村随筆集/厨川白村著、厨川蝶子編(東京、人文会出版部、1926)99
十字街道を往く(福永書店、1923)99
小泉先生そのほか(東京、積善館 1919) 100
上田敏集・厨川白村集・阿部次郎集(現代日本文学全集 第20篇 改造社 1929) 103

厨川辰男

- 先師ハーン先生を憶う(帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲記念号)79

黒板勝美

- 熊本時代のヘルン氏(帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲記念号)79

楠家重敏

- チェンバレンの日本研究と「日本案内記」(雄山閣出版 1978)98
チェンバレンとハーン(ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 月報 no.14
(1988)) 126

久津木信治

- ハーンの目(へるん 第29号(1992) 八雲会) 119
ハーンの目(再び)(へるん 第30号(1993) 八雲会) 120

桑原洋次郎(羊二郎)

- 松江に於ける八雲の私生活(松江、山陰新報社、1953)88
明治二十三年十二月(風土 第1冊(1950)) 109
思い出の小泉八雲(座談会)(山陰新報 昭和29年9月21日) 164

桑垣琴子

- 西田千太郎旧居(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993) 75
「日本の面影」に寄せて(へるん 第22号(1985) 八雲会) 116
曾祖父西田平兵衛・マツの事ども(へるん 第23号(1987) 八雲会) 116

久澄彰三

- 小泉八雲(国本 第6号) 123

京都外国語大学附属図書館

- Bibliotheca Hearniana[ラフカディオ・ハーン:作品と研究](University
Library of Kyoto University of Foreign Studies, 1986) 1

L

- ラ・フォンティン, ロブ
幽霊に心ひかれて(The Plaza No. 25(1995) Tokyo, U-Kan) 145
- ラミス, ダグラス
Lafcadio Hearn (ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻 No.10(1987)) 126
- Lemoine, Bernadette
Exotisme spiriteul et esthetique dans la vie et l'oeuvre de Lafcadio
Hearn, 1850-1904(Paris, Universite de Poitiers, 1988)73
- ローゼン, アラン
ハーンの日本時代(ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲研究会編
恒文社 1993)85
- Lum, Bertha
Gods, goblins and ghost (Philadelphia, Lippincott, 1922)96

M

- M. K.
<書評>小泉八雲全集 第8巻「怪談」「骨董」平井呈一訳 英語青年 第101巻
第2号(1955)) 150
- McWilliams, Vera
Lafcadio Hearn (Boston, Houghton, 1946) 83
- 町野静雄
英米における「落花枝に帰る」の句(青山学院女子短期大学起用 第24輯(1970))108
- 前田礼子
ハーンが探し求めたもの(へるん 第32号(1995) 八雲会) 121
- 前田専学
ラフカディオ・ハーンの仏教理解と日本の仏教(東方 第9号(1994) 東京、東方
学院) 128
- 前田式子
Lafcadio Hearn (二松学舎創立110周年記念論文集 昭和62年10月) 125
- 前田多門
小泉八雲の親友(文芸春秋 第28巻第10号) 124
アメリカでも高い文名(ハーンの真価 島根新聞 昭和25年6月29日、続-30日)163
- 前田河広一郎
盧花の芸術(東京、興風館 1945) 102
- 牧健二
明治時代に於ける西洋人の日本社会観(開国百年記念明治文化史論集/開国百年
記念文化事業会編 東京、角川書店 1952) 101
- 牧野陽子
神々の首都/平川祐弘編・解説(講談社学術文庫 1990)50
アメリカ雑録(ラフカディオ・ハーン著作集 恒文社 1980刊の次を翻訳
さまよえる亡者たち 小島店での夢想 クレオール文字覚え書 クレオールの学
問的価値 クレオールの方言略記 西インド諸島における混血人種考)56
マルティニークの旅(比較文学研究 第60号(1991) 東大比較文学会)76

「雪女」(小泉八雲/平川祐弘編 講談社学術文庫 1992)	78
「茶碗の中」(小泉八雲/平川祐弘編 講談社学術文庫 1992)	78
小泉八雲:西欧脱出の夢(講談社 1994)	78
ラフカディオ・ハーン(中公新書 東京、中央公論社 1992)	83
マルティニークの旅(世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房 新社 1995)	90
ハーン/主要著作解題(雑誌「ユリイカ」第27巻第4号(1995))	110
輪廻の夢(比較文学研究/東大比較文学会編 第47号(1985))	138
小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の作品略解題(国文学 解釈と鑑賞 第56巻 11号(1991))	141
[書評] Exotisme spirituel et esthetique dans la vie et l'oeuvre de Lafcadio Hearn/Bernardette Lemoine(比較文学研究 第47号)	151
書評:小泉八雲研究した中央公論新書	175
馬庭将光	
島根県尋常中学校におけるヘルンとその周辺(へるん 第20号(1983))	115
続・島根県尋常中学校におけるヘルンとその周辺(へるん 第22号(1985))	116
丸谷才一	
落日の風景/対談 山崎正和・丸谷才一(別冊文芸春秋 第172号(1985))	138
丸山学	
小泉八雲新考(東京、北星堂書店、1936)	80
小泉八雲新考(講談社学術文庫、1966)	81
ヘルンの人間発見(へるん 第4号(1966) 八雲会)	113
Lafcadio Hearnの熊本時代(英文学研究 第15号第3(1935))	130
松江師範とヘルン(英語青年 第76巻第8号(1937))	135
ヘルン旧居と戦災(英語青年 第92巻第4号(1946))	146
正宗白鳥	
西洋で造られる「日本的映画」(読売新聞 昭和10年1月19日)	157
増田渉	
太上感応篇(風土 第1冊 松江、風土社、1950)	109
榎井幹生	
「島根・九州だより」について(ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻(1988) 拾遺より)	62
京の子育て幽霊(へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
京の子育て幽霊(承前)(へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
蓮葉の蛙(へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
虫めずる男(へるん 第25号(1987) 八雲会)	117
談話分析から見た「耳なし芳一」(へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
はらからのほとけ(へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
和井田先生のこと(へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
チェンバレン自筆原稿「ラフカディオ・ハーン」(へるん 第27号(1990)八雲会)	118
加賀の潜戸にて(へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
珍しい小さなものたち(へるん 第31号(1994))	121
庶民派ハーン(へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
ハーンと俗謡趣味(ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻 月報 No.8(1985) 恒文社刊)	126
「島根・九州だより」(小泉八雲)改題(京都府立大学学術報告 人文 第37号 (1985))	139
榎井迪夫	
小泉八雲と日本の心・序文(高木大幹著 古川書房 1978)	81
公開研修講座「小泉八雲に親しむ」(へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
松江中学校(松江県立)	

(A-48)	(松江中学校 ～ 緑川伝作)	
	旧師小泉八雲先生を語る(座談会)／松江中学校編(松江中学校 1940)	79
	松江観光協会小泉八雲記念事業実行委員会	
	小泉八雲・松江=Lafcadio Hearn in Matsue(松江観光協会 1984)	79
	松江郷土館	
	へるんが讚えた明治の松江(小泉八雲来日百年記念特別展 平成2年)	7
	松江市立図書館	
	へるん文学のルーツ(小泉八雲来日百年記念特別展 平成2年)	7
	松本健一	
	ハーンが秋月悌次郎に視たもの(ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 月報 No. 15(1988) 恒文社)	127
	Matsumoto, Narao	
	Hearn loved beauty, nature and solitude (The Mainichi, 1950年6月28日)	163
	松村じゅん	
	埼玉と小泉八雲(へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
	「保守主義者」と雨森信成(へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
	雨森信成について(へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
	松村正江	
	小泉先生とのめぐりあり(八雲 第1号(1988) 焼津 小泉八雲顕彰会)	142
	Matsuoka, B	
	Lafcadio Hearn Kleine Schriften/ausgewahlt von B. Matsuoka(Tokyo, Shobundo 1932)	71
	松岡継雄	
	ヘルンの思い出(くまもとハーン通信 No. 3 1996)	181
	松島正一	
	ハーンとロマン主義精神(ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻 月報 no. 8 (1985) 恒文社)	126
	松下巖	
	"Father and I"を読んで(英語青年 第75巻第1号)	109
	Maupassant, Guy de	
	The adventures of Walter Schnaffs and other stories by Guy de Maupassant, tr. by Lafcadio Hearn (Hokuseido Press, 1931)	39
	真崎義博	
	さまよう魂／ジョナサン・コット著、真崎義博訳(文芸春秋 1994)	89
	Metzinger, Silvia Verdun	
	Lafcadio Hearn (Tulane, 1990)	2
	Lafcadio Hearn:the Japanese years (Bookman's weekly. v. 86, no. 12(1990) Clifton, N. J., Bookman Pub.)	126
	Lafcadio Hearn:the New Orleans years(Bookman's weekly. vo. 82, no. 1 Clifton, N. J., Bookman Pub.)	126
	<Book review>A general catalogue of Hearn collections in Japan and Overseas/ compiled by Kenji Zenimoto, reviewed by Sylvia V. Metzinger (Lafcadio Hearn Journal. vol. 1, no. 2(1991) Lafcadio Hearn Society)	127
	ラフカディオ・ハーンの日本時代／平田純訳 とやま文学 第9号(1992)	141
	緑川伝作	

Buautiful stories of old Japan/ed. with notes by Densaku Modorikawa (Tokyo, Asahi Press, 1982)	41
Select essays of Hearn/ed. with notes by D. Midorikawa (Kaibunsha, 1958)	44
Essays and sketches/tr. and annotated by D. Midorikawa (Kaibunsha, 1956)	68
論文と随筆 (ハーン) (開文堂 1956)	70
三原弘	
富山大学のヘルン文庫 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
八雲と顎なし地藏 (へるん 第31号(1994) 八雲会)	121
八雲愛用のカエルペン先入れ (へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
皆川正禧	
蓬萊 (帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲記念号)	79
美濃部京子	
「持田の子殺し」をめぐって (へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
「安芸之介の夢」と蝶になった魂 (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
「草ひばり」の妖精のイメージ (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
三島千代子	
小泉八雲との出会い (へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
三井武八郎	
Athletic contest (Hokuseido Press, 1932)	41
Fuji-no-Yama (Hokuseido Press, 1932)	41
三井嘉雄	
ウェストンとハーン (山と博物館 第30号(1985) 大町山岳博物館)	141
三宅幾三郎	
東西文芸評論/三宅幾三郎、十一谷義三郎共訳 (聚芳閣 1926)	65
水木しげる	
耳なし芳一/宮田雪・脚色、水木しげる・絵 (扶桑社、1994)	62
光吉夏弥	
ちんちん小袴/光吉夏弥・訳 (日本童話名作選集) (三十書房 1956)	47
三宅驥一	
焼津と小泉八雲 (大阪朝日新聞 昭和4年8月31日～9月2日)	153
焼津と八雲: 富士を中心に [大阪朝日新聞]	153
宮本春吉	
八雲と漱石を語る (くまもとハーン通信 No. 3 1996)	182
宮西光雄	
Jane Austin と女性教養 (英文学研究 第23巻第1号(1943)	123
宮田雪	
耳なし芳一/宮田雪・脚色 (扶桑社、1994)	62
宮田隆	
巻頭詩・頌 (へるんを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
伯耆・隠岐 (わが心わが山陰 聚海書林 1982)	90
宮崎啓子	
多忙だったヘルン先生 (くまもとハーン通信 No. 4 1996)	181
Mordell, Albert	

An American miscellany. v. 1-2/articles and stories now first collected by Albert Mordell (New York, Dodd, 1924)	9, 24, 25
Occidental gleanings. v. 1-2/sketches and essays now first collected by Albert Mordell (Heinemann, 1925)	12, 28
Essays on American literature/with an introd. by Albert Mordell (Hokuseido Press, 1929)	32
The adventures of Walter Schnaffs and other stories by Guy de Maupassant/with an introduction by Albert Mordell (Hokuseido Press, 1931)	39
Sketches and tales from the French/ed. with preface by Albert Mordell. (Hokuseido Press, 1935)	39
Stories from Emile Zola/ed. with preface by Albert Mordell. (Hokuseido Press, 1935)	39
Stories from Pierre Loti/with an introduction by Albert Mordell. (Hokuseido Press, 1933) (新聞から模写)	40
Stories from Pierre Loti/with an introduction by Albert Mordell. (Hokuseido Press, 1933) [ピエール・ロチ短篇集]	40
東西文学評論・緒言 (聚芳閣 1926)	65
A discovery of Early Hearn essays (Today's Japan. v. 4, no. 1(1959) (Tokyo, Cross Continent)	108
"Letters to a Pagan" not by Hearn (Today's Japan. vol. 4, No. 11(1959) (Cross Continent)	135

森亮

小泉八雲怪談奇談集 上、下/森亮訳 (河出文庫 1988)	51
[ハーン] 小伝・年表 (小泉八雲怪談奇談集 下 河出書房新社 1988)	51
アメリカ論説集Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ/訳者: 森亮ほか訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻(1988) 恒文社)	56
アメリカ論説集・解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻(1988) 恒文社) より)	57
アメリカ論説集Ⅳ・Ⅴ・他/訳者: 森亮ほか訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第3巻(1981) 恒文社)	57
アメリカ論説集・あとがき (ラフカディオ・ハーン著作集 第3巻(1981) 恒文社) より)	57
露の一滴 (明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)	62
焼津にて/森亮訳 (日本の心/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)	63
加賀の潜戸 (ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
ハーンが遺したもの (ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
小泉家のうちとそと (ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会 1958)	75
ハーン的美保関紀行 (へるんを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会 1958)	75
小泉八雲の文学 (恒文社 1980)	79
仕合せな教師 (ヨーロッパに小泉八雲を訪ねる/池野誠著 松江 今井書店 1972)	92
「Browningでない?」に答えて二つ/足立誠、森亮 (英語青年 第98巻第8号 (1952))	106
二つの日本 (風土 第1冊 松江, 風土社, 1950)	109
小泉家のうちとそと (風土 第1冊 松江, 風土社, 1950)	109
ハーン的美保関紀行 (へるん 第5号(1967) 八雲会)	113
淡路の大谷繞石 (へるん 第5号(1967) 八雲会)	113
ハーン文学碑のことば (へるん 第6号(1968) 八雲会)	113
ハーンが見た鎌倉 (へるん 第6号(1968) 八雲会)	113
ハーンと浅野和三郎 (へるん 第7号(1968) 八雲会)	113
市河・丸山両先生の逝去 (へるん 第9号(1970) 八雲会)	113
八雲著作の邦訳題名 (へるん 第26号(1989) 八雲会)	117
八雲著作の邦訳題名 続篇 (へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
「へるん」初めのころ (へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
ハーンの読者 (明治村通信 第48号(1974))	135
小泉八雲: 人と作品 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号(1991))	141
ハーン記念展 (島根新聞 昭和25年6月28日)	163
二つの日本 [夕刊山陰]	163
英文学上のハーン的位置 (山陰新報 昭和29年9月25日 小泉八雲特集)	165

森銑三	
十六桜／森銑三、荻原恭平訳（研文社、1990）	49
森脇達夫	
ハーンと臭覚／ティンカー著、森脇達夫訳（文芸研究・小泉八雲号 文芸研究社 1928）	72
諸留寛	
俳句の英訳について（英文学論叢 No. 2(1970) 大東文化大学英米文学会）	110
本山桂川	
文学碑散歩（河出書房 1957）	97
村井文夫	
ハーンとクレオール：「へるん文庫」の形成をめぐって（富山大学人文学部紀要 第20号(1994)）	112
「へるん文庫」の形成をめぐって（Ⅱ）来日以前のハーンとロニー（富山大学 人文学部紀要 第22号(1995)）	122
「へるん文庫」とハーン（雑誌「ユリイカ」 第27巻第4号(1995)）	109
ハーンの「異邦文学残葉」をめぐって（富山大学人文学部紀要 第24号(1996)）	111
村上健	
Lafcadio Hearn（小泉八雲）を訪ねて（The Student Times, March 23, 1984）	169
村上至孝	
西洋文学の日本発見／E. マイナー著、村上至孝ほか訳（筑摩書房 1959）	102
村松真一	
霊魂の探究者小泉八雲（静岡新聞社 1994）	89
焼津における小泉八雲（静岡新聞社 1984）	91
焼津におけるハーン関係資料（人文論集 静岡大学人文学部社会学科・人文学科 研究報告 No. 39(1988)）	141
焼津のハーン関係資料（英語青年 第131 巻第12号(1986)）	141
八雲の日本語（八雲 第1号(1988) 焼津 小泉八雲顕彰会）	142
夜光る海の幻想（八雲 第2号(1988) 焼津 小泉八雲顕彰会）	142
ハーンが描いた天野甚助（八雲 第3号(1990) 焼津 小泉八雲顕彰会）	143
「海辺」覚え書（八雲 第4号(1991) 焼津 小泉八雲顕彰会）	143
焼津中央高校のクラブ活動（八雲 第5号(1992) 焼津 小泉八雲顕彰会）	143
八雲の田村豊久宛書簡(1)（八雲 第6号(1993) 焼津 小泉八雲顕彰会）	143
八雲の田村豊久宛書簡(2)（八雲 第7号(1994) 焼津 小泉八雲顕彰会）	143
八雲の田村豊久宛書簡(3)（八雲 第8号(1995) 焼津 小泉八雲顕彰会）	143
八雲の文学（八雲 第9号(1996) 焼津 小泉八雲顕彰会）	143
村松直子	
小泉セツ（山陰中央新報 昭和60年2月6日）	173
村本正人	
天理図書館蔵ハーン文庫目録2-3／村本正人編（天理図書館報ビブリア 第69, 72, 76号(1978-1982)）	4
村尾武二郎	
ハーンの子らに（朝日新聞「声」の欄より 昭和25年5月15日）	159
村田修造	
文学と生活及び性格の関係／村田修造訳（水郷 第4輯(1925) 文豪小泉八雲号 松江、水郷社）	73
村田祐治	
ディクスン先生を悼む（英語青年 第70巻第5号(1933)）	148

(A-52)	(村田祐治 ～ 中田賢次)	
	Hearn と Chamberlain (英語青年 第70巻第7号(1934))	112
Murray, Paul	Lafcadio Hearn's interpretation of Japan (The Japan Society of Proceedings 124. Autumn 1994)	100
マイナー, アール	ハーンと日本 (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房新社)	90
	西洋文学の日本発見 (筑摩書房 1959)	102
N		
N. Y. 生 (中土氏)	ヘルン未亡人逝く (The Pole Star Monthly)	123
長野忠	わが心わが山陰 (聚海書林 1982)	90
長い真琴	ヘルンを観る (宗教研究 新第7巻第3号)	122
長尾龍一	浦島になりたかったハーンの目の前で消失した竜宮 (雑誌「サライ」 第3巻 第7号(1991) 特集・小泉八雲が見た不思議な日本人)	141
ナガオカヒロム	Mujina and other tales/ed. by Hiromu Nagaoka (Sanseido, 1929)	44
長沢純夫	蝶の幻想/長沢純夫編訳 (築地書館 1988)	47
内藤四郎	「カルマそのほか」解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻(1983)恒文社)	61
内藤史郎	八雲とイエイツ (大谷学報 第59巻3号(1984) 大谷大学大谷学会)	144
中和夫	最初の杵築訪問 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
	小泉一雄氏の思い出 (へるん 第3号(1966) 八雲会)	112
	八雲研究班の傍証 (へるん 第19号(1982) 八雲会)	114
	大社町に現存するハーン文献 (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
	大社町に現存するハーン文献(2) (へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
	大社町に現存するハーン文献(3) (へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
	大社町に現存するハーン文献(4) (へるん 第24号(1987) 八雲会)	116
	ラフカディオ・ヘルンと出雲大社 (神道学 復刊第12号(1957) 神道学会)	134
	ラフカディオ・ヘルンと出雲大社 (承前) (神道学 復刊第16号(1958))	134
中鶴千代	ヘルンと大社 (大社、大社ヘルン協会, 1954)	75
中田賢次	アメリカ論説集Ⅱ の翻訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻(1988) 恒文社)	57
	ハーンの足跡を求めて① (へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
	ハーンの足跡を求めて② (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
	「雪女」小考 (へるん 第19号(1982) 八雲会)	114
	「雪女」小考 (つづき) 付マルチニーク旅詠 (へるん 第20号(1983)八雲会)	115

ハーンの再話文学における節子の役割 (へるん 第21号(1984) 八雲会) -----	115
駒子と雪女 (へるん 第23号(1986) 八雲会) -----	116
アトキンズ宛(1901年9月1日付) (へるん 第25号) -----	116
原話二題 (へるん 第22号(1985) -----	116
怪談の恐怖と滑稽 (へるん 第24号(1987) 八雲会) -----	117
<創作>ニューオーリンズにて歌いし十首 (へるん 第24号(1987))-----	117
島の文人ハーン (へるん 第25号(1988) 八雲会) -----	117
ハーン短篇の謎 (へるん 第26号(1989) 八雲会) -----	117
M. アトキンズ宛書簡 (手紙1・2) (へるん 第26号(1989) 八雲会) -----	117
M. アトキンズ宛書簡 (手紙3・4・5) (へるん 第27号(1990) 八雲会) --	118
M. アトキンズ宛書簡 (手紙6・7・8) (へるん 第28号(1991) 八雲会) --	119
M. アトキンズ宛書簡 (手紙9・10・11) (へるん 第29号(1992) 八雲会) --	119
M. アトキンズ宛書簡 (手紙12・13・14・15・16・17)) (へるん 第30号(1993)	
八雲会) -----	120
ラフカディオ・ハーン点描(1) (へるん 第31号(1994) -----	120
ラフカディオ・ハーン点描(2) (へるん 第32号(1995) -----	121
ラフカディオ・ハーン点描(3) (へるん 第33号(1996) -----	122
ラフカディオ・ハーンの足跡をヨーロッパ各地に訪ねる (ラフカディオ・ハーン	
著作集 第9巻 月報 no. 13(1988) 恒文社 1983) -----	126
ラフカディオ・ハーンに見る'Strange' とその類義に関する一考察 (茨城英語研究	
第3号(1980) 茨城英語談話会) -----	128
Lafcadio Hearnの文体 (1) (茨城英語研究 第1号(1978) 茨城英語談話会) -----	129
Lafcadio Hearnの文体 (2) (茨城英語研究 第2号(1979) 茨城英語談話会) -----	129
Lafcadio Hearnの文体 (3) (茨城英語研究 第3号(1980) 茨城英語談話会) -----	129
Lafcadio Hearnの文体 (4) (茨城英語研究 第4号(1982) 茨城英語談話会) -----	129
ラフカディオ・ハーンの足跡を求めて (茨城興行高等専門学校研究彙報 第16号	
(1981)) -----	131
Lafcadio Hearnの推敲過程 (茨城英語研究 第4号(1982) 茨城英語談話会) -----	131
Lafcadio Hearn論考: 怪談 Diplomacyを中心として (茨城工業高専専門学校	
第15号(1980)) -----	132
Lafcadio Hearn論考: 怪談 Diplomacyを中心として (承前) (茨城工業高専専門	
学校 第18号(1983)) -----	132
Lafcadio Hearn論考: 怪談 Mujina の成立をめぐる (茨城工業高専専門学校	
第9号(1974)) -----	132
Lafcadio Hearn論考: 怪談 Oshidori を中心として (茨城工業高専専門学校	
第10号(1975)) -----	132
Lafcadio Hearn論考: 怪談 The story of Mimi-Nashi-Hoichi (茨城工業高専専門	
学校 第19号(1984)) -----	132
Lafcadio Hearn論考: 怪談 The story of O-Tei を中心として (茨城工業高専専門	
学校 第12号(1977)) -----	132
Lafcadio Hearn論考: 怪談 The story of O-Tei を中心として [続] (茨城工業	
高専専門学校 第13号(1978)) -----	132
Lafcadio Hearn論考: 怪談 Yuki-Onnaの成立をめぐる (茨城工業高専専門学校	
第11号(1988)) -----	132
ラフカディオ・ハーンとマーティン・フォーリー (茨城工業高等専門学校研究彙報	
第17号(1982)) -----	133
「耳無し芳一の話」の原話をめぐって (比較文学研究/東大比較文学会編	
第47号(1985)) -----	136
ルドルフ・マタス博士の語る「ラフカディオ・ハーンの思い出」 (茨城英語研究	
第5号(1983) 茨城英語談話会) -----	139
八雲・日本の私生活 (読売新聞 昭和63年1月5日勇敢) -----	174
中田四十四夜	
俳句八雲旧居 (風土 第1冊 松江、風土社, 1950) -----	109
中島慶治	
<書評>ヘルンについての二著 (上) (下) (英語青年 第66巻第2巻(1931) -----	150
小泉八雲の英語 (文化 第20巻第3号) -----	124

(A-54)	(中島治 ～ 中里寿明)	
中島治	英和对訳小泉八雲文抄 (東京、中興館, 1915)	68
中島最吉	ラフカディオ・ハーン再考・はしがき (ライフカディオ・ハーン再考/熊本大学 小泉八雲研究会編 恒文社 1993)	85
	ラフカディオ・ハーン (熊本英学史/田中啓介編 東京、本邦書籍, 1985)	100
	八雲と漱石を語る: 座談会 (くまもとハーン通信 No. 3 1996)	181
中村浩	へろんさんのことども (台北新聞 昭和8年9月29日)	155
	希臘の大理石に偲ぶ文豪八雲の面影 [大阪毎日新聞]	155
中村精	羽仁春氏と埋もれた長詩 (書物 第1年第2冊(1933))	110
中村青史	身辺雑話の蒐集 (ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲研究会編 (恒文社 1993)	85
	八雲と漱石を語る: 座談会 (くまもとハーン通信 No. 3 1996)	181
	勢力的な仕事を支えた熊本 (くまもとハーン通信 No. 4 1996)	181
中村鉄太郎	西印度雑話/中村鉄太郎翻訳 (英文学研究 第5冊(1924))	105
	想像力ノ価値/中村鉄太郎翻訳 (英文学研究 第5冊(1924))	105
中村芳二郎	小泉八雲生誕百三十年を迎えて (へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
	「へるん」第20号発行の喜びと感謝 (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
	小泉八雲記念館新装オープンに際して (へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
	小泉八雲と松江の再発見 (へるん 第21号)	115
	小泉八雲生誕の地ギリシア国レフカダを訪れて (へるん 第23号(1984))	116
	思い出 (へるん 第26号(1990) 八雲会)	118
中西芳絵	「安芸之助の夢」 (文芸と批評 第4巻(1978) 文芸と批評の会)	106
	「雪女」論 (文芸と批評 第5巻第6号(1983) 文芸と批評の会)	144
中西善弘	小泉八雲とエドガー・アラン・ポーについての覚書 (へるん 第14号(1977) 八雲会)	114
	LinguistとしてのLafcadio Hearn (へるん 第15号(1978) 八雲会)	114
	北海道新聞に掲載された記事 (へるん 第15号(1978))	114
	翻訳ヴァーノン・ターソン「日本国の教師、ラフカディオ・ハーン」其の1 (へるん 第16号(1979) 八雲会)	114
	翻訳ヴァーノン・ターソン「日本国の教師、ラフカディオ・ハーン」其の2 (へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
	ブルーという言葉の画家 (へるん 第19号(1982)八雲会)	115
中野重治	ねちねちした進み方の必要 (現代文学論大系 第4巻 河出書房 1954)	101
中野好夫	著者に最適任を得た「小泉八雲の横顔」 (読売新聞 昭和10年1月18日)	157
中里寿明 (訳者)	文学の解釈 I (ラフカディオ・ハーン著作集 第6巻 恒文社 1980) 第20章 ホートン卿の詩 第21章 エドワード・フィッツジェラルドと「ルバイ ヤート」 第23章 ヴィクトリア時代の哲学詩 第24章 「シャグパットの剃髪」	

以上の翻訳を担当	59
文学の解釈Ⅱ (ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻 恒文社 1985)	
第1章 シェイクスピア 第2章 シェイクスピア研究ノート 第7章 ヘリ ック論ノート 第8章 バークレイ 第12章 超人 の翻訳	59
中山伸子	
耳なし芳一 (恐ろしい幽霊の話/江河徹編 くもん出版 1994 より)	96
中山常雄	
「漂流」雑感 (へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
ハーンの東洋への思慕 (へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
ハーンと富士山 (へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
ハーンの絵ごころ (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
ハーンの温かき友人 (八雲 第2号(1988) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
ハーン的美学と焼津 (八雲 第5号(1992) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
ハーンの絵ごころと日本画 (八雲 第6号(1993) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
八雲の循環思想と焼津の作品 (八雲 第7号(1994) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
中里寿明	
二十一世紀のハーン (ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 月報 no. 13)	126
中塩清臣	
七夕まつり形成基礎論 第1編 (富山大学文理学部紀要 第1号(1952))	150
中園岩男	
その頃のハーン (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
ハーンと隠岐 (へるん 第31号(1994) 八雲会)	121
神戸のヘルン居住地探索 (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
その頃ハーンは・・・1-2 (藤森タイムズ 第45号1989)	140
ニュー・オーリンズの「ハワード記念図書館を訪ねる (へるん 第30号)	121
並河亮	
蓬萊への思慕 (水郷 第4輯 文豪小泉八雲号 水郷社 1925)	73
南日恒太郎	
ラフカディオ・ハーンの図書目録原稿/南日恒太郎筆	8
英詩文鑑賞 (北星堂 1932)	96
書簡 (とやま文学 第9号(1992) 特集「ヘルン文庫」とL. ハーン来日百年 より)	141
奈良井金市	
八雲先生の松江時代 (文芸研究 小泉八雲号 文芸研究社 1928)	72
成田成寿	
Kwaidan=怪談 (大修館書店 1957)	69
成瀬経男	
上市「盆踊り」考 (へるん 第31号(1994) 八雲会)	119
Nasu, K.	
Selections from Lafcadio Hearn/ed. by K. Nasu (Tokyo, Kawase, 1937)	44
夏目鏡子	
漱石の思い出 (改造社 1928)	103
根岸菖蒲	
亡夫の意思を継ぐ (山陰新報 昭和29年9月25日 小泉八雲特集)	165
根岸磐井	

(A-56)	(根岸磐井 ~ 西村孝次)	
	八雲会と事業計画 (文芸研究 小泉八雲号 文芸研究社 1928)	72
	出雲に於ける小泉八雲 (八雲会 1931)	77
根岸啓二		
	小泉八雲先生旧居の記 (附伝記) (昭和29年ころ)	7
	ラフカディオ・ハーンと旧居 (へるんを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
	Katchiu-yashiki (へるん 第1号(1965) 八雲会)	112
Nemerov, Bruce		
	Lafcadio Hearn and ethnomusicology (Lafcadio Hearn Journal. vol. 2, no. 1 (1992) Cincinnati, Lafcadio Hearn Society)	127
日本文学社		
	明治文学復古帳 (明治文学史集説/日本文学社編 日本文学社, 1939)	101
日本経済新聞社		
	ハーンの足跡、ハーンの年譜 (ラフカディオ・ハーン小泉八雲展 1965)	7
西成彦		
	或る女の系譜: 「おしゃべりは耳の栄養」ークレオールのことわざ (Gombo Zhebes, 1885) (比較文学研究 第60号(1991) 東大比較文学会編 恒文社発売)	76
	ラフカディオ・ハーンの耳 (岩波書店 1993)	84
	西洋から来た浦島 (ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲研究会編 恒文社 1993)	85
	マニラ行き夢 (ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲研究会編)	85
	語る女の系譜 (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房新社 1994)	90
	「おしどり」を読む (雑誌「ユリイカ」 第27巻第4号(1995))	110
	「胃袋から心へ」/A. ローゼン著、西成彦訳 (雑誌「ユリイカ」 第27巻 第4号(1995))	110
	ケルトの西、シンシナティの南 (徹底討論・西成彦・鶴岡真弓) (雑誌「ユリイカ」 第27巻第4号(1995))	110
	蚊とのつきあい方 (ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻 月報 no. 10(1987) 恒文社)	126
西田幾多郎		
	序 (小泉八雲全集 別冊 第一書房 1945)	55
	序文 (ラフカディオ・ハーン小泉八雲/田部隆次著 (早稲田大学出版部 1914)	86
	西田幾多郎全集 第18巻(1953) 書簡集 田部隆次氏宛 岩波書店 1953)	102
西江雅之		
	カリブ雑記 (雑誌「ユリイカ」 第27巻第4号(1995))	110
西川盛雄		
	ハーンの神戸・東京時代 (ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲研究会編 恒文社 1993)	85
西村稠		
	繞石先生の追憶 (英語青年 第70巻第8号(1934))	148
西村房太郎		
	小泉八雲先生の片貌 (へるんを訪ねる/池野誠編)	75
	小泉八雲先生の変貌 (へるん 第4号(1066) 八雲会)	111
西村一雄		
	Hearn's diary/西村一雄編・注 (Kyoto, Yamaguchi shoten, 1958)	42
西村孝次		

きらめくギリシア (ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻 月報 No. 6(1983) 恒文社)	126
--	-----

西村六郎

ラフカディオ・ハーン/ジョゼフ・ド・スメ著:西村六郎訳(恒文社 1990)	84
ハーン唯一の胸像(へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
レフカダ便り(へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
ラフカディオ・ハーンの名(へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
イヴトーからの手紙(へるん 第30号(1993) 八雲会)	120
小泉八雲とフランス(へるん 第31号(1994) 八雲会)	121
ハーンとヘルン(ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 月報 No. 7 恒文社) ..	127
来日の事情とその成果(国文学 解釈と鑑賞 第56巻第11号(1991))	141
文豪ハーンは「生きていた」(日本経済新聞 昭和59年7月10日)	170
ハーンとヘルン(山陰中央新報 昭和59年8月29日)	170
八雲出生の地、レフカダを訪ねて(毎日新聞 昭和59年10月31日)	170

西永弘

聞き書き万華鏡:ヘルン文庫-おばあちゃま追想(馬場はる刀自・胸像建立記念 富山 馬場はるさんの胸像をつくる会, 1995)	6
--	---

西野影四郎

Hearn's tales and letters I/ed. with notes by Kageshiro Nishino, Masahiro Kitsudo(京都、国際出版社, 1974)	42
炎と光の小泉八雲(講談社 1979)(へるん 第17号)	76, 114
小泉八雲とヨーロッパ(古川書房 1978)	81
B. H. Chamberlain に関する二つの資料とその背景(商船高等専門学校紀要 第6 号(1974))	106
警世家ラフカディオ・ハーン(ヘルン 第11号(1974) 八雲会)	113
ラフカディオ・ハーンとイヴトー校(へるん 第15号(1978) 八雲会)	114
「小泉八雲とヨーロッパ」後記(へるん 第16号(1979) 八雲会)	114
へるんの母ローザの写真を求めて(へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
ヘルンの足跡をたどって-潜戸と隠岐(へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
概説・小泉八雲の生きた時代の一面(へるん 第19号(1982) 八雲会)	114
英国籍アイルランド人、ハーン(へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
小泉八雲の回想と評価(へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
小泉八雲とB. H. チェンバレンの人間性(へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
西村六郎氏(日航アテネ支店長)からの手紙(へるん 第23号(1986)八雲会) ..	116
ラフカディオ・ハーンと「朝妝」(へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
終焉とその周辺(1)(へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
終焉とその周辺(2)(へるん 第26号(1989) 八雲会)	117
終焉とその周辺(3)(へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
終焉とその周辺(4)(へるん 第28号(1991) 八雲会)	118
終焉とその周辺(5)(へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
小泉八雲来日・帰化の時代背景と諸家の評価など(へるん 第30号(1993)	120
国際ジャーナリスト小泉八雲(1)(へるん 第30号(1994) 八雲会)	120
国際ジャーナリスト小泉八雲(2)(へるん 第31号(1995) 八雲会)	121
母ローザ・アントニオ・カシマチイを中心に(1)(へるん 第33号(1996)八雲会) 122	
ラフカディオ・ハーンについての誤解(I)(II)(III)(IV)(V)(商船高等専門学校 紀要 第4, 5, 6, 7, 8号(1972-1976))	128
ラフカディオ・ハーンの文学作品に表れた虚構性とリアリティ(I)(II)(商船高等 専門学校紀要 第9号、第10号(1977-1978))	128
ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の名前の由来とその家系図(商船高等専門 学校紀要 昭和46年3月 別刷り)	169
ラフカディオ・ハーンの世界観・宇宙観について二、三の考察(I)(II) (商船高等専門学校紀要 第2号、第3号(1970-71))	131
焼津と八雲(1)(八雲 第2号(1988) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
焼津と八雲(2)(八雲 第3号(1990) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
焼津と八雲(3)(八雲 第4号(1991) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
焼津と八雲(4)(八雲 第5号(1992) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143

八雲と海I (八雲 第6号(1993) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
八雲と海II (八雲 第7号(1994) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
八雲と海III (八雲 第8号(1995) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
八雲と海IV (八雲 第9号(1996) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
Ireland と England における Lafcadio Hearn (鳥羽商船高等専門学校紀要 第7号 (1985))	181
ラフカディオ・ハーンの文学作品に表れた虚構性とリアリティⅢ (鳥羽商船高等専門学校紀要 創刊号(1979))	182
ラフカディオ・ハーンのフランス留学の時期について (鳥羽商船高等専門学校紀要 5号(1983))	182
Lafcadio Hearnの系図 (鳥羽商船高等専門学校紀要 第8号(1986))	182
Lafcadio Hearnの書簡集I (鳥羽商船高等専門学校紀要 第3号(1981))	182
Lafcadio Hearnの書簡集II (鳥羽商船高等専門学校紀要 第4号(1982))	182
Lafcadio HearnとGreece (鳥羽商船高等専門学校紀要 第6号(1984))	182
創造性とリアリティ (鳥羽商船高等専門学校紀要 第2号(1980))	182

西脇順三郎

ブックレビュー-小泉八雲の「文学論」 (北星堂) (読売新聞 昭和7年12月7日)	154
---	-----

西崎一郎

Barbarous barbers and other stories/ed. by Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1924)	9
Buying Christmas toys and other essays/edited by Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1924)	9
Literary essays/ed. by Ichiro Nishizaki (Hokuseido Paress, 1939)	12, 27
The new radiance and other scientific sketches/ed. by Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1939)	12, 27
Oriental articles/ ed. by Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1939)	12, 28
Barbarous barbers and other stories/ed. by Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1939)	26
Barbarous barbers and other stories/ed. by Ichiro Nishizaki (雄松堂書店)	
Buying Christmas toys and other essays/edited by Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1939)	26
Buying Christmas toys and other essays/edited by Ichiro Nishizaki (雄松堂書店)	26
Literary essays/ed. by Ichiro Nishizaki (雄松堂書店, 1992)	27
The new radiance and other scientific sketches/ed. by Ichiro Nishizaki (雄松堂書店 1992)	27
Occidental gleanings vol. Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1939)	28
Oriental articles/ ed. by Ichiro Nishizaki (雄松堂書店 1992)	28
A history of English literature/ed. by R. Tanabe, T. Ochiai & I. Nishizaki (Hokuseido Press, 1970)	33
On art, literature and philosophy/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1932)	36
On poetry[小泉八雲詩論]/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1934)	36
On poets[小泉八雲詩人論]/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1934)	37
Stories of mystery from Lafcadio Hearn/ ed. with an introd. by Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1948)	45
The story of Mimi-nashi-Hoichi, Mujina & Yuki-onna/ 西崎一郎編 (Ryuseiji shobo, 1948)	45
Kwaidan/introd., translation & notes by Ichiro Nishizaki (Tokyo, Inouye English Correspondence School, 1950)	69
アメリカの八雲研究 (英語教育 Vol. 13, no. 2(1964) 大修館書店)	106
The complete lectures の校訂に加って (北星堂 1934)	107
Lafcadio Hearn and H. F. Farny in "Ye Giglampz" (お茶の水女子大学人文科学紀要 第10巻(1957))	121

小泉八雲文庫について(新英米文学 第2巻第8号)	123
Lafcadio Hearnのこと(英語青年 第98巻第2号(1952))	125
New Hearn letters from the French West Indies(お茶の水女子大学人文科学 紀要 第12巻(1959))	132
Newly discovered letters from Lafcadio Hearn to Dr. Rudolph Matas (お茶の水女子大学人文科学紀要 第8巻(1956))	132
ニュー・オリンズ時代のハーンの友マタス博士(英語青年 第111巻第12号 (1965))	132
永遠の世界人(毎日新聞 昭和25年6月25日)	154
小泉八雲と日本(大阪毎日新聞 昭和25年6月25日)	154
出発前の狭心症で(夕刊山陰 昭和25年6月28日)	155
世界に誇示しうる文献(日本読書新聞 昭和25年6月28日)	155
優れた三つの面(島根新聞 昭和25年6月29日 「ハーンの真価」より)	156
八雲文庫を世界の宝に(北日本新聞 昭和29年9月26日)	159
鋭い小泉八雲の直感力(北日本新聞 昭和29年10月28日)	160
新田満夫	
スワンソン氏旧蔵「ハーン・コレクション」(ビブリア No. 34(1966))	135
庭野吉弘	
ハーンとアショー校の旧学寮(へるん 第29号(1992) 八雲会)	118
ラフカディオ・ハーンの英語教授(英学史研究 第15号(1982)別刷)	125
野田宇太郎	
アルバム東京文学散歩(東京, 創元社, 1956)	97
新東京文学散歩(角川書店 1952)	103
東京文学散歩:山の手篇(角川書店, 1955)	103
東京文学散歩の手帖(東京, 学風書院 1955)	103
ハーンとは俺のことかとヘルン聞き(明治村 第48号(1974))	131
野口米次郎	
文豪小泉八雲号・巻頭言(水郷 第4輯 より)	72
小泉八雲伝(京都, 富書店, 1946)	79
Lafcadio Hearn in Japan (London, Elin Mathews, 1910)	84
Lafcadio Hearn in Japan (Tokyo, Ryokuyosha, 1910)	84
Lafcadio Hearn in Japan (Tokyo, ARS Book Shop, 1923)	84
ハーン未亡人との談話(婦朝の記 春陽堂 1904 から)	99
小泉八雲の価値(へるん 第33号)	122
野島幹郎	
ツヴァイク「ラフカディオ・ハーン」(へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
野尻抱影	
小泉先生の思い出(へるん 第29号(1992) 八雲会)	120
ヘルン先生の思い出(明治村通信 第48号(1974))	135
野中恵子	
英文学史Ⅰ/野中涼、野中恵子訳(ラフカディオ・ハーン著作集 第11巻(1981) 60	
英文学史Ⅰ・解説(ラフカディオ・ハーン著作集 第11巻(1981)恒文社)	60
英文学史Ⅱ/野中涼、野中恵子訳(ラフカディオ・ハーン著作集 第12巻(1982) 61	
英文学史Ⅱ・解説(ラフカディオ・ハーン著作集 第12巻(1982)恒文社)	61
ラフカディオ・ハーンの「英文学史」(杉野女子大学紀要 17(1980) 東京、杉野 女子大学)	129
野中涼	
英文学史Ⅰ/野中涼、野中恵子訳(ラフカディオ・ハーン著作集 第11巻(1981) 60	
英文学史Ⅱ/野中涼、野中恵子訳(ラフカディオ・ハーン著作集 第12巻(1982) 61	
野々村戎三	

(A-60) (野々村戎三 統 ~ 落合貞三郎)

小泉八雲先生の憶い出 (へるん 第30号(1993) 八雲会)	120
野坂久三	
伝説と史実松江大橋/野坂久三編輯 (松江, 松江大橋宣揚会, 1937)	98
野坂東作	
ハーンと栗原基 (へるん 第19号(1982) 八雲会)	114
土井晩翠のこと (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
土井晩翠のこと (つづき) (へるん 第21号(1983) 八雲会)	115
晩翠夫妻と母あいの死 (へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
晩翠夫妻と母あいの死(2) (へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
西田千太郎宛書簡(1891年12月)	117
アメリカのハーン・コレクション (へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
野津直久	
ヘルンの足跡・探索と観察 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
湖と川と堀 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
ヘルン今昔・あとがき (恒文社 1993)	75
小泉八雲旧居 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
会津一八の八雲談 (へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
西村真次の読んだハーンの鳴く虫の観察 (へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
隠れたる日本の風俗”魔狐の奇談” (へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
森銚三と「怪談」 (へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
<書評>太田雄三著「ラフカディオ・ハーン」 (へるん 第32号(1995))	121
野津左馬之助	
小泉八雲の旧居 (島根県史蹟名勝天然記念物調査報告書 第5輯)	100
野津良夫	
なおみ忌と八雲 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
(野津静一郎 ~ 落合貞三郎)	(A-60)
野津静一郎	
思い出の小泉八雲 (座談会) (山陰新報 昭和29年9月21日)	164
沼波武夫	
俳句紹介者としての小泉八雲氏 (帝国文学 第10巻第11号(1904))	79
布村弘	
怪談・奇談/平川祐弘編の解説 (講談社学術文庫 1990)	50
学生からみた外人教師ハーン (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房新社 1994) (とやま文学 第9号(1992))	90, 441
ハーン蔵書と富山の研究者 (とやま文学 第9号(1992))	141
資料紹介「占いの話」と「梅花心易掌中指南」 (とやま文学 第9号(1992))	141
学生からみた外人教師ハーン (国文学 解釈と鑑賞 第56巻第11号(1991))	141
O	
小幡秀雄	
「停車場にて」を読んで (へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
ヘルンとモラエス (へるん 第27号(1991) 八雲会)	118
ヘルンの画才 (へるん 第28号(1992) 八雲会)	119
小淵空明	
短歌八雲を憶う (風土 第1冊(1950))	109
落合貞三郎	
落合貞三郎から西崎一郎氏へあてた葉書 昭和9年10月19日づけ	8

Japan and Japanese/compiled with notes by T. Ochiai (Hokuseido Press, 1930)	18
Lands and seas by Lafcadio Hearn/compiled with notes by T. Ochiai (Hokuseido Press, 1930)	21
A history of English literature/ed. by Teisaburo Ochiai (Hokuseido Press) 33	
A history of English literature/ed. by Teisaburo Ochiai (Hokuseido Press 1930 縮刷版)	33
A history of English literature/ed. by T. Ochiai (Hokuseido Press, 1970) 33	
On art, literature and philosophy/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1932)	36
On poetry/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1934)	36
On poets/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1934)	36
異文学異聞・支那伝説・チタ・ユーマ の翻訳 (小泉八雲全集 第1巻(1926) 東京 第一書房)	52
知られぬ日本の面影 上、下 (小泉八雲全集 第3巻(1926) 第一書房)	52
仏の畠の落穂・異国情趣と回顧・回顧・日本のお伽噺 の翻訳 (小泉八雲全集 第5巻 第一書房)	52
書簡集 (1) の翻訳 (小泉八雲全集 第9巻(1927) 第一書房)	53
書簡集 (2) の翻訳 (小泉八雲全集 第10巻(1927) 第一書房)	54
書簡集 (3) の翻訳 (小泉八雲全集 第11巻(1927) 第一書房)	54
書簡集 (4) ・雑篇・フロリダ幻想記・クリオール短編・唐草模様・他 (小泉八雲全集 第12巻(1927) 第一書房)	54
文学論 の翻訳 (小泉八雲全集 第13巻(1926) 第一書房)	54
詩論 続 の翻訳 (小泉八雲全集 第15巻(1927) 第一書房)	54
詩論 続々 の翻訳 (小泉八雲全集 第16巻(1927) 第一書房)	54
きまぐれ・クリオール小品・神戸クロニクル社説 (抜粋) の翻訳 (小泉八雲全集 第17巻(1928) 第一書房)	55
Impressions of Japan[日本印象記]/tr. and annotated by T. Ochiai (Hokuseido, 1920)	68
Letters from Tokyo[東京からのてがみ]/tr. and annotated by T. Ochiai (Hokuseido, 1920)	70
Letters from Tokyo・Foreword(Hokuseido Press, 1920)	70
怪異の文学 (文芸研究 小泉八雲号 文芸研究社 1928)	72
ヘルン先生葬式の日のこと (へるん 第4号(1966) 八雲会)	113
ヘルン先生と二人の友人 (へるん 第5号(1967) 八雲会)	113
緒方惇	
八雲と漱石を語る：座談会 (くまもとハーン通信 No. 3 1996)	181
荻原恭平	
十六桜／森銑三、荻原恭平訳 (東京, 研文社, 1990)	49
怪談／荻原恭平訳注 (研究社 1953)	69
Kwaidan/荻原恭平訳注 (Kenkyuusha, 1932 10th edition)	69
小泉八雲選集 第1篇／荻原恭平、刈谷新三郎訳注 (嶺光社・開隆堂 1926)	69
荻田庄五郎	
Kwaidan/with introd. and notes by Shogoro Ogita[ハーン怪談] (Tokyo, Kaibundo, 1954)	42
怪談 (開文堂 1953)	69
小川二郎	
丸山学氏の業績と人柄 (英語青年 第76巻第8号(1937))	135
小川鈞	
小泉八雲の手紙 (英語研究 第38巻第5号)	124
小川未明	

童話を作って五十年 (文芸春秋 第29巻第2号(1951))	108
思想家としてのハーン氏 (早稲田大学学報 創立100周年臨時増刊号 復刊第36巻 第9号(1982))	139
小川敏栄	
<書評> ジョゼフ・ド・スメ著/西村六郎訳「ラフカディオ・ハーン」 恒文社 1991)	76
萩原朔太郎と小泉八雲 (比較文学研究/東大比較文学会編 第47号(1985))	110
猫をめぐる (雑誌「ユリイカ」 第27巻第4号(1995))	110
緒方惇	
「へるんさんの熊本」作者の言葉 (ジェーンズとハーン記念祭 熊本, ジェーンズ とハーン記念実行委員会, 1992)	99
岡寿吉	
Strange stories/岡寿吉注解[ハーン奇談集](Gakuseisha, 1958)	46
岡義重	
八雲先生の斐川路 (ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
岡田幸一	
安藤文庫のこと (英語青年 第116巻第12号(1970))	106
Browningでない? (英語青年 第98巻第7号(1952))	106
牛津英文学辞典とLafcadio Hearn (英語青年 第134巻9、10号(1954))	141
岡田哲蔵	
仏の畠の落穂・異国情趣と回顧・回顧・日本のお伽噺の翻訳 (小泉八雲全集 第5巻 第一書房 1926)	52
霊の日本・影・日本研究・幻想、他 (小泉八雲全集 第6巻(1926) 第一書房)	53
詩論 続 (小泉八雲全集 第15巻(1927) 第一書房)	54
岡戸武平	
小泉八雲 (大日本雄弁講談社 1943)	78
小説小泉八雲 (恒文社 1995)	90
岡倉	
片々録 (英語青年 第70巻第9号(1934))	145
岡倉由三郎	
英文学史 (英語青年 第67巻第9号(1932))	148
恩師チャムブレン先生を偲ぶ (英語青年 第73巻第2号(1935))	149
岡村和夫	
故平井一夫氏 (群像 第43巻第8号(1988))	149
岡崎赤花	
第二回八雲忌全国俳句大会 (へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
岡崎義恵	
明治文化史/岡崎義恵編 第7巻 文芸編 (洋々社 1953)	101
奥原国雄	
ヘルンと郷土玩具 (ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
ヘルンと地行場の稲荷さん (へるん 第1号(1965) 八雲会)	112
奥平光	
ヘルンは主筆でなかった (へるん 第8号(1969) 八雲会)	113
奥田裕子	

アメリカ論説集 V 文学評論集 の翻訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第3巻 (1981) 恒文社)	57
小野達 小泉八雲と浜名湖 (へるん 第30号(1993) 八雲会)	120
小野木重治 ある英語教師の思い出、小泉八雲の次男・稲垣巖の生涯 (恒文社 1992)	178
鉅鹿敏子 淑のこと (へるん 第19号(1982) 八雲会)	114
市河三喜博士のハーン没後二十周年記念講演自筆原稿に就いて (へるん 第21号 (1984) 恒文社)	115
大村喜吉 小泉八雲と夏目漱石 (明治村通信 第48号(1974))	135
大森富士子 雪の幻想 (へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
大西忠雄 ヘルン文庫について (天理図書館報 ビブリア 第7号(1956))	3
小泉八雲覚え書 (へるん 第7号(1968) 八雲会)	113
小泉八雲と仏教 (へるん 第9号(1970) 八雲会)	113
小泉八雲と日本 (天理大学学報 4-2)	125
大坂まさ 「へるん」さんと大黒舞 (風土 第1冊(1950))	109
大阪教育図書編集部 Kwaidan and Kotto/大阪教育図書編集部編注 (大阪、教育図書 1958)	43
大島文雄 「ヘルン文庫」の逸話 (とやま文学 第9号(1992))	141
「ヘルン文庫」の逸話 (富山新聞 昭和29年10月26日)	167
ヘルン文庫について (富山大学学生新聞 第9号(1954)10月26日)	167
太田直行 八雲時代の松江 (風土 第1冊(1950) 松江、風土社)	109
太田三郎 人生と文学/太田三郎訳 (ハーン文学論集 1 河出書房 1954)	49
西洋文学講義/太田三郎訳 河出書房 1953)	64
新体詩運動と西洋詩 (比較文学序説/中島健蔵ほか、河出書房 1951 より) ..	103
小泉八雲の日本観 (明治村通信 第48号(1974))	135
座談会・ハーンの講義と文学/出席、川田順、矢野峰人、太田三郎 (英語青年 第111 巻第12号(1965))	145
太田雄三 ラフカディオ・ハーン (岩波新書 1994)	83
チェンバレン試論 (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房 1994)	90
太田黒実 Lafcadio Hearn (熊本大学教育学部紀要 第5号(1975))	125
大谷従二 へるん二題 (へるん 第19号(1982) 八雲会)	114
ヘルンの頃の大社参詣道 (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115

かんざし(へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
稲佐浜のヘルンさん(へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
ヘルンの頃の大社社頭(へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
大谷正信(繞石)	
小泉八雲「東京からの手紙」の校正刷 大正9年頃	8
異文学異聞・支那怪談・チタ・ユーマ の翻訳(小泉八雲全集 第1巻(1937) 第一書房)	52
仏領西印度の二年間・マルティニーク・スケッチ の翻訳(小泉八雲全集 第2巻(1927) 第一書房)	52
知られぬ日本の面影 の翻訳、落合貞三郎、田部隆次らと (小泉八雲全集 第3巻(1926) 第一書房)	52
霊の日本・影・日本研究・幻想・日本雑録・民間伝説拾遺・随筆ここかしこ の翻訳(小泉八雲全集 第6巻(1926) 第一書房)	53
骨董・怪談・虫の研究・天の河縁起 の翻訳、戸川明三、田部隆次らと (小泉八雲全集 第7巻(1926) 第一書房)	53
書簡集(1)の翻訳、小日向定次郎らと (小泉八雲全集 第9巻(1927) 第一書房)	53
書簡集(2)の翻訳、落合定三郎らと (小泉八雲全集 第10巻(1927) 第一書房)	54
書簡集(3)の翻訳、金子健二らと (小泉八雲全集 第11巻(1927) 第一書房)	54
書簡集(4)・雑篇・フロリダ幻想記・クリオール短編、等 の翻訳 (小泉八雲全集 第12巻(1927) 第一書房)	54
文学論 の翻訳 落合貞三郎らと (小泉八雲全集 第13巻(1926) 第一書房)	54
詩論 続々・文学史論 の翻訳 落合貞三郎らと (小泉八雲全集 第16巻(1927) 第一書房)	54
きまぐれ・クリオール小品・神戸クロニクル社説(抜粋)の翻訳 落合貞三郎らと (小泉八雲全集 第17巻 第一書房)	55
Insect literature[虫の文学]/tr. and annotated by M. Otani (Hokuseido, 1921)	68
Island voyages[島巡り]/tr. and annotated by M. Otani (Hokuseido Press, 1922)	68
Sea literature[海の文学]/tr. and annotated by M. Otani (Hokuseido Press, 1921)	70
懐出の一つ(文芸研究 小泉八雲号 文芸研究社 1928)	72
松江時代の先生(帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲記念号 より)	79
個人としての小泉八雲先生(帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲記念号 より)	79
先生の著書改題(帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲記念号 より)	79
開いた処(東京、敬文社 1914)	96
Hearn 先生の"Ants"の草稿(英文学研究 第11巻1号(1931))	112
小泉先生追憶いろいろ〔大阪朝日新聞 昭和4年9月20日〕	153
大谷とよ子	
茜雲(へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
花の命(へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
大塚高信	
A dancing-girl and other stories/with introduction and notes by T. Otsuka (Tokyo, Osaka Kyoiku Tosho, 1947)	41
小山内薫	
留任 (帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲記念号)	79
大浦幸男	
西洋文学の日本発見/深瀬基寛、村上至孝、大浦幸男訳(筑摩書房 1995)	102
小沢明子	

八雲研究と諸家の憶い出 (明治村通信 第48号(1974)	135
小沢博	
人生と文学 (ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻(1988) 恒文社刊 の	
第7章 散文小品 第8章 ジョージ・メレディスの詩 の翻訳)	60
尾崎孝	
ラフカディオ・ハーンの英語 (へるん 第15号(1978) 八雲会)	114
「へるん」探訪[1] (へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
「へるん」探訪[2] (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
「へるん」探訪[3] (へるん 第19号(1982) 八雲会)	115
「へるん」探訪[4] (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
尾崎行雄	
小泉八雲君への御贈位 (近代怪傑録 千倉書房 1934 より)	100

P

パターソン, ヴァーノン	
「日本国の教師、ラフカディオ・ヘルン その1、2 / 中西善弘訳 (へるん 第	
16号(1979) 第17号(1980) 八雲会)	114
Perkins, P. D.	
Lafcadio Hearn (Tokyo, Hokuseido Press, 1934)	2
Lafcadio Hearn as seen by an American bibliographer (英語青年 第69巻	
(1933))	3
ペアキンズのヘルン講演 (英語青年 第74巻第1号(1935))	4
Gibbeted/with a foreword by P. D. Perkins (Murray, 1933)	10
Phoenix	
<書評> 「日本の英学」 福原麟太郎著 / 書評・Phoenix (英語青年 第92巻	
第7号(1946))	151
Powers, Robert Bruna	
緒言 (一異端者への手紙 第一書房 1935)	92
Letters to a pagan by Lafcadio Hearn (Detroit, R. B. Powers, 1933)	93

Q

R

R. F.	
英学時評 (英語青年 第70巻第8号(1934))	148
Repousseau, Patrice	
The place where clouds are born: on Lafcadio Hearn's Chita (Lafcadio	
Hearn Journal. vol. 5. Cincinnati, Lafcadio Hearn Society, 1955)	128
Rexroth, Kenneth	
The Buddhist writings of Lafcadio Hearn/with an introduction by Kenneth	
Rexroth (Santa Barbara, Ross-Erikson, 1977)	14
Robert, Marcel	
Lafcadio Hearn. Tome 1 (Hokuseido Press, 1950)	82
Lafcadio Hearn. Tome 2 (Hokuseido Press, 1950)	82

(A-66)	(Roman, S. G. ~ 齊藤正二)	
Ronan, Sean G	Lafcadio Hearn(Koizumi Yakumo) (Tokyo, Ireland Japan Association, 1991	83
Rose, Dennis	Lafcadio Hearn (Lewes, Sussex, Book Guill, 1987)	83
Rosen, Alan	ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲研究会編 (恒文社 1993)	85
	The artistry of Hearn's "At a Railway Station" (熊本大学教養部紀要 外国語・外国文学編 第30号(1995))	106
	胃袋から心へ/A. ローゼン著、西成彦訳 (雑誌「ユリイカ」 第27巻4号 (1995))	110
	Hearn and the Gastronomic Grotesque (熊本大学教養部紀要 外国語・外国語 文学編 1994)	111
	Hearn and the way of the bow (Lafcadio Hearn Journal. Vol. 3, no. 2(1993) Cincinnati, Lafcadio Hearn Society)	127
劉岸偉	小泉八雲と周作人(世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房新社 1994)	90

S

S. K.	河口湖畔通信(英語青年 第93巻第4号(1947))	148
	湘南だより(英語青年 第73巻第5号(1949))	149
	<書評>「小泉八雲新考」丸山学著 (英語青年 第77巻第3号(1937))	150
サングウ、マコト	Editorials from the Kobe Cronicle/ed. with notes by Makoto Sangu (Hokuseido Press, 1960)	31
さだまさし	知られぬ小泉八雲の面影(PHP No. 442(1985) 京都、PHP研究所)	139
佐渡谷重信	日本にヘンリー・ロングフェロー(西南学院大学英语英文学論集 第9巻第1号 (1968) 福岡、西南学院大学)	137
佐伯彰一	思い出のなかの八雲図書館(とやま文学 第9号(1992))	140
	ヘルンの今日的意義(富山新聞 昭和25年6月18日)	160
	ヘルンを継ぐもの(北日本新聞 昭和25年6月25日)	161
齊藤勇	イギリス文学史(研究社 1958 第4増補版)	99
	紹介者忠告者としてのChamberlain(英語青年 第73巻第2号(1935))	149
斎藤信雄	My first day in the Orient and others[ハーン随筆選]/ed. with introduction and notes by N. Saito (Tokyo, Seibido, 1958)	44
斎藤信策	小泉八雲先生を悼む(帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲記念号)	79
	哲人何処にありや: 斎藤信策遺稿(博文社 1913)	103
斎藤正二	<完訳>怪談/斎藤正二訳 (講談社 1976)	49

「東西文学評論」の中 国外におけるロシア文学、 怖い小説一篇、 トルストイの説く「知恵の空しさ」、 ハイリヒ・ハイネの妻 ハイネに関する補注 メルスイ博士のダンテ論考 の翻訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 恒文社 1988)	58
ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 卷末解説	58
ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 の翻訳	61
書簡Ⅰ「大谷正信あて書簡」解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻)	61
書簡Ⅱ・書簡Ⅲ 拾遺 年譜/齊藤正二〔ほか〕訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻(1988) 恒文社刊)	62
日本：一つの試論 補注(雑誌「ユリイカ」 第27巻第4号(1995))	110
進歩的思想家としてのハーン像 上 (ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻 月報 No. 10(1987))	126
進歩的思想家としてのハーン像 下 (ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻 月報 No. 11(1987))	127
サイトウ, タケシ	
American literature in Japan (Studies in English literature. Vol. 20, No. 4(1940) 日本英文学会)	106
齊藤強	
ハーン文学の再認識 (ヘルンを訪ねる/池野誠編 島根出版文化協 1968)	75
ハーン文学の再認識 (へるん 第2号(1965) 八雲会)	112
酒井善孝	
On literature/notes by Yoshitaka Sakai (Tokyo, Eihosha, 1957)	44
小泉八雲「文学論」を読む(東京帝大新聞 昭和8年1月13日)	155
榎原浩	
ヘルン文庫(富山大学): 「神国日本」の原稿のほか、ハーンの貴重な蔵書を 所蔵 (文学館探究 新潮社 1997)	180
坂本政親	
小泉八雲記念館〔福井新聞 平成9年9月27日〕	177
酒本雅之	
「アメリカ文学評論」(ラフカディオ・ハーン著作集 第3巻(1981) 恒文社 の翻訳)	57
先川暢郎	
ハーンにおける生物観(へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
ラフカディオ・ハーンの理科教育観 (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
ラフカディオ・ハーンの記事観 (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
ラフカディオ・ハーンと小学校唱歌「蛍の光」 (へるん 第30号(1993) 八雲会)	120
ラフカディオ・ハーンにおけるジョン・キーツ (へるん 第31号(1994) 八雲会)	120
サングウ, モトコ	
Lafcadio Hearn in Japan (Today's Japan. Vol. 4, no. 1(1959) Tokyo,	

(A-68)	(サングウ、モトコ ~ Scherer, J.)	
	Cross Continent, 1959)	127
山陰中央新報社	ラフカディオ・ハーンの面影を追って 恒文社	85
山麓居士	The Japanese smile (英語青年 第92巻第4号(1946)	148
佐々木勘一郎	「小泉八雲京日記」を完成して(へるん 第13号(1976) 八雲会)	113
佐々木正蔵	ニューヨークタイムズの文豪小泉先生(へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
佐佐木信綱	竹柏漫筆/ 佐佐木信綱、佐佐木雪子著 (実業之日本社 1931刊)	98
佐佐木雪子	竹柏漫筆/ 佐佐木信綱、佐佐木雪子著 (実業之日本社 1931刊)	98
佐藤春夫	尖塔登攀記外四篇/ 佐藤春夫訳 (白水社 1934)	64
	尖塔登攀記外四篇/ 佐藤春夫訳 復刻版 (恒文社 1996)	64
	尖塔登攀記外四篇・訳者の覚え書 (白水社 1934)	64
	小泉八雲に就いてのノート(文芸研究 小泉八雲号 1982)	72
	近代日本文学研究明治文学作家論 下巻/ 佐藤春夫、宇野浩二編(小学館 1943)	100
	絞刑記事/ 佐藤春夫訳 (雑誌「行動」 第2年 第10号(1934))	105
佐藤和夫	神戸クロニクル論説集 翻訳(ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻(1988) 恒文社)	58
	ハーン蛙(ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻 月報 no. 12(1988) 恒文社)	126
佐藤忠男	<書評>オリエンタルな夢・小泉八雲と霊の世界/ 平川祐弘著 (朝日新聞 1996年12月1日)	177
佐藤孝巳	ハーンの日本定住(明治村通信 第48号(1974))	135
佐藤喬	詩論・詩人論(ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻(1987) 恒文社刊) の中 次の文を翻訳) 第5章 エピグラム詩 第8章 音楽についての詩 第16章 ブラウニン夫人 覚え書 第17章 オーショーネシーについての覚え書 第22章 クリティーナー ・ロセッティとヴィクトリア朝詩との関係についての覚え書 第23章 ホチッティ アーに関する覚え書 第24章 ウォルト・ホチットマン	61
	詩・詩人論・解説(ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻 恒文社)	61
佐藤俊之	玉の光の梓弓(へるん 第31号(1994) 恒文社)	121
里美茂美	文学者ハーンとアメリカ(ラフカディオ・ハーン再考/ 熊本大学小泉八雲研究会編 恒文社, 1993)	85
Scherer, James A. B.	Japan's advance (Hokuseido Press, 1934)	99

関田かおる

早稲田時代の小泉八雲 (新宿ゆかりの明治の文豪三人展「漱石・八雲・逍遙」 開館記念特別展より 新宿歴史博物館 1989)	4
中学生落合貞三郎の未発表ノートから (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川 祐弘編 河出書房新社 1994)	90
桑原春三所蔵知られざるハーン絵入り書簡/関田かおる編著 (雄松堂書店 1991)	93
ハーンの父母像とその変容 (雑誌「ユリイカ」 第27巻第4号(1995))	110
八雲との出会い (へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
「杵築」からの八雲書簡 (へるん 第24号(1987) 八雲会)	116
小泉八雲と坪内逍遙 (へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
小泉セツ「思い出の記」草稿 (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
大隅重信と小泉八雲の出会い (早稲田フォーラム 第57・58号(1989))	137
「新曲浦島」をめぐる (雑誌「無限大」 No. 88(1991))	140
ヘルン文庫の余韻 (とやま文学 第9号(1992))	140
早稲田時代の小泉八雲: 八雲と逍遙との交流をめぐる	141
八雲の早稲田 (早稲田学報 復刊第39巻第2号(1985))	144
八雲とジプシーと (学燈 Vol. 81, No. 10(1984) 丸善)	144
ヘルンとの出会い (早稲田学生新聞 1987年9月1日)	174

千石英世

西洋落穂集 (ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻 恒文社 1987の翻訳) 王の牧歌 霊に交わりて パトロン制度 薄絹を脱ぎし美女 墓石 畜殺の街 無宿人 ハセルダーマ 黒人寄席演芸 塚を築いた人びと 巨人と小人 フォレスト将軍の葬儀 熱帯の入口にて ロス・クリオロス 教育における 想像力 精神文化の両極 学と教育 頭の中の辞書 言語学習における目の 効用、耳の効用 外国語の問題 言語学者としての伝導師 進化論的歴史 ハワード記念図書館 驚くべき事実と恐ろしい夢 人類の先駆者 アリの消息 民族学の理論 天体地質学 懐疑論あれこれ 新しい理論と古い理論 ある哲学 記憶 「怪談」 神智学 現代の迷信 ホランド士の「不死」 不死 「アジア の光」の影 共和国 大国の未来 精神錯乱に関する多様な見解 自由思想の狂態 「ロバの行く道を行け」 催眠術とニヒリズム ユダヤ人 (ラサール) タルマ ット瞥見 ユダヤ式葬儀覚え書 舞台に見るユダヤ人 ニューオーリンズでの メキシコ展 -----以上の翻訳	57
西洋落穂集・解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻(1987))	57

仙北谷晃一

アメリカ雑録 (ラフカディオ・ハーン著作集 第1巻 恒文社 1980) の次の文を 翻訳 杉の間 古代における娼婦の世界 堤防の生活 蝶の幻想 霜の幻想 音楽倶楽 部でのロマンティックな出来事 メフィストフェレスの徒 ビダサリ 日本へ の冬の旅	56
明治日本の面影/平川祐弘編 (講談社学術文庫 1990) の次の文の翻訳を担当 蜩 蓬萊	62
日本の心/平川祐弘編 (講談社学術文庫 1990) の次の文の翻訳を担当 夏の日の夢 永遠に女性的なるもの 赤い婚礼 阿弥陀寺の比丘尼 塵 日本美術に描かれた顔について	63
日本の心・解説 (講談社学術文庫 1990)	63
天成の教師 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
人生の教師ラフカディオ・ハーン (恒文社 1996)	77
人間ラフカディオ・ハーン (小泉八雲/平川祐弘編 講談社学術文庫 1992)	78
人生の教師ラフカディオ・ハーン (小泉八雲 講談社学術文庫 1992 より)	78
「クレオ」とラフカディオ・ハーン (イタリア図書 Nuova serie No. 3(1989) イタリア書房刊 より)	107
ハーンをめぐる二つのアクチュアルな問題 (雑誌「ユリイカ」 第27巻4号 (1995))	110
「むじな」小論 (へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
レフカダ行 (へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
夫婦の絆を断つものは (へるん 第26号(1989) 八雲会)	117

(A-70) (仙北谷晃一 ~ 島洋之助)

身代はりの人：「阿弥陀寺の比丘尼」と「草雲雀」（へるん 第27号(1990)）	118
ハーンと鉄道（へるん 第28号(1991) 八雲会）	119
一国者の芸術：「ナイチンゲール」と「草雲雀」（へるん 第29号(1992)）	119
詩人ラフカディオ・ハーン「赤裸の詩」の中心に（へるん 第31号(1994)）	120
樹木と共苦共生（下）（ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 月報 No. 14(1988)）	126
樹木と共苦共生（上）（ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 月報 No. 13(1988)）	126
ラフカディオ・ハーンと音楽（比較文学研究／東大比較文学会編 第47号(1985)）	133
ハーン文学の今日性（毎日新聞 1994年11月15日）	176
ラフカディオ・ハーンの文学の魅力（「東の国から」通信 No. 4/5 1994）	181
瀬尾秀彰	
小泉時氏ご夫妻の訪愛（「東の国から」通信 No. 4/5 1994）	181
Shafer, Robert	
P. E. More and American criticism（英文学研究 第17巻(1937)）	138
シャーキー, J. A.	
小泉八雲隠岐訪問百年を記念して（へるん 第30号(1993) 八雲会）	120
斯波敦	
小泉八雲と焼津（焼津市教育委員会・焼津八雲顕彰会 1987復刻改訂）	8
志波駿介	
ヘルンと怪談（北日本新聞 昭和34年7月24日）	168
紫蘭生	
醜の研究／紫蘭生訳（生活の朝：四人叢書 第1篇 現代社 1914 より）	96
重久篤太郎	
日本近世英学史（京都、教育図書 1936）	102
繁尾久	
怪談・繁尾久訳（集英社文庫 1992）	49
怪談・解説（集英社文庫 1992）	49
〔ハーン〕年譜（集英社文庫 1991）	49
怪談、(他) 骨董、知られざる日本の面影、日本雑記、仏の畑の落穂（抄）／ 繁尾久訳（旺文社文庫 1972）	49
椎名俊輔	
八雲と芳一堂（へるん 第19号(1982) 八雲会）	115
八雲と神戸の旧居（へるん 第20号(1983) 八雲会）	115
大石繞石のことども（へるん 第21号(1984) 八雲会）	115
八雲と神戸クロニクル（へるん 第22号(1985) 八雲会）	116
島文次郎（へるん 第23号(1986) 八雲会）	116
八雲忌と芭蕉英訳（へるん 第24号(1987) 八雲会）	117
モームと平磯灯台（へるん 第25号(1988) 八雲会）	117
八雲と秋成（へるん 第26号(1989) 八雲会）	117
続・八雲と秋成（へるん 第27号(1990) 八雲会）	118
ハーンと神戸（へるん 第28号(1991) 八雲会）	119
八雲の富士（へるん 第29号(1992) 八雲会）	119
天皇を擁護した二人のアメリカ人（へるん 第30号(1993) 八雲会）	120
八雲の後任者夏目金之助（へるん 第31号(1994) 八雲会）	121
八雲と蘆花文庫を訪ねて（へるん 第32号(1995) 八雲会）	121
会津八一と小泉清（へるん 第33号(1996) 八雲会）	122
島洋之助	
ヘルンの初詣（ヘルンと大社／島洋之助ほか著 大社 大社ヘルン会 1954）	75

島田勤二

- ラフカディオ・ヘルンと日本 (英語青年 第99巻第11号(1953)) 134
 若き日の上田敏と英文学 (英語青年 第100巻第7号(1954)) 141
 わが国に於ける英文学研究 (英語青年 第78巻第8号(1938)) 141
 上田敏の英語学観 (英文学研究 第14巻第2号(1934)) 150

島根大学教育学部英語英語教育研究室

- A guidebook for travellers in the province of the Gods (八雲会 1990) ---- 73

島谷照夫

- 若き日のヘルン (東京、洋々社出版部 1932) 90
 英語教師としての小泉八雲 (論攷 第2号 (語学・文学特集) 西宮、関西学院
 大学 1956) 108
 小泉八雲研究—幻を追う人..... 124
 ラフカディオ・ハーンとキリスト教 (商学論究 荻田庄五郎教授記念号 西宮、
 関西学院大学商学研究 1969) 133

清水繁

- Pathological=悩み/清水繁訳 (英語研究 第23巻第4号(1930)) 105

清水澄子

- 蜩の国でのハーン (へるん 第32号(1995) 八雲会) 121

清水虎雄

- 小泉八雲と日本 (北陸夕刊 昭和25年6月30日) 163

清水義範

- 怪談・鑑賞 (怪談/繁尾久訳 集英社文庫 1992) 49

下重暁子

- 八雲たつ出雲 (わが心わが山陰 東京、聚海書林 1982) 90

新宿歴史博物館

- 新宿歴史博物館 (東京都新宿区立) 常設展示図録 (新宿歴史博物館 1989) 4
 新宿ゆかりの明治文豪三人展「漱石・八雲・逍遙」開館記念特別展 (新宿歴史
 博物館 1989) 4

真貝義五郎

- 神戸クロニクル論説集/真貝義五郎訳 (神戸、松蔭女子学院大学・短期大学学術
 研究会 1992) 34
 ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集/真貝義五郎訳 (恒文社 1996) 34

新村出

- 小泉八雲全集の出版に寄せて (へるん 第30号(1993) ヘルン雑話 より) ---- 120
 王堂先生の功績と感化 (英語青年 第73巻第2号(1935)) 149

新村光男

- 希有の教師、小泉八雲 (八雲 第9号(1996) 焼津 小泉八雲顕彰会) 143

新村日新

- 八雲の焼津の海での異人さん泳ぎ (八雲 第3号(1990) 焼津) 143
 焼津で購入、ハーン直筆「小説より奇」とハーン小説について (八雲 第5号
 (1992) 小泉八雲顕彰会) 143

篠田一士

- 西洋落穂集/篠田一士訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻(1987) 恒文社)
 より アメリカ文学の渦中で 57
 詩の鑑賞/篠田一士訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第8巻(1983) 恒文社) 59

塩田良平	
明治文学復古帳 (明治文学史集説/日本文学社編 東京、日本文学社 1939)	101
白築和夫	
「へるん」談話室より (へるん 第1号(1965) 八雲会)	112
〔無題〕 (へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
告知板 (へるん 第31号(1994) 八雲会)	121
事務局だより (へるん 第31号(1994) 八雲会)	121
事務局だより (へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
白築祐久	
ヘルンと大社 (大社、大社ヘルン会 1954)	75
小泉一家の思い出 (ヘルンと大社 大社、大社ヘルン会 1954)	74
ヘルン先生と私 (へるん 第1号(1965) 八雲会)	112
へるん談話室ー思い出 (へるん 第4号(1966) 八雲会)	113
ヘルンとモラエス (へるん 第5号(1967) 八雲会)	113
へるん談話室ー小泉一雄さんの思い出 (へるん 第7号(1968))	113
白神栄子	
ラフカディオ・ハーン研究 (東京、旺史社 1993)	84
薄幸の美女たちの一考察 その1 (就実英学論集 創刊号(1982) 岡山 就実女子大学 より)	110
薄幸の美女たちの一考察 その2 (就実論叢 第13号その1 (文芸) (1983) 岡山、就実女子大学 より)	110
薄幸の美女たちの一考察 その3 (就実女子大学英学論集 第2号(1984) 岡山 就実女子大学)	110
ハーン文学と夢 (就実英学論集 第3号(1985) 就実女子大学英文学会)	111
ハーンと女性 (へるん 第13号(1976) 八雲会)	113
L. ハーン作品と原話の比較 (就実論叢 第10号(1981) 就実女子大学)	125
獅子堂豪三	
小泉八雲の東郷観 (大阪朝日新聞 昭和9年6月5日)	156
松蔭女子学院大学	
神戸クロニクル論説集 (神戸、松蔭女子学院大学 1992)	34
昭和女子大学近代文学	
近代文学研究叢書 第7巻 (昭和女子大学光葉会, 1957)	1
近代文学研究叢書 第7巻 (昭和女子大学光葉会, 1957)	77
近代文学研究叢書 第7巻 (昭和女子大学光葉会, 1957)	100
主婦之友社	
小泉八雲と節子夫人	125
首藤基澄	
人生の考察: 「小品」鑑賞 (ラフカディオ・ハーン再考/熊本大学小泉八雲研究会編 恒文社 1993)	85
Sission, Martha Howard	
Lafcadio Hearn/compiled by Martha Howard Sission (Boston, F. W. Faxon, 1933)	2
A bibliography of Lafcadio Hearn (Boston, F. W. Faxon, 1934)	2
スノードン, ポール	
Japan (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻 月報 No. 8(1985) 恒文社)	126
ソダ、ミノル	
Lafcadio Hearn's stories & essays/ed. with introduction & notes by Minoru Soda. Tokyo, Daigakusyorin, 1958	43

染村絢子

小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第1巻／八雲会編 (雄松堂出版 1990)	
第1巻 草稿・解説、梶谷泰之、染村絢子	5
小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第3巻／八雲会編 (雄松堂出版 1992)	
第3巻 ノート類・解説、梶谷泰之、染村絢子、銭本健二	5
ヘルンゆかりの地を訪ねて (ヘルンを訪ねる／池野誠編 島根出版文化協会 1958)	75
Browningが正しい (再説)／染村絢子著 (英語青年 第133巻第4号(1987))	106
ハーンの原稿 (へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
「怪談」の草稿から初版本に至る移動の統計的傾向など (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
ヘルンと富山・金沢大学 (へるん 第19号(1982) 八雲会)	115
ハーンの草稿と表紙考 (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
田部隆次著「西田幾太郎の手紙」から 第21号(1984) 八雲会)	115
ハーンの遺稿の表と裏 (へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
ハーン文学のかけ橋・節子夫人 (へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
ハーンの作品の原典について (へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
「原典」：活字本から版本へ (へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
指六、東大退官前後のハーン、「怪談」の出版 (へるん 第25号)	117
東大講義 (へるん 第26号(1989) 八雲会)	117
おぼろ影／十葉の草稿／クリオール・フレンチ雑記帳 (へるん 第26号)	118
「日本歌謡類聚」ある原歌 (へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
「鳩ポッポ」のうた・再び「怪談」の出版について・「東大講義メモ帳」	
ヘルン雑話 (へるん 第27号(1990) 八雲会)	119
明治の唱歌 (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
「怪談」の一笔書きとケルト模様 (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
川角捨兵衛 (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
ハーンと南方熊楠 (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
「小ノート」の「青柳ものがたり」 (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
ハーンと高峰譲吉 (へるん 第29号(1992) 八雲会)	120
ふるあめりに袖はぬらさじ (へるん 第29号(1992) 八雲会)	120
大谷先生と犀川の氾濫 (へるん 第29号)	120
早稲田より三月分入る (第30号(1993) 八雲会)	120
金沢市池田町界限 (第30号(1993) 八雲会)	120
ステンショウ (第30号(1993) 八雲会)	120
ハーンと万葉集905 (第31号(1994) 八雲会)	120
小ノートの「むじな」 (へるん 第31号(1994) 八雲会)	121
小ノートで再確認「鑑日奇観」 (へるん 第31号)	121
小ノートの「耳なし芳一」 (へるん 第31号)	121
「日本の仏教俚諺」と雨森・大谷・折戸 (へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
折戸徳三郎英訳「怪談牡丹灯籠」 (へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
折戸徳三郎英訳「万葉集」 (へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
ハーンのアシスタントの一人・折戸徳三郎 (へるん 第32号)	122
雨森信成と二種類のガイドブック (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
「勝五郎再生記」の原典「ほどくぼ小僧前世話」 (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
「了然尼」日本語訳 (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
「了然尼」考 (へるん 第33号)	122
焼津町の歌 (八雲 第2号(1988) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
ハーンの日本の昔話 (八雲 第3号(1990) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
「戦後」の草稿について (八雲 第4号(1991) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
十六桜 (八雲 第5号(1992) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
ビスランドからのお悔やみ状 (八雲 第6号(1993) 焼津 小泉八雲顕彰会)	143
「バレット文庫」にみられるハーン創作過程 (八雲 第7号(1994))	143
「餓鬼」と雨森信成・折戸徳三郎 (八雲 第8号(1995) 小泉八雲顕彰会)	143

園田綱

小泉八雲の正月 (研究社月報 第205)	124
----------------------	-----

空西哲郎	
"Lafcadio Hearn"の発音(英語青年 第99巻第4号(1953))	125, 142
Lafcadioの発音について(英語青年 第100巻第1号(1954))	142
Stedman, Laura	
[Hearn] Bibliography (Concerning Lafcadio Hearn/by George M. Gould. London, T. Fisher Unwin)	73
Steiber, Ellen	
Fangs of evil (New York, Random House, c1994)	178
Stephens, Lilo	
Lafcadio Hearn and his relations in Dublin (英語青年 第119号(1973))	126
Stevenson, Elizabeth	
評伝ラフカディオ・ハーン(恒文社 1984)	76
Lafcadio Hearn(New York, Macmillan, 1961)	82
須知善一	
小泉八雲が好んだ刻煙草白梅(週問てんおん)	181
末松謙澄	
夏の夢日本の面影(東京、育英社、1906)	101
須貝太郎	
お話(松江より)小泉八雲先生(大阪朝日新聞 昭和8年6月20日)	155
お話(午後6時の子供の時間)小泉八雲先生(読売新聞 昭和8年6月20日)	155
お話(松江より)小泉八雲(報知新聞 昭和8年6月27日)	155
杉田英明	
ハーンのイスラム諸国物語(雑誌「ユリイカ」第27巻4号(1995))	110
杉安太郎	
Kwaidan/ed. with introduction and notes by Y. Sugi[怪談/杉安太郎注解] (Tokyo, Seibido, 1957)	42
スメ, ジョセフ・ド	
ラフカディオ・ハーン(恒文社 1990)	84
杉山直子	
アウトサイダーとしてのハーン「他者」との同一化をめぐって(世界の中のラフ カディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房新社, 1994)	90
ラフカディオ・ハーン/ジョージ・ヒューズ著、杉山直子訳(異文化を生きる 人々(中央公論社 1993))	99
角田直一	
神々の国の首都(へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
角田洋三 ⇨ かどだ ようぞう	
スメ, ジョセフ ド	
ラフカディオ・ハーン/西村六郎訳(恒文社 1990)	84
須沼吉太郎	
高田先生(英語青年 第93巻第4号(1947))	145
鈴木あゆみ	
縮編本「ハーン日本昔噺集」(へるん 第32号(1995))	120
縮編本「ハーン日本昔噺集」(2)(へるん 第33号(1996))	120

鈴木弘	
L. ハーンとW. B. イエイツ (「東の国から」通信 No. 6 1996)-----	174
鈴木勝子	
ヘルン先生と私 (ヘルンを訪ねる／池野誠編 島根出版文化協会 1968) -----	75
鈴木賢	
焼津に於ける小泉八雲 (伝記 第2巻第10号(1935) 伝記学会) -----	141
焼津における小泉八雲の作品とその周辺 (八雲 第1号(1988) 焼津 小泉八雲 顕彰会) -----	142
エピソードの周辺 (八雲 第2号(1988) 焼津 小泉八雲顕彰会) -----	143
「贈位の碑」その他 (八雲 第3号(1990) 焼津 小泉八雲顕彰会) -----	143
小泉八雲の座談会と八雲会の変遷 (八雲 第4号(1991) 小泉八雲顕彰会) -----	143
焼津の八雲遺品について (八雲 第5号(1992) 小泉八雲顕彰会) -----	143
昭和二十五年の「八雲祭」について (八雲 第6号(1993)) -----	143
あとがき (八雲 第6号(1993)) -----	143
昭和二十五年の「八雲祭」について(2) (八雲 第7号(1994))-----	143
あとがき (八雲 第7号(1994)) -----	143
昭和二十五年の「八雲祭」(3) (八雲 第8号(1995))-----	143
昭和二十三年九月二十六日夜、NHK静岡放送局 (PK) よりのラジオ放送 「焼津と八雲」の座談会 (草稿) (八雲 第9号(1996)) -----	143
鈴木健二	
小説松江の小泉八雲／岡戸武平著<解説> (恒文社 1995) -----	90
鈴木朱雀 (小泉八雲グラビュア印刷) -----	7
鈴木喬	
八雲と漱石を語る：座談会 (くまもとハーン通信 No. 3 1996) -----	181
芳一と五兵衛 (くまもとハーン通信 No. 4 1996) -----	181
鈴木保昭	
ラフカディオ・ハーンのアイトマン論 (明治村通信 第48号(1974)) -----	135
T	
T. H.	
ここかしこ (英文学研究 第16巻第2 (1936) 日本英文学会) -----	146
T. K.	
熊本時代小泉八雲 <書評>丸山学著「小泉八雲新考」北星堂 (1937) -----	125, 151
T. S.	
ここかしこ (英文学研究 第17巻第2 (1937) 日本英文学会) -----	146
橋正典	
雪女の悲しみ (東京、図書刊行会 1993) -----	92
ただ, さいし	
ハーンと臭覚と (水郷 第4輯 文豪小泉八雲号 松江、水郷社 1925) -----	73
多賀谷悟 (訳者)	
アメリカ文学論説集 I 人はすべて賢明になる時が来るか もはや巨人はいない (ラフカディオ・ハーン著作集 第2巻(1988) 恒文社 1988) -----	56
高田道久	
焼津だより (へるん 第23号(1987) 八雲会) -----	116

高田早苗	
半峯昔はなし (早稲田大学出版部 1927)	99
高田力	
小泉八雲の横顔 (北星堂 1934)	86
ラフカディオ・ヘルン・小泉八雲の横顔 (北星堂 1934)	86
五狐の塚 (富山高等学校校友会誌 1932)	109
ヘルン蔵書の余白に記入されたる短評 (英文学研究 第9巻第1)	112
ヘルン文庫について (2) (富高 第4号)	122
草雲雀 (交友会雑誌 第8号)	125
高田美一	
ハーンとフェノロサ (ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 月報 No. 7(1983)	127
高木大幹	
アメリカ論説集 IV 東洋学論集 の翻訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 恒文社 1981)	57
小泉八雲 (東京、リプロポート 1986)	79
小泉八雲と日本の心 (東京、古川書房 1978)	81
人間小泉八雲 (三省堂 1984)	89
ハーンの一つの視点 (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
風狂の人ハーン (へるん 第19号(1982) 八雲会)	114
ハーンと出雲大社 (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
ハーン・ディッケンズ・ドストエフスキー (へるん 第21号(1984))	115
ハーンの感覚表現: 雪女の場合(1) (へるん 第22号(1985))	116
ハーンの感覚表現: 雪女の場合(2) (へるん 第23号(1986))	117
修羅と微塵(1) (へるん 第25号(1988))	117
修羅と微塵(2) (へるん 第26号(1989))	117
修羅と微塵(3) (へるん 第28号(1991))	117
ハーンと八雲: 帰化をめぐる心のドラマ (へるん 第29号)	120
言語と文化: ハーンの場合 (へるん 第30号(1993))	120
ハーンと漱石 (へるん 第31号(1994))	120
ハーンと絵画 (ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 月報 No. 7(1987)	127
ハーンと日本の心 (明治村通信 第48号(1974))	135
ハーンと焼津 (八雲 第7号(1994) 焼津、小泉八雲顕彰会)	143
講演「ハーンを慕って六十三年 (八雲 第8号(1995))	143
高橋元	
「日本」を導く八雲の教訓 (日本経済新聞 1994年11月15日)	176
高橋節雄	
松江時代のヘルン先生の授業ぶり (へるん 第1号(1965) 八雲会)	112
ヘルン先生遺愛の文机を囲りて (へるん 第2号(1966) 八雲会)	112
高橋義孝	
「耳無し芳一の話」をめぐる (風景 通巻76号(1967))	136
高村忠明 (訳者)	
シェイクスピア論 (カフカディオ・ハーン著作集 第10巻(1987) 恒文社)	60
高成玲子	
<書評> ジョナサン・コット著・真崎義博訳「さまよう魂 ラフカディオ ・ハーン」 (へるん 第32号(1996) 八雲会)	121
ラフカディオ・ハーンの絵画芸術の資質 (富山女子短期大学紀要 第27輯 1992)	182
Lafcadio Hearnの"Reconciliation"について (富山女子短期大学紀要 第28輯 1992)	182
高梨健吉	
チェンバレンとハーン (明治村通信 第48号(1974))	135

高西直樹

八雲の日本に対する予言・警告 (へるん 第14号(1977) 八雲会)	114
小泉八雲の日本芸術観 (へるん 第15号(1978) 八雲会)	114
小泉八雲の日本女性観 (へるん 第16号(1979) 八雲会)	114
八雲の性格 (へるん 第16号)	114
小泉八雲と日本の庶民 (へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
長浜村の泉と雨乞いの行事 (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
三角西港と浦島屋旅館 (へるん 第19号(1982) 八雲会)	114
八雲と松島艦 (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
小泉八雲と第五高等学校 (その1) (へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
小泉八雲と第五高等学校 (その2) (へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
八雲と日本の道徳 (へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
ミス・E. P. ヒューズと長崎 (へるん 第24号(1987) 八雲会)	116
日本における小泉八雲と就職 (へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
小泉八雲の日本教育観 (へるん 第25号(1989) 八雲会)	118
小泉八雲と第五高等学校 (その3) (へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
小泉八雲の文明観 (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
八雲と日本庶民 (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
小泉八雲が見た日本国民性 (へるん 第31号(1994) 八雲会)	120

高瀬重雄

旧制富山高等学校 (馬場はる刀自・胸像建立記念 (富山、馬場はるさんの胸像をつくる会 1995))	6
ヘルン文庫と南日恒太郎 (とやま文学 第以後鶴(1992))	141
ヘルン文庫のことども (富山新聞 昭和25年(1950))	160

高瀬保

岩瀬・北前船資本の変遷 (馬場はる刀自・胸像建立記念 (富山、馬場はるさんの胸像をつくる会 1995))	6
--	---

高島平三郎

<ヘルン雑話>小泉八雲全集の出版に寄せて (へるん 第31号(1994) 八雲会)	120
---	-----

高須芳次郎

小泉八雲の旧居を訪ふ (文化 第20巻第3号)	124
-------------------------	-----

高杉一郎

駐日大使と日本文学 (雑誌「文学」 Vol.43, no. 12(1975) 岩波書店)	148
--	-----

高安月郊

東西文芸評伝 (東京、春陽堂 1929)	103
----------------------	-----

竹村覚

Strange stories/ed. with notes by Satoru Takemura [ハーン怪談] (東京 開文社 1954)	45
ハーン: 奇談/竹村覚訳 (東京 開文社 1950)	68

竹内信夫

異文化への眼差し (比較文学研究/東大比較文学会編 第60号(1991))	76
ハーン「ニルヴァーナ」について (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房新社 1994)	90
般若とプラジュニャ (雑誌「ユリイカ」 第27巻4号(1995))	110
ハーン「ニルヴァーナ」について (国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号(1991))	141

瀧田佳子

グリフィスとハーン (雑誌「無限大」 No. 88(1991) 日本アイ・ビ・エム)	140
--	-----

多久和新爾

小泉八雲のキリスト教と仏教 (西南学院文理論集)	151
--------------------------	-----

(A-78)	(玉井 ~ 田辺隆次)	
玉井〔日へんに章〕		
ラフカディオ・ハーン/G. ヒューズ、玉井訳 (雑誌「ユリイカ」 第27巻4号 (1995))	110
玉井武		
小泉八雲と日本 (小樽商科大学人文研究 第9 (1955))	125, 149
田村のり子		
松江大橋 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
散歩・遠足 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
グールドの「ハーン伝」を読んで (へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
謎の峠越え (へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
<書評>池田雅之編「おとぎの国の妖精たち」 (へるん 第33号(1996))	122
田村豊八		
ヘルン先生のこと (文芸研究 小泉八雲号 (文芸研究社 1928))	72
田部重次 (治)		
「ヘルン文庫」異聞 (とやま文学 第9号(1992))	141
田部隆次		
Facts and fancies/compiled with notes by R. Tanabe (Hokuseido Press, 1929)	10
Stories and sketches/compiled with notes by R. Tanabe (Hokuseido Press, 1925)	24
A history of English literature/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai. 3rd ed. One-volume edition Hokuseido Press, 1930	33
A history of English literature/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai. 3rd ed. One-volume edition 縮刷版 Hokuseido Press, 1930	33
A history of English literature/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai. Hokuseido Press, 1970	33
Life and literature/compiled with notes by R. Tanabe. (Hokuseido Press, 1930)	36
On art, literature and philosophy/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki (Hokuseido Press, 1932)	36
On poetry/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki [小泉八雲詩論] (Hokuseido Press, 1934)	36
On poets/ed. by Ryuji Tanabe, Teisaburo Ochiai and Ichiro Nishizaki [小泉八雲詩人論] (Hokuseido Press, 1934)	37
Poets and poems/compiled with notes by R. Tanabe (Hokuseido Press, 1921)	37
Poets and poems/compiled with notes by R. Tanabe. 8th edition. (Hokuseido Press, 1921)	37
Romance and reason/compiled with notes by R. Tanabe (Hokuseido 1928)	37
Some strange English figures of the eighteenth and nineteenth centuries/ ed. by R. Tanabe [小泉八雲英文学畸人伝] (Hokuseido Press, 1927)	38
Essays/with introduction and notes by R. Tanabe [ハーン論文集] (Tokyo, Kenkyusha, 1940)	41
Exotic stories/with introduction and notes by Ryuji Tanabe [異国奇譚] (Tokyo, Kenkyusha, 1935)	41
New selections from Lafcadio Hearn. First series [採録者 田部隆次] 訂正再版 (東京、有朋堂 1921)	44
Sketches/with introduction and notes by R. Tanabe. [ハーン随筆集] (kenkyusha 1958)	45
小泉八雲読本/田部隆次編 (第一書房 1942)	50
小泉八雲読本/田部隆次編 続 (第一書房 1942)	50
小泉八雲読本/田部隆次編 (蓼科書房 1958)	50
小泉八雲選集 落穂/田部隆次訳編 (東京 八雲書店 1948)	51
小泉八雲集/田部隆次訳 (改造社 1931)	51
知られぬ日本の面影 上、下 (小泉八雲全集 第3巻/訳者 田部隆次、他 東京 第一書房 1926)	52

東の国から・心 (小泉八雲全集 第4巻/訳者 田部隆次、他 東京、第一書房 1926)	52
仏の島の落穂・異国情趣と回顧・回顧・日本のお伽噺 (小泉八雲全集 第5巻 /訳者 田部隆次、他 東京 第一書房 1926)	52
霊の日本・影・日本研究・幻想・日本雑録。民間伝説拾遺・随筆ここかしこ (小泉八雲全集 第6巻/訳者 田部隆次、他 東京 第一書房 1926)	53
骨董・或女の日記・怪談・虫の研究・天の河縁起そのほか (小泉八雲全集 第7巻/訳者 田部隆次、他 東京 第一書房 1926)	53
書簡集(1) (小泉八雲全集 第9巻/訳者 田部隆次、他 東京、第一書房 1926)	53
書簡集(2) (小泉八雲全集 第10巻/訳者 田部隆次、他 東京、第一書房 1927)	53
書簡集(4)・雑篇・フロリダ幻想記・クリオール短編・唐草模様・日本の冬の旅・自伝断片 (小泉八雲全集 第12巻/訳者 田部隆次、他 東京、第一書房 1927)	54
詩論 (小泉八雲全集 第14巻/訳者 田部隆次、他 東京、第一書房 1927)	54
詩論 続 (小泉八雲全集 第14巻/訳者 田部隆次、他 東京、第一書房 1927)	54
詩論 続々 (小泉八雲全集 第14巻/訳者 田部隆次、他 東京、第一書房 1927)	54
きまぐれ・クリオール小品 神戸クロニクル社説(抜粹) (小泉八雲全集 第12巻/訳者 田部隆次、他 東京、第一書房 1927)	54
小泉八雲 (小泉八雲全集 別冊 東京、第一書房)	55
自序、再版、改版に際して (小泉八雲 別冊 第一書房)	55
日本の怪談/田部隆次編 (大日本雄弁講談社 1946)	62
小泉八雲について (日本の怪談 第日本雄弁講談社 1946)	62
日本の心/田部隆次編 (大日本雄弁講談社 1947)	63
旅の宿の夜話/田部隆次訳 (養徳社 1959)	65
雪女/田部隆次訳編 (八雲書店 1948)	65
Diaries & letters[英語教師の日記と手紙]/tr. and annotated by R. Tanabe (Hokuseido 1920)	68
小泉八雲先生没後の事ども (文芸研究 小泉八雲号 東京、文芸研究社 1928)	72
小泉八雲 (東京、早稲田大学出版部 1914)	77
小泉八雲 (東京、第一書房 1930)	77
小泉八雲 (東京、北星堂 1950)	77
小泉八雲 改訂再版 (東京、北星堂 1951)	77
小泉八雲と日本/田部隆次述 (富山大学 1950)	81
ラフカディオ・ヘルン小泉八雲 (早稲田大学出版部 1914)	86
ラフカディオ・ヘルン小泉八雲 (北星堂書店 1950)	86
ラフカディオ・ヘルン小泉八雲 改訂版 (北星堂書店 1951)	86
ラフカディオ・ヘルン小泉八雲 4版 (北星堂書店 1980)	86
小泉先生の余光 (へるん 第6号(1968) 八雲会)	113
ヘルンの著作 (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
ヘルン文庫に就いて (富高 第7号)	122
Hearnの思い出 (英語研究 第39巻第6号(1950) Lafcadio Hearn特集)	130
小伝 (とやま文学 第9号(1992))	141
小泉八雲と帝大 (帝国大学新聞 昭和12年5月24日)	157
小泉八雲先生のこと (熊本日日新聞 昭和25年4月30日)	159
美しき助手、節子夫人 (時事通信 昭和25年6月24日)	160
日本の紹介に一生を捧ぐ (北陸夕刊 昭和25年6月27日)	161

田中一生

東西文学評論/田中一生訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻(1988) 恒文社) 二人のアーノルド 祖国では認められず エドウィン・アーノルドの新著 ロセッティの決定版 いくつかの人間の弱点について テニスンの「ロックス レー・ホール」の翻訳	58
人生と文学/田中一生訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻(1988) 恒文社) 第2章 生活および性格と文学との関係について 第3章 創作論 の翻訳	60
雑司ヶ谷のほitori (ラフカディオ・ハーン著作集 第11巻 月報 no. 4(1981))	

恒文社)	-----	127
田中岩太郎		
八雲余談—気にかかること二三 (へるん 第18号(1981) 八雲会)	-----	114
ラフカディオ・ハーン「ある停車場にて」考 (経済集志 人文・自然科学(日本大学経済学研究会) 第43巻別号(1973))	-----	126
ラフカディオ・ハーン「草雲雀」考 (経済集志(日本大学経済学研究会) 第40巻別号(1970))	-----	128
ラフカディオ・ハーンの生涯と文学 (経済集志(日本大学経済学研究会) 第48巻別号(1978))	-----	131
ラフカディオ・ハーン「お貞の話」考 (経済集志 人文・自然科学(日本大学経済学研究会) 第42巻別号(1973))	-----	131
ラフカディオ・ハーンの生涯と文学 (経済集志(日本大学経済学研究会) 第48巻別号(1978))	-----	131
ラフカディオ・ハーンと焼津 (経済集志(日本大学経済学研究会) 第48巻別号(1978))	-----	133
田中饒		
Stories from Lafcadio Hearn(東京、有明堂書店 1930)	-----	45
田中準		
L. Hearnと日本の詩(英文学研究 第12巻第1(1932) 研究社)	-----	125
田中克彦		
ハーンとクレオール語研究(ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 月報 No. 15(1988) 恒文社)	-----	127
田中圭		
小泉八雲「日本の庭」(ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 月報 No. 15(1988) 恒文社)	-----	127
田中啓介		
熊本英学史/田中啓介編 東京、本邦書籍 1985 [ラフカディオ・ハーン/中島最吉])	-----	100
田中一弘		
ハーン作「心中」について(へるん 第25号(1988) 八雲会)	-----	117
田中貢太郎		
小泉八雲の家(名家の邸宅邸址2)(報知新聞 昭和9年6月28日)	-----	156
桂月翁教鞭の地(名家の邸宅邸址3)(報知新聞 昭和9年6月29日)	-----	156
田中M		
Kwaidan/tr. and annotated by M. Tanaka(東京 泰文堂 1957)	-----	69
谷毅夫		
門づけが歌った京都の疎水心中事件(へるん 第33号(1996) 八雲会)	-----	122
谷川徹三		
小泉八雲選集/谷川徹三編(筑摩書房 1951)	-----	51
明治村通信 第48号(1974)・御挨拶	-----	135
小泉八雲と日本(日本文化時報)	-----	125
谷村忠樹		
ハーンとモース(へるん 第28号(1991) 八雲会)	-----	119
ハーンと朔太郎(へるん 第29号(1992) 八雲会)	-----	120
スペンサーの影響をめぐって(へるん 第30号(1993) 八雲会)	-----	120
ハーンとユング(へるん 第31号(1994) 八雲会)	-----	120
ハーンとゴッホ(へるん 第33号(1996) 八雲会)	-----	122

棚田吾郎	
小泉八雲：映画のためのひとつの案／八木保太郎、棚田吾郎著	78
Targ, Will	
Lafcadio Hearn (Chicago, Black Archer Press, 1955)	2
田坂長次郎	
モラエス考 (立正大学教養部紀要 第8号(1974))	136
欧米文学の日本発見 (立正大学教養部紀要 第8号(1974))	137
田代三千稔	
日本の面影／田代三千稔訳 (東京、愛宕書房 1945)	63
日本の面影／田代三千稔訳 (角川文庫 1958)	63
Kidan = 奇談／田代三千稔訳 (東京、南雲堂 1955)	69
愛と孤独と漂泊と (東京、月曜書房 1958)	72
破約／田代三千稔訳 (現代怪談集成／紀田順一郎編 より) 立風書房 1993)	96
アメリカの作家たち／ハーンの世界 (東京、英宝社 1981)	97
ラフカディオ・ハーンの世界 (鶴見女子大学紀要 第3号(1965))	128
ラフカディオ・ハーンの世界 (鶴見女子大学紀要 第6号(1968))	129
ラフカディオ・ハーンの世界 (鶴見女子大学紀要 第7号(1969))	129
ラフカディオ・ハーンの世界 (鶴見女子大学紀要 第4号(1967))	130
ラフカディオ・ハーンの世界 (鶴見女子大学紀要 第2号(1964))	131
ラフカディオ・ハーンと仏教 (鶴見女子大学紀要 第5号(1968))	133
多々納健児	
「ヘルンを讃える青少年スピーチコンテスト」審査結果 (へるん 第31号(1994))	121
立野正裕	
文学の解釈 I (ラフカディオ・ハーン著作集 第6巻(1980) 恒文社 の訳)	
第17章 十九世紀のイギリス小説 (前期) 第18章 十九世紀イギリス小説	
(後期) の翻訳	59
文学の解釈 II (ラフカディオ・ハーン著作集 第7巻(1985) 恒文社 の訳)	
第3章 聖書と英文学 第4章 散文芸術論 第5章 小説における超自然的	
なものの価値 第11章 「ハヴァーマル」古代北歐の生活倫理	59
立脇祐十	
ラフカディオ・ハーンの世界を追って・あとがき (恒文社)	85
小泉家について (へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
ハーンの写真集取材ノートから (へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
タットル, アレン E.	
松江で感じたこと (ヘルンを訪ねる／池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
Some meditations on visiting Hearn Country (英語教育 Vol. 13, No. 2)	140
帝国文学会	
小泉八雲記念号／帝国文学会編 (帝国文学 第10巻第11(1904))	79
Temple, Jean	
Blue ghost (New York, Cape, c1931)	72
天理図書館	
小泉八雲集／天理図書館編 (天理大学出版部 1956)	2
天理大学蔵ハーン文庫目録／天理図書館編 (天理大学出版部 1978-92)	4
寺島悦恩	
西洋落穂集 (ラフカディオ・ハーン著作集 第4巻(1987) 恒文社 の翻訳)	57
タクシー・サイクス ギレアド＝バルサム メンフィスからニューオーリンズへ	
南部 ニューオーリンズ ニューオーリンズからの手紙 ある苛酷な物語	
ニューオーリンズ通りの奇妙な命名法 失われた音楽 音楽についてギリシャ人	

が知っていたこと メフィストフェレス リスト トワレグ族 シディ・
 アブデルカデル・エル・ジェラニ マーディの正統 クレオール人の医師
 ニューオーリンズ博覧会 ニューオーリンズに見る東方の国 東洋の珍しき品々
 珍しいものを探す人の覚え書 ニューオーリンズの政府展示品 東洋のソロモン
 物語 ストラコシュ・オペラ座の思い出 新しいナポレオンの肖像 女と馬

手塚竜磨

私の卒業論文とハーン (明治村通信 第48号(1974)) 135

Thomas, Edward

Lafcadio Hearn (London, Constable, 1912) 82

ティルトマン、ヘッスル

小泉八雲と日本 (昭和25年6月19日) 160

Tinker, Edward Larocque

Lafcadio Hearn's American days (New York, Dodd, 1925) 85

Lafcadio Hearn's American days (London, Bodley Head, 1925) 85

遠田勝

詩・詩人論 (ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻(1987) の翻訳)

第2章 バラッド秀歌選 第4章 フィンランド叙事詩の英学への影響について

第6章 象徴詩市斑 第15章 遊戯詩管見 第19章 自然詩の偉大なる先駆者 ..61

「第鴉の手紙」解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻(1988) 書簡Ⅱ・
 書簡Ⅲ・拾遺 年譜 より) 62

「ジェイムズ・D/ハーン宛書簡集」解説 (ラフカディオ・ハーン著作集
 第15巻(1988) 書簡Ⅱ・書簡Ⅲ・拾遺 年譜 より)62

化けものから幽霊へ/翻訳 (明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫
 1990)62

勇子/翻訳 (明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)62

出雲再訪/翻訳 (明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)62

ちんちん小袴/翻訳 (明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990) ..62

おばあさんの話/翻訳 (明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990) 62

明治日本の面影/平川祐弘編ー解説 (講談社学術文庫 1990)62

評伝ラフカディオ・ハーン/E. スティーヴンスン著、遠田勝訳 (恒文社 1984) 76

評伝ラフカディオ・ハーン・解説 (恒文社 1984)76

ハーンと過ごした東の間の日々/ホーフマンタル著、遠田勝訳 (小泉八雲: 回想
 と研究 講談社学術文庫 1992)78

小泉八雲/遠田勝訳 (小泉八雲: 回想と研究 講談社学術文庫 1992)78

西洋人の神道理解 (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房新社
 1994)90

鎮魂と慰霊の語り手、小泉八雲 (異文化を生きた人々/平川祐弘編 中央公論社
 1993 より)99

修辞としてのギリシア (雑誌「ユリイカ」 第27巻4号(1995)) 110

ハーン研究の現状と展望 (ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 月報 No. 15
 (1988)) 126

「神国日本」考 (比較文学研究/東大比較文学会編 第4巻7号(1985)) 139

西洋人の神道理解 (雑誌「無限大」 No. 88(1991)) 140

書簡が語る八雲の生涯 (雑誌「無限大」 No. 88(1991)) 140

「神仏の国日本」を愛したハーン (国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号(1991)) 141

小泉八雲と神々 (国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号(1991)) 141

八雲の作品に現れた<白い光>の譬喩について (大谷女子大学紀要 第16号第2輯
 1981) 144

東田敏夫 ⇨ ヒガシダ トシオ

東大比較文学会

比較文学研究 第60号 恒文社 199176

比較文学研究 Vol. 26(1987) 132

比較文学研究 第47号 朝日出版社 1985	133, 136, 138
戸川エマ	
小泉家の人びと (ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻 月報 No. 9(1987) 恒文社 1987)	127
戸川明三	
小泉八雲全集 第7巻(1926) 第一書房 の訳	53
戸川秋三 (秋骨)	
神国日本 第一書房 1932 の訳	64
楽天地獄 (東京、現代ユウモア全集刊行会 1929)	102
随筆文鳥 (東京、奎運社 1924)	104
神国日本: 批評と紹介 (戸川秋骨訳 (読売新聞 昭和7年12月1日)	154
佐藤氏訳す小泉先生の「尖塔登攀記」 (読売新聞 昭和9年12月23日)	157
徳宣一郎	
民族のこころのことなど (覚書) 第1 ラフカディオ・ヘルンのこと (北陸経済 研究 No. 34(1981))	136
徳富猪一郎	
老記者の旅 (東京、民友社, 1937)	102
徳富蘇峰	
小泉八雲満三十年忌記念出版の二著に就て (東京日日新聞 昭和9年10月25日) 150 ヘルン文庫 (東京日日新聞 昭和10年(1935)10月10日)	157
徳山博之	
1991年「ジェーンとハーン記念祭」 (ジェーンズとハーン記念実行委員会 (1991)	99
富原芳彰	
Japanese strange stories=日本奇談/富原芳彰訳注 (研究社 1957)	69
富井俊郎	
<書評>工藤美代子著「マルティニーク熱帯紀行」 (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
富田仁	
小泉八雲とフランス (ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻 月報 No. 6(1983) 恒文社)	126
「仏領西インド諸島のメモ帳」 (明治村通信 第48号(1974))	135
富塚博之	
「雪女」 (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
鳥居明雄	
生誕と自己疎外: 八雲「雪おんな」論	139
鳥海久義	
詩人・詩人論 (ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻(1987) 恒文社) の訳 第7章 英雄的主題を扱った詩 第9章 樹木の詩 第10章 英詩における 花 第13章 二つの神秘的なバラの詩	61
鳥海美恵子	
詩人・詩人論 (ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻(1987) 恒文社) の訳 第9章 樹木の詩 第12章 ジェイムズ・トムスン B. V. の詩について フッドの「幽霊屋敷」について 第20章 詩におけるウォルター・スコットの 位置	61

富山高等学校

Catalogue of the Lafcadio Hearn Library in the Toyama High School
(Toyama High School, 1927) ----- 1

豊田政子

ハーンの地蔵遍歴 (へるん 第28号(1991) 八雲会) ----- 119
ラフカディオ・ハーンの虫の文学 (東洋大学紀要 教養課程篇 第33号
(1994) ----- 130
ラフカディオ・ヘルンと日本文化(1) (東洋大学紀要 教養課程篇 第26号
(1987) ----- 134
ラフカディオ・ヘルンと日本文化(2) (東洋大学紀要 教養課程篇 第27号
(1988) ----- 134
ラフカディオ・ヘルンと日本文化(3) (東洋大学紀要 教養課程篇 第28号
(1989) ----- 134
ラフカディオ・ヘルンと日本文化(4) (東洋大学紀要 教養課程篇 第29号
(1990) ----- 134
ラフカディオ・ヘルンと日本文化(5) (東洋大学紀要 教養課程篇 第30号
(1991) ----- 134

戸沢正保

東の国から・心 (小泉八雲全集 第4巻(1927) 恒文社) ----- 52
詩論 続々 (小泉八雲全集 第16巻(1927) 恒文社) ----- 54

戸沢姑射

「沙翁全集」の思い出咄 (上) (英語青年 第96巻7号(1950)) ----- 139

坪内逍遙

故小泉八雲氏の著作につきて (小泉八雲全集 別冊 第一書房 1945) ----- 55
故小泉八雲氏の著作につきて (ラフカディオ・ヘルン小泉八雲/田部隆次著
(早稲田大学出版部 1914) ----- 86
文芸瑣談話 1904 ----- 97
逍遙全集 第12巻(1927) 春陽堂 1927 ----- 103

土谷直人

ハーンの変容 (世界の中のラフカディオ・ハーン/平川祐弘編 河出書房新社
1994) ----- 90
ハーンの変容 (雑誌「無限大」 No. 88(1991)) ----- 140

津田昇

The stories and sketches of Lafcadio Hearn/津田昇注釈 (Tokyo, Taiseido,
1960) ----- 45
ハーン文学と書簡 (大阪経大論集 第73号(1970) 大阪経済大学) ----- 111
ハーン学者が辿る英文学の道 (高校英語教育 第6巻第4号(1965)) ----- 111
Lafcadio Hearnの人間性について (関西外国語大学研究論集 第10号(1964)) ----- 131
人間ヘルンの内的生活一、二の私見 (精華学園研究紀要 第1輯(1963)) ----- 137
われ限りなくHearnを愛す (精華学園研究紀要 第2輯(1964)) ----- 141

津田武夫

ヘルンと職員録 (英語青年 第76巻第5号(1936)) ----- 123

辻幸三郎

お前の魂は腐っている (学苑 昭和女子大学光葉会 第208号(1957)) ----- 149

辻原登

新・「江ノ島行脚」 (雑誌「ユリイカ」 第27巻第4号(1995)) ----- 110

築島謙三

ラフカディオ・ハーンの日本観 (勁草書房 1964) ----- 85
ラフカディオ・ハーンの日本観 増補版 (勁草書房 1984) ----- 85

英国人に見た日本人 (東洋文化研究所紀要 第52冊(1970))	108
ハーンの日本文化観 (東洋文化研究所紀要 第11冊)	111
日本人と英国人 (大修館書店 1968)	137
恒松制治	
わが心わが山陰・序・題字 (東京、聚海書林 1982)	90
土井晩翠	
小泉八雲先生 (土井晩翠著「アジアに叫ぶ」 東京 : 博文社, 1932)	100
鶴岡真弓	
ケルトの西、シンシナティの南／徹底討論・西成彦／鶴岡真弓 (雑誌「ユリイカ」 第27巻4号(1995))	110
Tuttle, Allen	
Some meditations on visiting Hearn country (大修館書店 1964)	140
U	
内田映	
小泉八雲の著書中の鳥類 (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
小泉八雲と隠岐の後醍醐帝 (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
小泉八雲と八重垣神社の句碑 (へるん 第30号(1993) 八雲会)	120
八雲新発見書簡に出る高木氏・佐久間氏のこと (へるん 第31号(1994))	121
内田宝谷	
俳句 小泉八雲旧居 (へるん 第31号(1994) 八雲会)	121
短歌 小泉八雲旧居 (へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
俳句吟詠 松江の小泉八雲懐古 (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
内田融	
ヘルンに関する「山陰新聞」記事 (へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
父兄の教育上における注意 (島根県立教育会誌 211号) (へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
「ハーン=チェンバレン往復書簡」配列の疑問 (へるん 第29号(1992))	119
「ハーン=チェンバレン往復書簡」の配列と「山陰新聞」広告記事 (へるん 第30号(1993))	120
マルティニーク島の絵と図画教師後藤金弥のこと (へるん 第33号(1996))	122
<書評>小泉八雲著「民俗学者・小泉八雲 (へるん 第33号(1996)八雲会)	122
内ヶ崎作 (策) 二 (三) 郎	
小泉八雲先生を懐ふ (小泉八雲全集 別冊 第一書房 1945)	55
誕生より来朝までの小泉八雲先生 (帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲記念号)	79
小泉八雲先生を懐う (ラフカディオ・ハーン小泉八雲／田部隆次著 早稲田大学出版部 1914)	86
内山敬二郎	
小泉八雲先生 (水郷 第4輯(1925) 文豪小泉八雲号)	73
内山正平	
Japan/selected by K. Kumano (Tokyo, Hokuseido, 1925)	42
ヘルンに映じた日本人の微笑 (早稲田法学会誌)	123
上田常一	
セグロウミヘビの話 (ヘルンを訪ねる／池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75

上田和雄	
Life and literature/ed. with notes by Kazuo Ueda (Tokyo, Hokuseido Press 1989)	36
小泉八雲集/上田和夫訳 (新潮文庫 1979)	52
上田杏村	102, 117
随筆思慕の春 (東京、第一書房 1934)	104
小泉八雲全集の出版に寄せてーヘルン雑話 (へるん 第30号(1993))	120
宇家たみ	
ヘルン先生 (ヘルンと大社 大社ヘルン会 1954)	76
鶴木奎治郎	
ハーンの「赤い婚礼とホーソンのラパチーニの娘」 (へるん 第11号(1974))	113
ジャーナリストへるんの不思議な感覚 (へるん 第16号(1979) 八雲会)	114
ヘルンさんとデレンさん (へるん 第17号(1980) 八雲会)	114
ヘルン・漱石・J・ロンドン (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
右近克枝	
情愛の美しさと神秘性 (へるん 第26号(1989) 八雲会)	117
ハーンと幽霊 (へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
ハーンの恐怖概念 (へるん 第30号(1993) 八雲会)	120
ハーンの見たもの (へるん 第31号(1994) 八雲会)	120
ハーンの心に生き続けた父母への思い (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122
梅田貞夫	
小泉一雄ノート「焼津町の詩」について (八雲 第2号(1988) 焼津 小泉八雲 顕彰会)	143
梅原真隆	
小泉八雲の感触 上、下 (中外新聞 昭和9年8月19日、21日)	156
梅川和男	
ヘルンとセツの玉手箱/藤森きぬえ作 (東京、文溪堂 1992) の挿絵	75
梅本順子	
ハーンと同僚、佐久間信恭 (へるん 第30号(1993) 八雲会)	120
ハーンと西インド諸島 (へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
宇野浩二	
近代日本文学研究明治文学作家論 下/佐藤春夫、宇野浩二編 (小学館 1943)	100
浦川直子	
アウトサイダーとしてのハーン (雑誌「無限大」 No. 88(1991))	140
浦田.	
女性の寄付で建った旧制富山高等学校 (富山ものしり雑学大全 富山テレビ)	180
牛村圭	
虫の演奏家 (日本の心/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)	63
虫めづるハーン (比較文学研究 第47(1985))	136
ウツノミヤ, イワオ	
A note on Hearn and Benedict (外国文学研究 第4号(1961) 立命館大学 人文科学研究所)	137

W

和田正則	
スポーツ好き (ヘルン今昔／八雲会編 恒文社 1993)	75
旧八雲会から新八雲会までの四十年間のこと (ヘルンを訪ねる／池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
旧八雲会の思い出 (へるん 第1号(1965) 八雲会)	112
座談会・ハーンと高橋さん (へるん 第2号(1965)	112
八雲会あれこれ (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
八雲会あれこれ (つづき) (へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
無題 (へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
城見縄手「小磯国昭自伝」より (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
和田垣謙三	
兔糞録 (至誠堂書店 1913)	103
若月保治	
ハーン氏の「日本婦人の名」について (帝国文学 第10巻第11(1904) 小泉八雲 記念号 大日本図書)	79
ワシオ, トシヒロ	
ハーンと画家・小泉清 (ラフカディオ・ハーン著作集 第11巻 月報 No. 4 (1981) 恒文社)	126
渡辺兼直	
<随想>へるん先生のみずうみ (へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
渡辺弘道	
「父・渡辺沢見」 (へるん 第21号(1984) 八雲会)	115
新宿歴史博物館開館によせて (へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
渡辺孝三	
へるん談話室 (へるん 第1号(1965) 八雲会)	111
渡辺栄	
ハーン先生と大伯父雨森信成との絆 (へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
渡辺沢見	
ハーンへの慕情 (ヘルンを訪ねる／池野誠編 島根出版文化協会 1968)	75
古本にかけの妙味 (日本古書通信 第389号(1976) 日本古書通信社)	109
漱石のみたヘルン (へるん 第7号(1968) 八雲会)	113
外山正一と小泉八雲 (へるん 第10号(1973) 八雲会)	113
ヘルンの肖像 (その1) (へるん 第13号(1976) 八雲会)	113
ヘルンの肖像 (その2) (へるん 第14号(1977) 八雲会)	114
チェンバレン宛ハーンの手紙 (へるん 第15号(1978) 八雲会)	114
ヘルン生誕130年記念事業として (へるん 第16号(1979) 八雲会)	114
古書界に出た大谷正信の英作文 (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
松江で考えたこと (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
ヘルン著作集の「内容見本」について (へるん 第19号(1982) 八雲会)	114
「へるん誌」の回想 (へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
西村貫一氏所持のハーン書簡 (日本古書通信 第425号(1979))	137
大谷正信の英作文 (日本古書通信 第415号(1978))	138
外山正一宛小泉八雲書簡 (日本古書通信 第380号(1975))	141
渡浩一	
お地蔵さんとハーン (国文学 解釈と鑑賞 第56巻11号(1991))	141
Westcott, Naomi H.	
Glimpses of unfamiliar Japan. 100 years later (Lafcadio Hearn Journal.	

(A-88)	(Westcott, N. H. ~ 山口蚊象)	
	vol. 1, no. 2(1991) Cincinnati, Lafcadio Hearn Society) -----	127
	Hearn's Great-Grandson tours U. U. (Lafcadio Hearn Journal. vol. 4 Cincinnati, Lafcadio Hearn Society) -----	128
Whitefield, A. Stanton	A history of English literature/ 3rd edition revised by A. Stanton Whitefield (Hokuseido Press, 1930) -----	35
Willson, Jean	Lafcadio Hearn/ed. by Louis Allen & Jean Wilson (Sandgate, Kent, Japan Library, 1992) -----	35
Wong, Jeanyee	Tales out of the East/pictures by Jeanyee Wong (Emmaus, Penn, Story Classics, 1952) -----	13
	X	
	Y	
矢部太郎	松江に於けるヘルン先生関係記事 (へるん 第12号(1975) 八雲会) -----	113
	松江におけるヘルン先生関係記事[2] (へるん 第12号(1975) 八雲会) -----	113
	ホーリヘッドの旅 (へるん 第19号(1982) 八雲会) -----	115
	ヘルンの墓碑銘考 (へるん 第21号(1984) 八雲会) -----	115
	新資料「山陰新聞」のこと (へるん 第27号(1991) 八雲会) -----	118
八木悦子	ハーン (へるん 第28号(1991) 八雲会) -----	119
八木功	八雲と藤村 (へるん 第33号(1996) 八雲会) -----	122
八木保太郎	小泉八雲：映画のためのひとつの案 1959 -----	78
矢口達	英和对訳小泉八雲文抄 (東京、中興館 1915) -----	68
八尋不二	シナリオ・美しき日本の妻 (松江、小泉八雲百年記念委員会 1950) -----	90
焼津市教育委員会	ふるさと再発見 (焼津市教育委員会 1985) -----	98
八雲会	小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第1巻 (雄松堂出版 1990) -----	5
	小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第2巻 (雄松堂出版 1991) -----	5
	小泉八雲草稿・未刊行書簡拾遺集 第3巻 (雄松堂出版 1992) -----	5
	ヘルン今昔 (恒文社 1993) -----	74
	へるん 第1号(1965) ~ 第33号 (1996) -----	112~122
山田 I	Select readings from Lafcadio Hearn. Second series/with notes by I. Yamada (Tokyo, Kenkyusha, 1930) -----	45
山口蚊象	八雲図書館設計図／山口蚊象設計 昭和9年 -----	8

山口美恵	
さまざまな学び (へるん 第19号(1982) 八雲会)	115
山口静一	
フェノロッサとラフカディオ・ハーン (Heron. Vol. 13(1979) Saitama University)	109
Lafcadio Hearnと仏教美術 (Heron No. 3(1968) 埼玉大学)	133
山路勝之	
日露戦争とハーンおよびコンラッド (英語英文学論集 No. 4(1973) 鹿児島大学英文研究室)	137
山本和夫	
愛の詩人小泉八雲 (東京、偕成社 1957)	72
山本康治	
怪談・耳なし芳一のはなし・小泉八雲 (文部時報 No. 1448 1997)	181
山下宏一	
東西文学評論 (ラフカディオ・ハーン著作集 第5巻(1988) 恒文社 の翻訳)	
理想主義の将来 理想主義と自然主義 写実主義と理想主義 文学進化の教訓	
科学と文学 芸術としての頹廢 雑誌文芸における折衷主義一の翻訳	58
「ハーン=チェンバレン往復書簡」解説 (ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 (1988) 恒文社)	62
山本供平	
Kwaidan 上巻/with translation and notes by K. Yamamoto (春陽堂 1931)	69
Kwaidan 下巻/with translation and notes by K. Yamamoto (春陽堂 1931)	69
UBAZAKURA=乳母桜/山本供平訳注 (英語と英文学 第3巻第4号(1929))	105
山根愛子	
隠岐に旅して (へるん 第23号(1987) 八雲会)	116
大和資雄	
英米文学史 (角川書店 1958)	98
山下宏一	
「チタ」を読む (東京電機大学理工学部紀要 Vol. 6(1987))	107
山崎正和	
落日の風景/対談・山崎正和・丸谷才一 (別冊文芸春秋 No. 172(1985))	134
柳田寛	
Lafcadio Hearn, the story of the Futon of Tottori の<読み>をめぐって	
北海道医療大学基礎教育部論集 第21(1995)	128
柳瀬正人	
英語と日本語の"Hybridism" (大月短大論集 第2号(1971))	108
柳瀬尚紀	
ジェイムズ・ジョイスの移入 (「東の国から」通信 no. 6 1995)	182
矢野峰人	
小泉八雲について (ラフカディオ・ハーン小泉八雲展 1965年)	7
人生と文学・解説 (人生と文学/太田三郎訳 河出書房 1954)	49
現代日本文学手帖 詩歌篇 (東京、創元社 1952)	98
蒲原有明研究 (東京、刀江書院 1959 増訂版)	100
ラフカディオ・ハーンについて (日米文化交流の百年 アメリカ大使館広報文化局出版部 1968)	101

日本英文学の学統 (研究社 1961)	102
ブレイク移入史覚え書 (研究社 1965)	106
ヘルン二十周年忌に因みて (風土 第1冊(1950) 松江、風土社)	109
「ヘルンを訪ねる」を読む (へるん 第6号(1968) 八雲会)	113
「漱石と敏のこと」を読んで (英語青年 第101 巻第3号(1955))	140
座談会：ハーンの講義と文学／川田順、矢野峰人、太田三郎 (英語青年 第11巻 (1965))	145
偉大さを生かす道 (島根新聞 昭和25年6月29日、続-30日 ハーンの真価より)	163
矢野禾積	
ヴィクトリア朝詩歌論 (研究社新英米文学語学講座 12 研究社 1954)	103
文芸評論家としてのHEARN (人文学報 (東京都立大学人文学会) No. 9(1953)) ..	107
矢野修一	
或る書 (へるん 第27号(1991) 八雲会)	119
安江安宣	
小泉八雲とアビシニア号 (へるん 第24号(1987))	117
安田公弘	
八雲と私 (へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
安井信子	
アメリカ文学論／坂本雅之、安井信子訳 (ラフカディオ・ハーン著作集 第3巻 (1981) 恒文社 1981)	57
保永貞夫 (訳者)	
耳なし芳一・雪女 (講談社青い鳥文庫 1992)	62
耳なし芳一・雪女／解説 (講談社青い鳥文庫 1992)	62
安野光雅	
動物たちの物語 (筑摩書房 1993 ちくま文学の森)	96
悪いやつ物語 (筑摩書房 1990 ちくま文学の森)	96
安吉逸季 (訳者)	
人生と文学 (ラフカディオ・ハーン著作集 第9巻(1099) 恒文社)	60
依田昌彦	
朝日新聞の誤報 (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
淀江きみえ	
隠岐蓑浦の一夜 (へるん 第22号(1985) 八雲会)	116
私の「おしどり」 (へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
<随想>初冬の譜 (へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
横尾広光	
パーシバル・ローエルと日本文化論 (杏林大学医学部教養課程研究報告 Vol.4 (1977))	138
横島昇	
日本の雨傘／フランシス・キング著、横島昇訳 東京 河合出版 1991)	100
横山純子	
小泉八雲コレクション国際総合目録 補巻(1991-92) の編者 八雲会)	2
「神々の国の首都」 (雑誌「ユリイカ」 第27巻4号(1995))	110
八雲手作りの英語教材 (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
「伯耆から隠岐へ」の幽霊船の描写を巡って (へるん 第30号(1995) 八雲会) ..	121
江の島行脚 (へるん 第33号(1996) 八雲会)	122

横山孝一	
竜宮への帰還 (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
ハーンの見た夢 (へるん 第30号(1993) 八雲会)	120
聖母の奇跡 (へるん 第31号(1994) 八雲会)	120
「東の国から」について (へるん 第32号(1995) 八雲会)	121
母の愛は死より強く: ハーンと「雅歌」について (へるん 第33号)	122
横山幸子	
伯耆への旅 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
勝見温泉と精霊舟 (ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
吉田郁子	
小泉八雲 (八雲 第2号(1988) 焼津 小泉八雲顕彰会)	138
吉田繁子	
Hearn:answering to may young questioner (英語研究 第39巻第6号(1950))	130
吉村一夫	
詩—松江城郷四季 (へるん 第18号(1981) 八雲会)	114
吉野貴好	
ハーンの宗教観を思う (へるん 第29号(1992) 八雲会)	119
シンシナティ探訪(1) (へるん 第31号(1994) 八雲会)	121
吉阪俊蔵	
王堂チェンバレンの交友(1)(2) (学会月報)	137
吉武好孝	
ラフカディオ・ハーンのホイットマン論 (武蔵野女子大学紀要 Vol. 14(1979))	129
ラフカディオ・ハーンの功罪について (明治村通信 第48号(1974))	135
Yu, Beoncheon	
An ape of Gods (Detroit, Wayne State University, c1964)	72
祐源八甕	
へるん談話室 (へるん 第2号(1965) 八雲会)	112
由良君美	
英文学崎人伝 ヴィクトリア朝哲学 (ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻(1987) 恒文社刊) の翻訳及び解題	60

Z

銭本健二	
A chronological bibliography of studies and book reviews on Lafcadio Hearn written in English 1930-1982 (島根英語教育 第2号(1985) 島根大学教育学部英語教育研究室)	2
小泉八雲コレクション国際総合目録/銭本健二編 (八雲会 1991)	2
小泉八雲コレクション国際総合目録 補巻/銭本健二編 (八雲会 1991)	2
イギリスの総合誌・書評誌1880-1910に見られる日本関係記事 (英語教育と英語研究 第3号(1986))	3
小泉八雲草稿・未刊書簡拾遺集 第2巻/銭本健二ほか編 (雄松堂出版 1991)	5
小泉八雲草稿・未刊書簡拾遺集 第3巻/銭本健二ほか編 (雄松堂出版 1992)	5
小泉八雲父子英語練習帳/銭本健二編 (八雲会 1991)	7
Appendices for the writings of Lafcadio Hearn/ed. by Kenji Zenmoto. (Kyoto, Rinsen Book, 1991)	9
神々の国の旅の案内/監修 銭本健二 (八雲会 1990)	50
ラフカディオ・ハーン著作集 第15巻 あとがき 恒文社 1988)	62

伯耆から隠岐への翻訳(明治日本の面影/平川祐弘編 講談社学術文庫 1990)	62
ヘルン今昔・はじめに(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
満国博覧会(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
天皇誕生日(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
帝国議会開院(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
大雪と洪水(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
山口松五郎(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
稻荷渡しと楽山神社祭り(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
佐太神社参拝(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
玉造温泉(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
八重垣神社・神魂神社(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
食卓(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
恋人への手紙(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
小泉八雲記念館(ヘルン今昔/八雲会編 恒文社 1993)	75
ラフカディオ・ハーン/エルウッド・ヘンドリックー 錢本健二訳(小泉八雲/ 平川祐弘編 講談社学術文庫 1992)	78
八雲研究・回想と展望(小泉八雲/平川祐弘編 講談社学術文庫 1992)	78
明治「出雲風土記」(へるん 第20号(1983) 八雲会)	115
「ハーバー誌」上のもう一つの「グリーンシズ」(へるん 第22号(1985))	116
正宗白鳥のもうひとつのハーン論(1)(へるん 第23号(1986) 八雲会)	116
正宗白鳥のもうひとつのハーン論(2)(へるん 第24号(1987) 八雲会)	117
E. ビスランドの日本滞在記(へるん 第25号(1988) 八雲会)	117
ウエルドン宛(1890年1月31日付)(へるん 第26号(1989) 八雲会)	117
根岸啓二さんの思い出(へるん 第26号(1989) 八雲会)	118
「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(1)(へるん 第27号(1990))	118
機関誌「へるん」変遷について(へるん 第27号(1990) 八雲会)	118
「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(2)(へるん 第27号(1990))	118
メアリー・M/フェノロサの草稿「夕霧お客さん」(へるん 第27号(1990))	118
「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(3)(へるん 第28号(1991))	119
The conservator 収録断片(へるん 第28号(1991) 八雲会)	119
「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(4)(へるん 第28号(1992))	119
書評 S. Ronan & T. Koizumi:Lafcadio Hearn(へるん 第29号(1992))	120
「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(5)(へるん 第30号(1993))	120
「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(6)(へるん 第31号(1994))	121
「ラフカディオ・ハーン イン カンサイ」報告(へるん 第32号(1995))	121
<書評>平川祐弘編「異文化を生きた人々」(へるん 第33号(1996))	122
微笑する類推の人(ラフカディオ・ハーン著作集 第10巻 月報 No. 11(1987) 恒文社)	127
<Book review> Lafcadio Hearn and vision of Japan and Overseas	127
ラフカディオ・ハーンと猫(山陰地域研究 第5号(1989) 島根大学)	133
ラフカディオ・ハーンと聖者伝説(山陰地域研究(伝統文化) 第2号(1986) 島根大学山陰地域研究総合センター)	133
ラフカディオ・ハーンと神聖舞踏(山陰地域研究(伝統文化) 第3号(1987) 島根大学山陰地域研究総合センター)	133
死者の文学:ラフカディオ・ハーンと日本の墓碑銘	139
失われた照応(1)小泉八雲書簡の削除部分(2)未刊行の小泉八雲の書簡 (英語青年 第134巻9, 10号(1988-89))	141
小泉八雲参考文献目録:1975年から1991年まで(国文学 解釈と鑑賞)	141
ハーンの後ろ姿(「東の国から」通信 No. 4/5 1994)	182

Zweig, S.

ラフカディオ・ハーン(小泉八雲全集 第8巻 みすず書房 1954)	55
-----------------------------------	----

書名・文献名索引 (ハーンの著書含む)

A

ああ「ヘルン文庫」眠る小泉八雲の蔵書〔朝日新聞富山版〕	176
Abbe's temptation(Hearn) ⇨Literary essays	27
About faces in Japanese art(Hearn)	15, 16
About of book(Hearn)	13
Academical triumphs (Hearn) ⇨ Literary essays	27
Accursed fig tree (Hearn)	26, 45
あちこち艸(Hearn)	63, 67
Addenda to Lafcadio Hearn(Tulane University Library)	1
Advanced prose reading	44
Adventures of Walter schnaffs and other stories	39
アフロダイティーと王の囚人(Hearn)	55
アフロディットと国(Hearn)	66
After the war (Hearn)	19, 20, 22, 44
阿片常用癖(Hearn)	57
阿片窟(Hearn)	57
阿片の吸飲(Hearn)	57
阿片とモルヒネ(Hearn)	57
アイダ(Hearn)	55, 66
Aida, Jan. 17, 1881 (Hearn)	10, 13
アインシュタインの訪日とハーン体験(金子務)	90, 140
愛国心と教育(Hearn)	55, 59
愛の伝説(Hearn)	48, 64, 66
愛の詩人小泉八雲	72
愛の裏切りと激情	63
愛と孤独と漂白と	72
アイルランド系アメリカ移民としてのヘルンの面影覚書(河野賢司) (ヘルン 第30号)	120
アイルランドを訪ねて(小泉時)(へるん 第31号)	121
アイルランドとハーンの足跡を追って(小泉時)(「八雲」より)	143
アイルランド随想(小泉凡)(へるん 第32号)	121
会津八一の八雲談(野津直久)(へるん 第22号)	116
会津八一先生と小泉家(小泉時)(へるん 第33号)	122
会津八一と小泉清(椎名駿輔)(へるん 第33号)	122
アウトサイダーとしてのハーン(浦川直子)	90
アウトサイダーとしてのハーン(浦川直子)(雑誌「無限大」より)	140
アジム氏(Hearn)	54
赤い婚礼(Hearn)	48, 51, 52, 63, 67
赤い夕日(Hearn)	49, 53
赤猫(Hearn)	55, 67
茜雲(大谷とよ子)(へるん 第21号)	115
明け方の声(Hearn)	55
Akinosuke(Hearn)	71
安芸之助の夢(Hearn)	47, 49, 50, 51, 53, 55, 63, 65, 67, 69, 70
安芸之助の夢 : 小泉八雲「怪談」論序説(中西芳絵)	106
「安芸之助の夢」と蝶になった魂(美濃部京子)(へるん 第28号)	119
秋月先生の古希を祝して	54
秋月胤永 : ハーンとの交友をめぐって(金原理)	85
悪因縁(Hearn)	51, 53
悪魔の紅玉(Hearn)	50, 55, 64, 66
悪魔の大聖堂(Hearn)	59
アラビアの女性(Hearn)	47, 66
アラビアの馬(Hearn)	57
Alead pencil and cigar holder from Russia(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and essays	26

Alexandrian library (Hearn)	27
アレクサンドル三世の死 (Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	34
アレクサンドル三世の死 (Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル 論説集	34
All in white, Sept. 14, 1879 (Hearn)	10, 12
Almost a riot (Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other storaiies	26
甘えで文学を解く (平川祐弘)	98
天の川幻想 (天の川叙情) (Hearn)	47, 63
天の川縁起 (Hearn)	47, 53
「天の川縁起」序文	47
天の川綺譚 (Hearn)	67
天の川叙情 (Hearn)	64
雨で人出も湿りがち〔山陰中央新報〕	170
雨森信成のハーン宛書簡 (1897年11月14日付) (小泉時) (へるん 第25号)	117
雨森信成について (松村じゅん) (へるん 第23号)	116
雨森信成と二種類のガイドブック (染村絢子) (へるん 第33号)	122
雨のニューオーリンズ (Hearn)	58
アメリカ (Hearn)	57
アメリカ合衆国の征服 (Hearn)	56
American aristocracy (Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essay	26
American art tastes (Hearn) ⇨ Editorials	27
アメリカ文学評論 (Hearn) (アメリカ文学論説集)	57
アメリカ文学の渦中で (Hearn)	57
アメリカ文学の死 (Hearn)	57
アメリカでも高い文名 (ハーンの真価)〔島根新聞〕	163
American Envoy (Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
アメリカにおける人口増加 (Hearn)	59
アメリカにおける労働問題 (Hearn)	59
亜米利加における低廉な労働 (Hearn)	55
American literature in Japan (Takeshi Saito)	106
American magazines (Hearn) ⇨ Editorials	26
American miscellany (Hearn)	9, 24, 25
アメリカにあってハーンを偲ぶ (原田米蔵) (へるん 第25号)	117
アメリカにおける翻訳 (Hearn)	57
アメリカにおける人種問題 (Hearn)	59
アメリカのハーンコレクション (野坂東作) (へるん 第25号)	117
亜米利加の人口増加 (Hearn)	55
亜米利加の人種問題 (Hearn)	55
アメリカの作家たち/ハーンの世界 (田代三千穂)	97
亜米利加の政治に就いての日本人の観念 (Hearn)	55
アメリカの八雲研究 (西崎一郎)	106
アメリカの雑誌 (Hearn)	58
American sketches (Hearn)	9, 22
アメリカ論説集 (Hearn)	56, 57
アメリカ雑録 (Hearn)	56
阿弥陀寺の比丘尼 (Hearn)	48, 51, 52, 55, 56, 63, 65, 67
Among the spirits. Remarkable manifestations on barr street. An Enquirer reporter communicates with his father. (The Cincinnati Enquirer, Jan. 25, 1874)	29
Amour apres la mort, April 6, 1884 (Hearn)	10, 13
Ancient and modern British amusement (Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Ancient cult (Hearn)	34
An der japanischen Sea (Hearn)	70
安藤文庫のこと (岡田幸一)	106
Animal worship (Hearn)	11
暗示 (Hearn)	53, 63, 67
あの古い絵 (Hearn)	57

アーノルド宛書簡二通(長谷川洋二)(へるん 第33号)	122
暗殺の驚異(Hearn)	57
Ants(蟻)(Hearn)	21, 68
青い血(Hearn)	57
青の心理学(Hearn)	49, 52, 67
青柳物語(青柳のはなし)(Hearn)	49, 50, 51, 53, 55, 63, 65, 67, 69, 70
Ape of Gods(Hearn)	72
Aphrodite and the King's prisoner, Oct. 12, 1880(Hearn)	10, 12
Apostle of aestheticism(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Appendices for the writings of Lafcadio Hearn(Kenji Zenimoto)	9
Appreciations of poetry(Hearn)	31
Arabesques(Hearn)	11, 12
亜刺比亜の婦人(Hearn)	54
Arabian women(Hearn)	11, 12
Archaeological art and its critics(Hearn) ⇨ Orientals articles	28
Archaeological news from China(Hearn) ⇨ Orientals articles	28
Archaeology in Cambodia(Hearn) ⇨ Editorials	27
Are Englishmen Angels?(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
蟻(Hearn)	47, 49, 55, 68
アリの消息(Hearn)	58
在りし日のヘルン〔中部日本新聞〕	167
Aristic value of Myopia(Hearn) ⇨ Editorials	27
Arlesienne(Hearn) ⇨ Editorials	27
Armed Arab women(Hearn) ⇨ Orientals articles	28
Artistry of Hearn's "At a Railway Station" (Alan Rosen)	106
Art of Lafcadio Hearn	72
Art studies of Dore(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
アルバル=小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)(小泉凡)(国文学 解釈と鑑賞)	141
アルバム東京文学散歩(野田宇太郎)	97
或る墨其西哥人の感謝(小泉八雲全集)	55
或る奴隷の話(Hearn)	57
ある英語教師の思い出(小野木重治編著)	178
或るクリオールのお話(Hearn)	55
或る絵の物語(Hearn)	50, 55, 65
ある橋の上にて(Hearn)	45, 68
ある保守主義者(Hearn)	48, 51, 63, 67
ある過酷な物語(Hearn)	58
或る舞妓の話 ⇨ 舞妓の話	
或る女の日記(Hearn)	50, 51, 53, 55, 63, 67, 96
ある国王のロマンス(Hearn)	60
或る客(Hearn)	55
或る扇子の物語(ある扇の話)(Hearn)	55, 66
ある殺人の理論的考察(Hearn)	57
ある資料について(藤森きぬえ)(へるん 第22号)	116
或る書 正、続(矢野修一)(へるん 第27、28号)	118, 119
ある帝国の軍事的復活(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
ある帝国の軍事的復活(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンのお話の神戸クロニクル論説集	34
ある哲学(Hearn)	58
朝日新聞の誤報(依田昌彦)(へるん 第18号)	114
朝日新聞100年の記事にみる①恋愛と結婚	97
朝日新聞100年の記事にみる④外国人の足跡	97
朝日新聞100年の記事にみる⑨追悼録上	97
朝の声(Hearn)	47, 65
アジアに叫ぶ(土井晩翠)	100
アジアの地平線(Hearn)	58
亜刺比亜の婦人(小泉八雲全集)	54
「アジアの光」の影(Hearn)	57, 65
Asiatic Horizon(Hearn) ⇨ Editorials	26
As if painted by lightning(Hearn) ⇨ Editorials	27

あっさりと死を：簡単なほど苦痛は少ない(Hearn)	59
Assasination. A woman's throat cut near her own door in a dark alley. She rushes speechless and bleeding into her house and dies. (The Cincinnati Enquirer, Dec. 29, 1874)	30
As to the "Golden rule" (Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Astrologer's books(Hearn)	11
愛宕山の記念碑(藤原巳代子)(へるん 第24号)	116
頭の中の辞書(Hearn)	58
At a railway station(停車場にて)(Hearn)	9, 19, 20, 23, 38, 42, 43, 44, 45, 68
新しい「禁書目録」(Hearn)	59
新しいナポレオンの肖像(Hearn)	58
新しい理論と古い理論(Hearn)	58
アテネ文化へのあこがれ(伊地知純正)(へるん 第28号)	119
At Hakata(博多にて)(Hearn)	22
At Hinomisaki(日御碕)(Hearn)	16, 17, 44, 68
Athletic contests(From "The Meridian readers Book 4")	41
Athletics ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
「アトランティック誌」の没落(Hearn)	57
At Mionoseki(美保の関)(Hearn)	16, 17, 42, 44, 68
アトキンズ宛(1901年9月1日付)(中田賢次)(へるん 第25号)	117
Atom books by ready vocabulary method(Hearn)	46
Attention! Azim!(Hearn)	11
At the Cemetery, Nov. 1, 1880(Hearn)	10, 13
At the French Opera-House(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
At the market of the dead (Hearn)	16, 17, 38
At Yaizu(焼津にて)(Hearn)	15, 18, 23, 24, 42, 44, 70
At Yaizu(From "Life and humanity")(Hearn)	40
Auf einem Reisetagebuch(Hearn)	71
Auf einer Eisenbahnstation(Hearn)	70
Aus der meiner Lehrezeit(Hearn)	71
Authors and success(May 18, 1884)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Author of "Lars"(Dec. 21, 1878)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Autobiographical narratives(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
アウトサイダーとしてのハーン(浦川直子)	136
アウトサイダーとしてのハーン「他者」との同一化をめぐって(杉山直子)	88
哀れなミイラ	58
鮎の子(小泉一雄)	108
淡路の大谷繞石(森亮)(へるん 第5号)	113
小豆磨き橋(Hearn)	64
「小豆とき橋の女幽霊」とアイルランド民話(伊藤亮輔)(へるん 第22号)	116
Azure psychology(Hearn)	15
Azure psychologyと明治美学(木村毅)	106

B

B. H. Chamberlain 文庫目録(愛知教育大学附属図書館)	6
B. H. Chamberlain に関する二つの資料とその背景(西野影四郎)	106
馬場はる(浅生幸子)	6
馬場はる刀自・胸像建立記念	6
馬場はる刀自を讃えて	6
バカワリ(Hearn)	48, 64, 66
Bakawali(Hearn)	12, 13
化け蜘蛛(Hearn)	39, 47, 51, 53, 63
化けものから幽霊へ(Hearn)	62
化け物の歌(Hearn)	53, 67
Ballet dancing and Sundry observations ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Balm of Gilead. An Afternoon at the stik facotry. What becomes of our dead	

animals. The Cincinnati Commercial, Oct. 3, 1875	30
バンジョー・ジムの物語(Hearn)	56
Banjo Jim's story(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
晩歌(小泉八雲全集)	52
万国博覧会(銭本健二)	73
晩餐とハーン(池橋達雄)(へるん 第32号)	121
晩翠夫妻と母あいの死(1)(2)(野坂東作)(へるん 第24、25号)	117
薔薇と貝殻(安藤一郎)	97
バラモンとバラモンの妻(婆羅門とその妻)(Hearn)	47, 48, 66
Barbarism and civilization(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Barbarous Barbers(Hearn)	26
Barbarous Barbers and other stories(Hearn)	9, 26
「バレット文庫」にみられるハーン創作過程(染村絢子)(八雲)	143
Beautiful stories of old Japan(Hearn)	41
Beauty is memory(Hearn)	15
Beauty of stones(Hearn)	41, 45, 68
Before the supreme court(最高法廷にて)(Hearn)	19, 24, 41, 44, 46, 69
ベイアンズ氏のハーン「詩人論」(小林定義)(へるん 第14号)	115
米国の記念室へ贈る・追悼の座談会〔読売新聞〕	158
Beluga catodon(Hearn)	11
弁天(Hearn)	67
弁天の同情(The sympathy of Benten)(弁天の感応)	52, 53, 55, 63, 64
Beside the sea(Hearn)	14, 19, 24, 38, 70
Best reading(April 14, 1879) ⇨ Essays on American literature	32
Bete-ni-Pie(Hearn)	14
Bibliography of Lafcadio Hearn(Martha Howard Sission)	2
Bibliotheca Hearniana(京都外国語大学附属図書館)	1
ビダサリ(Hearn)	56
Bidasari(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Big men and little men(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Bilai(Hearn)	19
美の悲哀(美のうちの悲哀)(Hearn)	49, 50, 52
美の褒章(Hearn)	57
Bird and the girl, June 14, 1881(Hearn)	10, 13
Bird store Reverie(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
Bird wife(Hearn)	12, 13, 45
微笑する類推の人(銭本健二)	127
ビスランドからのお梅やみ状(染村絢子)(八雲)	143
ビスランドとハーン(工藤美代子)	110
ビスマルクの文学観(Hearn)	57
Bismarck's literary philosophy(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Bits of life and death(Hearn)	22, 23, 24, 38, 42, 44, 45, 68
Bits of poetry(Hearn)	15, 17, 18
美は記憶(美は記憶なり)(Hearn)	49, 52, 67
美の中の悲哀(Hearn)	49, 50, 52, 67
美容学校(Hearn)	57
Black cupid, July 29, 1880(Hearn)	10, 12
Black varieties. The minstrels of the row. P'icturesque scenes without scenery. Physiognomical studies at pickett's. The Cincinnati Commercial, April 2, 1876	30
ブレイク移入史覚え書(矢野峰人)	106
Blanchisseuses(Hearn)	9, 13, 14, 22
Blue and Brass(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Blue blood(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Blue ghost(Hearn)	72
Blues(The Cincinnati Enquirer, Nov. 15, 1872)	28
ブルーという言葉の画家(中西善弘)(へるん 第19号)	115
Boarder's reply(Hearn)	11
Boblin-spier(Hearn)	19

(T-06)	(Boblin-spier - 芬陀利)	
Boblin-spier(Hearn)		19
墓地(墓地にて)(Hearn)		50, 55
暴動寸前(Hearn)		57
亡夫の意思継ぐ〔山陰新報〕		165
ボヘミアの回想(Hearn)		57, 65
墨其西哥貨幣(Hearn)		55
ぼくが花だった時(Hearn)		66
Bones (Hearn)		27, 28
梵語からのあやしい翻訳(Hearn)		57
梵語の叙事詩(Hearn)		57
盆踊り(Hearn)	50, 51, 52, 55, 62, 63, 66, 71	
盆市(盆市にて)(Hearn)	52, 55, 62, 66	
Bon-odori (盆踊り)(Hearn)	16, 17, 35, 70	
<Book notes> Lafcadio Hearn: the Irish background		127
Book of Enoch (Hearn)		11
Book of recitations from the writings of Lafcadio Hearn		41
Book of Thoth (Hearn)	12, 13, 44	
<Book review>A general catalogue of Hearn collection in Japan and oversear (Kenji Zenimoto)		127
<Book review> Lafcadio Hearn and vision of Japan (Carl Dawson)		123
<Book review> 小泉八雲の「文学論」(西脇順三郎)〔読売新聞〕		145
ブックレビュー小泉八雲の「文学論」(北星堂)		154
Books and habits(Hearn)		72
Books and reviews(Aug. 1, 1886)(Hearn) ⇨ Essays on American literature		32
Books by and about Lafcadio Hearn, 1850-1904(Embassy of Ireland, Tokyo)		1
亡霊(Hearn)		48, 64
「ボロ、鉄、ストーブ」(Hearn)		57
墓石(Hearn)		57
母子愛の描出: 大雄寺の伝承をめぐって(小泉凡)(へるん 第22号)		116
牡丹燈籠(Hearn)		64
没我的自制(Hearn)		68
Boutimar, the dove(Hearn)	12, 13, 41, 44	
Boy who drew cats (Hearn)		19, 39
Brahman and his Brahmani(Hearn)		12, 13
Brad laugh(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays		26
ブレッド・ハートと批評家たち(Hearn)		57
Bret Harte and the critics(July 26, 1878)(Hearn)⇨ Essays on American literature		32
ブロンドの女性とブルーネットの女性(Hearn)		59
Browningでない?(岡田幸一)		106
Browningでない?に答えて二つ(足立誠、森亮)		106
Browningが正しい(再説)(染村絢子)		106
Buddha(Hearn)		71
Buddhist allusions in Japanese folksong (Hearn)	14, 15, 16	
Buddhist names of plants and animals(Hearn)	14, 19, 24	
Buddhist writings of Lafcadio Hearn		14
Buddhistic Bugaboo! (Hearn) ⇨ Orientals articles		28
文は人なり(伊地知純正)(へるん 第28号)		119
武人、小泉湊の小伝(後藤昂)(へるん 第24号)		116
仏教へのおびえ(Hearn)		57
仏教に縁のある動植物の名(Hearn)		53
仏教に縁のある日本の諺(Hearn)		53
仏教にとっての新機会(Hearn)		55
仏教の新しい機会(Hearn)		59
仏教とは何か(Hearn)	57, 65	
文学評論集(Hearn)		57
分別の欠如(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集		34
分別の欠如(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集		34
芬陀利(Hearn)		48, 66

文学碑こぼれ話(本田秀夫)(へるん 第27号)	118
文学碑散歩(本川桂川)	97
文学上の厭世主義(Hearn)	57, 65
文学館探究/榊原浩著(新潮社)	180
文学研究と科学(土居光知)	147
文学に現れたハーン思想(長谷川公司)(へるん 第8号)	113
文学における超自然主義	64
文学入門(Hearn)	47
文学の解釈I、II(Hearn)	59
「文学の解釈」を読む(出口保夫)	126
文学論(Hearn)	50, 54
文学散歩バス	107, 145
文学者ハーンとアメリカ(里美茂美)	85
文学史論(小泉八雲全集)	54
文学進化の教訓(Hearn)	57, 65
文学と生活及性格の関係(Hearn)	73
文芸倶楽部	178
文芸読本	102
文芸評論家としてのHearn(矢野禾積)	107
文芸研究小泉八雲号	72
文芸瑣談話(坪内逍遙)	97
文豪「ハーン」小泉八雲日本文は苦手だった〔サンケイ新聞〕	170
文豪ハーンは「生きていた」(西村六郎)〔日本経済新聞〕	170
文豪ヘルンのこと(福原茂)	107
文豪小泉八雲号(水郷 第4輯)	73
文豪八雲の遺稿を入手〔産業経済新聞〕	164
文豪八雲を偲ぶ集い〔東京日日新聞〕	158
文豪を偲ぶ八雲記念館:遺品を集めた松江に建設〔富山新報〕	155
文豪八雲の遺稿、展覧の際盗難〔東京日日新聞〕	153
文人墨客を語る(市島春城)	97
文人の苦境(Hearn)	57, 65
文化人類学者としてのハーン(ジョージ・ヒューズ)	90, 140
文明の諸相(Hearn)	56
文明社会の進歩現象(Hearn)	56
文明史家ラフカディオ・ハーン(原田熙史)	73
文体論 - BriessenとWeber(岩崎鑑一)	107
Burning of dead(Hearn)⇒ Editorials	27
Burning of the Tombstones(Hearn)	10
武装されたアラブの女性(Hearn)	57
舞台に見るユダヤ人(Hearn)	58
舞台の裏(Hearn)	66
仏師興義の物語(Hearn)	45
仏足石(仏陀の足跡)(Hearn)	53, 63, 67
仏諭譚(Hearn)	48, 66
Butterflies(Hearn)	21, 41, 44, 68
Butterfly fantasies(Hearn) ⇒ An American Miscellany	25
Buying Christmas toys	26
Buying Christmas toys and other essays(Hearn)	9, 26
By force of Karma(Hearn)	19, 20, 22, 34, 42
病理上の事(Hearn)	50, 53, 56, 63
病的な自殺(Hearn)	57
By the Japanese sea(Hearn)	16, 17, 21, 38, 42

C

ケーブルの物語の舞台(Hearn)	56
Canada v. Bernhardt(Hearn) ⇒ Editorials	27
Captain Fracasse(Hearn) ⇒ Literary essays	27

カリブ雑記 (西江雅之)	110
Caribbean sketches (Hearn)	9, 22
Carmen(Hearn) ⇨ Literary essays	27
カルタゴの廃墟(Hearn)	57
Carving in the convents(Hearn)	11
Case of O-dai (Hearn)	9, 19, 23, 24, 38
Case of sympathetic understanding of the inner life of Japan (Hirakawa Sukehiro)	107
Caste (Hearn) ⇨ Orientals articles	28
カースト(Hearn)	57
Catalogue of the Lafcadio Hearn Collection in the Tenri Central Library	2
Catalogue of the Lafcadio Hearn Library at the Embassy of Ireland Tokyo	1
Catalogue of the Lafcadio Hearn Library in the Toyama High School	1
Cat and dog stories (Hearn)	28
Cedar closet(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	24
Centennial suicides(Hearn)	11
Centennial suicides. The Cincinnati Commercial, Jan. 3, 1877	31
Century's crime. A bloody operation at the heyl house. A country doctor tries his had at abortion in Cincinnati. (The Cincinnati Enquirer, 15, 1874)	29
Chamberlain as Hearn's friend	107
チェンバレン宛ハーン書簡(福間直子)(へるん 第27号)	118
チェンバレン宛ハーンの手紙(渡辺沢身)(へるん 第15号)	114
チェンバレン自筆原稿「ラフカディオ・ハアン」(榊井幹生)(へるん 第27号)	118
チェンバレンからハーンへの手紙一通1984年9月18日	4
チェンバレンの日本研究と「日本案内記」(楠家重敏)	98
チェンバレン試論 : ハーンとの比較を中心に(太田雄三)	90
チェンバレンとボールドウィン(栗原弘子)(へるん 第22号)	116
チェンバレンとハーン(楠家重敏)	126
チェンバレンとハーン(高梨健吉)(明治村通信)	135
チェンバレンとハーンの語法論争(原田純)	107
チェンバレンと柳田国男(小泉凡)	73
茶の木縁起(茶の樹伝説)(Hearn)	48, 66
「茶碗の中」 : 水鏡の中の顔(牧野陽子)	78
茶碗(茶碗の中 In a cup of tea)(茶わんの中の顔)(Hearn)	47, 49, 50, 51, 52, 53, 55, 62, 63, 67
チャールス・リード(Hearn)	57
Charles reade (Hearn) ⇨ Literary essays	27
Charnel-House, ghastly groupings in the decay of graves. (The Cincinnati Enquirer, Aug. 26, 1874)	29
Cheap Books(Dec. 20, 1883)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Cheap French literature(Hearn) ⇨ Editorials	27
Cheap labour in Japan (Hearn)	31
Cheek(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
父小泉八雲(小泉一雄)	73
父の作品にしのおぼ[夕刊山陰]	161
父八雲の述懐(小泉一雄)	107
父「八雲」を憶ふ(小泉一雄)	107
父「八雲」を憶う(小泉一雄)	67, 73, 78
父・渡辺沢身(渡辺弘道)(へるん 第21号)	115
"Chicken Skin '91"報告記(小泉凡)(へるん 第28号)	119
Chief city of the province of the Gods(Hearn)	16, 17, 38, 68
Chiffonniers(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
小さな赤猫(Hearn)	66
小さな花の展示会(Hearn)	68
小さな詩(小さな歌)(Hearn)	50, 53, 63, 67
竹柏漫筆(佐佐木信綱)	98
ちくま文学の森	96
ちくま文庫	49

畜殺の街(Hearn)	57
China and the Western world(Hearn)	19
ちんちん小袴(Hearn)	47, 51, 53, 61, 62, 63
Chin-chin kobakama (ちんちん小袴) (Hearn)	19, 39
Chinese belief in God (Hearn) ⇒ Editorials	27
Chinese future(Hearn) ⇒ Orientals articles	28
鎮魂と慰霊の語り手、小泉八雲 (遠田勝)	99
珍籍叢話	55, 63, 67
塵(Hearn)	48, 52, 63, 67
地理学と日々のパン(Hearn) ⇒ 神戸クロニクル論説集	35
地理学と日々のパン(Hearn) ⇒ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
縮緬本「ハーン日本昔噺集」(1)(2) (鈴木あゆみ) (へるん 第32, 33号)	121, 122
Chita (Hearn)	9, 10, 14, 22, 52
チタ：ラスト島のおもいで(Hearn)	48, 52, 65
「チタ」を読む：その構成原理と主題 (山下宏一)	107
Chita 論 — ハーンと自然 (東田敏夫)	107
クリスマスの玩具(Hearn)	56
蝶(Hearn)	47, 47, 49, 53, 55, 67, 68
蝶の幻想(Hearn)	47, 55, 56, 64
眺望(Hearn)	65
嘲弄者(Hearn)	48, 66
直覚(Hearn) (小泉八雲全集)	54
直覚消えた光で(Hearn)	65
著名人の結婚法離婚(Hearn)	56
朝鮮の謎(Hearn)	59
著者に最適任を得た「小泉八雲の横顔」 (中野好夫) [読売新聞]	157
調和と妥協の論理(Hearn)	56
Chronological bibliography of studies and book reviews on Lafcadio Hearn (銭本健二)	2
中学での授業 (池橋達雄)	75
中学教師の日記から(Hearn)	51
中学生の交歓温かく(Hearn)	174
中学生落合貞三郎の未発表ノートから (関田かおる)	90
忠五郎のはなし(Hearn)	50, 51, 52, 53, 63, 67
中国怪談集(Hearn)	47, 66
中国人の神信仰(Hearn)	58
中国からの考古学的なニュース(Hearn)	57
中国における英国の政策(Hearn)	57
中国の神信仰(Hearn)	58
中国の将来(Hearn)	57
注意 (小泉八雲全集)	55
中公新書	83
駐日大使と日本文学 (高杉一郎)	148
注釈雪おんな	45
Cigars(Hearn)	11
Cincinnati (Hearn)	9, 22
Cincinnati enquirer(Hearn)	45
Cincinnati--Gibbeted (Hearn)	9, 22
シンシナティの火トカゲ(Hearn)	57
シンシナティのユダヤ人(Hearn)	57
Cincinnati saints(Hearn) ⇒ Barbarous Barbers and other stories.v.2	26
Cincinnati salamanders(Hearn) ⇒ Barbarous Barbers and other stories.v.2	26
シンシナティ探訪(1) (吉野貴好)	121
City "Dumps" (Hearn) ⇒ Barbarous Barbers and other stories	26
City of dreams(Hearn)	11
Clairvoyant Abortionist. Search of the premises and the results. The story of black silk dress.(The Cincinnati Enquirer, May 23, 1873)	29
Climatic curiosities(Hearn)	11
Coins and coin gatherers(Hearn)	11

(T-10) (Collection of British ... - Creole song)

Collection of British authors Tauchnitz edition	6, 19, 20, 21
Colonization(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essays(Hearn).....	26
Colored ghoul. A human bone-boiler come to grief. (The Cincinnati Enquirer, July 18, 1874)	29
Colors and emotions (Hearn) ⇒ Editorials	27
Common sense (Hearn).....	9, 20, 23, 44, 68, 69
Communism(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essays	26
Complaint of Creole boarding-House-keeper (Hearn)	11
Complete Lafcadio Hearn lectures	6
Complete lectures の校訂に加って (西崎一郎)	107
Concerning Lafcadio Hearn (George M. Gould)	73
Concerning the Barrel-organ (Hearn) ⇒ Literary Essays	27
Concared compromise(Hearn)⇒ An American miscellany v. 2	25
Confused Orientalism(Hearn) ⇒ Oriental articles	28
Conquest of the United States(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essays	26
Conservative(Hearn)	18, 19, 20, 22, 38, 42
Conservator 収録断片 (錢本健二) (へるん 第28号)	119
Corpse-Demon(Hearn)	12, 13, 51
Corpse-rider(Hearn)	24, 25, 45, 69
Correspondence (市河三喜)	145
Cosmological speculation(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
Coubet(Hearn) ⇒ Literary Essays	27
Coulisses, Dec. 6, 1879 (Hearn)	10, 12
Courage in modern warfare(Hearn)⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	32
クールベ(Hearn)	57
クレオとラフカディオ・ハーン (仙北谷晃一)	108
クレオール文学覚え書 (クリオール文学覚え書) (Hearn)	56
クレオール文献書誌	61
Creole character(Hearn)	11
Creole courtyard(Hearn)	11
クレオール下宿人の愚痴 (クリオール下宿人の愚痴) (Hearn)	55
クレオール方言(Hearn)	56
クレオールの方言略記(Hearn)	56
クレオール人の医師(Hearn)	58
クレオール人の典型 (クリオール下宿人の典型) (クリオール人型) (Hearn) ...	47, 66
Creole journal(Hearn)	11
クレオール気質 (クリオール気質) (Hearn)	47, 65, 66
クレオール民話(Hearn)	48
クレオール物語 (クリオール物語) (Hearn)	47
「クレオール物語」原題と訳者一覧	48
Creole mysterry (Hearn)	11
クレオール日記 (クリオール日記) (Hearn)	47, 55, 66
クレオールの学問的価値 (クリオールの学問的価値) (Hearn)	56
クレオールの下女 (クリオールの下女) (Hearn)	55
クレオールの女中 (クリオールの女中) (Hearn)	47, 66
クレオールの中庭 (クリオールの中庭) (Hearn)	47, 55, 66
クレオールの性格 (クリオールの性格) (Hearn)	55
クレオールの典型 (クリオールの典型) (Hearn)	55
クレオールの歌 (クリオールの歌) (Hearn)	47, 55, 66
クレオール音楽 (クリオールの音楽) (クリオールのメロディ) (Hearn)	48, 52, 66
Creole papers (Hearn)	11, 12
Creole patois (Hearn) ⇒ American miscellany v. 2	25
クレオール俚語小辞典(Hearn)	61
Creole servant girls (Hearn).....	9, 11, 22
クレオール小品集 (クリオール小品集) (Hearn)	47, 55, 66
クレオール短編 (クリオール短編) (Hearn)	54
Creole sketches (Hearn)	11
Creole song (Hearn)	11

Creole type (Hearn)	9, 11, 22
Creole women in the French West Indies(Hearn)	11, 12
クレオール雑記(クリオール雑記)(Hearn)	47, 66
Crime of Sylvestre Bonnard(Hearn)	39
Crimson madness (Hearn) ⇨ Editorials	26
Crusade against the nude(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Cultivation of national civilized progress (Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Cunning confectioners (Hearn)	11
Curiosities of charity(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Curiosities of the pilgrimage to Mecca (Hearn) ⇨ Orientales articles	28
Curious cognomens (Hearn)	11
Curious discovery at Pompei (Hearn) Orientales articles	28
Curious judgement of the Japanese (Hearn) ⇨ Orientales aarticles	28
Curious matters in daudet's last novel(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Curse of money(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32

D

大学講師としてのハーン：西洋文学の紹介者より(池田紀美子)(国文学 解釈 と鑑賞)	141
第5 高等中学校におけるラフカディオ・ハーン(河原畑正行)	108
第五高等中学校とハーン(今江正知)	85
第一次八雲会のことーその創立と業績(本田秀夫)(へるん 第19号)	115
第一次八雲会のこと(つづき)ーその創立と業績(本田秀夫)(へるん第20号)	115
第一次八雲会のこと(つづき 21号)(本田秀夫)(へるん 第21号)	115
第一印象(Hearn)	49, 67
第2 回八雲忌全国俳句大会(へるん 第4号)	117
第二の小泉八雲に〔大阪朝日新聞〕	159
大雄寺の怪談〔山陰中央新報〕	172
Dance of death(Hearn)	27
Dance of death. Enquirer reporter in a dissecting room. the skeleton of cunny. : odors of the Carnel House (The Cincinnati Enquirer, May 3, 1874)	29
ダンシング・ガール(Hearn)	41
Dancing girl(Hearn)	41
Dancing-girl and other stories(Hearn)	41
団子を失くしたおばあさん(Hearn)	39, 47, 51, 53, 61, 63, 64
男女同等の問題(男女平等の問題)(Hearn)	55, 59
断片(Hearn)	51, 52, 53, 63, 67
談話分析からみた「耳なし芳一」(榊井幹生)(へるん 第26号)	118
ダランディシムス(Hearn)	47
”だるま”の由来(福井昭三)(八雲)	143
ダーターバーヤ・バーラタ・カーリャラーヤ(Hearn)	57
Dawn of the carnival(Hearn)	9, 11, 22
Dead for a ducat--and less than a ducat (Hearn) ⇨ Editorials	27
Dead love, Oct. 21, 1880(Hearn)	10, 12
Dead wife(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Dead secret (Hearn)	9, 13, 21, 21, 22, 42, 44, 69, 70
Death and resirrection in the Soudan(H) ⇨ Editorials	26
Death of American literature(Dec. 31, 1880) (Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Death of Victor Hugo(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Decline of foreign influence(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Decline of the Atlantic(Nov. 4, 1878) (Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Democratic enigma(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Demi-Monde of the qutique world(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
伝記・人間にまなぼう	77

伝記選書	72
伝染病 (小泉凡)	73
伝説	66
伝説と史実松江大橋 (野坂久三)	98
伝承文学と八雲: 松江とんぼつり歌考 (池野誠) (へるん 第11号)	113
電灯	59
伝統の酒蔵を見学: 小泉八雲の孫夫妻ら [北国新聞]	174
Desert or sea (Hearn) ⇨ Editorials	26
Destiny of solar systems(Hearn)	25, 27
Development of Shinto(Hearn)	34
Devil's Carbuncle, Nov. 2, 1879 (Hearn)	10, 12
Devil's Cathedral(Hearn)	26, 41
Diaries & letters [英語教師の日記と手紙] (Hearn)	68
ディクソン先生を悼む (村田祐治)	148
Difficulties (Hearn)	18, 36, 42
Dime novel crop (Hearn)	27, 42
Dime nove Wickendness(April 12, 1884)(Hearn) ⇨ Essay on American literature	32
Diplomacy (Hearn)	9, 21, 21, 22, 43, 45, 69, 70
Discovery of Early Hearn essays (Albert Mordell)	108
Discussions on "Theophrastus such"(Hearn) ⇨ Literary essays	27
Dispute in the Halacha(Hearn)	12, 13
Distinction of Shakespeare's work(Hearn)	36, 46
動物たちの物語 (安野光雄)	96
Does charity pay? (Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Doesnt want any progress(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
土井晩翠のこと 正、つづき (野坂東作) ⇨ ツチイ バンスイ	
ドイツの問題(Hearn)	58
どじょうすくい見物 [島根新聞]	163
桐光寺の追悼会 [山陰中央新報]	171
独立態勢が必要 [北日本新聞]	164
毒殺の歴史(Hearn)	56
毒殺者(Hearn)	55
読書	57
ドリー (Hearn)	48, 56
Dolly (Hearn)	9, 22, 25
Dolly. An idyl of the levee. The Cincinnati Commercial, Aug. 27, 1876	31
どうなるかヘルン文庫 第2話 [大阪朝日新聞]	158
Dore and Poe(Hearn) ⇨ Literary essays	27
ドレの大鴉(Hearn)	56
ドレとポー (Hearn)	57
奴隷制度とイスラム教(Hearn)	57
Dore's Raven(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Douane(Hearn)	11
どうして	66
どうして蟹を生き茹でにするか ⇨ 蟹はなぜ生きてまま茹でるのか	
動・植物の仏教的名称(Hearn)	63, 67
土葬にすべきか(Hearn)	57
ドーテの最後の小説(Hearn)	57
道徳と適者生存(Hearn)	59
Dov. Ningyo-no-haka(Hearn)	41
童話の世界を通じて (初山滋) [時事通信]	161
童話を作って五十年 : 雪降る国の詩人の獨語 (小川未明)	108
Dr. Hava's tarantula(Hearn)	27, 28
Dr. Holland's defenders (Hearn) ⇨ Orientals articles	28
Dr. John Ahead, 74. Professor: L. H. Scholar(Hearn)	121
Dr. Pearson's real views about China(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Dr. Tylor on Japanese influence in ancient America(Hearn) ⇨ Editorials	

from the Kobe Chronicle	31
Dragon-flies(Hearn)	19, 24, 68
Dream of Akinosuke (安芸介の夢) (Hearn)	9, 21, 22, 23, 43, 69, 70
Dream of a summer day (Hearn)	9, 22, 23, 24, 41, 45
Dream of futurity(Hearn)⇒ Editorials	26
Dream of Kites, June 18, 1880 (Hearn)	10, 12
Dream of woman writer fulfilled with memoirs of Lafcadio Hearn printed	108
Drifting(Hearn)	19, 24, 38, 41, 44, 69, 70
Drop of Dew (Hearn)	15, 20
Dug-up. Doctors at work on the body of Belleville. Post-mortem examination at Spring grove cemetery. The Cincinnati Enquirer, April 16, 1873	28
Dust(Hearn)	14, 15, 16, 34

E

エ (Ye) (Hearn)	48, 52, 66
Earless Ho-ichi (耳なし芳一) (Hearn)	15
Early Likenesses(Hearn)	11
Early writings of Lafcadio Hearn:a bibliography	11
Earthquakes and national character(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Eary edition(Hearn)	11
Eater of dreams(Hearn)	20, 41
E. ビスランドの日本滞在記 (錢本健二) (へるん 第25号)	117
Edgar Allan Poe (Hearn)	11
エドガー・アラン・ポーのフランス語訳(Hearn)	59
Editorials(Hearn)	13, 26
Editorials from the Kobe Chronicle(Hearn)	31
エドワード・トマス/ラフカディオ・ハーン (飯田操次)	73
エドウィン・アーノルド卿とハーン (長谷川洋二) (へるん 第33号)	122
エドウィン・アーノルドの新著(Hearn)	58
エジプト人のいかさま「発見者」(Hearn)	57
英米における「落花枝に帰る」の句 (町野静雄)	108
英米文学史 (大和資雄)	98
英文学への道 (平田禿木)	98
英文学上のハーンの位置 (森亮)	165
英文学畸人列伝(Hearn)	60
英文学畸人伝 (舟生平蔵)	108
英文学について (福原麟太郎)	148
英文学を如何に読むか (福原麟太郎)	98
英文学史(Hearn)	60, 61
英文学史 (岡倉由二郎)	148
英文小泉八雲全集補遺	9
英文世界名著全集	70
英文修業五十年(5)(7)(8) (伊地知純正)	108, 148
永遠のつきもの(Hearn)	49, 62, 63, 67
永遠の女性について (永遠に女性的なるもの) (Hearn)	48, 52, 64, 67
永遠の女性と妖精文学	63
永遠の執着者(Hearn)	53
永遠の世界人 (西崎一郎) [毎日新聞]	160
英学時評 (R. F.)	148
英語直訳、ハーンの日本語 (小泉時) [日本経済新聞]	175
英語英文学研究業績一覧	148
英語教育研究大会 [夕刊山陰]	163
英語教師の日記から (教師の日記から) (Hearn)	50, 51, 52, 62, 63, 66, 67
英語教師としての小泉八雲 (島谷照夫)	108
英語と日本語の"Hybridism" : Lafcadio Hearnの表現から (柳瀬正人)	108
英国法と中国の刑罰(Hearn) ⇒ 神戸クロニクル論説集	35

英国法と中国の刑罰(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
英国人は天使か(Hearn)	55
英国人の見た日本人(築島謙三)	108
英国の娯楽(Hearn)	56
英国研修旅行から : ダーラム市とアショー校を訪ねて(伊藤亮輔)	115
英国籍アイルランド人、ハーン(西野影四郎)	115
アインシュタインの訪日とハーン体験(金子務)	90, 140
英詩文鑑賞(南日恒太郎)	96
英詩に描かれた理想的女性(Hearn)	60
詠唱(秀川尚子)(へるん 第17号)	114
英和对訳小泉八雲文抄	68
易断の話(Hearn)	65
エレヌ : ある愛の挿話(Hearn)	57
Electric light(Hearn) ⇨ Editorials	27
エリウシス(Hearn)	47, 55, 66
Eleusis(Hearn)	11
Elixir of love. The tomahawker tries suicide. He searches for the jugular, but, failing in that (The Cincinnati Enquirer, Dec. 20, 1872)	28
El Vomito, March 21, 1881(Hearn)	10, 13
Embalming a corpse(Hearn)	11
Embalming a corpse. The process to which the body of Mr. Labrot has been subjected. (The Cincinnati Commercial, July 11, 1877)	31
エミール・ゾラ短篇集(Hearn)	39
Enchanted swords(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
English policy in China(Hearn) ⇨ Orientals articles	28
English studies in Japan	109
English text series(Hearn)	42
English the universal tongue of the future(Hearn) ⇨ Editorilas	27
煙管とサギ組合せ〔山陰新報〕	166
閻魔王(Hearn)	48, 66
閻魔の庁で(閻魔の庁にて)(えんま大王の前で)(Hearn)	50, 51, 53, 62, 63, 67
縁結ぶ入り江の光景	174
「江の島行脚」を読む(横山純子)(へるん 第33号)	122
江ノ島巡礼(江の島行脚)(Hearn)	52, 55, 62, 66, 68
江ノ島-青貝の都(Hearn)	65
厭世主義のための弁護(Hearn)	57, 65
遠東故事(Hearn)	13
円頭太刀(平尾ひで子)(へるん 第22号)	116
エピソードの周辺(鈴木賢)(八雲)	143
Erfullter Wunsch(Hearn)	70
エリューシス(Hearn)	47, 66
Essays(Hearn)	9, 23, 41, 44
Essay index reprint series	22
Essay on the religious conditions of art(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Essay on the unconscious mind(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Essays and sketches[論文と随筆](Hearn)	68
Essays in Curious sresearch(Hearn) ⇨ An American Miscellany v. 1	25
Essays on American literature(Hearn)	32
Esther's choice(Hearn)	12, 44
エステルの選択(Hearn)	48, 66
Eternal haunter(Hearn)	15
Eternal literature(Nov. 14, 1886)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Ethics and the survival of the fittest(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
ヨーロッパに小泉八雲を訪ねる : わが文学紀行(池野誠)	92
欧羅巴の軍事状態(ヨーロッパの軍事事情)(Hearn)	55, 59
欧羅巴の未来(ヨーロッパの将来)(Hearn)	55, 59
European future(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31

Evergreen series	19
"Exotic picture are unforgettable" the Observer comments on Loti's stories	109
Exotics (Hearn)	15, 23
Exotics and retrospective (Hearn)	15
Exotics and retrospective and In Ghostly Japan(Hearn)	15
Exotic stories(Hearn)	41
Exotisme spirituel et esthetique dans la vie et l'oeuvre de Lafcadio Hearn	73
Explanatory (Hearn)	12
Extracts from Lafcadio Hearn's letters	35
Eye-transplantation(Hearn).....	27, 28

F

Facts and fancies (Hearn)	10
Face studies(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Fair women and dark women (Hearn) ⇨ Editorials	10, 26
Fangs of evil(Ellen Steiber).....	178
Fanny lear-romance of an American woman in Russia(Hearn).....	27
Fantasies (Hearn)	24, 25
Fantastic possibilities of invention(Hearn)	26
Fantastics and other fancies(Hearn)	10, 12, 22
Fantasy(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	24
False free thought(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Farewell address(Hearn)	10
Fascination of crime(Hearn)	27
Fate of the comet(Hearn) ⇨ Editorilas	27
Father and I : memories of Lafcadio Hearn (Kazuo Koizumi)	73
"Father and I"を読んで (松下巖)	109
Father's choice (Hearn)	13
フェノロッサとラフカディオ・ハーン：二つの未発表書簡をめぐる (山口静一)	109
フェノロッサと小泉八雲就いて (井上哲次郎)	109
Ferocity of the Shoemaker(Hearn) ⇨ Editorilas	27
フェラーズ将軍 (小泉時)	73
Festival of the dead(Hearn)	41
Feudal integration(Hearn)	42
Fireflies (Hearn)	20, 35, 43, 68, 130
First impressions(Hearn).....	15
First Muezzin (Hearn)	19
First Musician(Hearn)	12, 13
First of may --a fairy masque (Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Fishy story (Hearn)	27, 28
フローベルの友人たち(Hearn)	57, 65
フロリダの幻想 (フロリダ幻想記) (Hearn)	47, 54, 54, 66
Floridian reveries(Hearn)	11, 12, 22
Flying visit to the horse-frying works at Dehli(Hearn) ⇨ Period of the Gruesome	28
Folk culture(Hearn)	9, 23
Folklore gleanings(Hearn)	19, 24
Folkloristハーンのスランプ集 (梶谷泰之)	109
Footprints of the Buddha(Hearn)	14, 15, 17, 18
フォレスト将軍の葬儀(Hearn)	58
Forgery in art(Hearn) ⇨ Editorials	27
For the sum of \$25(Hearn) ⇨ Editorilas	27
仏領西インドにおけるクリオール婦人(Hearn)	47
振袖(Hearn)	50, 63
ふるさと松江 (小泉一雄)	109
二つのカバン：八雲雑考 (速川和男)	118
Fountain maiden (Hearn)	12, 13

Fountain of Gold, Oct. 15, 1880 (Hearn)	10, 13
Fountain of youth (若がえりの泉) (Hearn)	39, 41
Fragment (Hearn)	15, 17, 18, 45
仏蘭西文学名篇集 (Hearn)	39
France juive (Hearn)	27
フランス嗅き煙草入れの田園詩 (Hearn)	66
フランスのジャーナリズム (Hearn)	59
フランスの共和体制 (Hearn)	56
フランス政府と「シドニー号」事件 (Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	34
フランス政府と「シドニー号」事件 (Hearn) ⇨ ラファイオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
フランスとアメリカの協同組合 (Hearn)	56
Frankness (Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Frauds (Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Fraudulent Egyptian "Discoveries" Maspero's find (Hearn) ⇨ Orientals articles	28
French and American co-operative societies (Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
French in Louisiana (Hearn) ⇨ Editorials	27
French journalism (Hearn)	27
French translation of Edgar Poe (Hearn) ⇨ Editorilas	26
Friends of the Prisoners (Hearn) ⇨ Barbarous barbers and other stories	26
Frisson (Hearn)	15
Frogs (Hearn)	15, 35
From a traveling diary (Hearn)	19, 20, 42
From Hoki to Oki [伯耆から隠岐へ] (Hearn)	16, 17, 21, 68
From "ITEM" (Hearn)	13, 26
From the diary of an English teacher (英語教師の日記から) (Hearn)	16, 17, 24, 35, 41, 42, 44, 45, 68
From the Item (Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
From the "Times-Democrat" (Hearn) ⇨ Editorials	27
From the "Times-Democrat" (Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
From a traveling diary (Hearn)	19, 22, 42
Frost fancies (Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
不安の谷 (Hearn)	57
父母の仲人松江に健在 (小泉清) [時事通信]	160
風土 : 小泉八雲記念号	109
不道德文学 (Hearn)	57
[訃報] 小泉八雲の未亡人逝く [大阪朝日新聞]	154
夫婦の絆を断つものは : 「破られた約束」と「因果話」など (仙北谷晃一) (へるん 第26号)	117
普賢菩薩の伝説 (普賢菩薩の物語) (普賢菩薩のはなし)	50, 53, 55, 62, 63, 67
浮標 [日本読書新聞]	163
不死 (Hearn)	58
不死の人 (Hearn)	55, 66
富士の山 (富士山) (富士山を望む)	49, 52, 63, 65, 68
Fuji-no-Yama (Hearn)	9, 15, 21, 23, 38, 42, 62, 67
Fujisaki	44
藤沢随想 : ハーンの見た庚申と鬼子母神 (小泉凡)	115
父兄の教育上における注意 (「島根県立教育会雑誌」211号) (内田融) (へるん 第26号)	117
富高移転とはもっての外 [富山新聞]	157
富高のヘルン文庫きょう落成式 [北陸タイムズ]	157
風狂の人ハーン (高木大幹)	113
風狂の詩人小泉八雲 (濱川博)	73
普門院の怪談 [山陰中央新報]	172
普門院の怪談と橋姫伝説の起源 (小泉凡)	114
普門院とその他の寺	50
分別の欠如 (Hearn)	35
腑に落ちない日本評価 (Hearn)	57

振袖 (振り袖伝説) (Hearn)	50, 53, 63, 65, 67
Furisode (振袖) (Hearn)	15, 17, 18, 41, 45
Furnance fiends. Their case continued until to-day. Fresh details regarding Fred Egner's record (The Cincinnati Enquirer, Nov. 13, 1874)	30
Furnance fiends. Remanded to await the action of the grant jury: Rufer betraus some good human feeling (The Cincinnati Enquirer, Nov. 14, 1874)	30
Furnance horror. Rufer's description in the penitentiary register. Sheriff Ziegler's conversation with (The Cincinnati Enquirer, Nov. 16, 1874)	30
Furnished rooms (Hearn)	11
ふるあめりかに袖はぬらさじ (染村絢子) (へるん 第29号)	120
古本にかけの妙味 (渡辺沢身)	109
古いものがたり (古い物語)	50, 53, 55, 67
古い日本の美しい物語	41
ふるさと文庫 (山陰中央新報社)	88
ふるさと松江 (小泉一雄) (へるん 第3号)	112
ふるさと再発見: 焼津市の文化財 (焼津市教育委員会)	98
不思議と魅力 (Hearn)	68
扶桑社文庫	62
二人のアーノルド (Hearn)	58
二つのカバン: 八雲雑考 (速川和男) (へるん 第33号)	122
二つの奇妙な自殺事件 (Hearn)	57
二つの珍しい祝日 (二つの珍しい祭日) (Hearn)	52, 62, 67
二つの日本 (森亮) [夕刊山陰]	163
二つの日本 (森亮)	107
布団 (布団の話) (Hearn)	50, 51, 52
仏国製臭煙草盆の一挿話 (Hearn)	55
仏領西インドにおけるクリオール婦 (夫) 人 (Hearn)	47, 54, 66
仏領西インドの二年間: 熱帯への旅 (Hearn)	48, 52, 66
仏領西インド諸島のメモ帳 (富田仁) (Hearn) (明治村通信)	135
Future of China (Hearn) ⇒ Editorials from Kobe Chronicle	32
Future of the Far East (Hearn)	18, 44

G

街上から (Hearn)	48, 67
外人教師フレット・アレキサンドル及びタットルについて (続ハーン資料) (梶谷延)	109
外国影響の衰微 (Hearn)	55
外国語の問題 (Hearn)	58
外国人教師 (吉阪俊蔵)	109
外国人教師の悲劇: ベルツとハーン (喜多村和之)	109
外国人の見た日本	96
外国人の見た日本の風光・風物 (唐木順三)	98
外国人と熊本 (猪飼隆明)	85
外国勢力の後退 (Hearn)	59
外国タバコも吸う、梶谷教授が新事実を発表、温泉にも旅行の経験 (梶谷延) [毎日新聞]	166
概説・小泉八雲の生きた時代の一面 (西野影四郎) (へるん 第19号)	114
街頭より (小泉八雲全集)	52
餓鬼 (Hearn)	50, 51, 53, 56, 67
Gaki (餓鬼) (Hearn)	14, 20, 35
「餓鬼」と雨森信成・折戸徳三郎 (染村絢子) (八雲)	143
学問の勝利 (Hearn)	57
学生版全集内容見本より (へるん 第33号)	122
学生から見た外人教師ハーン (布村弘) (国文学 解釈と鑑賞)	90, 141
学生と日本 (河合栄治郎)	98
楽屋 (Hearn)	55
がま (Hearn)	62

蒲原有明研究(矢野峰人)	100
蒲原有明論(形田藤太)	148
願望成就(Hearn)	48, 67
玩具と生活(小泉凡)	75
顔真卿の帰還(Hearn)	47, 64, 66
丸葉入れ(Hearn)	48, 66
Garden of paradise (Hearn)	10, 25
合衆国に於ける共和党の勝利	55, 59
合衆国におけるニヒリズム文学(Hearn)	57
合衆国における共和党の勝利	55, 59
合衆国の懸賞拳闘者(合衆国の懸賞金ボクシング)(Hearn)	55, 59
合衆国と仲裁(Hearn) ⇨ 神戸クルニクル論説集	35
合衆国と仲裁(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クルニクル論説集	34
Gayarre's history of Louisiana(April 22, 1880) ⇨ Essays on American literature	32
Gedanken uber Aknenkult(Hearn)	69
芸術美の本質	65
芸術に立派な見識〔山陰新報〕	166
芸術としての頹廢(Hearn)	58
Geist der japanische Zivilisation(Hearn)	71
Geister und Kobolde(Hearn)	71
現代文学論大系	101
現代学生英文叢書	45
現代怪談集成(紀田順一郎編)	96
現代日本文学手帖 詩歌篇(矢野峰人監修)	98
現代日本史へのある貢献(Hearn) ⇨神戸クロニクル論説集	35
現代日本史へのある貢献(Hearn) ⇨ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
現代日本文学全集(改造社)	51, 101
現代のジャガンタータ神(Hearn)	56
現代の迷信(Hearn)	58
現代作家の中で最も独創的なピエール・ロティ(Hearn)	58
現代心霊術(Hearn)	57
現代詩における輪廻転生(Hearn)	60
現代小説の筋立て(Hearn)	58
言語学者としての伝道師(Hearn)	58
言語学習における目の効用, 耳の効用(Hearn)	58
言語と文化:ハーンの場合(高木大幹)(へるん 第30号)	120
Genius of Japanese civilization(Hearn)	8, 19, 20, 22, 35
幻想(Hearn)	53
幻想文学館	94
玄奘(Hearn)	48, 66
「原典」:活字本から版本へ(染村絢子)(へるん 第25号)	117
「原話」二題(中田賢次)	116
Gesammelte Werke in Einzelausgaben. Prosa II.	100
Geschichte von Mimi-nashi-Hoichi(Hearn)	71
Geschichte Aoyagi(Hearn)	71
月照寺の化けガメ〔山陰中央新報〕	164
下宿人の答弁(下宿人の返事)	47, 55, 66
下宿屋の愚痴	47, 66
下駄の音(平川祐弘)	98, 109
下駄の音-日本海のほとり	65, 109
Ghost	19
Ghostly kiss, July 24, 1880 (Hearn)	10, 12, 19
Ghost story ⇨ An American miscellany v.1	25
Giants and Dwarfs:Pigmies and monsters (Hearn)	10
Giant's work(Nov. 7, 1886)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Gibbeted:exection of a youthful murderer(Hearn)	10, 22
Gibbeted. Execution of a youthful murderer. Shocking tragedy at dayton. A broken rope and a double hanging.(The Cincinnati Commercials,	

July 26, 1876) -----	31
Gibbeted(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories -----	26
ギレアド=バルサム(Hearn) -----	57
ギリシャ・小泉八雲高まる関心〔読売新聞〕 -----	176
ギリシアに小泉八雲記念碑〔東京朝日新聞〕 -----	155
希臘の大理石に偲ぶ文豪八雲の面影(中村浩)〔大阪朝日新聞〕 -----	155
Giglampz(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1 -----	24
銀河のローマンス(藤山思朗・訳) -----	105
Gipsy's story, Aug. 18, 1881(Hearn) -----	10
議論と冒瀆(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集 -----	35
議論と冒瀆(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集 -----	34
犠牲的精神 -----	65
Glamour of New Orleans(Hearn) -----	11
Glance at Gypsy literature(Hearn) ⇨ Editorials -----	27
Gleanings in Buddha-fields(Hearn) -----	15, 16, 23
Gleanings in Buddha-fields and the Romanace of Milky Way(Hearn) -----	16
Glimpse of Tendencies (Hearn) -----	9, 19, 20, 22, 23, 38
Glimpse of the impressionists(Hearn) -----	11
Glimpsès of unfamiliar Japan(Hearn) -----	16, 17, 23, 42, 42
Glimpses of unfamiliar Japan. 100 years later(Naomi H. Westcott) -----	127
グリフィスとハーン(瀧田佳子)(無限大) -----	140
Glorious papeant of momus(Hearn) ⇨ Oriental articles -----	28
Goblin poetry(Hearn) -----	15, 19, 22
Goblin spider(Hearn) -----	39
Goblin tale. The scene of the Tan-yaard horror haunted. The Cinccinati Enquirer, April 10, 1875 -----	30
Gods, goblins and ghost : the weird legend of the Far East(Bertha Lum) -----	96
五高五十年史(第五高等学校開校五十年史記念会) -----	98
五狐の塚(高田力) -----	109
Golden balls(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories -----	26
Golgotha. A pilgrimage to potter's field. The sexton-guardian of nameless graves. He is secret alliance with the ghouls. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 29, 1874) -----	30
Gologotha(Hearn) -----	27, 28
ゴンボー・ゼーブス(Hearn) -----	61
「ゴンボー・ゼーブス」解説(原一郎) -----	61
Gombo Zhebes(Hearn) -----	10
Gombo Zhebesのことなど(原一郎)(へるん 第17号) -----	113
業の力(小泉八雲全集) -----	52
グッド・バイ〔山陰中央新報〕 -----	173
Good English 〔報知新聞〕 -----	157
五セント食堂(安藤勝一郎)〔朝日新聞〕 -----	160
ゴシックの恐怖(ゴシック建築の恐怖)(Hearn) -----	50, 53, 63, 64, 67
ゴタゴタ(Hearn) -----	57
Gothic horror(Hearn) -----	24
後鳥羽上皇の山稜〔山陰中央新報〕 -----	165
ゴールデン・フリーズ号の売却(Hearn) -----	59
Government policy and the Jews(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories -----	26
グランド・アンス(小泉八雲全集) -----	52
Grande anse (Hearn) -----	9, 14, 22
Grand Opera-House (Hearn) -----	11, 13
グランデツシム(Hearn) -----	55, 66
Grandissimes(Hearn) -----	11
Gratitude of the Samebito (鮫人)(Hearn) -----	24, 45, 69
Grave-Digger Baldwin(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories -----	26
Great English physician(Hearn) -----	27, 28
Great "I am"(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2 -----	25
Greatness of the man(Hearn) -----	36, 43
ギリシャの詩人(Hearn) -----	57

Greek poets(Hearn) ⇒ Literary Essays	27
Growth of population in America(Hearn)⇒Editorials from the Kobe Chronicle	31
Grouping of the play by kind	36
Gttschalk(Hearn) ⇒ Literary Essays	27
ぐ園における一つの名 (小泉八雲全集)	54
Guidebook for travellers in the province of the Gods	73
グールドの「ハーン伝」を読んで (田村のり子) (へるん 第25号)	117
群衆の神秘 (Hearn)	53
ギュスターヴ・ドレ(Hearn)	56
愚者の知恵 (福原麟太郎)	98
Gustave Dore(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
偶然 (福田勗) (へるん 第18号)	114
偶像礼拝(Hearn)	54, 65
業績讃えて〔夕刊山陰〕	163
Gypsy's story, Aug. 18, 1881(Hearn)	13

H

Haceldama. Humanity and inhumanity in the Shambles. Hebrew slaughterers, Gentile butchers, and consumptive blood-drinkers. (The Cincinnati Commercial, Sept. 5, 1875)	30
八戸の「コイズミヤクモ」 (広瀬朝光)	110
「ハドソン」 (柏倉俊二)	148
蠅	47, 66, 67
はえのはなし (蠅のはなし Story of a fly)	47, 50, 52, 53, 55, 64, 67
萩原朔太郎と小泉八雲 : 「日本への回帰」まで (小川敏栄)	109
萩と雁と石灯籠と (漢東種一郎) (へるん 第14号)	114
「母なるもの」サトウハチローの世界と比べて (橋本和子) (へるん第21号)	115
母の愛は死より強く : ハーンと「雅歌」について (横山孝一) (へるん33号)	122
母を憶う (小泉清)〔大阪朝日新聞〕	159
母を偲ぶ (小泉清)	108
母を慕う心 (梶谷泰之) (へるん 第1号)	112
母親のいるふるさと : 小泉八雲と萩原朔太郎 (平川祐弘)	98
母ローザ・アントニオ・カシマチイを中心に(1) (西野影四郎) (へるん第33号)	122
母セツ死去による弔意ハガキ	6
萩原朔太郎と小泉八雲 (小川敏栄)	110
俳人としての大谷繞石(1)(2)(3)(4)(5)(6) (日野雅之) (へるん 第24、25、26、28、29、32号)	116, 117, 118, 120
俳句吟詠 : 松江の小泉八雲懐古 (内田宝谷) (へるん 第33号)	122
俳句 小泉八雲旧居 (内田宝谷) (へるん 第31号)	121
俳句の英訳について (諸留寛)	109
俳句紹介者としての小泉八雲氏 (沼波武夫)	79
俳句と俗謡 (三重)〔毎日新聞〕	176
俳句八雲旧居 (中田四十四夜)	109
破片 (Hearn)	50
はかりごと (Hearn)	43, 47, 49, 50, 69, 70
墓場で (Hearn)	66
墓堀りポールドウィン (Hearn)	57
博多で (博多にて) (Hearn)	48, 52, 67
ハケルダマ : ハーンの記事と藤村のスケッチ (平川祐弘)	110
発刊にあたって (へるん 第1号)	112
薄幸の美女たちの一考察の1-3 (白神栄子)	110
薄明の認識 (Hearn)	50
箱舟少年	48, 66
博覧会における東洋文献	57
白村随筆集 (厨川白村)	99
発狂	65
Halloween(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essays	26

浜口五兵衛(Hearn)	77, 50, 51, 63
浜村温泉の宿〔山陰中央新報〕	172
ハメルンの笛手(ハメルンの笛吹き)(Hearn)	50, 56
ハムレットの手帳(Hearn)	57
Hamlet's notes book(April 25, 1886)(Hearn)⇒ Essays on American literature	32
花の命(大谷とよ子)(へるん 第22号)	116
判断(Hearn)	49, 69
反外国か反宣教師?(Hearn)⇒ 神戸クロニクル論説集	35
反外国か反宣教師?(Hearn)⇒ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
ハンディ氏の人生(Hearn)	57
羽仁春氏と埋もれた長詩(中村精)	110
般若とプラジュニャ(竹内信夫)	110
半峯昔ばなし(高田早苗)	99
ハラカの論争(Hearn)	66
はらからのほとけ(榊井幹生)(へるん 第26号)	118
Harem life(Hearn)	11
ハル(Hearn)	48, 55
Haru(はる)(Hearn)	9, 13, 19, 20, 23, 42, 55, 56
春の異常な空想(春の妄想)	59, 66, 67
ハロフィーン(Hearn)	56
ハセルダーマ(Hearn)	57
橋の上(橋上にて)(Hearn)	50, 51, 53, 62, 63, 65, 66, 67
長谷の大仏(Hearn)	65
蓮葉の蛙(榊井幹生)(へるん 第24号)	117
鳩のブーティマル(Hearn)	48, 66
「鳩ポッポ」のうた/再び「怪談」の出版について/「東大講義メモ帳」と 「浮世絵展覧会」(染村絢子)(へるん 第27号)	119
初の諸印象(小泉八雲全集)	52
Haunting Hearn's Havens(JoCarroll Hann)	127
Haunted and Haunters. Ghostly minstrelsy in the City stables. A goblin in a gas-pipe.(The Cincinnati Enquirer, Jan. 26, 1874)	29
ハヴァ博士の舞踏ゲモ(Hearn)	57
ハバナのロマンス(Hearn)	57
Hava's tarantula	27
Havanese romance(Hearn)	27, 28
Have we a genuine Murillo among us?(Hearn)	11
ハウエルズ氏批評家を論ず(Hearn)	57
ハウエルズ氏の写実主義の一面(Hearn)	57
ハワイとその捕虜宣誓書(Hearn)⇒神戸クロニクル論説集	35
ハワイとその捕虜宣誓書(Hearn)⇒ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
破約(Hearn)	50, 51, 53, 96
Healing of Wainamoinen(Hearn)	12, 13
Hearn: answering to my young questions(吉田繁子)	130
Hearn: In French West Indies(笠井満)(英文学研究 第39巻6号)	130
ハーン: 奇談	68
ハーン: 心のふるさと・コング(八木悦子)(へるん 第28号)	119
Hearn and Chamberlain(Kazuo Koizumi)	110
Hearn and the Gastronomic Grotesque(Alan Rosen)	111
Hearn and Japanese thought(Mitake Katsube)	111
Hearn and the way of the bow(Alan Rosen)	127
Hearn as a critic(George Hughes)	76
"Hearn as critic" and other articles(George Hughes)	76
Hearn Bibliographyその他(市河三喜)	3
ハーン文庫を初公開〔朝日新聞〕	159
ハーン文学碑のことば(森亮)(へるん 第6号)	113
ハーン文学のかけ橋・節子夫人(染村絢子)(へるん 第23号)	116
ハーン文学の今日性(仙北谷晃一)〔毎日新聞〕	176
ハーン文学の再認識(齊藤強)(へるん 第2号)	75, 112
ハーン文学論	43, 44

ハーン文学論集	49
ハーン文学と書簡(津田昇)	111
ハーン文学と夢(白神栄子)	111
「ハーン=チェンバレン往復書簡」配列疑問(内田融)(へるん 第29号)	119
ハーン=チェンバレン往復書簡の配列と「山陰新聞」広告記事(内田融) (へるん 第30号)	120
「ハーン」大学建設〔大阪毎日新聞〕	159
「ハーン」大学建設〔毎日新聞富山版〕	159
ハーン・ディケンズ・ドストエフスキー(高木大幹)(へるん 第21号)	115
ハーン二つの眼(富士川和男)(へるん 第8号)	113
ハーン学者が辿る英文学の道(津田昇)	111
ハーンが愛した日本庭園と家主の赤星家の人々	94
ハーンが秋月悌次郎に視たもの(松本健一)	127
ハーンが描いた天野甚助(村松真一)(八雲)	143
ハーンが熊本で最初に住んだ手取本町三十四番地の借家の床の間に掛けてあった 「掛け軸」	94
ハーンが見た鎌倉(森亮)(へるん 第6号)	113
ハーンが遺したもの(森亮)	73
ハーンが探し求めたもの(前田礼子)(へるん 第32号)	121
ハーン五十年祭	145
ハーン博物館(市河三喜)〔東京帝大新聞〕	155
ハーン・八雲(はうん)説(梶谷泰之)(へるん 第8号)	113
ハーンは松江のどこに着いたのか(本田秀夫)	75
ハーンは何故えらいか:ハーン没後二十年記念講演原稿(市河三喜) (へるん 第23号)	116
Hearn Home revisited(Miss Loraine E. Kuck)〔英文毎日〕	155
ハーン百年祭(市河三喜)	160
ハーン、百年後の解釈(平川祐弘)	111
ハーン、百年後の解釈(雑誌「無限大」より)	135
ハーン遺稿英文学史	111
Hearn in my heart(James Kirkup)	74
ハーン蛙(佐藤和夫)	126
ハーン怪談	43, 45
ハーンかヘルンか(藤原治)	73
ハーンからチェンバレンへの手紙1通 1894年9月22日	4
ハーンからチェンバレンへの手紙1通 日付なし	4
ハーンから茨木清次郎氏への手紙1通	5
ハーン研究の現状と展望(遠田勝)	126
ハーン傑作集	45
ハーン奇談集	46
ハーン記念碑	145
ハーン記念展(森亮)〔島根新聞〕	163
ハーン記念展覧会	145
ハーン・ライブラリーが開館〔北日本新聞〕	175
Hearn loved beauty, nature and solitude(Narao Matsumoto)	163
Hearn Memorial Museum formally dedicated	111
ハーン未亡人との談話(野口米次郎)	99
ハーン未公開資料展開幕〔山陰中央新報〕	173
ハーン年譜	42
ハーンへの慕情(渡部沢見)	73
ハーンに学ぶ、他国を知る心〔毎日新聞〕	176
ハーンにかかわる私的な思い出と関心(入沢康夫)	127
ハーンに関する事ども、於ハーン没後二十周年記念講演会(市河三喜) (へるん 第21)	115
ハーンにおける生物観:「蛭」をめぐる(先川暢郎)(へるん 第27号)	118
ハーン「ニルヴァーナ」について(竹内信夫)	90, 141
ハーンの「赤い婚礼とホーソンのラパチャーニの娘」(鶴木奎治郎) (へるん 第11号)	113
ハーンの足の裏(梶谷延)	109

ハーンの跡を訪ふ(1)(2)(3)(市河晴子)	111
ハーンのアシスタントの一人・折戸徳三郎(染村絢子)(へるん 第32号)	121
ハーンの温き友人:マーガレット・コートニイ婦人と山口乙吉(中山常雄)(八雲)	138
ハーン的美学と焼津(中山常雄)(八雲)	143
ハーンの文学評論(荒川龍彦)(英語研究 第39巻第6号)	130
ハーンの父親像(角田洋三)(へるん 第30号)	120
ハーンの聴覚表現:雪女の場合(2)(高木大幹)(へるん 第24号)	117
ハーンのクリオール料理(角田洋三)(へるん 第27号)	118
ハーンの読者:併せて邦訳全集について(森亮)(明治村通信)	135
ハーンと同僚、佐久間信恭(梅本順子)(へるん 第30号)	120
ハーンの絵ごころ(中山常雄)(へるん 第28号)	119
ハーンの絵ごころと日本画:アメリカ時代(中山常雄)(八雲)	143
Hearn の英文学史(府川哲雄)	111
ハーンの父母像とその変容(関田かおる)	110
ハーンの原稿(染村絢子)(へるん 第17号)	114
ハーンの業績ひと目で〔山陰中央新報〕	173
ハーンの変容:小泉八雲はポーランドで如何に読まれたか?(土屋直人) ..90,	140
ハーンの碑建立〔東京毎日新聞〕	159
ハーンの一つの視点(高木大幹)(へるん 第18号)	114
ハーンの「異邦文学残葉」をめぐって(村井文夫)	111
ハーンの遺稿の表と裏(染村絢子)(へるん 第22号)	116
ハーンのスラム諸国物語(杉田英明)	110
ハーンの地蔵遍歴(豊田政子)(へるん 第28号)	119
ハーンの内面と陰(評・小森典)	169
ハーンの感覚表現:雪女の場合(1)(高木大幹)(へるん 第22号)	116
ハーンの研究について二三のこと(梶谷泰之)(へるん 第15号)	114
ハーン神戸・東京時代(西川盛雄)	86
ハーンに生き続けた父母への思い(右近克枝)(へるん 第33号)	122
ハーンの子らに(村尾武二郎)〔朝日新聞〕	159
ハーン金比羅詣り(その1)(その2)(その3)(その4)(福間直子)	
(へるん 第29、30、31、33号) 子	121、122
「ハーン金比羅詣り」に因む謎二題(福間直子)(へるん 第32号)	121
ハーン熊本時代:再評価の試み(アラン・ローゼン)	85
ハーン熊本時代に居住した書斎及び家主の「赤星家」の人々	94
ハーン恐怖概念(右近克枝)(へるん 第30号)	120
ハーン孫娘、米空軍将校と結婚〔朝日新聞〕	164
ハーンマゾヒズム・「おしどり」を読む(西成彦)	110
ハーン松江時代(福澤清)	85
ハーン目正、再び(久津木信治)(へるん 第29、30号)	119、120
ハーン美保関紀行(森亮)(へるん 第5号)	75、113
ハーン魅力(窪田般弥)	122
ハーン見た庚申と鬼子母神(小泉凡)	116
ハーン見たもの:「茶わんの中」に寄せて(右近克枝)(へるん 第31号)	120
ハーン見た夢:「気まぐれ草」について(横山孝一)(へるん 第30号)	120
ハーンネルヴァル論(入沢康夫)	110
ハーン人間像(原一郎)(へるん 第8号)	113
ハーン日本仏教の見聞	137
ハーン日本文化観:「日本の面影」を書くまでのハーンについて(築島謙三)	111
ハーン日本文書簡(梶谷泰之)	75
ハーン「日本の昔話」(染村絢子)(八雲)	143
ハーン日本定住(佐藤孝巳)(明治村通信)	135
Hearn の思い出(田部隆次)(英語研究 第39巻第6号)	130
ハーン大阪紀行(川谷恂郎)(へるん 第22号)	116
ハーン来日関係資料(小玉晃一)(明治村通信)	135
ハーンリリース胸像(平田純)	94、145
ハーン立像写真	94
ハーン露国皇太子見舞い電報(梶谷延)	112
ハーン作品に見られる旧約聖書「雅歌」の影響:特に「死んだクレオール人の夢」	
と「和解」について(伊藤亮輔)(へるん 第32号)	121

ハーンの再話文学 (池田雅之) (国文学 解釈と鑑賞)	141
ハーンの再話文学における節子の役割 (中田賢次) (へるん 第21号)	115
ハーンの三男、兄へ抗議 [朝日新聞]	159
ハーンの世界思想 (穂積文雄)	112
ハーンの真価 [島根新聞]	163
ハーンの写真と考証五つ (梶谷泰之)	75
ハーンの世界と生活 (小泉時)	90
ハーンの世界生活 (角田洋三) (へるん 第29号)	119
ハーンの世界観を思う (吉野貴好) (へるん 第29号)	119
ハーンの世界稿と表紙考 (染村絢子) (へるん 第20号)	115
ハーンの世界を求めて(1)シンシナティの旅、その1、2 (中田賢次) (へるん 第17、18号)	114
ハーンの世界庭園美学: 「日本の庭で」に寄せて (大東俊一)	119
ハーンの世界への思慕 (中山常雄) (へるん 第26号)	118
ハーンの世界姿 (錢本健二)	173
ハーンの世界ピア (大東俊一) (へるん 第30号)	120
ハーンの世界から出した'ひらがな'の手紙 (未発表) その他 (小泉時) (八雲)	143
ハーンの世界友人メーソンの夫人鹿子の写真	94
ハーンの世界前半生に光	175
ハーンの世界蔵書と富山の研究者 (布村弘)	137
ハーンの世界をめぐる二つのアクチュアルな問題 (仙北谷晃一)	110
ハーンの世界を怒らせた学生 (梶谷泰之) (へるん 第27号)	118
ハーン論文選	45
ハーン論文集	41
ハーンの世界最後の手紙 (訳) (梶谷泰之) (へるん 第21号)	115
ハーンの世界作品の原典について (染村絢子) (へるん 第24号)	117
ハーンの世界作「心中」について (田中一弘)	117
ハーンの世界散歩 (速川和男) (へるん 第21号)	115
ハーンの世界生誕百年祭 (大阪毎日新聞)	161
ハーンの世界生誕百三十年 [朝日新聞]	169
ハーンの世界生誕百三十年にあたり最近の研究二つを眺めてく 西野影四郎、池橋達郎両氏 の研究をたたえる (梶谷泰之) (へるん 第17号)	114
ハーンの世界先生に関し思出るまま (日高只一) (英文学研究 第39巻第6号)	130
ハーンの世界先生と大伯父雨森信成との絆 (渡辺栄) (へるん 第24号)	117
Hearn 先生の世界 "Ants" の草稿 (大谷正信)	112
ハーンの世界先生の最終遺稿「詩論」及び「詩人論」を読み (日高只一)	156
ハーンの世界写真集取材ノートから (立脇祐十) (へるん 第26号)	118
ハーンの世界氏の「日本婦人の名」について (若月保治)	79
ハーンの世界資料と考証 続[1][2] (梶谷延)	140
ハーンの世界慕う一米婦人 [大阪毎日新聞]	161
Hearn's diary	41
Hearn's essays	42
Hearn's Great-Grandson tours U. U. (Naomi H. Westcott)	128
ハーンの世界書簡の発進日をめぐって: 西田千太郎宛 (1)(2) (板東浩司)	116, 117
Hearn 世界書簡集	112
ハーンの世界小作品集	43
Hearn's Kwaidan and Soseki's ghost stories (Hirakawa Sukehiro)	76
Hearn's tales and letters	42
ハーンの世界短篇の謎 (中田賢次) (へるん 第26号)	117
ハーンの世界短篇集	68
ハーン・転生・死女の恋: 怪談における「時間」について (池田紀美子)	78
ハーンの世界とアメリカ俗語 (梶谷泰之) (へるん 第14号)	114
ハーンの世界と浅野和三郎 (森亮) (へるん 第7号)	113
ハーンの世界とアショー校 (ルイ・アレン) (へるん 第29号)	90, 140
ハーンの世界とアショー校の旧学寮: ダーラム再訪と私の Serendipity (庭野吉弘)	88, 119
ハーンの世界と文化的保守主義 (石附実)	126
ハーンの世界とチェンバレン (市河三喜)	112
ハーンの世界とチェンバレン (木村涼子) (へるん 第23号)	116

Hearn とChamberlain (村田祐治)	112
ハーンとクレオール (村井文夫)	112
ハーンとクレオール語研究 (田中克彦)	127
ハーンと大山 (井田徹) (へるん 第29号)	119
ハーンと土井英一 (速川和男) (へるん 第18号)	114
ハーンとフェノロサ (高田美一)	127
ハーンとフェラーズ将軍 (小泉時) (八雲)	143
ハーンと富士山 (中山常雄) (へるん 第27号)	118
ハーンとフランス (浜田泉)	122
ハーンと画家・小泉清 (ワシオ・トシヒロ)	123
ハーンと学生牧野茅 (梶谷泰之) (へるん 第5号)	113
ハーンとゴッホ: 日本美術へのまなざし (谷村忠樹) (へるん 第33号)	122
ハーンとヘルン (西村六郎)	127
ハーンとヘルン (西村六郎) [山陰中央新報]	170
「ハーン」と「ヘルン」の呼び方 [山陰新報]	165
ハーンと翻訳 (速川和男)	115
ハーンと出雲大社 (高木大幹)	115
ハーンと地震 (池橋達雄) (へるん 第32号)	121
ハーンと女性 (白神栄子) (へるん 第13号)	113
ハーンと絵画 (高木大幹)	127
ハーンとケーブルの奇妙な関係 (平川祐弘)	99, 172
ハーンと桂月 (梶谷泰之) (へるん 第24号)	117
ハーンとキリスト教 (勝部真長) (国文学 解釈と鑑賞)	141
ハーンと神戸: 「門つけ」を読んで (椎名俊輔) (へるん 第28号)	119
ハーンとクールベ (市川三喜)	105
ハーンと栗原基 (野坂東作) (へるん 第19号)	114
ハーンと守るべきものの問題 (藤原義之)	116
ハーンと「万葉集」905 (染村絢子) (へるん 第31号)	120
ハーンと南方熊楠 (染村絢子) (へるん 第28号)	119
ハーンと民謡に就て (井沢友雄) (大阪商業大学論集)	112
ハーンと民俗学 (小泉凡)	99
ハーンとモース (谷村忠樹) (へるん 第28号)	119
ハーンとモラエスの創作態度、畠山勇子について 正、つづき (深沢暁) (へるん 第20、21号)	115
ハーンとモラエスと畠山勇子 (梶谷泰之) (明治村通信)	135
ハーンと中海: 本庄工区全面干拓に思う (梶谷泰之)	120
ハーンと西インド諸島 (梅本順子)	120
ハーンとローエル (角田洋三)	115
ハーンと日本: 一つの解明の試み (アール・マイナー)	90
ハーンと日本の風土 (梶谷泰之)	90, 141
ハーンと日本の心: 盆踊のことなど (高木大幹) (明治村通信)	135
ハーンと日本のことわざ (深沢暁) (へるん 第24号)	117
ハーンと西印度諸島 (楠本順子)	120
ハーンとの出会い (秀川尚子) (へるん 第27号)	118
ハーンと隠岐: ハーンをめぐる人びと (日野雅之) (へるん 第31号)	121
ハーンと大谷正信に関する珍資料 (梶谷泰之) (へるん 第12号)	113
ハーンとピエール・ロチ (船岡末利) [図書新聞]	173
ハーンとロマン主義精神 (松島正一)	126
ハーンと柳宗悦: 民芸を見る目 (大東俊一)	119
ハーンと朔太郎: 日本の女性をめぐる 正、続 (谷村忠樹) (へるん 第29、 30号)	120
ハーンと朔太郎 続: スペンサーの影響をめぐる (谷村忠樹)	118
ハーンと過ごした束の間の日々 (エドワード・クラーク 遠田勝訳)	78
ハーンと臭覚 (ティンカー)	72
ハーンと臭覚と (たださいし)	72
ハーンと漱石: 一つの場合 (高木大幹) (へるん 第31号)	120
ハーンと高峰譲吉 (染村絢子) (へるん 第29号)	119
ハーンと鉄道 (仙北谷晃一) (へるん 第28号)	119
ハーンと我々 (市河三喜)	72

ハーンと内村鑑三こぼれ話①(梶谷泰之)(へるん 第16号)	114
ハーンと梅謙次郎(後藤昂)	75
ハーンと私(池橋達雄)(へるん 第27号)	118
ハーンと幽霊(右近克枝)(へるん 第28号)	119
ハーンとユング:夜の文学と無意識(谷村忠樹)(へるん 第31号)	120
ハーンと歌(小泉時)(八雲)	140
ハーンと俗謡趣味(榊井幹生)	126
ハーンとは俺のことかとヘルン聞き(野田宇太郎)(明治村通信)	135
ハーンと焼津(高木大幹)(八雲)	143
ハーンと八雲:帰化をめぐる心のドラマ(高木大幹)(へるん 第29号)	120
ハーン通じ友好深める〔富山新聞〕	174
ハーン/八雲主要著作改題(牧野陽子)	110
ハーン唯一の胸像(西村六郎)(へるん 第25号)	117
Hearn 蔵書の余白に記入されたる短評(高田力)	112
ハーン蔵書と富山の研究者(布村弘)(とやま文学)	141
ハーン随筆選	44
ハーン随筆集	45
へるん(八雲会編)第1-3号	112
へるん(八雲会編)第4-13号	113
へるん(八雲会編)第14-19号	114
へるん(八雲会編)第20-22号	115
へるん(八雲会編)第23-24号	116
へるん(八雲会編)第25-26号	117
へるん(八雲会編)第27	118
へるん(八雲会編)第28-29号	119
へるん(八雲会編)第30-31号	120
へるん(八雲会編)第32-33号	121
ヘルン文学の基調と現代的意義に就て(井沢友雄)	122
ヘルン文献誌成る!	3
ヘルン文庫(上)(下)(平田純)	151
ヘルン文庫:南日恒太郎と馬場はる(平田純)	6
ヘルン文庫:八雲五十年忌に(荒川龍彦)	122
ヘルン文庫〔中部日本新聞富山版〕	164
ヘルン文庫(蘇峰生)〔東京日日新聞〕	157
ヘルン文庫-おばあちゃま追想(語り・西永弘)	6
ヘルン文庫縁起	151
ヘルン文庫縁起1-3(平田純)	151
ヘルン文庫は譲れぬ(富山より)／どうしても欲しい(島根より)〔読売新聞〕	164
ヘルン文庫への関心〔北日本新聞〕	158
「ヘルン文庫」異聞:「兄の思い出」から(田部重治)(とやま文学)	141
ヘルン文庫移譲反対のはがき文	6
ヘルン文庫公開〔北日本新聞〕	152
〔ヘルン文庫〕民俗関係蔵書一覧(小泉凡)	1
ヘルン文庫にご満悦〔読売新聞〕	169
ヘルン文庫について(大西忠雄)	3
ヘルン文庫について(大島文雄)〔富山大学新聞〕	167
ヘルン文庫について(高田力)	122
ヘルン文庫に就いて(田部隆次)	122
ヘルン文庫の伝書〔中外日報〕	156
ヘルン文庫の逸話(大島文雄)	141
ヘルン文庫の逸話(大島文雄)〔富山新聞〕	167
ヘルン文庫の形成をめぐって(Ⅱ)来日以前のハーンとロニー(村井文夫)	122
ヘルン文庫の奇縁〔朝日新聞〕	163
ヘルン文庫のこと(小森典)〔富山新聞〕	167
ヘルン文庫のことども(高瀬茂雄)〔富山新聞〕	160
ヘルン文庫の余韻(関田かおる)(とやま文学)	140
ヘルン文庫を公開(10月20日)〔北日本新聞〕	167
ヘルン文庫を公開(10月28日)〔北日本新聞〕	167
ヘルン文庫を観る(長井真琴)	122

ヘルン文庫所蔵ハーン著作一覧(平田純)	3
ヘルン文庫所蔵ヘルン関連文献目録(平田純)	3
「ヘルン文庫」とハーン(村井文夫)	110
「ヘルン文庫」とL. ハーン来日百年	136
ヘルン文庫と南日恒太郎(高瀬重雄)(とやま文学)	141
ヘルン著作集の「内容見本」について(渡辺沢身)(へるん 第19号)	114
「へるん」第20号発行の喜びと感謝(梶谷泰之)(へるん 第20号)	115
「へるん」第20号の発行を祝して(中村芳二郎)(へるん 第20号)	115
「へるん」談話室(荒木八洲雄、白築和夫、他)(へるん 第1号)	112
「へるん」談話室(祐源八甕、他)(へるん 第2号)	112
「へるん」談話室(思い出—白築祐久)(へるん 第4号)	113
「へるん」談話室(ヘルンとモラエス—白築祐久)(へるん 第5号)	113
「へるん」談話室(小泉八雲文学碑完成、ハーンが見た鎌倉—森亮)(へるん 第6号)	113
「へるん」談話室(小泉一雄さんの思い出—白築祐久)(へるん 第7号)	113
「へるん」談話室(ヘルンは主筆でなかった—奥平光 ハーン・八雲(はうん)説—梶谷泰之)(へるん 第8号)	113
「へるん」談話室(外山正一と小泉八雲—渡辺沢見 佐川春水先生の 八雲観—池野誠)(へるん 第10号)	113
ヘルン五十年祭	146
ヘルン五十年祭〔山陰新報〕	166
ヘルン百年祭 : 富大で講演や遺稿出展〔富山新聞〕	160
ヘルン百年祭開く〔北陸夕刊〕	160
ヘルン百話	74
ヘルン地蔵(藤原治)	75
「へるん」初めのころ(森亮)(へるん 第27号)	118
ヘルンは主筆でなかった(奥平ひかり)(へるん 第8号)	112
ヘルン関係文献の解説目録完成〔朝日新聞富山版〕	168
ヘルン研究に富大へ〔北陸夕刊〕	168
ヘルン記念館の建設	146
ヘルン子供の夕〔山陰新聞〕	166
「ヘルン子供の夕」きまる〔毎日新聞〕	166
ヘルン今昔	74
ヘルン校舎保存運動顛末記(本田秀夫)(へるん 第30号)	120
ヘルン旧居を訪れて(幡谷正雄)	73
ヘルン旧居と戦災(丸山学)	122
ヘルン未亡人逝く	146
ヘルン未亡人逝く(Y. N. 生)	123
ヘルンに映じた日本人の微笑(内山正平)	123
ヘルンに関する「山陰新聞」記事(内田融)(へるん 第23号)	116
ヘルンに寄せて〔北陸夕刊〕	162
へるん二題(大谷従二)(へるん 第19号)	114
ヘルン二十周年忌に因みて(矢野峰人)	109
ヘルンの墓碑銘考(矢部太郎)(へるん 第21号)	115
ヘルンの著作(田部隆次)(へるん 第33号)	122
ヘルンの画才(小幡秀雄)(へるん 第28号)	119
へるんの母ローザの写真を求めて(西野影四郎)	114
ヘルンの初詣(島洋之助)	76
ヘルンのHistory of English literature をすすめる(木村毅)	123
ヘルンの印象を新たに(6月28日)〔北日本新聞〕	162
ヘルンの印象を新たに(6月29日)〔北日本新聞〕	163
ヘルンの奇遇:野の人・散士・フェノロサ(河野賢司)(へるん 第33号)	122
ヘルンの帰化をめぐる(藤森くぬえ)(へるん 第26号)	118
ヘルンの頃の大社参詣道(大谷従二)(へるん 第20号)	115
ヘルンの頃の大社社頭(大谷従二)(へるん 第23号)	116
ヘルンの今日的意義(佐伯彰一)	160
ヘルンのこと(勝部顕三郎)	75
「へるん」のこと等(速川和男)(へるん 第27号)	118
ヘルンの旧居と戦災(丸山学)	146

ヘルンの人間発見(丸山学)(へるん 第4号)	113
ヘルンの隠岐旅行を想う:土御門上皇の御遺跡を巡りて(藤原巳代子) (へるん 第26号)	118
ヘルンの思い出(松岡継雄)(くまもとハーン通信)	181
ヘルンの三十周年忌と草ひばり(北星堂主人)	123
ヘルンの写真(漢東種一郎)	75
ヘルンの肖像(1)(2)(渡辺沢身)(へるん 第13、14号)	113, 114
ヘルンの足跡をたどって<潜戸と隠岐> その頃は②(西野影四郎)(へるん 第18号)	114
「ヘルンの夕べ」慶祝・こぼれ話(へるん 第21号)	115
ヘルンの蔵書集める〔日本経済新聞〕	168
ヘルンを訪ねる(池野誠編)	75
「ヘルンを訪ねる」を読む(矢野峰人)(へるん 第6号)	113
ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト	6
「ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト」審査雑感(多々納健児)(へるん 第31号)	121
ヘルンを継ぐもの(佐伯彰一)〔北日本新聞〕	161
ヘルンさん言葉(藤原治)	75
ヘルンさんの熊本(緒方惇)	99
ヘルンさんの想出(中鶴千代)	76
ヘルンさんとデレンさん(鶴木奎治)(へるん 第17号)	114
ヘルン生誕百年祭〔朝日新聞島根版〕	158
ヘルン生誕百年祭〔富山新聞〕	153
ヘルン生誕百年祭行事〔読売新聞〕	159
ヘルン生誕130年記念事業として(渡辺沢身)(へるん 第16号)	114
ヘルン先生(宇家たみ)	76
ヘルン先生著作集(金子健二)(へるん 第33号)	122
ヘルン先生遺愛の文机を囲りて(高橋節雄)(へるん 第2号)	112
ヘルン先生の怪談(日夏耿之介)(へるん 第25号)	117
ヘルン先生のこと(田村豊八)	72
ヘルン先生のみずうみ(渡辺兼直)	115
ヘルン先生の思い出(野尻抱影)(明治村通信)	135
ヘルン先生の思い出(石原喜久太郎)	123
ヘルン先生の最終遺稿「詩論」及び「詩人論」を読みて(日高只一)〔読売新聞〕	150
ヘルン先生葬式の日のこと(故落合貞三郎)(へるん 第14号)	113
ヘルン先生の手帳(第3回)(大谷繞石)	123
ヘルン先生書簡集(金子健二)(へるん 第33号)	122
ヘルン先生と二人の友(落合貞三郎)(へるん 第15号)	113
ヘルン先生と私(白築祐久)(へるん 第1号)	112
ヘルン先生と私(鈴木勝子)	75
「へるん」誌の発行を祝う(石倉俊寛)(へるん 第1号)	112
「へるん」誌の回想(渡辺沢身)(へるん 第20号)	115
ヘルン氏の書簡(チャムブレン)	79
ヘルン小伝(十一谷義三郎)	65
ヘルン書誌学者の講演	3
ヘルン執筆者別号数索引(へるん 第30号)	120
「へるん」総目次(第1号~第29号)(へるん 第30号)	120
ヘルン・漱石・J. ロンドン(鶴木奎治郎)(へるん 第18号)	114
「へるん」探訪―東京にて(1)(2)(尾崎孝)(へるん 第17、18号)	114
「へるん」探訪―焼津にて(尾崎孝)(へるん 第19号)	115
「へるん」探訪―神戸にて(尾崎孝)(へるん 第20号)	115
ヘルン短通(小泉凡)(へるん 第31、32号)	121
ヘルンとアイルランド(河野賢司)(へるん 第25号)	117
ヘルンとゴシック小説のダブリン(河野賢司)(へるん 第31号)	120
ヘルンと地行場の稲荷さん(奥原国雄)(へるん 第1号)	112
ヘルンと出雲大社(中和夫)	74
ヘルンと怪談(志波駿介)〔北日本新聞〕	168
ヘルンと杵築(梶谷延)	76
ヘルンと郷土玩具(奥原国雄)	75

ヘルンと京都 (川谷恂郎) (へるん 第20号)	115
ヘルンとモラエス (小幡秀雄) (へるん 第27号)	118
ヘルンとモラエス—へるん談話室 (白築祐久) (へるん 第5号)	113
ヘルンとの出会い (関田かおる) [早稲田学生新聞]	174
ヘルンとニューオーリンズ (河野賢司) (へるん 第32号)	121
ヘルンと隠岐 (池野誠) (へるん 第7号)	113
ヘルンとセツの結婚(1)(2) (池橋達雄) (へるん 第12、13号)	113
「ヘルンとセツの物語」創作ノートから (藤森くぬえ) (へるん 第27号)	118
ヘルンとセツの玉手箱 (藤森きぬえ)	75
ヘルンと職員録 (津田武夫)	123
ヘルンと大社 (島洋之助、他)	75
ヘルンと富山 (平岡伴一)	75
ヘルンと富山 (平岡伴一) [富山新聞]	168
ヘルンと富山・金沢大学の図書館 (染村絢子) (へるん 第19号)	115
ヘルンと私 (小泉時)	76
ヘルンと私 (小泉時) [東の国から通信]	173
「ヘルンと私」出版記念会 (平川祐弘) (へるん 第28号)	119
「ヘルンと私」出版記念会—感謝のことば (小泉時) (へるん 第28号)	119
ヘルン浮彫伝達式 [帝国大学新聞]	157
ヘルンゆかりの地を訪れて (染村絢子)	75
ヘルン座談会のこと	146
<ヘルン雑話> 指六、東大退官前後のハーン、「怪談」の出版 (染村絢子) 大隅重 信と八雲 (市島春城) 「ヘルン先生怪談」 (日夏耿之介) (へるん 第25号)	117
<ヘルン雑話> 「おぼろ影」/十葉の草稿/クリオール・フレンチ雑記帳 (染村絢子 子) 森銑三と「怪談」 (野津直久) 草稿の表装 (小泉時) 小泉八雲と小川未明 明・面白き誤訳・ラフカディオ・ハーン レフカダ便り (西村六郎) 新宿歴史博 物館によせて (渡辺弘道) (へるん 第26号)	118
<ヘルン雑話> 親子三人の写真/アメリカでも八雲会 (小泉時) 「鳩ポッポ」のうた /再び「怪談」の出版について/「東大講義メモ帳」と「浮世絵展覧会」 (染村絢 子) 八雲のレリーフがダラム大学に設置 (へるん 第27号)	119
<ヘルン雑話> 松江の八雲八景 (市河三喜) 「怪談」の一筆書きとヘルト模様 (染 村絢子) ハーンと南方熊楠 (染村絢子) アテネ文化へのあこがれ (伊地知純正) 文は人なり (伊地知純正) (へるん 第28号)	119
<ヘルン雑話> 「栓を抜く人」マクドナルド (市島謙吉) ふるあめりかに袖はぬ らさじ (染村絢子) ハーンと高峰譲吉 (染村絢子) 小泉先生の思い出 (野尻抱 影) 小泉先生に就きて聞きし事ども (日高只一) 大谷正信と犀川の氾濫 (染村 絢子) 無限大について (小泉時) (へるん 第29号)	120
<ヘルン雑話> 小泉八雲全集の出版に寄せて (高島平三郎) 小泉八雲全集の出版 に寄せて (上田杏村) 早稲田より三月分入る (染村絢子) 金沢市池田町界隈 (染 村絢子) ステンショウ (染村絢子) 小泉八雲全集の出版に寄せて (日夏耿之 介) 小泉八雲全集の出版に寄せて (芥川龍之介、千葉亀雄) 小泉八雲全集の出 版に寄せて (新村出) (へるん 第30号)	120
<ヘルン雑話> 小ノートで再確認の「鑑日奇観」 (染村絢子) 小ノートの「むじ な」 (染村絢子) 小ノートの「耳なし芳一」 (染村絢子) (へるん 第31号)	121
<ヘルン雑話> 「日本の仏教俚諺」と雨森・大谷・折戸 (染村絢子) 折戸徳三郎 訳「怪談牡丹灯籠」 (染村絢子) 折戸徳三郎訳「万葉集」 (染村絢子) ハーン と地震 (池橋達雄) (へるん 第32号)	121
<ヘルン雑話> 雨森信成と二種類のガイドブック (染村絢子) 「勝五郎再生記」 の原典「ほどくぼ小僧前世話」 (染村絢子) 「了然尼」日本語訳 (染村絢子) (へるん 第33号)	121
ヘルン善人の書	65
変質的な一雄氏 (泰一郎) [夕刊山陰]	161
へろんサンのことども (中村浩) [台北新聞]	155
「へろん」さんと大黒舞 (大坂まき)	109
Hebrew College(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Hebrews of Cincinnati(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
平家蟹(Hearn)	50, 53, 55, 67, 62
Heike-gani (平家蟹) (Hearn)	20, 35, 41
「平民新聞」の頃—日本文壇史第67回 (伊藤整)	123

ハイネに関する補注(Hearn)	58
ハインリッヒ・ハイネの妻(Hearn)	58, 65
Hellene--a love episod(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Hempstead ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
「ヘムステッド」(Hearn)	57
片々録	145
片々録(岡倉記)	145
偏見対団結(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
偏見対団結(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
Henri Greville(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
編集手帖〔読売新聞〕	163
「ハーバー誌」上のもう一つの「グリンプシズ」(錢本健二)	116
ハーバート・スペンサーの書翰とラフカディオ・ハーンの論評(木村駿吉)	110
Hereditary memories, July 22, 1880(Hearn)	10, 12
He searches for the jugular, but, Failing in that, tries an artery(Hearn) ⇨ Period of the gruesome	28
He would die "all for live"(Hearn)	28
東の国から(Hearn)	48, 52, 67
「東の国から」通信	181
Higher Buddhism (Hearn)	14
批評家としてのハーン(ジョージ・ヒューズ)	90
飛花落葉集(Hearn)	48, 66
比較文学序説(中島健蔵)	102
比較文学研究 第60号	76
皮革製作所殺人事件(Hearn)	48, 56
飛行(Hearn)	62, 63, 67
日まわり(ひまわり)(向日葵)(日廻り)(Hearn)	49, 50, 51, 53, 55, 62, 63, 70
Himawari(ひまわり)(Hearn)	9, 21, 22, 24, 42, 43, 44, 45, 70
碑銘(小泉八雲全集)	55
日の御碕	50, 52, 55, 62, 66, 68
日御碕神社〔山陰中央新報〕	173
広場の人命	47, 66
Hiouen-thsang, June 25, 1882(Hearn)	10, 13
開いた処(大谷繞石)	96
広場の人命(Hearn)	47, 65
広瀬中佐(Hearn)	50
His heart is old May 7, 1882(Hearn)	10, 13
Historias Misteriosa(Hearn)	71
Historical English literature(Hearn) popular edition	180
Historical sketch book and guide to New Orleans and environs, with map	178
Historical tales(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
History of English literature in a series of lectures v. 1(Hearn)	32
History of English literature in a series of lectures v. 2(Hearn)	32
人ごみの神秘(Hearn)	63, 67
ひとしづく(Hearn)	63
人が最も永く記憶にとどめるものは何か: 「東の国から」について(横山孝一) (へるん 第32号)	120
人はすべて賢明になる時はくるか(Hearn)	56
人を食う鬼(Hearn)	62
訪米記: シンシナティ(小泉凡)(へるん 第26号)	118
訪米記 続: メキシコからニューオリンズへ(小泉凡)(へるん 第27号)	118
吠(小泉八雲全集)	53
芳一と五兵衛(鈴木喬)(くまもとハーン通信)	181
北海道新聞に掲載された記事<「小泉八雲」数奇な生涯に打たれた来日前の生活、 論文に = Literary influences on Lafcadio Hearn / by David H. Waterbury. LinguistとしてのLafcadio Hearn(中西善弘)	114
Hokuseido publications of the works of Lafcadio Hearn and Glenn W. Sha	6
伯耆への旅(横山幸子)	73
伯耆から隠岐へ(Hearn)	52, 62, 67, 68

「伯耆から隠岐へ」の幽霊船の描写を巡って(横山純子)(へるん 第32号)	121
伯耆・隠岐(宮田隆)	90
ホランド博士の擁護者たち(Hearn)	57
ホランド士の「不死」(Hearn)	58
ホーリヘッドの旅(矢部太郎)(へるん 第19号)	115
Home(Hearn)	11
Home, Sweet Home(Martha 4, 1883)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
葬られた秘密(葬られたる秘密)(Hearn)	49, 50, 53, 55, 63, 67, 70
炎と光の人小泉八雲(西野影四郎)(へるん 第17号)	76, 114
Honoring Janes and Hearn in Kumamoto(Bon Koizumi)	127
翻訳文学について(河盛好蔵)	148
翻訳と骨抜き	57
翻訳ヴァーノン・パターソン「日本国の教師、ラフカディオ・ヘルン」(1)(2) (中西善弘訳)(へるん 第16、17号)	114
北方神話(Hearn)	57
蓬萊(Hearn)	49, 50, 51, 53, 62, 63, 67, 70
蓬萊(皆川正禧)	79
Horai(蓬萊)(Hearn)	9, 21, 22, 43, 51, 55, 70, 71
蓬萊への思慕(並河亮)	67
堀割り越しの談話(小泉八雲全集)	55
Horror from Shaker life. Double suicide yesterday at the farmer's hotel. Mather and daughter fly from(The Cincinnati Commercial, Jan. 7, 1877)	31
Horror on Allison street(Hearn)	11
星(Hearn)	54, 65
星の生命(Hearn)	56
保守主義者	52, 56
「保守主義者」と雨森信成(松村じゅん)(へるん 第22号)	116
疱瘡(小泉八雲全集)	52
蛍(Hearn)	47, 53, 55, 62, 67
ほたるいか[富山新聞]	173
蛍の国でのハーン(清水澄子)(へるん 第32号)	121
Hot baths in the middle ages(Hearn) ⇒ Editorilas	27
仏の畑の落穂(Hearn)	48, 49, 50, 52, 67
Hour with a naturalist(Hearn)	11
House of Arabia(Hearn) ⇒ Oriental articles	28
Household shrine(Hearn)	16, 17, 35
ハワード記念図書館(Hearn)	57
ホワーキン・ミラー(Hearn)	57
How he is turned into soap-fat Fertilizer, and sian blue(Hearn) ⇒ Period of gruesome	28
How illustrious men marry(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essay	26
How stirling translates zola(Hearn) ⇒ Literary Essays	27
Howells on critics(May 29, 1887)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
Huble fare and high living in Ancient Rome(Hearn)	10, 27
評伝ラフカディオ・ハーン(E. スティーヴンソン)	76
漂泊の人 Iafcadio Hearn(速川和男)	151
漂流(Drifting)(Hearn)	50, 51, 52, 53, 63, 65, 67, 68, 69, 91
「漂流」雑感(中山常雄)(へるん 第25号)	117
Hypocrisy of the face(Hearn) ⇒ Editorials	27

I

ΙΑΠΩΝΙΚΟΙ ΘΡΥΛΟΙ	17
異聞(Hearn)	48
胃袋から心へ: ハーンと食のグロテスク(A・ローゼン、西成彦・訳)	110
異文学異聞(小泉八雲全集)	52
異文化への眼差し(竹内信夫)	76
異文化を生きる人々(平川祐弘)	99

一畑薬師〔山陰中央新報〕	172
一異端者への手紙(小泉一雄・訳)	92
市河博士蒐集のヘルン文庫	146
市河・丸山両先生の逝去(森亮)(へるん 第9号)	113
市河三喜博士のハーン没後二十周年記念講演自筆原稿に就いて(鉅鹿敏子) (へるん 第21号)	115
一国者の芸術 : 「ナイチンゲール」と「草雲雀」(仙北谷晃一)(へるん 第 29号)	119
偉大な業績をおもう〔朝日新聞〕	160
偉大なる奇人の偶像(Hearn)	58
偉大さを生かす道(矢野峰人)(島根新聞)	163
Idea of pre-existence(Hearn)	18, 19, 20, 34
Idee der Praeexistenz(Hearn)	71
遺伝的記憶(Hearn)	55, 66
Idolatry(Hearn)	24
Idyl : my personal reminiscences of Lafcadio Hearn(Leona Queryrouze Barel)	76
Idyl of a French Snuff-box, April 5, 1881(Hearn)	10, 13
家の内の宮(Hearn)	52
イギリス文学史(斉藤勇)	99
イギリス人は天使か	59
イギリスの総合誌・書評誌, 1880-1910にみられる日本関係記事(錢本健二)	3
イギリス書誌学者の講演	3
異状な精神状態の研究に関するもの(Hearn)	68
いかがわしい話(Hearn)	57
イカ漁〔山陰中央新報〕	172
生花(Hearn)	51
生神(生神様)(Hearn)	48, 51, 52, 63, 65, 67
生霊(Ikiryo)	50, 51, 52, 53, 55, 64, 67
Ikiryō(生霊)	20
遺稿:おばあさんの話(小泉八雲全集)	54
遺稿:「大男と小女」(稲垣巖)(へるん 第11号)	113
遺稿や愛用の机〔朝日新聞〕	162
異国風物(Hearn)	49, 67
異国風物と回想(異国情趣と回顧)(Hearn)	49, 52, 67
異国奇譚(Hearn)	41
いくつかの人間の弱点について(Hearn)	58
Image collection	84
今にハッキリ目に浮かぶ亡き夫、八雲の思い出〔大阪朝日新聞〕	153
今に生きる北前船〔読売新聞〕	177
今も咲きつぐ(秀川尚子)(へるん 第23号)	116
Immoral literature(Hearn) ⇔ Editorials	27
Impressions of Japan(Hearn)	68
In a cup of tea(Hearn)	20, 23, 44, 45, 69
稲垣巖遺稿特別掲載について(池野誠)(へるん 第11号)	113
稲垣巖家について(角田洋三)(へるん 第22号)	116
稲垣巖について 正、再び(角田洋三)(へるん 第25、26号)	117, 118
稲垣巖氏(ハーン次男)一家の写真	94
In a Japanese garten(日本の庭)(Hearn)	16, 17, 21, 23, 38
In a Japanese hospital(日本の病院にて)(Hearn)	19, 24, 38, 69
「稲むらの火」の教方に就いて(今村明恒)	76
In a pair of eyes(Hearn)	24
稲荷渡しと楽山神社祭り(錢本健二)	75
稲佐浜のヘルンさん(大谷従二)(へるん 第22号)	116
稲佐の浜〔山陰中央新報〕	173
韻文と散文の翻訳(Hearn)	57
Incense(Hearn)	15, 17, 18
In Cholera-time(コレラ発生時に)(Hearn)	19, 20, 23, 38, 42, 44
In der Cholerazeit	71
インド文学・仏教文学からの物語の創成(インド文学・仏教文学よりの物語)	

(Hearn)	48, 52, 66
インドの現在と将来(Hearn)	57
インドの女流詩人たち(Hearn)	58, 65
Industiral denger (Hearn)	9, 23
Influence of woman in politics(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essays	26
In ghostly Japan(Hearn)	15, 18, 23, 45
因果のさざ—初恋の神秘	65
因果話(Hearn)	51, 53, 54, 63, 67
Ingwa-Banashi (因果話) (Hearn)	15, 17, 18, 45
因果応報の力(Hearn) (因果応報)	48, 55, 56, 67
In honour of Lafcadio Hearn (英文毎日)	155
In memoriam to Louis Allen(Hearn)	35
祈り(短歌14首)(へるん 第17号)	115
In Osaka(Hearn)	15, 16, 21
井上円了との出会い(小泉凡)	73
韻律学心得(Hearn)	60
Insect civilization(Hearn)⇒The new radiance and other scientific sketches	28
Insect literature(Hearn)	68
Insect-Musicians(Hearn)	15, 23, 38, 68
Insect poems(Hearn)	19
Insect politics(Hearn) ⇒ Editorials	26
Insect-studies(Hearn)	21, 21
Insense	17
印象派作家日記抄(印象派作家の日記から)(Hearn)	47, 54, 66
In Spain(Hearn) ⇒ Barbarous barbers and other stories	26
In the cave of the children's ghosts(Hearn)	16, 17, 38, 66
In the dead of the night(Hearn)	20
In the "item" (Hearn)	10, 12
In the "Times-Democrat" (Hearn)	10, 13
In the twilight of the Gods (Hearn)	9, 20, 22, 42
Introduction to Buddhism(Hearn)	14, 34, 42
Introduction to the study of Lafcadio Hearn's mental development in his American days	123
犬の遠ほえ(Hearn)	62, 67
Invisible poisons(Hearn) ⇒ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
In Yokohama(Hearn)	22, 38
アイルランド系アメリカ移民としてのヘルンの面影覚書(河野賢司)(へるん 第30号)	118
アイルランドを訪ねて(小泉時)(へるん 第31号)	121
アイルランドとハーン足跡を追って(小泉時)(八雲)	143
Ireland とEngland におけるLafcadio Hearn (西野影四郎)	172
石仏(Hearn)	48, 52, 67
石に書かれた名前(Hearn)	66
石の美(石の美しさ)(Hearn)	50, 51, 63, 68
イスラム教のしきたり(Hearna)	56
Island voyages[島巡り] (Hearn)	68
Is the sea serpent an Eel?(Hearn) ⇒ Editorails	26
Item(Hearn)	12, 45
It is out! The taerrible tannery tragedy. Confessions of Fred Egner. How the Horrible deed was done. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 11, 1874)	29
伊藤則資の物語(伊藤則資の話)	47, 50, 51, 53, 63, 67
いつもあること(小泉八雲全集)	56, 67
偽りの自由思想(Hearn)	56
一對の目のなかに(Hearn)	63, 67
イヴト—からの手紙: ハーンの神学校在学について(西村六郎)(へるん 第30号)	118
岩瀬・北前船資本の変遷(文・高瀬保)	6

岩波文庫	49, 56
岩波写真文庫	88
いやなタイプブラドロー(Hearn)	56
いよいよあす盛大に〔毎日新聞島根版〕	165
泉の乙女(Hearn)	47, 48, 51, 63, 66, 94
Izumo(Hearn)	71
出雲風土小考(小泉凡)	115
出雲路に八雲の足跡を訪ねる(梶谷泰之)	75
出雲に於ける小泉八雲(根岸磐井)	77
出雲に於けるラフカディオ・ハーンについて(梶谷延)	123
出雲大社①~③〔山陰中央新報〕	172, 173
出雲大社	50
出雲と八雲(阿部知二)	108
出雲への旅日記(Hearn)	62
出雲再訪(Hearn)	62

J

Jack London on Lafcadio Hearn(Dennis Fox)	127
ジェームズ・アンソニー・フィールド(Hearn) ⇒神戸クロニクル論説集	34
ジェームズ・アンソニー・フィールド(Hearn) ⇒ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
ジェイムズ・ジョイスの移入(柳瀬尚紀)	174
Jane Austen と女性教養(宮西光雄)	123
Japan(Hearn)	23
Japan (ポール・スノードン)	126
Japan:an attempt at interpretation(Hearn)	18, 42
Japan:stories of Japanese life(Hearn)	9
Japan and Japanese (日本と日本人)	18
Japanbuch(Hearn)	71
Japanese on the art of Japan and the West(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Japanese Buddhists	14, 15, 17, 18
Japanese educational policy(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Japanese emigration to the West Indies (Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Japanese fairy tales series	39
Japanese family(Japan: an attempt at interpretation)(Hearn)	38
Japanese female names(Hearn)	24
Japanese goblin poetry	24
Japanese letters (Elizabeth Bisland)	77, 93
Japanese letters of Lafcadio Hearn (Elizabeth Bisland)	91
Japanese lyrics(Hearn)	19
Japanese miscellany(Hearn)	19, 24, 45
Japanese on the art of Japan and the West(Editorials)	32
Japanese physique(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Japanese silence(Hearn)	24
Japanese smile (日本人の微笑) (Hearn)	16, 17, 23, 24, 35, 42, 43, 45, 68
Japanese smile (山麓居士)	148
Japanese strange stories(Hearn)	69
Japanese studies(Hearn)	24
Japanese women and education ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Japan in picture : Asahigraph oversea edition(Asashi Shinbunsha)	123
Japanische Lachein(Hearn)	71
Japanischer See(Hearn)	71
Japan physical(Hearn)	35
Japan pictures.Asahigraph oversea edition(Asashi Shinbunsha)	123
Japan psychological(Hearn)	35

Japan spiritual(Hearn)	35
Japan social(Hearn)	35
Japan supernatural(Hearn)	35
Japan's advance(James A. B. Scherer)	99
Japan's religions:Shinto and Buddhism(Hearn)	19, 34
Japan's lesser beings?(Hearn)	35
ジェーンズとハーン記念祭	99
Jewish emigrants for Louisiana(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
自伝断片 (小泉八雲全集)	54
自分の下女 (小泉八雲全集)	52
地獄絵と出会うまで (林雅彦) (国文学 解釈と鑑賞)	141
地獄の門に咲く百合の花 (地獄の口に咲いた一輪の百合) (Hearn)	56
事実は小説よりも奇なり(Hearn)	51
自序、再版、改版に際して (田部隆次) (小泉八雲全集)	55
Jikininki (食人鬼) (Hearn)	9, 21, 22, 35, 38, 42, 43, 46, 49, 55, 67, 70, 105
食人鬼(Hearn)	46, 49, 50, 51, 53, 63, 64, 69, 70
磁器の絵付け(Hearn)	57
事務局だより (白築和夫) (へるん 第31、32号)	121
尋常の事(Hearn)	53
Jingoist in Japan(Dennis Fox)	128
人類の先駆者(Hearn)	58
人類の移動	58
人生の教師ラフカディオ・ハーン (仙北晃一)	77, 78
人生叢書	65
人生と文学(Hearn)	49, 60
人肉嗜食奇譚(Hearn)	58
人生の考察 : 「小品」鑑賞 (首藤基澄)	85
迅速の重要性(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	34
迅速の重要性(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
ジプシーの話 (ジプシーの話) (Hearn)	55, 66
自立する妻	59
辞世(Hearn)	51
瓷神譚(Hearn)	47
地震と国民性(Hearn)	55, 59
実物の「腕なし」(Hearn)	57
慈善は引き合うか(Hearn)	55
Jiujutsu(Hearn)	18, 22
Jiu-roku-zakura (十六桜) (Hearn)	20, 22, 42, 43
自由思想の狂態(Hearn)	58
慈善は引き合うか(Hearn)	56
慈善という好奇心(Hearn)	55
地蔵	50, 55, 62, 66
Jizo (地蔵) (Hearn)	16, 17, 35, 71
序 (西田幾多郎) (小泉八雲全集)	55
情愛の美しさと神秘性: 「和解」に寄せて (右近克枝) (へるん 第26号)	117
Joaquin miller(Sept. 12, 1886)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
John Algernon Owen(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
「女王の都市」の新聞記者 (小平直行)	83
女性虐待の防止	59
女性の影響	59
女性の寄付で建った旧制富山高等学校	180
「女王の都市」の新聞記者 (小平直行)	85
繞石先生の追憶 (西村稔)	148
常識(Common sense)	47, 50, 51, 52, 53, 55, 63, 64, 67, 68
Journalism and magazine work(Feb. 6, 1887)(Hearn)	
⇨ Essays on American literature	32
Journalism of the future(June 24, 1879)(Hearn)	32
ジャーナリズムにおける中世的迷信(Hearn)	59
ジャーナリズムの” 妥当な領域” (Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	34

ジャーナリズムの” 妥当な領域” (Hearn)	
⇒ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
ジャーナリズムと雑誌の作品(Hearn)	57
ジャーナリストへるんの不思議な感覚(鶴木奎治郎)	114
Journalistic outlook(Hearn) ⇒ Editorilas	27
条約改正の一問題(Hearn)	55, 59
城山稲荷神社〔山陰中央新報〕	171
Judge McGloin's New Book(Aug. 13, 1882)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
十八世紀のマーディ(Hearn)	57
十字街道を往く(厨川白村)	99
柔術(Hearn)	48, 50, 52, 53, 67
「柔術」を読んで憶う(藤原巳代子)(へるん 第27号)	118
住居と国民性(Hearn)	50, 51
樹木の美	50, 51
樹木と共苦共生(上)(下)(仙北谷晃一)	126
純和風造りに衣替えオープン〔山陰中央新報〕	169
十六桜(十六ざくら 十六日桜)(Hearn)	49, 50, 51, 53, 55, 63, 67, 70
十六桜(染村絢子)(八雲)	143
Ju-Roku-Zakura(十六桜)(Hearn)	9, 20, 21, 69, 70
術数(Hearn)	50, 51, 52, 53, 65

K

蚊(Hearn)	47, 49, 53, 55, 67, 68, 96
加鼻と稲佐の浜	50
屍に乗る人(者)(Hearn)	49, 53, 68, 69
屍の利用法に関して(Hearn)	55
屍鬼(Hearn)	48, 66
禍母異聞(Hearn)	66
ケーブル氏の「医師セヴィエ」	57
角川文庫	63, 103
角川写真文庫	103
門つけ(Hearn)	48, 50, 51, 52, 55, 56, 63, 65, 67
門つけが歌った京都の疎水心中事件(谷毅夫)(へるん 第33号)	122
カエル(Hearn)	49, 52, 67
帰り来る者(小泉八雲全集)	52
帰って来た死者(Hearn)	50, 64
加賀	50
加賀の潜戸(かがのくげど)	50, 75
加賀の潜戸にて(榊井幹生)(へるん 第28号)	119
加賀浦の宿屋〔山陰中央新報〕	171
科学と文学(Hearn)	58, 65
鏡の女(鏡の少女)(かがみの少女)(Hearn)	47, 50, 51, 53, 55, 62, 63, 67
鏡と鐘(Hearan)	47, 49, 50, 53, 63, 64, 67, 70
影(Shadowings)	52, 55
蜻蛉(Hearn)	47, 53, 68
家具つきの部屋(Hearn)	47, 55, 66
河畔の漁師町〔山陰中央新報〕	171
開文社: 英文名著選集	45
怪物禍の物語(Hearn)	50, 65
解嘲(寿岳文章)(へるん 第4号)	113
買い上げられる八雲旧居〔夕刊山陰〕	162
会員西野影四郎氏の好著(梶谷泰之)(へるん 第16号)	114
怪談(Hearn)	42, 49, 50, 51, 53, 55, 58, 63, 67, 68, 69
怪談(新聞連載小説) 1 - /阿刀高著、宇野亜喜良イラスト〔北陸中日新聞〕	177
怪談: 日本の古典文学とのかかわりから(荒木尚)	85, 86
「怪談」の出版(染村絢子)	116

怪談「食人鬼」の出典の考証(伊藤亮輔)(へるん 第24号)	117
怪談「十六ざくら」とアイルランド伝説(伊藤亮輔)(へるん 第31号)	121
怪談・奇談(Hearn)	50
「怪談・奇談」原題と訳者一覧	50
怪談小泉八雲:花園兼定について(速川和男)(へるん 第26号)	118
「怪談」翻訳事始(速川和男)(明治村通信)	135
怪談「耳なし芳一のはなし」源泉をアイルランドに求めて(伊藤亮輔) (へるん 第23号)	115
怪談耳なし芳一のはなし・小泉八雲	181
「怪談」の一筆書きとケルト模様(染村絢子)(へるん 第28号)	119
怪談の恐怖と滑稽:「むじな」をめぐって(中田賢次)(へるん 第24号)	117
「怪談」の草稿から初版本に至る移動の統計的傾向など ――卒業論文からの抜粋――(染村絢子)(へるん 第18号)	114
「怪談」をかいたイギリス人小泉八雲(木暮正夫)	77
怪談と骨董	43
懐疑論あれこれ(Hearn)	58
怪異の文学(落合貞三郎)	72
怪異と愛のユートピア	63
快活ならぬルイジアナ人(小泉八雲全集)	55
怪奇な一接吻(小泉八雲全集)	55
怪奇な老僧	49
蚕(Hearn)	47, 53, 63, 67
回顧(小泉八雲全集)	52
開国百年記念文化事業会	101
回教国の物語(Hearn)	48, 52, 66
解説「神戸クロニクル論説集」	59
解説世界文学史年表(中央公論社)	99
回想(Hearn)	49, 67
海水浴(池橋達雄)	75
回竜とろくろ首(Hearn)	49
懐出の一つ(大谷繞石)	72
かけひき(Hearn)	49, 67
各大学英文科卒業論文題目	148
架空物語よりもいやふしぎ(Hearn)	68
隠れたる日本の風俗”魔狐の奇談”(「女学世界」1902年)(野津直久) (へるん 第26号)	118
鎌倉から京都へ(河島弘美)(無限大)	140
神々の国の旅案内	50
神々の国の首都(角田直一)(へるん 第22号)	116
「神々の国の首都」取材を読む(横山純子)	110
神々の終焉(Hearn)	48, 55, 67
神々の国の首都(Hearn)	50, 52, 62, 66
「神々の国の首都」原題と訳者一覧	50
上市「盆踊り」考(成瀬経男)(へるん 第31号)	121
紙鳶の夢(Hearn)	55, 66
家紋(後藤昂)	75
叶へる願(Hearn)	52
悲しい源助柱〔山陰中央新報〕	170
悲しむべき変化(悲しい変化)(Hearn)	55, 59
金沢市池田町界隈(染村絢子)(へるん 第30号)	120
蒲原有明研究(矢野峰人)	100
蒲原有明論(形田藤太)	143
環中記(Hearn)	49, 67
環中流転相(Hearn)	52
寛大の必要(寛容の必要性)(Hearn)	55, 59
鐘の霊(藤田明彦)(へるん 第27号)	118
寛宏の要(Hearn)	55
監獄と刑罰	59
蟹はなぜ生きたまま茹でるのか(Hearn)	47, 55, 66

嘉納治五郎 (川本信正) [日本経済新聞]	173
干渉政策(Hearn)	55, 59
簡単には渡せぬ [読売新聞]	159
<完訳>怪談(Hearn)	49
かんざし (大谷從二)	114
顔の研究(Hearn)	56
香(Hearn)	53, 63, 67
唐草艸紙(Hearn)	47, 66
唐草模様 (小泉八雲全集)	54
カラワラの歌 (カラワラよりの歌) (カレワラの歌) (Hearn)	48, 52, 66
カルマ(Hearn)	61
Karma(Hearn)	19
Karma and other stories(Hearn)	19
「カルマその他」解説 (内藤四郎)	61
カーマに憑かれた人: ハーンとブラックウッド (速川和男) (へるん 第22号)	116
カルメン(Hearn)	57
果心居士 (果心居士の話 The story of Kwashin koji)	50, 51, 52, 53, 63, 64, 65, 67, 68, 69
火葬にすべきか、土葬にすべきか(Hearn)	57
語る女の系譜 (西成彦)	74, 90
Katchiu-yashiki (根岸啓二) (へるん 第1号)	112
家庭(Hearn)	47, 55, 66
家庭の祭屋 (家庭の祭壇) (Hearn)	50, 62, 75
蚊とのつきあい方 (西成彦)	126
勝五郎再生記 (勝五郎の再生) (勝五郎の転生) (Hearn)	49, 51, 52, 62, 67
「勝五郎再生記」の原典「ほどくぼ小僧前世話」 (染村絢子) (へるん 第33号)	122
勝見温泉と精霊船 (横山幸子)	75
河口湖畔通信 (S. K.)	148
川向こうの記(Hearn)	47, 66
川を想う(Hearn)	48, 66
河出文庫	49, 51
河出新書	97
Kawase series	43, 44
川津と持田 (梶谷泰之)	75
川角捨兵衛 (染村絢子) (へるん 第28号)	119
一雄への教育 (角田洋三) (へるん 第32号)	121
けちないたずら者(Hearn)	56
桂月翁教鞭の地 (田中貢太郎) [報知新聞]	156
計略(Hearn)	70
経島 [山陰中央新報]	173
警世家ラフカディオ・ハーン (西野影四郎) (へるん 第11号)	113
契約と遺言 (銭本健二)	75
建都千百年祭り (京都) [毎日新聞]	175
「ケルトの風」「カリブの風」「ハーンの嵐」 (小泉凡)	174
ケルトの西、シンシナティの南 (西成彦/鶴岡真弓)	110
Kenkyusha pocket English series	41, 43, 44, 45
研究社選書	97
頭彰金募金に協力 [毎日新聞]	161
ケンタキー大佐の部屋借り (小泉八雲全集)	55
Kentucky colonel rentingroom(Hearn)	11
希有の教師、小泉八雲: その教育理念と実践に学ぶ (新村光男) (八雲)	143
帰朝の記 (野口米次郎)	99
奇談(Hearn)	50, 53, 63, 67, 69
Kidan(Hearn)	69
消えた光で (小泉八雲全集)	54
雉子のはなし (Story of a pheasant) (Hearn)	50, 52, 53, 55, 64, 67
奇異なるニューオーリアンズとその住民 (小泉八雲全集)	54
帰化 [毎日新聞]	176
奇怪な老僧(Hearn)	49

機関誌「へるん」の変遷について(錢本健二)(へるん 第27号)	118
菊花の約(菊花の契り)(Hearn)	50, 64
Killed and cremated. Further of the egnerschilling tragedy. Testimony at coroner's inquest. The Cincinnati Enquirer, Nov. 10, 1874	29
きまぐれ(きまぐれ草)(Hearn)	55, 66
君子(Hearn)	48, 51, 52, 55, 63, 67
Kimiko(君子)(Hearn)	9, 19, 20, 23, 38, 42
Kimiko and other Japanese sketches(Hearn)	19
奇妙な体験(Hearn)	56
奇妙な接吻(奇怪な接吻)	66
近代作家とラフカディオ・ハーン(1)(2)(3)(石原亨)(へるん 第31, 32, 33号)	121, 122
近代戦における勇氣(近代戦争に於ける勇氣)(Hearn)	55, 59
金色の玉(Hearn)	57
近代文学研究叢書	21, 77, 100
近代怪傑録(尾崎行雄)	100
近代日本文学研究明治文学作家論(下卷)(佐藤春夫、宇野浩二編)	100
記念講演(要旨)ハーンと八雲: 帰化をめぐる心のドラマ(高木大幹)(へるん 第29号)	120
キング氏の思い出とハーン(梶谷泰之)	126
King's justice(Hearn)	12, 13
紀の国坂の変化(Hearn)	49
木の根神社〔山陰中央新報〕	172
記憶(Hearn)	57
金の呪詛(Hearn)	55, 59
近視(Hearn)	57
「金羊毛」号の売却(Hearn)	55
きらめくギリシア(西村孝次)	126
帰路のない旅(ドニーズ・ブライミ)	90, 140
機略(Hearn)	49, 50, 55
汽船と人力車(池橋達雄)	75
季節の音譜(秀川尚子)(へるん 第21号)	115
騎手ラビヤの最後(Hearn)	47, 53, 66
Kiss fantastical, June 8, 1881(Hearn)	10
狐(Hearn)	50, 52, 62, 65, 66
Kitsune(狐)	16, 17, 35, 44, 55
杵築(きずき)	50, 52, 62, 65, 68
Kitzuki(Hearn)	16, 17, 34, 68
杵築・加賀・美保関(長野忠)	90
「杵築」からの八雲書簡(関田かおる)(へるん 第24号)	116
杵築の宿〔山陰中央新報〕	172
杵築雑記(Hearn)	55, 62, 66
帰属と距離(フランシス・キング)	90
清水寺(越野勝)	75
帰属と距離(フランシス・キング)	90
神戸クロニクル論説集(Hearn)	34, 58
神戸クロニクル社説(抜粋)(Hearn)	55
神戸のヘルン居住地探索(中園岩男)(へるん 第33号)	120
神戸とヘルンと私(藤森くぬえ)(へるん 第23号)	116
弘法大師(弘法大師の書)	52, 55, 62, 66
Kobodaishi(Hearn)	44
こぼれ話<小泉記念館から>(へるん 第19号)	115
古代アメリカに対する日本の影響についてのタイラー博士の意見(Hearn)	59
古代に共産主義は存在したか	59
古代における娼婦の世界(Hearn)	56
古代ローマの粗末な食と贅沢な生活	59
講談社青い鳥文庫	62
講談社文庫	49
Kodansha English library	20

講談社学術文庫	47, 50, 62, 63, 77, 78, 79
孤独(Hearn)	58, 65
孤独な旅人：松江のラフカディオ・ハーン	100
子供の精霊の潜戸(子供の霊の洞窟-潜戸)	52, 63, 68
子供のうたった詩(Hearn)	60
子供たちの扱いかた(Hearn)	56
声の不思議(Hearn)	57
講演「ハーンを慕って六十三年」(高木大幹)(八雲)	143
講演「西インド雑話」(池橋達雄)	73
古風な家(Hearn)	47, 55, 66
古風なニュー・オーリンズとその住民(Hearn)	47, 66
こがねの泉(Hearn)	66
厚顔無恥(Hearn)	56
興義和尚(興義和尚のはなし) ⇨ 僧興義	
故ハクスリー博士(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
故ハクスリー博士(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
湖畔通信(片々子)	148, 149
故ヘルンをしのぶ座談会〔北日本新聞〕	160
故平井呈一氏(岡村和夫)	149
好意	65
恋人への手紙(銭本健二)	75
恋物語	94
恋の因果(Hearn)	63, 67
小泉一家の思い出(白築祐久)	76
小泉一雄著「ファーザー・アンド・アイ」の思い出(小泉時)(へるん 第28号)	119
小泉一雄ノート「焼津町の詩」について(梅田貞夫)(八雲)	143
小泉一雄さんの思い出(白築祐久)(へるん 第7号)	113
小泉一雄氏から中土義敬氏への手紙	7
小泉一雄氏の思い出(中和夫)(へるん 第3号)	112
小泉一雄氏来松〔山陰新報〕	165
小泉一雄氏と小山久二郎氏(漢東種一郎)(へるん 第1号)	112
小泉家元祖と家紋について(後藤昂)(へるん 第23号)	116
小泉家について(立脇祐十)(へるん 第24号)	117
小泉家の菩提寺を訪う(北山宏明)(八雲)	143
小泉家の人びと(戸川エマ)	127
小泉家のうちとそと(森亮)	75, 109
小泉家を知って(日吉恭子)(八雲)	143
小泉家と写真(小泉時)(八雲)	143
小泉清画集	178
小泉清の死(後藤昂)(へるん 第19号)	115
小泉先生の旧居を訪う(厨川白村)	99
小泉先生の思い出(野尻抱影)(へるん 第29号)	120
小泉先生の思い出(片岡きぬ)	137
小泉先生の余光(田部隆次)(へるん 第6号)	113
小泉先生そのほか(厨川白村)	100
小泉先生追憶いろいろ(大谷正信)〔大阪朝日新聞〕	153
小泉セツ(村松直子)〔山陰中央新報〕	173
小泉セツ「思い出の記」の草稿(関田かおる)(へるん 第29号)	119
小泉節子刀自〔大阪毎日新聞〕	154
小泉時氏の訪愛(瀬尾秀彰)	173
小泉八雲〔夕刊毎日〕	160
小泉八雲(久澄彰三)	123
小泉八雲(田部隆次)(早稲田大学出版部)	77
小泉八雲(田部隆次)(第一書房)	77
小泉八雲(田部隆次)(北星堂)	77
ラフカディオ・ハーン	
小泉八雲(田部隆次)	55, 84
小泉八雲(岡戸武平)	78
小泉八雲(吉田郁子)(八雲)	143

小泉八雲：人と作品（森亮）（国文学 解釈と鑑賞）	141
小泉八雲：映画のためのひとつの案（八木保太郎）	78
小泉八雲：回想と研究（平川祐弘）	78
小泉八雲：Lafcadio Hearn	7
小泉八雲：思い出の記 父「八雲」を憶う（小泉節子、小泉一雄）	78
小泉八雲：西洋脱出の夢（平川祐弘）	78, 79
小泉八雲：神道発見の旅（遠田勝）	78
小泉八雲：その日本学（高木大幹）	79
小泉八雲「アメリカ文学論」	123
小泉八雲暗唱読本	41
小泉八雲没して五十年、文豪しのび記念祭〔産業経済新聞〕	166
小泉八雲歿後の事ども（田部隆次）	72
小泉八雲文学碑完成（ライオンズクラブ）（へるん 第6号）	113
小泉八雲「文学論」を読む（酒井善孝）〔東京帝大新聞〕	155
小泉八雲文庫に就いて（西崎一郎）	123
小泉八雲文抄	44, 68
小泉八雲文集	68, 70
小泉八雲コレクション国際総合目録（銭本健二編）	2
小泉八雲コレクション国際総合目録 補巻（銭本健二編）	2
小泉八雲読本（正、続）（田部隆次）	50
小泉八雲伝（野口米次郎）	79
小泉八雲英文学崎人伝	38
小泉八雲英訳「ロチ短篇集」（西崎一郎）〔帝国大学新聞〕	156
小泉八雲父子英語練習帳（銭本健二）	7
小泉八雲が愛した島、ひ孫らカリブ訪問〔新潟日報〕	175
小泉八雲が見た不思議な日本人	140
小泉八雲が見た日本国民性（高西直樹）（へるん 第31号）	120
小泉八雲50年祭〔山陰新報〕	166
小泉八雲50年祭ひらく〔山陰新報〕	165
小泉八雲五十年祭記念させる展示品目録	7
小泉八雲五十年祭記念はがき	7
小泉八雲五十年祭ポスター	7
小泉八雲五十年祭多彩な記念行事展く〔山陰新聞〕	165
小泉八雲グラビュア印刷	7
小泉八雲への讃歌（阿刀高）〔北陸中日新聞〕	177
小泉八雲碑除幕式〔北陸タイムズ〕	157
小泉八雲百年祭に寄せて〔朝日新聞〕	166
小泉八雲遺跡めぐり（安達赤土）	114
小泉八雲珠玉集	63
小泉八雲怪談奇談集	51
小泉八雲研究 — 幻を追う人（島谷照夫）	124
小泉八雲研究した中央公論新書（書評・牧野陽子）	175
小泉八雲忌〔92回忌報告〕	173
小泉八雲記念碑	7
小泉八雲記念号（水郷 第4輯）⇨ 文豪小泉八雲号	
小泉八雲記念号（帝国文学会）	79
小泉八雲記念会実行委員〔小泉八雲記念館落成の報告状と寄付者芳名〕	7
小泉八雲記念会から嵯川富山高等学校長への手紙	7
小泉八雲記念会〔松江ヘルン記念館建設寄附金募集状〕	7
小泉八雲記念館（市河三喜）	124
小泉八雲記念館（坂本政親）〔福井新聞〕	177
小泉八雲記念館（小泉凡）（国文学 解釈と鑑賞）	141
小泉八雲記念館（銭本健二）	75
小泉八雲記念館〔山陰中央新報〕	169
小泉八雲記念館成る〔帝国大学新聞〕	156
小泉八雲記念館の竣工に思う（梶谷泰之）	169
小泉八雲記念館の新築竣工を祝して思うこと（梶谷泰之）（へるん 第21号）	115
小泉八雲記念館設立について（北山宏明）（八雲）	143
小泉八雲記念館新装オープンに際して（中村芳二郎）	115

小泉八雲神戸来訪100周年で記念行事〔毎日新聞〕	175
小泉八雲、故国で顕彰、記念館に肖像展示へ アイルランド〔朝日新聞〕	177
小泉八雲熊本旧居〔絵はがき〕	180
小泉八雲熊本旧居〔パンフレット〕	180
小泉八雲君への御贈位(尾崎行雄)	100
「小泉八雲京日記」を完成して(佐々木勘一郎)(へるん 第13号)	113
小泉八雲旧居(野津直久)	75
小泉八雲旧居全面復元へ(くまもとハーン通信)	181
小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)に思う(平岡伴一)〔北日本新聞〕	161
小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の作品の略改題(牧野陽子)(国文学 解釈と鑑賞)	141
小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)と日本(国文学 解釈と鑑賞)	141
小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)研究の軌跡:昭和50年以降(河島弘美)	
国文学 解釈と鑑賞	141
小泉八雲満三十年忌記念出版の二著に就て〔東京日日新聞〕	157
小泉八雲・松江=Lafcadio Hearn in Matsue(松江観光協会)	79
小泉八雲名作集	51
小泉八雲未公開資料展をめぐって(小泉時)(八雲)	142
小泉八雲年譜〔山陰新報〕	165
小泉八雲年譜(林雅彦)(国文学 解釈と鑑賞)	141
小泉八雲「日本の庭」(田中圭)	127
小泉八雲にちなみ文学賞〔日本経済新聞〕	174
小泉八雲に関する昭和六十年の内外の動向(へるん 第23号)	116
小泉八雲について(光吉夏弥)	47
小泉八雲について(小森典)〔富山大学新聞〕	167
小泉八雲について(田部隆次)	62
小泉八雲に就いてのノート(佐藤春夫)	72
小泉八雲の文学(森亮)	79
小泉八雲の文明観(高西直樹)(へるん 第28号)	119
小泉八雲の著書中の鳥類(内田映)(へるん 第28号)	119
小泉八雲のクレオール料理(へるん 第25号)	117
小泉八雲の墓に詣でた駐日アイルランド大使と孫	146
小泉八雲の映画化本きまり〔北日本新聞〕	164
小泉八雲の英語(中島慶治)	124
小泉八雲の碑を希臘に	146
小泉八雲の家(田中貢太郎)〔報知新聞〕	156
小泉八雲の生きた時代の一面:概説(西野影四郎)	113
小泉八雲の実妹を訪問したリットン卿とも懇談〔北陸タイムズ〕	155
小泉八雲の価値(野口米二郎)(へるん 第33号)	122
小泉八雲の回想と評価(西野影四郎)(へるん 第21号)	115
小泉八雲の感触(梅原真隆)〔中外日報〕	156
小泉八雲の記念館の竣工に思う(梶谷泰之)〔山陰中央新報〕	162
小泉八雲のキリスト教と仏教(多久和新爾)	151
小泉八雲の今日的意味(平川祐弘)	78
小泉八雲の好んだ刻煙草白梅(須知善一)	151
小泉八雲の旧居(島根県)	100
小泉八雲の旧居を訪ふ(高須芳次郎)	124
小泉八雲の旧居を訪れて(佐藤恭)	124
小泉八雲の未亡人逝く〔大阪朝日新聞〕	154
小泉八雲の未刊行資料(1) ウェルドン宛(1890年1月31日付)(銭本健二) 西田千太郎書簡(1891年12月)(野坂東作) アトキンス宛(1901年9月1日付)(中田賢次) 雨森信成のハーン宛書簡(1897年11月14日付)(小泉時)(へるん 第25号)	117
小泉八雲の未刊行資料(2) M. アトキンソン宛書簡(手紙1・2)(中田賢次) 父兄の教育上における注意(「島根県立教育会雑誌」211号)(内田融) 隠れたる日本の風俗「魔狐の奇談」(「女学世界」1902年)(野津直久)(へるん 第26号)	118
小泉八雲の未刊行資料(3) チェンバレン自筆原稿「ラフカディオ・ハーン(榊井幹生)チェンバレン宛ハーン書簡(福間直子) M. アトキンソン書簡(中田賢次)	

メアリー・M/フェノロサの草稿「夕霧お客さん」(銭本健二) (へるん 第27号)	118
小泉八雲の未刊行資料(4) M. アトキンソン宛書簡(手紙6・7・8)(中田賢次) The conservator 収録断片(銭本健二)(へるん 第28号)	119
小泉八雲の未刊行資料(5) 小泉セツ思い出の記草稿(関田かおる) M. アトキン ソン宛書簡(手紙9・10・11)(中田賢次) 城見縄手「小磯国昭自伝」より (和田正則) 八雲旧邸・記念館を訪ねる(「野上弥生子日記」より) 熊本第五 高等中学校における英会話授業:ある学生の筆記ノートから(1)	119
[小泉八雲の]未刊行資料・埋もれた資料(6) M. アトキンソン宛(手紙12・13・ 14・15・16・17)(中田賢次) 小泉八雲先生の思い出(野々村戎三(述)) 小泉八雲先生の面影(片上伸) 熊本第五高等中学校の英会話授業:ある 学生の筆記ノートから(2)	120
[小泉八雲の]未刊行資料・埋もれた資料(7) 熊本第五高等中学校の英会話授業: ある学生の筆記ノートから(3)	121
[小泉八雲の]未刊行資料・埋もれた資料(8) 熊本第五高等中学校の英会話授業: ある学生の筆記ノートから(4)	121
[小泉八雲の]未刊行資料・埋もれた資料(9) アーノルド宛て書簡二通(長谷川洋 二) 学生版全集内容見本より<野口米次郎「小泉八雲の価値」 千葉亀雄「ラ フカディオ・ヘルン詩境」 田部隆次「ヘルンの著作」 金子健二「ヘルン先生 書簡集」> 小日向定次郎「小泉八雲先生の思い出」(昭和25年)	122
小泉八雲の日本(池田雅之)	80
小泉八雲の日本女性観(高西直樹)(へるん 第16号)	114
小泉八雲の日本芸術観(高西直樹)(へるん 第15号)	114
小泉八雲の日本観(太田三郎)(明治村通信)	135
小泉八雲の日本教育観(高西直樹)(へるん 第26号)	118
小泉八雲の生誕百年(社説)[大阪朝日新聞]	162
小泉八雲の世界(速川和男)	79
小泉八雲の死—日本文壇第71回(伊藤整)	124
小泉八雲の資料を新たに2百点購入[福井新聞]	174
小泉八雲の「神国日本」直筆原稿デジタル写真化へ(読売新聞富山版)	177
小泉八雲の親友(前田多門)	124
小泉八雲の生涯と作品(馬場久治)	124
小泉八雲の正月(園田綱)	124
小泉八雲の想像力を語る[北日本新聞]	177
小泉八雲の手紙:書簡を通じて見る当時の大学(小川鈞)	124
小泉八雲の東郷観(獅子堂豪三)[大阪朝日新聞]	156
小泉八雲の盗難遺稿に懸賞[東京日々新聞]	153
小泉八雲の妻(長谷川洋二)	80
小泉八雲の和洋書寄贈[新潟日報]	176
小泉八雲の屋敷守り、根岸さん死去[読売新聞] 「小泉八雲の横顔」に就て(木俣修)	169
小泉八雲(ラフカディオ・ヘルン)の横顔(高田力)	78, 84
小泉八雲の座談会と八雲会の変遷(鈴木賢)(八雲)	143
小泉八雲入門(平井呈一)	80
小泉八雲覚え書(大西忠雄)(へるん 第7号)	113
小泉八雲隠岐訪問百年を記念して(J. A. シャーキー)(へるん 第30号)	120
小泉八雲を悼む(斉藤信策)	79
小泉八雲を偲ぶ会	146
小泉八雲を知って(日吉恭子)	143
小泉八雲来日百年記念フェステヴァル印象記(平川節子)	76
小泉八雲来日百年記念特別展	7
小泉八雲来日・帰化の時代背景と諸家の評価など(西野影四郎)(へるん第30号)	120
小泉八雲来日百年周年記念・八雲とやいづ[ポスター]	180
小泉八雲略年譜(明治村通信)	135
小泉八雲作品集	52
小泉八雲参考文献目録:1975年から1991年まで(銭本健二)(国文学 解釈と 鑑賞)	141
小泉八雲「里がえり」[毎日新聞富石福版]	174
小泉八雲生誕百年[大阪毎日新聞]	158

小泉八雲生誕百年祭挨拶 (豊田実)	124, 146
小泉八雲生誕百年祭挨拶	146
小泉八雲生誕百三十年に思う (梶谷泰之) (へるん 第18号)	114
小泉八雲生誕百三十年を迎えて (中村芳二郎) (へるん 第17号)	114
小泉八雲生誕の地ギリシア国レフカダを訪れて (中村芳二郎) (へるん 第17号)	116
小泉八雲選	51
小泉八雲先生〔大毎小学生新聞〕	158
小泉八雲先生 (内山敬二郎)	73
小泉八雲先生 (熊本第五高等学校)	100
小泉八雲先生 (逝去満二十五年を記念す)	7
小泉八雲先生: 二十五回記念式に (土井晩翠)	100
小泉八雲先生: 美しい文章で日本を世界に紹介した (大毎小学生新聞)	158
小泉八雲先生歿後の事ども (田部隆次)	72
小泉八雲先生旧居の記 (根岸啓二)	7
「小泉八雲先生未亡人節子様ご逝去」のお知らせはがき	7
小泉八雲先生に就きて聞きし事ども (日高只一) (へるん 第29号)	120
小泉八雲先生の片貌 (西村房太郎) (へるんを訪ねる/池野誠編)	113
小泉八雲先生の片貌 (西村房太郎) (へるん 第4号)	75
小泉八雲先生のこと (田部隆次)	159
小泉八雲先生の松江時代 (川角捨兵衛)	124
小泉八雲先生の憶い出 (野々村戎三 (述)) (へるん 第30号)	120
小泉八雲先生の思い出 (小日向定次郎) (へるん 第33号)	122
小泉八雲先生の面影 (片上伸) (へるん 第30号)	120
小泉八雲先生の追憶 (藤崎八三郎)	72, 78
小泉八雲先生を憶う (内ヶ崎策三郎)	55, 86
小泉八雲先生と広瀬中佐のことども (1) (2) (藤原巳代子)	116
小泉八雲先生と仏教 (大西忠雄)	112
小泉八雲選集	51, 65, 69
小泉八雲氏	124
小泉八雲誌 (市河三喜、北村常夫編)	3
小泉八雲詩人論	37
小泉八雲新考 (丸山学)	80, 81
小泉八雲詩論	36
小泉八雲新輯	62
小泉八雲鈔	52
小泉八雲賞を受賞した駐英アイルランド大使館員〔新潟日報〕	176
小泉八雲書誌考〔読売新聞〕	156
小泉八雲集	51
小泉八雲集 (天理図書館編)	1
小泉八雲送別の辞を図書館に寄贈〔北日本新聞〕	174
小泉八雲草稿・未刊書簡拾遺集 第1巻 草稿 (解説・梶谷泰之、染村絢子)	5
小泉八雲草稿・未刊書簡拾遺集 第2巻 未刊行書簡 (編集: 銭本健二)	5
小泉八雲草稿・未刊書簡拾遺集 第3巻 ノート類 (解説: 梶谷泰之、染村絢子、銭本健二)	5
小泉八雲誕辰八十年記念講演会	146
小泉八雲展〔パンフレット〕	7
小泉八雲展: 日本を描いた異色のボヘミアン	7
小泉八雲展: 開館一周年記念特別展	7
小泉八雲「東京からの手紙」の校正刷	8
小泉八雲とアビシニア号 (安江安宣) (へるん 第24号)	117
小泉八雲とバーナード・リーチ (浜川博) (明治村通信)	135
小泉八雲とB. H. チェンバレンの人間性 (西野影四郎) (へるん 第22号)	116
小泉八雲と仏教 (井上哲次郎)	125
小泉八雲と仏教 (北山宏明) (八雲)	143
小泉八雲と仏教 (大西忠雄) (へるん 第9号)	113
小泉八雲と第五高等学校(1)(2)(3) (高西直樹) (へるん 第25, 26, 27号)	115, 116, 118
小泉八雲とエドガー・アラン・ポーについての覚書 (中西善弘) (へるん 第14号)	114

小泉八雲とヨーロッパ 前、後記(西野影四郎)(ヘルン 第16号)	81, 114
小泉八雲とフランス(西村六郎)	119
小泉八雲とフランス(富田仁)	126
小泉八雲と浜名湖(小野達)(へるん 第30号)	120
小泉八雲とヘンリー・ミラー(本田康典)(へるん 第21号)	115
小泉八雲と遺品	81
小泉八雲とカミガミの世界(平川祐弘)	81
小泉八雲と神々: 大津事件を中心に(遠田勝)(国文学 解釈と鑑賞)	141
小泉八雲と狭心症(花田尚友)(へるん 第21号)	115
小泉八雲と松江: 異色の文人に関する一考察(池野誠)	81
小泉八雲と松江の再発見(中村芳二郎)(へるん 第21号)	115
小泉八雲と松島艦: 同艦に殉じた酒井海軍少尉候補生を憶う(藤原巳代子) (へるん 第25号)	116
小泉八雲と夏目漱石(大村喜吉)(明治村通信)	135
小泉八雲と夏目漱石(平川祐弘)	180
小泉八雲と日本(谷川徹三)	125
小泉八雲と日本(玉井武)	125, 149
小泉八雲と日本(西崎一郎)[大阪毎日新聞]	161
小泉八雲と日本: 相異なる二つの立場(大西忠雄)	125
小泉八雲と日本: ヘルン生誕百年記念講演会(田部隆次)	81
小泉八雲と日本(ヘッツル・ティルトマン)	160
小泉八雲と日本(清水虎雄)[北陸夕刊]	163
小泉八雲と日本の心(高木大幹)	81
小泉八雲と日本の庶民(高西直樹)(へるん 第17号)	114
小泉八雲と隠岐の後醍醐帝(内田映)	118
小泉八雲との出会い(三島千代子)(へるん 第22号)	116
小泉八雲と小川未明・面白き誤訳/ラフカディオ・ハーン(へるん 第26号)	118
小泉八雲と佐藤春夫について(速川和夫)	64
小泉八雲と節子夫人(主婦之友社)	125
小泉八雲と新宿(速川和男)	4
小泉八雲とその周辺	2
小泉八雲と周作人(劉岸偉)	90
小泉八雲と帝大(田部隆次)[帝国大学新聞]	157
小泉八雲と坪内逍遙: 「新曲浦島」をめぐる(関田かおる)(へるん 第26号)	118
小泉八雲と八重垣神社の句碑(内田映)(へるん 第20号)	120
小泉八雲と焼津(斯波敦、北山宏明)	8
小泉八雲と焼津(北山宏明)(八雲)	143
小泉八雲特集[山陰新報]	158
小泉八雲ヴィクトリア時代の思想そのほか	38
小泉八雲41歳に遺言状[北陸中日新聞]	176
小泉八雲全集(第一書房)	52, 53, 54, 55
小泉八雲全集(みすず書房)	55, 56
小泉八雲全集の出版に寄せて(土田杏村)(へるん 第30号)	120
小泉八雲全集の出版に寄せて(日夏耿之介)(へるん 第30号)	120
小泉八雲全集の出版に寄せて(芥川龍之介、千葉亀雄)(へるん 第30号)	120
小泉八雲全集の出版に寄せて(新村出)(へるん 第30号)	120
小泉八雲全集の出版に寄せて(高島平三郎)(へるん 第30号)	120
小泉八雲全集家庭版内容見本	8
小泉八雲蔵書「ヘルン文庫」保存状態良く「感無量」[北日本新聞]	177
小泉八雲・蔵書の和漢書59種[毎日新聞島根版]	174
荒神さま[山陰中央新報]	172
故人を偲ぶ遺品の数々[夕刊山陰]	162
個人としての小泉八雲先生(大谷正信)	79
公開研修講座「小泉八雲に親しむ」(松井幹生)(へるん 第32号)	121
絞刑記事	64, 105
好奇心をそそる回想記(Hearn)	58
故小泉八雲の著作について(坪内逍遙)	86
黒人寄席演芸(Hearn)	58
考古学的芸術と批評家(Hearn)	57

考古学的小説(Hearn)	58, 66
ここかしこ (T. H.)	146
ここかしこ (T. S.)	146
Kokoro (心)	20, 22, 23, 42, 69
心(Hearn)	42, 48, 52, 55, 56, 67
心の底から愛した日本	175
心は老いぬ	48, 66
告知板(白築和夫)(へるん 第31号)	121
国外におけるロシア文学(Hearn)	58
国語教材としての八雲作品(久松宏二)(国文学 解釈と鑑賞)	141
国民的個性(国民性について)(Hearn)	55, 59
国際道徳について最新の言(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
国際道徳について最新の言(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの 神戸クロニクル論説集	34
国際ジャーナリスト小泉八雲(1)(2)(西野影四郎)(へるん 第31, 31号)	120, 121
「国際化の芽」置き土産に	174
国際結婚(長谷川洋二)	75
駒子と雪女(中田賢次)(へるん 第23号)	116
公民館でヘルン百年祭〔読売新聞富山版〕	163
児守稲荷神社〔山陰中央新報〕	172
昆虫・言葉・国民性(市河三喜)	100
昆虫を詠んだ詩	68
昆虫の文明(Hearn)	57
昆虫の政治学	58
昆虫の詩(Hearn)	47
金色の霞の精〔山陰中央新報〕	170
紺の制服と金ボタン(Hearn)	57
混乱せる東洋学(Hearn)	57
Korean riddle(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
これがハーンの記念碑〔山陰中央新報〕	170
コレラ	48
コレラ流行時に(Hearn)	48, 52, 55, 56, 63, 67
越人草話〔富山新聞〕	161
絞首刑(Hearn)	57
考証報告二つ(梶谷泰之)(へるん 第3号)	112
古書界に出た大谷正信の英作文(渡辺沢身)	114
子捨ての話(Hearn)	64
故鈴木勝子さんに感謝して、こぼれ話②(へるん 第16号)	114
皇太子ご夫妻を小泉八雲記念館にお迎えして(梶谷泰之)(へるん 第6号)	113
小鳥店での夢想(Hearn)	56
骨董(Kotto)(Hearn)	49, 50, 51, 53, 55, 67
Kotto (骨董)(Hearn)	20, 23, 42, 43, 45
Kotto and Kwaidan (Hearn)	20
Krewe of proteus(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	28
件(くだん)の話(梶谷泰之)(へるん 第30号)	120
潜戸(くげど)	55, 62, 66
熊本第五高等学校における英会話授業: ある学生の筆記ノートから(1)(2)(3)(4) (東大英文科市河文庫収蔵)(へるん 第29, 30, 32号)	119, 120, 121
熊本第五高等学校習学寮史	100
熊本英学史(田中啓介)	100
熊本ハーン通信	181, 182
熊本時代のヘルン氏(黒板勝美)	79
熊本時代の小泉八雲(T. K.)	125
熊本講演の思い出: 「著作集」完結によせて(池田雅之)(へるん 第26号)	118
熊本への旅(藤原己代子)	75
熊本における小泉八雲(丸山学)	125
熊本における八雲百年祭	146
熊本の思い出: 丸山学先生、ハーン、ジェインズのことなど(木下順二)	99
熊本の小泉八雲旧居が復元完成(小泉時)(八雲)	143

熊本の小泉八雲生誕一百年記念祭	146
熊本の八雲記念行事	146
熊本と小泉八雲(小泉時)(へるん 第29号)	119
熊野神社〔山陰中央新報〕	171
黒い愛の神(黒いキューピット)(Hearn)	55, 66
黒坂の幽霊滝〔山陰中央新報〕	172
車屋問題(車屋の問題)(Hearn)	55, 59
Kurumaya question(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	31
狂るロマン派詩人(Hearn)	58
草雲雀(Hearn)	50, 51, 53, 56, 63, 67, 68, 68, 96
Kusa-hibari(草雲雀)(Hearn)	20, 23, 24, 38, 42, 43, 44, 45, 47, 68, 70, 71
草雲雀(高田力)	125
「草ひばり」の妖精のイメージ(美濃部京子)(へるん 第29号)	119
草色のロープ(服部昭子)(へるん 第21号)	115
草の葉(Hearn)	57
苦闘と勝利(Hearn)	57
苦悩の宗教(Hearn)	58
桑原春三所蔵知られざるハーン絵入り書簡:ワトキン、ビスランド、グールド(宛) (関田かおる編著)	93
屑拾い(Hearn)	57
Kwaidan(Hearn)	9, 20, 21, 22, 23, 43, 45, 69, 70
Kwaidan and Kotto(Hearn)	43
Kwashinkoji(Hearn)	44
競売	58
郷土の先賢「南日恒太郎先生をしのぶ集い」	8
教育における想像力(Hearn)	58
教育者としての小泉八雲(飯塚喬一)	75
巨人と矮人(巨人と小人)(Hearn)	50, 55, 58
極東における三国同盟(Hearn)	55, 59
極東の第一日 ⇒ 東洋における私の第一日	
極東の将来(小泉八雲全集)	54
きょうヘルン百年祭〔北日本新聞〕	162
きょうから八雲50年祭〔毎日新聞島根版〕	165
きょう小泉八雲百年祭〔毎日新聞〕	161
京の子育幽霊 正、承前(榊井幹生)(へるん 第22、23号)	116
共産主義:社会主義におけるペシミズム(Hearn)	56
教師日記から ⇒ 英語教師に日記から	
教師としてのハーン(角田洋三)(へるん 第33号)	122
京都紀行(京都旅行記)(Hearn)	48, 50, 52, 62, 67
京都におけるラフカディオ・ハーンとウェンセスラフ・デ・モラエス:資料と考察 (2)(梶谷泰之)	125
京都遷都千年祭(Hearn) ⇒ 神戸クロニクル論説集	34
京都遷都千年祭(Hearn) ⇒ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
京都とハーン(梶谷泰之)(へるん 第8号)	113
教養を高める旅行(Hearn)	56
共和国:古代と現代(Hearn)	58
教材「稲むらの火」を復刊〔山陰中央新報〕	170
宮中晩餐会に出席して(小泉時)(へるん 第32号)	121
旧潜戸〔山陰中央新報〕	171
旧居について(故市河三喜)(ハーンの真価)〔島根新聞〕	163
究極の問題(Hearn)	47, 53, 67
旧松江中学校殿町校舎(本田秀夫)(へるん 第16号)	114
旧制高校「生みの親」〔北日本新聞〕	176
旧制富山高を創設〔富山新聞〕	176
旧制富山高等学校(文・高瀬重雄)	6
休戦仲裁(Hearn) ⇒ 神戸クロニクル論説集	34
休戦仲裁(Hearn) ⇒ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
旧師小泉八雲先生を語る(座談会)(松江中学校)	81
Kyushu(Hearn)	69

九州の学生とともに(九州学生)(Hearn)	48, 52, 63, 66, 67
旧八雲会から新八雲会までの四十年間のこと(和田正則)	75
旧八雲会の思い出(和田正則)(へるん 第1号)	112

L

L. ハーンへの思いつづる〔北日本新聞〕	175
L. ハーン作品と原話の比較: 「お貞の話」と「和解」を中心に(白神栄子) ..	125
L. ハーンと日本の詩(田中準)	125
L. ハーンとW. B. イエイツ(鈴木弘)	174
ラバの伝説(Hearn)	48, 66
labour problem in America(Hearn)⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	31
La Douane	11
Lafcadio Hearn	22
ラフカディオ・ハーン〔毎日新聞〕	176
Lafcadio Hearn(ダグラス・ラミス)	126
Lafcadio Hearn(Edward Thomas)	82
ラフカディオ・ハーン(エルウッド、ヘンドリック・銭本健二訳)	78
Lafcadio Hearn(Elizabeth Stevenson)	82
Lafcadio Hearn(Ellwood Henrick)	82
Lafcadio Hearn(Guy Davenport)	72
ラフカディオ・ハーン(ホフマンスタール、平川祐弘訳)	78
Lafcadio Hearn(Hugo von Hofmannsthal)	100
Lafcadio Hearn(Marcel Robert)	82
Lafcadio Hearn(Malcolm Cowley)	?
Lafcadio Hearn(Nina H. Kennard)	82
Lafcadio Hearn(太田黒実)	125
Lafcadio Hearn(Vera McWilliams)	82
ラフカディオ・ハーン(S. ツヴァイク)	55
Lafcadio Hearn: a bibliography(Martha Howard Sisson)	1
Lafcadio Hearn: a bibliography of his writing	1
Lafcadio Hearn: a catalogue of the collection at the ... (Ann S. Gwyn)	1
Lafcadio Hearn: an appreciation(G. S. Fraser)	125
Lafcadio Hearn: an exhibit commemorating the centennial of his arrival in Japan(Silvia Verdun Metzinger)	2
Lafcadio Hearn--a tribute: written under the impression of lafcadio Hearn's death in the Autumn of 190r(Hugo von Hofmannsthal)	127
Lafcadio Hearn: first editions and values(William Targ)	2
Lafcadio Hearn - his sun was dark(Dennis Rose)	82
ラフカディオ・ハーン: 漂泊の魂(工藤美代子)	82
ラフカディオ・ハーン: 異文化体験の果てに(牧野陽子)	82
ラフカディオ・ハーン: イギリスと日本のあいだで(G. ヒーズ)	110
Lafcadio Hearn: Japan's great interpreter	35
ラフカディオ・ハーン: 虚像と実像(太田雄三)	83
Lafcadio Hearn: 松江との訣別(速川和男)	126
ラフカディオ・ハーン: 世紀末のパフォーマー(ジョージ・ヒューズ)	99
Lafcadio Hearn: selected writings, 1872-1877(Wh. S. Johnson)	11
ラフカディオ・ハーン: その人と作品(ジョゼフ・ド・スメ)	84
Lafcadio Hearn: the Brahman and his Brahmani 考(前田式子)	125
Lafcadio Hearn: the Japanese years(Sylvia Verdun Metzinger)	126
Lafcadio Hearn: the New Orleans Years(Sylvia Verdun Metzinger)	126
Lafcadio Hearn and Alethea(Mattie) Foley(Mary Keys)	127
Lafcadio Hearn and ethnomusicology(Bruce Nemerov)	127
Lafcadio Hearn and H. F. Farny in "Ye Giglampz"(Ichiro Nishizaki)	126
Lafcadio Hearn and his relations in Dublin(Lilo Stephens)	126
Lafcadio Hearn and Leona Queyrouze(Junko Hagiwara)	127
ラフカディオ・ハーン「ある停車場にて」考(田中岩太郎)	126
Lafcadio Hearn as seen by an American bibliographer(P. D. Perkins)	3

Lafcadio Hearn as translator (Angela Kitzinger)	126
Lafcadio Hearn—a tribute : written under the impression of lafcadio Hearn's death in the Autumn of 1904(Hugo von Hofmannsthal)	123
ラフカディオ・ハーン文庫の分類法について(河合忠信)	3
ラフカディオ・ハーン著作集(恒文社)	55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62
ラフカディオ・ハーン著作集 月報 第2巻、第4巻、第5巻、第7巻、第8巻、第9巻、	126
ラフカディオ・ハーン著作集 月報 第10巻、第11巻、第13巻、第14巻 第15巻	127
Lafcadio Hearn Contes	8
Lafcadio Hearn exhibition at Ernie Pyle Library(English Mainichi)	164
Lafcadio Hearn Editorials for the Kobe Chronicle	34
Lafcadio Hearn in France(Suetoshi Funaoka)	128
Lafcadio Hearn in Japan(Makoto Sangu)	127
Lafcadio Hearn in Japan(Yone Noguchi)	84
「ラフカディオ・ハーン・イン・カンサイ」報告(銭本健二)(へるん 第32号)	121
ラフカディオ・ハーン女性たちとの出会いと別れ(工藤美代子)(朝日新聞)	175
Lafcadio Hearn Journal	127, 128
ラフカディオ・ハーン研究: 愛と女性と(白神栄子)	84
ラフカディオ・ハーン研究年表 6, 7, 8, 9(板東浩司)	128
Lafcadio Hearn Kleine Schriften(Hearn)	71
ラフカディオ・ハーン/小泉八雲略年譜	110
Lafcadio Hearn(Koizumi Yakumo) : his life, work and Irish background (Sean G. Ronan)	83
Lafcadio Hearn(Koizumi Yakumo) : my attempt at interpretation(Gary Eith)	128
ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の名前の由来とその家系図(西野影四郎)	131
Lafcadio Hearn(小泉八雲)を訪ねて(村上健)(Student Times)	169
Lafcadio Hearn・小泉八雲とその周辺	2
ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)と「シドニー号」事件	35
ラフカディオ・ハーン「草雲雀」考(田中岩太郎)	128
ラフカディオ・ハーン(Lafcadio Hearn)の短篇数篇に見出される素朴美(片田一徹)	131
Lafcadio Hearn Memorial Museum	8
ラフカディオ・ハーン年譜	62
「ラフカディオ・ハーン年譜」追加と修正(1)(2)(3)(4)(5)(6)(銭本健二、小泉凡)(へるん 第26、27、28、29、30、31号)	119, 120, 121
Lafcadio Hearnに関する資料と考察(梶谷泰之)	128
ラフカディオ・ハーンに見る 'Strange' とその類義に関する一考察(中田賢次)	128
ラフカディオ・ハーンについて(矢野峰人)	101
Lafcadio Hearnに就いて(北村常次)	128
Lafcadio Hearnについて(宮原芳影)	69
ラフカディオ・ハーンについての誤解 (I)(II)(III)(IV)(V)(西野影四郎)	128
ラフカディオ・ハーンにおけるジョン・キーツ(先川暢郎)(へるん 第31号)	120
ラフカディオ・ハーン・小泉八雲の横顔	86
ラフカディオ・ハーンの新しさ(阿部幸子)	128
ラフカディオ・ハーンの仏教理解と日本の仏教(前田専学)	128
ラフカディオ・ハーンの文学の魅力(仙北谷晃一)	181
ラフカディオ・ハーンの文学論(田代三千稔)	128
ラフカディオ・ハーンの文学作品に表れた虚構性とリアリティ, I, II, III(西野影四郎)	128, 182
ラフカディオ・ハーンの記事観(先川暢郎)(へるん 第29号)	119
ラフカディオ・ハーンの記事から(梶谷泰之)	75
Lafcadio Hearnの文体(1) OSHIDORIの分析的研究(中田賢次)	129
Lafcadio Hearnの文体(2) Riki-Baka の分析的研究(中田賢次)	129
Lafcadio Hearnの文体(3)(4) Of a mirror and a Bell の分析的研究(その1)(その2)(中田賢次)	129
ラフカディオ・ハーンの記事	105
ラフカディオ・ハーンの記事(野中恵子)	129
ラフカディオ・ハーンの記事(尾崎孝)(へるん 第15号)	114

ラフカディオ・ハーンの英語教授：スペンサーの「教育論」との関わりにおいて (庭野吉弘)	129
ラフカディオ・ハーンのフランス留学の時期について (西野影四郎)	182
ラフカディオ・ハーンのG. メレディス観 (浜四津文一郎)	129
ラフカディオ・ハーンの名 (西村六郎) (へるん 第29号)	119
"Lafcadio Hearn" の発音 (岩瀬恭)	129
"Lafcadio Hearn" の発音 (空西哲郎)	141
「ラフカディオ・ハーン」の発音 (空西哲郎)	129, 147
ラフカディオ・ハーンのエッセイ論 (吉武好孝)	129
ラフカディオ・ハーンのエッセイ論 (鈴木保昭) (明治村通信)	135
ラフカディオ・ハーンのエッセイ (長谷川公司) (へるん 第6号)	113
Lafcadio Hearnの情緒主義的文学評論 (姫野誠二)	129
ラフカディオ・ハーンのエッセイの資質 (高成玲子)	152
ラフカディオ・ハーンのエッセイ (I) (II) (田村三千稔)	129
Lafcadio Hearnの紀行文 "From Hoki to Oki" について (梶谷延)	129
Lafcadio Hearnの系図 (西野影四郎)	182
ラフカディオ・ハーンのエッセイ50年ぶりに再建	170
ラフカディオ・ハーンのエッセイ用メモ：小泉八雲手稿について (河原畑正行)	129
Lafcadio Hearnのこと (西崎一郎)	130
Lafcadio Hearnのことども (小日向定次郎)	130
ラフカディオ・ハーンのエッセイについて (吉武好孝) (明治村通信)	135
Lafcadio Hearnの熊本時代 (丸山学)	130
ラフカディオ・ハーンのエッセイ時代に関する資料と考証 その2、その3、その4、 (梶谷延)	130
Lafcadio Hearnのエッセイ時代に関する資料と考証 その5、その6 (梶谷延)	130
ラフカディオ・ハーンのエッセイ (西成彦)	84
ラフカディオ・ハーンのエッセイと随筆	45
Lafcadio Hearn の虫の文学 (田代三千稔)	130
ラフカディオ・ハーンのエッセイの文学 (豊田政子)	130
Lafcadio Hearnの人間性について (津田昇)	131
ラフカディオ・ハーンのエッセイ時代 (シルヴィア・ヴァーダン・メツインガー) (とやま文学)	141
ラフカディオ・ハーンのエッセイ (西崎一郎)	98
ラフカディオ・ハーンのエッセイ : その正しい理解への試み (築島謙三)	84, 85
ラフカディオ・ハーンのエッセイを追って (山陰中央新報社)	85
ラフカディオ・ハーンのエッセイの来日前後 (小玉晃一)	131
Lafcadio Hearnの"Reconciliation"について (高成玲子)	152
ラフカディオ・ハーンのエッセイ教育観 (先川暢郎) (へるん 第28号)	119
ラフカディオ・ハーンのエッセイ生命観・宇宙観について二、三の考察 (I)(II) (西野影四郎)	131
ラフカディオ・ハーンのエッセイ世界観 (田代三千稔)	131
ラフカディオ・ハーンのエッセイ神秘主義文学 (姫野誠二)	131
ラフカディオ・ハーンのエッセイ生涯と文学 (田中岩太郎)	131
ラフカディオ・ハーンのエッセイ書簡集 I, II (西野影四郎)	182
ラフカディオ・ハーンのエッセイ草稿：「Nightmare-touch」その他 (河原畑正行)	131
ラフカディオ・ハーンのエッセイ足跡を求めて：アメリカ時代 (中田賢次)	131
ラフカディオ・ハーンのエッセイ足跡をヨーロッパ各地に訪ねる (中田賢次)	126
ラフカディオ・ハーンのエッセイ推敲過程：Oshidoriの草稿に見る (中田賢次)	131
Lafcadio Hearnの手紙	131
ラフカディオ・ハーンのエッセイ図書目録原稿	8
ラフカディオ・ハーンのエッセイ蔵書 (小森典)	131
ラフカディオ・ハーン「お貞の話」考 (田中岩太郎)	131
ラフカディオ・ハーン来日100年記念	8
Lafcadio Hearn record(Helen E. Hains)(Pasadena Star-News)	157
Lafcadio Hearn論考：怪談 Diplomacyを中心として 正, 承前 (中田賢次)	132
Lafcadio Hearn論考：怪談 MUJINA の成立をめぐる (中田賢次)	132
Lafcadio Hearn論考：怪談 OSHIDORI を中心として (中田賢次)	132
Lafcadio Hearn論考：怪談 The story of Mimi-Nashi-Hoichi を中心として (中田賢次)	132

Lafcadio Hearn論考：怪談 The story of O-Tei を中心として 正、続 (中田賢次)	132
Lafcadio Hearn論考：怪談 YUKI-ONNAの成立をめぐって (中田賢次)	132
ラフカディオ・ハーン略年譜	64
ラフカディオ・ハーン略年譜 (とやま文学)	141
ラフカディオ・ハーン再考：百年後の熊本から (熊本大学小泉八雲研究会)	85
ラフカディオ・ハーン先生の追憶 (岸重次)	132
Lafcadio Hearn Society/USA news.	127
Lafcadio Hearn's American articles	26, 28
Lafcadio Hearn's American days (Edward Larocque Tinker)	85
Lafcadio Hearn's and Koizumi Setsuko's "Oshidori": emblem of a conjugal affection (Sukehiro Hirakawa)	132
Lafcadio Hearn's "At a railway station" with commentaries	35
Lafcadio Hearn's brother (Henry Tracy Kneeland)	132
Lafcadio Hearn's Cincinnati writings : a bibliography	31
Lafcadio Hearn's Creole cook book	11
Lafcadio Hearn's interpretation of Japan (Paul Murray)	100
Lafcadio Hearn's Japanbild (Erwin Jahn)	132
Lafcadio Hearn's lectures on Tennyson	35
Lafcadio Hearn's stories & essays	43
Lafcadio Hearn [写真]	8
Lafcadio Hearn試論 (小松元也)	132
Lafcadio Hearn's Werke	70, 71
ラフカディオ・ハーン氏とヘルン先生 (駒田信二)	109
Lafcadio Hearn, Teacher (Edmund Blunden)	133
ラフカディオ・ハーン点描(1) : "Strange" に関する一考察 (中田賢次) (へるん 第31号)	120
ラフカディオ・ハーン点描(2) : 新解釈への路 (中田賢次) (へるん 第32号)	121
ラフカディオ・ハーン点描(3) : 新解釈への路「雪女」 (中田賢次) (へるん 第33号)	122
Lafcadio Hearn, the story of Futon of Tottori の<読み>をめぐって (柳田寛)	133
ラフカディオ・ハーンとアニメ (秋山さと子)	127
ラフカディオ・ハーンと「朝妝」 (西野影四郎)	117
ラフカディオ・ハーンと仏教 (田代三千稔)	133
Lafcadio Hearnと仏教美術 (山口静一)	133
ラフカディオ・ハーンと語学教育 (萩原順子) (へるん 第28号)	119
ラフカディオ・ハーンとギリシャ詩 (引地正俊)	133
Lafcadio HearnとGreece (西野影四郎)	182
ラフカディオ・ハーンと俳句：虫について (速川和男)	133
ラフカディオ・ハーンとイマジストの接点 (岩原康夫)	127
ラフカディオ・ハーンとイヴトー校 (西野影四郎) (へるん 第15号)	114
ラフカディオ・ハーンと「怪談牡丹灯籠」 (速川和男) (へるん 第15号)	114
ラフカディオ・ハーンとキリスト教 (島谷照夫)	133
ラフカディオ・ハーンとマティー・フォーリー (中田賢次)	133
ラフカディオ・ハーンと猫 (錢本健二)	133
ラフカディオ・ハーンと日本の作家 (池野誠) (へるん 第10号)	113
ラフカディオ・ハーンと西田千太郎：その書簡をめぐって (速川和男)	133
ラフカディオ・ハーンと音楽 (仙北谷晃一)	133
ラフカディオ・ハーンと大谷正信 (速川和男)	133
ラフカディオ・ハーンと聖者伝説 (錢本健二)	133
ラフカディオ・ハーンと神聖舞踏 (錢本健二)	133
ラフカディオ・ハーンと神道 [北陸中日新聞]	176
ラフカディオ・ハーンと小学唱歌「蛍の光」 (先川暢郎) (へるん 第30号)	120
ラフカディオ・ハーンとウェンセスラフ・デ・モラエスと烈女畠山勇子：京都に おけるハーン資料 (その1) (梶谷泰之)	133
ラフカディオ・ハーンと焼津 (田中岩太郎)	133
ラフカディオ・ヘルン (工藤好美)	134
ラフカディオ・ヘルン・小泉八雲 (田部隆次)	86
ラフカディオ・ヘルン詩境 (千葉亀雄) (へるん 第33号)	122
ラフカディオ・ヘルン研究資料：「西田千太郎日記」について (広瀬朝光)	134

ラフカヂオ・ヘルン研究資料[1] 山陰新聞(広瀬朝光)	134
ラフカヂオ・ヘルン研究資料(2) 九州日日新聞(広瀬朝光)	134
ラフカヂオ・ヘルン研究資料(3) 神戸又新日報(広瀬朝光)	134
ラフカヂオ・ヘルン素描(木村毅)(明治村通信)	136
ラフカヂオ・ヘルンと出雲大社(正)(承前)(中和夫)	134
ラフカヂオ・ヘルンと日本:比較文学からみた或る「媒体」の意義(島田謹二)	134
ラフカヂオ・ヘルンと日本文化(1) 文字のイメージを通じて(豊田政子)	134
ラフカヂオ・ヘルンと日本文化(2) 彼の自然観と日本庭園について(豊田政子)	134
ラフカヂオ・ヘルンと日本文化(3) 物語に見るヘルンの心と愛のバリエーションについて(豊田政子)	134
ラフカヂオ・ヘルンと日本文化(4) 物語に見る愛とその遍歴について(豊田政子)	134
ラフカヂオ・ヘルンと日本文化(5) 京都紀行から(豊田政子)	134
Λ Ε Ψ Κ Α Δ Ι Ο Σ Χ Ε Ρ Ν	134
Lafcadioの発音について(空西哲郎)	135, 147
ラフカヂオの手紙と講義(花園兼定)	93
Lafcadio's farewell(Hearn)	35
ラフカヂオと旧居(根岸啓二)	75
La fille de Couleur	14
La Guiablesse	13, 14
La Grande Anse	9, 13, 14
ラ・ランド・アーンズ(Hearn)	48, 66
Land and seas (Hearn)	21
lands notes trip to Kyoto(Hearn)	35
La Pelee	13, 14
Last of the Arabs	11
Last of the horse (Hearn)	11, 28
Last of the New Orleans Fencing Masters	25
Last of the Voudoos (Hearn)	9, 22, 25
Latin and Anglo-Saxon	11
ラテンとアングロ・サクソン人(Hearn)	47, 66
Latterday Reviews(Nov. 13, 1883)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
Laughter physically in jurious & mosally degrading (Hearn) ⇒ The new radiance and other scientific sketches	28
La Verette	13, 14
Leaves from the diary of an impressionisty(Hearn)	12
Leaves of Grass(July 30, 1882) ⇒ Essays on American literature	32
Lectures on literature(Hearn)	43
Lectures on prosody(Hearn)	35, 105, 130
Lectures on Shakespeare (Hearn)	35
レフカダ便り(西村六郎)	117
レフカダ行(仙北谷晃一)(へるん 第25号)	117
レフカダのヘルンさん:ラフカヂオ・ハーンのふるさとから(檀ふみ)	147
レフカダ島にハーンの生家を訪ねて(板東浩司)(へるん 第33号)	122
レフカダ島のハーン記念碑(嘉納康晴)(へるん 第31号)	121
Λ Ε Ψ Κ Α Δ Ι Ο Σ Χ Ε Ρ Ν	81
Legend, July 21, 1881(Hearn)	10, 13
Legend of Fugen-Bosatu(Hearn)	14, 23
Legend of L' Ile Derniere(Chita)	9, 10, 14, 22, 70
Legend of love(Hearn)	12, 13, 44
Legend of misfortune(Hearn)	44
Legend of the monster misfortune(Hearn)	12, 13, 24, 41, 45
Legend of Rubba(Hearn)	12, 13
Legend of skobeleff (Hearn) ⇒ Editorials	27
Legend of Tchi-Niu (Hearn)	9, 11, 12, 13, 22, 41
Legend of the monster misfortune	45
Legend of Yurei-daki(幽霊滝の伝説)(Hearn)	20, 35, 41
Legion of mahdis(Hearn) ⇒ Oriental articles	28
Les Chiffonniers. Rags. Wretchedness and rascality. The Gnomes of the dumps. How they live, ... (The Cincinnati Enquirer, July 26, 1874)	29

Letter from Japan(Hearn).....	16, 22, 38
Letter to a pagan by Lafcadio Hearn	8
"Letters to a Pagon" not by Hearn(Albert Mordell)	135
Letter to Mrs. Hearn	41
Letter from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn (Kazuio Koizumi) --	93, 110
Letter from the Raven : being the correspondence of Lafcadio Hearn with Henry Watkin (Milton Bronner)	93
Letters from Shimane and Kyushu by Lafcadio Hearn(Bunsho Jugaku).....	93
Letters from Tokyo(Hearn)	70
Letters to a pagan by Lafcadio Hearn (Robert Bruna Powers).....	93
Levee life(Hearn)	9, 22, 25
Levitation(Hearn)	24
Life among the lowly(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
Life and letters : in three volumes (Elizabeth Bisland)	87
Life and letters and Japanese letters : in three volumes (Elizabeth Bisland)	87
Life and letters of Lafcadio Hearn (Elizabeth Bisland)	87
Life and letters of Lafcadio Hearn, including the Japanese letters (Elizabeth Bisland)	87
Life and letters of Lafcadio Hearn, with illustrations in two volumes (Elizabeth Bisland)	87
Life and literature(Hearn).....	36
Life of stars(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Light of Asia(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
Lily in the mouth of hell(Hearn)	10, 25
LinguistとしてのLafcadio Hearn (中西善弘) (へるん 第15号)	114
ライオン(Hearn)	47
Lion(Hearn)	12, 13, 44, 45
Literary essays(Hearn).....	12, 27
Literature and political opinion(Hearn)	36, 44
Literature of the dead	14, 15
Literary Hard work(Jan. 31, 1886)(Hearn) ⇨ Essays on American literature--	32
Literary selections from Lafcadio Hearn	43
Little discourse about some typical characters fo shalos	36
Little flower-show(Hearn)	41, 45, 68
Little Red Kitten, Sept. 24, 1879(Hearn)	10, 12
Living God(Hearn)	15, 16, 23, 41, 43, 45, 68
ロチの紀行文からハーンの紀行文へ (河島弘美)	90
Lotos(Hearn)	71
Lotus of faith	12, 13
ルイジアナのフランス人	59
ルイジアナのユダヤ人移民(Hearn)	57
Louisiana people not gay(Hearn)	11
Love in a tub, and the bottom feel out ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Love songs and lyrics (Hearn)	19
ロゼッティ「海のさわみ」(Hearn)	60
Lullabies and children's verse(Hearn)	19
り (L y s) (Hearn)	48, 52, 66
Lys	14, 66

M

M. アトキンソン宛書簡(手紙1 - 17) (中田賢次) (へるん 第26、27、28、 29、30号)	117, 118, 119, 120
Ma Bonne(Hearn)	14
Macht des Karma(Hearn).....	71
街の唄い手(Hearn)	68
Madam Bovary(Hearn) ⇨ Literary Essays	27

Mad-house horror(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Mad-house scenes(Hearn)	27, 28
Mad romantic(Hearn) ⇨ Editorials	27
Magazine mysteries(July 24, 1883)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Magical words(Hearn)	12, 13
Mahadi in the eighteenth century(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
魔法のことば(Hearn)	48, 66
舞妓(舞妓について)(或る舞妓の話)	52, 62, 63, 67
魔女(Hearn)	48, 52, 66
マジヨリー・ドーとその他の人々(Hearn)	57
Majorie daw and other people(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Making of Tilottama	12, 13
守られた約束の話(Of a promise kept)(Hearn)	45, 52, 63, 67, 69
愛弟子(日野雅之)	75
真名井神社の秘宝絵図: ハーンが見た(梶谷泰之)(へるん 第29号)	119
真夏の熱帯行(Hearn)	48, 52, 66
間に合わぬ「メッセージ」〔夕刊山陰〕	162
マニラ行き(西成彦)	85
マノン・レスコー(Hearn)	57
Manon Lescaut(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
万聖節の夜(Hearn)	48, 55, 66
Manufacture of yellow and rockingham ware in Cincinnati(Hearn)	11
Manufacturing interests and rowdyism(Hearn) ⇨ Editorials	27
Mardigras, shrove Tuesday(Hearn)	11
マーク・トウエインのミシシッピー川(Hearn)	57
Markt der Toten(Hearn)	71
マーディの正統(Hearn)	58
マルチニークのゴーギャン博物館(へるん 第33号)	122
マルティニーク熱帯紀行 1, 2, 3, 4(工藤美代子)	135
マルティニーク熱帯紀行: ラフカディオ・ハーン追想(工藤美代子)	88
マルティニークの旅(牧野陽子)	76, 90
マルティニーク小品集(Hearn)	48, 66
マルティニーク・スケッチ(Hearn)	52
マルティニーク島でのハーン(角田洋三)(へるん 第28号)	119
マルティニーク島の絵と図画教師後藤金弥生のこと(内田融)(へるん 第33号)	122
Martinique sketches(Hearn)	13, 14
丸山学氏の業績と人柄(小川二郎)	135
正宗白鳥のもうひとつのハーン論(1)(2)(銭本健二)(へるん 第23, 24号)	116, 117
マスペロの掘り出し物(Hearn)	57
マタス博士のスピーチについて(萩原順子)(へるん 第25号)	117
Materialism of spiritualism(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Matsue(Hearn)	21, 41
松江(小泉八雲全集)	55
松江(岩波写真文庫)	88
松江(郡山政宏)	90
松江慕情(藤森きぬえ)(へるん 第21号)	115
松江で考えたこと(渡辺沢身)(へるん 第18号)	114
松江で感じたこと(タートル)	76
松江で八雲生誕百年祭〔大阪朝日新聞〕	162
松江への旅(銭本健二)	75
松江時代のヘルン先生の授業ぶり(高橋節雄)(へるん 第1号)	112
松江時代の小泉八雲(木村東吉)(国文学 解釈と鑑賞)	141
松江時代の先生(大谷正信)	79
松江城	50
松江から正式に譲渡交渉〔北日本新聞〕	158
松江に於けるヘルン先生関係記事(矢部太郎)(へるん 第12、13号)	113
松江における八雲会と事業計画(根岸磐井)	73
松江に於ける八雲の私生活(桑原羊次郎)	88

松江の洞光寺(平川祐弘)	101
松江乃へるん：松江にへるんの足跡をたずねる(梶谷延)	88
松江の小泉八雲(池野誠)(明治村通信)	135
松江の小泉八雲：ある放浪詩人の肖像(池野誠)	88
松江の大橋〔山陰中央新報〕	170
松江の八雲記念館(藤井啓一)	147
松江の八雲八景(市河三喜)(へるん 第28号)	119
松江を第二の故郷に〔中国新聞〕	173
松江大橋(田村のり子)	75
松江大橋(園山俊二)	134
松江再訪	50
松江師範とヘルン(丸山学)	135
松江市から譲渡願い〔富山新聞〕	158
松江市立図書館(小泉凡)(国文学 解釈と鑑賞)	141
松江とハーン(市川三喜)(ヘルンを訪ねる)	75
松江と八雲の史蹟(池野誠)(へるん 第11号)	113
祭りの踊り(ロティ・ハーン・柳田国男/平川祐弘訳)	78
Matter of custom(Hearn)	20
Matter of fact(Hearn)	69
真夜中(Hearn)	56, 67
真夜中の伝道(Hearn)	57
貧しい暮らしのスケッチ(Hearn)	56
モーパッサン短篇集	39
MDCCCLIII, May 21, 1882 (Hearn)	10, 13
メアリー・M・フェノロサの草稿「夕霧お客さん」(銭本健二)(へるん 第27号)	118
Medical science(Hearn)	11
Mediaeval superstitions in journalsim(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	32
メフィストフェレス(Hearn)	58
メフィストフェレスの徒	56
女神との心中：「赤い婚礼」のおよしとハーン(河島弘美)	135
明暗	63, 67
明治文学復古帳(塩田良平)	101
明治文化史(岡崎義恵)	101
明治「出雲風土記」を求めて(銭本健二)(へるん 第20号)	115
明治時代に於ける西洋人の日本社会観(牧健二)	101
明治村通信 第48号 小泉八雲展記念号	135
明治村通信・御挨拶(谷川徹三)	135
明治日本の面影(Hearn)	62
明治二十三年十二月(桑原洋次郎)	109
明治の唱歌(染村絢子)(へるん 第28号)	119
明治らいぶ考(栗原弘子)	116
明治34年東京帝国大学文学部卒業生に(小泉八雲全集)	54
明治初期の教育事情並びに資料：西田千太郎をケースとして その1(梶谷延)	149
明治大正随筆選集	99
Mein erster Tag in Japan(Hearn)	71
迷信(Hearn)	57
明窓〔島根新聞〕	163
明窓〔山陰中央新報〕	169
名誉市民の適格者(木幡吹月)	75
メルスイ博士のダンティ論考(Hearn)	58
メッカ巡礼に関する奇習(Hearn)	57
Memoirs of Hearn told by Mrs. Barel	135
Memoirs of Michelet (Hearn) ⇒ Literary Essays	27
Memorial rittles held for Lafcadio Hear	147
Memory of two fannies (Hearn) ⇒ Editorials	27
メンフィスからニューオーリンズへ(小泉凡)(へるん 第27号)	118
目に見えない毒物(Hearn)	57

目の移植(Hearn)	57
目のカミ様(小泉凡)	75
Mephistophelian(Hearn) ⇨ American Miscellany	25
Meridian readers. Book 3	41
Metempsychosis, Sept. 7, 1880(Hearn)	10, 12
Method of Shakespeare's work	36
Mexican coins (Hearn)	11
Mexican's gratitude (Hearn)	11
メキシコ人の恩返し(メキシコ人の感謝)(Hearn)	47, 48, 51, 66
メキシコ貨幣(Hearn)	47, 66
珍しい小さなものたち(榊井幹生)(へるん 第31号)	121
珍しいものを探す人の覚え書(Hearn)	58
身震い(Hearn)	49, 53, 67
ミシュレの伝記(Hearn)	57
Midnight mission(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Midsummer trip to the tropics(Hearn)	13, 14, 21, 68
身代はりの人:「阿弥陀寺の比丘尼」と「草雲雀」など(仙北谷晃一)(へるん 第27号)	117
Migrations of the human race(Hearn)	26
美保の関(美保の関にて)(Hearn)	50, 55, 62, 66, 68
美保関①~⑤〔山陰中央新報〕	171
短い歌を書くことについて(Hearn)	68
見返りの鹿・日本の面影(秀川尚子)	116
未開拓の人ラフカディオ・ハーン(速川和男)	168
未開と文明(Hearn)	59
未開と開化(Hearn)	55
未刊行資料・埋もれた資料(5) 小泉セツ「思い出の記」の草稿(関田かおる) M. アトキンソン宛書簡(手紙9・10・11)(中田賢次) 城見縄手(「小磯国 昭自伝」より)(和田正則) 八雲旧邸・記念館を訪ねる(「野上弥生子日記」よ り)熊本第五高等学校における英会話授業:ある学生の筆記ノートから(1)(東大英文科市河文庫収蔵)(へるん 第29号)	119
未刊行資料・埋もれた資料(6) M. アトキンソン宛(手紙12, 13, 14, 15, 16, 17)(中田賢次)小泉八雲の憶い出(野々村戎三(述)) 小泉八雲先生の面影(片上伸)熊本第五高等学校における英会話授業:ある学生の筆記ノートから(2) (へるん 第30号)	120
未刊行資料・埋もれた資料(7) 熊本第五高等学校における英会話授業 ある学生 筆記ノートから(3)(へるん 第31号)	121
未刊行資料・埋もれた資料(8) 熊本第五高等学校における英会話授業 ある学生 筆記ノートから(4)(へるん 第32号)	121
未刊行資料・埋もれた資料(9) アーノルド宛て書簡二通(長谷川洋二) 学生版全 集内容見本より<野口米次郎「小泉八雲の価値」 千葉亀雄「ラフカディオ・ハ ーン詩境」 田部隆次「ヘルンの著作」 金子健二「ヘルン先生書翰集」> 小 日向定次郎「小泉八雲先生の思い出」(昭和25年刊)(へるん 第33号)	122
三笠宮崇仁殿下ヘルン文庫をお読み〔北日本新聞〕	164
三日間に延長決まる〔産業経済新聞〕	167
巫女神楽	50
Military state of Europe(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe	32
耳無し芳一(耳なし芳一の話)(Hearn) 43, 47, 49, 50, 51, 53, 55, 62, 63, 66, 67, 70, 71, 96 「耳なし芳一」における怨霊の登場と退場について(千代田友久)(へるん 第 28号)	119
「耳無し芳一の話」の原話をめぐって(中田賢次)	136
「耳無し芳一の話」をめぐって(高橋義孝)	136
耳無し芳一祭に参拝して(和田正則)(へるん 第22号)	116
耳なし芳一、生みの苦心語る草稿〔毎日新聞〕	173
民間伝承・落穂(Hearn)	67
ミニ・アトキンソン夫人への手紙(角田洋三)(へるん 第31号)	120
民主主義の謎寛大の必要性(Hearn)	59
民主的な或る謎(Hearn)	55
民間伝説拾遺(Hearn)	53

民間伝承(Hearn)	63
民族学の理論(Hearn)	58
民俗学者小泉八雲：日本時代の活動から(小泉凡)	88
民謡学者としてのハーン(原一郎)(へるん 第5号)	113
民族のこころのことなど(覚書)第1 ラフカディオ・ヘルンのこと(徳宣一郎)	136
未来のジャーナリズム(Hearn)	57
未来の夢	59
Mirror Maiden(Hearn)	9, 16, 22, 23, 41, 45
見せ物と玩具店(Hearn)	65
見知らぬ人	66
Miss Duer's love story(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
ミス・E. P. ヒューズと長崎(高西直樹)(へるん 第24号)	116
Missing link(Hearn)	11
三角西港と浦島屋旅館：ハーンの足跡を訪ねて(高西直樹)(へるん 第19号)	114
見つけたハーンの記事・ヘルン氏の烏尾中将に与ふる書(金山信三郎) 〔島根新聞〕	168
三つのおとづれ(Hearn)	51
三つの俗謡	48
三つの夢(Hearn)	56
三つの夢(ドニーズ・ブレイミ)(無限大)	140
水飴を買う女(Hearn)	64
湖と川と堀(野津直久)	75
MME, Sidney	29
「持田の子殺し」をめぐって：日本の昔話と英国のラッドから(美濃部京子) へるん 第27号)	118
Mockers(Hearn)	12, 13
Mock-heroic novelette(Hearn)	25
モデル作品：日付の謎(梶谷泰之)(へるん 第25号)	117
Modern spiritualism(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Modern students library	45
もはや巨人はいない(Hearn)	56
黙想(Hearn)	53
モラエス考(田坂長次郎)	136
モラエスにおけるハーン(深沢暁)(へるん 第22号)	116
モームと平磯灯台(椎名俊輔)(へるん 第25号)	117
Monday night murder. A bloody razor, a bloody garment and tell-tale tracks. (The Cincinnati Enquirer, Dec. 30, 1874)	30
Monument gift made at Hearn memorial rites(Los Angeles-Times)	154
Mortuary literature(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Morbid suicide(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
More biography:about Grant(March 4, 1880)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
More letters from Basil Hall Chamberlain to Lafcadio Hearn and Letters from M. Toyama Y. Tsubouchi and others(Kazuo Koizumi)	93
毛利八弥：ヘルンと交渉に当たった(本田秀夫)(へるん 第23号)	116
毛利八弥事務官：ヘルンとの交渉にあたった(本田秀夫)(へるん 第23号)	116
毛利八弥事務官(補遺)(本田秀夫)(へるん 第24号)	116
森の家(秀川尚子)(へるん 第22号)	116
森銑三と「怪談」(野津直久)(へるん 第26号)	118
孟沂のはなし(話)	48, 63, 66
Moslem observances	28
Mosquitoes	21, 44, 68
モトレー著「ジョン・パーネヴェルトの生涯」	57
モトレー著「ネーデルランド連合国の歴史」	57
Motherly murder. Little Clara Perkins' throat cut with a piece of glass. ...(The Cincinnati Enquirer, Oct. 1, 1874)	29
Motley's history of the United Netherlands(July 16, 1879) ⇨ Essays on American Literature	32

最も愛した蓮池〔山陰新報〕	165
Motley's life of John Bareveld(Aug. 21, 1879)(Hearn)	
⇒ Essays on American literature	32
Mr. Cable's "Dr. Sevier"(Oct. 5, 1884)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
Mr. Hand's life(Hearn) ⇒ Barbarous Barbers and other stories	26
無題(白築和夫)(へるん 第27号)	118
無題(和田正則)	117
ムデカ(Hearn)	48, 66
無限の秘密	59
無法な火葬(Hearn)	64
無標題記録の中に(後藤昂)(へるん 第25号)	117
Mujina(猪=むじな)(Hearn)	9, 21, 22, 35, 41, 43, 44, 69, 70
Mujina(猪=むじな)(Hearn)	9, 21, 22, 35, 41, 43, 44, 69, 70
むじな(猪)(Hearn)	47, 49, 50, 51, 53, 55, 63, 65, 67, 69, 70, 71
Mujina and other tales(Hearn)	44
「むじな」小論(仙北谷晃一)(へるん 第23号)	116
百足虫(小泉八雲全集)	52
夢魔ならびに夢魔伝説(Hearn)	56
夢魔触(夢魔の感触)(Hearn)	53, 63, 64, 67
夢応の鯉魚(Hearn)	50
村允とオシドリ(Hearn)	49
無間の鐘(Hearn)	49
無門感情の物語	65
無限大について(小泉時)(へるん 第29号)	120
紫の一本(嵐山光三郎)	182
Murder theoretically considered(Hearn) ⇒ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
虫(Hearn)	50
虫めづるハーン(牛村圭)	136
虫めずる男(榊井幹生)(へるん 第25号)	117
虫の文学(Hearn)	48, 68
虫の研究(Hearn)	49, 53, 55, 67
虫の研究<蚊>(Hearn)	47
虫の研究<蝶、蚊、蟻>	49, 53
虫の伶人(Hearn)	68
虫の音楽師(虫の楽師)(虫の演奏家)(Hearn)	47, 49, 52, 63, 67
無私の自制(Hearn)	51
虫とギリシアの詩(Hearn)	60
夢書の読物一對の眼のうち(Hearn)	53
無宿人(Hearn)	57
Music of the masses(Hearn)	11
夢想(Hearn)	56, 63, 67
脈はくの音: 松江で初めての朝〔山陰中央新報〕	170
My first day in the Orient(東洋での第1日)(Hearn)	9, 16, 17, 21, 23, 38, 42, 44, 68, 70
My first day in the Orient and others(Hearn)	44
My guardian angel(Hearn)	24
Myopia(Hearn)	27, 28
Mystery of a voice(Hearn) ⇒ The new radiance and other scientific sketches	28
Mystery of crowds(Hearn)	24
My teacher, Lafcadio Hearn(motoi Kurihara)	136
Myths and worships of China(Hearn) ⇒ Oriental articles	28
My first day in the Orient and others(Hearn)	43
My guardian angel(Hearn)	24
Myopia(Hearn)	27, 28
Mystery of a voice(Hearn) ⇒ The new radiance and other scientific sketches	27
Mystery of crowds(Hearn)	23
My teacher, Lafcadio Hearn(motoi Kurihara)	129

Myths and worships of China(Hearn) ⇒ Oriental articles28

N

Nach dem Kriege(Hearn).....	71
長浜村の泉と雨乞いの行事 (高西直樹) (へるん 第18号)	114
長岡家地蔵由来 (藤原治)	76
中土義敬宛 (封書) 書簡 (南日恒太郎) (とやま文学)	141
中海と大根島	50
亡き母を語る (小泉一雄) (大阪朝日新聞)	154
Name in the plaza(Hearn).....	11, 12
Name on the stone, Oct. 9, 1880(Hearn).....	10, 12
南部	57
南部文学(Hearn)	57
南部文学と「オブザーヴァー」(Hearn)	57
南部小説(Hearn)	57
「浪除地蔵」の復活: ハーンと現代の民俗をめぐって (小泉凡)	117
南雲堂不死鳥選書	98
なおみ忌と八雲 (野津良久)	76
奈良見物 (奈良) [毎日新聞]	176
Natalika(Hearn)	12, 13, 44
ナタリア(Hearn)	66
「ネイション」誌のロティ論(Hearn)	57, 65
National individuality(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	31
夏目漱石 (赤門文学会)	101
夏の夜の夢	48
夏の日の夢(Hearn)	48, 50, 51, 52, 63, 67
夏の夢日本の面影 (末松謙澄)	101
Naturalism(Hearn) ⇒ Editorials	27
謎のクリオール事件(Hearn)	47, 66
謎の朝鮮「金誠」に就いて(Hearn)	55
謎の峠越え (田村のり子) (へるん 第27号)	118
Nctilucae	24
ねちねちした進み方の必要 (中野重治)	101
Need of generosity(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	32
根岸菖蒲さんの逝去を悼む (梶谷泰之) (へるん 第17号)	114
根岸啓二さんの思い出 (銭本健二) (へるん 第26号)	118
Negro stories(Hearn) ⇒ An American Miscellany v. 1	25
涅槃(Hearn)	49, 52, 67
猫(Hearn)	51
猫に課税を(Hearn)	56
猫を描いた少年 (猫の絵を書くこども) (猫を描いたこども) (Hearn)	39, 47, 51, 53, 61, 63
猫をめぐって (小川敏栄)	110
猫三態: ハーンとポーとボードレルにおける内面的葛藤 (池田正年)	136
猫と犬の話(Hearn)	57
年表形式によるラフカディオ・ハーン伝: 来日以前を中心に(1) (板東浩司)	136
年表形式によるラフカディオ・ハーン伝: アメリカ時代(1)-(2) (板東浩司)	136
熱帯文学自然主義(Hearn)	57
熱帯への真夏旅(Hearn)	68
熱帯間奏曲 (熱帯の一つの挿楽曲) (Hearn)	47, 54, 66
熱帯の入口にて(Hearn)	58
New chance for Buddhism(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	32
New Departure in Periodical literature(Jan. 17, 1879)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
New Hearn letters from the French West Indies(Ichiro Nishizaki)	136
New "Index Expurgatorius"(Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	32
New Louisiana novel(Oct. 17, 1881)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32

Newly discovered letters from Lafcadio Hearn to Dr. Rudolph Matas (Nishizaki Ichiro)	136
New Orleans (Hearn)	9, 22
ニュー・オーリンズ(Hearn)	58
ニュー・オーリンズでのメキシコ展(Hearn)	58
ニュー・オーリンズで歌いし十首	116
ニュー・オーリンズ博覧会：日本の展示物(Hearn)	58
ニュー・オーリンズ博覧会とハーン(小玉晃一)	136
ニュー・オーリンズ時代のハーンと医師マタス(萩原順子)(へるん 第27号)	118
ニュー・オーリンズ時代のハーンの友マタス博士(西崎一郎)	136
ニュー・オーリンズからの手紙(Hearn)	58
ニュー・オーリンズ巡り(Hearn)	47, 66
ニュー・オーリンズに見る当方の国(Hearn)	58
ニュー・オーリンズの博覧会：ハーンと日本の出会い(萩原順子)(へるん 第 26号)	116
ニュー・オーリンズの「ハワード記念図書館」を訪ねる(中園岩男)(へるん 第 31号)	121
ニュー・オーリンズの迷信(Hearn)	55
ニュー・オーリンズの魅力(魔力)(Hearn)	47, 48, 55, 66
ニュー・オーリンズの政府展示品(Hearn)	58
ニュー・オーリンズ最後のフェンシング師範(Hearn)	56
ニュー・オリアンズ訪問(小泉八雲全集)	55
ニュー・オーリンズ通りの奇妙な命名方(Hearn)	58
New Orleans poet(Dec. 3, 1879)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
New Orleans superstition(Hearn)	9, 22, 25
New Pompou(Hearn) ⇨ Editorials	27
New radiance(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27
New radiance and other scientific sketches(Hearn)	12, 28
New selections from Lafcadio Hearn	44
Newspaper book critics(Jan. 12, 1879)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
ニューヨークタイムズの文豪小泉先生(佐々木正蔵)(へるん 第23号)	116
NHKテレビ・ドラマ「日本の面影」批判：小泉八雲研究発展のために(池野誠)	137
NHKライブラリー	83
NHKスペシャル「昭和天皇・二つの独白録」(朝日新聞)	177
日米文化交流の百年：明治百年記念論集	101
日米文化交渉史 4 学芸風俗編(開国百年記念文化事業会)	101
日露戦争とハーンおよびコンラッド(山路勝之)	137
ニーベルンゲンの歌(Hearn)	57
Nibelungenlied Wagnerian(Hearn) ⇨ Editorials	27
Nightmare and Nightmare legends(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Nightmare-touch(Hearn)	24
Night of all Saints, Nov. 1, 1879(Hearn)	10
にぎやかに「ハーンの夕」〔夕刊山陰〕	163
日本(ニホン) ⇨ ニッポン	
荷運びの女 ⇨ 荷物運びの女	
Nihilistic literature in the United States(May 9, 1886)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
二十世紀のハーン(中里寿明)	126
荷物運び女(Hearn)	48, 52, 66
人間ヘルンの内的生活一、二の私見(津田昇)	137
人間漱石(金子健二)	101
人間としての父八雲：生誕百年記念に因んで(小泉一雄)	137
人形の墓(Hearn)	48, 50, 51, 52, 63, 65, 67, 68
Ningyo-no-haka(人形の墓)(Hearn)	15, 16, 23, 24, 38, 41, 44, 45, 68
人形のいのち(Hearn)	51
人間遺体の利用に関する覚え書(Hearn)	56
人間小泉八雲(高木大幹)	89
人間ラフカディオ・ハーン(雨森信成。仙谷晃一訳)	78

人形のいのち	51
匂いの生理学(Hearn)	57, 58
日本：一つの試論	18, 56, 62
「日本：一つの試論」補注(斉藤正二)	110
「日本：一つの試論」について(平野仁啓)	126
日本 ⇨ 神国日本 をも見て下さい。	
日本警見記(Hearn)	62, 66
日本美術の顔について(日本美術に於ける顔について)(日本美術に描かれた顔について)(Hearn)	48, 52, 63, 67
日本文学とフランス文学：モーパッサンの輸入とその媒介者(伊狩章)	102
日本文化の神髄(日本文明の精神)(Hearn)	48, 50, 51, 52, 55, 56, 65, 67
日本文壇史(伊藤整)	102
日本文明の精神	65
日本だより(Hearn)	67
日本童話名作選集	47
日本英文学会第十回大会記事	149
日本英文学会第十二回大会記事	149
日本英文学の学統：逍遙・八雲・敏・禿木(矢野峰人)	102
日本英雄伝	101
日本婦人と教育(Hearn)	55
日本への冬の旅(Hearn)	56
日本比較文学会	147
日本印象記(Hearn)	66
日本女性の名	55, 63, 67
日本人のアメリカにおける政策観(Hearn)	59
日本人の微笑(Hearn)	50, 51, 52, 62, 63, 67, 68
日本人の沈黙(Hearn)	51
日本人の心の歴史(築摩書房)	98
日本人の魅惑(Hearn)	50
日本人の体格(Hearn)	55, 59
日本人の勇氣(Hearn)	50, 51
日本人と英国人(築島謙三)	137
日本人と欧米人(第1)(藤本充安)	137
日本からの手紙(Hearn)	47, 53
日本海に沿って(日本海のほとりにて)(日本海の浜辺で)	50, 51, 52, 62, 63, 67
「日本歌謡類聚」にある原歌(染村絢子)(へるん 第27号)	118
日本研究	53, 63, 67
日本見聞紀(Hearn)	51
日本奇談(Hearn)	69
日本近世英学史(重久篤太郎)	101
日本国の教師ラフカディオ・ヘルン(1)(2)(中西善弘訳)	114
「日本」導く八雲の教訓(高橋元)	176
日本にロングフェロー(佐渡谷重信)	137
日本における小泉八雲と就職(高西直樹)(へるん 第25号)	117
日本におけるラフカディオ・ハーン資料年表(速川和男)	3
日本に於ける低廉な労働(Hearn)	55, 59
日本の雨傘(フランシス・キング著)	100
日本の仏教俚諺	63, 67
「日本の仏教俚諺」と雨森・大谷・折戸(染村絢子)(へるん 第32号)	121
日本の病院にて(Hearn)	53, 62, 63, 67, 69
日本の風土(平井呈一・訳)	96
日本の古い歌(日本の古い歌謡)(Hearn)	53, 55, 63, 67
日本の冬の旅(小泉八雲全集)	54
日本の芸術と西洋とを論ぜる一日本人(Hearn)	55
日本の軍事的能力(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
日本の軍事的能力(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
日本の女性と教育(Hearn)	59
日本の柔術(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
日本の柔術(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34

日本の怪談(Hearn)	62
日本の家族(Hearn)	51
日本の子供の歌(Hearn)	53
日本の心(Hearn)	63, 96
「日本の心」原題と訳者一覧	63
日本の教育政策(Hearn)	55, 59
日本の珍しい話(Hearn)	51
日本の民謡に現れた仏教引喩(Hearn)	52
日本の魅惑	50
日本の庭(日本の庭で)(Hearn)	50, 52, 62, 65, 66
日本の女の名(日本の女性の名)(Hearn)	53, 63
日本のお伽話(Hearn)	47, 51, 53
「日本の面影」求め2000人〔山陰中央新報〕	169
「日本の面影」に寄せて: 祖母(千太郎妻)西田クラの事ども(桑垣琴子) (へるん 第22号)	116
日本の面影と心(日本の面影)(Hearn)	51, 55, 63
日本の再発見(秦一郎)〔夕刊山陰〕	161
日本の作家たちとの出会い(速川和男)(国文学 解釈と鑑賞)	141
日本の詩瞥見(Hearn)	58
日本の紹介に一生を捧ぐ(田部隆次)〔北陸夕刊〕	161
日本のわらべ歌(Hearn)	63, 67
日本の俗語における仏教引喩(日本の民謡に現れた仏教引喩)(Hearn)	49, 52, 67
日本理解とは何であったのか: チェンバレンとハーンの破れた友情(平川祐弘)	137
日本精神の理解者(池野誠)	75
日本とアイラランドのいっそうの友好と親善を願い「ラフカディオ・ハーン・ ライブラリー」開設	101
日本と日本人(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	34
日本と西欧の芸術についての一日本人の発言(Hearn)	59
日本雑記(A Japanese miscellany)(Hearn)	49, 52, 53, 63, 67
日本随想	38
西田宛て八雲書簡(池野誠)(へるん 第24号)	116
西田敬三氏を偲んで(梶谷泰之)(へるん 第18号)	114
西田畿多郎全集 第18巻 書簡集	101
西田千太郎宛書簡(1891年12月)(野坂東作)(へるん 第25号)	117
西田千太郎旧居(桑垣琴子)	75
西田千太郎日記(池橋達雄)	178
西田千太郎日記に見る明治の贈答(藤森きぬえ)(へるん 第25号)	117
「西田千太郎日記」のことども(池橋達雄)(へるん 第26号)	117
西田千太郎蔵書について(池橋達雄)	3
西印度への日本人移住(Hearn)	55
西インド諸島: 肌色の多様なその社会(Hearn)	56
西インド諸島クレオール語の諺についての覚え書(Hearn)	58
西インド諸島における混血人種考(Hearn)	56
西印度雑話(中村鉄太郎・訳)	105
西村貫一氏所持のハーン書簡(渡辺沢身)	137
西村六郎氏(日航アテネ支店長)からの手紙(西野影四郎)(へるん 第23号)	116
西村真次の読んだハーンの鳴く虫の観察(野津直久)(へるん 第25号)	117
Nirvana(Hearn)	14, 15, 16, 34
日清戦争の予想される結果(Hearn)	59
仁多町の二つの碑(藤原己代子)	75
Nobel tribute to Lafcadio Hearn by Buddhist Monk(Illustrated Daily News)	154
Noctilucae(Hearn)	23
野口米次郎叢書	82
No laughing matter(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Nonne im Tempel des Amida(Hearn)	71
Norodom the Last(Hearn) ⇨ Editorials	27
呪われたイチジク(Hearn) ⇨ Editorials	57
Northern myths(Hearn) ⇨ Editorials	27

納涼俳句大会「八雲に関する句」(長谷川延生)	143
ノート一冊千ドル〔朝日新聞〕	166
Note on Abd-El-Kader(Hearn) ⇒ Orientals articles	28
Notes of a Trip to Kyoto(Hearn)	15, 16, 21, 35
Notes on Hearn and Benedict(Iwao Utsunomiya)	137
Notes on Kitzuki(Hearn)	16, 17
Notes on the utilization of human remains (Hearn)	10, 25
Novelists and novels(Dec. 31, 1882)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
Novel literary enterprise(Hearn) ⇒ Editorials	27
Novel novel(May 20, 1883)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
ノーベル賞作家と小泉八雲〔北日本新聞〕	167
Novel tribute to Lafcadio Hearn by Buddhist monk	154
Nun of the temple of Amida (阿弥陀寺の比丘尼) (Hearn) ...	9, 13, 19, 20, 23, 41, 42

O

おばあさんの話(Hearn)	50, 51, 54, 62
Obahsan-nohanashi(Hearn)	24
お化け屋敷と茶碗(小泉時)(へるん 第20号)	115
欧米文学の日本発見(田坂長次郎)	137
「おぼろ影」／十葉の草稿／クリオール・フレンチ雑記帳(染村絢子) (へるん 第26号)	118
旺文社文庫	50
オカルト・サイエンス(Hearn)	57
Occult science(Hearn) ⇒ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Occidental gleanings	12, 28
落葉(小泉八雲全集)	52
落穂(落穂集)(Hearn)	51, 63
落合貞三郎氏から西崎一郎氏へあてた葉書	8
おちつかない下宿人(落ち着かぬ下宿人)(Hearn)	47, 55, 66
お大の例(お大の場合)(Hearn)	53, 62, 65
王堂チェンバレンの交友(1)(2)(吉阪俊蔵)	137
王堂先生の功績と感化(新村出)	149
驚くべき事実と恐ろしい夢(Hearn)	58
Of a dancing girl(Hearn)	13, 16, 17, 35, 44
Of a mirror and a bell (Hearn)	9, 21, 22, 42, 43, 44, 70
Of a promise broken (Hearn)	19, 24, 38, 45, 69
Of a promise kept(Hearn)	9, 19, 24, 43, 45, 69
Of all places on this earth(Hearn) ⇒ Literary Essays	27
Of eternal feminine(Hearn)	18, 21, 22, 35
Of ghosts and goblins(Hearn)	16, 17
Of moon desire(Hearn)	14, 15
Of souls(Hearn)	16, 17
Of the eternal feminin(Hearn)	9, 22, 23
Of women's hair(Hearn)	16, 17, 35
大鐘の霊(Hearn)	47, 50, 51, 64, 66
黄金泉(Hearn)	55
黄金の鷹(Hearn)	47, 54, 66
「黄金律」について(Hearn)	59
お話(午後6時の子供の時間)小泉八雲(須貝太郎)〔読売新聞〕	155
お話(松江より)小泉八雲先生(須貝太郎)〔大阪朝日新聞〕	155
お話(松江より)小泉八雲先生(須貝太郎)〔報知新聞〕	155
お春(小泉八雲全集)	52
お地蔵様(小泉八雲全集)	52
お地蔵さんとハーン:日本人の信仰・微笑とお地蔵さんの微笑(渡浩市) (国文学 解釈と鑑賞)	141
岡倉先生を追慕して(市河三喜)	149

おかめのはなし(The story of Okame) (お亀の話)	50, 51, 52, 53, 55, 63, 67
隠岐	50, 75
隠岐蓑浦の一夜(淀江きみえ) (へるん 第22号)	116
隠岐に旅して: ヘルンに思う(山根愛子) (へるん 第23号)	116
隠岐に幽霊船が出る〔朝日新聞〕	169
隠岐を去る〔山陰中央新報〕	172
起こり得るべきこと(Hearn)	57
大隅重信と小泉八雲の出会い(関田かおる)	137
大隅重信と八雲(市島春城) (へるん 第25号)	117
多くの収穫があった〔富山新聞〕	168
Old-fashioned houses(Hearn)	11
Old Japanese songs(Hearn)	24
Old stories(Hearn)	10, 23
Old woman who lost her dumpling (団子を失くしたおばあさん) (Hearn)	19, 39
Oleman pickett ⇒ Barbarous Barbers and other stories	25, 26
Ο λ ε θ ρ ο τ και Α λ λ δ ι η γ η μ α ι α	21
オリバー・ウェンデル・ホームズ ⇒ 神戸クロニクル論文集	34
オリバー・ウェンデル・ホームズ ⇒ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル 論文集	34
お前の魂は腐っている(辻幸三郎)	149
大めがね(Hearn)	56
大男と小男	56
Omnivorous Newspaper(Aug. 29, 1886)(Hearn)⇒ Essays on American literature	32
思い出(中村芳二郎) (へるん 第27号)	118
思い出(白築祐久) (へるん 第4号)	113
思い出(藤崎ヲトキ) (へるん 第5号)	113
思い出の記(小泉節子)	47, 55, 67, 78
思い出の小泉八雲(座談会)〔山陰新聞〕	164
思い出の中の八雲図書館(佐伯彰一) (とやま文学)	140
懐出の一つ(大谷繞石)	72
On a bridge(Hearn)	9, 24, 42, 44, 45, 69
On art, literature and philosophy(Hearn)	36, 46
On birds in English poetry(Hearn)	43
オナイダ共同体の宣言	59
Oneida community's announcement(Hearn) ⇒ Editorials	26
One of Cleopatra's nights and other fantastic romances	39
One of Mr. Howells' realisms(April 12, 1887)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
One Pill-box, Oct. 21, 1881(Hearn)	10, 13
One practical joker less(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essays	26
One result of the new passport system (Hearn) ⇒ Editorials from the Kobe Chronicle	31
One type of bore(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essays	26
音楽におけるロマン主義(Hearn)	59
黄熱病(Hearn)	66
音楽関係の文献(Hearn)	57
音楽倶楽部でのロマンティックな出来事(Hearn)	56
音楽についてギリシャ人が知っていたこと(Hearn)	58
On literature (Hearn)	44
女剣士(女剣客)	55, 58, 65
女の髪について(Hearn)	52, 62, 66
「女の髪」とギリシア神話(引地正俊)	127
恩師チャムブレ先生を偲ぶ(岡倉由三郎)	149
王の牧歌(Hearn)	57
王の裁判(Hearn)	48, 66
王の囚人(Hearn)	66
女ははたして和解したか: 「今昔物語」に取材したハーンの怪談 the reconciliation (平川祐弘)	137
女と馬(Hearn)	58

On poetry(Hearn)	36
On poets(Hearn)	37
On reading in relation to literature(Hearn)	36, 37
On the collecting Lafcadio Hearn(Barrett)	72
On the religion of life and character of literature(Hearn)	35
大阪(大阪にて)(Hearn)	49, 52, 63, 67
大阪女子大英米文学会	147
教え子と仲よく〔毎日新聞〕	169
欧州のハーン調査を終えて(池野誠)(へるん 第9号)	113
王たちの叙事詩(Hearn)	58
大谷繞石氏逝く〔帝国大学新聞〕	156
大谷繞石氏逝く	149
大谷正信の英作文(渡辺沢身)	138
大谷正信先生の思い出(池塚俊夫)(へるん 第10号)	113
大谷正信と犀川の氾濫(染村絢子)(へるん 第29号)	120
大谷正信と雅楽(福間直子)	75
大谷繞石と英作文とハーンの訂正・評言(福田勗)	138
大谷繞石のことども(椎名駿輔)(へるん 第21号)	115
大津事件(藤森きぬえ)	75
大津事件(大津)〔毎日新聞〕	175
大雪と洪水(銭本健二)	75
Opening today(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	11
Opim habit. Chinese opium-smokers in Cincinnati. The morphine eaters ... (The Cincinnati Commercial, April 2, 1876)	30
Opium and morphia(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Opium dens(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Opium eating(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Opium habit(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Opium and Morphia. Their consumption on the increase. Their demand in Cincinnati and vicinity. The Cincinnati Enquirer, March 14, 1875	30
オレゴンのパイロン研究(金子健二)	149
Oriental articles(Hearn)	12, 28
Oriental literature at the Exposition(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
オリエンタルな夢 : 小泉八雲と霊の世界(平川祐弘)	89
オリエンタルな夢・小泉八雲と霊の世界 平川祐弘(佐藤忠男・書評)	177
Original Bras-Coupe(Oct. 27, 1880)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Origin of words(Hearn)	11
折戸徳三郎英訳「怪談牡丹灯籠」(染村絢子)(へるん 第32号)	121
折戸徳三郎英訳「万葉集」(染村絢子)(へるん 第32号)	121
Oscar Wilde as a fashion(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
鴛鴦(おしどり)(をしどり)(Hearn)	49, 50, 51, 53, 55, 63, 64, 67, 69, 70
Oshidori (Hearn)	9, 20, 21, 22, 41, 42, 43, 45, 47, 69, 70
「おしどり」を読む(西成彦)	110
お園の手紙(Hearn)	49
恐ろしい幽霊の話(江川徹)	96
怖い小説一篇(Hearn)	58
お貞の話(Hearn)	49, 50, 51, 53, 55, 63, 67, 69, 70
お寺巡り〔山陰中央新報〕	171
おとぎの国の妖精たち	63, 64
乙吉のだるま(乙吉の達磨さん)(Hearn)	45, 50, 51, 53, 63, 65, 65, 67, 69, 91
Otokichi's Daruma (乙吉のだるま)(Hearn)	14, 19, 24, 42, 43, 45
Our Artists (Hearn)	11
Our modern juggernaut(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Out of the East(Hearn)	21, 22, 23, 42
Out of the East and Kokoro(Hearn)	21
Out of the sea's strenght(Chita)	9, 10, 14, 22, 70
Out of the street (Hearn)	9, 15, 16, 23
アウトサイダーとしてのハーン(浦川直子)(無限大)	140

アウトサイダーとしてのハーン (杉山直子)	90
Over-Education in Germany(Hearn) ⇨ Editorials	27
親子三人の写真/アメリカでも八雲会 (小泉時) (へるん 第27号)	118
御津浦〔山陰中央新報〕	171

P

パ・コムビネ、シェ (小泉八雲全集)	52
Pa combine, che"	14
Parable Buddhist(Hearn)	12, 13
Parfum de Jeunesse(Hearn)	15
Pariah people. Outcast life by night in the East end. The underground dens of bucktown and the people who live in them. (The Cincinnati Commercial, Aug. 22, 1874)	30
パーキンズのヘルン講演	4
パーキンズ氏講演〔帝国大学新聞〕	157
Parthenia Sullivan. The hideous revelation of the Carrie Davis inquest. Five abortions in progress ... (The Cincinnati Enquirer, Feb. 26, 1874)	29
Passional Karma(Hearn)	15, 17, 18, 41
Passional Karma と「牡丹燈籠」 (アダム・カバット)	138
Pathological(Hearn)	20, 23, 24, 42, 43, 44, 45, 68, 105
Patriotism and education(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31
パトロン制度(Hearn)	57
Pelee(Hearn)	13
Penguin travel library	24, 38
Penitentiaries and punishments(Hearn) ⇨ Editorials	26
People:of women's hair	35
People we send missionaries to laws against education(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
ペレー山(Hearn)	48, 52, 66
パーシバル・ローエルと日本文化論=Percival Lowell and his study on the Japanese culture (横尾広光)	138
P. D. E. [=P. D. Perkins] "Stories from Pierre Loti" Saturday Night)	156
"P. E. More and American criticism" : Paul Elmer More and American criticism. By Robert Shafer (石田憲次)	138
Period of the gruesome(Hearn)	28
Perkins horror. Another history of the family trouble. Mrs. Perkins the victim of a designing woman's wiles. (The Cincinnati Enquirer, Oct. 6, 1874)	29
Perking tragdy. The Scarlet woman appears on the scene. What the Horror -Stricken community has to say. (The Cincinnati Enquirer, Oct. 2, 1874)	29
Persecuting the Jews in Russia(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Personal--the man and his life	36
Pessimism in socialism(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Phases of civilization(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Phenomenon of civilized progress(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Philosophy of imaginative art(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Physiology of smells(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Physical education(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
ピケット親父(Hearn)	57
Pictures of New Orleans(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Pictures vs. texts(Sept. 19, 1886)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
ピエール・ロチ短篇集〔読売新聞〕	156
ピエール・ロチとラフカディオ・ヘルン (馬場久治)	138
Pilgrimage to Enoshima(Hearn)	16, 17, 21, 34, 35, 68

Piper of Hamelin(Hearn)	10, 25, 41
Place where clouds are born (Patrice Repousseau)	128
Plain text series of English & American literature	45
Poetical and philosophical suicide(Hearn)	11
Poe と明治文学(4) Lafcadio Hearn (木村毅)	138
Poe と明治文学(5) 東西文学交流の考察 (木村毅)	138
Poe と明治文学(6) 早稲田派とポー (木村毅)	138
Poe と明治文学(7) (木村毅)	138
Poets(Aug. 6, 1879)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Poets and poems(Hearn)	37
Poisoners (Hearn)	10, 25
Policy of interference(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Pompeii(Hearn) ⇨ Editorials	26
ポンペイ(Hearn)	58
ポンペイでの珍しい発見 : 鳥屋(Hearn)	57
Poor mummies!(Hearn) ⇨ Editorials	26
Porcelain painting(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Porteuses (Hearn)	9, 13, 14, 22
Possibility!(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	28
Post-office, Oct. 19, 1884(Hearn)	10, 13
Prejudice of Prudes(Hearn) ⇨ Buying Christmas Toys	26
Pre-Raphaelite and other poets(Hearn)	22
Present and future of India(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
Present status of the Germ theory (Hearn) ⇨ Editorials	27
Prize-fighting in the United States(Hearn)⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Prize for beauty(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Prevention of Cruelty to women(Hearn) ⇨ Editorials	27
Problem of treaty revision(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Progressivlying(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Prolific crime(Hearn) ⇨ Editorials	27
Propriety vs. morality(Nov. 7, 1886)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Prose poems(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
プロテウスの天体旅行(Hearn)	57
Proverbs	14, 15, 17
Pundari(Hearn)	12, 13
Punishment of silence(Hearn) ⇨ Editorials	27

Q

Quaint New Orleans and its habitants(Hearn)	11, 12
Quarter of Shambles. Its atmosphere, aspects and atrocious stenches. Blood, butchers and divers abominations. (The Cincinnati Enquirer, Nov. 15, 1874)	30
Queen City club-house(Hearn)	10
Queen City club-house:opening day(Hearn)	10
Queer tale(Hearn)	44
Questioning of genius(April 24, 1887)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Question in Germany(Hearn) ⇨ Editorials	26
Question in the Zen texts(Hearn)	14, 15, 24, 34, 41
Question of male and female equality(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Question of the linghest art(Hearn)	43

R

Rabbi Yochanan ben Zachai(Hearn).....	12, 13
Rabyah's last ride(Hearn)	11, 12
ラビーア(Hearn)	47
Race-problem in America(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Race studies in the West Indies(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
Rags, Iron stoves!(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
来訪者(Hearn)	47, 66
Rainbow birds	27
拉句とアングロサクソン (小泉八雲全集)	55
楽園(Hearn)	56
落日の風景: 「出雲論」 (山崎正和、丸谷才一)	138
楽天地獄 (戸川秋骨)	101
落葉集(Hearn)	48
ラルフ・ウォルド・エマーソン(Hearn)	57
Ralph Waldo Emerson(April 30, 1882)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
ラマーヤナ(Hearn)	57
Ramayana(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
ラスト島物語(Hearn)	70
裸体画像に対する十字軍新しい「禁止書目」(Hearn)	55
裸体反対運動(Hearn)	59
Rat row ranches (Hearn)	11
Reading(April 22, 1881)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Reading(July 13, 1884)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Readings from a dream-book(Hearn)	24
Realistic fiction(Spet. 10, 1882)(Hearn) ⇨ Essays on American literature.....	32
Rebirth of Katsugoro(Hearn)	15, 16
Recent American novels(Hearn) ⇨ Editorilas	27
Recent zoological romance(Hearn).....	11
Reconciliation(Hearn)	9, 23, 38, 45, 52, 69
Red bridal (赤い婚礼) (Hearn)	9, 13, 22, 23
Red sunset(Hearn)	15
Re-Echo (Kazuo Hearn Koizumi)	89
Reflection(Hearn)	42
霊(Hearn)	65
霊魂の探究者小泉八雲: 焼津滞在とその作品 (村松真一)	89
霊に交わりて(Hearn)	57
霊の日本 (小泉八雲全集)	53, 63, 67
霊の日本への旅	65
礼節対道德(Hearn)	57
Religion of loyalty (Hearn)	18, 35
Religious intolerance(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Religious nightmare(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
Religion of the home(Hearn)	34
Reminiscences of Lafcadio Hearn (Setuko Koizumi, Mrs. Hearn)	89
Reminiscences of Lafcadio Hearn (Ernest Foxwell)	138
ルナン論(Hearn)	57
ルナンのユーゴ論(Hearn)	57
Renan on Victor Hugo(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
連日どっと観光客〔朝日新聞〕	169
Republican France(Hearn).....	26
Republican victory in the United States(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Republicanism in France(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays ..	26
Requiem for a recluse(Dennis Fox)	127
列車の中で(Hearn)	51
Restless boarder(Hearn).....	11
Restless dead(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
Resurrected estheticism (Hearn) ⇨ Oriental articles	28

Retrospectives(Hearn)	15, 24
Returning of the dead(Hearn)	45, 69
Return of Yen-Tchin-King(Hearn)	9, 11, 12, 13, 22
Reverie(Hearn)	35
Review of Renan(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
力馬鹿(力ばか)(Hearn)	49, 50, 53, 55, 62, 63, 67, 70
Riki-baka(力馬鹿)(Hearn)	9, 21, 22, 43, 69, 70
輪廻(小泉八雲全集)	55
輪廻の夢: 「むじな」と「因果話」の分析の試み(牧野陽子)	138
Rise of the Mahdi(Hearn) ⇨ Editorilas	27
理想主義の将来(Hearn)	58, 65
理想主義と自然主義(Hearn)	58, 65
リスト(Hearn)	58
The ritual to feature Lafcadio Hearn after [Los Angeles Times]	154
River of Heaven(Hearn)	19
River reverie, May 2, 1881(Hearn)	10, 13
Roar of great city(Hearn) ⇨ Editorials	27
ロバの行く道を行け(Hearn)	58
盧花の芸術(前田河広一郎)	101
老記者の旅(徳富猪一郎)	101
65年に松江で八雲フェスティバル〔北日本新聞〕	174
65年に松江で八雲フェスティバル〔富山新聞〕	174
ろくろ首(轆轤首)(Hearn)	49, 50, 51, 53, 64, 67, 70, 71
Rokuro-Kubi(ろくろ首)(Hearn)	9, 21, 22, 35, 44, 69, 70
露国皇帝見舞電文	42
Romance and reason(Hearn)	37
Romance of the Milky Way(天の川物語)(Hearn)	9, 15, 16, 23, 44, 45, 70
Romance of the Milky Way and other studies and stories(Hearn)	16, 22, 44
Romantic Conundrum(May 28, 1882)(Hearn) ⇨ Essays on American literature	32
Romantic incident at the musical club(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
Romanticism in Music(Hearn) ⇨ Editorials	26
Roar of great city(Hearn) ⇨ Editorials	27
論文と随筆(ハーン)	68, 70
論説集(Hearn)	58
ロス・クリオロス(Hearn)	58
ロチの紀行文からハーンの紀行文へ(河島弘美)	90
ルドルフ・マクス博士の語る「ラフカディオ・ハーンの思い出」(中田賢次)	139
ルイジアナへのユダヤ人移民	57
Ruins of carthage(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
Runes from the Kalewala(Hearn)	12, 13
ロセッティの決定版(Hearn)	57
Russian Imperial marriages(Hearn)	11
ロシアにおけるユダヤ人迫害(Hearn)	56
ロシア・清国借款協定(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
ロシア・清国借款協定(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
旅行日記より(Hearn)	50, 52
了然尼(Hearn)	50, 51, 54, 63, 65
「了然尼」考(染村絢子)(へるん 第33号)	122
「了然尼」日本語訳(染村絢子)(へるん 第33号)	122
竜宮への帰還: ハーンの小説について(横山孝一)(へるん 第29号)	119
竜蛇さま〔山陰中央新報〕	173
留任(小山内薫)	79
龍南哲学者の道(河原畑正行)(くまもとハーン通信)	181
龍の洞窟一時代祭(Hearn)	65

砂漠か海か	59
サブハドラ(Hearn)	56
Sad change(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Sadness in beauty(Hearn)	15
佐川春水先生の八雲観(池野誠)(へるん 第10号)	113
詐欺(Hearn)	56
最後のヴードゥー教徒(Hearn)	48, 56
西郷の宿〔山陰中央新報〕	172
最近の仏教文献(Hearn)	58, 65
最近の和平交渉(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
最近の和平交渉(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
最高法廷にて(Hearn)	69
催眠術とニヒリズム(Hearn)	58
さいさい節(福間幸子)	73
才子と天才(Hearn)	57
最初の楽士	48
最初の杵築訪問(中和夫)	75
最初の礼拝呼び掛け人(最初の祈禱時告人)(最初の祈禱時報係り)(Hearn)	47, 54, 61
最良の読み物(Hearn)	57
埼玉と小泉八雲(松村じゅん)	114
Saint Malo, Am. Ms. v. 2(Hearn)	25
境港〔山陰中央新報〕	172
魚になったおしょうさん(Hearn)	47
作家と成功(Hearn)	57
左顧右盼(小泉一雄)(へるん 第3号)	112
左顧右盼(さこん ゆうべん)(1)-(5)〔山陰新報〕(小泉一雄)	165
作品、「出雲への旅日記」と汽船、土佐丸の謎への試論(梶谷泰之)(へるん 第32号)	120
作品中の日付について(梶谷泰之)(へるん 第23号)	116
作品朗読などでつづるハーンと松江の物語〔朝日新聞〕	168
桜(Hearn)	50
桜の命(Hearn)	49
策略(Hearn)	50, 64
Sale of the "Golden fleece"(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31
さまよえる亡者たち(Hearn)	56
さまよう魂 : ラフカディオ・ハーンの遍歴(ジョナサン・コット 真崎義博訳)	89
さまざまな「学び」(山口美恵)(へるん 第19号)	115
サンマロ(Hearn)	56
鮫人の恩返し(鮫人の感謝 The gratitude of the Samebito)(Hearn)	49, 52, 53, 55, 63, 64, 67
さんど便〔朝日新聞島根版〕	166
産業の利益と無法な行為	59
山陰路と小泉八雲(池野誠)	75
山陰旅行(島根)〔毎日新聞〕	176
佐野史郎が語る小泉八雲の世界	176
散歩・遠足(田村のり子)	75
Sanscrit epics(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
三省堂選書	87
Sarenade	15
「サタデー・レビュー」誌の懸念(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
「サタデー・レビュー」誌の懸念(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
佐太神社参拝(錢本健二)	75
佐藤春夫さんと「尖塔登攀記」(小泉時)	64
佐藤氏訳す小泉先生の「尖塔登攀記」(秋骨)〔読売新聞〕	157
里帰りした古手紙(福間直子)(へるん 第24号)	116
さようなら	50, 52, 62, 67
Sayonara(さよなら)	16, 17, 35, 41, 44
さようならヘルン先生(郡山政宏)	90

小夜曲(Hearn)	49, 67
Scenes de ee la vie des Hoodlums(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Scenes of Cable's Romances(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
スクール文庫	50
School of beauty(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	28
Schwab's talmud (Hearn)	27
Scientific novelty(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Scientific value of Creole(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2	25
スコットランドのイザヤ(Hearn)	57
Scottish Isaiah(Hearn)	27
Screen-maiden(Hearn)	24, 41, 45, 52, 69
Sculpture in the exposition beautiful busts(Hearn)	11
Sea literature(Hearn)	70
Secrets of the infinite(Hearn) ⇨ Editorials	26
Seelen(Hearn)	71
セグロウミヘビの話(上田常一)	75
シェイクスピア論	59
聖母の奇跡: ハーンとローザを結ぶ絆について(横山孝一)(へるん 第31号)	120
聖ブランドンのクリスマス(Hearn)	56
盛大にヘルン50年祭〔中日新聞〕	167
政府の政策とユダヤ人(Hearn)	57
政治における女性の影響力(Hearn)	56
倩女の話(Hearn)	64
成功をめぐる幾つかの断層(Hearn)	56
「生命法則」の大問題	56
西欧的な外貌〔夕刊山陰〕	162
精霊(小泉八雲全集)	54
精力的な仕事を支えた熊本(中村青史)	181
制作(Hearn)	58, 65
生者の所有物はすべて死者から(Hearn)	68
精神文化の両極(Hearn)	58
精神病院風景(Hearn)	57
精神病院の恐怖(Hearn)	57
精神史発掘(岩波書店)	84
精神錯乱に関する多様な見解(Hearn)	58
青春の泉考: オシン伝説と浦島をつなぐもの(荻原順子)(へるん 第29号)	119
青春の泉へ(Hearn)	47, 54, 66
青春のかおり(Hearn)	49, 67
生誕百年回想の小泉八雲〔時事通信〕	160
生誕と自己疎外: 八雲「雪おんな」論(鳥居明雄)	139
生と死の断片(Hearn)	48, 50, 51, 52, 62, 63, 65, 67, 68
西洋文学講義(Hearn)	64
西洋文学の日本発見(E. マイナー)	101
西洋文学の紹介者(池田紀美子)	137
西洋文明の衝撃と日本(平川祐宏)	172
西洋で造られる「日本的映画」(正宗白鳥)〔読売新聞〕	157
西洋落穂集(Hearn)	58
西洋人の神道理解: ハーン、タウト、マルローの場合(遠田勝)	90, 140
西洋から来た浦島(西成彦)	85
「西洋至上主義」をゆるがしたハーン(平川祐弘)	175
世界文学(古谷綱武)	101
世界名作文庫	49
世界に誇る小泉八雲文庫〔読売新聞〕	158
世界に誇示しうる文献〔日本読書新聞〕	162
世界のジャーナリズム(Hearn)	56
世界の中のハーン像と国際交流(池田雅之)	99
世界の中のラフカディオ・ハーン(平川祐弘)	90

世界の崇拜物(Hearn)	57
世界的なハーン伝記映画〔時事通信〕	160
石仏(Hearn)	48, 52
積極的な意見(Hearn)	47, 55, 66
Selected essays of Hearn	44
Selected works of Lafcadio	
Hearn's first edition	9, 12, 13, 14, 15, 17, 18, 19, 20, 21, 23
Selected writings of Lafcadio Hearn	9, 22, 23
Selections from great authors	41
Selections from Lafcadio Hearn	44, 69
Select readings from Lafcadio Hearn	45
Self-supporting wives(Hearn) ⇨ Editorials	26
蟬(Hearn)	47, 53, 55, 63, 67, 68
Semi(Hearn)	24, 68
(Semi.) Illustrations.	5
戦後(戦後に)(Hearn)	48, 55, 56, 63, 67
「戦後」の草稿について(染村絢子)(八雲)	143
戦後雑感(小泉八雲全集)	52
「栓を抜く人」マクドナルド(市島謙吉)(へるん 第29号)	120
先生の著書改題(大谷正信)	79
選者に一流俳人〔毎日新聞〕	166
戦争が○さん可能な結果(Hearn)	55
潜戸 ⇨ くげど	
尖塔登攀記外四篇(Hearn)	64
尖塔に登って(Hearn)	56
MDCCCLIII(1853)(Hearn)	48, 66
先師ハーン先生を憶う(厨川辰夫)	79
洗濯女(Hearn)	48, 52, 66
Serenade(Hearn)	15
シリーズ・民間日本学者	79
セツ夫人と松江言葉(藤原治)	75
セツ夫人役は新人募集(島根新聞)	163
セツから焼津の八雲に宛てた手紙(小泉時)(八雲)	143
Setsuko Koizumi remembers Koizumi Yakumo	74
せつ子の「思い出の記」と三成重敬(後藤昂)(へるん 第21号)	115
Sexual idea in French literature(Hearn) ⇨ Editorials	27
Shadow of the tide(Chita)(Hearn)	9, 10, 14, 22, 70
Shadowings(Hearn)	23, 45, 52
Shadowings and A Japanese miscellany(Hearn)	23, 24
写実主義小説(Hearn)	57
写実主義と理想主義(Hearn)	58, 65
社会観・宗教観(池橋達雄)	75
社会に生活保障の義務あり!(Hearn)	56
社会主義におけるペシミズム(Hearn)	57
Shakespeare	11, 43
シェイクスピア論(Hearn)	60
Shall we burn or bury?	27, 28
謝肉祭の夜明け(謝肉祭の明け方)(Hearn)	47, 55, 65
「沙翁全集」の思い出咄(上)(戸沢姑射)	139
Shapira(Hearn) ⇨ Editorials	27
写真で見る／ハーンの生涯(小泉時)(無限大)	140
思案は禁物(Hearn)	66
詩<松江城郷四季>(吉村一夫)(へるん 第18号)	114
仕合わせな教師(森亮)	92
死骸にまたがった男(死骸に乗る人)(The corpse-rider)	50, 52, 55, 62, 64, 67
4月31日付けの手紙(梶谷泰之)(へるん 第4号)	113
志賀直哉とハーンと松江(漢東種一郎)(へるん 第16号)	114
幣原喜重郎(第17回):外交五十年〔読売新聞〕	164
死後も美德は生きる(Hearn)	57

死後の恋(Hearn)	48, 66
詩人(Hearn)	57
詩人ラフカディオ・ハーン「赤裸の詩」を中心に(仙北谷晃一)(へるん第31号)	120
詩人・詩人論	61
詩人と大衆(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
詩人と大衆(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
「史実とドラマ」に一石〔朝日新聞〕	170
屍中の悪魔(Hearn)	94
島文次郎(椎名駿輔)	116
島巡り(Hearn)	66
島根・九州だより(Hearn)	62
「島根・九州だより」(小泉八雲)改題(榎井幹生)	139
島根大学附属図書館蔵小泉八雲書翰(原文)目録	4
島根大学の小泉八雲関係資料(梶谷泰之)	139
島根県尋常中学校におけるヘルンとその周辺 正、続(馬庭将光)(へるん 第21、22号)	114
島根県教育会館の現地保存を訴える(池橋達雄)(へるん 第12号)	113
島根県史蹟名勝天然記念物調査報告	100
島根叢書	88
島の文人ハーン(中田賢次)(へるん 第25号)	117
下市盆おどり考(梶谷泰之)(へるん 第20号)	75, 115
霜の幻想(Hearn)	56
支那怪談(小泉八雲全集)	52
支那に対する同情(Hearn)	55
支那に就いてピアスン博士の真の意見	55
支那の未来(Hearn)	55
支那と欧州(小泉八雲全集)	54
シナリオ・美しき日本の妻: 小泉八雲百年祭記念映画(八尋不二)	90
新「江の島行脚」(辻原登)	110
新奇な小説	57
審美主義の使途(Hearn)	57
新聞文学に見る中世的迷信(Hearn)	55
新聞の書評家(Hearn)	57
新聞、その過去と現在(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
新聞、その過去と現在(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
「神仏の国日本」を愛したハーン: 二つの漂流譚が語るもの(遠田勝) (国文学 解釈と鑑賞)	141
神智学(Hearn)	58
神智学的偶像破壊(Hearn)	56
新潮カセットブック・小泉八雲(上田和夫訳)	71
死んだクリオール人の夢(Hearn)	55, 66
死んだ恋人(Hearn)	55, 66
進藤広橋の手紙をめぐって(福井昭三)(八雲)	143
新発見のハーン書簡(池野誠)	139
新発見の手紙二通とハーン死因について(梶谷泰之)(へるん 第22号)	116
六道湖の朝(Hearn)	65
六道湖の夕日	50
Shinju	71
六道湖の夕景〔山陰中央新報〕	173
六道湖と一畑薬師	50
心中(Hearn)	50, 51, 52, 62, 65, 66
Shinju(心中)(Hearn)	16, 17, 35, 66, 71
新宿歴史博物館(東京都新宿区)常設展示図録	4
新宿歴史博物館開館によせて(渡辺弘道)(へるん 第26号)	118
新宿ゆかりの明治文豪三人展「漱石・八雲・逍遙」開館記念特別展	4
真貝義五郎訳「ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集」(池橋達雄)	120
新刊紹介 Lafcadio Hearn: On art, literature and philosophy	151
新刊書架 Stories from Pierre Loti, translated by Lafcadio Hearn	151
進化論的歴史(Hearn)	58

新奇的な小説(Hearn)	57
神国の朝——目醒	65
神国日本(Hearn)	18, 53, 64
「神国日本」考：チェンバレンとの対立をめぐって（遠田勝）	139
神国日本：批評と紹介（戸川秋骨訳）〔読売新聞〕	154
神国の首都(Hearn)	50, 52, 68
清国に関するピアスン博士の真の見解(Hearn)	59
清国における反宣教師暴動(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
清国における反宣教師暴動(Hearn) ⇨ ラファディオ・ハーンの神戸クロニクル 論説集	34
清国に対する同情(Hearn)	59
清国の将来(Hearn)	59
清国の騒乱(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
清国の騒乱(Hearn) ⇨ ラファディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
清国と日本における理想像(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
清国と日本における理想像(Hearn) ⇨ ラファディオ・ハーンの神戸クロニクル 論説集	34
新潜戸（ハーンの面影を追って 18）〔山陰中央新報〕	171
深紅の狂気	59
「新曲浦島」をめぐって（関田かおる）（無限大）	140
新米の光明姫(Hearn)	57
死人が帰ってきたはなし(Hearn)	50
真名井神社の秘宝絵図：ハーンが見た（梶谷泰之）	118
忍び寄る飢餓(Hearn)	57
しのぶ「ハーン」の偉業〔夕刊山陰〕	162
詩の鑑賞(Hearn)	59
死の舞踏(Hearn)	57
死の恐怖(Hearn)	58, 65
神知学的偶像破壊(Hearn)	57
身辺雑話の蒐集：熊本を描いた作品から（中村青史）	85
神秘：亡父小泉八雲満五十回忌にあたり（小泉一雄）	139
神秘の正体(Hearn)	57
進歩的思想家としてのハーン像（上）（下）（斉藤正二）	126, 127
心霊論の唯物論(Hearn)	55, 59
信蓮華(Hearn)	48, 66
新ロマン主義(Hearn)	58
新旅券制度のもたらすもの(Hearn)	59
新資料「山陰新聞」のこと（矢部太郎）（へるん 第27号）	118
新資料紹介＜島根県尋常中学校におけるヘルンとその周辺＞正、続 （馬庭将光）（へるん 第20号）	115, 116
心象風景論（6）（赤祖父哲二）	139
シディ・アブデルカデル・エル・ジェラニ(Hearn)	58
シンシナティのユダヤ人(Hearn)	57
シンシナティの火トカゲ(Hearn)	57
シンシナティ探訪(1)（吉野貴好）（へるん 第31号）	121
新体詩運動と西洋詩（太田三郎）	103
神道の価値(Hearn)	55, 59
新定旅券法の一結果(Hearn)	55
新東京文学散歩（野田宇太郎）	103
潮の影(Hearn)	70
知られぬ小泉八雲の面影（さだまさし）	139
知られざる絵入り書簡：ワトキン、ビスランド、グールド宛（関田かおる）	93
知られざる日本の面影(Hearn)	49, 50, 52
「知られざる日本の面」を読んで（エリザベス・バレストエリ）（とやま文学）	141
白い石のある島：レフカダ島訪問記（小泉凡）（へるん 第23号）	116
城見縄手（「小磯国昭自伝」より）（和田正則）（へるん 第29号）	119
白装束(Hearn)	66
詩論（小泉八雲全集）	54
詩論・詩人論(Hearn)	61

城山の稲荷	50
城山稲荷神社〔山陰中央新聞〕	171
死霊(Shiryo)(Hearn)	50, 51, 52, 55, 64, 65, 67
Shiryo (死霊)(Hearn)	20
資料紹介「占いの話」と(とやま文学)	141
「思索は禁物(バ・コンビネ、シェ)」	66
死せる妻(Hearn)	48, 56
死者の文学(Hearn)	49, 52, 67
死者の文学: ラフカディオ・ハーンと日本の墓碑銘(錢本健二)	139
死者の威光を借りる(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
死者の威光を借りる(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
獅子(Hearn)	66
シシリア人の仇討ち(Hearn)	57
思想家としてのハーン氏(小川未明)	139
死体にまたがった男 ⇨ 死骸にまたがった男	
詩と報酬(Hearn)	57
小伝(田部隆次)(とやま文学)	141
小学校における宗教教育(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
小学校における宗教教育(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
正月風景(小泉凡)	75
荘原村〔山陰中央新報〕	172
〔書評〕 Denise Brahimi: Theophileet Judith vont en Orient (金沢公子)	76
〔書評〕 Exotisme spirituel et esthetique dans la vie et l'oeuvre de Lafcadio Hearn / Bernardette Lemoine / 書評・牧野陽子	151
〔書評〕 "Father and I" を読んで	150
〔書評〕 福原麟太郎著「日本の英学」 / 書評・Phoenix	151
〔書評〕 ヘルンについての二著(上)「父八雲を憶う」小泉一雄著 / 中島慶治	150
〔書評〕 ヘルンについての二著(下) Jean Temple: Blue gohost: a study of Lafcadio Hearn / 中島慶治	150
〔書評〕 平川祐弘著「異文化を生きた人々」(錢本健二)(へるん 第33号)	122
〔書評〕 池田雅之訳編「おとぎの国の妖精質」(田村のり子)(へるん 第33号)	122
〔書評〕 Japanese stories from Lafcadio Hearn. Put into Basic by T. Takata	150
〔書評〕 ジョナザン・コット著・真崎義博訳「さまよう魂 ラフカディオ・ハーン」(高成玲子)(へるん 第32号)	121
〔書評〕 ジョセフ・ド・スメ著 / 西村六郎訳「ラフカディオ・ハーン」	76
〔書評〕 小泉凡著「民俗学者小泉八雲」(内田融)(へるん 第33号)	122
〔書評〕 小泉八雲「日本の面影」(上)平井呈一訳 / 書評・福田陸太郎	150
〔書評〕 小泉八雲全集 第8巻「怪談」「骨董」平井呈一訳 / M. K.	150
〔書評〕 工藤美代子著「マルティニーク熱帯紀行」(富井俊郎)(へるん 第33号)	121
〔書評〕 熊本時代の小泉八雲: 丸山学著「小泉八雲新考」北星堂刊、昭和11年 / T. K.	151
〔書評〕 「ラフカディオ・ハーン著作集 第14巻 ゴンボ・ゼーブス、カルマ そのほか	151
〔書評〕 丸山学著「小泉八雲新考」 / 書評 S. K.	150
〔書評〕 太田雄三著「ラフカディオ・ハーン」(野津直久)(へるん 第32号)	121
〔書評〕 Prof. Chamberlain の著書其他 / 市河三喜	151
〔書評〕 S. Ronan & T. Koizumi: Lafcadio Hearn (錢本健二)(へるん 第29号)	120
〔書評〕 真貝義五郎訳「ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集」(池橋達雄)(へるん 第32号)	121
〔書評〕 新刊書架 Stories from Loti, translated by Lafcadio Hearn	151
〔書評〕 新刊紹介 Lafcadio Hearn: On art, Literature and Philosophy	151
〔書評〕 Stories from Pierre Loti, translated by Lafcadio Hearn / Tachio	151
松陰学術研究叢書	34
紹介者忠告者としてのChamberlain (斉藤勇)	149
書簡(Hearn)	50, 61, 62
書簡(南日恒太郎)(とやま文学)	141
書簡が語る八雲の生涯(遠田勝)(無限大)	140
書簡集	53

書簡集：アメリカ時代	53
書簡集：松江時代	53
書簡集：熊本時代	53
書簡集(4) 紹介者忠告者としてのChamberlain (斎藤勇)	144
書簡より見た松江時代の八雲 (池野誠) (へるん 第10号)	113
小公園の隣の俳句会場 (岩下雄二) (くまもとハーン通信)	181
小国の民の人、ハーン (平川祐弘) (へるん 第24号)	116
食道楽に告ぐ(Hearn)	47, 66
織女の伝説(Hearn)	47, 63, 66
植民地開拓	56
食卓 (錢本健二)	75
庶民派ハーン：手回しオルガンの話 (榊井幹生) (へるん 第33号)	122
少年期を過ごしたアイルランド、ダブリン市の住居に掲げられた標識の複製	8
少年少女日本文学選集	51
湘南便り (S. K.)	149
小ノートで再確認の「錨日奇観」 (染村絢子)	120
小ノートの「青柳ものがたり」 (染村絢子) (へるん 第29号)	121
小ノートの「耳なし芳一」 (染村絢子) (へるん 第31号)	121
小ノートの「むじな」 (染村絢子) (へるん 第31号)	121
Short of Mimi-nashi-Hoichi(Hearn)	43
小説家と小説(Hearn)	57
小説小泉八雲 第1部、第2部 (石一郎)	139
小説松江の小泉八雲 (岡戸武平)	90
小説よりも奇(Hearn)	50, 53, 67
昭和二十三年九月二十六日夜、NHK静岡放送局 (PK) よりのラジオ放送「焼津と八雲」の座談会 (草稿) (鈴木賢) (八雲)	143
昭和二十五年の「八雲祭」(1)(2) (鈴木賢) (八雲)	143
昭和二十五年「八雲祭」(3) 小泉八雲氏を囲んであの頃の遊び友達が語る座談会 (鈴木賢) (八雲)	143
昭和天皇・今上天皇と小泉八雲 (梶谷泰之) (へるん 第26号)	118
逍遙選集 (坪内逍遙)	103
集英社文庫	49
修道院長の誘惑(Hearn)	57
終焉とその周辺(1)(2)(3)(4)(5) (西野影四郎) (へるん 第25、26、27、28、29号)	117, 118, 119
囚人の友(Hearn)	57
修辞としてのギリシア (遠田勝)	110
宿世の恋(Hearn)	50
宗教界の夢魘(Hearn)	57
宗教的不寛容(Hearn)	55, 59
春鳥集自序の試論に就て(2) (明石利代)	150
執念(Hearn)	49
醜の研究 (紫蘭生)	96
<出版紹介>八雲の草稿と書簡	168
出発前の狭心症で (西崎一郎) [夕刊山陰]	162
修羅と微塵(1)(2)(3) (高木大幹) (へるん 第25、26、28号)	117
Sicilian Vendetta(Hearn) ⇔ Barbarous Barbers and other stories	26
Signs of the Times(Hearn)	11
Silkworms(Hearn)	15, 17, 18, 44
Singing societies in America(Hearn) ⇔ Literary Essays	27
Sins of Genius(June 6, 1886)(Hearn) ⇔ Essays on American literature	32
Sketches(Hearn)	45, 45
Sketches and stories(Hearn)	68
Sketches and tales from the French	39
Sketch of the Creole patois(Hearn) ⇔ An American miscellany v. 2	25
Skulls and skeletons(Hearn)	11
Slaughter-house story(Hearn)	11
Slavery and Islam(Hearn) ⇔ Oriental articles	28
Slavery & Mohammedanism in the soudan(Hearn) ⇔ Oriental articles	28

Sleeping on the Bricks(Hearn)	11
Slow starvation(Hearn) ⇨ Barbarous Barbers and other stories	26
Slitude	27
素朴な人々女護ヶ島(Hearn)	65
祖母のこと、父のこと(小泉時)	67, 76
祖母セツの思い出(小泉時)(へるん 第24号)	116
率直さ(Hearn)	56
早大英文学会	147
早大を飾る八雲の像	139, 147
祖父八雲について(小泉時)	90
祖父小泉八雲を語る〔山陰中央新報〕	169
祖父の故郷アイルランドを訪ねて(小泉時)	173
祖父の生誕地レスカスを訪ねて(小泉時)(へるん 第23号)	116
祖父逝きて(小泉時)(へるん 第21号)	115
創元社手帖文庫	98
僧興義(興義和尚の話)(Hearn)	50, 51, 53, 62, 64, 65, 67, 69
草稿の表装(小泉時)(へるん 第26号)	118
祖国では認められず	58
Solitude editor(Hearn)	27
Some American translations(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Some Chinese Ghost(Hearn)	9, 11, 12, 13, 22, 45
Some crotresque theorizing(Hearn) ⇨ Editorials	27
Some Creole melodies	14
Some fancies about fancy(Hearn) ⇨ Editorials	27
Some fossil anthropology(Hearn) ⇨ Editorials	27
Some Japanese glimpses(Hearn)	13
Some Japanese ideas(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Some meditations on visiting Hearn country(Allen Tuttle)	140
Some musical literature(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Some new letters and writings of Lafcadio Hearn (Sanki Ichikawa)	93
Some notes on Creole literature ⇨ An American miscellany v. 2	25
Some pictures of poverty (Hearn)	9, 22, 25
Some poems about insects	68
Some positive opinions(Hearn)	11
Some possible results of the war(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	31
Some strange English figures of the eighteenth and nineteenth centuries(Hearn)	38
Some strange experience(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
Some supposed sancrit translations(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
Some theories of colonization(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essay	26
Some theosophical iconoclasm(Hearn) ⇨ Oriental articles	28
Some thoughts about ancestor-worship(Hearn)	18, 19, 20, 23, 24, 34, 41, 45, 68
Song of Japanese children(Hearn)	19, 24
Song of the Roustabouts(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1	25
Son of a Robber(Hearn)	12, 13
その頃は(2) ヘルンの足跡をたどって<潜戸と隠岐>(西野影四郎)	114
その頃は[1](2)(3)(栗原弘子)(へるん 第17、18、19号)	114, 115
その頃のハーン:ニューオーリンズ時代(中園岩男)(へるん 第29号)	119
その頃ハーンは 1、2(中園岩男)	135
蒼の心理	52
空船乗の子供(小泉八雲全集)	52
<創作>見返りの鹿・面影(秀川尚子)(へるん 第24号)	117
<創作>ニューオーリンズにて歌いし十首(中田賢次)(へるん 第24号)	117
<創作>短歌:追憶(秀川尚子)(へるん 第25号)	117
蘇生地蔵(藤原治)	117
漱石が書きそびれた一語(平川祐弘)〔毎日新聞〕	169
漱石、ハーン比較文学の旅(小泉時)(へるん 第30号)	120

漱石の熊本	180
漱石の見たヘルン (渡辺沢見) (へるん 第7号)	113
漱石の思い出 (夏目鏡子)	103
漱石とハーン (平川祐弘)	99
「漱石と敏のこと」を読んで (矢野峰人)	140
祖先崇拜 (祖先崇拜の思想)	48, 50, 51, 52, 55, 56, 67, 68
叢書・比較文学比較文化 (中央公論社)	99
葬送文学 (Hearn)	57
曾祖父西田平兵衛、マツの事ども (へるん 第23号)	116
Soul of a Peony (Hearn)	44
Soul of the Great bell (Hearn)	9, 11, 12, 13, 22, 44, 45
Sources and possible grouping of Shakespeare work	36
Southern literature (April 15, 1883) (Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
Southern literature 'Observer' (May 6, 1883) (Hearn)	32
Southern Magazine (March 24, 1881) (Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
Southern novels (Nov. 26, 1879) (Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
Southern Prophet (Hearn) ⇒ Barbarous Barbers and other stories	26
Southern sketches (Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
Souvenirs of the author of "Endymion" (Hearn)	11
想像力芸術の哲理 (Hearn)	56
想像力ノ価値 (中村鉄太郎・訳)	105
想像力と教育: 教壇での Lafcadio Hearn (速川和男)	140
創造性とリアリティー (西野影四郎)	182
スペイン大統領に「八雲全集」を贈る [報知新聞]	157
Spanish brutality (Hearn)	11
Spanish race - their Cruelty (Hearn)	11
Speculations on life and death (Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
スペインであった話 (Hearn)	57
スペイン号との条約改正提案 (Hearn) ⇒ 神戸クロニクル論説集	34
スペイン号との条約改正提案 (Hearn) ⇒ ラファディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
Spirit photography (Hearn) ⇒ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Spiritualism (Hearn)	11
Spiritual sense in literature (May 1, 1887) (Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
スポーツ好き (和田正則)	75
Spring fever fancies (Hearn) ⇒ Editorials	26
Spring phantoms, April 21, 1881 (Hearn)	10, 13
St. Brandan's Christmas (Hearn)	10, 25
Steeple climbers (Hearn) ⇒ An American miscellany v. 1	25
Stone Buddha (石仏) (Hearn)	14, 22
Stories and sketches (of Lafcadio Hearn)	24, 45
Stories from Emile Zola	40
Stories from Pierre Loti	39, 40
Stories from strange books (Hearn)	23
Stories from Lafcadio Hearn	45
Stories of Chugoro	45
Stories of Japanese life (Hearn)	23
Stories of Moslem lands	11, 13
Stories of mystery from Lafcadio Hearn	45
Story and studies of strange things	20
Story of a fly (Hearn)	45, 68
Story of a Futon in Tottori (Hearn)	41, 45, 69
Story of an Orientarist (Hearn) ⇒ Editorials	27
Story of Aoyagi (Hearn)	9, 21, 22, 41, 43, 45, 69, 70
Story of a phesant (Hearn)	20, 41, 45
Story of a slave ⇒ Barbarous Barbers and other stories	26
Story of a Tengu (Hearn)	9, 15, 17, 18, 23
Story of a West-Indian slave	14

Story of Chugoro(Hearn)	20, 45
Story of divination(Hearn).....	15, 17, 18, 24, 41
Story of fly(Hearn)	20, 68
Story of forty Centuries old(Hearn) ⇒ Oriental articles	28
Story of Ito Norisuke(Hearn).....	16, 22, 44
Story of Kogi the Priest(Hearn)	19, 23, 24, 41, 44, 46, 69
Story of Kwashin Koji(Hearn)	19, 24, 43, 45, 69
Story of Mimi-Nashi-Hoichi(Hearn)	9, 20, 21, 22, 23, 35, 38, 43, 44, 45, 69, 70
Story of Mimi-Nashi-Hoichi, Mujina & Yuki-onna(Hearn)	45
Story of Mining-Y. (Hearn)	9, 11, 12, 13, 22, 41
Story of O-Kame(Hearn).....	9, 20, 21, 23, 45
Story of O-Tei(Hearn)	9, 20, 21, 22, 41, 42, 43, 46, 67, 70
Story of the Girl TS'ing	45
Story of Umetsu Chubei (梅津忠兵衛) (Hearn)	19, 23, 24, 46, 69
Story of Urashima (Hearn)	44
Storytelling women in Lafcadio Hearn's life(Nishi Masahiko)	76
ストラコシュ・オペラ座の思い出(Hearn)	58
Stranger than fiction (Hearn)	16, 22, 24, 42
Strangeness and charm (Hearn)	18, 35, 41, 45, 68
Stranger, April 17, 1880(Hearn)	10, 12
Stranger than fiction(Hearn).....	45, 68
Strange stories(Hearn).....	19, 24, 46
Stray leaves and fantasions and fanies	12
Stray leaves from strange literature(Hearn)	12, 13, 45
Streets last night(Hearn) ⇒ Oriental articles	28
Street singer(Hearn).....	19, 20, 22, 23, 41, 42, 68
Struggles and triumphs(Hearn) ⇒ Barbarous Barbers and other stories	26
Students' English series	42
Studies emphasize years Hearn spent in Caribbean lands[Japan Advertiser]....	154
Studies here and there(Hearn)	19, 24
Studies in Creole(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
Studies in human nature(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
Studies of English literature in Japan, 1936-1940	140
Studies of Negro life(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
Study and play(Hearn) ⇒ Editorials	27
Study of half-braeed race in the West Indies(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
素晴らしい散文家(Hearn)	58
Subhadra(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
Submarine gossip(Hearn) ⇒ Editorials	27
Sub Worthington suit(Hearn) ⇒ Barbarous Barbers and other stories.....	26
Successor of Tamerlane(Hearn) ⇒ Oriental articles	28
スーダンでの奴隷制度とマホメット教(Hearn)	57
素顔の八雲 (寿岳文章) [朝日新聞]	160
Suggesion(Hearn).....	15, 17, 18
杉の間 (ラフカディオ・ハーン著作集)	56
優れた三つの面 (西村一郎) [島根新聞]	163
推恵神社 [山陰中央新報]	171
数奇に富んだ生涯 [山陰新報]	165
住まぬ地にハーン通り.....	175
Sunday enjoyments(Hearn)	11
Sun spams(Hearn) ⇒ Editorials	27
Sun's end(Hearan) ⇒ The new radiance and other scientific sketches	28
Superstitutions(Hearn) ⇒ The new radiance and other scientific sketches ..	28
Supplement to a history of English literature(Hearn).....	38
Survivals(Hearn).....	38
鋭い小泉八雲の直感力 (西崎一郎) [北日本新聞]	167
趨勢一瞥(Hearn)	48, 52, 55, 56, 67
ステンショウ (染村絢子) (へるん 第30号)	120

崇徳上皇のご遺跡を巡りまつりて(1)(2) (藤原巳代子) (へるん 第19, 20号) …	115
数多のマーディ(Hearn) …	57
鈴々子さんと小泉家の回想：学校で机を並べた浅岡すみさんの話 (福井昭三) (八雲) …	138
スワンソン氏旧蔵「ハーン・コレクション」 (新田満夫) …	140
「シドニー号」紛争(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集 …	34
「シドニー号」紛争(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34, 52
Sympathy of Benten(Hearn) …	14, 24
Sympathy with China(Hearn) ⇨ Editorials from the Kobe Chronicle …	31

T

旅人 (小泉八雲全集) …	55
旅日記から (旅日記より) (Hearn) …	48, 50, 55, 56, 63, 64, 67
旅の宿の夜話(Hearn) …	65
多忙だったヘルン先生 (宮崎啓子) …	191
唯だ一個の丸薬函 (小泉八雲全集) …	55
多発する犯罪 …	59
泰文堂英語研究文庫 …	46
隊長フラカス(Hearn) …	57
対談：日本を知ることとは世界を知ること (平川祐弘、加藤純平) …	150
頽廢の芸術(Hearn) …	65
体育：両親へのヒント(Hearn) …	56
大国の未来(Hearn) …	58
タイロア博士の古代亜米利加に於ける日本の影響(Hearn) …	55
大盛堂書房英文学叢書 …	45
大佐殿の部屋借り(Hearn) …	47, 66
Taiseido short English story series …	45
大社町でも慰霊祭〔山陰新報〕 …	166
大社町に現存するハーン文献(1)(2)(3)(4) (中和夫) (へるん 第20、21、 22、24号) …	115, 116
大社のおたみさん (市河三喜) …	108
台湾における日本軍兵士(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論文集 …	35
台湾における日本軍兵士(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル 論文集 …	36
太陽系の運命(Hearn) …	56
太陽の終末(Hearn) …	57
太上感応篇 (増田渉) …	109
高田先生 (須沼吉太郎) …	150
嵩山 …	50
嵩山〔山陰中央新報〕 …	172
嵩山は望夫山か (梶谷泰之) (へるん 第19号) …	115
嵐の夢(Hearn) …	48
タクシー・サイクス(Hearn) …	57
Talent and genius(March 21, 1886)(Hearn) ⇨ Essays on American literature …	32
Tales a picture tells(Hearn) …	24, 41
Tales retold from Indian and Buddhist literature(Hearn) …	12, 13
Tales in poetical prose(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 2 …	25
Tales of a fan, July 1, 1881(Hearn) …	10, 13
Tales of the haunted(Hearn) ⇨ An American miscellany v. 1 …	25
Tales out of the East …	13
Tale of the Porcelain-God (Hearn) …	9, 11, 12, 13, 22
Talk to writers(Hearn) …	38
七夕まつり形成基礎論 第1編 (中塩清臣) …	150
七夕物語(Hearn) …	70
タルマツト瞥見(Hearn) …	58
タルムッドの伝説 (タルムッドのを書更めし伝説) (Hearn) …	48, 52, 66
魂について(Hearn) …	51, 52, 61, 67

魂の数(Hearn)	65
魂の教師ラフカディオ・ハーン：教師における＜想像力＞とは何か(池田雅之)	140
玉の光の梓弓：秋月胤永の書幅(佐藤俊之)(へるん 第30号)	121
玉の願い(Hearn)	62
玉造温泉(錢本健二)	73
玉若酢命神社と大杉〔山陰中央新報〕	172
タメルランの後継者(Hearn)	57
田部隆次著「西田幾太郎の手紙」から(染村絢子)(へるん 第21号)	115
田部隆次氏告別式のお礼ハガキ	8
誕生より来朝までの小泉八雲先生(内ヶ崎策三郎)	79
短歌(秀川尚子)(へるん 第27号)	118
短歌：ハーンロード(秀川尚子)(へるん 第26号)	118
短歌：ヘルン五世誕生(秀川尚子)(へるん 第30号)	120
短歌：小泉八雲旧居(内田宝谷)(へるん 第32号)	121
短歌：水温む(秀川尚子)(へるん 第28号)	119
短歌：悠久の愛(秀川尚子)(へるん 第29号)	120
短歌：八雲旧居にて(秀川尚子)(へるん 第31号)	121
短歌十首「八雲椿」(秀川尚子)(へるん 第33号)	122
短歌八雲を憶う(小淵空明)	109
Tannery Horror. Fred Egner's frightful testimony. He reiterates that terrible confession ... (Cincinnati Enquirer, Nov. 12, 1874)	30
探索と観察(野津直久)	75
Tantalus in a street car(Hearn)	11
Tan-Yard murder story(Hearn)	25
「たらいの中で恋をすれば、底がぬける」(Hearn)	56
多彩な小泉八雲記念行事(小森典)〔富山新聞〕	167
たかかう仮想舞踏会：小泉八雲の文学・その伝統的紀行(石一郎)	140
Taxing cats(Hearn) ⇔ Buying Christmas toys and other essays	26
T Crown reading series	43
堤防の生活(Hearn)	56
定期刊行物の新機軸(Hearn)	57
帝国議会開院(錢本健二)	75
停車場で(にて)(Hearn)	48, 50, 51, 52, 55, 56, 63, 64, 67, 68, 96
「停車場にて」を読んで(小幡秀雄)(へるん 第25号)	117
手まわし風琴について(Hearn)	57
Temptation of St. Anthony	40
「天地人」欄の論説〔北日本新聞〕	159
天狗の話(天狗譚)(Hearn)	50, 51, 53, 63, 64, 67
「天上の歌」(Hearn)	58
天空の松江城〔山陰中央新報〕	171
天然痘(Hearn)	48, 66
天に花火・地にドウ〔島根新聞〕	162
天王寺(Hearn)	68
Tennoji(Hearn)	68
天皇を擁護した二人のアメリカ人：フェラーズとヴォーリズ(椎名駿輔)(へるん 第30号)	119
天皇誕生日(梶谷泰之)	75
テニスンの「ロックスレー・ホール」(Hearn)	57, 65
天女(Hearn)	64
天理図書館蔵ハーン文庫目録(天理図書館)	4
天才の罪科(Hearn)	57
天才を問う(Hearn)	57
転生(Hearn)	66
天声人語〔朝日新聞〕	176
天成の教師(仙北谷晃一)	75
天体地質学(Hearn)	57
テレビ「日本の面影」によせて、曾祖父西田平兵衛・マツの事ども(桑垣琴子)(へるん 第23号)	116
Terrible winter(Hearn)	11

テトスの伝説(Hearn)	66
哲人何処にありや(齊藤信策)	103
That old picture(Hearn)	27
Theories and facts about population(Hearn)	
⇒ Buying Christmas toys and other essays	26
There are no more giants(Hearn)	26
Three dreams(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
Three popular ballads (Hearn)	16, 19, 20
Ti Canotie(Hearn)	9, 13, 14, 22
Tintend art(Hearn) ⇒ Editorial	27
ティロッタマーの創成(Hearn)	66
Titles of the graduation theses, 1937, 1939	140
<講演>東亜の将来	50
東大でもハーン展〔夕刊山陰〕	162
東大赴任直前のハーンの行動について(正、続)(梶谷泰之)	113, 114
東大講義(染村絢子)	117
東大在学中の回想(深作安文)	140
兎糞録(和田垣謙三)	103
投稿・心霊論の唯物主義「神戸クロニクル」の編集者へ(Hearn)	
⇒ 神戸クロニクル論説集	34
投稿・心霊論の唯物主義「神戸クロニクル」の編集者へ(Hearn)	
⇒ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
常世の国(Hearn)	49
特派員としてのハーン: 来日の事情とその成果(西村六郎)(国文学 解釈と鑑賞)	141
特異なヘルン文庫〔帝国大学新聞〕	158
徳島のモラエスの跡を尋ねて(藤原巳代子)(へるん 第18号)	114
<特集>ハーン、百年後の解釈(無限大)	140
<特集>「ヘルン文庫」とL・ハーン来日百年(とやま文学)	140
<特集>いまよみがえる小泉八雲の世界〔山陰中央新報〕	170
特集・小泉八雲が見た不思議な日本人(サライ)	141
特集・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)と日本(国文学 解釈と鑑賞)	141
東京文学散歩 : 山の手篇	103
東京文学散歩の手帖(野田宇太郎)	103
東京からの手紙(Hearn)	70
トルストイの説く「知恵の空しさ」(Hearn)	58
Tolstoi's theory of art(Hearn)	46
(ラフカディオ・ハーン) 富大で小泉八雲生誕祭〔北日本新聞〕	159
富大へ小泉八雲のレリーフ〔北陸中日新聞〕	173
富大にハーンのレリーフ(富山新聞)	173
富大に誇る「ヘルン文庫」〔読売新聞富山版〕	160
富大に残るヘルン文庫、今ではお国の宝〔富山新聞〕	158
富大のヘルン文庫視察〔北陸中日新聞〕	174
富大のヘルン文庫よこせ〔北日本新聞〕	158
友忠と青柳(Hearn)	49
トンボ(Hearn)	63, 67
To Ochiai(Hearn)	44
To Otani(Hearn)	44
鳥と少女(Hearn)	55, 66
鳥妻(Hearn)	48, 62, 66
Torn letters(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	25
To the fountain of youth	12
トートの書(Hearn)	48, 66
Tottori legend(Hearn)	44, 68
鳥取のふとん(布団)(鳥取の布団のはなし)(鳥取の伝説)(Hearn)	47, 50, 64, 68, 69
Towards the gulf(Jan. 2, 1887)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
トワレグ族(Hearn)	57
富山大学ヘルン文庫所蔵ヘルン関係文献解説付目録	2

富山大学のヘルン文庫 (三原弘)	73
富山ヘルン文庫訪問 [北日本新聞]	168
富山高等学校のヘルン図書館 [北陸タイムズ]	157
富山の小泉八雲生誕百年祭	147
外山正一宛小泉八雲の書簡 (渡辺沢見)	141
外山正一と小泉八雲 (渡辺沢見) (へるん 第10号)	113
外山正一と小泉八雲: 新出の外山氏宛八雲書簡の紹介 (河合忠信、赤鳥八重子)	141
東洋学論集(Hearn)	57
東洋における西洋の驚異(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
東洋における西洋の驚異(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル 論説集	34
東洋における私の第一日 (極東の第一日) (東洋の土を踏んだ日) (Hearn)	50, 52, 55, 62, 63, 66, 68
東洋の珍しい話(Hearn)	51
東洋の珍しき品々(Hearn)	58
東洋のソロモン物語(Hearn)	58
東西文学評論(Hearn)	58, 65
東西文芸評伝 (高安月郊)	103
東西間の産業競争(I)(II)(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
東西間の産業競争(I)(II)(Hearn) ⇨ ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル 論説集	34
盗賊の子(Hearn)	48, 66
Trades and professions(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Tradition of Tea-Plant (Hearn)	9, 12, 13, 22
Tradition of titus(Hearn)	12, 13, 44
Traditions retold from the Talmud(Hearn)	12, 13
Translating and multilating (Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Travel(Hearn)	9, 23
Travel an educating influence(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Treatment of children(Hearn) ⇨ Buying Christmas toys and other essays	26
Triple alliance in the farther east(Hearn)⇨ Editorials from the Kobe Chronicle	32
Trip to Izumo(Hearn)	41
Tropical intermezzo(Hearn)	11, 12
Tropical literature(Hearn) ⇨ Literary Essays	27
Trumps(Hearn)	11
土井晩翠のこと (野坂東作) (へるん 第20号)	115
衝立の女(The screen-maiden) (衝立の乙女) (Hearn)	49, 52, 53, 55, 63, 67, 69
<追悼> 矢野峰人先生を悼む (本田秀夫) 根岸啓二さんの思い出 (錢本健二) 和井田先生のこと (榎本幹生) (へるん 第26号)	118
追悼・森亮氏 (池橋達夫) (へるん 第31号)	121
塚を築いた人びと	58
月がほしい(Hearn)	49, 67
月の顔 (小泉八雲全集)	52
妻節子 (セツ) と子供たち (小泉時) (国文学 解釈と鑑賞)	141
露の一滴(Hearn)	50, 51, 53, 55, 62, 67
ツヴァイク「ラフカディオ・ハーン」 (野島幹郎) (へるん 第27号)	118
Twelve best short stories from British and American writer	42
Two Arnolds(Hearn) ⇨ Editorials	27
Two curious cases of suicide(Hearn) ⇨ The new radiance and other scientific sketches	27, 28
Two legends in Matsue	41, 44
Two strange festivals	16, 17, 35, 44
Two unpublished Hearn Letters(O. W. Frost)	141
Two years in the French West Indies I	14
Two years in the French West Indies II	14

U

乳母桜(姥さくら)(Hearn)	49, 50, 53, 55, 63, 67, 70
Ubazakura(姥桜)(Hearn)	9, 21, 22, 38, 41, 44, 69, 70
UBAZAKURA = 乳母桜(山本供平・訳)	105
上田敏の英語学観(島田謹二)	150
上田敏集・厨川白村集・阿部次郎集(現代日本文学全集)	103
上野図書館の八雲記念碑をたずねて(藤森きぬえ)(へるん 第24号)	116
氏神のやくそく(Hearn)	61
Ultima thule(Hearn)	11
Ultimate questions	16, 22
Ultra-canal talk(Hearn)	11
Ululation(Hearn)	15, 17, 18
生まれかわり(Hearn)	49
梅謙次郎と八雲のことなど(後藤昂)(へるん 第19号)	114
梅津忠兵衛の話(The story of Umetsu Chubei)(Hearn) 49, 50, 51, 52, 53, 63, 64, 67, 70	
海辺(村松真一・訳)	91
海辺の墓地〔山陰中央新報〕	172
「海辺」覚え書き(村松真一)(八雲)	143
海へびはウナギなりや	58
「海」へ向かう峠：全国八雲夢街道写真展を終えて(越野勝)(へるん 第27号)	118
海の文学(Hearn)	70
海の力(Hearn)	70
海のほとりにて(Hearn)	53, 64, 67, 70
運動競技(Hearn)	56, 70
Undying one, Sept. 18, 1880(Hearn)	10, 12
Une lignee du regard interculturel - W. Jones, E. Burnouf et L. Bearn(Takeuchi Nobuo)	76
Unfamilliar Lafcadio Hearn (Kenneth R. Kirkwood)	90
Unfolded mysteries(Hearn) ⇔ The new radiance and other scientific sketches	28
雲海、亀斎彫刻展〔夕刊山陰〕	163
Un Revenant	13, 14
Unselfish self-control(Hearn)	24, 41, 45, 68
UP 選書	98, 99
占いの話(Hearn)	50, 51, 53, 63, 65, 67
占いの話と「梅花心易掌中指南」(布村弘)	136
浦島伝説(Hearn)	63
浦島になりたかったハーンの目の前で消失した龍宮(長尾龍一)	141
うれしい松江の好意〔朝日新聞島根版〕	166
嘘の進歩(Hearn)	56
失われた音楽(Hearn)	58
失われた照応・見出された照応(1) 小泉八雲書簡の削除部分 (2) 未刊行の小泉八雲 書簡(錢本健二)	141
牛津英文学辞典とLafcadio Hearn(岡田幸一)	141
薄明の認識(Hearn)	49, 50, 67
薄暗がりの神仏(小泉八雲全集)	52
薄絹を脱ぎし美女(Hearn)	57
美しい声、鋭い目(日高只一)〔島根新聞〕	163
美しき助手、節子夫人〔時事通信〕	160

V

ヴァレンタインの日に思う(Hearn)	56
Valentine varies(Hearn)	24
ヴァレット(ワレット)余談(梶谷泰之)(へるん 第19号)	115
Valley of unrest(May 4, 1884)(Hearn) ⇔ Essays on American Essays	32
Value of novels(Jan. 23, 1879)(Hearn) ⇔ Essays on American Essays	32
Value of Shinto(Hearn) ⇔ Editorials from the Kobe Chronicle	32

Value of the imaginative faculty	105
Verse and prose translations(June 16, 1884)(Hearn)⇒ Essays on American Essays	32
Verette(Hearn)	13
Vespertina cognitio(Hearn).....	15, 24, 42
Value of the supernatural in fiction(Hearn).....	43
ヴィクトル・ユーゴー(Hearn)	57
ヴィクトル・ユーゴーの死(Hearn)	57
ヴィクトル・ユーゴーの誕生日(Hearn)	57
Victor Hugo(Hearn) ⇒ Literary Essays	27
Victor Hugo's birthday(Hearn) ⇒ Literary Essays	27
ヴィクトリア朝詩歌論(矢野禾積)	103
ヴィクトリア朝哲学	60
Victorian philosophy(Hearn)	38
Violent Cremation(Hearn).....	9, 22, 24
Violent cremation. Saturday night's horrible crime. A man murdered and burned in a furnace.... (The Cincinnati Enquirer, Nov. 9, 1874)	29
Vision of Ecdhard and other poems(Dec. 4, 1878)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
Vision of the dead Creole, Sept. 5, 1880	10, 12
Visit to New Orleans(Hearn)	11
Vistor(Hearn)	11
Vivit Post Funera Virtus(March 26, 1882)(Hearn) ⇒ Essays on American literature	32
Voices of dawn(Hearn)	9, 11, 22
Voice of the great bell(Hearn).....	14
ヴォヴァリー夫人(Hearn)	57
Vultur Aura (Hearn)	11, 12

W

ワグナー崇拜者(Hearn)	57
わが国近代文化とハーゲン(池野誠)(へるん 第8号)	113
わが国に於ける英文学研究(島田勤二)	141
わが家の女中(Hearn)	48, 66
わが心わが山陰: 小泉八雲の見た神々の里	90
わが国最古の銭湯奈良の「御夢想湯」(藤原巳代子)(へるん 第21号)	115
和井田先生のこと(榎井幹生)(へるん 第26号)	118
ワイナモイネンの医方(Hearn)	48, 63
若返りの泉(Hearn)	39, 47, 50, 51, 52, 63
和解(The Reconciliation)(Hearn)	49, 50, 52, 53, 55, 63, 65, 67, 69
若き日の文学探究(古谷綱武)	103
若き日のヘルン(島谷照夫)	90
若き日のラフカディオ・ヘルン(平岡伴一)〔富山新聞〕	168
若き日の上田敏と英文学(島田謹二)	141
若き八雲の短歌観(長谷章久)	141
若さの泉(若さの香)(Hearn)	47, 52
Wandering ghost: the odyssey of Lafcadio Hearn (Jonathan Cott)	91
笑いの有害論(Hearn)	57
われ限りなくHearnを愛す(津田昇)	141
悪いやつ物語(安野光雄)	96
早稲田時代の小泉八雲: 八雲と逍遙との交流をめぐって(関田かおる)	142
早稲田より三月分入る(染村絢子)(へるん 第30号)	120
Was Hearn a genius? (Pasadena Star-News)	156
和紙と八雲(寿岳文章)	109
忘れ得ぬ風貌(井上哲二郎)	141
私が花であった時(小泉八雲全集)	55
私は母を讃う、「傷つけるのは兄」と〔大阪朝日新聞〕	159

私の心の鏡：小泉八雲（木村涼子）（へるん 第22号）	116
私の極東に於ける第一日 ⇒ 東洋における第一日	
私の「おしどり」（よどえきみえ）	116
私の最初の小説（私の最初のロマンス）(Hearn)	53, 65
私の戦中戦後史抄(9) 向日庵の思い出（寿岳文章）	141
私の卒業論文とハーン（手塚竜麿）（明治村通信）	135
私の守護神（私の守護天使）(Hearn)	54, 62, 65
私のすすめる英書（石田憲次）	141
私とハーン（富士川和男）（へるん 第2号）	112
私と出雲（花田尚友）（へるん 第19号）	115
私と出雲・姉の思い出（花田尚友）（へるん 第20号）	115
業の力	52
禍という怪物の話(Hearn)	51
Weird tales(Hearn)	9, 23
ウェルドン宛(1890年1月31日付)（銭本健二）（へるん 第25号）	117
Were there communists in antiquity? (Hearn) ⇒ Editorials	26
West Indian Society of Many Colorings(Hearn)⇒ An American miscellany v. 2	25
ウェストンとハーン（井上嘉雄）	142
What is in name?(Hearn) ⇒ Literary Essays	27
What is light?(Hearn) ⇒ Editorials	27
Whatever the living possess is from the dead(Hearn)	24, 41, 45, 66
When I was a flower, Aug. 13, 1880(Hearn)	10, 12
ホイットマン紹介をめぐって：小泉八雲から民衆詩派へ(1)（小玉晃一）	141
ホワーキング・ミラー	57
Why crabs are boiled alive(Hearn)	9, 11, 22
Wicked French Marshals(Hearn)	11
ワイルドのアメリカ公園旅行とヘルン（河野賢司）（へるん 第29号）	119
Wife and mistress. The whole story of the late child murder. A marriage "On honor" and a liaison on love... (The Cincinnati Enquirer, Oct. 6, 1874)	29
William M' Dole, an interview with the alleged Lawrenceburg murderer. The lynching talk and the changes. (The Cincinnati Enquirer, June 29, 1874)	29
Will the time come when all men will be wise?(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essays	26
Winter journey to Japan(Hearn) ⇒ An American miscellany v. 2	21, 25
Wish fulfilled(Hearn)	22
With fulfilled(an extract from "Out of the East")	105
With Kyushu students（九州の学生と共に）(Hearn)	22, 35, 66
Within the circle(Hearn)	14, 15, 16, 34
Wolf's vengeance. A Butcher's "Clean" work upon a human art. The story of a slaughterhouse tragedy. The Cincinnati Enquirer, Dec. 10, 1872	28
Woman's diary (Hearn)	9, 20, 23, 42
Woman's eyes(Hearn)	11
Woman's influence (Hearn) ⇒ Editorials	27
Women of the Sword(Hearn)	10
Wonders Assassination(Hearn)	26, 45
Works of Yone Noguchi	84
World owes me a living(Hearn) ⇒ Buying Christmas toys and other essays	26
World's journalism(Hearn)	26
World's worship(Hearn) ⇒ Oriental articles	28
Worship and Purification(Hearn)	34
Worships and the world(Hearn) ⇒ Barbarous Barbers and other stories	26
Writer paid rare honors at memorial(Montebello News)	154
Writing of Kobodaishi(Hearn)	16, 17, 44
Writing of short poems(Hearn)	41, 45, 68
Writings from Japan(Hearn)	4, 38
Writings of Lafcadio Hearn. v.1	11
Writings of Lafcadio Hearn. v.2	13
Writings of Lafcadio Hearn. v.3	13
Writings of Lafcadio Hearn. v.4	14

Writings of Lafcadio Hearn. v.5	16, 17
Writings of Lafcadio Hearn. v.6	16, 17
Writings of Lafcadio Hearn. v.7	22
Writings of Lafcadio Hearn. v.8	15
Writings of Lafcadio Hearn. v.9	20
Writings of Lafcadio Hearn. v.10	23
Writings of Lafcadio Hearn. v.12	18
Writings of Lafcadio Hearn. v.13	86
Writings of Lafcadio Hearn. v.14	87
Writings of Lafcadio Hearn. v.15	87
Writings of Lafcadio Hearn. v.16	77, 87

X

Y

野蛮床屋(Hearn)	57
破られた手紙(Hearn)	56
破られた約束 (Of a promise broken)	52, 63, 64, 67, 69
「破られた約束」のルーツを考える(伊藤亮輔)(へるん 第25号)	117
破られた友情 : ハーンとチェンバレンの日本理解(平川祐弘)	91
八重垣神社(Hearn)	50, 52, 55, 62, 66, 68
八重垣神社 上、中、下〔山陰中央新報〕	171
Yaegaki-Jinja (八重垣神社)(Hearn)	16, 17, 68
八重垣神社・神魂神社(錢本健二)	75
焼津(Hearn)	67
焼津町の歌(染村絢子)(八雲)	143
焼津中央高校のクラブ活動: 焼津と小泉八雲(村松真一)(八雲)	143
焼津だより(高田路久)(へるん 第23号)	116
焼津で購入、ハーン直筆「小説より奇」とハーンの小説について(新村日新)(八雲)	143
焼津におけるハーン関係資料(村松真一)(八雲)	143
焼津における一雄からセツへの手紙(小泉時)(八雲)	143
焼津に於ける小泉八雲(鈴木賢)(八雲)	143
焼津における小泉八雲 : 四つの随想(村松真一)(八雲)	91
焼津における小泉八雲の作品とその周辺(鈴木賢)(八雲)	141
焼津に於ける八雲祭	142
焼津にて(Hearn)	50, 53, 63, 65, 70, 91
焼津にて(尾崎孝)	115
焼津のハーン関係資料(村松真一)	141
焼津の海と八雲(小泉一雄)〔読売新聞〕	155
焼津の八雲旧住(北山宏明)(へるん 第12号)	113
焼津の八雲遺品について(鈴木賢)(八雲)	143
焼津を愛した小泉八雲とは(服部毅一)(八雲)	142
焼津と小泉八雲(三宅驥一)	153
焼津と市宝(梶谷泰之)(八雲)	143
焼津と八雲(1)(2)(3)(4)(西野影四郎)(八雲)	143
焼津と八雲: 富士を中心に(三宅驥一)〔大阪朝日新聞〕	153
焼津と私(福間直子)	138
焼火山〔山陰中央新報〕	172
夜光虫(Hearn)	53, 63, 67
約六百人が集い〔島根新聞〕	163
約束(Hearn)	50, 51, 53, 63
約束を守る(Hearn)	7, 49, 65, 69
約束を破る(Hearn)	49, 69
やくざ行状記(Hearn)	57
八雲 第1号-第2号	142
八雲 第3号-第9号	143

八雲 第7号・あとがき(鈴木賢)	143
八雲愛用のカエルペン先入れ:名工松崎仙石のこと(三原弘)(へるん 第32号)	121
八雲あれこれ(小瀧空明)	109
八雲没後八十年を顧みて(小泉時)(へるん 第22号)	116
八雲文学遺聞(本田秀夫)(へるん 第14号)	114
八雲文献展示会〔日本読書新聞〕	160
八雲文庫を世界の宝に(西崎一郎)〔北日本新聞〕	166
八雲著作の邦訳題名 正、続(森亮)(へるん 第26、27号)	117, 118
八雲彫像贈呈式	144, 147
八雲描いた日付印〔山陰新報〕	166
八雲夫婦のための追善供養(新日米)	154
八雲が何度も戻ってきた(堀内守)	127
八雲「ヘルン文庫」が縁、ローナンアイルランド大使富山大に〔読売新聞〕	174
八雲時代の松江(太田直行)	109
八雲遺品の原稿窃まる:展覧中に〔大阪朝日新聞〕	153
八雲会などあれこれ(1)(2)(和田正則)(へるん 第20号)	115
八雲会報 第11号、第12号、第13号	144
八雲会員なればこそ(藤原巳代子)(へるん 第27号)	118
八雲会だより(故一雄氏の病状など)(へるん 第3号)	112
八雲会だより(矢野峰人博士の講演会)(へるん 第6号)	113
八雲会の思い出(要旨)(講演)(梶谷泰之)(へるん 第32号)	121
八雲会を省りみて(梶谷泰之)(へるん 第27号)	118
八雲会総会記念講演:小泉八雲とフランス(西村六郎)(へるん 第31号)	121
八雲会創立(池野誠)(へるん 第27号)	118
「八雲会」と研究誌「へるん」創刊	147
八雲館完成に英文学者起つ〔ザ カワセタイムズ〕	155
八雲、一雄再考	143
八雲研究班の傍証(中和夫)(へるん 第19号)	114
八雲研究会	144
八雲研究会	147
八雲研究・回顧と展望(銭本健二)	78
八雲研究と諸家の憶いで(小沢明子)	135
八雲記念碑(駅前)について(北山宏明)(八雲)	142
八雲記念委員会生る〔日本読書新聞〕	160
八雲記念館〔東京朝日新聞〕	156
八雲記念館が開館式(松江)〔朝日新聞〕	169
八雲記念スタンプ〔読売新聞〕	161
八雲忌〔92回忌報告〕	180
八雲忌句会報告記(長谷川延生)(八雲)	143
八雲忌句会によせて(長谷川延生)(八雲)	143
八雲忌と芭蕉英訳(椎名俊輔)(へるん 第24号)	117
八雲忌と加藤鱸人(漢東種一郎)(へるん 第19号)	114
八雲忌全国俳句大会について 第1回 並びに特選句(漢東種一郎)(へるん 第22号)	116
八雲忌全国俳句大会について 第2回(漢東種一郎)(へるん 第23号)	116
八雲忌全国俳句大会について 第2回 第3回 第4回 第5回(へるん 第24、25、26号)	117, 118
八雲熊本旧居復原完成(くまもとハーン通信)	181
八雲旧居	50
八雲旧居おなごあるじ:根岸菖蒲さんの小泉八雲(伊藤益臣)	144
八雲旧居尋訪(本田秀夫)(へるん 第18号)	114
八雲旧邸・記念館を訪ねる(「野上弥生子日記」より)(へるん 第29号)	119
八雲未公開資料を展示〔中国新聞〕	173
八雲に関する英詩を作り米国で義金募集〔大阪朝日新聞〕	153
八雲・日本の私生活(中田賢二)〔読売新聞〕	174
八雲の墓所英文案内に誤り、一外国人が指摘〔報知新聞〕	156
八雲の文学:印象記の魅力その他(村松真一)(八雲)	143
八雲の文学と人生観(池野誠)(へるん 第1、2、4、5号)	75, 112, 113
「八雲の文庫」視察〔北日本新聞〕	174

八雲のコレクション (布施明子)	144
八雲の伝記と作品 [日本読書新聞]	163
八雲の第二住居時代 (石村春荘)	109
八雲の富士: 「富士山」を読んで (椎名俊輔) (へるん 第29号)	119
八雲の循環思想と焼津作品 (中山常雄) (八雲)	143
八雲の記念碑ギリシャに再建 [サンケイ島根版]	170
八雲の記念祭 [夕刊山陰]	161
八雲の心求め白村、逍遙、鉄幹ら50人 [朝日新聞]	169
八雲の心に触れる [朝日新聞富山版]	175
八雲の故郷へ日本から謝恩の碑面 [読売新聞]	154
八雲の子守歌 (福間直子) (へるん 第25号)	117
八雲の後任者夏日金之助 (椎名駿輔) (へるん 第31号)	121
八雲の未発表原稿発見 [朝日新聞]	174
八雲の身近か (小泉時)	50
八雲の紋所 (片寄生)	144
八雲の日本語 (村松真一) (八雲)	142
「八雲の日本」見たさ、米国からもお客さま [朝日新聞]	166
八雲の日本に対する予言・警告 (高西直樹) (へるん 第14号)	114
八雲の作品に現れた<白い光>の譬喩について (遠田勝)	144
八雲の性格 (高西直樹) (へるん 第16号)	114
八雲の足跡を訪ねて (小泉凡)	91
八雲の小説 (平井呈一)	48, 66
八雲の田村豊久宛書簡(1)(2)(3) (村松真一)	143
八雲の手作り英語教材: 「小泉父子英語練習帳」について (横山順子) (へるん 第29号)	119
八雲の早稲田 (関田かおる)	144
八雲の焼津の海での異人さん泳ぎ (新村日新) (八雲)	143
八雲の遊泳と喫煙 (小泉時) (へるん 第19号)	114
八雲の全初版本を松江市に寄贈 [北日本新聞]	173
八雲来日の頃の焼津 (福井昭三) (八雲)	143
八雲作品の翻訳閑談<桜井鷗村のこと> (本田秀夫) (へるん 第17号)	114
八雲生誕百三十年に寄せて (小泉時) (へるん 第17号)	114
八雲生誕百年祭盛大に挙行 [読売新聞]	162
八雲星雲 (速川和男)	110
八雲先生の松江時代 (奈良井金市)	72
八雲先生の観た斐川路 (岡義重)	75
八雲先生の思い出 (片岡きぬ) (八雲)	142
八雲先生を憶う (玉木光栄) (へるん 第5号)	113
八雲先生と一本の歯の下駄 (服部愛治) (八雲)	143
八雲先生とのめぐりあい (松村正江) (八雲)	142
八雲氏の「怪談」米国から出版注文 [読売新聞]	153
八雲新発見書簡に出る高木氏・佐久間氏のこと (内田映) (へるん 第31号)	121
八雲出生地、レフカダを訪ねて (西村六郎) [毎日新聞]	170
八雲出生地レフカダ島を訪ねて (北山宏明) (へるん 第24号)	116
八雲たつ出雲 (下重暁子)	90
八雲手引草 (平井呈一)	144
八雲と顎なし地蔵 (三原弘) (へるん 第31号)	121
八雲と秋成: 約束を読んで (椎名俊輔) 正、続 (へるん 第26、27号)	117, 118
八雲と仏教思想	49, 67
八雲と五高 (河原畑正行)	103, 144
八雲と俳諧	48, 66
「八雲」と「芳一」 (小泉凡)	144
八雲と芳一堂 (椎名俊輔) (へるん 第21号)	115
八雲と翻訳文学	48, 66
八雲とイエイツ: 詩「青銅の頭像」をめぐって (内藤史郎)	144
八雲と異国趣味 (平井呈一)	47, 66
八雲とジプシーと (関田かおる)	144
八雲と怪談 (平井呈一)	67
八雲と一雄 (小泉時)	127

八雲と近代文明	48, 67
八雲と神戸クロニクル(椎名俊輔)(へるん 第22号)	116
八雲と神戸の旧居(椎名俊輔)(へるん 第20号)	115
八雲と「楠木正成のうた」(本田秀夫)(へるん 第8号)	113
八雲と松島艦(高西直樹)(へるん 第20号)	115
八雲と民俗学(平井呈一)	66
八雲とモラエス:「蛭」をめぐって(秦敬一)(へるん 第29号)	119
八雲とモラエス:「モラエス翁蔵書遺品展覧会陳列品目録」から(秦敬一) (へるん 第28号)	119
八雲とモラエス:日本ポルトガル友好450年(秦敬一)(へるん 第30号)	120
八雲とモラエス:「日本通信」の中のハーン(秦敬一)(へるん 第32号)	121
八雲とモラエス:金比羅詣りをめぐって(秦敬一)(へるん 第33号)	122
八雲とモラエス:来日百年をめぐって(秦敬一)(へるん 第27号)	118
八雲と根岸家の由縁〔山陰新報〕	165
八雲と日本(平井呈一)	62, 67
八雲と日本:相違なる二つの立場(大西忠雄)	144
八雲と日本の道徳(高西直樹)(へるん 第23号)	116
八雲と日本の神神(北山宏明)(へるん 第4号)	143
八雲と日本庶民(高西直樹)(へるん 第29号)	119
八雲との出会い:松江(関田かおる)(へるん 第23号)	116
八雲と隠岐(阿部勝)	75
八雲とお酒「漂流」の福寿丸について(北山宏明)(八雲)	143
八雲と乙吉・焼津(福井昭三)(八雲)	142
八雲と蘆花文庫を訪ねて(椎名駿輔)(へるん 第32号)	121
八雲と再話文学(平井呈一)	63, 67
八雲と漱石(池田雅之)	126
八雲と藤村:八雲への関心について(八木功)(へるん 第33号)	122
八雲と坪内博士に心酔し当市に日本文庫を建設〔新日米新聞〕	155
八雲図書館〔毎日新聞富山版〕	169
八雲図書館にポンと八千余円〔読売新聞〕	156
八雲図書館設計図	8
八雲と机(小泉時)(へるん 第27号)	118
八雲と漱石を語る:座談会(くまもとハーン通信)	181
八雲と妻の座(長谷川泉)(明治村通信)	135
八雲と海 I, II, III, IV(西野影四郎)(八雲)	143
八雲と焼津海岸:「漂流」考(1)(2)(岩崎志濃)(へるん 第30,31号)	120, 121
八雲と焼津海岸:「漂流」を中心に(岩崎志濃)(へるん 第29号)	119
八雲と焼津海岸:「乙吉のだるま」と<魚街道>(岩崎志濃)(へるん 第32号)	121
八雲と焼津海岸:「乙吉のだるま」と八雲だるま(岩崎志濃)(へるん 第33号)	122
八雲と焼津海岸:焼津にてIを中心に(岩崎志濃)(へるん 第25号)	117
八雲と焼津海岸:焼津にてIIを中心に(岩崎志濃)(へるん 第26号)	118
八雲と焼津海岸:焼津にてIIIを中心に(岩崎志濃)(へるん 第27号)	120
八雲と焼津海岸:焼津にてIVを中心に、ジョン・キーツの「ギリシャの壺に寄せる歌」 との関わりをみる(岩崎志濃)(へるん 第28号)	120
八雲と私(安田公弘)(へるん 第23号)	116
八雲41歳の遺言状みつかる〔北日本新聞〕	176
八雲ゆかりの人(梶谷泰之)(へるん 第5号)	113
八雲全集を各国元首へ贈呈〔北国新聞〕	157
八雲像余談<気にかかること二三>(田中岩太郎)(へるん 第18号)	114
約束(Hearn)	50, 51, 53
厄除けと人形(小泉凡)	75
Yamaraja(Hearn)	12, 13
山口松五郎(銭本健二)	73
病のもと(Hearn)	67
柳田国男の強い刺激(古谷綱武)〔日本読書新聞〕	168
柳田・スコットの松江訪問と第一次八雲会:新聞資料より(小泉凡)(へるん 第20号)	120
柳田とハーン(小泉凡)	126
やなぎの木の霊(Hearn)	62

矢野峰人先生を悼む(本田秀夫)(へるん 第26号)	118
安井てつ伝(青山なを)	103
Ye	14, 66
Ye Giglampz(Hearn)	31
妖怪の歌(Hearn)	47
ヨカナンベン(Hearn)	66
陽気でないルイジアナ人(Hearn)	47, 66
横浜で(横浜にて)(Hearn)	48, 52, 62, 67
横木富三郎(梶谷泰之)	75
横木富三郎とそのノート(梶谷泰之)(へるん 第28号)	119
妖魔詩話	24
「妖魔詩話」随想(小泉時)(へるん 第21号)	115
嫁ヶ島伝説〔山陰中央新報〕	170
蘇った審美服(Hearn)	59
夜更けの波止場	65
夜店情緒(Hearn)	50
四千年むかしの話(Hearn)	57
妖霊「出雲不二」〔山陰中央新報〕	170
ヨーロッパに小泉八雲を訪ねる：わが文学紀行(池野誠)	93
欧羅巴の軍事状態(ヨーロッパの軍事事情)(Hearn)	55, 59
欧羅巴の未来(ヨーロッパの将来)(Hearn)	55, 59
夜光るもの(Hearn)	50
夜光る海の幻想(村松真一)(八雲)	142
淑のこと(鉦鹿敏子)(へるん 第19号)	114
妖精文学	64
妖精たちの棲むところ：ハーン「怪談」の世界(池田雅之)	144
養徳叢書	64
Youma(Hearn)	14
Young Hearn (O. W. Frost)	92
ヤングからハーンへの手紙一通	6
Y Porque? April 17, 1880(Hearn)	10, 12
郵便局(Hearn)	48, 66
ユダヤ人(Hearn)	58
ユダヤ式葬儀覚え書(Hearn)	58
ユダヤ的フランス(Hearn)	57
逝いて二十八年八雲追想会(羅府新報)	154
友情(フレンシップ)と軍艦(バトルシップ)(Hearn) ⇨ 神戸クロニクル論説集	35
友情(フレンシップ)と軍艦(バトルシップ)(Hearn) ⇨ラフカディオ・ハーンの神戸クロニクル論説集	34
誘拐犯処罰法(Hearn)	56
悠閑春秋〔北日本新聞〕	175
ゆかりの松江から熱い視線〔北日本新聞〕	175
ゆかりの水郷にハーン祭り展く〔島根新聞〕	162
浴衣のまま布団に座す〔山陰新報〕	165
雪の幻想(大森富士子)(へるん 第32号)	121
雪おんな(雪女)(雪をんな)(Hearn) 46, 47, 49, 50, 51, 53, 55, 62, 63, 67, 69, 70, 71, 72	
Yuki-Onna (雪女)(Hearn) 9, 21, 22, 23, 35, 41, 43, 45, 46, 50, 70	
「雪女」：悲劇のヒロインをめぐって(富塚博之)(へるん 第33号)	122
「雪女」：世紀末”宿命の女”の変容(牧野陽子)	78
Yuki-Onna and other stories(Hearn)	46
雪女の悲しみ：ラフカディオ・ハーン「怪談考」(橋正典)	92
「雪女」小考(中田賢次)(へるん 第19号)	114
「雪女」小考(つづき)付マルチニーク旅詠(中田賢次)(へるん 第20号)	115
「雪女」論：小泉八雲「怪談」論(その2)(中西芳絵)	144
勇子(Hearn)	48, 51, 62, 67
Yuko(Hearn)	22, 42
ユーマ：西インドの奴隷の物語(Hearn)	48, 52, 66
夢(Hearn)	49
夢飛行(Hearn)	53

夢の本から(Hearn)	63, 67
夢の都(Hearn)	47, 48, 55, 66
夢の日本か、現実の日本か : ハーン「英語教師の日記」から(平川祐弘)	90, 140
夢のような発明の可能性	58
夢を食うもの(Hearn)	50, 56, 64, 67
幽霊(Hearn)	48, 60, 66
幽霊に心ひかれて: ラフカディオ・ハーンの人生と著述(ロブ・ラフォンティン)	145
幽霊の接吻(Hearn)	55, 66
幽霊滝の伝説(The legend of Yurei-daki)(Hearn)	50, 51, 52, 53, 63, 64, 67
幽霊滝の伝説と樊噲(福間直子)	118
幽霊と化け物について(Hearn)	51, 52, 62
ユリイカ	110
有色人の娘(Hearn)	48, 52, 66
ユートピアへの夢想	63
夕暗の認識(小泉八雲全集)	53
譲れぬ八雲文庫〔読売新聞〕	159

Z

座談会: ハーンの講義と文学(川田順、矢野峰人、太田三郎)	145
座談会ハーンと高橋さん(和田正則、他)(へるん 第2号)	112
座談会・旧師八雲先生を語る(島根県立松江中学校英語科)	92
在日フランス人の眼(ポール・ボネ)	103
ザカイ師(Hearn)	66
残酷な三つの話のことなど: 横木富三郎ノートから(梶谷泰之)(へるん第31号)	121
雑誌文学における包含主義(Hearn)	65
雑誌文芸における折衷主義(Hearn)	58
雑誌の怪(Hearn)	57
雑篇	53
雑食性新聞(Hearn)	57
税関(Hearn)	47, 55, 66
全滅寸前の街並みパチリ、八雲撮影の写真贈呈〔新潟日報〕	175
前年から病魔の兆候(山陰中央新報)	170
禅の一間(禅書の一間)(Hearn)	50, 51, 52, 65
禅の公案(Hearn)	49, 67
前世の観念(Hearn)	48, 50, 52, 55, 56, 67
全訳小泉八雲作品集	64, 65, 66, 67
「贈位の碑」その他(鈴木賢)(八雲)	143
続・新資料紹介: 島根県尋常中学校におけるヘルンとその周辺(馬庭将光) (へるん 第22号)	116
続・ハーン資料と考証 [1][2](梶谷延)	145
続・ハーンと朔太郎: スペンサーの影響をめぐって(谷村忠樹)	118
ゾラ作「ボヌール・デ・ダーム百貨店」(Hearn)	58
ゾラ対検問(Hearn)	57
Zora vs. the censorship(Hearn) ⇒ Literary Essays	27
雑司ヶ谷のほとり(田中一生)	54, 127
増殖する雪おんな(藤原万巳)	110
随筆(Hearn)	50
随筆文鳥(戸川秋骨)	104
随筆八種(Hearn)	55
随筆ここかしこ(Hearn)	51, 53
随筆思慕の春(上田杏村)	104
<随想>へるん先生のみずうみ(渡辺兼直)(へるん 第24号)	117
<随想>明治らいぶ考(栗原弘子)(へるん 第24号)	117
<随想>初冬の譜(淀江きみえ)(へるん 第24号)	117
ツヴァイク「ラフカディオ・ハーン」(野島幹郎)(へるん第27号)	118

問題索引 (Index of topics for further study)

	ページ
有明に対する影響	
蒲原有明研究／矢野峰人著（刀江書院）	100
新体詩運動と西洋詩／太田三郎（比較文学研究序説 河出書房）	103
ビスランド（ウェトモア夫人）	
ビスランドとハーン／工藤美代子（雑誌「ユリイカ」）	88
E. ビスランドの日本滞在記／銭本健二（へるん 第25号）	117
ビスランドからのお悔やみ状／染村絢子（八雲 第6号）	143
文学は世論をつくるというハーンの説	
世界文学／古谷綱武著（市ヶ谷出版）	102
文芸批評家としてのハーン	
人生と文学／ラフカディオ・ハーン著；太田三郎訳（河出書房）	49
文芸批評家としてのHearn / 矢野禾積著（河出書房）	107
フェラーズ將軍	
フェラーズ將軍／小泉時（ヘルン今昔）	75
天皇を擁護した二人のアメリカ人（へるん 第30号）	120
ハーンとフェラーズ將軍（八雲 第4号）	143
母としてのヘルン夫人	
ハーンの三男、兄へ抗議（朝日新聞 昭和25年5月4日）	152
私は母を讃う、「傷つけるのは兄」と（大阪朝日新聞 昭和25年5月4日）	152
母を憶う／小泉清（大阪朝日新聞 昭和25年5月21日）	152
ハーンの子らに／村尾武二郎（朝日新聞「声」欄より 5月15日）	152
小泉セツ／村松直子	173
ヘルン文庫移譲問題	
ヘルン文庫移譲反対のはがき文〔投書〕昭和25年2月5日	6
ヘルン文庫をよこせ（北日本新聞 昭和24年10月30日）	151
どうなるかヘルン文庫（大阪朝日新聞 昭和24年11月3日）	151
小泉八雲生誕百年：蔵書三千を松江へ（大阪毎日新聞 昭和25年1月15日）	151
松江から正式に譲渡交渉（北日本新聞 昭和25年1月24日）	151
松江市から譲渡の願い（富山新聞 昭和25年2月3日）	152
簡単には渡せぬ：小泉八雲の蔵書、富大に松江から譲渡の催促（読売新聞 昭和25年2月28日）	152
ハーンが東洋へ関心を持ったキッカケ	
ハーンの東洋への思慕（へるん 第26号）	118
ニューオーリンズ博覧会／萩原順子（へるん）	118
ニュー・オーリンズ博覧会とハーン（英語青年 第111 巻第12号）	136
ハーンにおける古いものと新しいもの	
ヘルン文庫の今日的意義／佐伯彰一（富山新聞 昭和25年6月18日）	153
ヘルンを継ぐもの／佐伯彰一（北日本新聞 昭和25年6月25日）	154
ハーンの批評は1880年代的だという説	
イギリス文学史／斎藤勇著（研究社 1958）	99
ハーンと家紋	
家紋／後藤昴（へるん今昔）	75
小泉家元祖と家紋について（へるん 第23号）	115
八雲の紋所／片寄生（英語青年）	144
ハーンとセツの結婚	

(M-02)		
	松江に於ける八雲の私生活／桑原羊次郎著（山陰新報社 1953）	88
	小泉八雲と遺品（小泉八雲記念館 1954）	81
	ヘルンとセツの結婚(1)(2)（へるん 第12,13号(1975-76)）	112
	「ヘルンとセツの物語」創作ノートから／藤森きぬえ（へるん 第27号）	118
	今もハッキリ目に浮かぶ亡き夫、八雲の思い出（大阪朝日新聞 昭和4年 9月25日）	147
	左顧右盼（山陰新報 昭和29年9月25日）	158
ハーンの研究は精神分析的		
	文学研究と科学／土居光知（英語青年 第100 巻第6号(1954)より）	143
ハーンの本郷時代		
	熊本への旅／藤原巳代子（へるん今昔）	75
	小泉八雲新考／丸山学著（北星堂書店）	80
	熊本時代のヘルン氏／黒板勝美（帝国文学 小泉八雲記念号 1904）	79
	ラフカディオ・ハーン再考：百年後の熊本から／熊本大学小泉八雲研究会編 （恒文社 1993）	85
	ハーンの本郷時代／アラン・ローゼン（ラフカディオ・ハーン再考）	85
	ハーンの本郷時代に居住した書斎及び家主の「赤星家」の人々	94
	ハーンが愛した日本庭園と家主の赤星家の人々	94
	ハーンが熊本で最初に住んだ手取本町三十四番地の借家の床の間に掛けて あった掛け軸	94
	「ヘルンさんの熊本」／緒方惇	99
	熊本英学史／田中啓介編（本邦書籍 1985）	100
	八雲と五高／河原畑正行（斉藤勇博士古希祝賀論文集「英文学研究」 1955）	103
	熊本と小泉八雲（へるん 第29号 1992）	118
	熊本と小泉八雲（へるん 第29号）	119
	Lafcadio Hearn の熊本時代／丸山学著（日本英文学会 1935）	125
	熊本の小泉八雲旧居が復元完成／小泉時（八雲 第8号 1995）	139
	ヘルン旧居と戦災（英語青年）	146
	精力的な仕事を支えた熊本（くまもとハーン通信）	181
ハーンの右向き像		
	希臘の大理石に偲ぶ文豪八雲の面影（大阪朝日新聞 昭和8年9月29日）	149
	ハーンのリリーフ胸像（富山大学人文学部同窓会会報 No. 12(1990)）	290
ハーンの民族的没落予想説		
	明治時代に於ける西洋人の日本社会観／牧健二著（開国百年記念明治文化史 論集 角川書店 1952）	101
ハーンのもーパッサン紹介		
	日本文学とフランス文学／伊狩章著（比較文学 矢島書房 1957）	102
	日本比較文学会（英語青年 第99巻第12号(1953)）	142
ハーンの本郷観		
	ラフカディオ・ハーンの本郷観／築島謙三著（勁草書房 1964）	84
	ラフカディオ・ハーンの本郷観／西崎一郎（学生と日本 河合栄次郎編 日本評論社 1940 の中の文）	98
	ハーンの本郷文化観（東京文化研究所紀要）	111
	小泉八雲が見た日本国民性／高西直樹（へるん 第31号）	120
	小泉八雲の本郷観／太田三郎（明治村通信 第48号(1974)）	131
	「天地人」欄の論説（北日本新聞 昭和25年6月12,26日）	153
ハーンの本郷チックな神秘とDickinson の明せき		
	Japan's advance/by James A. B. Scherer (Hokuseido Press, 1934)	99
ハーンの本郷主義文学		
	Lafcadio Hearnの本郷主義文学／姫野誠二（滋賀県立農業短期大学学術報告 第2部第1号(1952)より）	127

ハーンの嗜好品	
外国タバコも吸う（毎日新聞）	166
小泉八雲が好んだ刻煙草白梅／須知善一（週間てんおん）	181
ハーンのすぐれた芸術的な形式	
Lafcadio Hearn/Hugo von Hofmannsthal (Gesammelte Werke in Einzel-	
ausgaben. Proza II. S. Vischer, 1951)	100
ハーンの系譜の追求	
ラフカディオ・ヘルンと日本／島田謹二（英語青年 第99巻第11号(1953))	129
ハーン東大辞任の事情	
東大退官前後／染村絢子（へるん 第25号）	117
小泉八雲と帝大／田部隆次（帝国大学新聞 昭和12年5月24日）	150
ハーンと英文修業	
英文修業五十五年（5）／伊地知純正（英語青年 第101巻第4号(1955)）	108
英文修業五十五年（7）（8）／伊地知純正（英語青年 第101巻第7,8号	
(1955)	108
ハーンと言文一致	
「沙翁全集」の思い出咄（上）／戸沢姑射（英語青年 第96巻第7号(1950)）	134
ハーンと神戸	
ハーンと神戸・東京時代／西川盛雄	85
神戸とヘルンと私／藤森きぬえ（へるん 第31号 1986）	115
八雲と神戸の旧居／椎名俊輔（へるん 第20号）	115
八雲と神戸クロニクル／椎名俊輔（へるん 第22号）	115
ハーンと神戸／椎名俊輔（へるん 第28号）	119
神戸のハーン居住地探索／中園岩男（へるん 第33号 1996）	120
ハーンとピエール・ロチ	
Stories from Pierre Loti/Albert Mordell	40
ロチの紀行文からハーンの紀行文へ／河島弘美（世界の中のラフカディオ・	
ハーン）	90
ペエル・ロティとラフカディオ・ハーン／馬場久治（雑誌「日本女性」）	138
ハーンとピエール・ロチ／船岡末利（図書新聞）	173
ハーンと劣等感	
小泉八雲について／小森典（富山大学新聞 第9号 昭和29年10月26日）	160
ハーンと内ヶ崎氏	
半峯昔ばなし／高田早苗述（早稲田大学出版部 1927）	99
ハーンと焼津	
小泉八雲と焼津／北山宏明	8
焼津における小泉八雲／村松真一	91
焼津の八雲旧居／北山宏明（へるん 第12号）	113
八雲と焼津海岸／岩崎志濃（へるん 第25-33号）	116-122
焼津だより／高田道久（へるん 第23号）	116
「漂流」雑感（へるん 第25号）	117
ラフカディオ・ハーンと焼津／田中岩太郎（経済集志）	133
焼津を愛した小泉八雲とは／服部毅一（八雲 第1号 1988）	142
八雲先生の思い出（片岡きぬ）（八雲 第1号 1988）	142
八雲先生とのめぐりあい／松江正江（八雲 第1号 1988）	142
焼津における小泉八雲の作品とその周辺／鈴木賢（八雲 第1号 1988）	142
八雲と乙吉・焼津・福井昭三（八雲 第1号 1988）	142
焼津の八雲遺品について／鈴木賢（八雲）	142
焼津におけるハーン関係資料／村松真一	142
八雲記念碑（駅前）／北山宏明（八雲 第1号）	142

(M-04)

焼津町の歌 (八雲 第2号)	143
セツから焼津の八雲に宛てた手紙 (八雲 第2号)	143
焼津における一雄からセツへの手紙 (八雲 第5号)	143
ハーンの焼津から出した”ひらがな”の手紙 (八雲 第6号)	143
焼津と市宝/梶谷泰之 (八雲 第4号)	143
焼津と私/福間直子 (八雲 第4号)	143
八雲来日の頃の焼津/福井昭三 (八雲)	143
焼津と八雲 1、2、3、4/西野影四郎 (八雲 第2-5号)	143
八雲とお酒と「漂流」の福寿丸について/北山宏明 (八雲 第2号)	143
ハーンが描いた天野甚助 (村松真一)	143
ハーンの温かき友人/中山常雄 (八雲 第2号)	143
焼津における一雄からセツへの手紙/小泉時 (八雲 第4号)	143
焼津に於ける小泉八雲/鈴木賢 (伝記 第2巻)	143
ハーンと焼津 (八雲 第7号)	143
焼津に於ける小泉八雲の作品とその周辺/鈴木賢 (八雲)	143
エピソード周辺/鈴木賢 (八雲)	143
昭和二十五年の八雲祭(1)-(3) /鈴木賢 (八雲)	143
八雲の海での異人さん泳ぎ (八雲)	143
「海辺」覚え書 (八雲 第4号)	143
八雲とお酒と「漂流」の福寿丸について (八雲 第3号)	143
小泉八雲と焼津 (八雲 第9号)	143
ハーンの美学と焼津 (八雲 第5号)	143
ハーンの循環思想と焼津の作品 (八雲 第7号)	143
焼津と八雲(1)-(4) (八雲)	143
八雲と海 1-4 (八雲)	143
その他 雑誌「八雲」を参照	
焼津と小泉八雲/三宅驥一 (大阪朝日新聞)	153
焼津と八雲: 富士を中心に/三宅驥一 (大阪朝日新聞)	153
焼津の海と八雲 (読売新聞)	154
ハーンと柳田国男	
柳田国男の強い刺激 (日本読書新聞)	161
ハーンは劇や大小説に対する関心がうすい	
[書評] 新刊紹介 Lafcadio Hearn: On art, Literature and Philosophy (英語青年 第68巻第12号(1933))	146
the Japanese smile	
ヘルンの映じた日本人の微笑/内山正平 (早稲田法学雑誌)	123
The Japanese smile/山麓居士 (英語青年 第92巻第4号(1946))	143
「天地人」欄の論説 (北日本新聞 昭和25年6月26日)	153
小泉八雲記念館の蔵書	
小泉八雲と遺品 (小泉八雲記念館 1954)	81
今後の文学研究は比較文学研究に進むべきものだという説	
ラフカディオ・ヘルンと日本/島田謹二 (英語青年 第99巻第11号(1953))	129
わが国に於ける英文学研究/島田謹二 (英語青年 第78巻第8号(1938))	137
Kwaidan の豪華版	
八雲氏の「怪談」米国から出版注文 (読売新聞 昭和6年10月28日)	147
”Lafcadio Hearn”の発音	
ハーンかヘルンか (へるん今昔)	75
ハーン・八雲 (はうん) 説/梶谷泰之 (へるん 第8号)	113
ハーンとヘルン/西村六郎 (ラフカディオ・ハーン著作集 第13巻月報)	122
”Lafcadio Hearn”の発音/岩瀬恭 (英語青年 第99巻第12号(1953))	125
「ラフカディオ・ハーン」の発音/空西哲郎 (英語青年 第99巻第4号)	129
Lafcadio の発音について/空西哲郎 (英語青年 第100巻第1号(1954))	131
「ハーン」と「ヘルン」の呼び方 (山陰新報 昭和29年9月25日)	158

ハーンとヘルン／西村六郎（山陰中央新報 昭和59年9月9日）	163
Letters to a pagan	
Letters to a pagan by Lafcadio Hearn/Robert Bruna Powers (Detroit, R. B. Powers, 1933)	93
"Letters to a pagan" not by Hearn/Albert Mordell (Cross Continent, 1959)	131
ロンドンの放浪生活	
ハーンから茨木清次郎氏への手紙1通 1902（明治35年）7月8日	5
マクレランド女史	
ヘルン文庫の奇縁「学生を援助したい」米婦人からお礼の便り（朝日新聞 昭和25年9月14日）	157
多くの収穫があった：ハーン研究のマ氏富山を去る（富山新聞 昭和33年9月12日）	161
ヘルン研究に富大へ：アイオア大の教授夫人（北陸夕刊 昭和33年9月13日）	161
富山ヘルン文庫訪問：マ教授夫人ドロシアさん（北日本新聞 昭和33年9月13日）	161
珍しいヘルンの正面像	
Lafcadio Hearn〔写真〕（英語青年 第96巻第9号(1950)）	8
ミス・ヒューズ	
安井てつ伝／青山なお著（岩波書店 1959）	103
Moreの文学の価値論	
"P. E. More and American criticism"/by Robert Shafer／批評：石田憲次（英文学研究 第17巻第3）	134
ねちねちした進み方の必要	
ねちねちした進み方の必要／中野重治著（現代文学論大系 第4巻 河出書房 1954）	101
O. W. Frost 氏の研究	
Lafcadio Hearnのこと／西崎一郎（英語青年 第98巻第2号(1952)）	125
若き日のラフカディオ・ヘルン／平岡伴一（富山新聞 昭和34年6月28日）	161
ロベール氏のハーン観	
Selected writings of Lafcadio Hearn/collected and edited by the Hearn Centennial Committee (published for the English Library Society of Japan by Kenkyusha 1953)	23
Lafcadio Hearn. Tome 1, 2/Marcel Robert (Hokuseido Press, 1950)	82
ラフカディオ・ハーン生誕百年回想の小泉八雲	153
スペンサーの影響	
スペンサーの影響をめぐって／谷村忠樹（へるん 第30号）	120
神国日本(Japan : an attempt interpretation)	
神国日本／柏倉俊三（平凡社刊 東洋文庫）	64
「日本：ひとつの試論」補注／斉藤正二（ユリイカ）	110
「日本：ひとつの試論」について／平野仁啓	126
「神国日本」考／遠田勝（比較文学研究 第4巻第7号）	139
神国日本：批評と紹介（読売新聞）	154
富山とヘルン	
ヘルンと富山／平岡伴一（へるんを訪ねる）	75
富山大学のヘルン文庫／三原弘（へるん今昔）	75
ヘルンと富山・金沢大学／染村絢子（へるん 第19号）	115
ヘルン文庫に就いて／田部隆次（富高）	122

(M-06)

ラフカディオ・ハーンの蔵書／小森典（英文法研究）	131
ヘルン文庫の余韻／関田かおる（とやま文学）	140
ヘルン文庫と南日恒太郎／高瀬重雄（とやま文学）	141
ヘルン文庫異聞／田部重次（とやま文学）	141
ハーン蔵書と富山の研究者／布村弘（北日本新聞）	141
日本の紹介に一生を捧ぐ／田部隆次（北陸夕刊 昭和25年6月27日）	154
世界に誇示しうる文献／西崎一郎（日本読書新聞）	155
八雲文庫を世界の宝に／西崎一郎（北日本新聞）	156
「ヘルン文庫」の逸話／大島文雄	141, 167
ヘルン文庫のことども（富山新聞）	160
ヘルン文庫のこと／小森典（富山新聞 昭和29年10月26日）	160
「ヘルン文庫」の逸話／大島文雄（富山新聞 昭和29年10月26日）	160
ノーベル賞作家と小泉八雲／西崎一郎（北日本新聞 昭和30年12月11日）	161
ヘルンと富山／平岡伴一（富山新聞 昭和33年8月25日）	161
「ヘルン文庫ん」について／大島文雄	167

チューレーン大学のヘルン室

Lafcadio Hearn: a catalogue of the collection at the how ARD-Tilton Memorial Library Tulane University/compiled by Ann S. Gwyn (Tulane University Library 1977)	2
Lafcadio Hearn: an exhibit commemorating the centennial of his arrival in Japan 1990-1991/Silvia Verdun Metzinger (Tulane University Library)	2
米国の記念室へ贈る・追悼の座談会（読売新聞 昭和15年3月12日）	151

上田敏に対する影響

日本文学とフランス文学／伊狩章著（比較文学 矢島書房 1957 より）	102
上田敏の英文学観／島田謹二（英文学研究 第14巻第2 1934）	145

小泉八雲年表

(N-01)

(Chronological table of Lafcadio Hearn)

(つげたり 富山大学ヘルン文庫年表)

西暦年号	日本年号	八雲の年齢(満)	事項
1850	嘉永 3		6月27日ギリシャのレブカデア(Leucadia)に生れた。当時父32才、母27才。父はその後西インドへ赴任
1851	" 4	1	7月母とともにアイルランドへ帰る
1853	" 6	3	父は病気のため西インドから帰る
1854	安政 1	4	父クリミヤに向う。弟ジェームズ(James)生まれる 母はギリシャへ帰る
1856	" 3	6	7月父クリミヤから帰る 父母離婚 大伯母ブリネーン(Brenane)夫人に養われる
1857	" 4	7	父は再婚して8月インドへ赴任
1862	文久 2	12	この頃ハーンはフランスのイブトー(Yvetot)(?)学校に在学
1863	" 3	13	ブリネーン夫人イギリスへ移住 9月イギリスのアショー(Ushaw)学校に入学
1866	慶応 2	16	学校で遊戯中事故のため左眼失明 11月父は帰国の途中スエズで死亡
1867	" 3	17	大伯母ブリネーン夫人破産のため10月アショー学校退学
1868	明治 1	18	ロンドンで放浪生活
1869	" 2	19	独立を求めてアメリカへ渡り、ニューヨーク着
1874	" 7	24	シンシナティ・エンクワイラー(Cincinnati Enquirer)新聞の記者となる。6月21日日曜新聞イー・ジグランプス(Ye Giglampz)を発行して9号までつづける
1875	" 8	25	マッティー・フォリー(Mattie Foley)という混血女性との短い結婚生活
1876	" 9	26	シンシナティ・コマmercial(Cincinnati Commercial)新聞へ移る
1877	" 10	27	10月シンシナティを去って11月12日ニュー・オーリンズ(New Orleans)に到着
1878	" 11	28	6月15日ニュー・オーリンズ・シティ・アイテム(New Orleans City Item)となり、後副主筆となる
1879	" 12	29	3月小料理店開業 すぐ廃業
1881	" 14	31	12月4日タイムズ・デモクラット(Times Democrat)社に変わり、その文学部長となる
1882	" 15	32	1月翻訳「クレオパトラの一夜、その他」(One of Cleopatra's nights and other fantastic romances)出版 12月12日ハーン之母ローザはギリシャで59才で死んだ
1884	" 17	34	「異文学異聞」(Stray leaves from strange literature)出版
1885	" 18	35	「ゴンボー・ゼベス」(Gombo Zhebes) 「クレオール料理法(La cuisine Creole) 「ニュー・オーリンズ案内記」(The historical sketch-book and guide to New Orleans)出版
1887	" 20	37	「支那怪談」(Some Chinese ghosts)出版 6月ニュー・オーリンズを去り、10月西インドのマルチニク(Martinique)島に行く
1889	" 22	39	5月ニューヨークに帰る 「チタ」(Chita)出版
1890	" 23	40	「ユーマ」(Youma) 「フランス領西インドの二年間」(Two years in the French West Indies) 翻訳 「シルベストル・ボナールの罪」(The crime of

西暦年号	日本年号	八雲の年令(満)	事 項
			Sylvestre Bonnard)出版 3月5日ニューヨーク主発 3月17日バンクーバー(Vancouver) 出発 4月4日横浜着 8月30日松江中学校に着任 12月23日小泉セツ子と結婚(田部隆次「小泉八雲」昭和26年改訂再版による
1891	明治24	41	11月5日松江出発 熊本の第五高等学校へ転任
1893	" 26	43	長男一雄生まれる
1894	" 27	44	「知られぬ日本の面影」(Glimpses of unfamiliar Japan)出版 11月熊本を辞し、神戸の「ジャパン・クロニクル」(The Japan Chronicle) 記者となる
1895	" 28	45	「東の国から」(Out of the East) 出版 日本に帰化して小泉八雲と名乗る
1896	" 29	46	「心」(Kokoro)出版 8月20日神戸を立って上京、東京帝大文学部講師となる
1897	" 30	47	「仏の畑の落穂」(Gleanings from Buddha-fields) 出版 二男巖生まれる
1898	" 31	48	「異国情趣と回顧」(Exotics and retrospectives) 出版
1899	" 32	49	「霊の日本」(In ghostly Japan)出版 三男清生まれる
1900	" 33	50	「影」(Shadowings)出版
1901	" 34	51	「日本雑録」(A Japanese miscellany) 出版
1902	" 35	52	「日本おとぎ話」(Japanese fairy tales) 「骨董」(Kotto) 出版
1903	" 36	53	3月帝大講師やめる 長女すず子生まれる
1904	" 37	54	4月から早稲田大学文学部講師 9月26日心臓病で死去 「怪談」(Kwaidan) 「神国日本」(Japan : an attempt at interpretation)出版
1904	" 38	死後 1	「天の川縁起そのほか」(The romance of the Milky Way)出版
1910	" 43	" 6	翻訳「サン・アントワヌの誘惑」(The temptation of St. Antoine) (フローベル原作) 出版
1924	大正13	" 20	6月10日富山高等学校ヘルン文庫が設けられた
1927	昭和 2	" 23	「Catalogue of the Lafcadio Hearn Library in the Toyama High School」を刊行
1929	昭和 4	" 25	死後満25年 9月26日松江で記念祭 富山高等学校高田教授出席 このころ焼津に「小泉八雲先生風詠之地」の記念碑ができた
1932	" 7	" 28	2月18日小泉節子未亡人死去
1933	" 8	" 29	9月3日 日希協会と松江の八雲買いとから贈った八雲の記念碑面の除幕式がレブカデア島で行なわれた
1934	" 9	" 30	八雲死後満30年
1935	" 10	" 31	6月6日松江市の小泉八雲記念館落成 5月10日富山高等学校のヘルン文庫書庫落成式 7月1日東京上野帝国図書館前に八雲記念碑除幕式 9月26日ギリシャの日希協会から東大へ送ってきた八雲の浮き彫り像の伝達式
1937	" 12	" 33	5月31日パーキンズ(Perkins) 氏富山高等学校を

西暦年号	日本年号	八雲の年齢(満)	事項
1950	〃 25	〃 50	訪問して講演を行った 八雲死後満50年 9月26日松江市およびその他で50年祭が行われた。富大図書館塩谷事務長松江の記念祭に出席 富大では10月26日から3日間ヘルン文庫を公開 同27日西崎一郎氏の記念講演
1958	〃 33	〃 54	9月10日から同12日まで八雲研究家ドロシーア・B・マクレランド(Dorothea B. McClelland)夫人ヘルン文庫で研究を行った
1959	〃 34	〃 55	富山大学ヘルン文庫所蔵ヘルン関係文献解説付目録を刊行
1963	〃 37	〃 59	蓮町の文理学部図書分室にあった「ヘルン文庫」を五福地区の附属図書館四階へ移転
1973	〃 48	〃 69	附属図書館新築にともない、「ヘルン文庫」を現図書館の二階に移転
1985	〃 60	〃 81	日希協会から東大へ贈られた八雲のレリーフ像の複製が東大のご好意により「ヘルン文庫」に収められた
1987	〃 62	〃 83	2月24日小泉時ご夫妻が「ヘルン文庫」を訪問 9月8日島根大学がヘルン文庫蔵書をマイクルフィルム化開始 平成2年まで
1997	平成 8	〃 93	「ヘルン文庫」を増築五階へ移転。ヘルン閲覧室、展示コーナーも設ける。
1998	平成 9	〃 94	「神国日本」原稿をデジタル化



富山大学ヘルン文庫所蔵
ラファエル・ハーン
小泉八雲関係文献目録

(非売品)

1959 (昭和34年) 10月25日初版発行
1998 (平成10年) 2月19日改訂版発行

編纂 富山大学附属図書館

発行 富山大学附属図書館
富山市五福3190

URL:<http://www.toyama-u.ac.jp/tya/library/ihrca.html>

印刷 中央印刷株式会社

本書は平成9年度教育改善推進費の配分をうけ、
刊行したものである

